

## 第2部 調査結果



# I 高齢者向け調査の結果



## ア 高齢者の生活実態調査（調査 A）

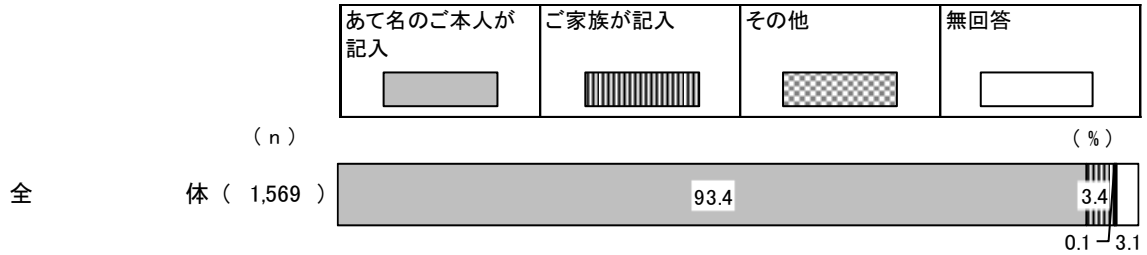


本調査は、区内にお住まいの60歳以上の方を対象としており、有効回答数は1,569件、回収率は60.8%であった。

### 1. 回答者の属性(状況)

#### (1)調査票の記入者

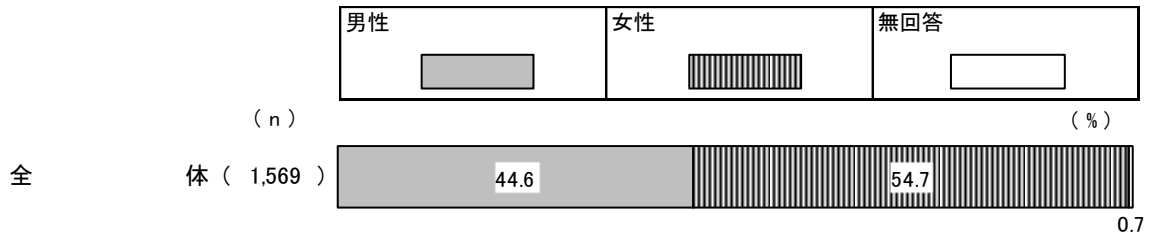
問1:調査票を記入されたのはどなたですか。



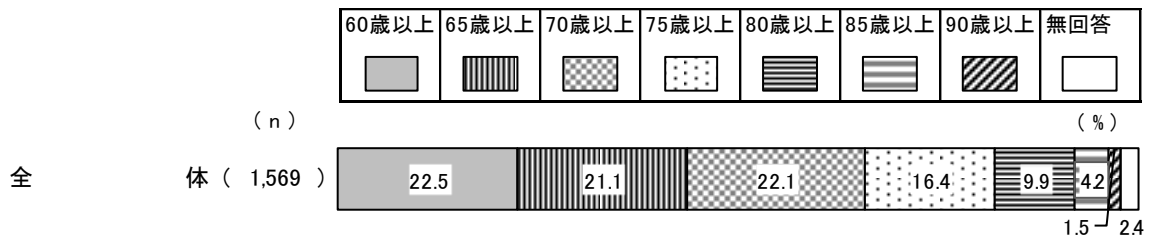
#### (2)性別・年齢

問2:あなたの性別と令和元年11月1日現在の満年齢を記入してください。

##### ■性別

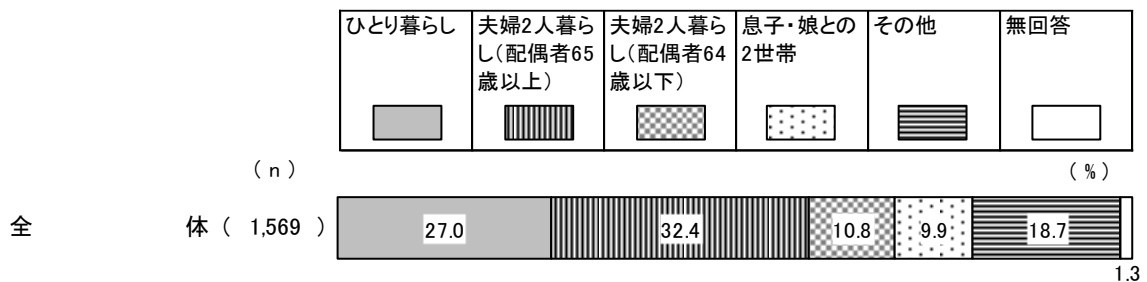


##### ■満年齢



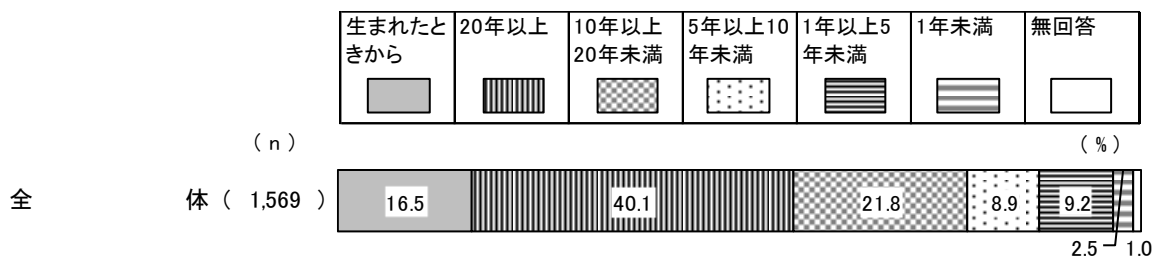
#### (3)家族構成

問3:家族構成をお教えてください。



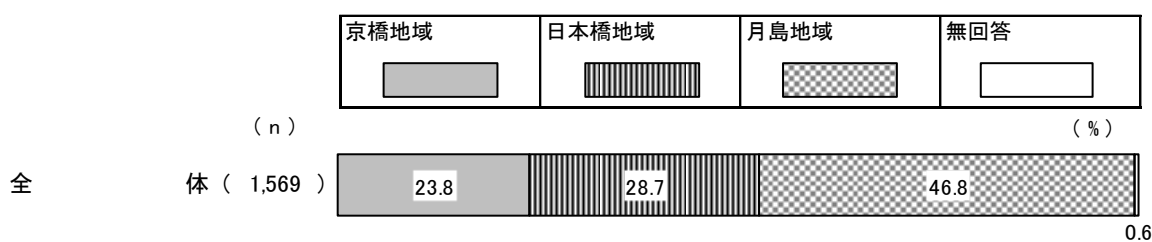
(4) 居住期間

問4: あなたは、どのくらい中央区に住んでいますか。



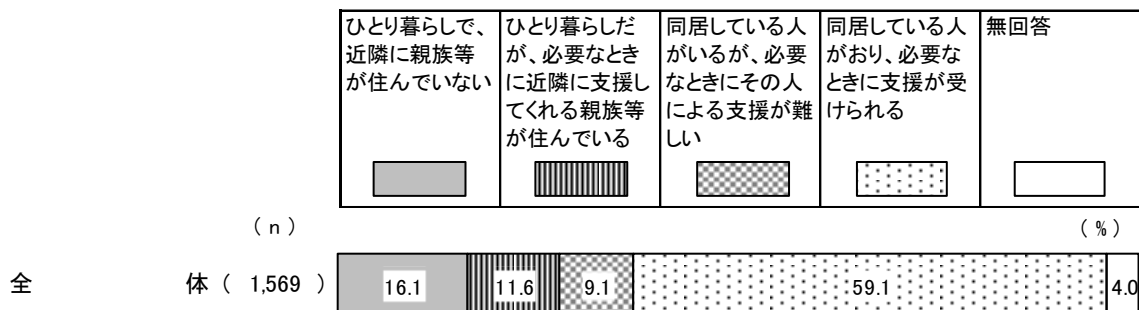
(5) 居住地域

問5: 現在あなたのお住まいになっている地域はどこですか。



(6) 生活状況

問6: 現在のあなたの生活状況をお聞きます。

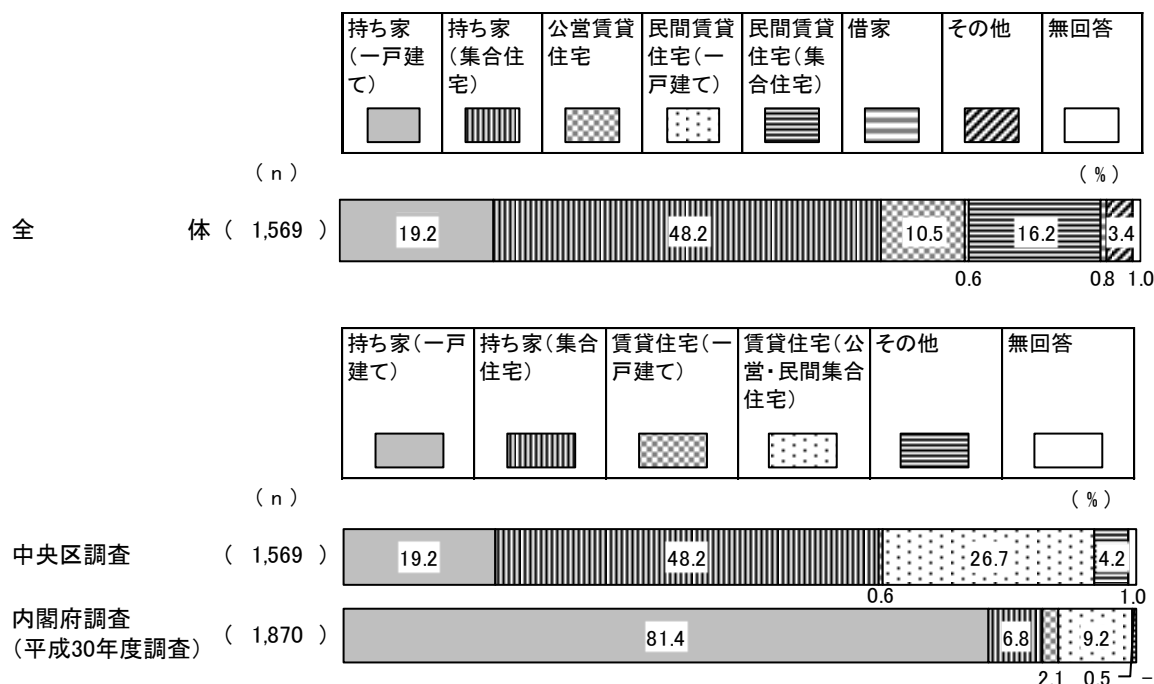




(7)住宅状況

- 「持ち家(集合住宅)」(48.2%)が最も多い
- 「持ち家(一戸建て)」(19.2%)、「民間賃貸住宅(一戸建て)」(0.6%)を合わせると、住まいが一戸建ての人は19.8%
- 「持ち家(集合住宅)」(48.2%)、「賃貸住宅(公営・民間集合住宅)」(26.7%)を合わせると、住まいが集合住宅の人は74.9%

問 7:あなたのお住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。



中央区と内閣府の調査結果を比較すると、中央区は全国と比べて、「持ち家(集合住宅)」及び「賃貸住宅(公営・民間集合住宅)」に居住する割合が高い。

中央区調査項目	内閣府調査項目
持ち家(一戸建て)	持ち家(一戸建て)
持ち家(集合住宅)	持ち家(集合住宅)
民間賃貸住宅(一戸建て)	賃貸住宅(一戸建て)
公営賃貸住宅+民間賃貸住宅(集合住宅)	賃貸住宅(公営・民間集合住宅)
借家+その他	その他

※選択肢の項目が異なるため、上記の項目で比較している。(区内の公営賃貸住宅は集合住宅のみ。借家は建物の形状(一戸建て又は集合住宅)で区分けできないため、その他で集計。)

内閣府調査について

内閣府が実施した以下 2 つの調査のことを本報告書では「内閣府調査」と表記する。

<問 7、問 15、付問 23-7 の「内閣府調査」>

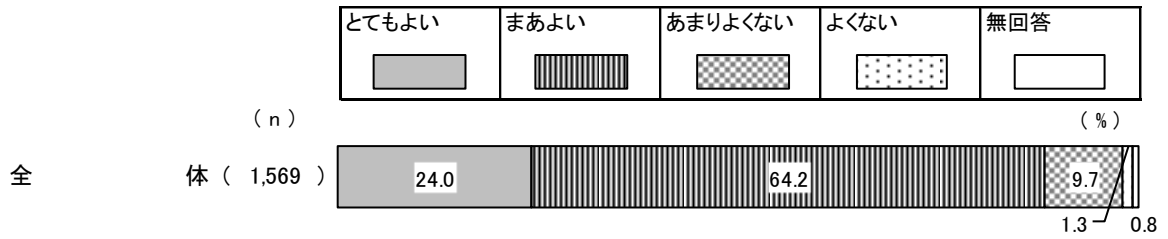
調査名	平成 30 年度 高齢者の住宅と生活環境に関する調査
調査の目的	「高齢者の住宅と生活環境」に関する実態と意識を把握するとともに、政府の方針や経済社会情勢の変化を踏まえたテーマを設定する調査研究を実施し、今後の高齢社会対策の推進に資するため
調査対象	全国の 60 歳以上(平成 30 年 1 月 1 日現在)の男女(施設入所者は除く)
有効回収数	1,870 人(回収率 62.3%)

<問 17 の「内閣府調査」>

調査名	平成 28 年 高齢者の経済・生活環境に関する調査
調査の目的	「高齢者の経済生活」及び「高齢者の住宅と生活環境」に関する実態と意識を把握するとともに、政府の方針や経済社会情勢の変化を踏まえたテーマを設定する調査研究を実施し、今後の高齢社会対策の推進に資するため
調査対象	全国の 60 歳以上(平成 28 年 1 月 1 日現在)の男女(施設入所者は除く)
有効回収数	1,976 人(回収率 67.7%)

(8)主観的健康状態

問 8:現在のあなたの健康状態はいかがですか。



<主観的健康状態(経済状況別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

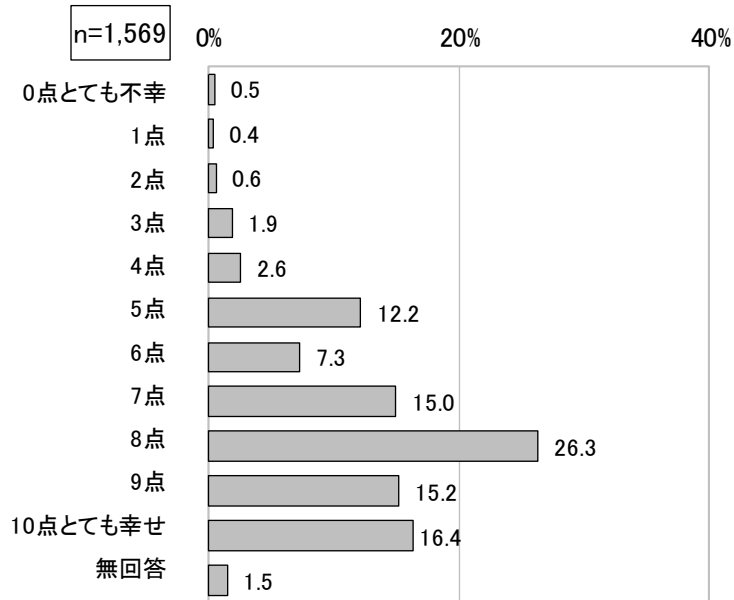
	調査数	1	2	3	4	無回答	
		とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない		
全体	1569 100.0	377 24.0	1008 64.2	152 9.7	20 1.3	12 0.8	
経済状況についての認識	大変苦しい	77 100.0	5 6.5	47 61.0	16 20.8	8 10.4	1 1.3
	やや苦しい	270 100.0	38 14.1	181 67.0	48 17.8	3 1.1	0 0.0
	ふつう	807 100.0	185 22.9	540 66.9	66 8.2	8 1.0	8 1.0
	ややゆとりがある	297 100.0	93 31.3	181 60.9	21 7.1	1 0.3	1 0.3
	大変ゆとりがある	103 100.0	52 50.5	49 47.6	1 1.0	0 0.0	1 1.0

経済状況(後述問 16)別で見ると、経済状態にゆとりがあるほど、主観的健康状態がよいと感じている割合が高い。

(9)主観的幸福感

○ 「8点」(26.3%)が最も多く、「7点」から「10点とても幸せ」までを合わせると72.9%

問9:あなたは、現在どの程度幸せですか。

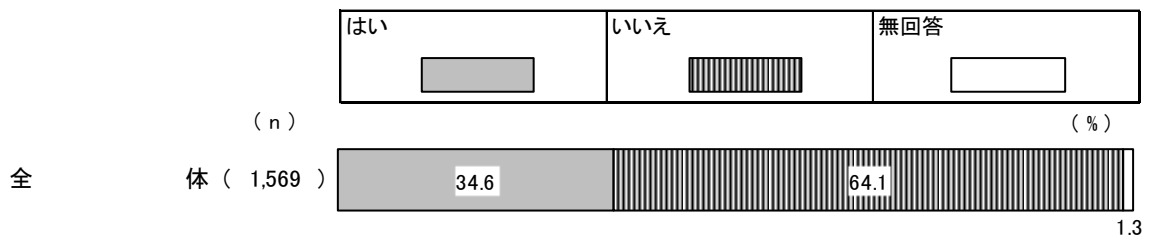


平均点は7.51点であった。

(10)うつ病の状況

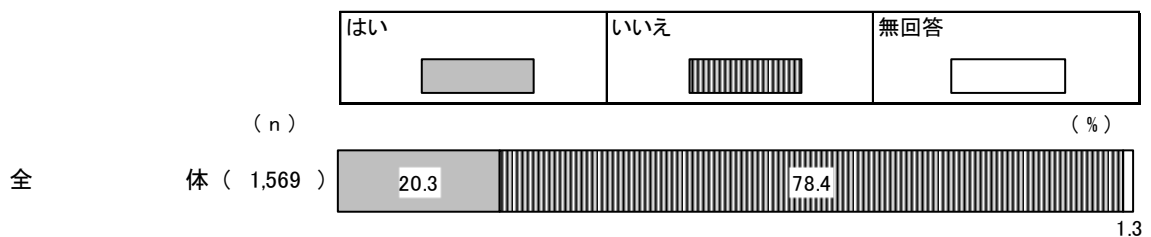
① 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったことがあるか

問10:この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。



② 物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあるか

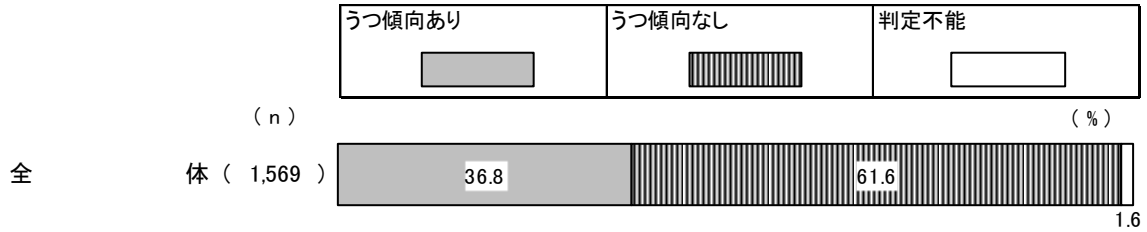
問11:この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。



③ うつ傾向の評価

○ うつ傾向の人は全体の 36.8%

問 10、問 11 のいずれかで「はい」と回答された場合、うつ傾向であると評価

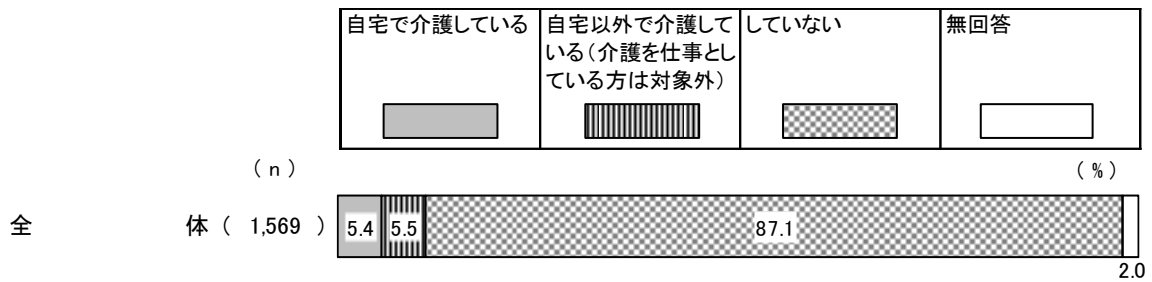


(11)介護状況

① 自宅等での介護状況

○ 「自宅で介護している」(5.4%)と「自宅以外で介護している」(5.5%)を合わせると 10.9%

問 12: 現在、自宅・自宅以外で誰かの介護をしていますか。



<自宅等での介護状況(性別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

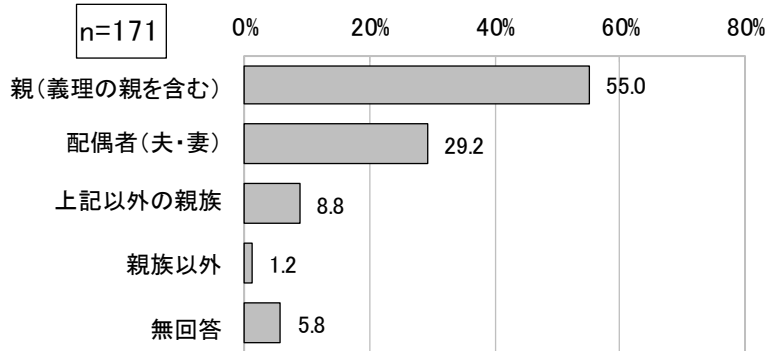
	調査数	1	2	3	無回答	
		自宅で介護している	自宅以外で介護している(介護を仕事としている方は対象外)	していない		
全体	1569	84	87	1366	32	
	100.0	5.4	5.5	87.1	2.0	
性別	男性	699	33	32	626	8
		100.0	4.7	4.6	89.6	1.1
	女性	859	51	54	732	22
	100.0	5.9	6.3	85.2	2.6	

性別で見ると、大きな差は見られない。

② 介護している方の続柄

【問 12 で「1. 自宅で介護している」または「2. 自宅以外で介護している」と回答の方】

問 12-1: 介護している方の続柄を教えてください。【複数回答】

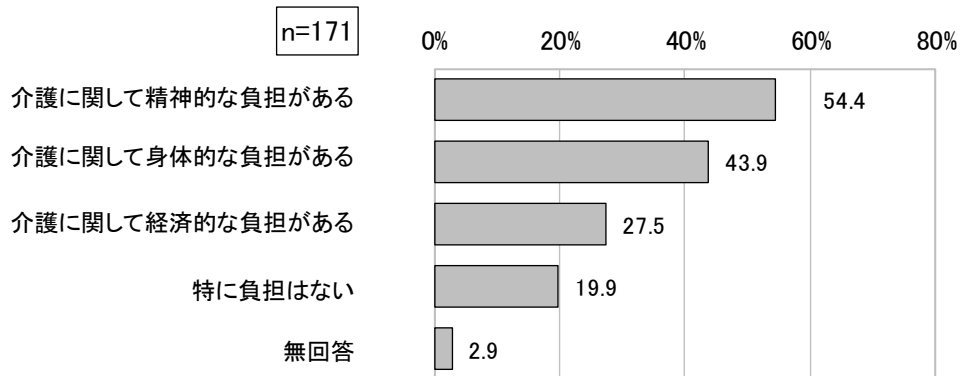


③ 介護における負担事項

○ 「介護に関して精神的な負担がある」(54.4%)が最も多い

【問 12 で「1. 自宅で介護している」または「2. 自宅以外で介護している」と回答の方】

問 12-2: 介護するにあたっての負担に感じる事柄を教えてください。【複数回答】



<介護における負担事項(性別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

		調査数	1	2	3	4	無回答
			介護に関して精神的な負担がある	介護に関して身体的な負担がある	介護に関して経済的な負担がある	特に負担はない	
全体		171	93	75	47	34	5
		100.0	54.4	43.9	27.5	19.9	2.9
性別	男性	65	29	20	23	20	1
		100.0	44.6	30.8	35.4	30.8	1.5
性別	女性	105	64	55	23	14	4
		100.0	61.0	52.4	21.9	13.3	3.8

性別で見ると、女性は男性と比べて、「介護に関して精神的な負担がある」の割合が高い。男性は女性と比べて、「特に負担はない」の割合が高い。

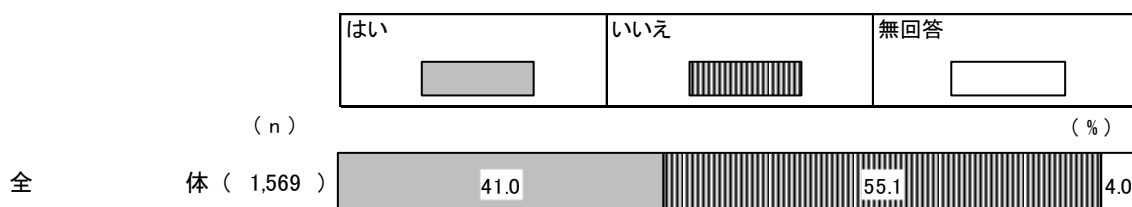
## 2. 高齢者に対する認識

### (1) 高齢者意識

#### ① 本人の高齢者意識

○ 自分を高齢者だと感じていない人が 55.1%

問 13: あなたは、自分を高齢者だと感じていますか。



<本人の高齢者意識(性別・年代別)>

上段: 実数(人)  
下段: 構成比(%)

	調査数	1	2	無回答	
		はい	いいえ		
<b>全 体</b>	1569	643	864	62	
	100.0	41.0	55.1	4.0	
<b>性 別</b>	男性	699	283	390	26
		100.0	40.5	55.8	3.7
	女性	859	357	467	35
	100.0	41.6	54.4	4.1	
<b>年 代 別</b>	60~64歳	353	50	298	5
		100.0	14.2	84.4	1.4
	65~69歳	331	95	231	5
		100.0	28.7	69.8	1.5
	70~74歳	347	143	186	18
		100.0	41.2	53.6	5.2
	75~79歳	257	154	91	12
	100.0	59.9	35.4	4.7	
	80~84歳	155	117	29	9
	100.0	75.5	18.7	5.8	
	85~89歳	66	49	8	9
	100.0	74.2	12.1	13.6	
	90歳以上	23	20	2	1
	100.0	87.0	8.7	4.3	

性別で見ると、男女で大きな差は見られない。

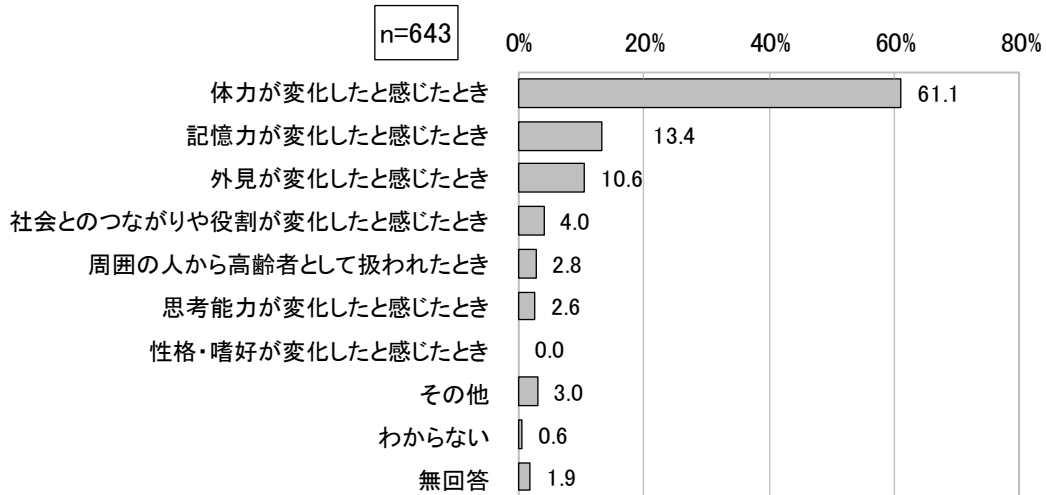
年代別で見ると、75歳以上では年代が上がるほど自分を高齢者だと感じている割合が高くなる。

② 高齢者意識を感じる時

○ 「体力が変化したと感じたとき」(61.1%)が最も多い

【問 13 で「1. はい」と回答の方】

問 13-1: 自分が高齢者だと感じるのどのようなときですか。最もあてはまるものを、お答えください。

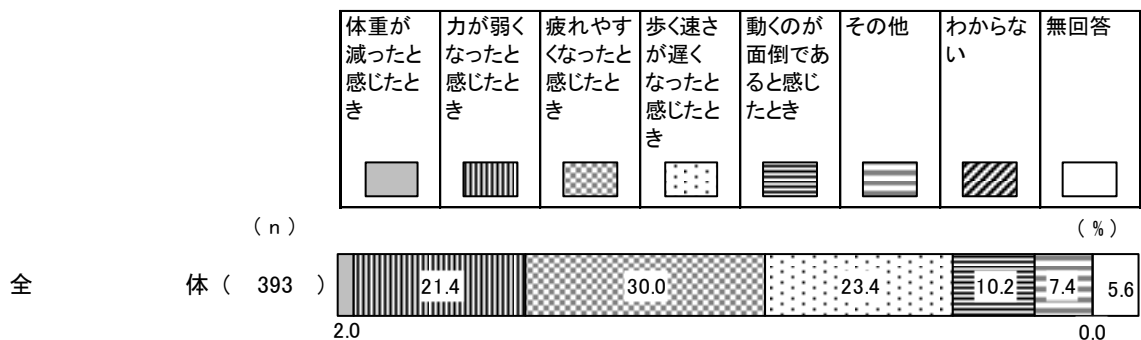


③ 体力の変化を感じる時

○ 「疲れやすくなったと感じたとき」(30.0%)が最も多く、次いで「歩く速さが遅くなったと感じたとき」(23.4%)

【問 13-1 で「2. 体力が変化したと感じた」と回答の方】

問 13-2: 体力の変化をどのようなときに感じますか。最もあてはまるものを、お答えください。



<その他の回答>

- 階段の上り下りをしたとき
- 病気の回復が遅いとき
- 膝が痛むとき
- 運動の持続時間が減ったと感じたとき

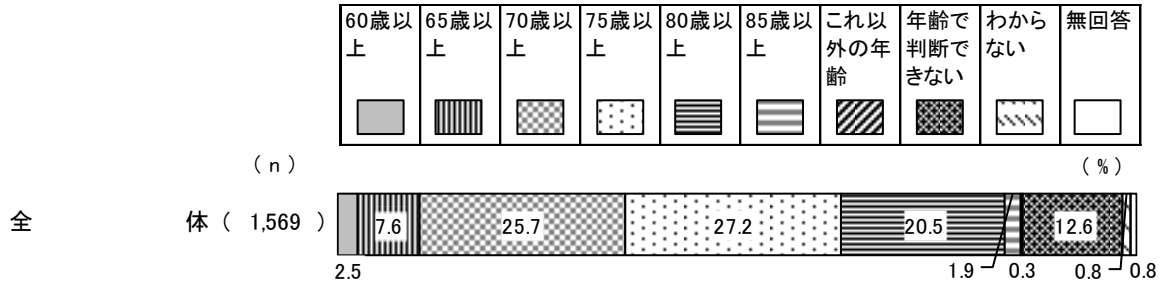


(2)「高齢者」に対する年齢意識

① 「高齢者」だと思える年齢

○ 「75 歳以上」(27.2%)が最も多く、次いで「70 歳以上」(25.7%)

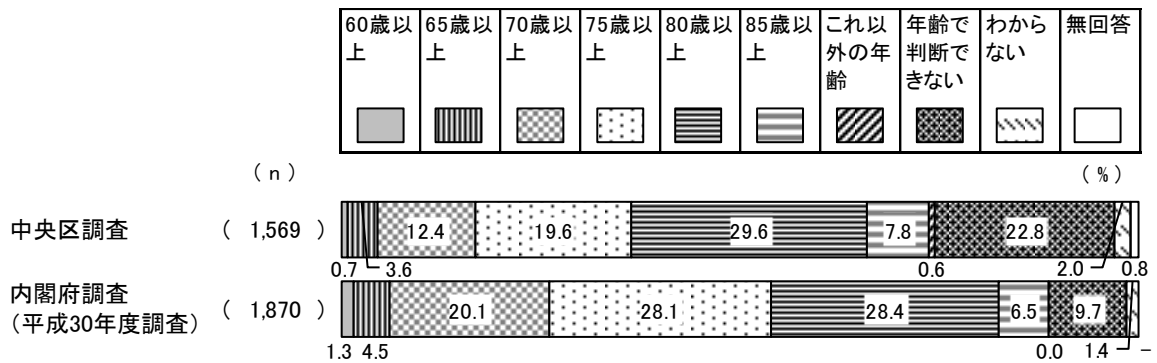
問 14: あなたは、「高齢者」とは何歳以上だと思いますか。



② 「支えられるべき高齢者」だと思える年齢

○ 「80 歳以上」(29.6%)が最も多く、次いで「年齢で判断できない」(22.8%)

問 15: あなたは、一般的に「支えられるべき高齢者」とは何歳以上だと思いますか。



中央区と内閣府の調査結果を比較すると、中央区では全国と比べて、「年齢で判断できない」の割合が高く、「70 歳以上」及び「75 歳以上」の割合が低い。

<「支えられるべき高齢者」だと思える年齢(生活状況別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

	調査数	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
		60歳以上	65歳以上	70歳以上	75歳以上	80歳以上	85歳以上	これ以外の年齢	年齢で判断できない	わからない	無回答	
全体	1569	11	56	195	308	464	123	10	358	32	12	
	100.0	0.7	3.6	12.4	19.6	29.6	7.8	0.6	22.8	2.0	0.8	
生活状況	ひとり暮らしで、近隣に親族等が住んでいない	253	3	13	35	50	56	16	2	70	8	0
		100.0	1.2	5.1	13.8	19.8	22.1	6.3	0.8	27.7	3.2	0.0
	ひとり暮らしだが、必要ときに近隣に支援してくれる親族等が住んでいる	182	0	7	16	27	62	15	2	48	3	2
		100.0	0.0	3.8	8.8	14.8	34.1	8.2	1.1	26.4	1.6	1.1
	同居している人がいるが、必要ときにその人による支援が難しい	143	2	7	21	28	37	7	0	34	6	1
	100.0	1.4	4.9	14.7	19.6	25.9	4.9	0.0	23.8	4.2	0.7	
同居している人がおり、必要ときに支援が受けられる	928	5	28	115	197	288	79	6	192	11	7	
	100.0	0.5	3.0	12.4	21.2	31.0	8.5	0.6	20.7	1.2	0.8	

生活状況別で見ると、「支えられるべき高齢者」だと思える年齢を「年齢で判断できない」と考えている人の割合は、生活状況にかかわらず大きな差は見られない。

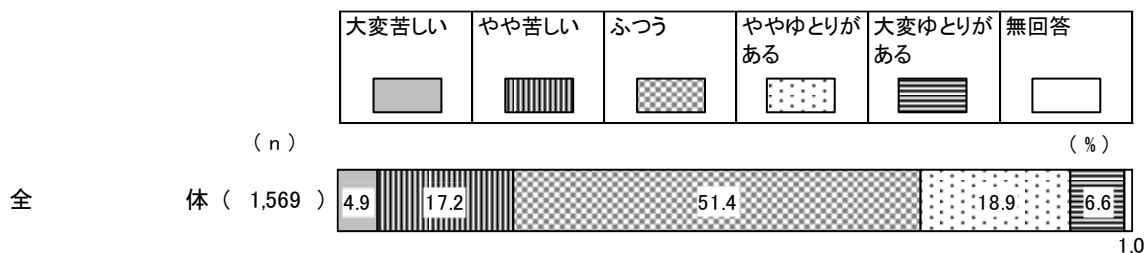
### 3. 経済状況や就労状態

#### (1) 経済状況

##### ① 経済状況についての認識

○ 「ふつう」(51.4%)が最も多い

問 16: 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。



<経済状況についての認識(居住形態別)>

上段: 実数(人)  
下段: 構成比(%)

	調査数	1	2	3	4	5	無回答	
		大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある		
<b>全体</b>	1569	77	270	807	297	103	15	
	100.0	4.9	17.2	51.4	18.9	6.6	1.0	
居住形態	持ち家(一戸建て)	302	8	49	180	47	14	4
		100.0	2.6	16.2	59.6	15.6	4.6	1.3
	持ち家(集合住宅)	757	20	87	393	185	68	4
		100.0	2.6	11.5	51.9	24.4	9.0	0.5
	公営賃貸住宅	164	18	51	82	7	5	1
		100.0	11.0	31.1	50.0	4.3	3.0	0.6
	民間賃貸住宅(一戸建て)	10	2	2	6	0	0	0
		100.0	20.0	20.0	60.0	0.0	0.0	0.0
民間賃貸住宅(集合住宅)	254	21	62	114	41	13	3	
	100.0	8.3	24.4	44.9	16.1	5.1	1.2	
借家	12	2	7	3	0	0	0	
	100.0	16.7	58.3	25.0	0.0	0.0	0.0	
その他	54	4	11	22	14	1	2	
	100.0	7.4	20.4	40.7	25.9	1.9	3.7	

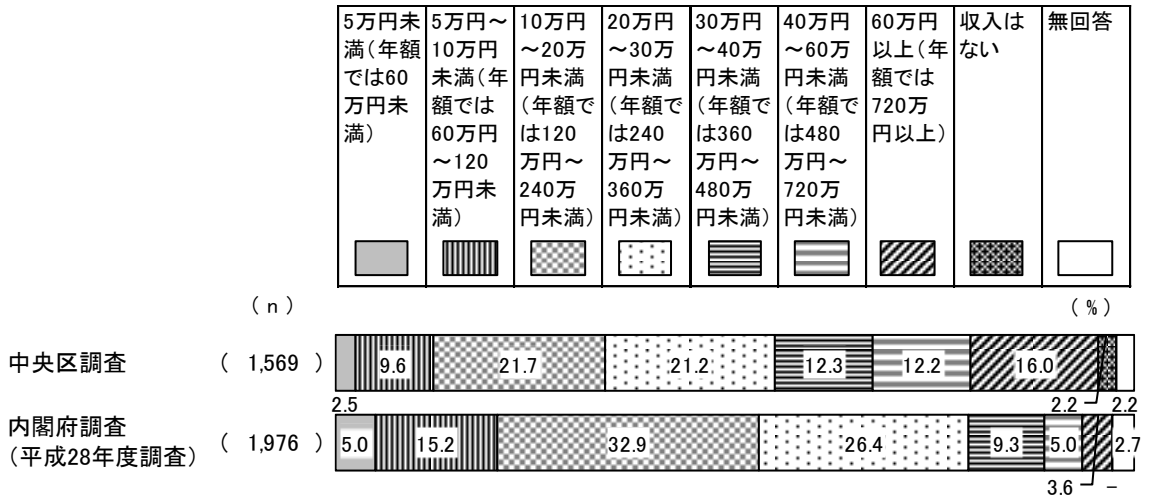
居住形態別に見ると、持ち家は賃貸住宅と比べて、「ややゆとりがある」の割合が高い。

② 1 か月あたりの平均収入

○ 「10 万円～20 万円未満(年額では 120 万円～240 万円未満)」が 21.7%、「20 万円～30 万円未満(年額では 240 万円～360 万円未満)」が 21.2%

問 17: あなたの収入(年金を含む)をすべて合計すると、税込みで 1 か月あたりの平均額(ボーナスがある場合は、それを含めて平均した額)はおよそいくらくらいになりますか。

※ご夫婦の場合はお二人の収入の合計をお答えください。



中央区と内閣府の調査結果を比較すると、中央区では内閣府の調査で最も多かった「10 万円～20 万円未満」の割合が低い。一方で「20 万円～30 万円未満」、「30 万円～40 万円未満」、「40 万円～60 万円未満」及び「60 万円以上」を合わせた割合が全国と比べて高い。

<1 か月あたりの平均収入(性別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

		調査数	1	2	3	4	5	6	7	8	
			5万円未満 (年額では60 万円未満)	5万円～10万 円未満(年額 では60万円 ～120万円未 満)	10万円～20 万円未満(年 額では120万 円～240万円 未満)	20万円～30 万円未満(年 額では240万 円～360万円 未満)	30万円～40 万円未満(年 額では360万 円～480万円 未満)	40万円～60 万円未満(年 額では480万 円～720万円 未満)	60万円以上 (年額では 720万円以 上)	収入はない	無回答
全体		1569	40	150	341	333	193	192	251	34	35
		100.0	2.5	9.6	21.7	21.2	12.3	12.2	16.0	2.2	2.2
性別	男性	699	18	39	124	153	100	111	139	10	5
		100.0	2.6	5.6	17.7	21.9	14.3	15.9	19.9	1.4	0.7
女性	859	22	111	215	178	92	81	107	24	29	
	100.0	2.6	12.9	25.0	20.7	10.7	9.4	12.5	2.8	3.4	

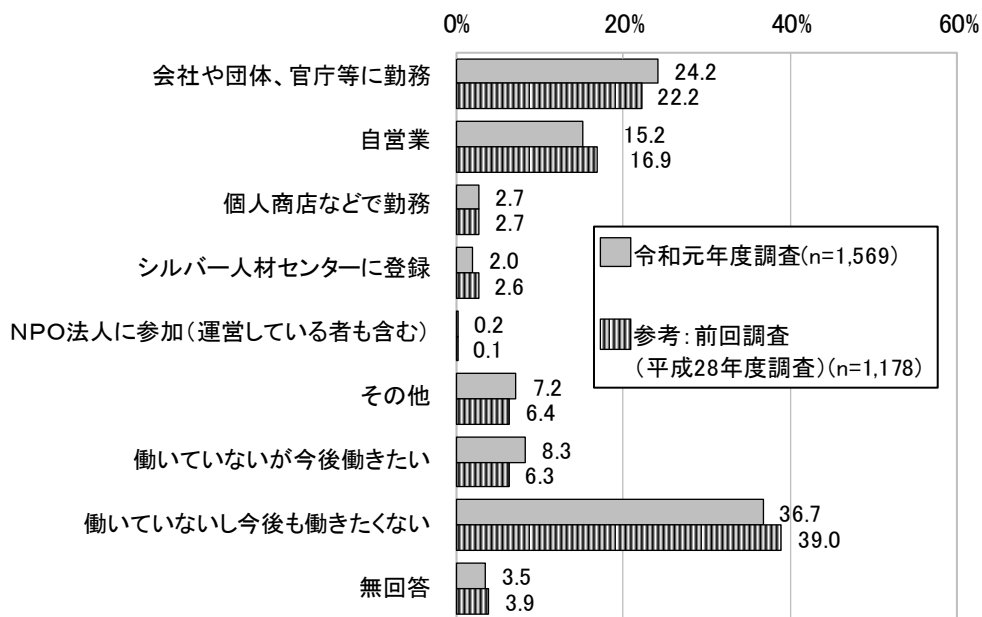
性別で見ると、女性は男性と比べて、「5 万円～10 万円未満」及び「10 万円～20 万円未満」の割合が高い。

(2)就労状況

① 現在の職種

○ 「働いていないし今後も働きたくない」(36.7%)が最も多く、次いで「会社や団体、官公庁に勤務」(24.2%)

問 18:あなたは現在、働いていますか。複数の仕事をしている場合は収入の最も多いものをお答えください。



<その他の回答>

○不動産管理 ○株の運用 ○日雇い雇用など臨時雇用

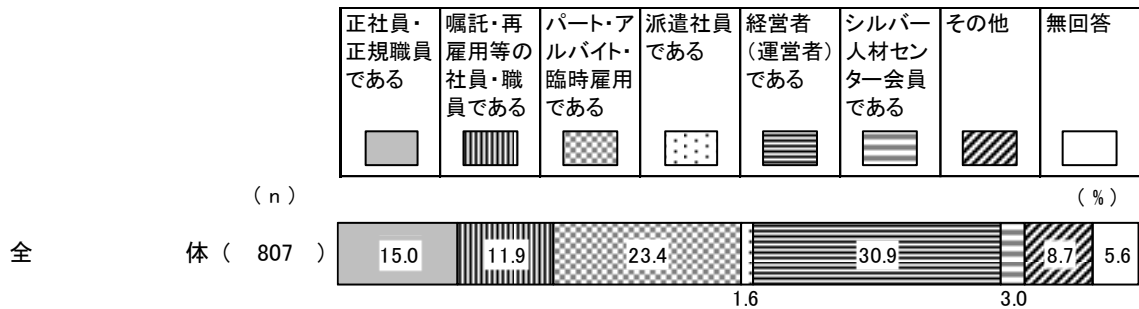
前回調査と比べると、大きな差は見られない。

② 現在の就労形態

○ 「経営者(運営者)である」(30.9%)が最も多く、次いで「パート・アルバイト・臨時雇用である」(23.4%)

【問 18 で「1. 会社や団体、官庁等に勤務」、「2. 個人商店などで勤務」、「3. 自営業」、「4. シルバー人材センターに登録」、「5. NPO 法人に参加(運営している者も含む)」、「6. その他」と回答の方】

問 18-1: 現在働いている方にうかがいます。現在の就労形態は何ですか。



＜現在の就労形態(性別)＞

上段: 実数(人)  
下段: 構成比(%)

	調査数	1	2	3	4	5	6	7	無回答	
		正社員・正規職員である	嘱託・再雇用等の社員・職員である	パート・アルバイト・臨時雇用である	派遣社員である	経営者(運営者)である	シルバー人材センター会員である	その他		
全体	807 100.0	121 15.0	96 11.9	189 23.4	13 1.6	249 30.9	24 3.0	70 8.7	45 5.6	
性別	男性	432 100.0	65 15.0	74 17.1	60 13.9	8 1.9	168 38.9	12 2.8	25 5.8	20 4.6
	女性	368 100.0	54 14.7	22 6.0	128 34.8	5 1.4	78 21.2	11 3.0	45 12.2	25 6.8

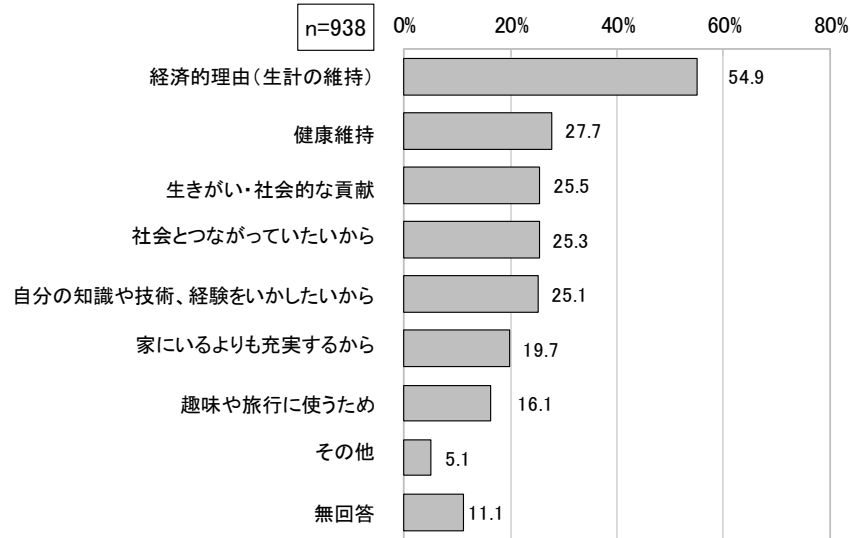
性別で見ると、男性は女性と比べて、「嘱託・再雇用等の社員・職員である」、「経営者(運営者)である」の割合が高く、女性は男性と比べて、「パート・アルバイト・臨時雇用である」の割合が高い。

③ 就労目的・理由

○ 「経済的理由(生計の維持)」(54.9%)が最も多い

【問 18 で「1. 会社や団体、官庁等に勤務」、「2. 個人商店などで勤務」、「3. 自営業」、「4. シルバー人材センターに登録」、「5. NPO 法人に参加(運営している者も含む)」、「6. その他」、「7. 働いていないが今後働きたい」と回答の方】

問 18-2: 仕事をしている(またはしたい)目的・理由は何ですか。【複数回答】



<その他の回答>

○自営業で会社をやめられない ○オンオフをはっきりさせたいため

<就労目的・理由(性別・年代別)>

上段: 実数(人)  
下段: 構成比(%)

	調査数	1	2	3	4	5	6	7	8	無回答	
		経済的理由(生計の維持)	趣味や旅行に使うため	健康維持	生きがい・社会的な貢献	家にいるよりも充実するから	社会とつながっていたいから	自分の知識や技術、経験をいかしたいから	その他		
全体	938 100.0	515 54.9	151 16.1	260 27.7	239 25.5	185 19.7	237 25.3	235 25.1	48 5.1	104 11.1	
性別	男性	487 100.0	281 57.7	67 13.8	125 25.7	131 26.9	77 15.8	119 24.4	145 29.8	21 4.3	54 11.1
	女性	444 100.0	229 51.6	83 18.7	131 29.5	105 23.6	105 23.6	114 25.7	88 19.8	27 6.1	48 10.8
年代別	60~64歳	301 100.0	213 70.8	56 18.6	75 24.9	84 27.9	58 19.3	83 27.6	86 28.6	12 4.0	25 8.3
	65~69歳	224 100.0	122 54.5	43 19.2	70 31.3	63 28.1	47 21.0	48 21.4	57 25.4	15 6.7	17 7.6
	70~74歳	201 100.0	99 49.3	29 14.4	63 31.3	45 22.4	44 21.9	51 25.4	48 23.9	11 5.5	20 10.0
	75~79歳	121 100.0	46 38.0	15 12.4	25 20.7	24 19.8	22 18.2	30 24.8	23 19.0	4 3.3	24 19.8
	80~84歳	51 100.0	17 33.3	3 5.9	12 23.5	12 23.5	5 9.8	11 21.6	11 21.6	6 11.8	11 21.6
	85~89歳	13 100.0	5 38.5	0 0.0	6 46.2	6 46.2	2 15.4	3 23.1	3 23.1	0 0.0	1 7.7
	90歳以上	5 100.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0

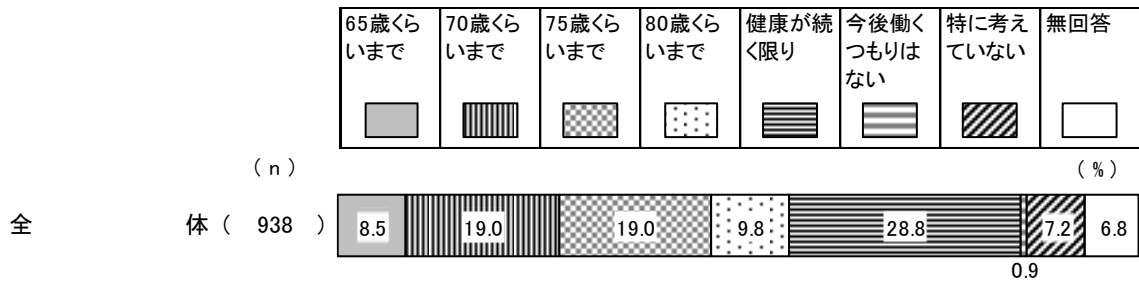
性別で見ると、男性は女性と比べて、「自分の知識や技術、経験をいかしたいから」の割合が高い。年代別で見ると、84歳以下は年代が下がるほど、「経済的理由(生計の維持)」の割合が高い。

④ 働いていたいと思う年齢

○ 「健康が続く限り」(28.8%)が最も多く、次いで「70歳くらいまで」(19.0%)、「75歳くらいまで」(19.0%)

【問 18 で「1. 会社や団体、官庁等に勤務」、「2. 個人商店などで勤務」、「3. 自営業」、「4. シルバー人材センターに登録」、「5. NPO 法人に参加(運営している者も含む)」、「6. その他」、「7. 働いていないが今後働きたい」と回答の方】

問 18-3: 何歳くらいまで仕事をしたいですか。



<働いていたいと思う年齢(年代別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

	調査数	年代別								
		1 65歳くらいまで	2 70歳くらいまで	3 75歳くらいまで	4 80歳くらいまで	5 健康が続く限り	6 今後働くつもりはない	7 特にかえていない	無回答	
全体	938	80	178	178	92	270	8	68	64	
	100.0	8.5	19.0	19.0	9.8	28.8	0.9	7.2	6.8	
年代別	60~64歳	301	74	110	32	4	51	2	14	14
		100.0	24.6	36.5	10.6	1.3	16.9	0.7	4.7	4.7
	65~69歳	224	4	66	66	12	50	0	14	12
		100.0	1.8	29.5	29.5	5.4	22.3	0.0	6.3	5.4
	70~74歳	201	0	1	70	33	57	2	23	15
		100.0	0.0	0.5	34.8	16.4	28.4	1.0	11.4	7.5
	75~79歳	121	0	0	4	33	62	2	10	10
	100.0	0.0	0.0	3.3	27.3	51.2	1.7	8.3	8.3	
80~84歳	51	1	0	0	4	30	1	6	9	
	100.0	2.0	0.0	0.0	7.8	58.8	2.0	11.8	17.6	
85~89歳	13	0	0	0	0	12	1	0	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	92.3	7.7	0.0	0.0	
90歳以上	5	0	0	0	0	5	0	0	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	

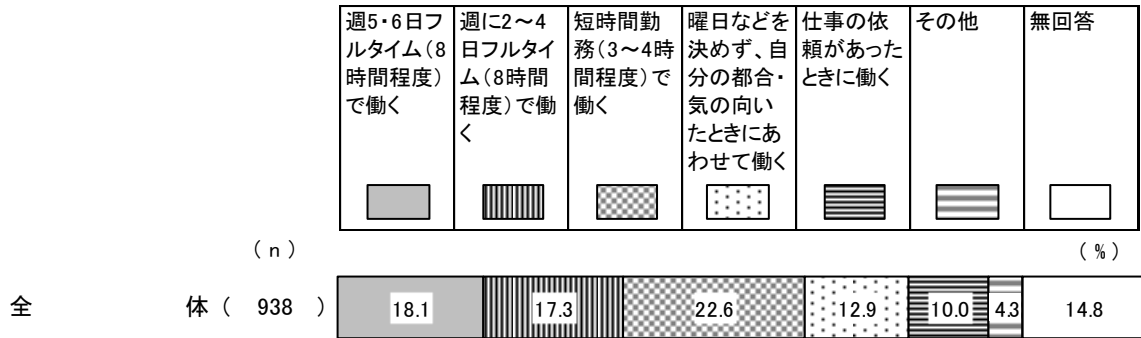
年代別で見ると、年代が上がるほど、「健康が続く限り」の割合が高い。

⑤ 希望する働き方

○ 「短時間勤務(3~4 時間程度)で働く」(22.6%)が最も多く、次いで「週5、6日フルタイム(8時間程度)で働く」(18.1%)、「週に2~4日フルタイム(8時間程度)で働く」(17.3%)

【問18で「1. 会社や団体、官庁等に勤務」、「2. 個人商店などで勤務」、「3. 自営業」、「4. シルバー人材センターに登録」、「5. NPO 法人に参加(運営している者も含む)」、「6. その他」、「7. 働いていないが今後働きたい」と回答の方】

問18-4: 今後(定年前の方は定年退職後)どのような働き方を望みますか。



<希望する働き方(性別・年代別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

	調査数	1	2	3	4	5	6	無回答	
		週5・6日フルタイム(8時間程度)で働く	週に2~4日フルタイム(8時間程度)で働く	短時間勤務(3~4時間程度)で働く	曜日などを決めず、自分の都合・気の向いたときにあわせて働く	仕事の依頼があったときに働く	その他		
全体	938 100.0	170 18.1	162 17.3	212 22.6	121 12.9	94 10.0	40 4.3	139 14.8	
性別	男性	487 100.0	119 24.4	107 22.0	74 15.2	61 12.5	48 9.9	13 2.7	65 13.3
	女性	444 100.0	50 11.3	54 12.2	137 30.9	59 13.3	46 10.4	27 6.1	71 16.0
年代別	60~64歳	301 100.0	81 26.9	78 25.9	59 19.6	37 12.3	19 6.3	7 2.3	20 6.6
	65~69歳	224 100.0	39 17.4	46 20.5	60 26.8	22 9.8	27 12.1	7 3.1	23 10.3
	70~74歳	201 100.0	31 15.4	23 11.4	52 25.9	27 13.4	24 11.9	11 5.5	33 16.4
	75~79歳	121 100.0	10 8.3	6 5.0	31 25.6	19 15.7	16 13.2	7 5.8	32 26.4
	80~84歳	51 100.0	4 7.8	2 3.9	7 13.7	9 17.6	4 7.8	8 15.7	17 33.3
	85~89歳	13 100.0	3 23.1	3 23.1	0 0.0	3 23.1	2 15.4	0 0.0	2 15.4
	90歳以上	5 100.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0

性別で見ると、男性は女性と比べて、「週5・6日フルタイム(8時間程度)で働く」及び「週に2~4日フルタイム(8時間程度)で働く」の割合が高い。女性は男性と比べて、「短時間勤務(3~4時間程度)で働く」の割合が高い。

年代別に見ると、84歳以下は年代が下がるほど、「週5・6日フルタイム(8時間程度)で働く」及び「週に2~4日フルタイム(8時間程度)で働く」の割合が高い。

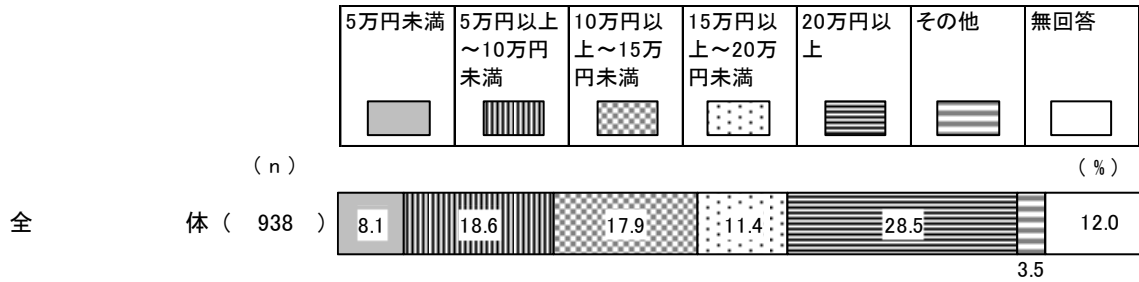


⑥ 希望する収入

○ 「20 万円以上」(28.5%)が最も多く、次いで「5 万円以上～10 万円未満」(18.6%)、「10 万円以上～15 万円未満」(17.9%)

【問 18 で「1. 会社や団体、官庁等に勤務」、「2. 個人商店などで勤務」、「3. 自営業」、「4. シルバー人材センターに登録」、「5. NPO 法人に参加(運営している者も含む)」、「6. その他」、「7. 働いていないが今後働きたい」と回答の方】

問 18-5: 年金受給額とは別に、就労によって月にどのくらいの収入を得たいと思いますか。



<希望する収入(性別)>

上段: 実数(人)  
下段: 構成比(%)

	調査数	1	2	3	4	5	6	無回答	
		5万円未満	5万円以上～10万円未満	10万円以上～15万円未満	15万円以上～20万円未満	20万円以上	その他		
全体	938	76	174	168	107	267	33	113	
	100.0	8.1	18.6	17.9	11.4	28.5	3.5	12.0	
性別	男性	487	18	57	84	64	193	21	50
	100.0	3.7	11.7	17.2	13.1	39.6	4.3	10.3	
性別	女性	444	58	116	83	43	70	12	62
	100.0	13.1	26.1	18.7	9.7	15.8	2.7	14.0	

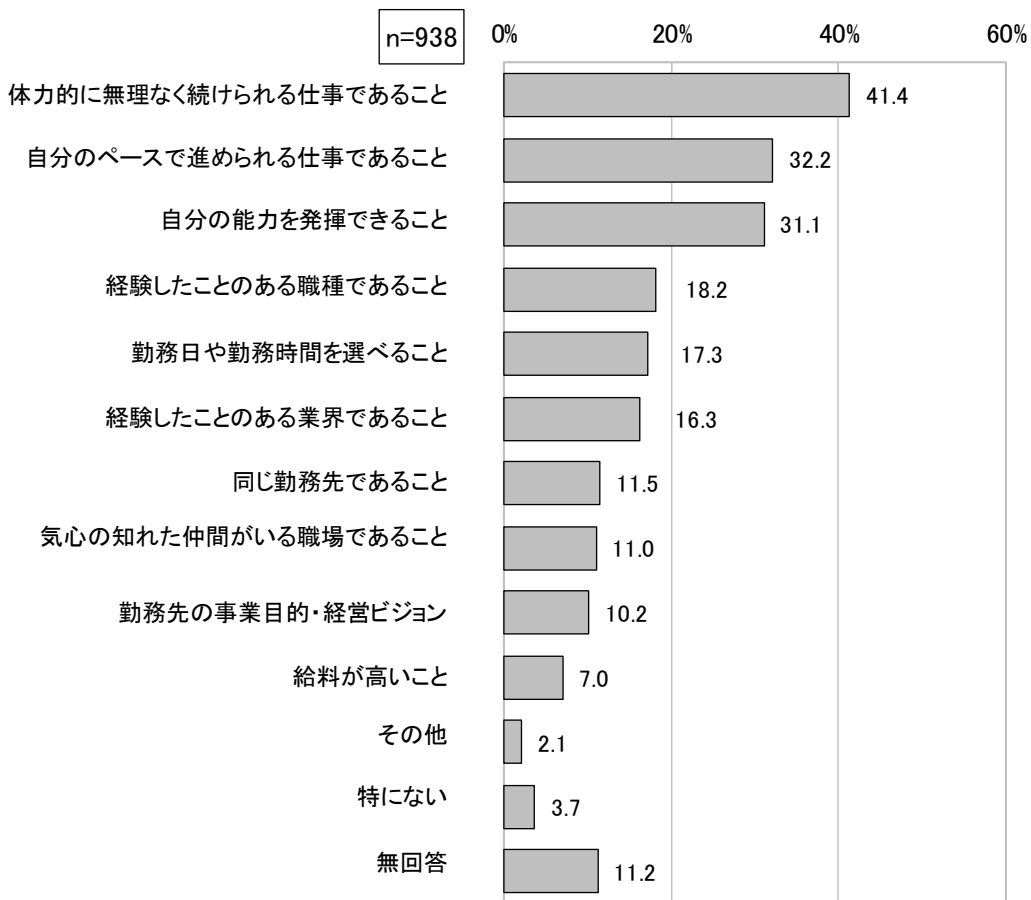
性別で見ると、男性は女性と比べて、「20 万円以上」の割合が高い。女性は男性と比べて、「5 万円未満」及び「5 万円以上～10 万円未満」の割合が高い。

⑦ 働く上で重視すること

○ 「体力的に無理なく続けられる仕事であること」(41.4%)が最も多く、次いで「自分のペースで進められる仕事であること」(32.2%)、「自分の能力を発揮できること」(31.1%)

【問 18 で「1. 会社や団体、官庁等に勤務」、「2. 個人商店などで勤務」、「3. 自営業」、「4. シルバー人材センターに登録」、「5. NPO 法人に参加(運営している者も含む)」、「6. その他」、「7. 働いていないが今後働きたい」と回答の方】

問 18-6: 現在働く上で、重視していることは何ですか。【複数回答:3 つまで】



<働く上で重視すること(性別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

		調査数	1	2	3	4	5	6	7	
			勤務先の事業目的・経営ビジョン	同じ勤務先であること	経験したことがある業界であること	経験したことがある職種であること	給料が高いこと	自分の能力を發揮できること	気心の知れた仲間がいる職場であること	
全体		938 100.0	96 10.2	108 11.5	153 16.3	171 18.2	66 7.0	292 31.1	103 11.0	
性別	男性	487 100.0	71 14.6	56 11.5	98 20.1	85 17.5	45 9.2	180 37.0	48 9.9	
	女性	444 100.0	24 5.4	52 11.7	54 12.2	85 19.1	21 4.7	108 24.3	54 12.2	
		調査数	8	9	10	11	12			
			自分のペースで進められる仕事であること	体力的に無理なく続けられる仕事であること	勤務日や勤務時間を選べること	その他	特になし	無回答		
全体		938 100.0	302 32.2	388 41.4	162 17.3	20 2.1	35 3.7	105 11.2		
性別	男性	487 100.0	153 31.4	180 37.0	64 13.1	10 2.1	18 3.7	51 10.5		
	女性	444 100.0	149 33.6	204 45.9	98 22.1	10 2.3	17 3.8	52 11.7		

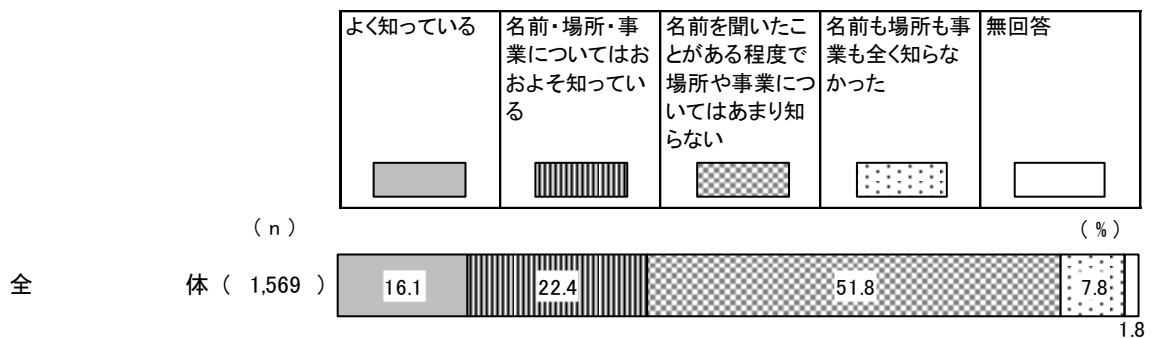
性別で見ると、男性は女性と比べて、「勤務先の事業目的・経営ビジョン」、「経験したことがある業界であること」、「自分の能力を發揮できること」の割合が高い。女性は男性と比べて、「体力的に無理なく続けられる仕事であること」、「勤務日や勤務時間を選べること」の割合が高い。

(3)中央区の施設について

①「中央区シルバー人材センター」に対する認識

○ 「名前を聞いたことがある程度で場所や事業についてはあまり知らない」(51.8%)が最も多い

問 19:あなたは、「中央区シルバー人材センター」をご存知ですか。



ア 高齢者の生活実態調査 (調査A)

<「中央区シルバー人材センター」に対する認識(性/年代別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

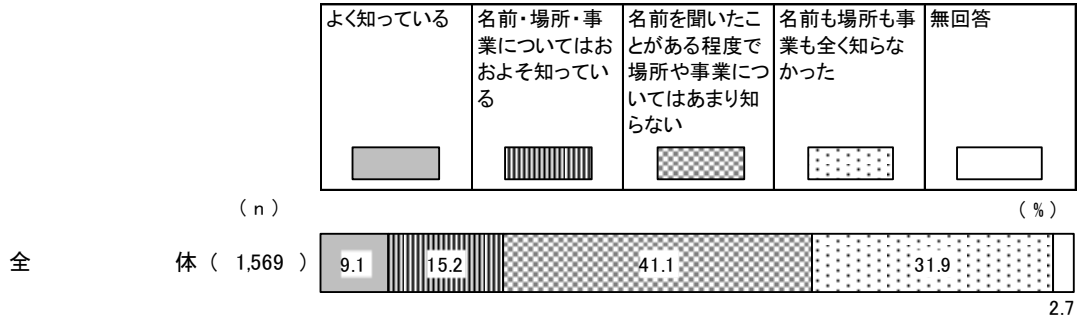
		調査数	1 よく知っている	2 名前・場所・事業については おおよそ知っている	3 名前を聞いたことがある程度で場所や事業については あまり知らない	4 名前も場所も事業も全く知らなかった	無回答
全体		1569 100.0	253 16.1	352 22.4	813 51.8	122 7.8	29 1.8
性・年代別	男性 60～64歳	163 100.0	11 6.7	23 14.1	100 61.3	27 16.6	2 1.2
	男性 65～69歳	157 100.0	20 12.7	43 27.4	71 45.2	22 14.0	1 0.6
	男性 70～74歳	147 100.0	23 15.6	32 21.8	72 49.0	18 12.2	2 1.4
	男性 75～79歳	105 100.0	18 17.1	26 24.8	53 50.5	5 4.8	3 2.9
	男性 80～84歳	70 100.0	14 20.0	12 17.1	36 51.4	6 8.6	2 2.9
	男性 85～89歳	28 100.0	7 25.0	5 17.9	12 42.9	3 10.7	1 3.6
	男性 90歳以上	13 100.0	1 7.7	2 15.4	8 61.5	1 7.7	1 7.7
	女性 60～64歳	190 100.0	14 7.4	44 23.2	123 64.7	9 4.7	0 0.0
	女性 65～69歳	174 100.0	33 19.0	40 23.0	95 54.6	5 2.9	1 0.6
	女性 70～74歳	200 100.0	45 22.5	60 30.0	88 44.0	6 3.0	1 0.5
	女性 75～79歳	151 100.0	34 22.5	41 27.2	67 44.4	5 3.3	4 2.6
	女性 80～84歳	85 100.0	19 22.4	14 16.5	43 50.6	5 5.9	4 4.7
	女性 85～89歳	38 100.0	8 21.1	3 7.9	20 52.6	3 7.9	4 10.5
	女性 90歳以上	10 100.0	2 20.0	1 10.0	5 50.0	2 20.0	0 0.0

性/年代別で見ると、女性は男性と比べて、85歳～89歳を除いた全ての年代で「よく知っている」の割合が高い。

② 無料職業紹介所「シルバーワーク中央」に対する認識

○ 「名前を聞いたことがある程度で場所や事業についてはあまり知らない」(41.1%)が最も多く、次いで「名前も場所も事業も全く知らなかった」(31.9%)

問 20: あなたは、無料職業紹介所「シルバーワーク中央」をご存知ですか。



<無料職業紹介所「シルバーワーク中央」に対する認識(性/年代別)>

上段: 実数(人)  
下段: 構成比(%)

	調査数	1	2	3	4	無回答	
		よく知っている	名前・場所・事業についてはおおよそ知っている	名前を聞いたことがある程度で場所や事業についてはあまり知らない	名前も場所も事業も全く知らなかった		
全体	1569	142	238	645	501	43	
	100.0	9.1	15.2	41.1	31.9	2.7	
性・年代別	男性 60~64歳	163	10	18	68	66	1
		100.0	6.1	11.0	41.7	40.5	0.6
	男性 65~69歳	157	12	30	59	55	1
		100.0	7.6	19.1	37.6	35.0	0.6
	男性 70~74歳	147	15	26	52	50	4
		100.0	10.2	17.7	35.4	34.0	2.7
	男性 75~79歳	105	9	18	48	23	7
		100.0	8.6	17.1	45.7	21.9	6.7
	男性 80~84歳	70	5	7	33	22	3
		100.0	7.1	10.0	47.1	31.4	4.3
	男性 85~89歳	28	0	5	12	8	3
		100.0	0.0	17.9	42.9	28.6	10.7
	男性 90歳以上	13	2	0	6	5	0
		100.0	15.4	0.0	46.2	38.5	0.0
女性 60~64歳	190	13	23	95	57	2	
	100.0	6.8	12.1	50.0	30.0	1.1	
女性 65~69歳	174	17	35	69	52	1	
	100.0	9.8	20.1	39.7	29.9	0.6	
女性 70~74歳	200	30	34	78	55	3	
	100.0	15.0	17.0	39.0	27.5	1.5	
女性 75~79歳	151	15	23	65	43	5	
	100.0	9.9	15.2	43.0	28.5	3.3	
女性 80~84歳	85	7	12	30	29	7	
	100.0	8.2	14.1	35.3	34.1	8.2	
女性 85~89歳	38	3	3	11	15	6	
	100.0	7.9	7.9	28.9	39.5	15.8	
女性 90歳以上	10	2	0	3	5	0	
	100.0	20.0	0.0	30.0	50.0	0.0	

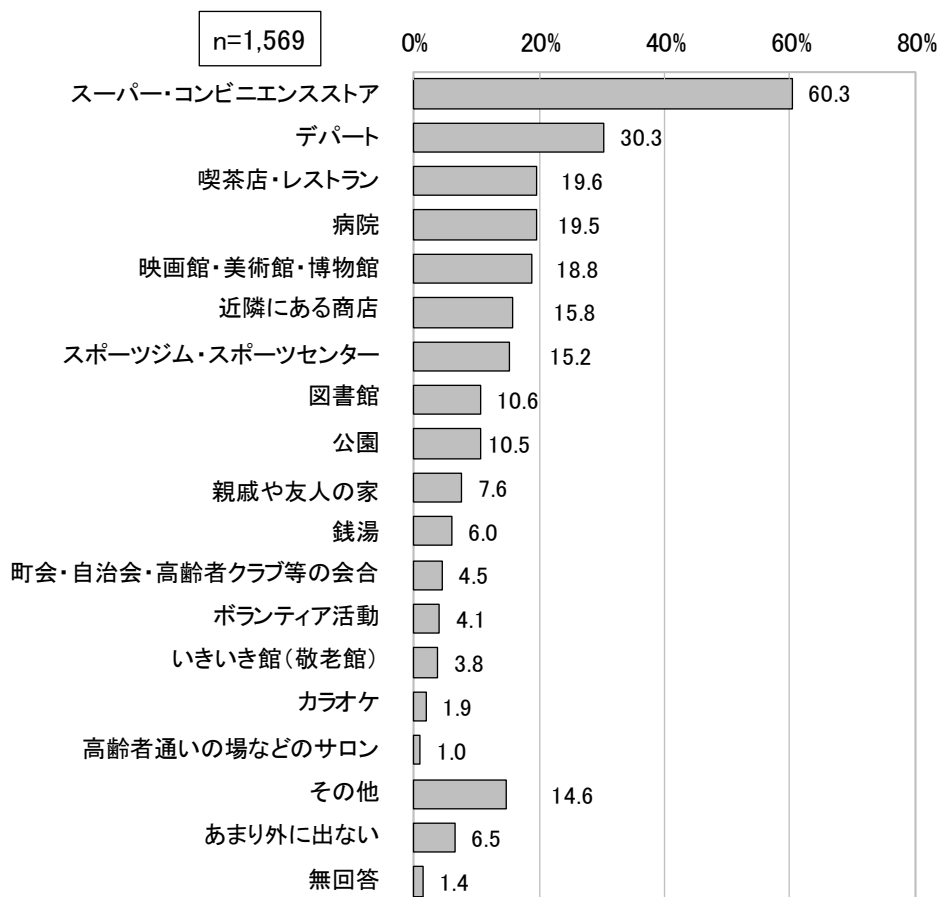
性/年代別で見ると、女性は70~74歳では全体と比べて、「よく知っている」の割合が高い。

## 4. 外出や楽しみ

### (1)外出先

○ 「スーパー・コンビニエンスストア」(60.3%)が最も多い

問 21:あなたは、普段どこへ出かけることが多いですか。(仕事を除く)【複数回答:3 つまで】



<その他の回答>

○デイサービス ○本屋 ○散歩

ア 高齢者の生活実態調査（調査 A）

<外出先(性別・居住形態別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

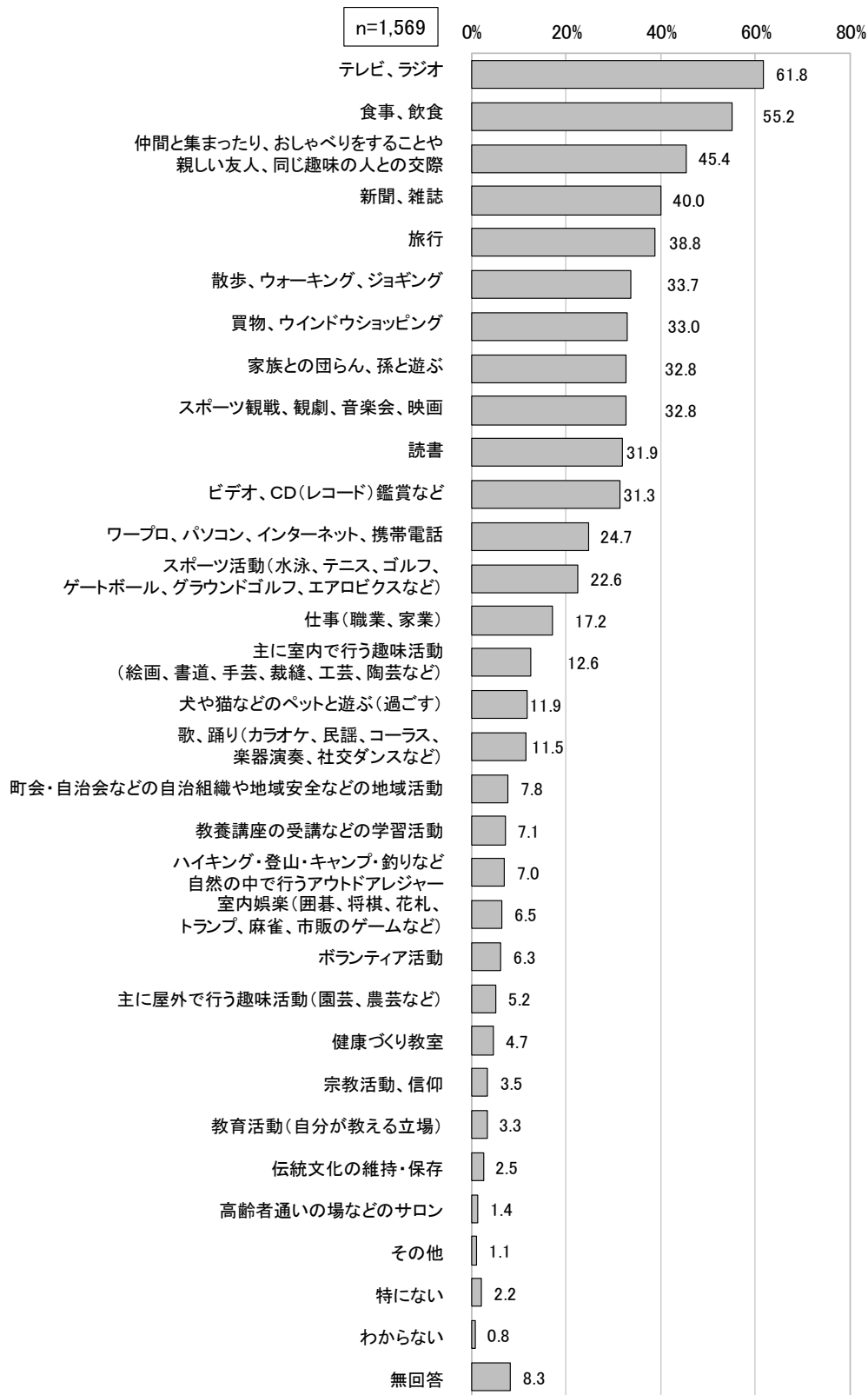
		調査数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
			デパート	ンスーパー・コンビニエ	近隣にある商店	病院	公園	親戚や友人の家	喫茶店・レストラン	館映画館・美術館・博物館	図書館	いきいき館（敬老館）
全体		1569 100.0	476 30.3	946 60.3	248 15.8	306 19.5	165 10.5	120 7.6	308 19.6	295 18.8	167 10.6	60 3.8
性別	男性	699 100.0	154 22.0	379 54.2	87 12.4	121 17.3	101 14.4	32 4.6	157 22.5	124 17.7	69 9.9	13 1.9
	女性	859 100.0	319 37.1	564 65.7	158 18.4	185 21.5	63 7.3	87 10.1	148 17.2	165 19.2	96 11.2	47 5.5
居住形態	〔一戸建て計〕	312 100.0	81 26.0	192 61.5	49 15.7	61 19.6	27 8.7	24 7.7	48 15.4	47 15.1	30 9.6	8 2.6
	〔集合住宅計〕	1175 100.0	370 31.5	708 60.3	185 15.7	217 18.5	127 10.8	88 7.5	246 20.9	232 19.7	132 11.2	49 4.2
		調査数	11	12	13	14	15	16	17	18		
			銭湯	カラオケ	ク町会・自治会・高齢者	ツスポーツセンター・ジム・スポーツ	ボランティア活動	サ高齢者通いの場などのサロン	その他	あまり外に出ない	無回答	
全体		1569 100.0	94 6.0	30 1.9	71 4.5	238 15.2	65 4.1	15 1.0	229 14.6	102 6.5	22 1.4	
性別	男性	699 100.0	46 6.6	17 2.4	39 5.6	111 15.9	21 3.0	4 0.6	119 17.0	58 8.3	15 2.1	
	女性	859 100.0	48 5.6	13 1.5	32 3.7	123 14.3	44 5.1	11 1.3	109 12.7	44 5.1	7 0.8	
居住形態	〔一戸建て計〕	312 100.0	24 7.7	6 1.9	26 8.3	37 11.9	13 4.2	3 1.0	50 16.0	25 8.0	8 2.6	
	〔集合住宅計〕	1175 100.0	64 5.4	23 2.0	43 3.7	189 16.1	50 4.3	11 0.9	167 14.2	74 6.3	13 1.1	

性別で見ると、男性は女性と比べて、「公園」及び「喫茶店・レストラン」の割合が高い。  
居住形態別で見ると、集合住宅は一戸建てと比べて、「デパート」及び「喫茶店・レストラン」の割合が高い。

(2)日頃の楽しみ

○ 「テレビ、ラジオ」(61.8%)が最も多く、次いで「食事、飲食」(55.2%)

問 22(1):あなたが、普段の生活で楽しいことは何ですか。【複数回答】





ア 高齢者の生活実態調査（調査A）

<日頃の楽しみ(性別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

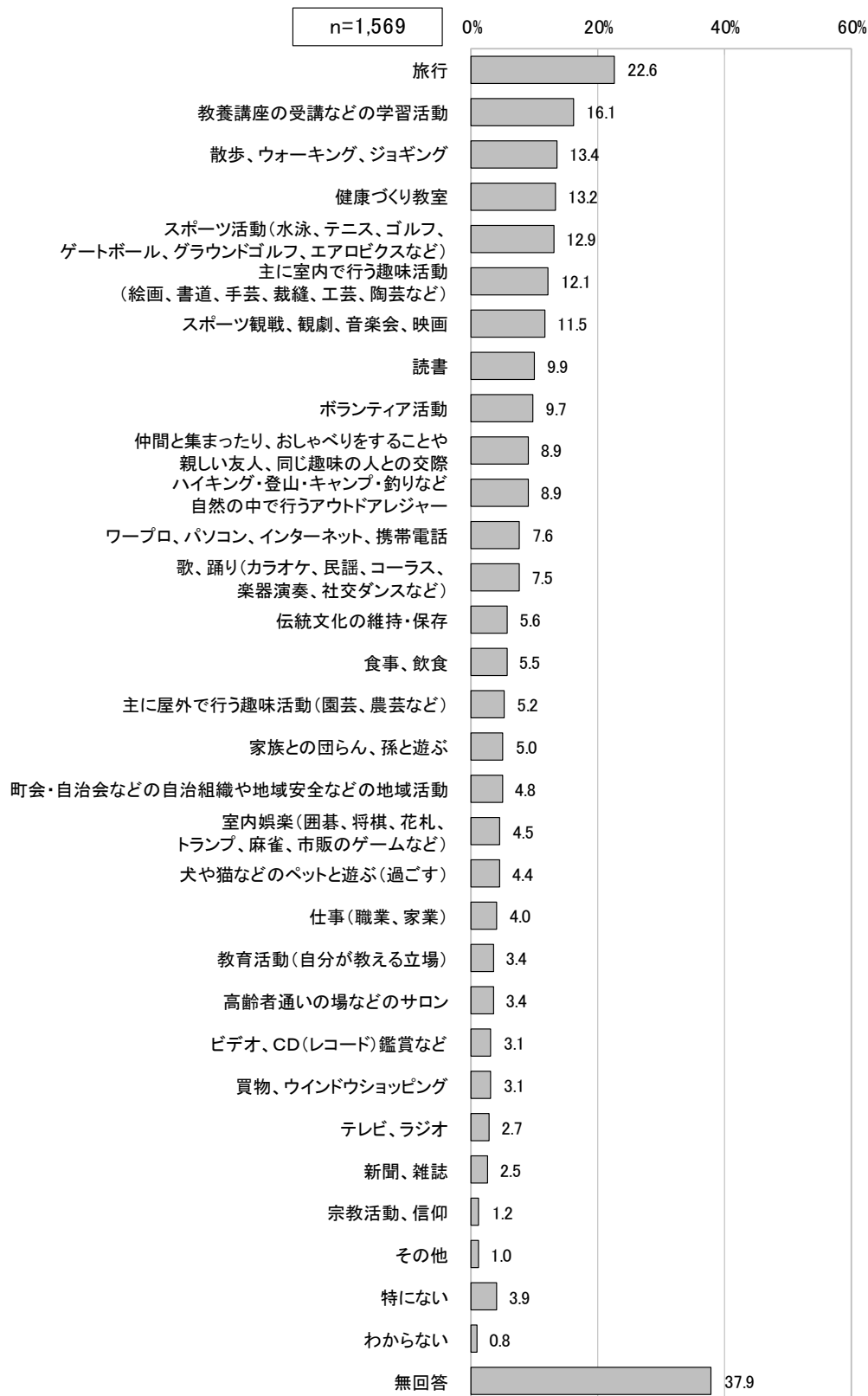
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
調査数		テレビ、ラジオ	ビデオ、CD(レコード)鑑賞など	新聞、雑誌	家族との団らん、孫と遊ぶ	仲間と集まったり、おしゃべりをする人や親しい友人、同じ趣味の人との交際	犬や猫などのペットと遊ぶ(過ごす)	食事、飲食	買物、ウインドウショッピング	スポーツ活動(水泳、テニス、ゴルフ、ゲートボール、グラウンドゴルフ、エアロビクスなど)	散歩、ウォーキング、ジョギング	ハイキング・登山・キャンプ・釣りなど自然の中で行うアウトドアレジャー	
全体		1569 100.0	969 61.8	491 31.3	628 40.0	515 32.8	713 45.4	187 11.9	866 55.2	517 33.0	355 22.6	529 33.7	110 7.0
性別	男性	699 100.0	434 62.1	234 33.5	279 39.9	218 31.2	255 36.5	63 9.0	389 55.7	146 20.9	192 27.5	257 36.8	67 9.6
	女性	859 100.0	528 61.5	253 29.5	344 40.0	293 34.1	453 52.7	122 14.2	473 55.1	366 42.6	157 18.3	268 31.2	43 5.0
調査数		12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
調査数		旅行	読書	主に室内で行う趣味活動(絵画、書道、手芸、裁縫、工芸、陶芸など)	主に屋外で行う趣味活動(園芸、農芸など)	歌、踊り(カラオケ、民謡、コーラス、楽器演奏、社交ダンスなど)	スポーツ観戦、観劇、音楽会、映画	ワープロ、パソコン、インターネット、携帯電話	室内娯楽(囲碁、将棋、花札、トランプ、麻雀、市販のゲームなど)	教養講座の受講などの学習活動	町会・自治会などの自治組織や地域安全などの地域活動	伝統文化の維持・保存	
全体		1569 100.0	609 38.8	501 31.9	197 12.6	81 5.2	181 11.5	514 32.8	387 24.7	102 6.5	111 7.1	122 7.8	39 2.5
性別	男性	699 100.0	251 35.9	219 31.3	26 3.7	33 4.7	66 9.4	202 28.9	201 28.8	61 8.7	32 4.6	62 8.9	20 2.9
	女性	859 100.0	353 41.1	279 32.5	170 19.8	48 5.6	115 13.4	310 36.1	182 21.2	41 4.8	76 8.8	58 6.8	19 2.2
調査数		23	24	25	26	27	28	29	30	31			
調査数		宗教活動、信仰	仕事(職業、家業)	教育活動(自分が教える立場)	ボランティア活動	高齢者通いの場などのサロン	健康づくり教室	その他	特にない	わからない	無回答		
全体		1569 100.0	55 3.5	270 17.2	51 3.3	99 6.3	22 1.4	73 4.7	18 1.1	35 2.2	13 0.8	131 8.3	
性別	男性	699 100.0	20 2.9	142 20.3	22 3.1	36 5.2	5 0.7	12 1.7	8 1.1	21 3.0	7 1.0	65 9.3	
	女性	859 100.0	33 3.8	125 14.6	29 3.4	63 7.3	17 2.0	59 6.9	10 1.2	14 1.6	6 0.7	64 7.5	

性別で見ると、男性は女性と比べて、「スポーツ活動(水泳、テニス、ゴルフ、ゲートボール、グラウンドゴルフ、エアロビクスなど)」、「散歩、ウォーキング、ジョギング」、「ワープロ、パソコン、インターネット、携帯電話」及び「仕事(職業、家業)」の割合が高い。女性は男性と比べて、「仲間と集まったり、おしゃべりをする人や親しい友人、同じ趣味の人との交際」及び「買物、ウインドウショッピング」の割合が高い。

(3) 今後取組みたいこと

○ 今後取組みたいことは「旅行」(22.6%)が最も多く、次いで「教養講座の受講などの学習活動」(16.1%)

問 22(2): あなたが、今後取組みたいことは何ですか。【複数回答】



ア 高齢者の生活実態調査（調査A）

＜今後取組みたいこと(性別)＞

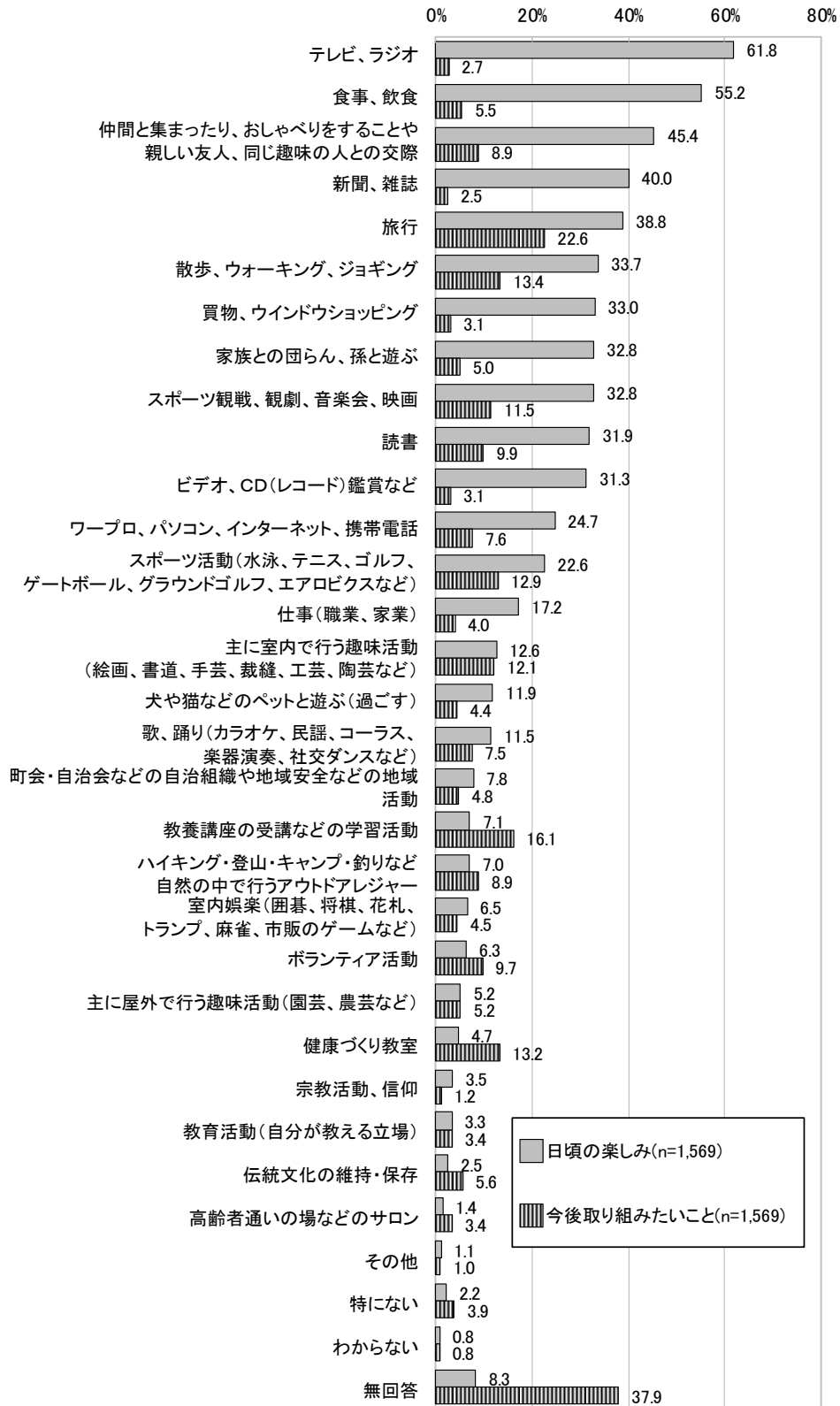
上段：実数(人)  
下段：構成比(%)

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
調査数		テレビ、ラジオ	ビデオ、CD(レコード)鑑賞など	新聞、雑誌	家族との団らん、孫と遊ぶ	仲間と集まったり、おしゃべりをする事や親しい友人、同じ趣味の人との交際	犬や猫などのペットと遊ぶ(過ごす)	食事、飲食	買物、ウィンドウショッピング	スポーツ活動(水泳、テニス、ゴルフ、ゲートボール、グラウンドゴルフ、エアロビクスなど)	散歩、ウォーキング、ジョギング	ハイキング・登山・キャンプ・釣りなど自然の中で行うアウトドアレジャー	
全体		1569 100.0	42 2.7	48 3.1	39 2.5	78 5.0	140 8.9	69 4.4	86 5.5	48 3.1	202 12.9	211 13.4	139 8.9
性別	男性	699 100.0	20 2.9	21 3.0	18 2.6	48 6.9	73 10.4	48 6.9	48 6.9	20 2.9	99 14.2	95 13.6	79 11.3
	女性	859 100.0	22 2.6	27 3.1	21 2.4	30 3.5	66 7.7	21 2.4	38 4.4	28 3.3	103 12.0	116 13.5	60 7.0
調査数		12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
調査数		旅行	読書	主に室内で行う趣味活動(絵画、書道、手芸、裁縫、工芸、陶芸など)	主に屋外で行う趣味活動(園芸、農芸など)	歌、踊り(カラオケ、民謡、コーラス、楽器演奏、社交ダンスなど)	スポーツ観戦、観劇、音楽会、映画	ワープロ、パソコン、インターネット、携帯電話	室内娯楽(囲碁、将棋、花札、トランプ、麻雀、市販のゲームなど)	教養講座の受講などの学習活動	町会・自治会などの自治組織や地域安全などの地域活動	伝統文化の維持・保存	
全体		1569 100.0	354 22.6	156 9.9	190 12.1	82 5.2	118 7.5	181 11.5	119 7.6	71 4.5	253 16.1	76 4.8	88 5.6
性別	男性	699 100.0	167 23.9	70 10.0	55 7.9	41 5.9	43 6.2	87 12.4	45 6.4	38 5.4	90 12.9	41 5.9	45 6.4
	女性	859 100.0	187 21.8	86 10.0	133 15.5	41 4.8	75 8.7	94 10.9	74 8.6	33 3.8	163 19.0	35 4.1	43 5.0
調査数		23	24	25	26	27	28	29	30	31			
調査数		宗教活動、信仰	仕事(職業、家業)	教育活動(自分が教える立場)	ボランティア活動	高齢者通いの場などのサロン	健康づくり教室	その他	特にない	わからない	無回答		
全体		1569 100.0	19 1.2	63 4.0	53 3.4	152 9.7	53 3.4	207 13.2	15 1.0	61 3.9	12 0.8	594 37.9	
性別	男性	699 100.0	11 1.6	38 5.4	33 4.7	70 10.0	25 3.6	72 10.3	7 1.0	25 3.6	4 0.6	266 38.1	
	女性	859 100.0	8 0.9	25 2.9	20 2.3	79 9.2	28 3.3	133 15.5	8 0.9	36 4.2	8 0.9	321 37.4	

性別で見ると、男性は女性と比べて、「犬や猫などのペットと遊ぶ(過ごす)」及び「ハイキング・登山・キャンプ・釣りなど自然の中で行うアウトドアレジャー」の割合が高い。女性は男性と比べて、「主に室内で行う趣味活動(絵画、書道、手芸、裁縫、工芸、陶芸など)」、「教養講座の受講などの学習活動」及び「健康づくり教室」の割合が高い。

問 22(1):あなたが、普段の生活で楽しいことは何ですか。【複数回答】

問 22(2):あなたが、今後取組みたいことは何ですか。【複数回答】の比較



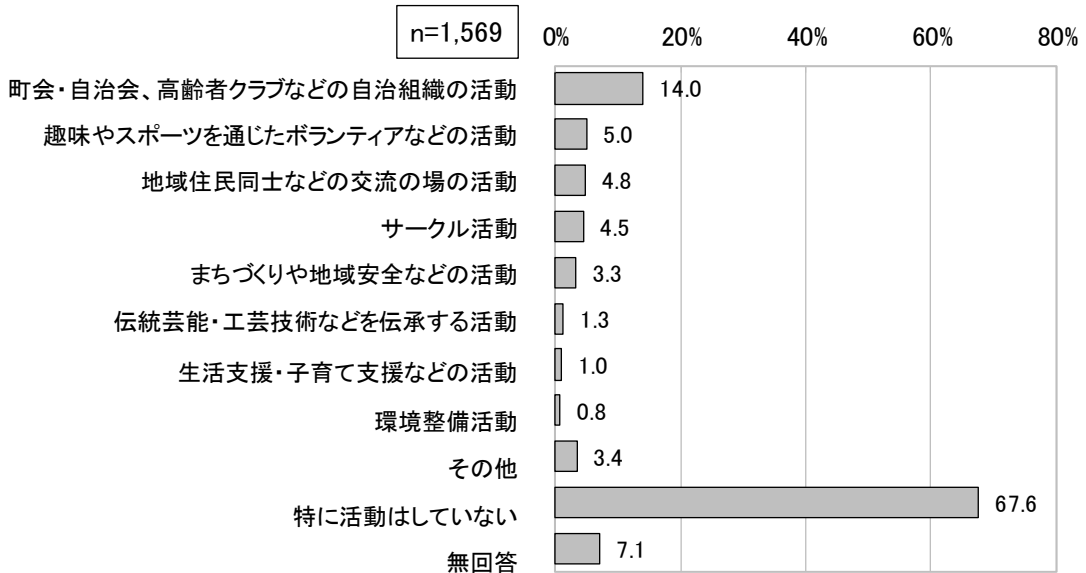
「日頃の楽しみ」より「今後取組みたいこと」の割合が高いのは、「教養講座の受講などの学習活動」、「健康づくり教室」、「ボランティア活動」、「伝統文化の維持・保存」及び「高齢者通いの場などのサロン」であった。

### 5. 社会的な活動や地域活動への参加状況

#### (1)社会的な活動や地域活動への参加状況

○ 「特に活動はしていない」 (67.6%)が最も多い

問 23: あなたは現在、支援したり運営したりする側(担い手)として、何らかの社会的な活動や地域活動を行っていますか。【複数回答】



<社会的な活動や地域活動への参加状況(性別・年代別・居住形態別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

	調査数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	[活動している計]	無回答	
		町会・自治会、高齢者クラブなどの自治組織の活動	地域住民同士などの交流の場の活動	まちづくりや地域安全などの活動	サークル活動	環境整備活動	趣味やスポーツを通じたボランティアなどの活動	伝統芸能・工芸技術などを伝承する活動	生活支援・子育て支援などの活動	その他	特に活動はしていない			
全体	1569	219	76	51	70	12	79	21	16	54	1060	398	111	
	100.0	14.0	4.8	3.3	4.5	0.8	5.0	1.3	1.0	3.4	67.6	25.4	7.1	
性別	男性	699	114	32	28	20	7	35	8	6	27	469	189	41
		100.0	16.3	4.6	4.0	2.9	1.0	5.0	1.1	0.9	3.9	67.1	27.0	5.9
性別	女性	859	103	42	22	47	5	44	13	10	26	587	204	68
		100.0	12.0	4.9	2.6	5.5	0.6	5.1	1.5	1.2	3.0	68.3	23.7	7.9
年代別	60~64歳	353	33	9	7	12	2	17	2	2	13	275	70	8
		100.0	9.3	2.5	2.0	3.4	0.6	4.8	0.6	0.6	3.7	77.9	19.8	2.3
	65~69歳	331	47	19	12	14	1	18	3	5	10	229	82	20
		100.0	14.2	5.7	3.6	4.2	0.3	5.4	0.9	1.5	3.0	69.2	24.8	6.0
	70~74歳	347	64	25	19	15	3	17	6	6	9	225	105	17
		100.0	18.4	7.2	5.5	4.3	0.9	4.9	1.7	1.7	2.6	64.8	30.3	4.9
	75~79歳	257	39	12	8	14	3	16	5	3	10	161	72	24
		100.0	15.2	4.7	3.1	5.4	1.2	6.2	1.9	1.2	3.9	62.6	28.0	9.3
80~84歳	155	18	4	1	10	3	5	3	0	10	95	36	24	
	100.0	11.6	2.6	0.6	6.5	1.9	3.2	1.9	0.0	6.5	61.3	23.2	15.5	
85~89歳	66	9	3	2	2	0	3	1	0	1	40	17	9	
	100.0	13.6	4.5	3.0	3.0	0.0	4.5	1.5	0.0	1.5	60.6	25.8	13.6	
90歳以上	23	3	1	0	0	0	0	1	0	0	15	5	3	
	100.0	13.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	65.2	21.7	13.0	
形態別	〔一戸建て計〕	312	80	27	20	16	4	19	3	4	13	171	116	25
		100.0	25.6	8.7	6.4	5.1	1.3	6.1	1.0	1.3	4.2	54.8	37.2	8.0
形態別	〔集合住宅計〕	1175	126	44	27	49	7	55	16	12	40	844	258	73
		100.0	10.7	3.7	2.3	4.2	0.6	4.7	1.4	1.0	3.4	71.8	22.0	6.2

性別で見ると、男性は女性に比べて、「町会・自治会・高齢者クラブなどの自治組織の活動」の割合がやや高い。

年代別で見ると、70~79歳では他の年代と比べて、何らかの「活動をしている」割合が高い。

居住形態別で見ると、一戸建ては集合住宅と比べて、「町会・自治会、高齢者クラブなどの自治組織の活動」の割合が高い。

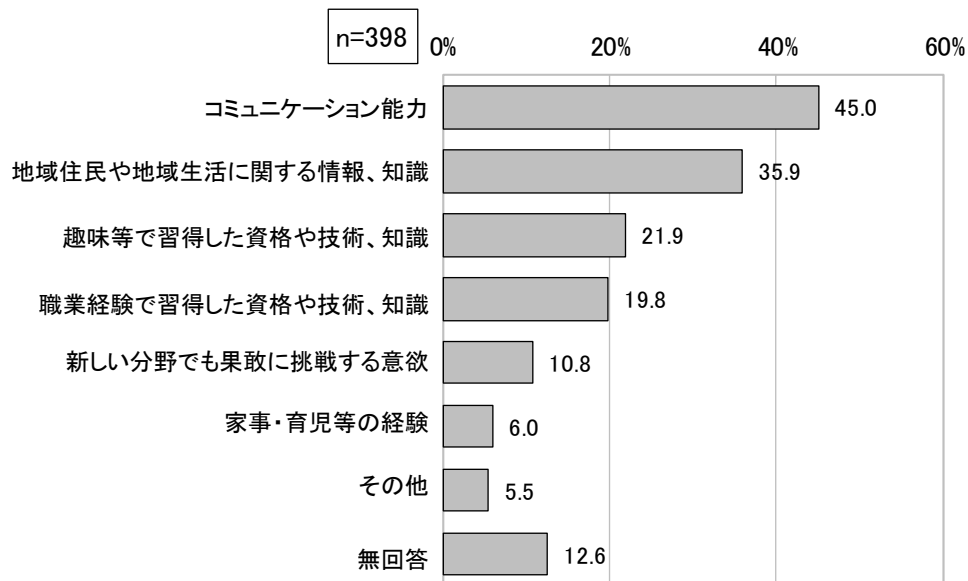
(2)現在行っている活動について

① 役立っている能力・知識

- 「コミュニケーション能力」(45.0%)が最も多く、次いで「地域住民や地域生活に関する情報、知識」(35.9%)

【問 23 で何らかの社会的な活動や地域活動を行っている方と回答の方】

問 23-1: 現在行っている社会的な活動や地域活動において、役立っている能力、知識についてあてはまるものは何ですか。【複数回答】



<その他の回答>

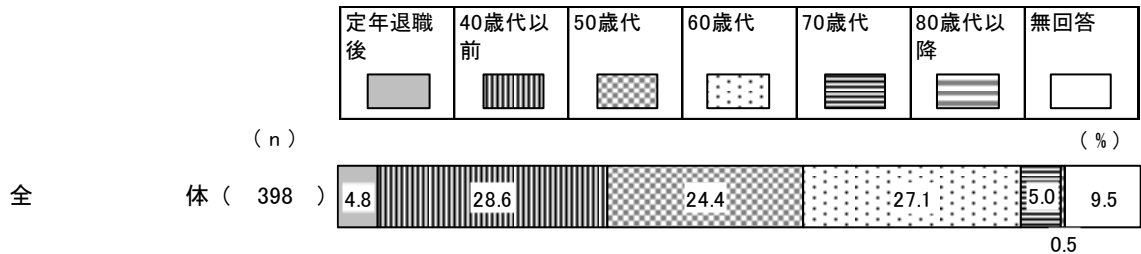
- 楽器演奏の能力 ○宗教関連の知識

② 活動を始めた時期

○ 「40 歳代以前」(28.6%)が最も多く、次いで「60 歳代」(27.1%)

【問 23 で何らかの社会的な活動や地域活動を行っている方】

問 23-2: 現在行っている社会的な活動や地域活動を始めた時期はいつ頃ですか。複数の活動をしている場合は、最も古いものについてお答えください。



<活動を始めた時期(性別・居住形態別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

	調査数	1	2	3	4	5	6	無回答	
		定年退職後	40歳代以前	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以降		
全体	398	19	114	97	108	20	2	38	
	100.0	4.8	28.6	24.4	27.1	5.0	0.5	9.5	
性別	男性	189	11	71	36	48	9	1	13
	100.0	5.8	37.6	19.0	25.4	4.8	0.5	6.9	
女性	204	8	42	58	59	11	1	25	
	100.0	3.9	20.6	28.4	28.9	5.4	0.5	12.3	
居住形態	[一戸建て計]	116	6	42	29	19	5	0	15
	100.0	5.2	36.2	25.0	16.4	4.3	0.0	12.9	
[集合住宅計]	258	13	64	63	82	14	0	22	
	100.0	5.0	24.8	24.4	31.8	5.4	0.0	8.5	

性別で見ると、男性は女性と比べて、「40 歳代以前」の割合が高い。女性は男性と比べて、「50 歳代」及び「60 歳代」の割合が高い。

居住形態別で見ると、一戸建ては集合住宅と比べて、「40 歳代以前」の割合が高い。集合住宅は一戸建てと比べて、「60 歳代」の割合が高い。

③ 活動に対する支払額

○ 「完全に無償」(68.6%)が最も多い

【問 23 で何らかの社会的な活動や地域活動を行っている方と回答の方】

問 23-3: 現在行っている社会的な活動や地域活動は有償ですか。複数の活動をしている場合は、最も力を入れている活動についてお答えください。



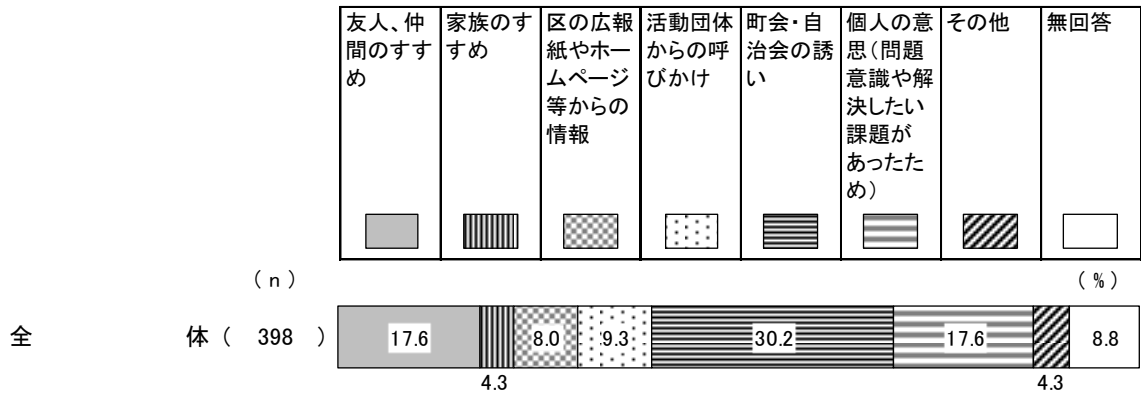


④ 活動を始めたきっかけ

○ 「町会・自治会の誘い」(30.2%)が最も多く、次いで「友人、仲間のすすめ」(17.6%)、「個人の意思(問題意識や解決したい課題があったため)」(17.6%)

【問 23 で何らかの社会活動や地域活動を行っていると回答の方】

問 23-4: 現在行っている社会的な活動や地域活動を始めたきっかけは何ですか。複数の活動をしている場合は、最も力を入れている活動についてお答えください。



<その他の回答>

- 地域の方々からの依頼
- 区内に該当する団体が無く、自ら立ち上げたため
- 先代よりの引継ぎ

<活動を始めたきっかけ(性別・居住地域別・居住形態別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

	調査数	1	2	3	4	5	6	7	無回答	
		友人、仲間のすすめ	家族のすすめ	区の広報紙やホームページ等からの情報	活動団体からの呼びかけ	町会・自治会の誘い	個人の意思(問題意識や解決したい課題があったため)	その他		
全体	398	70	17	32	37	120	70	17	35	
	100.0	17.6	4.3	8.0	9.3	30.2	17.6	4.3	8.8	
性別	男性	189	28	9	7	16	69	42	6	12
	100.0	14.8	4.8	3.7	8.5	36.5	22.2	3.2	6.3	
女性	204	41	8	24	21	49	28	11	22	
	100.0	20.1	3.9	11.8	10.3	24.0	13.7	5.4	10.8	
居住地域	京橋地域	93	16	2	6	11	34	12	7	5
	100.0	17.2	2.2	6.5	11.8	36.6	12.9	7.5	5.4	
	日本橋地域	143	25	8	13	14	47	22	2	12
100.0	17.5	5.6	9.1	9.8	32.9	15.4	1.4	8.4		
月島地域	157	28	7	12	12	37	36	8	17	
100.0	17.8	4.5	7.6	7.6	23.6	22.9	5.1	10.8		
形態住	〔一戸建て計〕	116	18	4	4	8	51	13	4	14
	100.0	15.5	3.4	3.4	6.9	44.0	11.2	3.4	12.1	
〔集合住宅計〕	258	46	13	27	26	59	55	12	20	
100.0	17.8	5.0	10.5	10.1	22.9	21.3	4.7	7.8		

性別で見ると、男性は女性と比べて、「町会・自治会の誘い」の割合が高い。

居住地域別で見ると、京橋地域は他の地域と比べて、「町会・自治会の誘い」の割合がやや高い。

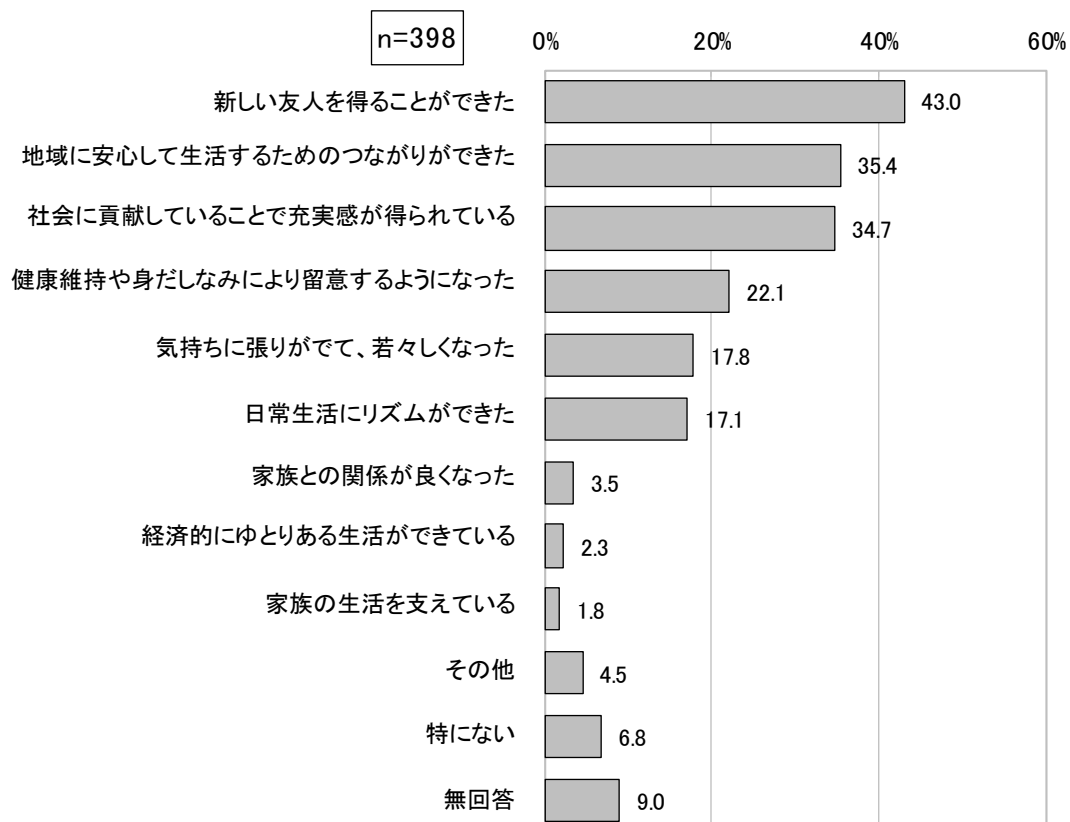
居住形態別で見ると、一戸建ては集合住宅に比べて、「町会・自治会の誘い」の割合が高い。

⑤ 活動をしていてよかったこと

- 「新しい友人を得ることができた」(43.0%)が最も多く、次いで「地域に安心して生活するためのつながりができた」(35.4%)、「社会に貢献していることで充実感が得られている」(34.7%)

【問 23 で何らかの社会的な活動や地域活動を行っているとは回答の方】

問 23-5: 現在、社会的な活動や地域活動をしていてよかったと思うことは何ですか。複数の活動をしている場合は、最も力を入れている活動についてお答えください。【複数回答】



<活動をしていてよかったこと(性別・居住形態別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

	調査数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		
		家族の生活を支えている	地域に安心して生活するためのつながりができた	家族との関係が良くなった	新しい友人を得ることができた	日常生活にリズムができた	経済的にゆとりある生活ができている	社会に貢献していることで充実感が得られている	健康維持や身だしなみにより留意するようになった	気持ちに張りがでて、若々しくなった	その他	特になし	無回答	
全体	398 100.0	7 1.8	141 35.4	14 3.5	171 43.0	68 17.1	9 2.3	138 34.7	88 22.1	71 17.8	18 4.5	27 6.8	36 9.0	
性別	男性	189 100.0	3 1.6	68 36.0	6 3.2	73 38.6	20 10.6	7 3.7	76 40.2	31 16.4	28 14.8	6 3.2	16 8.5	13 6.9
	女性	204 100.0	4 2.0	72 35.3	8 3.9	95 46.6	47 23.0	2 1.0	60 29.4	54 26.5	42 20.6	12 5.9	11 5.4	23 11.3
形態別	[一戸建て計]	116 100.0	2 1.7	59 50.9	5 4.3	49 42.2	17 14.7	2 1.7	30 25.9	26 22.4	21 18.1	3 2.6	7 6.0	14 12.1
	[集合住宅計]	258 100.0	5 1.9	74 28.7	8 3.1	113 43.8	47 18.2	6 2.3	101 39.1	53 20.5	46 17.8	14 5.4	19 7.4	22 8.5

性別で見ると、男性は女性と比べて、「社会に貢献していることで充実感が得られている」の割合が高い。女性は男性と比べて、「新しい友人を得ることができた」、「日常生活にリズムができた」及び「健康維持や身だしなみにより留意するようになった」の割合が高い。

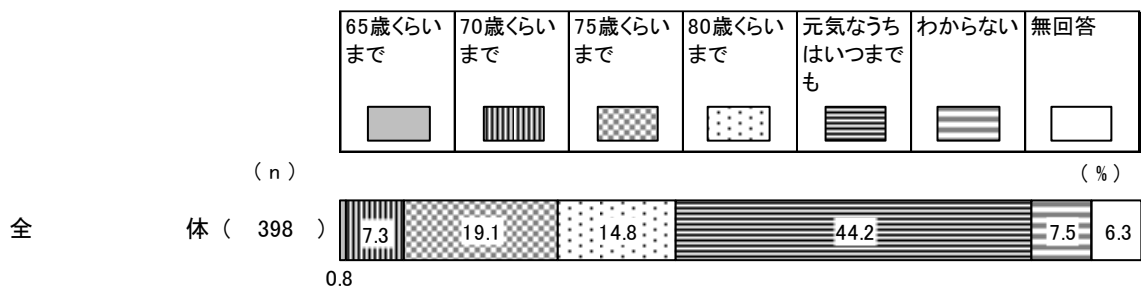
居住形態別で見ると、一戸建ては集合住宅と比べて「地域に安心して生活するためのつながりができた」の割合が高い。集合住宅は一戸建てと比べて、「社会に貢献していることで充実感が得られている」の割合が高い。

⑥ 活動を続けたい年齢

○ 「元気なうちはいつまでも」(44.2%)が最も多く、次いで「75歳くらいまで」(19.1%)

【問 23 で何らかの社会的な活動や地域活動を行っている方】

問 23-6: 何歳まで社会的な活動や地域活動を続けたいですか。

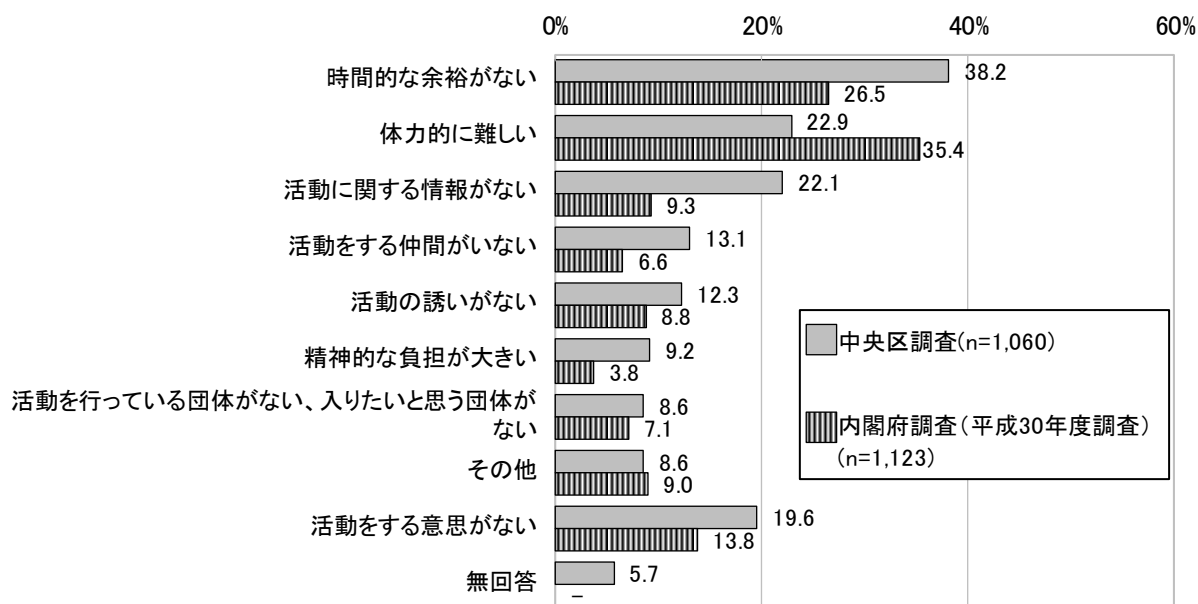


### (3)社会的な活動等を行っていない理由

○ 「時間的な余裕がない」(38.2%)が最も多く、次いで「体力的に難しい」(22.9%)

#### 【問23で「10. 特に活動はしていない」と回答の方】

問23-7: 現在、支援したり運営したりする側(担い手)として社会的な活動や地域活動をしていない理由は何ですか。【複数回答】



#### <その他の回答>

- 孫の世話をしているため ○病気が多く通院が多いため ○家族の介護に追われている
- なんとなく ○人づきあいが苦手なため

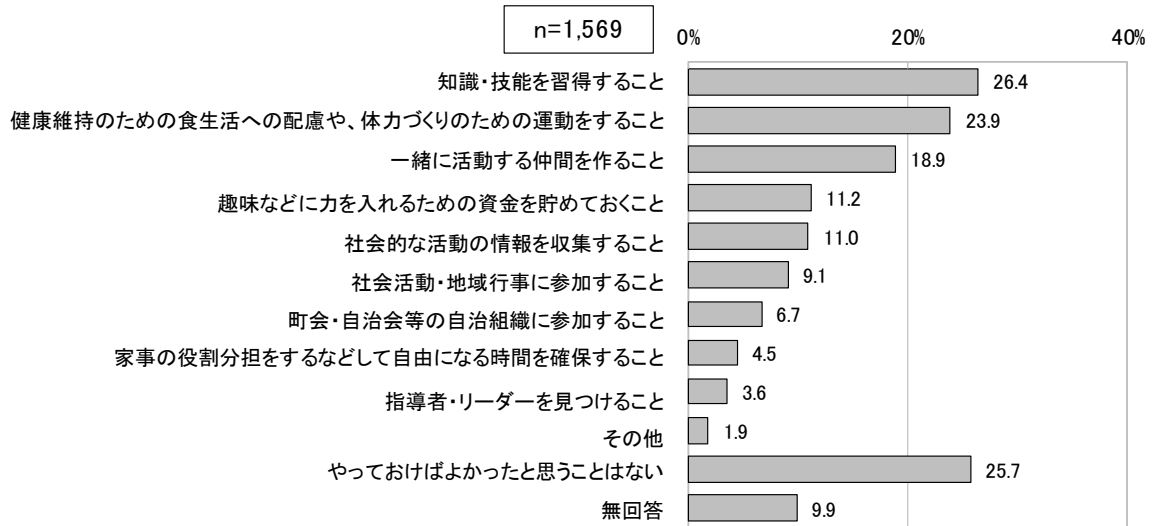
中央区と内閣府の調査結果を比較すると、中央区は全国と比べて、「時間的な余裕がない」及び「活動に関する情報がない」の割合が高く、「体力的に難しい」の割合が低い。

(4)以前からやっておけばよかったこと

- 「知能・技能を習得すること」が 26.4%、「健康維持のための食生活への配慮や、体力づくりのための運動をすること」が 23.9%

問 24:あなたが、今より活躍するために、もっと以前からやっておけばよかったと思うことは何ですか。

【複数回答】



ア 高齢者の生活実態調査（調査A）

<以前からやっておけばよかったこと(性別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

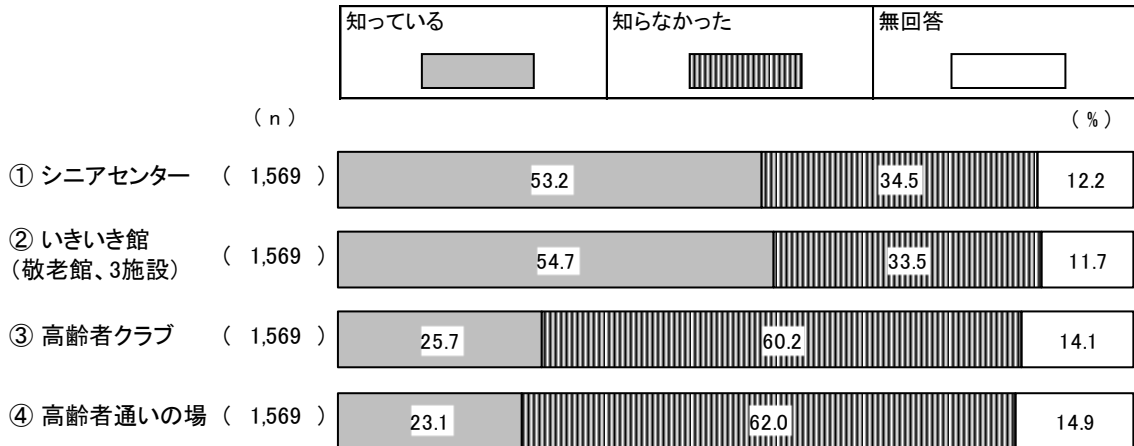
		調査数	1	2	3	4	5	6
			一緒に活動する仲間を作ること	指導者・リーダーを見つけること	社会活動・地域行事に参加すること	町会・自治会等の自治組織に参加すること	知識・技能を習得すること	社会的な活動の情報を収集すること
全体		1569 100.0	296 18.9	57 3.6	143 9.1	105 6.7	414 26.4	173 11.0
性別	男性	699 100.0	161 23.0	23 3.3	69 9.9	57 8.2	172 24.6	81 11.6
	女性	859 100.0	134 15.6	33 3.8	73 8.5	47 5.5	242 28.2	91 10.6
		調査数	7	8	9	10	11	
			趣味などに力を入れるための資金を貯めておくこと	家事の役割分担をするなどして自由になる時間を確保すること	健康維持のための食生活への配慮や、体力づくりのための運動をすること	その他	やっておけばよかったと思うことはない	無回答
全体		1569 100.0	175 11.2	70 4.5	375 23.9	30 1.9	403 25.7	155 9.9
性別	男性	699 100.0	91 13.0	12 1.7	178 25.5	15 2.1	194 27.8	49 7.0
	女性	859 100.0	84 9.8	58 6.8	195 22.7	14 1.6	206 24.0	103 12.0

性別で見ると、男性は女性と比べて、「一緒に活動する仲間を作ること」の割合が高い。

(5)中央区の高齢者施設について

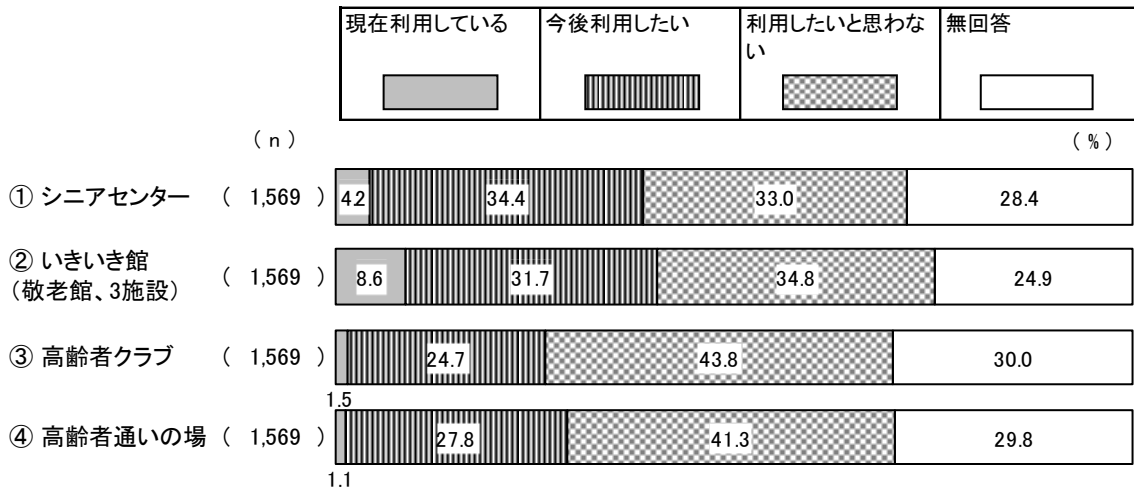
① 認知度

問 25(1): 中央区には高齢者を対象とした次のような施設・団体があります。あなたは、これらについてご存知ですか。



② 利用意向

問 25(2): 中央区には高齢者を対象とした次のような施設・団体があります。あなたは、これらを利用したいと思いませんか。



【中央区の高齢者施設・団体】

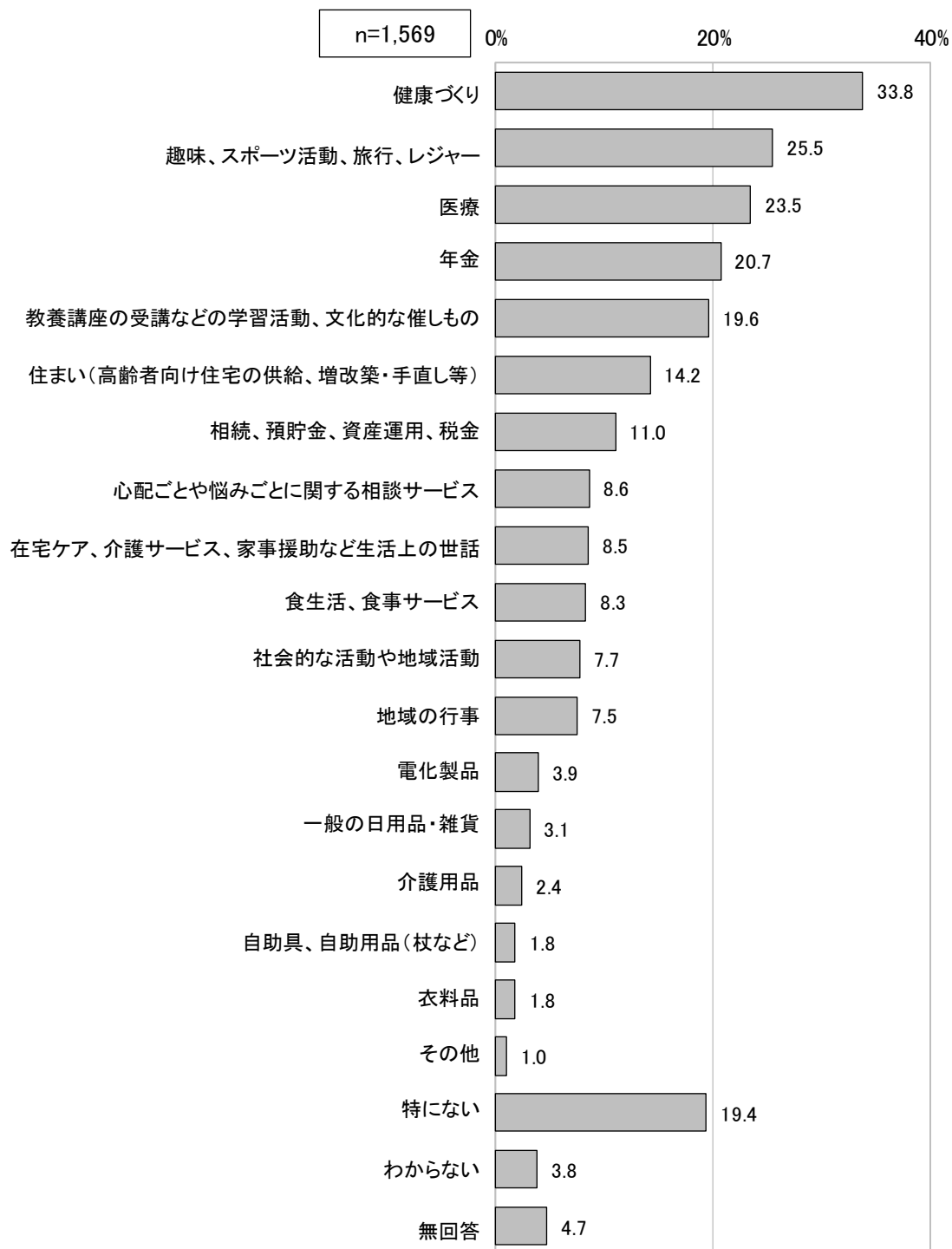
シニアセンター	区内在住、在勤の中高齢者が主体的かつ積極的に、学習・文化・レクリエーション・ボランティア活動等を行うことができる拠点です
いきいき館 (敬老館、3施設)	区内に居住する60歳以上の登録者が憩いや娯楽の場として、浴場などを利用できるほか、体操、コーラス、英会話などの各種講習会、コンサート等の催しや健康相談等を行っています
高齢者クラブ	地域を拠点に、おおむね60歳以上の高齢者を会員として、高齢者の知識や経験をいかし、生きがいと健康づくりのための多様な社会活動を行っています
高齢者通いの場	地域の方が運営し、健康づくりや介護予防などにつながるさまざまなプログラムを行っています

## 6. 日常生活に関する情報

### (1) 日常生活でさらに希望する情報

- 「健康づくり」(33.8%)が最も多く、次いで「趣味、スポーツ活動、旅行、レジャー」(25.5%)、「医療」(23.5%)

問 26: あなたが日常生活に関する情報で、もっと欲しいと思う内容は何ですか。【複数回答】

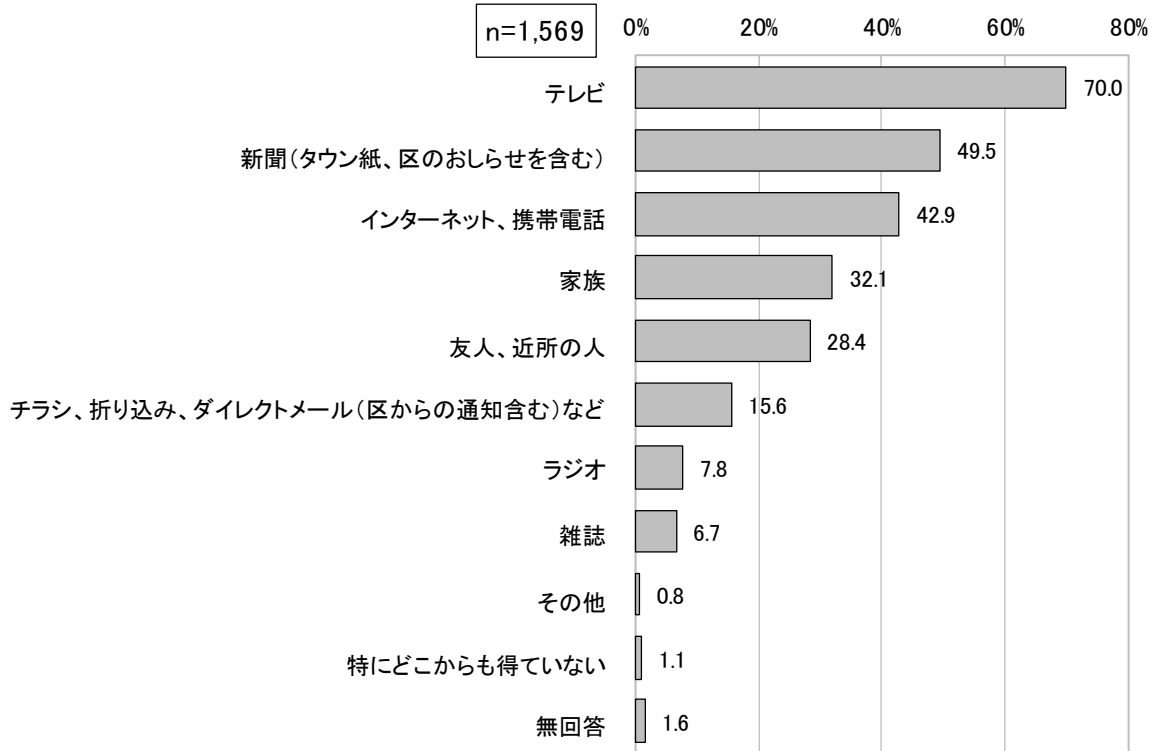




(2)日常生活に関する情報の入手先

○ 「テレビ」(70.0%)が最も多い

問 27:あなたは、日常生活に関する情報をどこから得ていますか。【複数回答:3 つまで】



<日常生活に関する情報の入手先(性別・年代別)> 上段:実数(人) 下段:構成比(%)

	調査数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
		家族	友人、近所の人	テレビ	ラジオ	インターネット、携帯電話	新聞(タウン紙、区のおしらせを含む)	雑誌	チラシ、折り込み、ダイレクトメール(区からの通知含む)など	その他	特にどこからも得ていない	無回答
全体	1569	504	446	1099	122	673	776	105	244	12	17	25
	100.0	32.1	28.4	70.0	7.8	42.9	49.5	6.7	15.6	0.8	1.1	1.6
性別	男性	699	226	138	490	62	349	319	52	99	5	8
		100.0	32.3	19.7	70.1	8.9	49.9	45.6	7.4	14.2	0.7	1.1
	女性	859	276	304	600	60	317	453	53	144	7	9
		100.0	32.1	35.4	69.8	7.0	36.9	52.7	6.2	16.8	0.8	1.0
満年齢(5歳刻み)	60~64歳	353	124	85	253	18	245	134	23	39	2	1
		100.0	35.1	24.1	71.7	5.1	69.4	38.0	6.5	11.0	0.6	0.3
	65~69歳	331	101	95	233	22	173	140	15	45	5	3
		100.0	30.5	28.7	70.4	6.6	52.3	42.3	4.5	13.6	1.5	0.9
	70~74歳	347	109	110	244	31	141	194	30	48	1	3
		100.0	31.4	31.7	70.3	8.9	40.6	55.9	8.6	13.8	0.3	0.9
	75~79歳	257	70	74	176	24	66	153	18	61	2	6
		100.0	27.2	28.8	68.5	9.3	25.7	59.5	7.0	23.7	0.8	2.3
80~84歳	155	55	46	104	15	22	86	13	32	1	2	
	100.0	35.5	29.7	67.1	9.7	14.2	55.5	8.4	20.6	0.6	1.3	
85~89歳	66	26	22	50	8	5	38	3	9	0	1	
	100.0	39.4	33.3	75.8	12.1	7.6	57.6	4.5	13.6	0.0	1.5	
90歳以上	23	8	5	14	3	3	13	2	2	1	1	
	100.0	34.8	21.7	60.9	13.0	13.0	56.5	8.7	8.7	4.3	4.3	

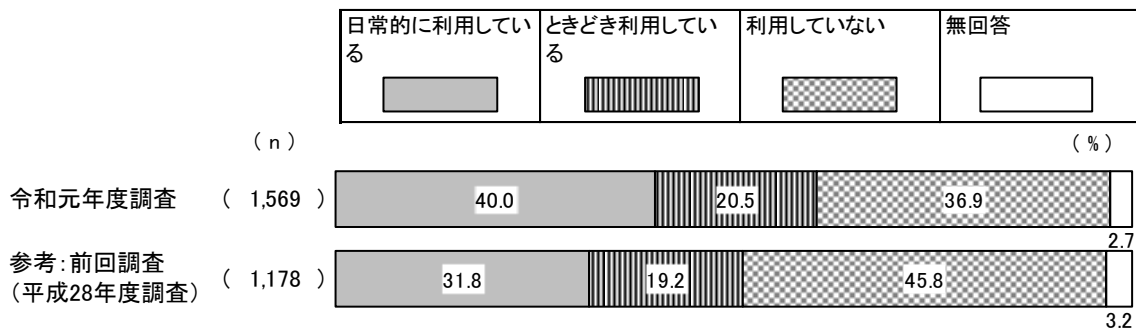
性別で見ると、女性は男性と比べて、「友人、近所の人」の割合が高い。

年代別で見ると、69歳以下では他の年代と比べて、「インターネット、携帯電話」の割合が高い。70歳以上では他の年代と比べて、「新聞(タウン紙、区のおしらせを含む)」の割合が高い。

(3)情報収集のためのインターネット利用頻度

○ 「日常的に利用している」が40.0%、「ときどき利用している」が20.5%

問 28:あなたは、情報収集の手段として、インターネットを利用していますか。



前回調査と比べると、インターネットを「日常的に利用している」の割合が8.2ポイント増え、インターネットの利用頻度は上がっている。

&lt;情報収集のためのインターネット利用頻度(性/年代別)&gt;

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

		調査数	1	2	3	無回答
			日常的に利用 している	ときどき利用し ている	利用していな い	
全 体		1569 100.0	627 40.0	321 20.5	579 36.9	42 2.7
性・ 年代 別	男性 60～64歳	163 100.0	124 76.1	20 12.3	19 11.7	0 0.0
	男性 65～69歳	157 100.0	96 61.1	21 13.4	37 23.6	3 1.9
	男性 70～74歳	147 100.0	65 44.2	36 24.5	40 27.2	6 4.1
	男性 75～79歳	105 100.0	32 30.5	23 21.9	48 45.7	2 1.9
	男性 80～84歳	70 100.0	16 22.9	12 17.1	39 55.7	3 4.3
	男性 85～89歳	28 100.0	4 14.3	2 7.1	20 71.4	2 7.1
	男性 90歳以上	13 100.0	1 7.7	1 7.7	10 76.9	1 7.7
	女性 60～64歳	190 100.0	115 60.5	54 28.4	19 10.0	2 1.1
	女性 65～69歳	174 100.0	70 40.2	48 27.6	50 28.7	6 3.4
	女性 70～74歳	200 100.0	60 30.0	51 25.5	89 44.5	0 0.0
	女性 75～79歳	151 100.0	19 12.6	32 21.2	97 64.2	3 2.0
	女性 80～84歳	85 100.0	7 8.2	11 12.9	58 68.2	9 10.6
	女性 85～89歳	38 100.0	2 5.3	2 5.3	30 78.9	4 10.5
	女性 90歳以上	10 100.0	0 0.0	0 0.0	9 90.0	1 10.0

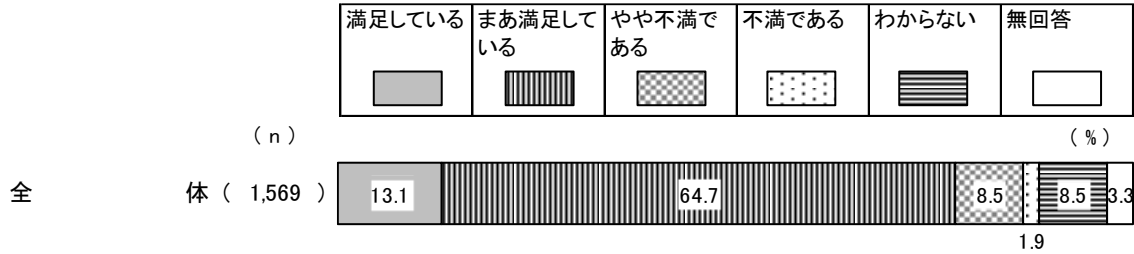
性/年代別で見ると、男性は女性と比べて、全ての年代でインターネットを「日常的に利用している」の割合が高い。

(4)情報に対する満足度

① 満足度

○ 「まあ満足している」(64.7%)が最も多い

問 29:あなたは、日常生活に関する情報に満足していますか。

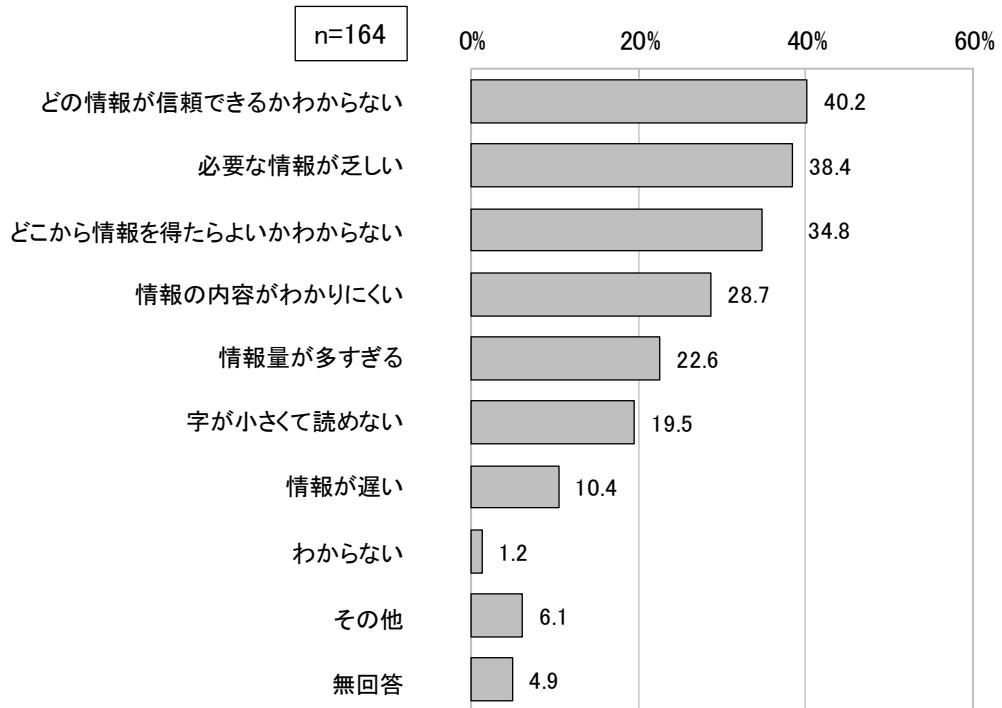


② 不満の内容

○ 「どの情報が信頼できるかわからない」(40.2%)が最も多く、次いで「必要な情報が乏しい」(38.4%)

【問 29 で「3. やや不満である」、「4. 不満である」と回答の方】

問 29-1: 不満の内容は何ですか。【複数回答】



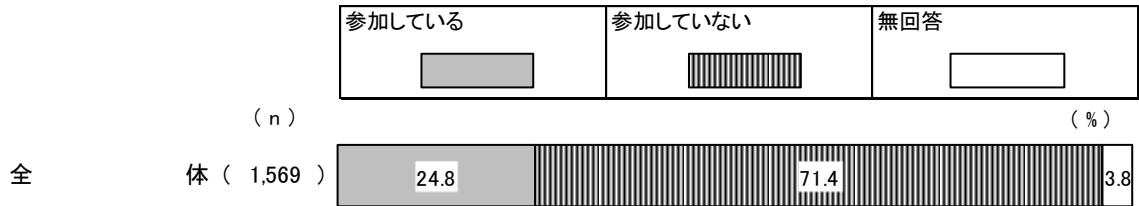
## 7. 健康教室や健康づくり事業への参加状況

### (1)参加状況等

#### ① 参加状況

○ 「参加していない」が71.4%

問 30: あなたは、健康づくりのためにスポーツクラブや体操教室等(行政主催・民間主催を問わない)に参加していますか。

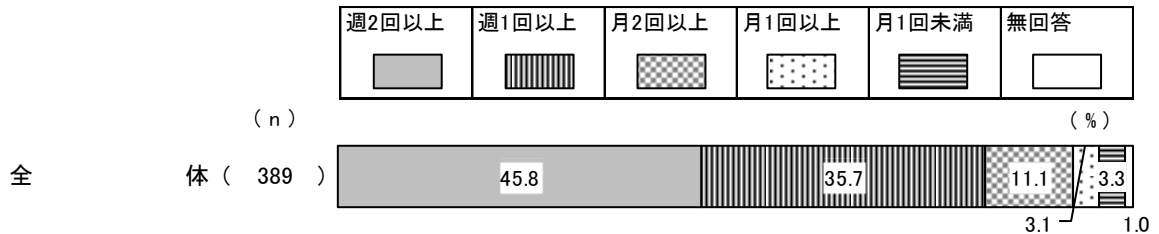


#### ② 参加頻度

○ 「週2回以上」(45.8%)が最も多く、次いで「週1回以上」(35.7%)

【問 30 で「1. 参加している」と回答の方】

問 30-1: 現在の参加頻度は、どの程度ですか。



<参加状況(性別)> 上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

	調査数	1		2	無回答
		参加している	参加していない	参加している	
全体	1569	389	1120	60	
	100.0	24.8	71.4	3.8	
性別	男性	699	138	538	23
		100.0	19.7	77.0	3.3
女性	859	246	576	37	
	100.0	28.6	67.1	4.3	

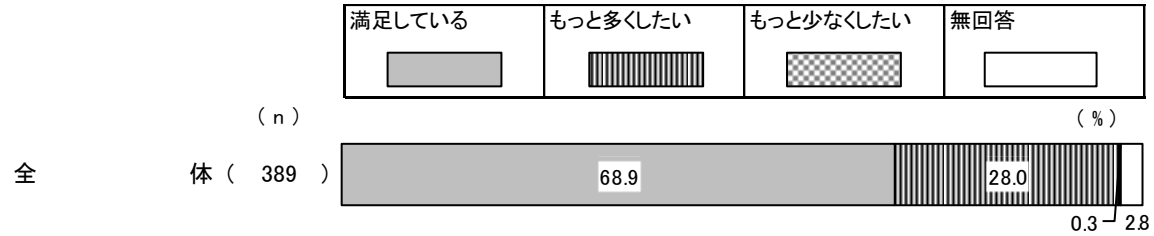
性別で見ると、女性は男性と比べて、「参加している」割合が高い。

③ 参加頻度に対する満足度

○ 「満足している」(68.9%)が最も多い

【問 30 で「1. 参加している」と回答の方】

問 30-2: 現在の参加頻度に満足していますか。

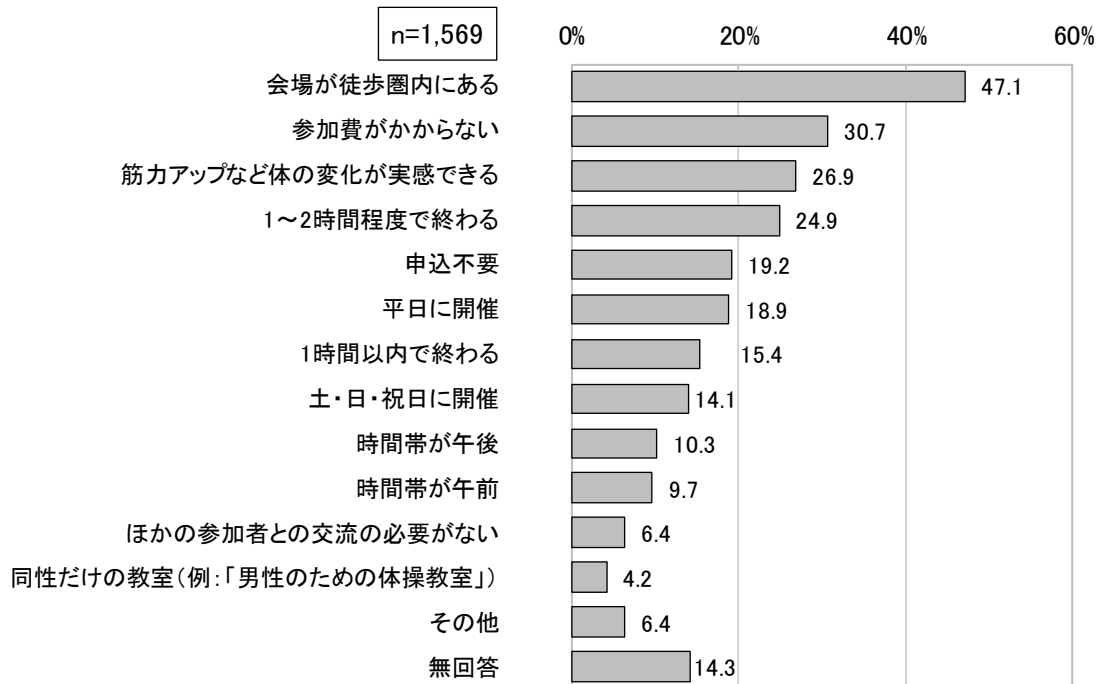


(2)参加条件

○ 「会場が徒歩圏内にある」(47.1%)が最も多く、次いで「参加費がかからない」(30.7%)

問 31: スポーツクラブや体操教室等(行政主催・民間主催を問わない)に参加しようと思う条件は何ですか。

【複数回答】



<その他の回答>

○やりたい種目があること ○運動のレベルが自分に合っていること

<参加条件(性別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

		調査数	1	2	3	4	5	6	7
			時間帯が午前	時間帯が午後	平日に開催	土・日・祝日に開催	1時間以内で終わる	1~2時間程度で終わる	参加費がかからない
全体		1569 100.0	152 9.7	161 10.3	296 18.9	221 14.1	241 15.4	391 24.9	481 30.7
性別	男性	699 100.0	53 7.6	52 7.4	110 15.7	129 18.5	79 11.3	162 23.2	209 29.9
	女性	859 100.0	97 11.3	109 12.7	184 21.4	90 10.5	162 18.9	227 26.4	270 31.4
		調査数	8	9	10	11	12	13	
			申込不要	同性だけの教室(例:「男性のための体操教室」)	ほかの参加者との交流の必要がない	筋力アップなど体の変化が実感できる	会場が徒歩圏内にある	その他	無回答
全体		1569 100.0	301 19.2	66 4.2	101 6.4	422 26.9	739 47.1	101 6.4	225 14.3
性別	男性	699 100.0	140 20.0	9 1.3	41 5.9	166 23.7	289 41.3	44 6.3	99 14.2
	女性	859 100.0	161 18.7	57 6.6	60 7.0	255 29.7	446 51.9	57 6.6	123 14.3

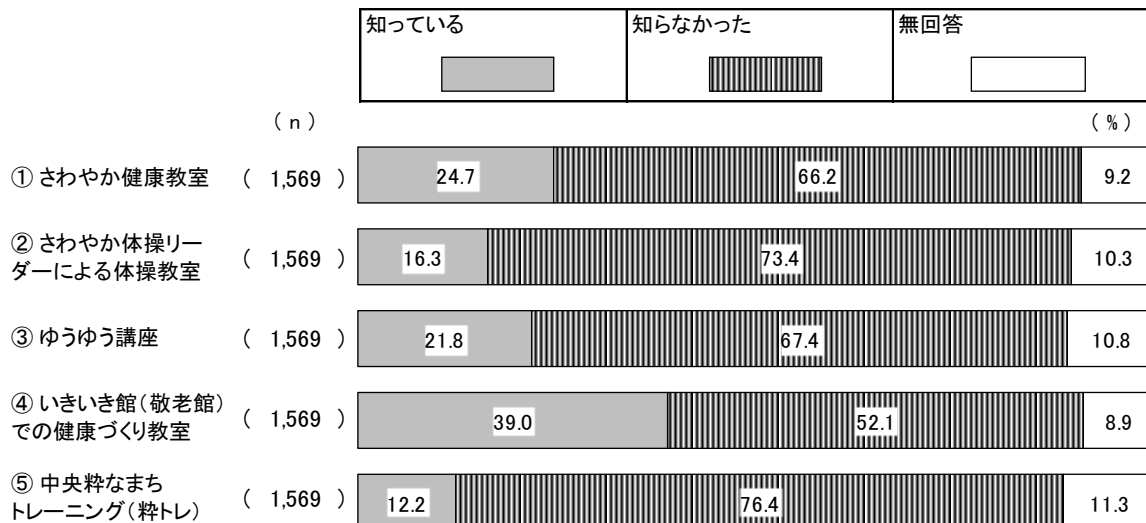
性別で見ると、男性は女性と比べて、「土・日・祝日に開催」の割合が高い。女性は男性と比べて、「会場が徒歩圏内にある」の割合が 10.6 ポイント高い。

(3)中央区の高齢者健康づくり事業

① 高齢者健康づくり事業の認知度

○ 「いきいき館(敬老館)での健康づくり教室」の認知度(39.0%)が最も高く、次いで「さわやか健康教室」(24.7%)

問 32:あなたは、中央区が行っている次のような高齢者健康づくり事業をご存知ですか。



【中央区が行っている高齢者健康づくり事業】

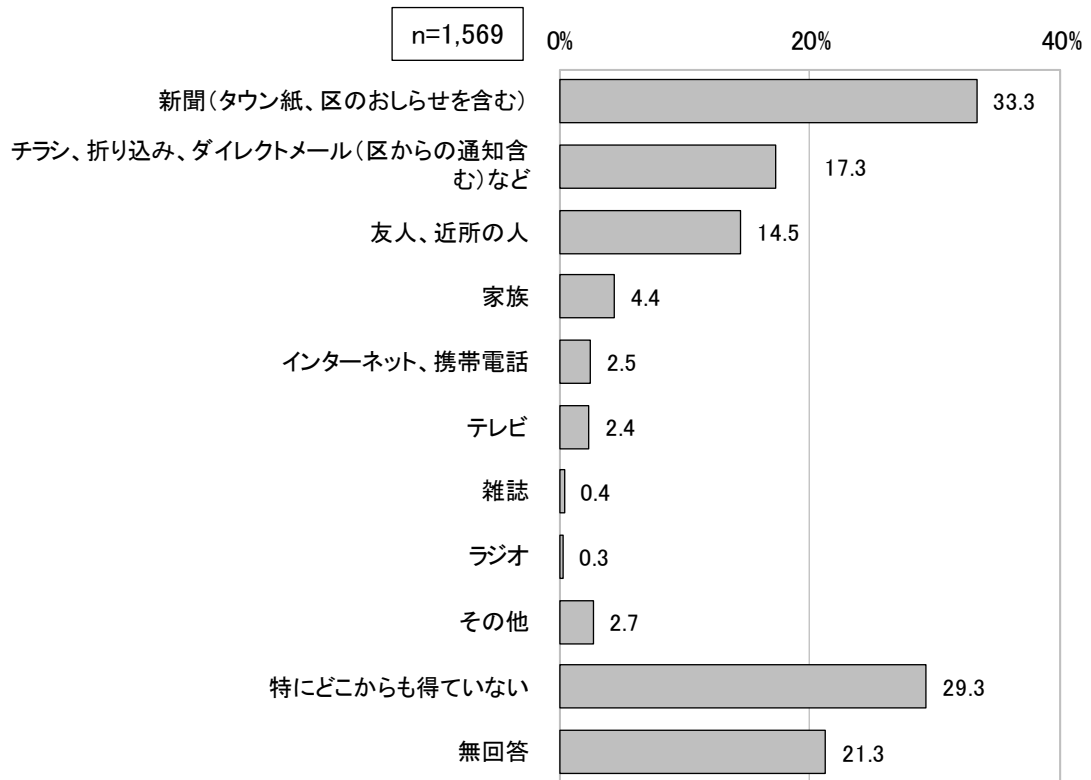
さわやか健康教室	元気な高齢者を対象に、身体機能の維持・向上を目的としたマシントレーニングを行う教室です
さわやか体操リーダーによる体操教室	元気な高齢者を対象に、区民ボランティア「さわやか体操リーダー」が、筋力向上のための体操を行う教室です
ゆうゆう講座	コーラスやレクリエーションなど、楽しく参加し、自然と健康づくりにつながる1回完結型の講座です
いきいき館(敬老館)での健康づくり教室	ヨガや健康吹き矢・太極拳など、いきいき館(敬老館)で主催している教室です
中央粋なまちトレーニング(粋トレ)	転倒予防や認知機能の向上に効果がある中央区オリジナル体操です



② 高齢者健康づくり事業情報の入手先

- 「新聞(タウン紙、区のおしらせを含む)」(33.3%)が最も多く、次いで「特にどこからも得ていない」(29.3%)

問 33: 上記の高齢者健康づくり事業について、どこでその情報を知りましたか。【複数回答】



ア 高齢者の生活実態調査 (調査A)

<高齢者健康づくり事業情報の入手先(性別・年代別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

		調査数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
			家族	友人、近所の人	テレビ	ラジオ	インターネット、携帯電話	新聞(タウン紙、区のおしらせを含む)	雑誌	チラシ、折り込み、ダイレクトメール(区からの通知含む)など	その他	特にどこからも得ていない	無回答
全 体		1569 100.0	69 4.4	227 14.5	38 2.4	5 0.3	40 2.5	523 33.3	6 0.4	271 17.3	43 2.7	459 29.3	334 21.3
性別	男性	699 100.0	38 5.4	50 7.2	19 2.7	4 0.6	20 2.9	164 23.5	4 0.6	78 11.2	18 2.6	290 41.5	156 22.3
	女性	859 100.0	31 3.6	175 20.4	19 2.2	1 0.1	20 2.3	354 41.2	2 0.2	189 22.0	25 2.9	167 19.4	175 20.4
年代別	60~64歳	353 100.0	4 1.1	19 5.4	5 1.4	2 0.6	11 3.1	75 21.2	0 0.0	26 7.4	10 2.8	170 48.2	76 21.5
	65~69歳	331 100.0	15 4.5	32 9.7	5 1.5	0 0.0	13 3.9	109 32.9	1 0.3	56 16.9	6 1.8	108 32.6	65 19.6
	70~74歳	347 100.0	21 6.1	55 15.9	9 2.6	0 0.0	12 3.5	126 36.3	2 0.6	68 19.6	8 2.3	91 26.2	74 21.3
	75~79歳	257 100.0	16 6.2	61 23.7	10 3.9	2 0.8	2 0.8	104 40.5	1 0.4	60 23.3	8 3.1	46 17.9	49 19.1
	80~84歳	155 100.0	9 5.8	40 25.8	6 3.9	1 0.6	1 0.6	62 40.0	1 0.6	34 21.9	11 7.1	22 14.2	33 21.3
	85~89歳	66 100.0	2 3.0	15 22.7	2 3.0	0 0.0	0 0.0	30 45.5	0 0.0	14 21.2	0 0.0	7 10.6	17 25.8
	90歳以上	23 100.0	2 8.7	3 13.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 21.7	0 0.0	4 17.4	0 0.0	7 30.4	6 26.1

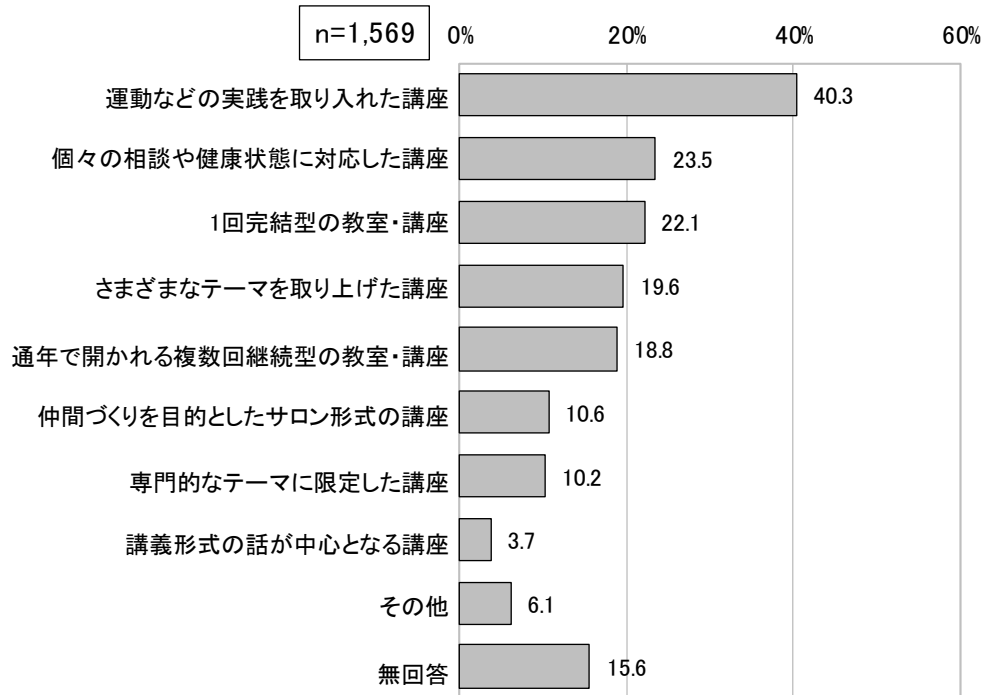
性別で見ると、女性は男性と比べて、「友人、近所の人」及び「新聞(タウン紙、区のおしらせを含む)」の割合が高い。

年代別に見ると、84歳以下では年代が上がるほど、「友人、近所の人」及び「新聞(タウン紙、区のおしらせを含む)」の割合が高い。

③ 参加したいと思う健康づくり事業

○ 「運動などの実践を取り入れた講座」(40.3%)が最も多く、次いで「個々の相談や健康状態に対応した講座」(23.5%)

問 34: あなたは、どのような健康づくり事業なら参加したいと思いますか。【複数回答: 3 つまで】



<その他の回答>

○短時間でも毎日続けられるもの ○送迎があるもの

<参加したいと思う健康づくり事業(居住形態別)>

上段: 実数(人)  
下段: 構成比(%)

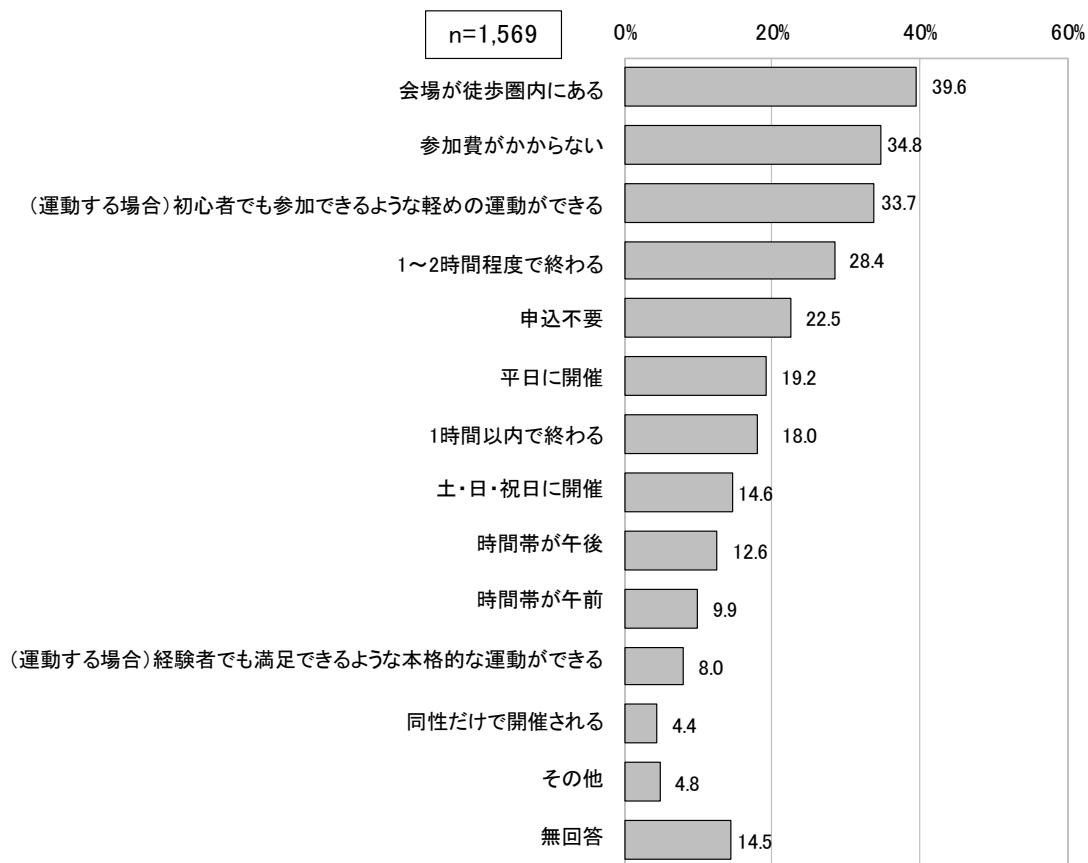
	調査数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	無回答	
		1回完結型の教室・講座	通年で開かれる複数回継続型の教室・講座	運動などの実践を取り入れた講座	講義形式の話が中心となる講座	仲間づくりを目的としたサロン形式の講座	個々の相談や健康状態に対応した講座	さまざまなテーマを取り上げた講座	専門的なテーマに限定した講座	その他		
全体	1569	347	295	633	58	166	368	308	160	96	245	
	100.0	22.1	18.8	40.3	3.7	10.6	23.5	19.6	10.2	6.1	15.6	
居住形態	[一戸建て計]	312	58	48	108	7	28	78	52	28	29	55
		100.0	18.6	15.4	34.6	2.2	9.0	25.0	16.7	9.0	9.3	17.6
居住形態	[集合住宅計]	1175	275	232	496	49	132	269	243	120	62	172
		100.0	23.4	19.7	42.2	4.2	11.2	22.9	20.7	10.2	5.3	14.6

居住形態別で見ると、集合住宅は一戸建てと比べて、「1回完結型の教室・講座」及び「運動などの実践を取り入れた講座」の割合が高い。

④ 参加条件

○ 「会場が徒歩圏内にある」(39.6%)が最も多く、次いで「参加費がかからない」(34.8%)

問 35: 健康づくり事業に継続的に参加するための条件は何ですか。【複数回答】



<参加条件(性別・居住形態別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

		調査数	1	2	3	4	5	6	7
			時間帯が午前	時間帯が午後	平日に開催	土・日・祝日に開催	1時間以内で終わる	1.5~2時間程度で終わる	参加費がかからない
全体		1569 100.0	155 9.9	197 12.6	302 19.2	229 14.6	283 18.0	445 28.4	546 34.8
性別	男性	699 100.0	57 8.2	58 8.3	99 14.2	137 19.6	108 15.5	180 25.8	241 34.5
	女性	859 100.0	97 11.3	139 16.2	200 23.3	91 10.6	175 20.4	263 30.6	303 35.3
居住形態	[一戸建て計]	312 100.0	24 7.7	39 12.5	59 18.9	49 15.7	57 18.3	89 28.5	95 30.4
	[集合住宅計]	1175 100.0	128 10.9	143 12.2	233 19.8	168 14.3	213 18.1	334 28.4	425 36.2
		調査数	8	9	10	11	12	13	
			申込不要	同性だけで開催される	会場が徒歩圏内にある	運動も参加できるような軽い運動ができる(初心者でも)	運動も満足できるような経験者でも	その他	無回答
全体		1569 100.0	353 22.5	69 4.4	621 39.6	528 33.7	126 8.0	75 4.8	227 14.5
性別	男性	699 100.0	152 21.7	6 0.9	226 32.3	187 26.8	50 7.2	43 6.2	104 14.9
	女性	859 100.0	200 23.3	63 7.3	392 45.6	339 39.5	76 8.8	32 3.7	118 13.7
居住形態	[一戸建て計]	312 100.0	64 20.5	14 4.5	121 38.8	104 33.3	22 7.1	21 6.7	57 18.3
	[集合住宅計]	1175 100.0	270 23.0	51 4.3	464 39.5	398 33.9	97 8.3	51 4.3	154 13.1

性別で見ると、男性は女性と比べて、「土・日・祝日に開催」の割合が高い。女性は男性と比べて、「会場が徒歩圏内にある」及び「(運動する場合)初心者でも参加できるような軽めの運動ができる」の割合が高い。

居住形態別で見ると、集合住宅は一戸建てと比べて、「参加費がかからない」の割合が高い。

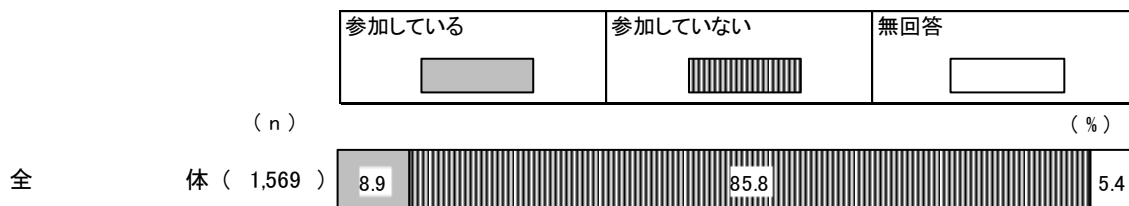
## 8. 交流サロン・趣味の講座・サークル活動への参加状況

### (1)参加状況等

#### ① 参加状況

○ 「参加していない」が85.8%

問 36:あなたは、友達づくりや生きがいのために地域住民同士が集う交流サロンや趣味の講座、サークル活動等に参加していますか。



<参加状況(性別)> 上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

		調査数	1		2		無回答
			参加して いる	参加して いない	参加して いる	参加して いない	
全 体		1569 100.0	139 8.9	1346 85.8			84 5.4
性 別	男性	699 100.0	32 4.6	632 90.4			35 5.0
	女性	859 100.0	106 12.3	706 82.2			47 5.5

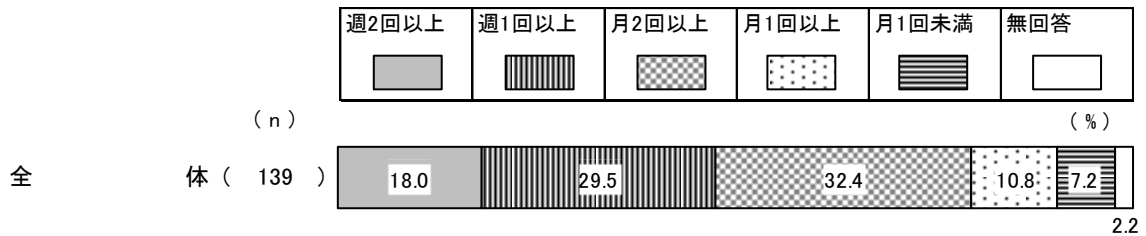
性別で見ると、女性は男性と比べて、「参加している」の割合が高い。

② 参加頻度

○ 「月2回以上」(32.4%)が最も多い

【問 36 で「1. 参加している」と回答の方】

問 36-1: 現在の参加頻度は、どの程度ですか。



<参加頻度(年代別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

	調査数	1	2	3	4	5		
		週2回以上	週1回以上	月2回以上	月1回以上	月1回未満	無回答	
全体	139	25	41	45	15	10	3	
	100.0	18.0	29.5	32.4	10.8	7.2	2.2	
年代別	60~64歳	10	0	6	3	1	0	0
		100.0	0.0	60.0	30.0	10.0	0.0	0.0
	65~69歳	22	5	8	7	1	1	0
		100.0	22.7	36.4	31.8	4.5	4.5	0.0
	70~74歳	39	8	8	8	11	4	0
		100.0	20.5	20.5	20.5	28.2	10.3	0.0
	75~79歳	35	7	9	12	2	3	2
	100.0	20.0	25.7	34.3	5.7	8.6	5.7	
80~84歳	19	2	6	10	0	1	0	
	100.0	10.5	31.6	52.6	0.0	5.3	0.0	
85~89歳	10	1	3	4	0	1	1	
	100.0	10.0	30.0	40.0	0.0	10.0	10.0	
90歳以上	1	1	0	0	0	0	0	
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

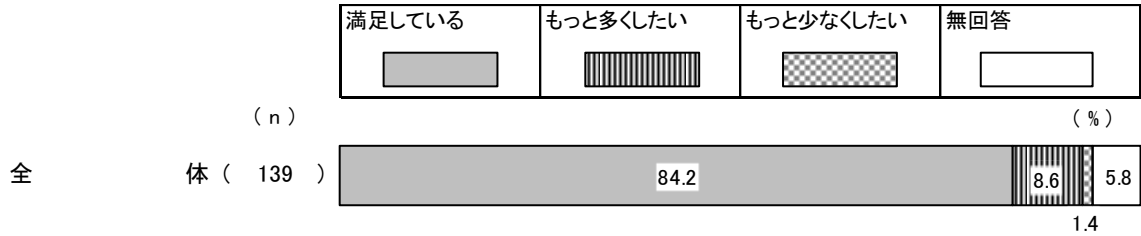
年代別で見ると、大きな差は見られない。

③ 参加頻度に対する満足度

○ 「満足している」(84.2%)が最も多い

【問36で「1. 参加している」と回答の方】

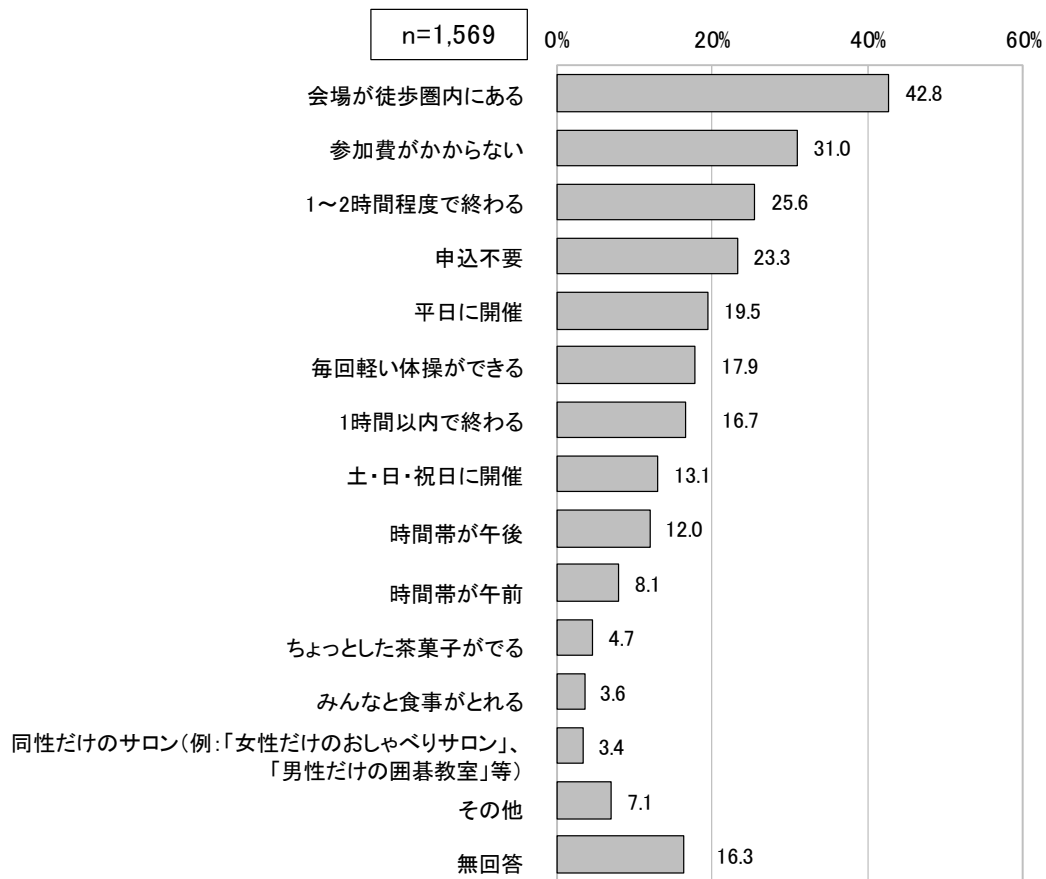
問36-2: 現在の参加頻度に満足していますか。



(2)参加条件

○ 「会場が徒歩圏内にある」(42.8%)が最も多く、次いで「参加費がかからない」(31.0%)

問37: 地域住民同士が集う交流サロンや趣味の講座、サークル活動等に参加しようと思う条件は何ですか。【複数回答】



<その他の回答>

○特定の人が仕切っていないこと ○高齢者ばかりではなく多世代がいること



<参加条件(性別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

		調査数	1 時間帯が午前	2 時間帯が午後	3 平日に開催	4 土・日・祝日に開催	5 1時間以内で終わる	6 1～2時間程度で終わる	7 参加費がかからない	8 申込不要
全体		1569 100.0	127 8.1	188 12.0	306 19.5	206 13.1	262 16.7	402 25.6	486 31.0	366 23.3
性別	男性	699 100.0	45 6.4	62 8.9	106 15.2	122 17.5	101 14.4	176 25.2	217 31.0	153 21.9
	女性	859 100.0	81 9.4	126 14.7	199 23.2	83 9.7	160 18.6	224 26.1	266 31.0	212 24.7
		調査数	9 「男性だけの囲碁教室」等）	10 ちよっとした茶菓子がでる	11 みんなと食事がとれる	12 毎回軽い体操ができる	13 会場が徒歩圏内にある	14 その他	無回答	
全体		1569 100.0	54 3.4	73 4.7	56 3.6	281 17.9	671 42.8	111 7.1	256 16.3	
性別	男性	699 100.0	4 0.6	29 4.1	30 4.3	89 12.7	265 37.9	59 8.4	116 16.6	
	女性	859 100.0	50 5.8	44 5.1	26 3.0	190 22.1	402 46.8	51 5.9	137 15.9	

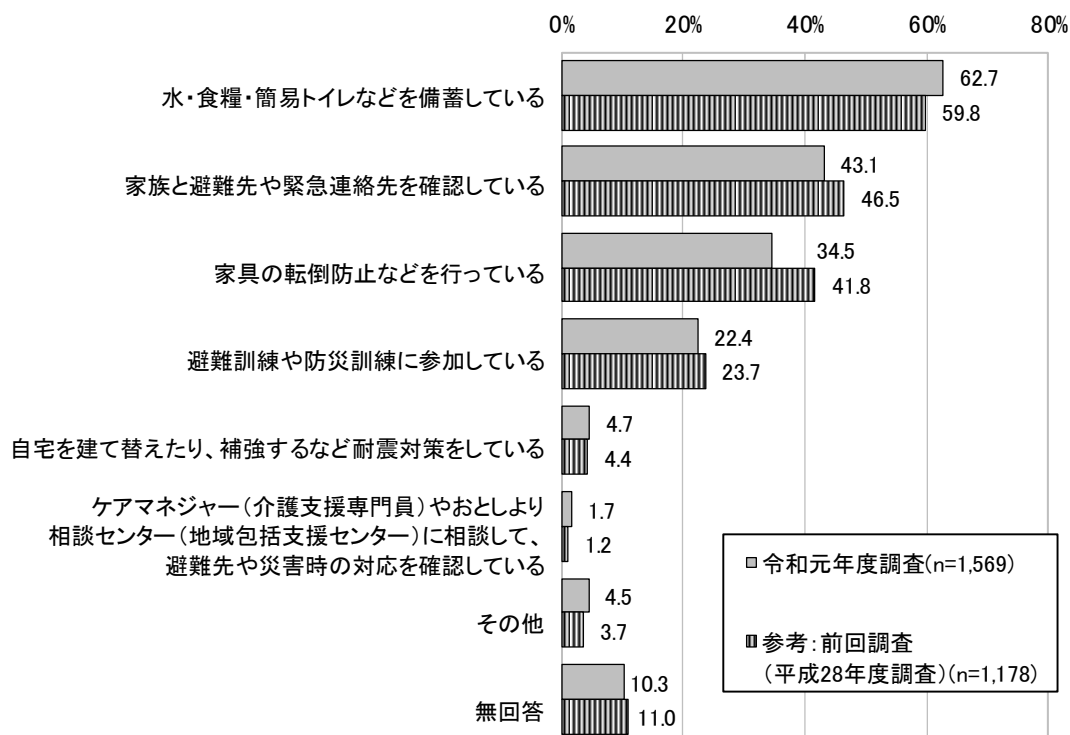
性別で見ると、男性は女性と比べて、「土・日・祝日に開催」の割合が高い。女性は男性と比べて、「時間帯が午後」、「平日に開催」、「毎回軽い体操ができる」及び「会場が徒歩圏内にある」の割合が高い。

## 9. 災害時の対応

### (1)災害への備え

○ 「水・食糧・簡易トイレなどを備蓄している」(62.7%)が最も多い

問 38:あなたは、地震などの災害に備えてどのようなことをしていますか。【複数回答】

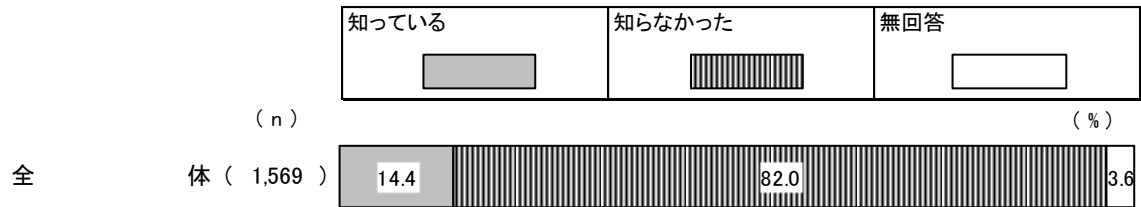


前回調査と比べると、「家具の転倒防止などを行っている」の割合が7.3ポイント減っている。

(2)「中央区災害時地域たすけあい名簿」の認知度

○ 「知らなかった」が 82.0%

問 39:あなたは、「中央区災害時地域たすけあい名簿」についてご存知ですか。



中央区災害時地域たすけあい名簿

区では災害時に自力で避難したり生活することが困難な方を登録し、安否確認や避難誘導等の支援及び支援のための体制づくりに役立てることを目的とした名簿を作成している。

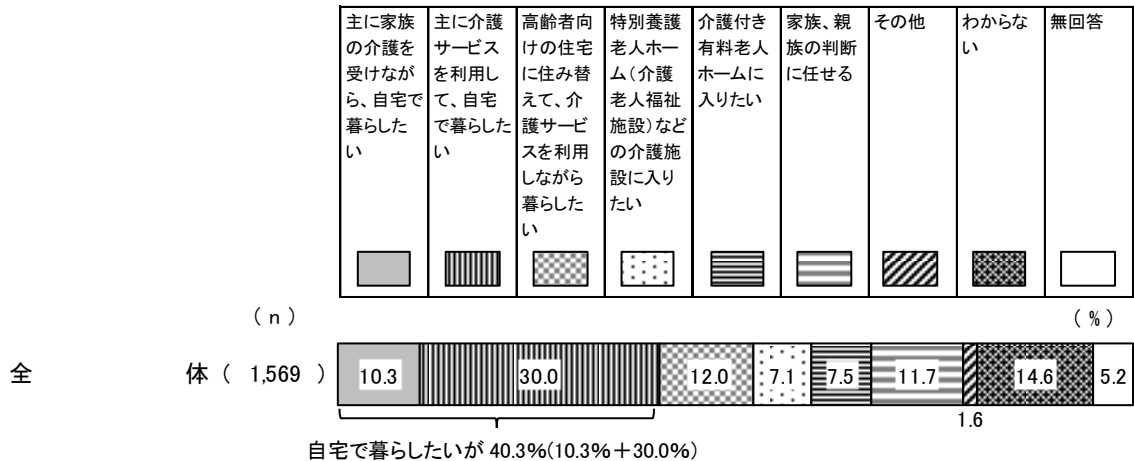
本人の同意がある方の名簿情報を、警察、消防、民生・児童委員、防災区民組織、介護サービス事業者に平常時からあらかじめ提供している。

## 10. 今後の介護の希望等

### (1) 今後希望する介護

○ 自宅で暮らしたい人が 40.3%

問 40: あなたは、今後、どのような介護を希望しますか。



<その他の回答>

○そのような状態になったら考えたい ○自宅で暮らせる範囲での介護

<今後希望する介護(性別・年代別)>

上段: 実数(人)  
下段: 構成比(%)

	調査数	1	2	3	4	5	6	7	8	無回答		
		主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい	主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい	高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスを利用しながら暮らしたい	特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)などの介護施設に入りたい	介護付き有料老人ホームに入りたい	家族、親族の判断に任せる	その他	わからない	無回答		
全体	1569	162	471	189	111	118	183	25	229	81		
		100.0	10.3	30.0	12.0	7.1	7.5	11.7	1.6	14.6	5.2	
性別	男性	699	101	175	71	44	49	94	9	118	38	
			100.0	14.4	25.0	10.2	6.3	7.0	13.4	1.3	16.9	5.4
性別	女性	859	58	293	117	66	69	88	16	110	42	
			100.0	6.8	34.1	13.6	7.7	8.0	10.2	1.9	12.8	4.9
年代別	60~64歳	353	26	94	63	26	30	39	3	61	11	
			100.0	7.4	26.6	17.8	7.4	8.5	11.0	0.8	17.3	3.1
	65~69歳	331	28	102	40	21	29	35	8	56	12	
			100.0	8.5	30.8	12.1	6.3	8.8	10.6	2.4	16.9	3.6
	70~74歳	347	28	107	39	30	21	41	6	52	23	
			100.0	8.1	30.8	11.2	8.6	6.1	11.8	1.7	15.0	6.6
	75~79歳	257	30	86	27	15	18	34	5	24	18	
			100.0	11.7	33.5	10.5	5.8	7.0	13.2	1.9	9.3	7.0
80~84歳	155	23	40	9	14	15	20	2	21	11		
		100.0	14.8	25.8	5.8	9.0	9.7	12.9	1.3	13.5	7.1	
85~89歳	66	17	25	4	3	1	8	1	3	4		
		100.0	25.8	37.9	6.1	4.5	1.5	12.1	1.5	4.5	6.1	
90歳以上	23	2	7	3	0	2	2	0	6	1		
		100.0	8.7	30.4	13.0	0.0	8.7	8.7	0.0	26.1	4.3	

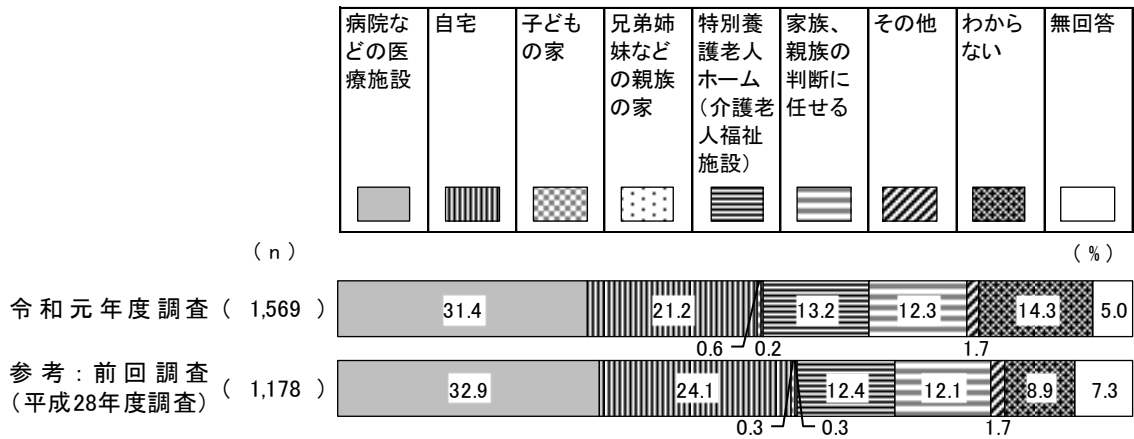
性別で見ると、男性は女性と比べて、「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」、「わからない」の割合が高い。女性は男性と比べて、「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」の割合が高い。

年代別で見ると、89歳以下では年代が上がるほど、「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」の割合が高い。

(2)終末期に介護を受けたい場所

○ 「病院などの医療施設」(31.4%)が最も多く、次いで「自宅」(21.2%)

問 41:あなたは、病気が治る可能性がなくなり、終末期になった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。



前回調査と比べると、大きな差は見られない。

<終末期に介護を受けたい場所(性別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

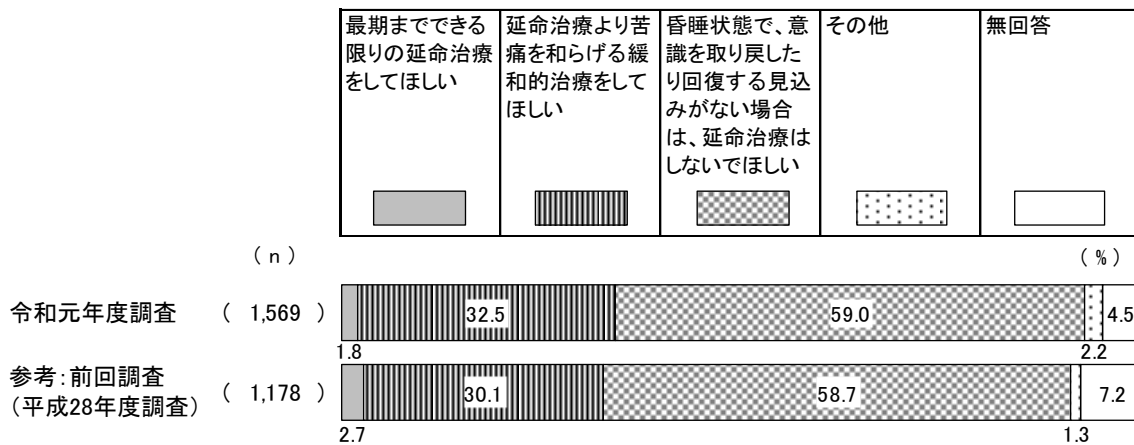
	調査数	1	2	3	4	5	6	7	8	無回答	
		病院などの医療施設	自宅	子どもの家	兄弟姉妹などの親族の家	特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)	家族、親族の判断に任せる	その他	わからない		
全体	1569	493	333	10	3	207	193	27	224	79	
	100.0	31.4	21.2	0.6	0.2	13.2	12.3	1.7	14.3	5.0	
性別	男性	699	177	184	2	1	97	90	12	103	33
	100.0	25.3	26.3	0.3	0.1	13.9	12.9	1.7	14.7	4.7	
性別	女性	859	314	146	8	2	109	102	15	118	45
	100.0	36.6	17.0	0.9	0.2	12.7	11.9	1.7	13.7	5.2	

性別で見ると、男性は女性と比べて、「自宅」の割合が高い。女性は男性と比べて、「病院などの医療施設」の割合が高い。

(3)延命治療について

○ 「昏睡状態で、意識を取り戻したり回復する見込みがない場合は、延命治療はしないでほしい」  
(59.0%) が最も多い

問 42: あなたは、延命のための医療を受けることについてどう思いますか。



前回調査と比べると、大きな差は見られない。

<延命治療について(性/年代別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

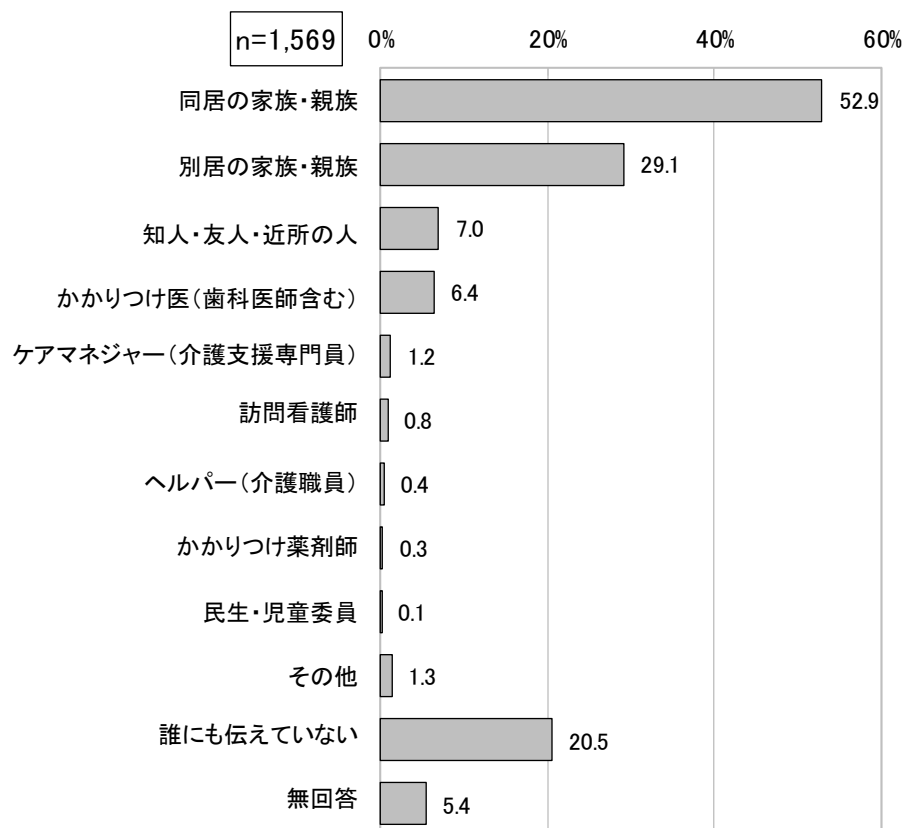
	調査数	1	2	3	4	無回答	
		最期までできる限りの延命治療をしてほしい	延命治療より苦痛を和らげる緩和的治療をしてほしい	昏睡状態で、意識を取り戻したり回復する見込みがない場合は、延命治療はしないでほしい	その他		
全体	1569 100.0	29 1.8	510 32.5	926 59.0	34 2.2	70 4.5	
性・年代別	男性 60～64歳	163 100.0	6 3.7	52 31.9	97 59.5	3 1.8	5 3.1
	男性 65～69歳	157 100.0	6 3.8	55 35.0	87 55.4	5 3.2	4 2.5
	男性 70～74歳	147 100.0	3 2.0	35 23.8	95 64.6	2 1.4	12 8.2
	男性 75～79歳	105 100.0	1 1.0	31 29.5	68 64.8	1 1.0	4 3.8
	男性 80～84歳	70 100.0	4 5.7	17 24.3	40 57.1	5 7.1	4 5.7
	男性 85～89歳	28 100.0	2 7.1	4 14.3	18 64.3	0 0.0	4 14.3
	男性 90歳以上	13 100.0	1 7.7	2 15.4	10 76.9	0 0.0	0 0.0
	女性 60～64歳	190 100.0	0 0.0	84 44.2	96 50.5	4 2.1	6 3.2
	女性 65～69歳	174 100.0	1 0.6	52 29.9	115 66.1	1 0.6	5 2.9
	女性 70～74歳	200 100.0	1 0.5	77 38.5	112 56.0	2 1.0	8 4.0
	女性 75～79歳	151 100.0	2 1.3	37 24.5	98 64.9	4 2.6	10 6.6
	女性 80～84歳	85 100.0	1 1.2	30 35.3	45 52.9	5 5.9	4 4.7
	女性 85～89歳	38 100.0	0 0.0	16 42.1	17 44.7	1 2.6	4 10.5
	女性 90歳以上	10 100.0	0 0.0	4 40.0	6 60.0	0 0.0	0 0.0

性/年代別で見ると、男性は70～79歳で、女性は65～69歳及び75～79歳で、全体と比べて、「昏睡状態で、意識を取り戻したり回復する見込みがない場合は、延命治療はしないでほしい」の割合が高い。

#### (4)延命治療への希望を誰に伝えているか

○ 「同居の家族・親族」(52.9%)が最も多い

問 43:あなたは、問 42 の内容についての希望を誰に伝えていますか。【複数回答】





ア 高齢者の生活実態調査（調査 A）

<延命治療への希望を誰に伝えているか(性/年代別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

	調査数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	無回答	
		同居の家族・親族	別居の家族・親族	知人・友人・近所の人	かかりつけ医(歯科医師含む)	かかりつけ薬剤師	訪問看護師	ケアマネジャー(介護支援専門員)	ヘルパー(介護職員)	民生・児童委員	その他	誰にも伝えていない		
全体	1569 100.0	830 52.9	457 29.1	110 7.0	100 6.4	5 0.3	13 0.8	19 1.2	6 0.4	2 0.1	21 1.3	322 20.5	84 5.4	
性・年代別	男性 60~64歳	163 100.0	84 51.5	33 20.2	7 4.3	11 6.7	0 0.0	1 0.6	2 1.2	0 0.0	0 0.0	1 0.6	52 31.9	5 3.1
	男性 65~69歳	157 100.0	85 54.1	31 19.7	13 8.3	10 6.4	0 0.0	2 1.3	3 1.9	1 0.6	1 0.6	2 1.3	41 26.1	6 3.8
	男性 70~74歳	147 100.0	89 60.5	26 17.7	10 6.8	11 7.5	0 0.0	0 0.0	1 0.7	0 0.0	0 0.0	1 0.7	27 18.4	12 8.2
	男性 75~79歳	105 100.0	68 64.8	26 24.8	5 4.8	10 9.5	2 1.9	2 1.9	2 1.9	1 1.0	1 1.0	0 0.0	20 19.0	4 3.8
	男性 80~84歳	70 100.0	39 55.7	18 25.7	2 2.9	12 17.1	1 1.4	0 0.0	2 2.9	1 1.4	0 0.0	4 5.7	9 12.9	7 10.0
	男性 85~89歳	28 100.0	19 67.9	7 25.0	2 7.1	3 10.7	0 0.0	1 3.6	1 3.6	1 3.6	0 0.0	0 0.0	1 3.6	2 7.1
	男性 90歳以上	13 100.0	7 53.8	5 38.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 23.1	0 0.0
	女性 60~64歳	190 100.0	97 51.1	55 28.9	14 7.4	3 1.6	0 0.0	2 1.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.5	1 30.0	7 3.7
	女性 65~69歳	174 100.0	87 50.0	72 41.4	15 8.6	1 0.6	0 0.0	1 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.1	32 18.4	6 3.4
	女性 70~74歳	200 100.0	104 52.0	71 35.5	15 7.5	6 3.0	0 0.0	0 0.0	1 0.5	0 0.0	0 0.0	2 1.0	38 19.0	8 4.0
	女性 75~79歳	151 100.0	71 47.0	57 37.7	16 10.6	11 7.3	1 0.7	2 1.3	3 2.0	2 1.3	0 0.0	2 1.3	19 12.6	12 7.9
	女性 80~84歳	85 100.0	39 45.9	30 35.3	4 4.7	10 11.8	1 1.2	1 1.2	2 2.4	0 0.0	0 0.0	4 4.7	8 9.4	9 10.6
	女性 85~89歳	38 100.0	16 42.1	15 39.5	6 15.8	9 23.7	0 0.0	0 0.0	1 2.6	0 0.0	0 0.0	1 2.6	2 5.3	5 13.2
	女性 90歳以上	10 100.0	2 20.0	4 40.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 40.0	0 0.0

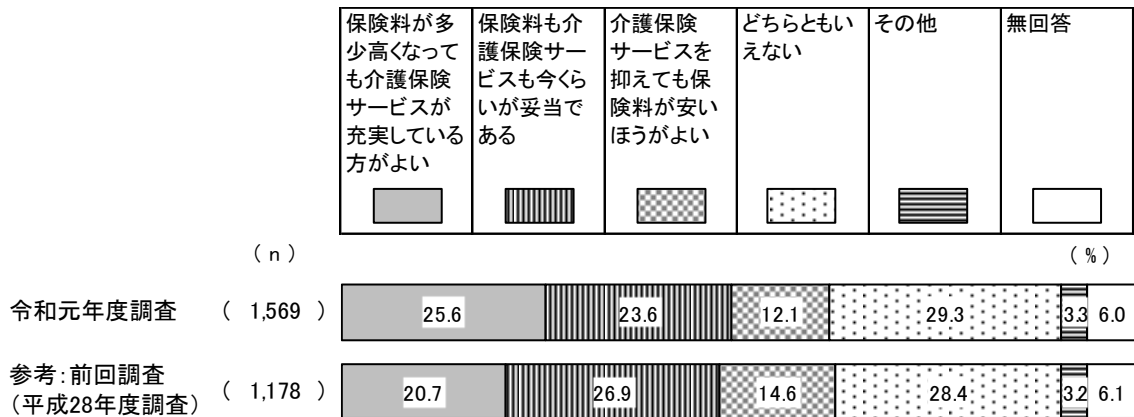
性/年代別で見ると、女性は男性と比べて、全ての年代で「別居の家族・親族」の割合が高い。また、男女とも89歳以下では年代が下がるほど「誰にも伝えていない」の割合が高い。

## 11. 今後の高齢者保健福祉施策

### (1) 介護保険サービスと介護保険料のあり方

○ 「どちらともいえない」(29.3%)の割合が高い

問 44: 今後、高齢者が増加していくにつれて介護保険料が高くなることが想定されますが、あなたは、今後の介護保険料のあり方についてどう思いますか。



前回調査と比べると、「保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい」が4.9ポイント増えている。

<介護保険サービスと介護保険料のあり方(性別・年代別)>

上段: 実数(人)  
下段: 構成比(%)

	調査数	1	2	3	4	5	無回答	
		保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい	保険料も介護保険サービスも今くらいが妥当である	介護保険サービスを抑えても保険料が安いほうがよい	どちらともいえない	その他		
全体	1569	402	371	190	460	52	94	
	100.0	25.6	23.6	12.1	29.3	3.3	6.0	
性別	男性	699	203	160	98	179	21	38
	100.0	29.0	22.9	14.0	25.6	3.0	5.4	
女性	859	198	205	92	278	31	55	
	100.0	23.1	23.9	10.7	32.4	3.6	6.4	
年代別	60~64歳	353	115	78	21	118	8	13
	100.0	32.6	22.1	5.9	33.4	2.3	3.7	
	65~69歳	331	64	76	49	113	13	16
	100.0	19.3	23.0	14.8	34.1	3.9	4.8	
	70~74歳	347	86	75	52	96	9	29
	100.0	24.8	21.6	15.0	27.7	2.6	8.4	
	75~79歳	257	58	75	36	65	10	13
100.0	22.6	29.2	14.0	25.3	3.9	5.1		
80~84歳	155	45	37	15	40	6	12	
100.0	29.0	23.9	9.7	25.8	3.9	7.7		
85~89歳	66	22	12	10	11	3	8	
100.0	33.3	18.2	15.2	16.7	4.5	12.1		
90歳以上	23	6	7	4	4	2	0	
100.0	26.1	30.4	17.4	17.4	8.7	0.0		

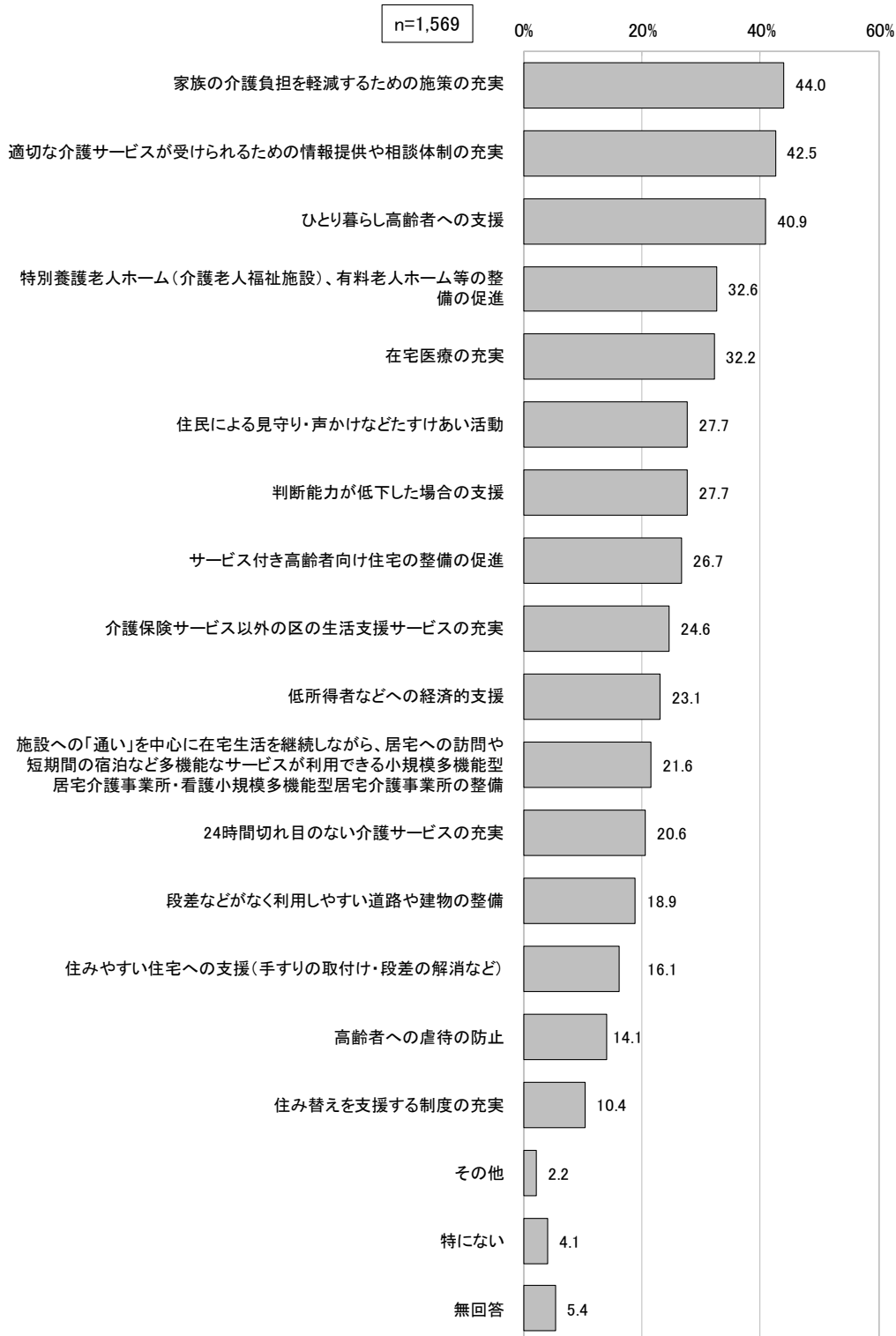
性別で見ると、男性は女性と比べて、「保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい」の割合が高い。女性は男性と比べて、「どちらともいえない」の割合が高い。

年代別で見ると、65~69歳は他の年代と比べて、「保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい」の割合が低い。

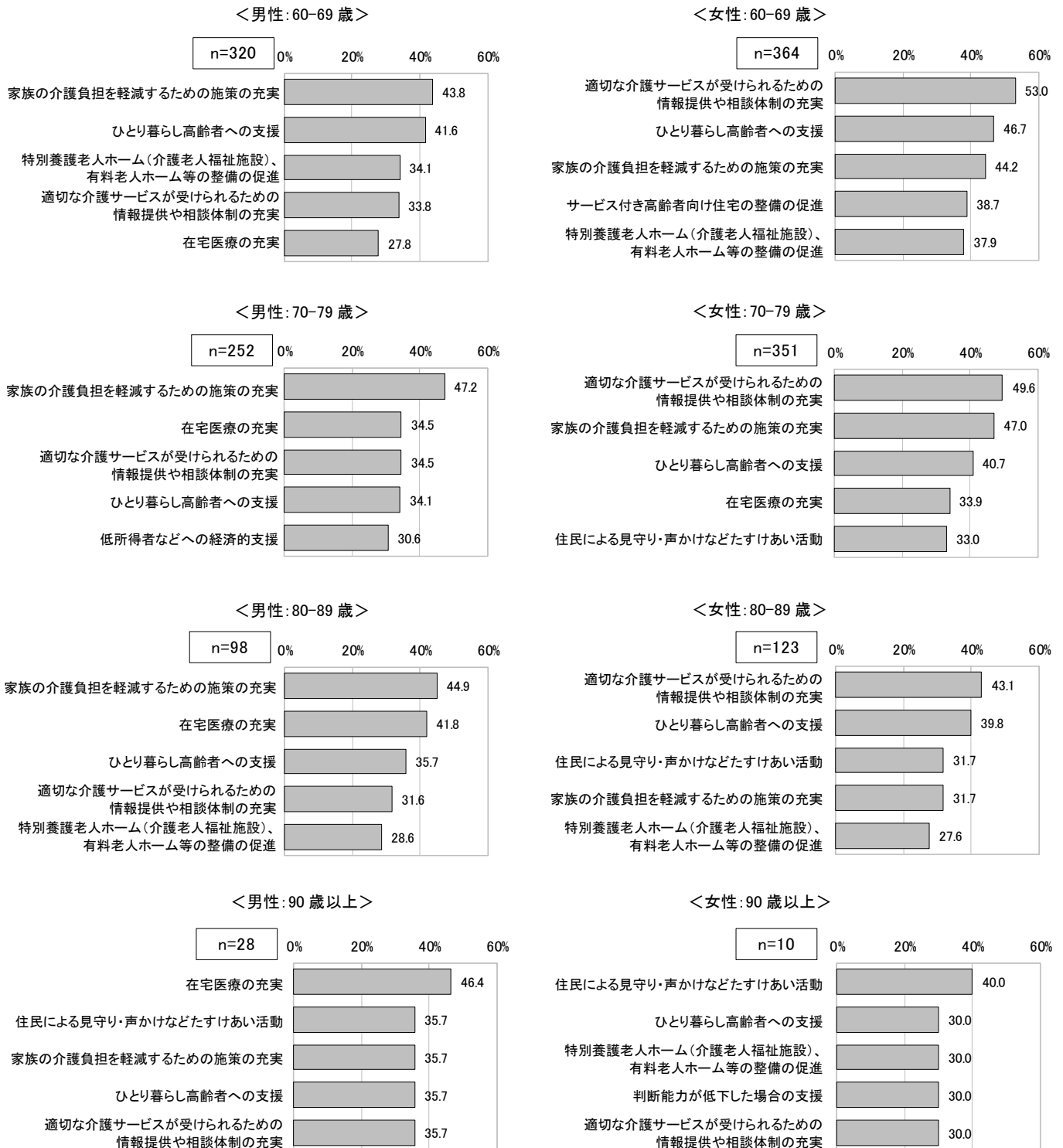
(2)今後力を入れるべき高齢者保健福祉施策

○ 「家族の介護負担を軽減するための施策の充実」(44.0%)が最も多く、次いで「適切な介護サービスが受けられるための情報提供や相談体制の充実」(42.5%)

問 45: 住み慣れた地域で暮らし続けるために、これからの高齢者保健福祉施策で中央区が力を入れていくべきものは何だと思いますか。【複数回答】



**今後力を入れるべき高齢者保健福祉施策(性/年代別上位5項目)**



男性は、89歳以下では全ての年代で「家族の介護負担を軽減するための施策の充実」の割合が高い。

女性は、89歳以下では全ての年代で、「適切な介護サービスが受けられるための情報提供や相談体制の充実」の割合が高い。

### (3)高齢者向けのサービスに関する自由意見

問 46: 高齢者向けのサービスなどに関するご意見をご自由にお書きください。【自由記述】

#### 【高齢者施策のあり方・考え方、今後の高齢者施策について】

- 弱者や孤立している人たちや予備軍によい施策をお願いしたい。
- 個人差が大きいと思うため、年齢で切り分けるのではなく、各個人に合わせた介護の対応を考えてほしい。
- 中央区では、敬老大会への招待(歌舞伎座等への招待)や、商品券、すし券など、高齢者へのサービスが行き届いていると思う。
- 高齢者が住みたいと思う中央区にしてほしい。
- 介護・医療が必要になっても、いつまでも自宅で過ごしていけるような支援があるとよいと思う。
- 高齢者よりも障害者と子どもに経済面、サービス面でも支援をしてあげてほしい。
- 介護や医療を必要としない、元気で暮らしている高齢者に対するメリットがあるような施策を考えてほしい。

#### 【仕事・就労・経済について】

- 年金が少ないので働かざるを得ず、疲れ切り、区内のサークル等に参加できない。経済的な支援があればよい。
- 低所得であり、健康に気を付けることで精いっぱい、他のことができない。

#### 【高齢者の外出・外出支援、高齢者の運転問題に関して】

- 車椅子での外出が難しく、安心して移動できる専用道路があるといいと思う。
- 江戸バスの運行時間について、夜ももう少し遅くまで走らせてほしい。
- 江戸バスの経路であるが、一方向だけの運行では、場所によっては遠まわりすぎる。

#### 【趣味・娯楽について】

- ひとり暮らしでも外に出たくなるような趣味・娯楽がほしい。
- 家でもできるような趣味・娯楽があればよい。

#### 【たすけあい、地域コミュニティ、交流の場について】

- なれ合いが多く、プライバシーがないように感じ、苦手意識がある。
- 仕事をしている高齢者は平日参加できないため、土日や夜間での開催を望む。
- 月島地区は交通が不便で、高齢なので自転車も乗れず、参加が難しい。
- 隣接する港区等との共同で交流の場等の支援をしてもよいと思う。
- 認知症サポーター養成講座が1回のみで終了であった。より区のために貢献したいが物足りない。

**【高齢者の生活支援について】**

- 人が増え、何をするにも時間がかかり大変である。たとえば高齢者枠などの優先枠は取れないか。
- ひとり暮らしの高齢者に、ごみ回収や買物の支援(有料で1回100円程度)を行ってほしい。
- 料理、掃除など、高齢になるとおっくうになりがちなことへの支援がほしい。
- パソコンもインターネットもできない高齢者は、情報を入手できず、生活しづらい。

**【相談・情報、成年後見制度について】**

- 地域の町会など近所の知り合いが協力して、ひとりで寂しい思いをしていたり、困っていたりする人を助けてあげられるようにしてほしい。
- 子がおらず、周りに聞きたいことを質問できる人がいない。

**【健康づくり、介護予防について】**

- スポーツクラブへの金銭的支援により、高齢者に運動を促し、健康を保持させる。
- 健康維持はしたいが、情報がおりにこないため、そのような情報がほしい。
- ヨガや有酸素運動ができる機会を作してほしい。
- 近くの公園で毎朝ラジオ体操と体力増進の体操を行ってほしい。

**【介護保険制度や介護サービスについて】**

- ひとり暮らしの人への見守り電話を定期的にするれば、病気や孤独死が発見しやすくなりよいと思う。
- 高層マンションが多くなり、地域との繋がりが薄くなっている。このような方にも、挨拶、声かけ、見守りを続けることで、困っている人や手助けが必要な人には積極的に、迷惑にならないように呼びかけることが必要。

**【高齢期の住まい、入居施設について】**

- 住みやすい住宅のための支援がほしい。
- 高齢になった際のマンション住み替え問題があり、どうしたらよいか分からない。
- 選手村の跡地に老人ホーム等を作してほしい。
- 中央区は、高齢になって死ぬまで住むことが難しいと思う。安心のためにも、住宅の確保に注力してほしい。

イ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査  
(調査 B)





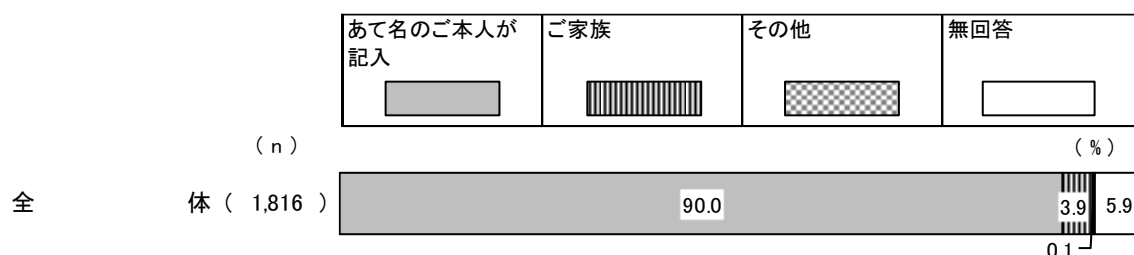
本調査は、要介護認定を受けていない65歳以上の方(区内にお住まいの方、基本チェックリストにより、生活機能に低下が見られた方及び要支援認定を受けている中央区の被保険者)から抽出した2,581人で、有効回答数は1,816件、回収率は70.4%であった。

※本調査は、国から「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」として示された設問及び区の独自の項目により構成される。

## 1. 回答者の属性(状況)

### (1) 調査票の記入者

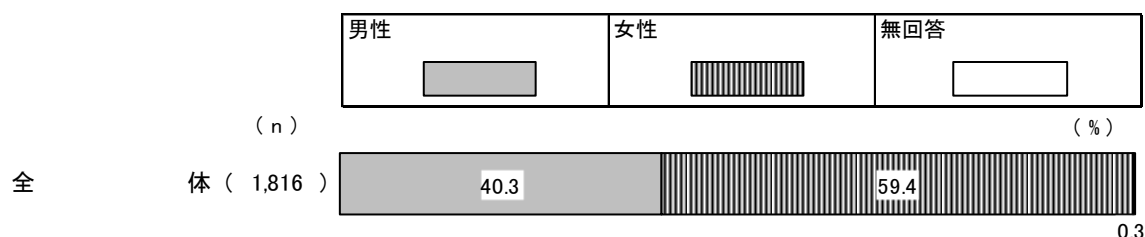
問1: 調査票を記入されたのはどなたですか。



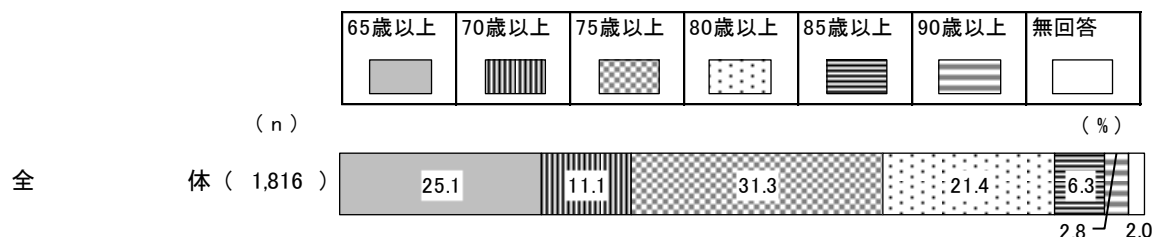
### (2) 性別・年齢

問2: あなたの性別と令和元年11月1日現在の満年齢を記入してください。

#### ■ 性別

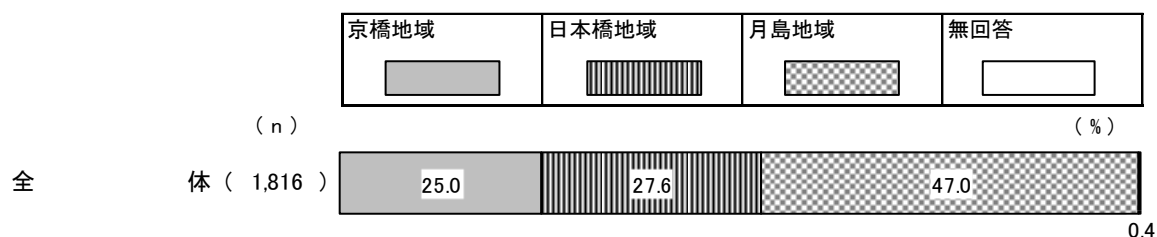


#### ■ 満年齢



### (3) 居住地

問3: 現在あなたのお住まいになっている地域はどこですか。

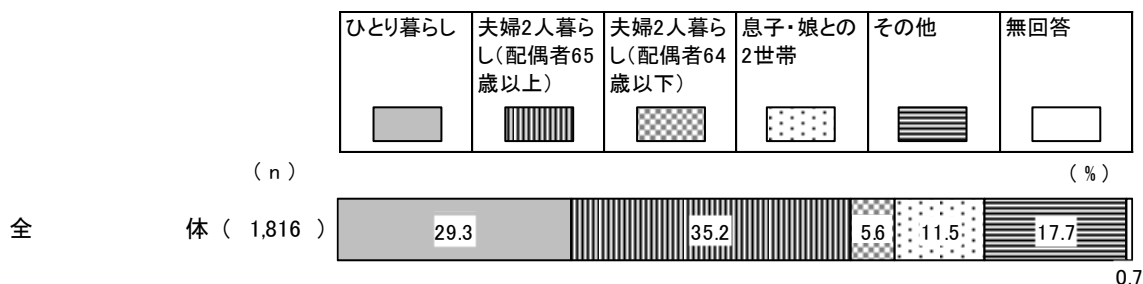


## 2. 家族・生活

### (1) 家族構成

○ 「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(35.2%)が最も多く、次いで「ひとり暮らし」(29.3%)

問4: 家族構成をお教えてください。

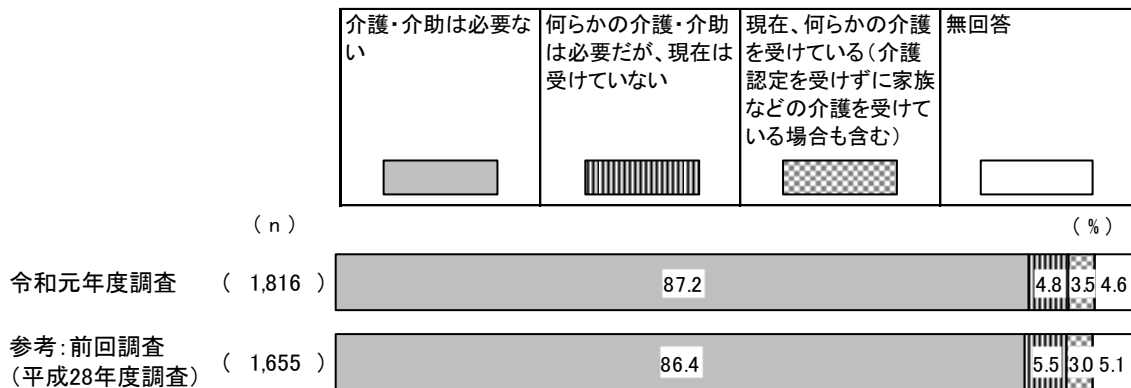


### (2) 介護・介助の状況

#### ① 介護・介助の要否

○ 「介護・介助は必要ない」(87.2%)が最も多い  
 ○ 一方、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と「現在、何らかの介護を受けている」を合わせた介護・介助が必要な人の割合は8.3%

問5: あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。



前回調査と比べると、大きな差は見られない。

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

<介護・介助の要否(家族構成別)>

	調査数	1	2	3	無回答	
		介護・介助は必要ない	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている		
全体	1816	1583	87	63	83	
	100.0	87.2	4.8	3.5	4.6	
家族構成	ひとり暮らし	532	452	29	27	24
		100.0	85.0	5.5	5.1	4.5
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	640	570	26	15	29
		100.0	89.1	4.1	2.3	4.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	102	92	4	1	5
		100.0	90.2	3.9	1.0	4.9
息子・娘との2世帯	208	179	11	9	9	
	100.0	86.1	5.3	4.3	4.3	
その他	322	281	17	11	13	
	100.0	87.3	5.3	3.4	4.0	

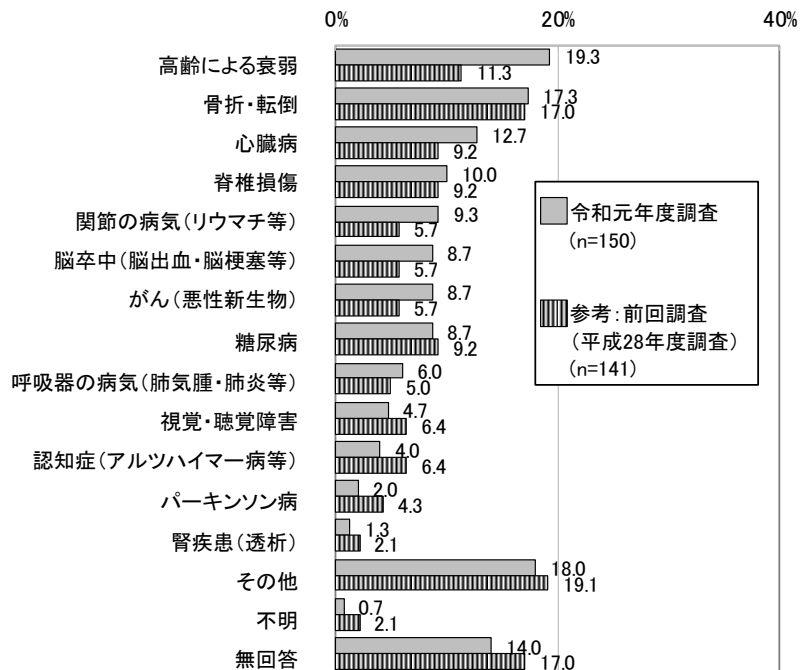
家族構成別で見ると、夫婦2人暮らしは全体と比べて、「介護・介助は必要ない」の割合がやや高い。

② 介護・介助が必要となった主な原因【ご自身】

○ 「高齢による衰弱」 (19.3%) が最も多く、次いで「骨折・転倒」 (17.3%)

【問5で「2.何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「3.現在、何らかの介護を受けている」と回答の方】

問5-1:介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。



<その他の回答>

○膝関節症 ○高血圧 ○坐骨神経痛 ○骨粗しょう症

前回調査と比べると、「高齢による衰弱」の割合が8ポイント増えている。

<介護・介助が必要となった主な原因(性別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

		調査数	1	2	3	4	5	6	7	8
			脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん(悪性新生物)	呼吸器の病気(肺炎腫・肺炎等)	関節の病気(リウマチ等)	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病
全体		150 100.0	13 8.7	19 12.7	13 8.7	9 6.0	14 9.3	6 4.0	3 2.0	13 8.7
性別	男性	47 100.0	3 6.4	8 17.0	3 6.4	3 6.4	3 6.4	2 4.3	1 2.1	5 10.6
	女性	102 100.0	10 9.8	11 10.8	10 9.8	6 5.9	11 10.8	4 3.9	2 2.0	8 7.8
		調査数	9	10	11	12	13	14	15	
			腎疾患(透析)	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
全体		150 100.0	2 1.3	7 4.7	26 17.3	15 10.0	29 19.3	27 18.0	1 0.7	21 14.0
性別	男性	47 100.0	2 4.3	2 4.3	4 8.5	4 8.5	11 23.4	7 14.9	0 0.0	9 19.1
	女性	102 100.0	0 0.0	4 3.9	22 21.6	11 10.8	18 17.6	19 18.6	1 1.0	12 11.8

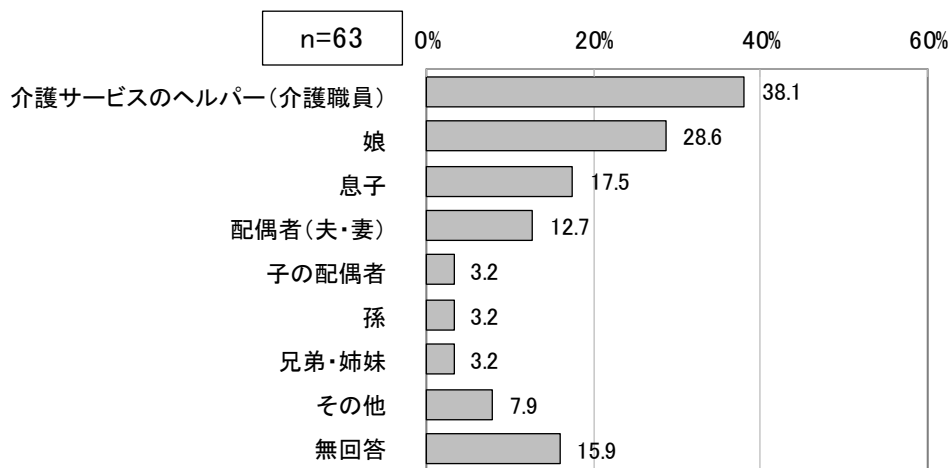
性別で見ると、男性は女性と比べて、「心臓病」及び「高齢による衰弱」の割合が高い。女性は男性と比べて、「骨折・転倒」の割合が高い。

③ 主な介護・介助者【ご自身】

○ 「介護サービスのヘルパー(介護職員)」(38.1%)が最も多く、次いで「娘」(28.6%)

【問5で「3.現在、何らかの介護を受けている」と回答の方】

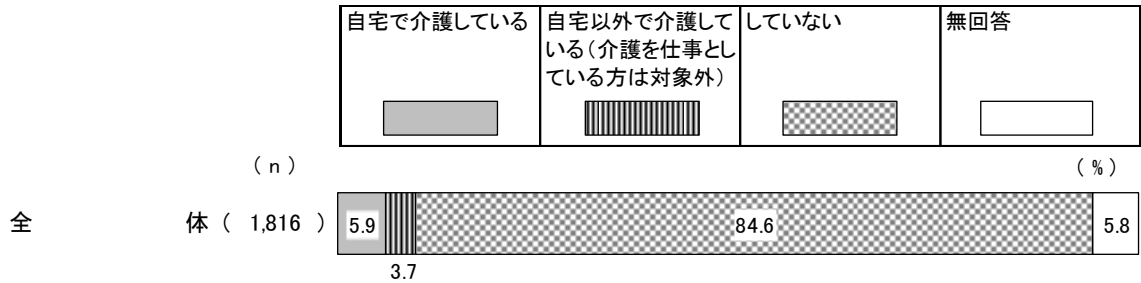
問5-2:主にどなたの介護、介助を受けていますか。【複数回答】



④ 自宅等での介護状況

○ 「自宅で介護している」が5.9%、「自宅以外で介護している」が3.7%

問 6: 現在自宅・自宅以外で誰かの介護をしていますか。



<介護状況(介護・介助の要否別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

	調査数	1	2	3	無回答	
		自宅で介護している	自宅以外で介護している(介護を仕事としている方は対象外)	していない		
<b>全体</b>	1816	107	67	1536	106	
	100.0	5.9	3.7	84.6	5.8	
介護の要否介助	介護・介助は必要ない	1583	77	58	1381	67
		100.0	4.9	3.7	87.2	4.2
	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	87	9	4	68	6
	100.0	10.3	4.6	78.2	6.9	
現在、何らかの介護を受けている	63	12	3	39	9	
	100.0	19.0	4.8	61.9	14.3	

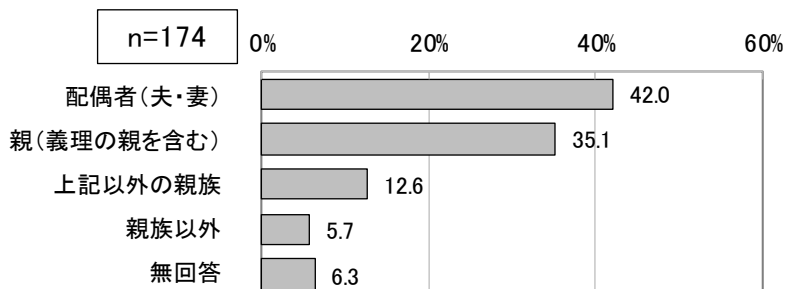
介護・介助の要否別で見ると、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」及び「現在、何らかの介護を受けている」人の2割前後が自らも自宅又は自宅外で介護している。

⑤ 介護している方の続柄

○ 「配偶者(夫・妻)」(42.0%)が最も多く、次いで「親」(35.1%)

【問6で「1.自宅で介護している」「2.自宅以外で介護している(介護を仕事としている方は対象外)」と回答の方】

問6-1: 介護している方の続柄を教えてください。【複数回答】

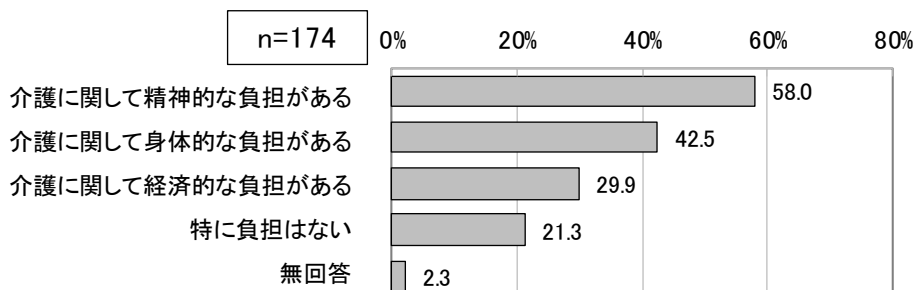


⑥ 介護における負担事項

○ 「介護に関して精神的な負担がある」(58.0%)が最も多い

【問6で「1.自宅で介護している」「2.自宅以外で介護している(介護を仕事としている方は対象外)」と回答の方】

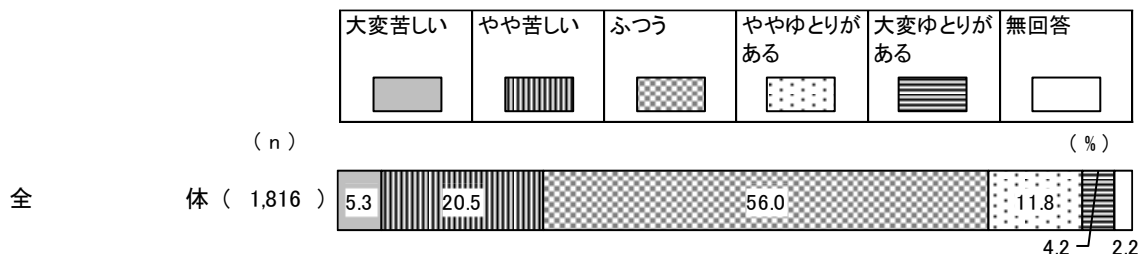
問6-2: 介護するにあたっての負担に感じる事柄を教えてください。【複数回答】



(3)主観的な経済状況

○ 「ふつう」 (56.0%) が最も多く、次いで「やや苦しい」 (20.5%)

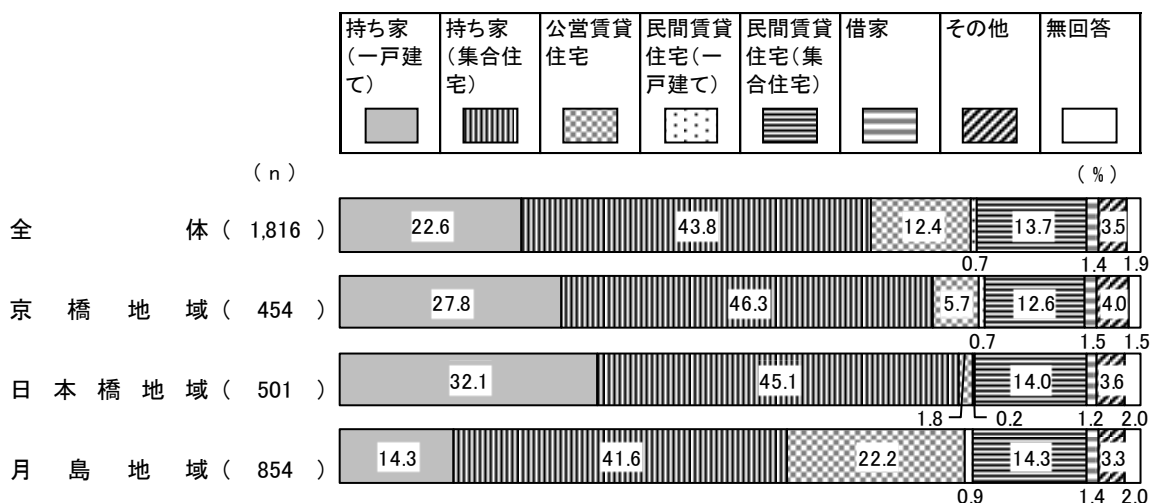
問 7:現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。



(4)住宅状況

- 「持ち家(集合住宅)」 (43.8%) が最も多い
- 「持ち家(一戸建て)」 (22.6%)、「民間賃貸住宅(一戸建て)」 (0.7%)を合わせると、住まいが一戸建ての人は 23.3%
- 「持ち家(集合住宅)」 (43.8%)、「公営賃貸住宅」 (12.4%)、「民間賃貸住宅(集合住宅)」 (13.7%)を合わせると、住まいが集合住宅の人は 69.9%

問 8:お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。



※区内の公営賃貸住宅は集合住宅のみ。借家は建物の形状で区分できないため、一戸建て又は集合住宅にいずれも含めない。

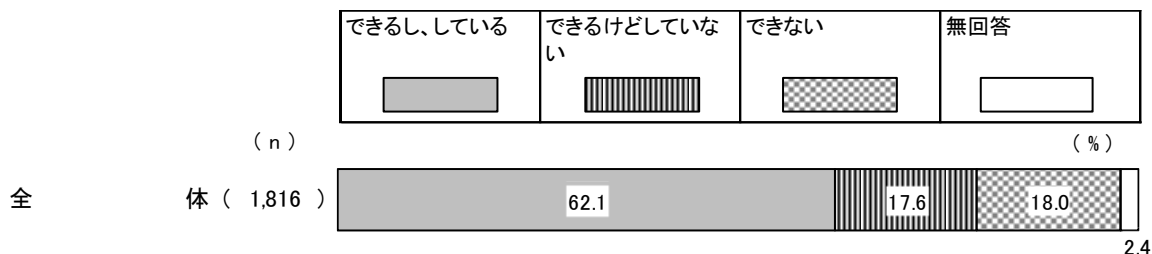
地域別で見ると、日本橋地域は他の地域と比べて、「持ち家(一戸建て)」の割合が高い。月島地域は他の地域と比べて、「持ち家(一戸建て)」の割合が低い。

### 3. 運動器機能・閉じこもり傾向

#### (1) 運動器機能

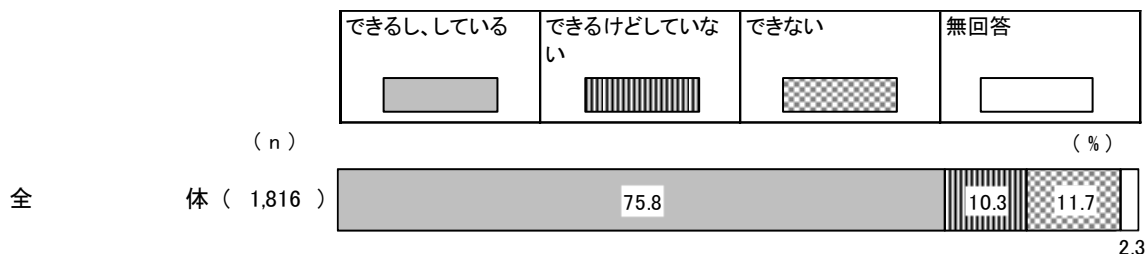
##### ① 階段を手すりや壁をつたわずに昇ること

問 9: 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。



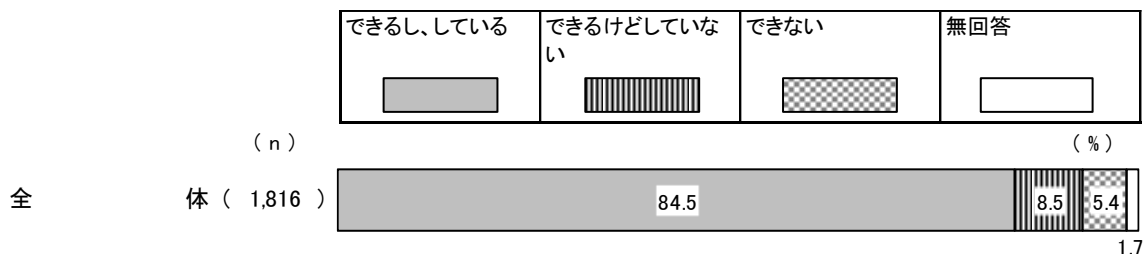
##### ② 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がること

問 10: 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。



##### ③ 15分位続けて歩くこと

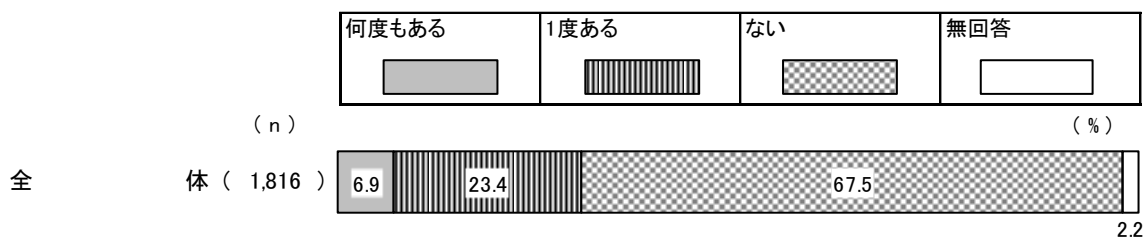
問 11: 15分位続けて歩いていますか。



##### ④ 過去1年間に転んだ経験

○ 転倒リスクのある(「何度もある」又は「1度ある」と回答)割合は30.3%

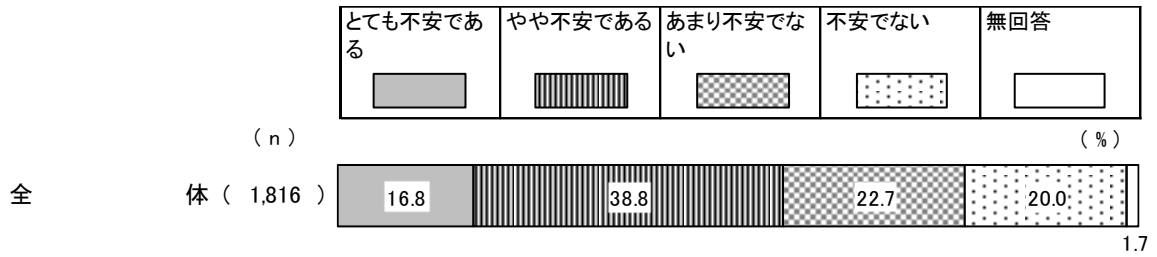
問 12: 過去1年間に転んだ経験がありますか。





⑤ 転倒に対する不安度

問 13: 転倒に対する不安は大きいですか。



< 転倒に対する不安度 (転倒経験別) >

上段: 実数 (人)  
下段: 構成比 (%)

	調査数	1	2	3	4	無回答	
		とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない		
全体	1816	305	704	412	364	31	
	100.0	16.8	38.8	22.7	20.0	1.7	
転倒経験別	何度もある	126	57	51	12	6	0
		100.0	45.2	40.5	9.5	4.8	0.0
	1度ある	425	97	211	87	29	1
	100.0	22.8	49.6	20.5	6.8	0.2	
ない	1225	146	436	311	329	3	
	100.0	11.9	35.6	25.4	26.9	0.2	

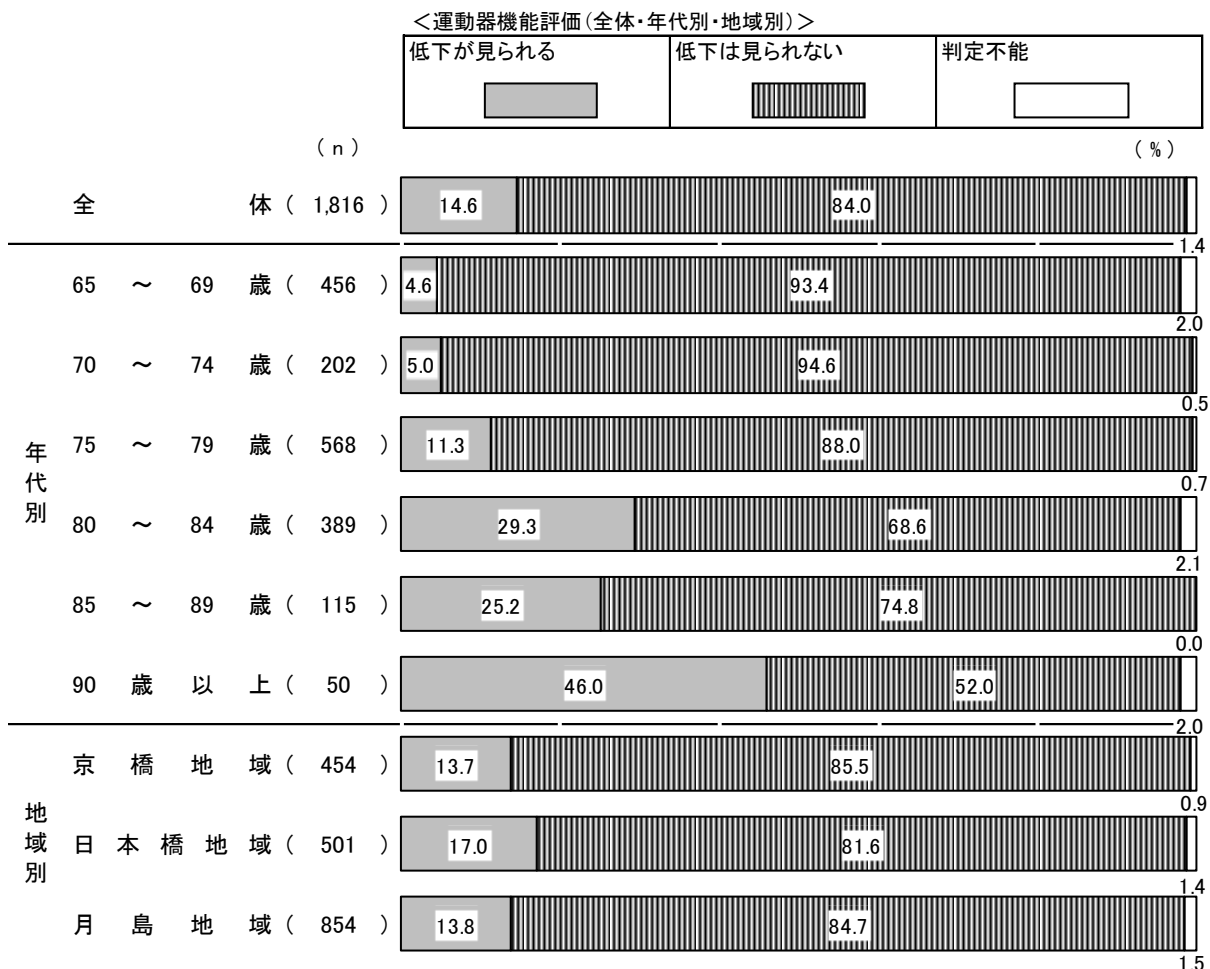
転倒経験別で見ると、転倒経験が何度もある人では、「とても不安である」の割合が高い。一方で、転倒経験のない人でも「やや不安である」の割合が3割を超える。

■運動器機能評価

問 9～13 のうち、3 問以上該当する選択肢が回答された場合、運動器機能に低下が見られると判断する。

設問	該当項目
問 9 : 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	「できない」
問 10 : 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	
問 11 : 15 分位続けて歩いていますか。	
問 12 : 過去 1 年間に転んだ経験がありますか。	「何度もある」又は「1 度ある」
問 13 : 転倒に対する不安は大きいですか。	「とても不安である」又は「やや不安である」

○ 運動器機能に低下が見られる割合は 14.6%



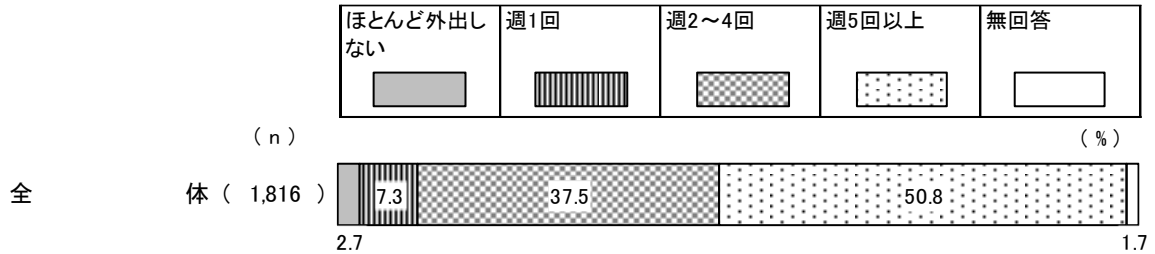
年代別で見ると、80 歳以上では他の年代と比べて、「低下が見られる」の割合が高い。  
地域別で見ると、3 地域ともに大きな差は見られない。

(2)閉じこもり傾向

① 外出の頻度

- 「週 5 回以上」(50.8%) が最も多く、次いで「週 2～4 回」(37.5%)
- 「ほとんど外出しない」と「週 1 回」を合わせた閉じこもり傾向がある人は 10.0%

問 14: 週に 1 回以上は外出していますか。



<外出の頻度(地域別・居住形態別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

	調査数	1	2	3	4		
		ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答	
全体	1816	49	133	681	922	31	
	100.0	2.7	7.3	37.5	50.8	1.7	
居住地	京橋地域	454	17	38	175	219	5
		100.0	3.7	8.4	38.5	48.2	1.1
	日本橋地域	501	11	34	190	255	11
	100.0	2.2	6.8	37.9	50.9	2.2	
	月島地域	854	21	60	313	446	14
	100.0	2.5	7.0	36.7	52.2	1.6	
居住形態	持ち家(一戸建て)	411	15	42	152	197	5
		100.0	3.6	10.2	37.0	47.9	1.2
	持ち家(集合住宅)	795	15	45	305	429	1
		100.0	1.9	5.7	38.4	54.0	0.1
	公営賃貸住宅	225	7	14	78	125	1
		100.0	3.1	6.2	34.7	55.6	0.4
	民間賃貸住宅(一戸建て)	12	1	2	5	4	0
		100.0	8.3	16.7	41.7	33.3	0.0
	民間賃貸住宅(集合住宅)	249	10	17	101	121	0
		100.0	4.0	6.8	40.6	48.6	0.0
借家	25	0	1	11	13	0	
	100.0	0.0	4.0	44.0	52.0	0.0	
その他	64	1	10	23	30	0	
	100.0	1.6	15.6	35.9	46.9	0.0	
[一戸建て計]	423	16	44	157	201	5	
	100.0	3.8	10.4	37.1	47.5	1.2	
[集合住宅計]	1269	32	76	484	675	2	
	100.0	2.5	6.0	38.1	53.2	0.2	

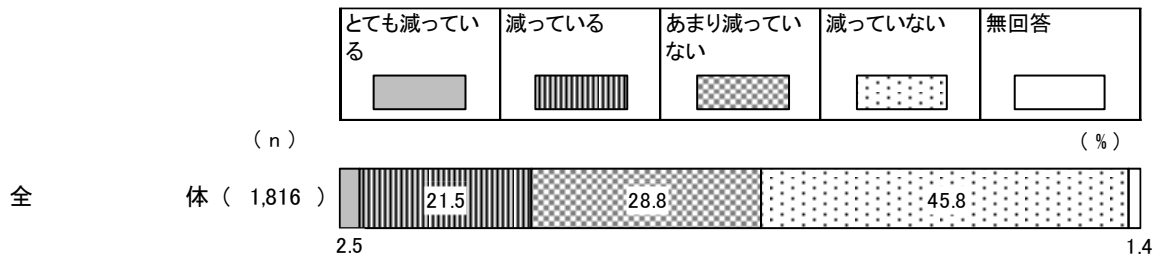
地域別で見ると、3 地域ともに大きな差は見られない。

居住形態別で見ると、「集合住宅」は「一戸建て」と比べて、「週 5 回以上」の割合が高い。

② 外出の回数が減っているか

○ 「減っていない」(45.8%) が最も多く、次いで「あまり減っていない」(28.8%)

問 15: 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。



外出の回数が「とても減っている」と「減っている」を合わせると 24.0%である。

<外出の回数が減っているか(転倒経験別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

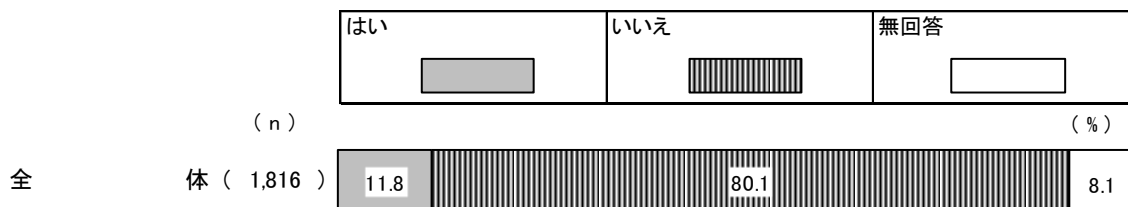
	調査数	1	2	3	4	無回答	
		とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない		
全体	1816	45	391	523	831	26	
	100.0	2.5	21.5	28.8	45.8	1.4	
転倒経験別	何度もある	126	12	47	34	33	0
		100.0	9.5	37.3	27.0	26.2	0.0
	1度ある	425	14	118	144	149	0
	100.0	3.3	27.8	33.9	35.1	0.0	
ない	1225	18	220	339	647	1	
	100.0	1.5	18.0	27.7	52.8	0.1	

転倒経験別で見ると、転倒経験が何度もある人では「減っている」の割合が高い。

③ 外出を控えているかどうか

○ 「いいえ」が 80.1%

問 16: 外出を控えていますか。

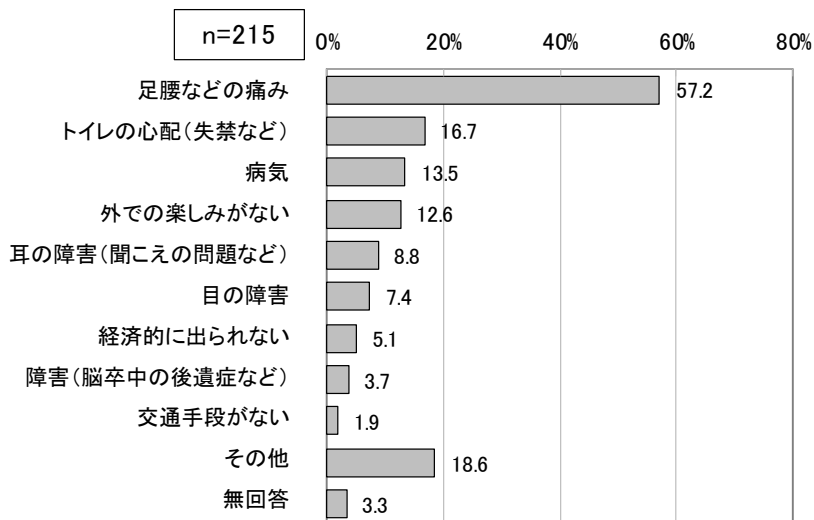


④ 外出を控えている理由

○ 「足腰などの痛み」(57.2%) が最も多い

【問 16 で「1.はい」と回答の方】

問 16-1: 外出を控えている理由は、次のどれですか。【複数回答】



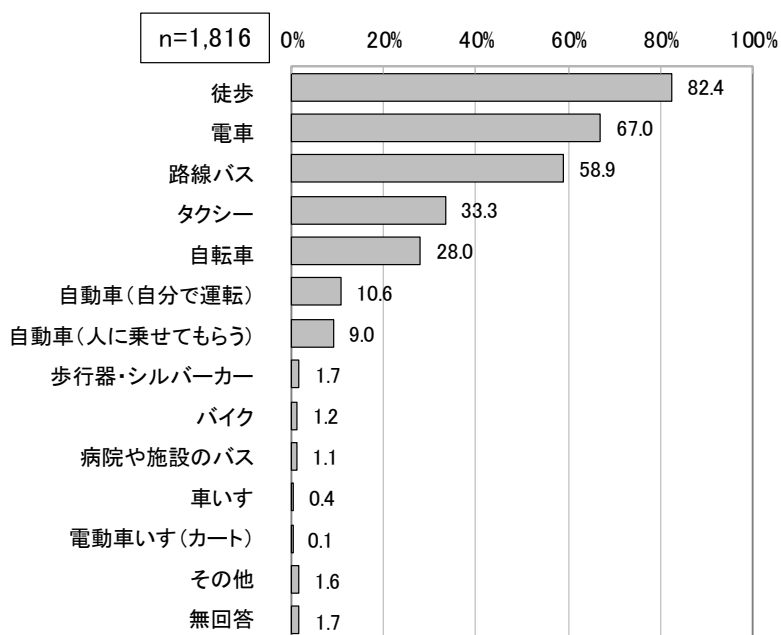
<その他の回答>

○ 仕事で疲れている ○ ふらつき ○ 転ぶのが怖い ○ 1人では不安

⑤ 外出する際の移動手段

○ 「徒歩」(82.4%) が最も多い

問 17: 外出する際の移動手段は何ですか。【複数回答】

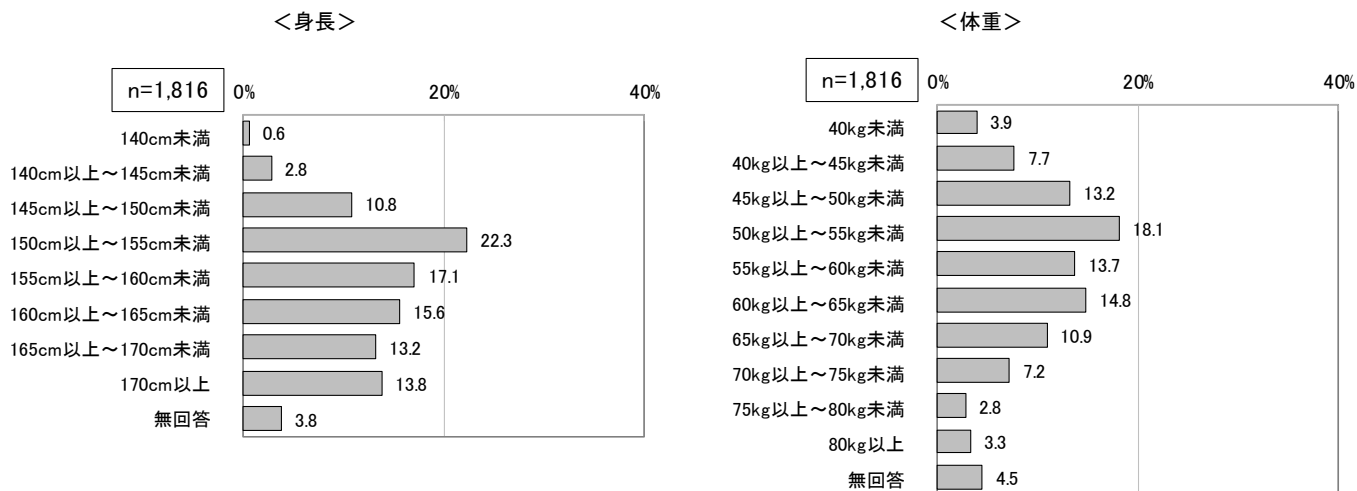


## 4. 栄養状態・口腔機能

### (1)身長・体重・BMI

○ 低体重(BMI 18.5未満)は9.0%

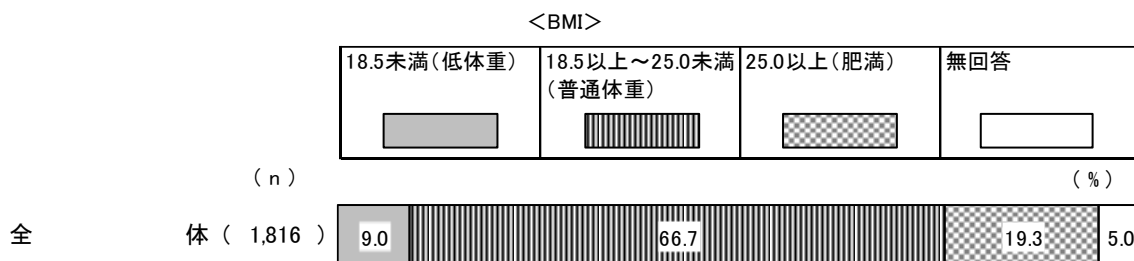
問 18:身長[ cm]・体重[ kg] (数量)



BMI(ボディマス指数): 体重と身長の関係から肥満度を表す体格指数

・BMI=体重(kg)÷(身長(m)×身長(m))

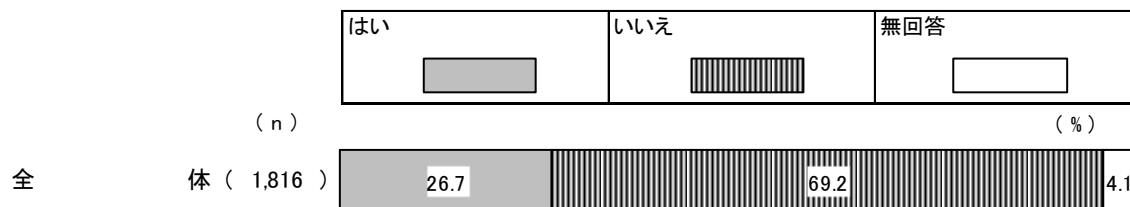
・18.5 未満: 低体重 / 18.5～25 未満: 普通体重 / 25 以上: 肥満



(2)口腔機能

○ 咀嚼機能の低下が疑われる人は 26.7%

問 19: 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

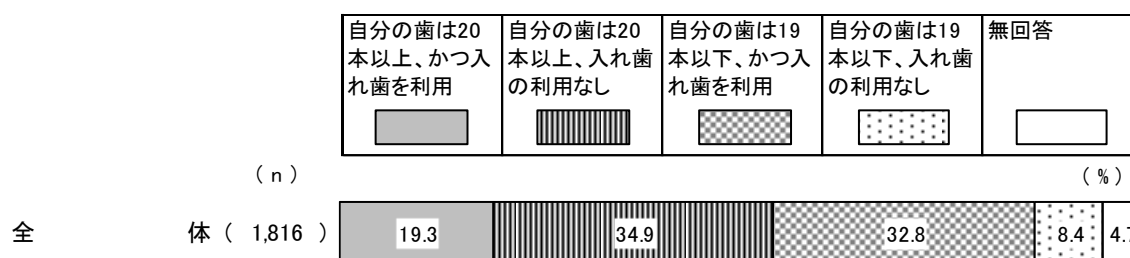


(3)入れ歯の有無と歯数

○ 入れ歯を利用している人が 52.1%

問 20: 歯の数と入れ歯の利用状況をお聞きします。

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です)



「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」(34.9%) が最も多い。一方で、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」(32.8%) と「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」(19.3%) を合わせた入れ歯を利用している人は 52.1% である。

また、自分の歯が 20 本以上の人は 54.2% である。

<入れ歯の有無と歯数(介護・介助の要否別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

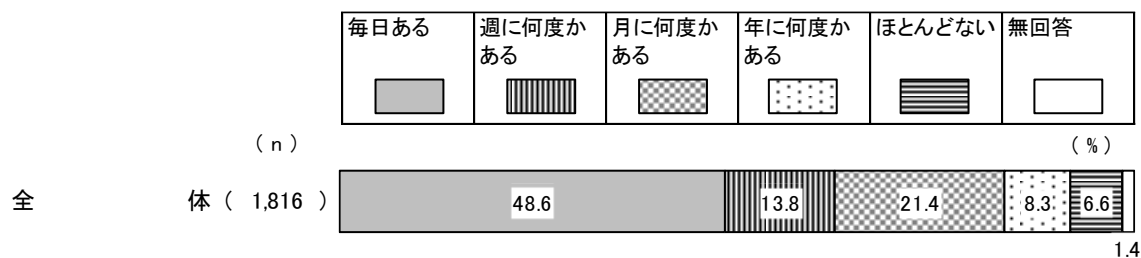
	調査数	1	2	3	4	無回答	
		自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし		
<b>全体</b>	1816	350	634	595	152	85	
	100.0	19.3	34.9	32.8	8.4	4.7	
介護・介助の要否別	介護・介助は必要ない	1583	312	590	504	122	55
		100.0	19.7	37.3	31.8	7.7	3.5
	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	87	12	17	40	8	10
	100.0	13.8	19.5	46.0	9.2	11.5	
現在、何らかの介護を受けている	63	15	9	26	8	5	
	100.0	23.8	14.3	41.3	12.7	7.9	

介護・介助の要否別で見ると、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」及び「現在、何らかの介護を受けている」人は、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が高い。

(4)孤食の状況(人と食事をする機会)

○ 「毎日ある」(48.6%) が最も多く、次いで「月に何度かある」(21.4%)

問 21:どなたかと食事をともにする機会がありますか。

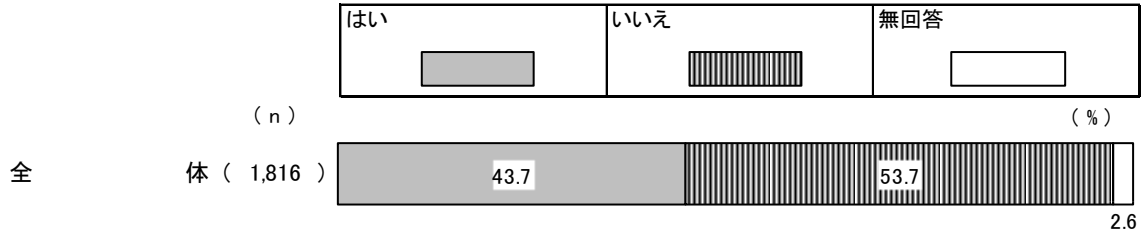




## 5. 日常生活動作や社会的役割等

### (1) 認知機能の状況

問 22: 物忘れが多いと感じますか。

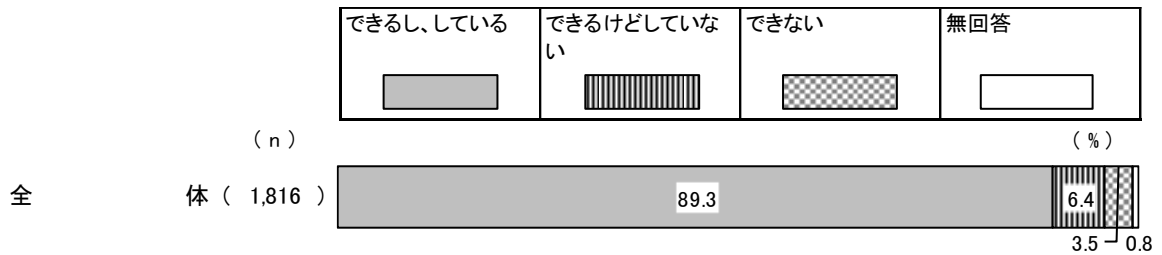


### (2) 手段的日常生活動作 (IADL)

※手段的日常生活動作 (IADL: Instrumental Activities of Daily Living) とは、モノや道具を使ってする生活能力のことをいい、日常の動作より応用的な動作が必要な活動 (バスに乗って買い物に行く、食事の支度をするなど) を指す。

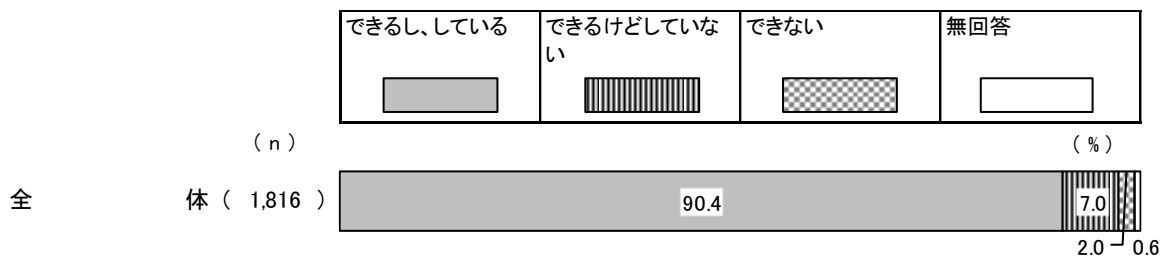
#### ① 交通手段を使って1人で外出できるか

問 23: バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。



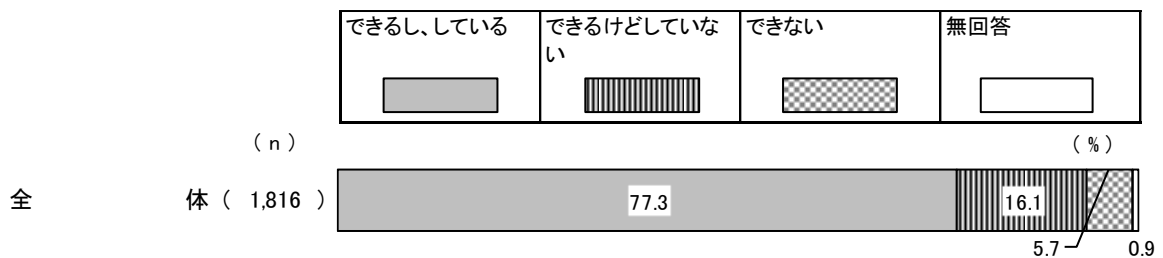
#### ② 自分で買物ができるか

問 24: 自分で食品・日用品の買物をしていますか。



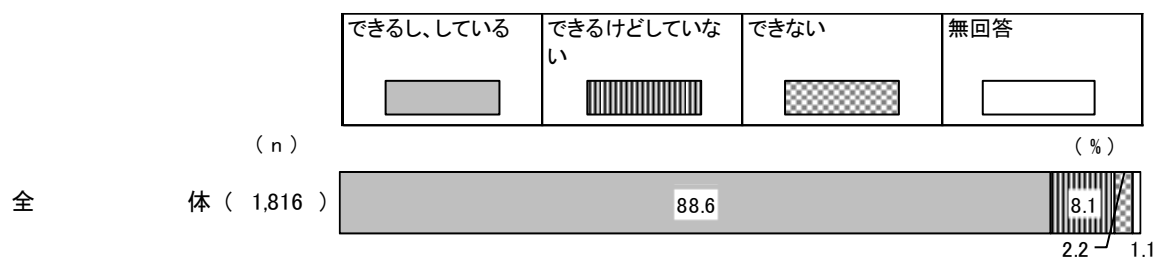
#### ③ 自分で食事の用意ができるか

問 25: 自分で食事の用意をしていますか。



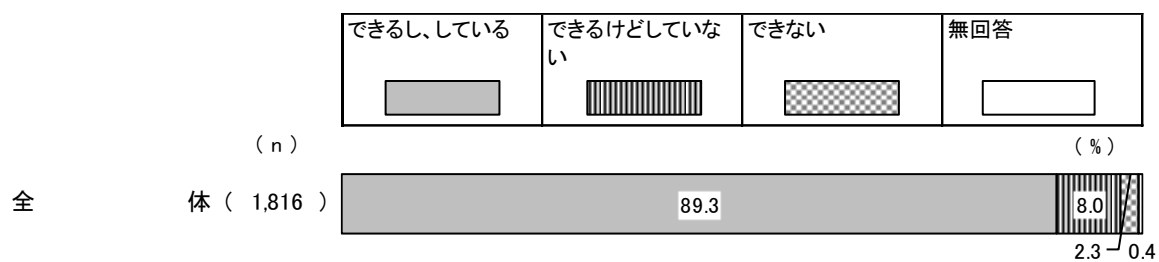
④ 自分で請求書の支払いができるか

問 26: 自分で請求書の支払いをしていますか。



⑤ 自分で預貯金の出し入れができるか

問 27: 自分で預貯金の出し入れをしていますか。



■手段的日常生活動作(IADL)の評価

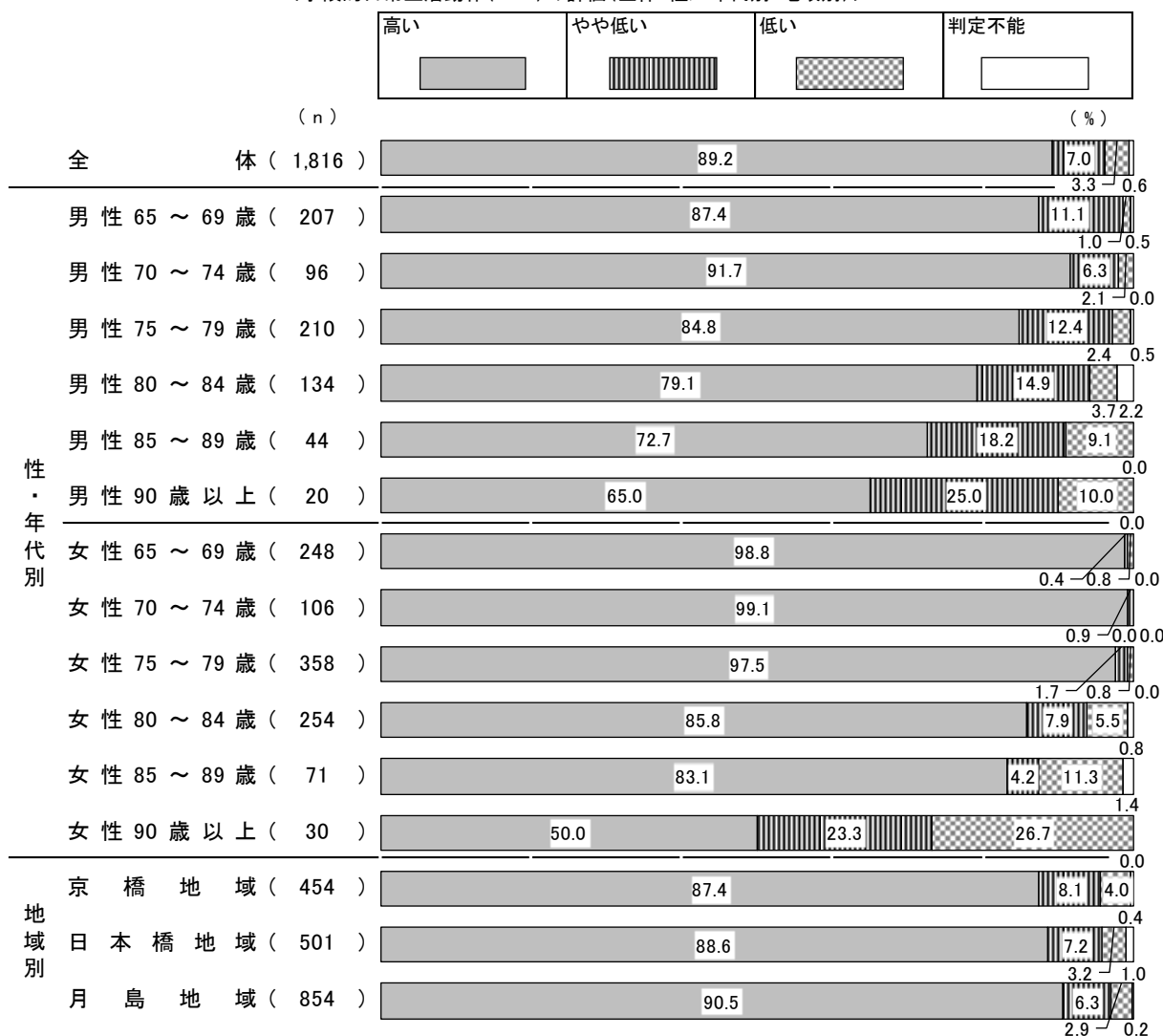
問 23～27 の選択肢と配点による合計で手段的日常生活動作の評価を行う。

5 点を「高い」、4 点を「やや低い」、3 点以下を「低い」と評価する。

設問	該当項目
問 23：バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)。	「できるし、している」又は 「できるけどしていない」：1点 「できない」：0点
問 24：自分で食品・日用品の買物をしていますか。	
問 25：自分で食事の用意をしていますか。	
問 26：自分で請求書の支払いをしていますか。	
問 27：自分で預貯金の出し入れをしていますか。	

○ 手段的日常生活動作(IADL)の評価が「低い」人は全体の3.3%

<手段的日常生活動作(IADL)の評価(全体・性/年代別・地域別)>



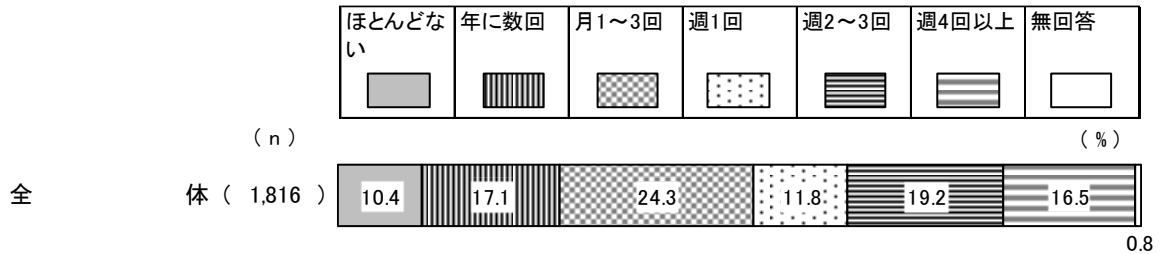
性/年代別で見ると、男女とも85歳以上ではIADLの評価が「低い」割合が高くなる。また、全ての年代において、男性は女性と比べて、IADLの評価が「やや低い」割合が高い。

地域別で見ると、3地域ともに大きな差は見られない。

(3)友人・知人と会う頻度

○ 「月1～3回」 (24.3%) が最も多く、次いで「週2～3回」 (19.2%)

問 28: 友人・知人と会う頻度はどのくらいですか。



<友人・知人と会う頻度(性別・年代別・居住形態別)>

上段: 実数(人)  
下段: 構成比(%)

	調査数	1	2	3	4	5	6	無回答	
		ほとんどない	年に数回	月1～3回	週1回	週2～3回	週4回以上		
全体	1816	188	311	441	214	348	300	14	
	100.0	10.4	17.1	24.3	11.8	19.2	16.5	0.8	
性別	男性	731	98	139	175	67	107	137	8
	100.0	13.4	19.0	23.9	9.2	14.6	18.7	1.1	
女性	1079	90	169	266	147	241	161	5	
	100.0	8.3	15.7	24.7	13.6	22.3	14.9	0.5	
年代別	65～69歳	456	35	80	120	48	84	87	2
	100.0	7.7	17.5	26.3	10.5	18.4	19.1	0.4	
	70～74歳	202	11	39	60	25	29	38	0
	100.0	5.4	19.3	29.7	12.4	14.4	18.8	0.0	
	75～79歳	568	47	88	137	78	126	89	3
	100.0	8.3	15.5	24.1	13.7	22.2	15.7	0.5	
	80～84歳	389	51	65	80	47	81	59	6
100.0	13.1	16.7	20.6	12.1	20.8	15.2	1.5		
85～89歳	115	21	23	28	12	18	12	1	
	100.0	18.3	20.0	24.3	10.4	15.7	10.4	0.9	
	90歳以上	50	18	6	10	4	7	4	1
100.0	36.0	12.0	20.0	8.0	14.0	8.0	2.0		
形態住	【一戸建て計】	423	43	74	95	52	96	58	5
	100.0	10.2	17.5	22.5	12.3	22.7	13.7	1.2	
【集合住宅計】	1269	125	224	314	149	226	225	6	
100.0	9.9	17.7	24.7	11.7	17.8	17.7	0.5		

性別で見ると、男性は女性と比べて、「ほとんどない」及び「年に数回」の割合が高い。女性は男性と比べて、「週2～3回」の割合が高い。

年代別で見ると、70歳以上では年代が上がるほど、「ほとんどない」の割合が高い。年代が低くなるにつれ、「週4回以上」の割合が増えている。

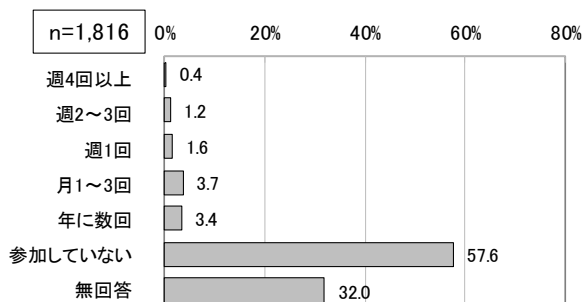
## 6. 地域での活動

### (1) 社会参加の状況

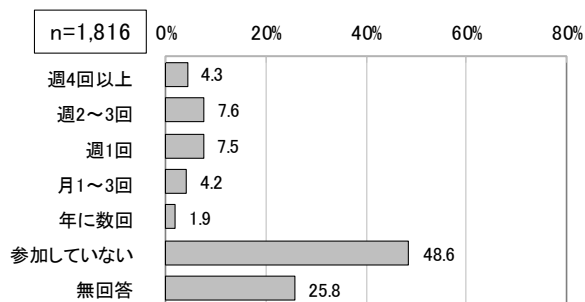
○ 「収入のある仕事」（29.7%）が最も参加率が高く、次いで「趣味関係のグループ」（26.5%）

問 29: 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

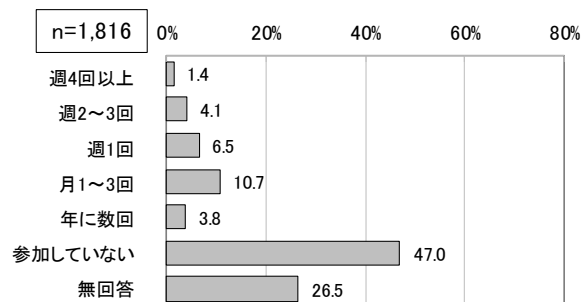
<①ボランティアのグループ>



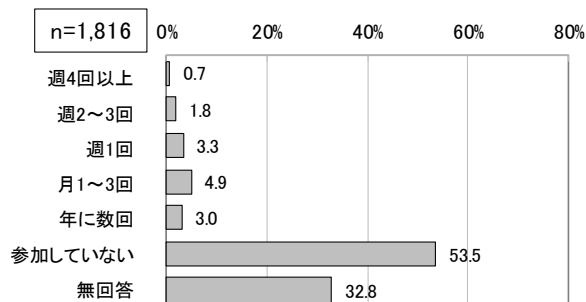
<②スポーツ関係のグループやクラブ>



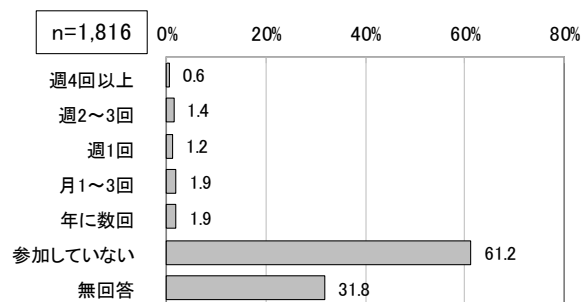
<③趣味関係のグループ>



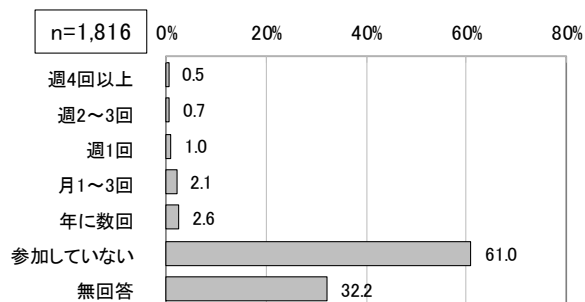
<④学習・教養サークル>



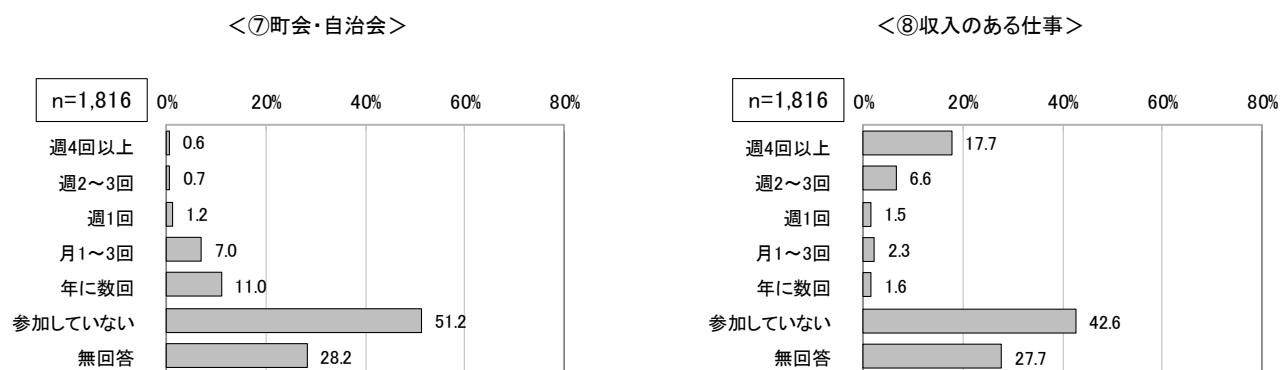
<⑤高齢者通いの場などの月1回以上開催されている主に高齢者向けのサロン>



<⑥高齢者クラブ>



イ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（調査B）



参加している（「週4回以上」～「年に数回」を合わせた）割合が高い活動は、「収入のある仕事」が29.7%、「趣味関係のグループ」が26.5%、「スポーツ関係のグループやクラブ」が25.5%、「町会・自治会」が20.5%である。

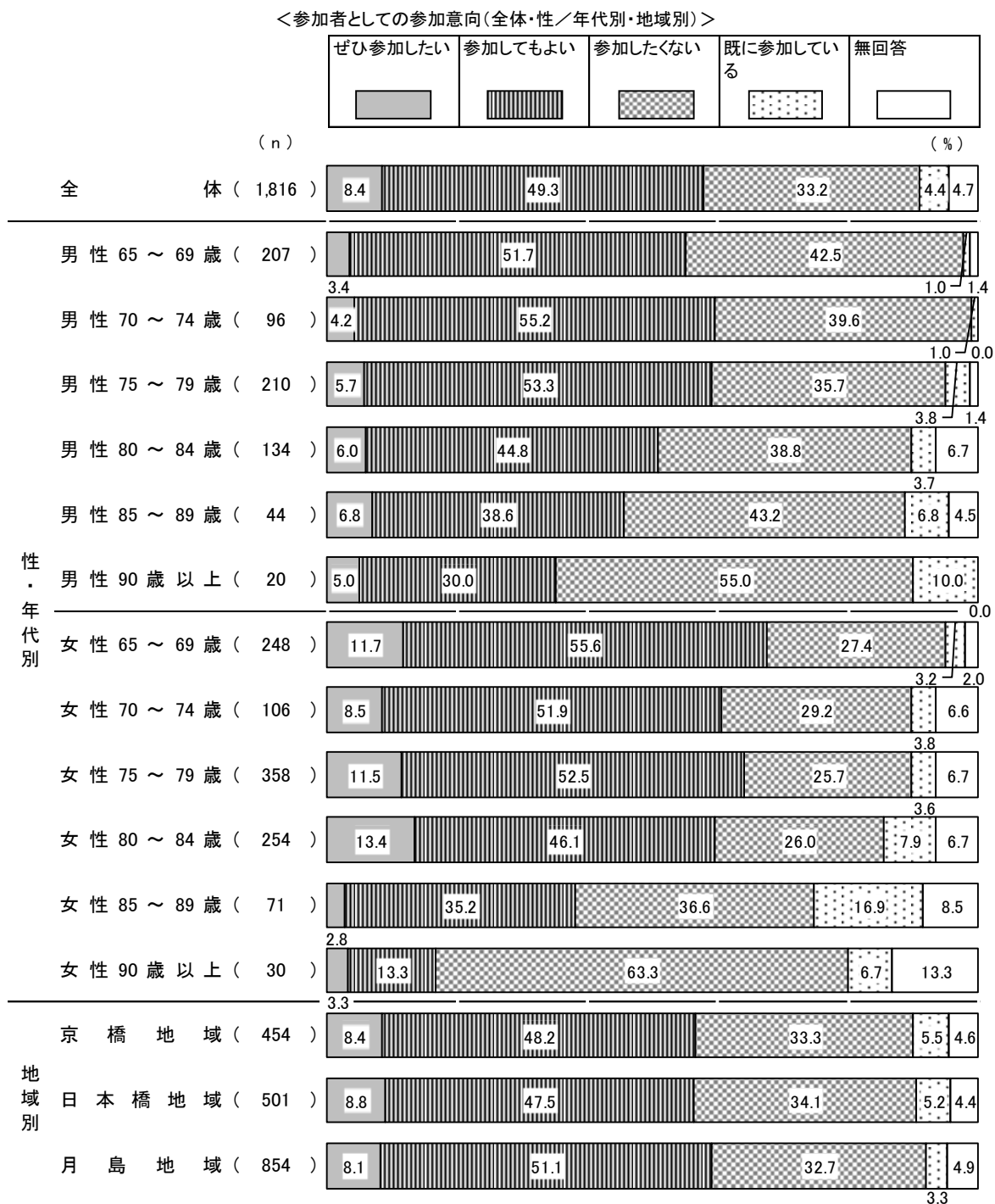
参加頻度が高い「週4回以上」の割合が高い活動は、「収入のある仕事」が17.7%、次いで「スポーツ関係のグループやクラブ」が4.3%である。

(2)地域づくりへの参加意向

① 参加者として

○ 参加者として「ぜひ参加したい」が 8.4%、「参加してもよい」が 49.3%

問 30: 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。



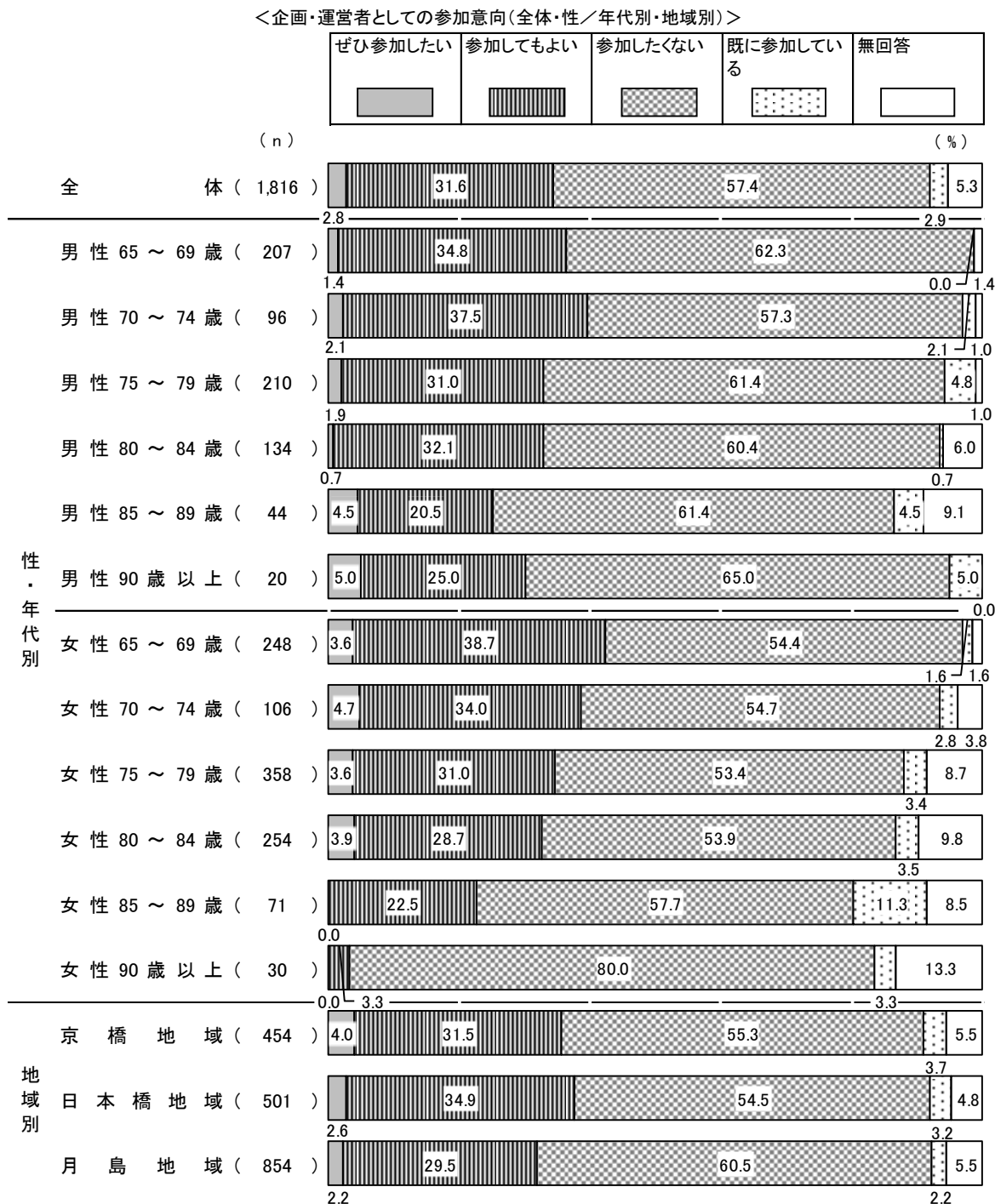
性／年代別で見ると、女性は男性と比べて、84歳以下では「ぜひ参加したい」及び「参加してもよい」を合わせた割合が高い。

地域別で見ると、3地域ともに大きな差は見られない。

② 企画・運営者として

○ 企画運営者として「ぜひ参加したい」が2.8%、「参加してもよい」が31.6%

問 31: 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。



性/年代別で見ると、女性は年代が上がるほど、「ぜひ参加したい」と「参加してもよい」の割合が低い。

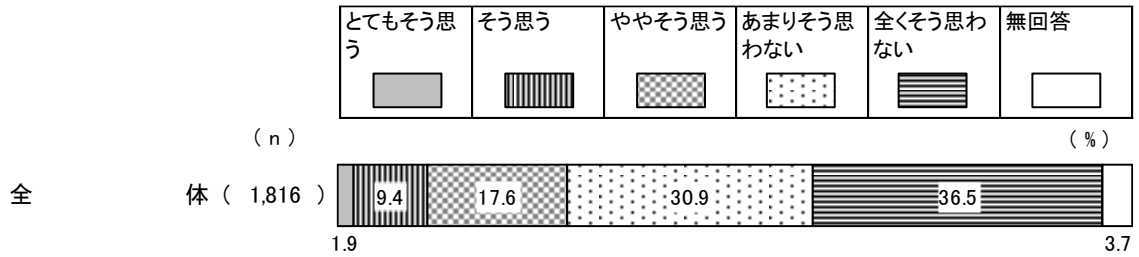
地域別で見ると、日本橋地域は他の地域と比べて、「ぜひ参加したい」と「参加してもよい」の割合がやや高い。



(3)地域の人からの期待や頼り

○ 役割を期待されたり頼りにされていると思っている人が 28.9%

問 32: あなたは地域の人等から何らかの役割を期待されたり頼りにされていると思いますか。



「とてもそう思う」(1.9%)、「そう思う」(9.4%) 及び「ややそう思う」(17.6%) を合わせると、役割を期待されたり頼りにされていると感じている人が約 3 割を占める。

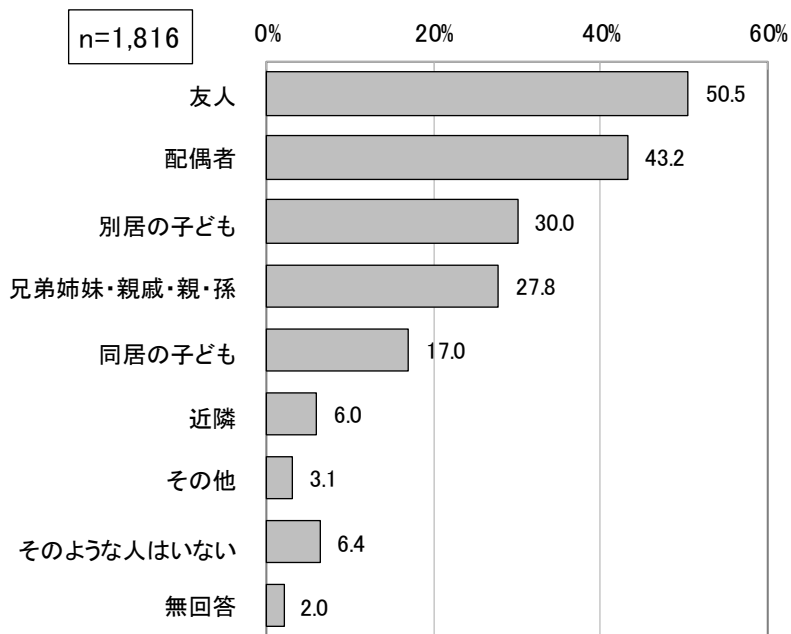
## 7. たすけあいの状況

### (1) 相談相手や世話役

#### ① 愚痴を聞いてくれる人

○ 「友人」(50.5%) が最も多く、次いで「配偶者」(43.2%)

問 33: あなたの心配ごとや愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はいますか。【複数回答】



<愚痴を聞いてくれる人(性別)> 上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

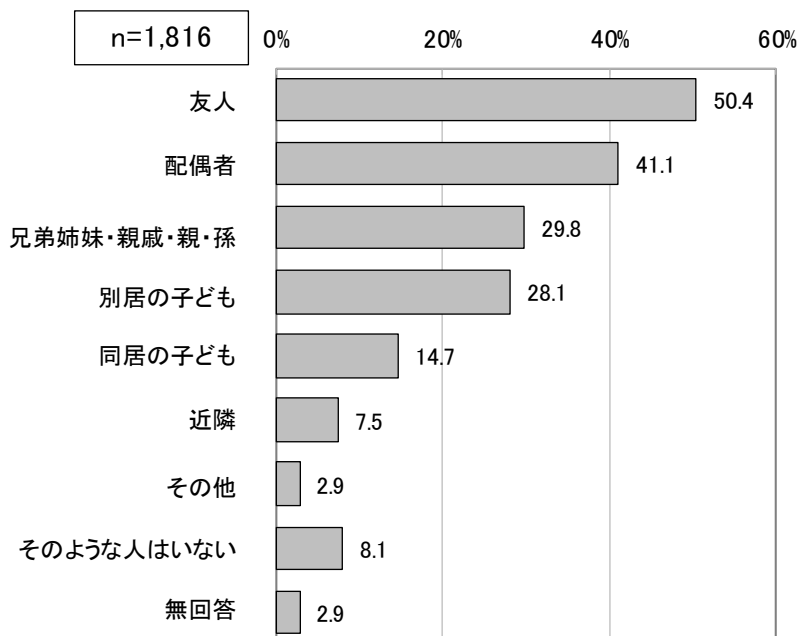
	調査数	1	2	3	4	5	6	7	8	無回答	
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない		
全体	1816 100.0	784 43.2	308 17.0	545 30.0	504 27.8	109 6.0	917 50.5	56 3.1	117 6.4	37 2.0	
性別	男性	731 100.0	458 62.7	74 10.1	152 20.8	126 17.2	23 3.1	282 38.6	25 3.4	76 10.4	18 2.5
	女性	1079 100.0	324 30.0	233 21.6	390 36.1	378 35.0	86 8.0	634 58.8	31 2.9	41 3.8	18 1.7

性別で見ると、男性は女性と比べて、「配偶者」の割合が高い。女性は男性と比べて、「友人」の割合が高い。

② 愚痴を聞いてあげる人

○ 「友人」(50.4%) が最も多く、次いで「配偶者」(41.1%)

問 34: 反対に、あなたが心配ごとや愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はいますか。【複数回答】



< 愚痴を聞いてあげる人(性別) >

上段: 実数(人)  
下段: 構成比(%)

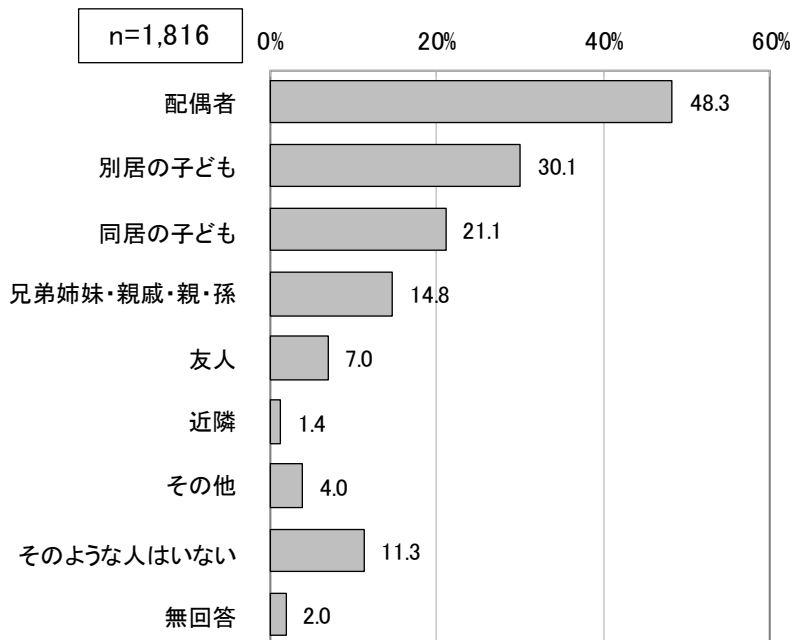
	調査数	1	2	3	4	5	6	7	8	無回答	
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない		
全体	1816 100.0	746 41.1	267 14.7	511 28.1	542 29.8	137 7.5	915 50.4	52 2.9	148 8.1	53 2.9	
性別	男性	731 100.0	451 61.7	78 10.7	165 22.6	156 21.3	25 3.4	279 38.2	26 3.6	78 10.7	20 2.7
	女性	1079 100.0	293 27.2	189 17.5	344 31.9	385 35.7	112 10.4	635 58.9	26 2.4	70 6.5	32 3.0

性別で見ると、男性は女性と比べて、「配偶者」の割合が高い。女性は男性と比べて、「友人」の割合が高い。

③ 看病してくれる人

○ 「配偶者」(48.3%) が最も多く、次いで「別居の子ども」(30.1%)

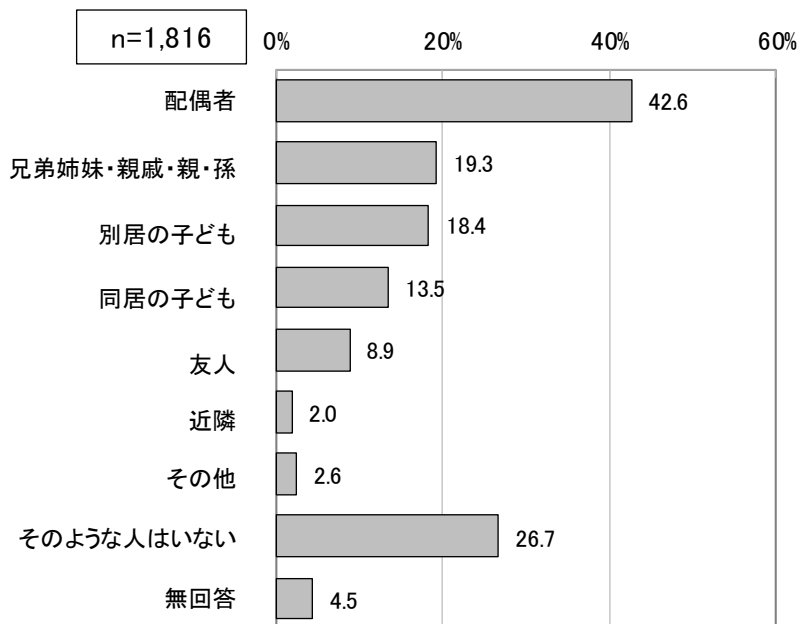
問 35: あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。【複数回答】



④ 看病してあげる人

○ 「配偶者」(42.6%) が最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(19.3%)

問 36: 反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか。【複数回答】

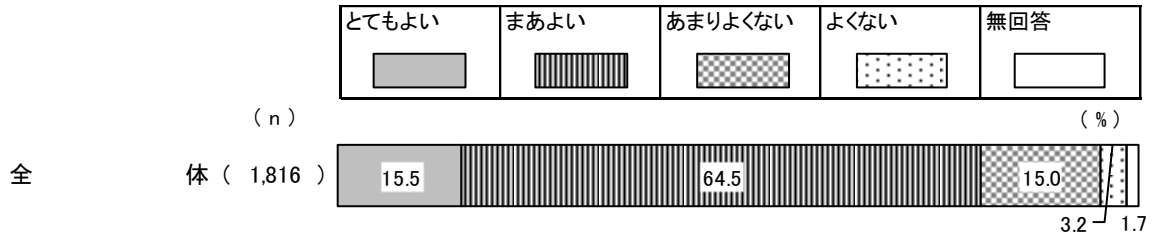


## 8. 健康

### (1)主観的健康感

○ 「とてもよい」と「まあよい」を合わせると 80.0%

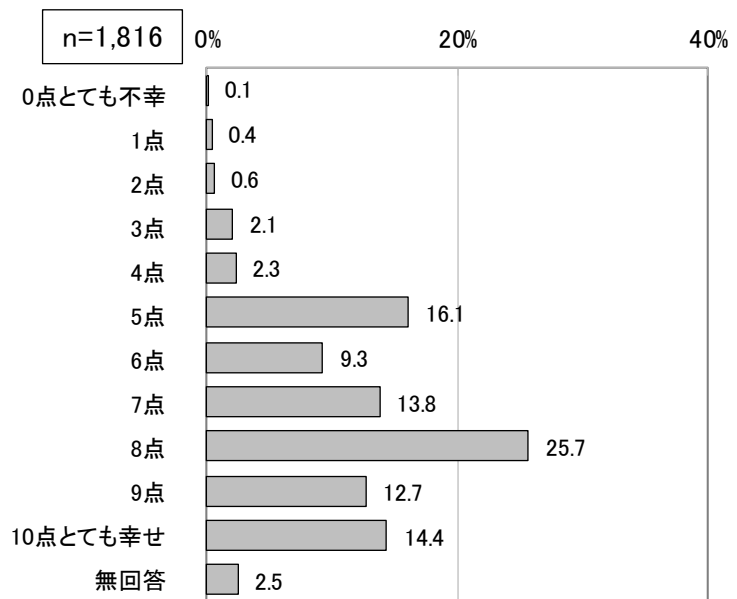
問 37:現在のあなたの健康状態はいかがですか。



### (2)主観的幸福度

○ 「8点」(25.7%)が最も多く、「7点」から「10点とても幸せ」までを合わせると 66.6%

問 38:あなたは、現在どの程度幸せですか。

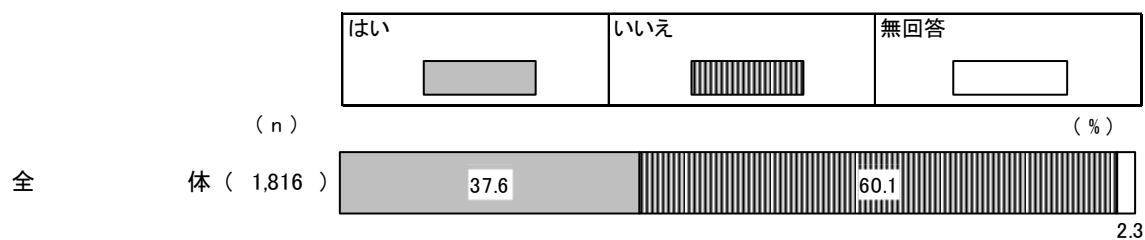


平均点は 7.32 点であった。

(3) うつの状況

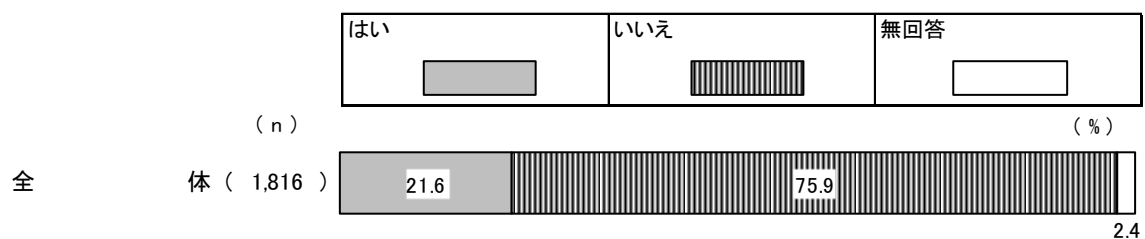
① 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったことがあるか

問 39: この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。



② 物事に対して興味がわからない、心から楽しめない感じがよくあるか

問 40: この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

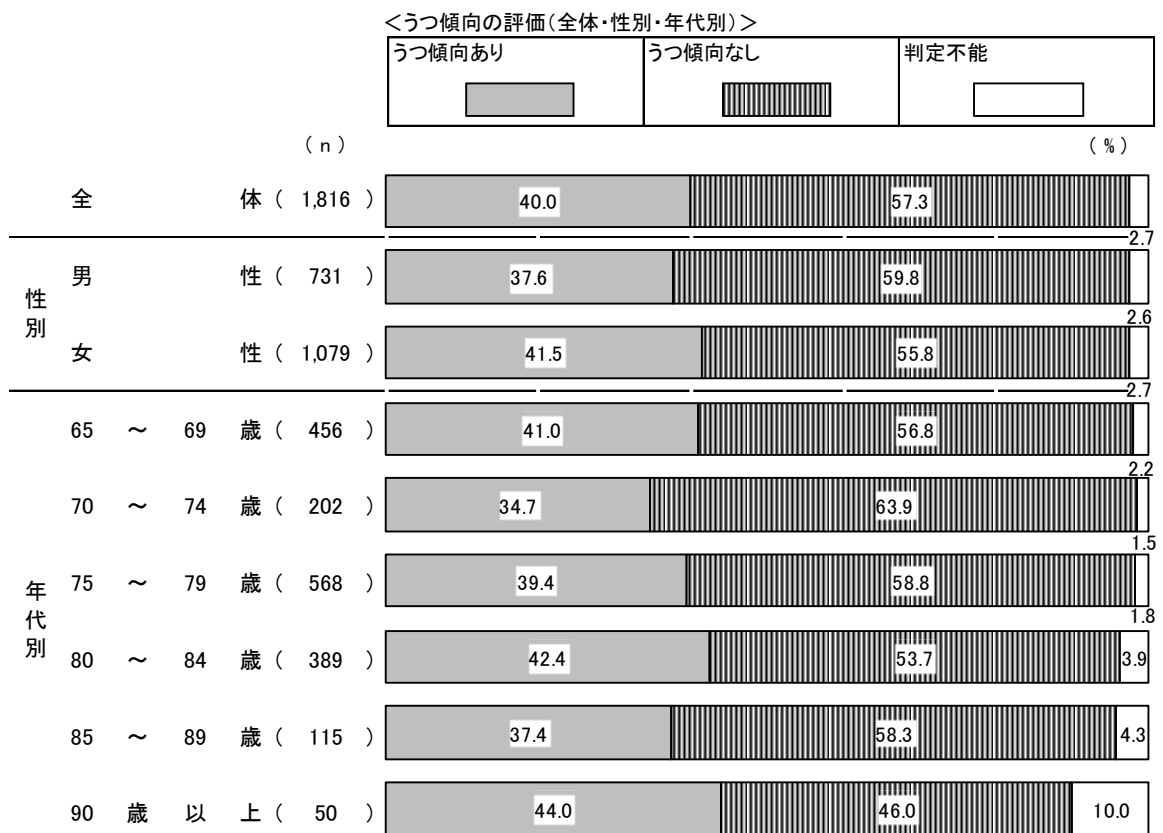


■うつ傾向の評価

問 39、問 40 のいずれかで「はい」と回答された場合、うつ傾向であると評価する。

設問	該当項目
問 39：この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	「はい」
問 40：この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	

○ うつ傾向の人は全体の40.0%

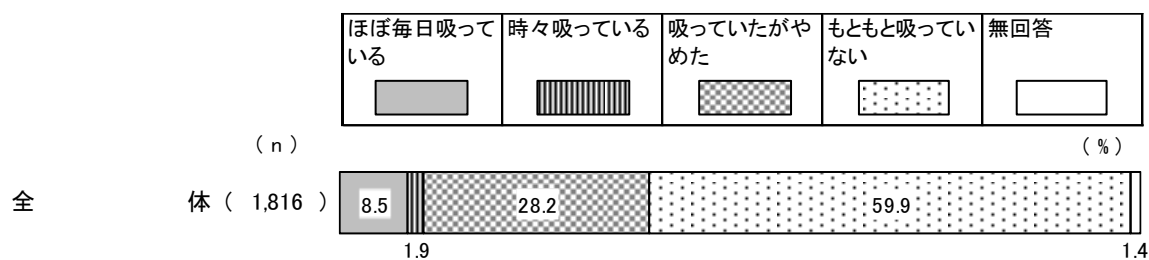


性別で見ると、女性は男性と比べて、「うつ傾向あり」の割合がやや高い。

また、年代別で見ると、65～69歳、80～84歳及び90歳以上は「うつ傾向あり」の割合が4割を超えている。

(4)喫煙の習慣

問 41:タバコは吸っていますか。



<喫煙の習慣(主観的健康状態別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

	調査数	1	2	3	4	無回答	
		ほぼ毎日吸っている	時々吸っている	吸っていたがやめた	もともと吸っていない		
全体	1816 100.0	155 8.5	35 1.9	513 28.2	1088 59.9	25 1.4	
主観的健康状態	とてもよい	282 100.0	20 7.1	2 0.7	73 25.9	186 66.0	1 0.4
	まあよい	1172 100.0	110 9.4	27 2.3	332 28.3	698 59.6	5 0.4
	あまりよくない	272 100.0	22 8.1	4 1.5	84 30.9	161 59.2	1 0.4
	よくない	59 100.0	3 5.1	2 3.4	20 33.9	34 57.6	0 0.0

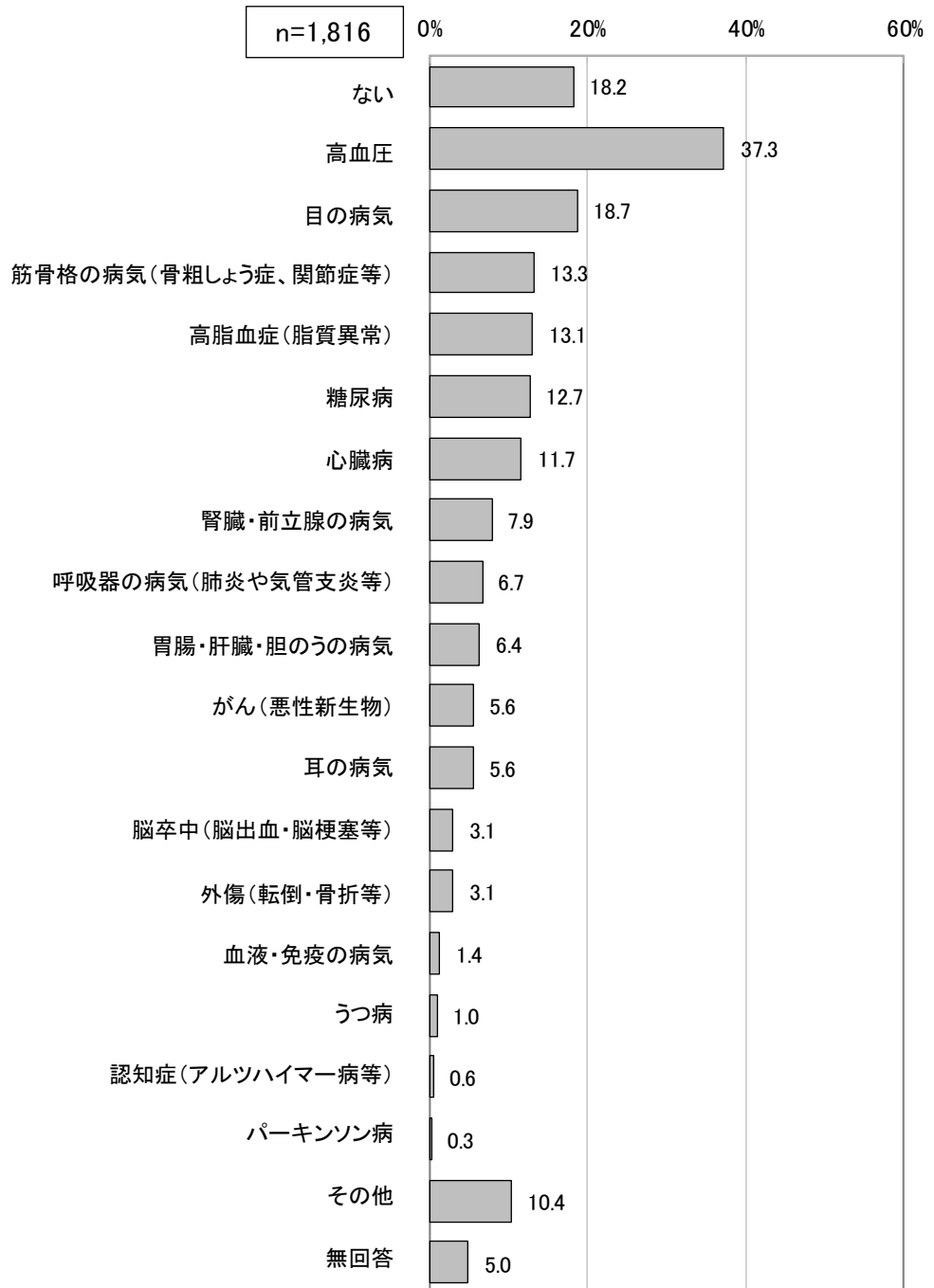
主観的健康状態別で見ると、とてもよいと回答した人は、「もともと吸っていない」の割合が高い。



(5)疾病

- 「ない」が18.2%
- 病気については、「高血圧」(37.3%)が最も多く、次いで「目の病気」(18.7%)

問 42: 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。【複数回答】



<その他の回答>

- 歯周病 ○アレルギー疾患 ○痛風 ○甲状腺の病気 ○リウマチ ○腰痛

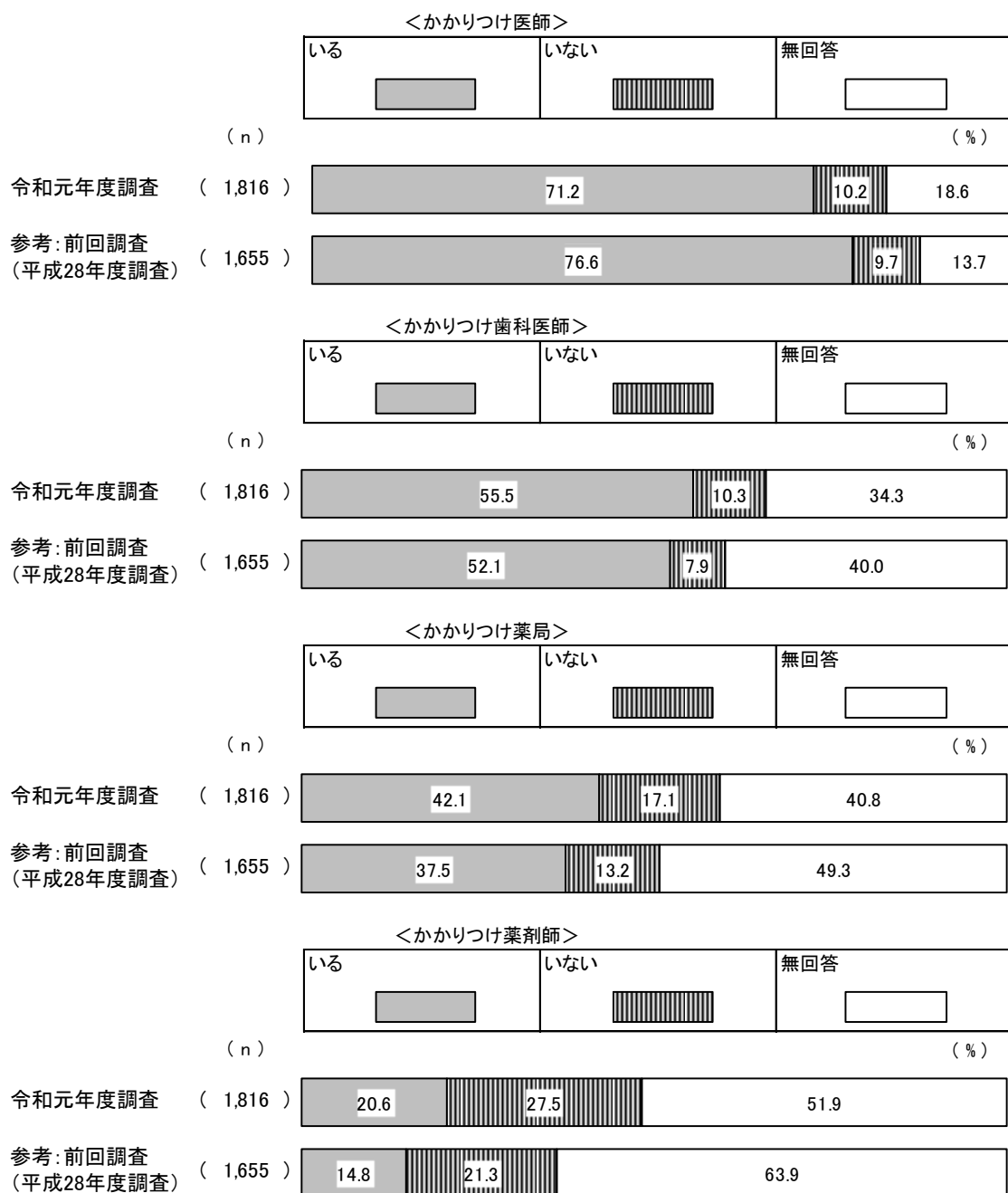
## 9. 医療

### (1) かかりつけ医等

#### ① かかりつけ医師等の有無

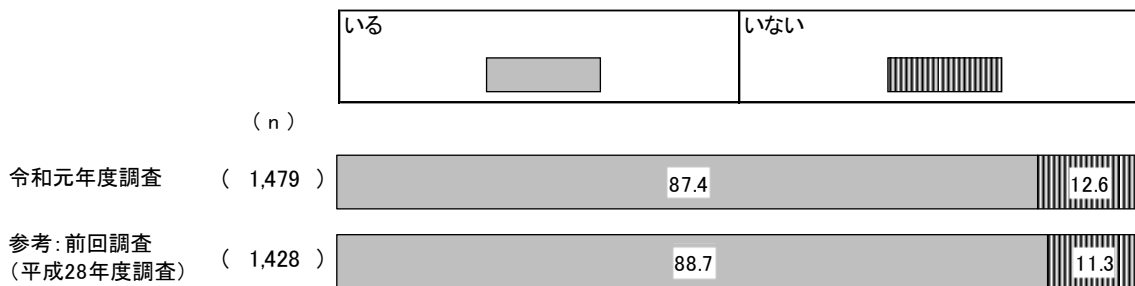
○ 「いる」割合は、医師が71.2%で最も高く、歯科医師では55.5%、薬局では42.1%、薬剤師では20.6%

問 43: あなたは、普段から治療を受けたり、日常の健康についての相談・指導を受けることができる、かかりつけの医師、歯科医師、薬局、薬剤師がいますか。

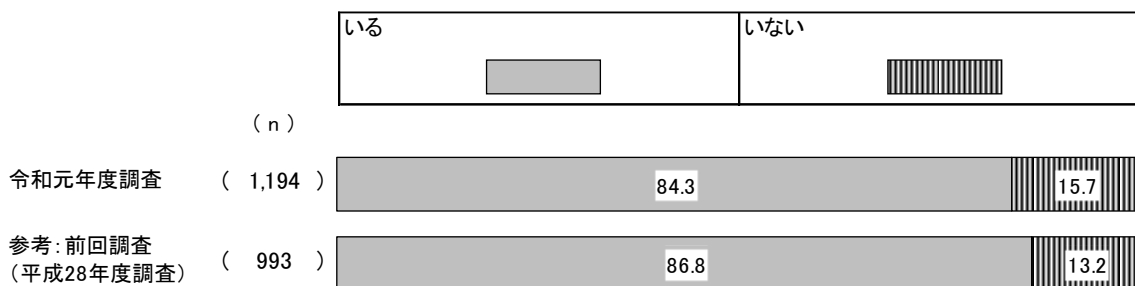


<参考:無回答を除いて集計>

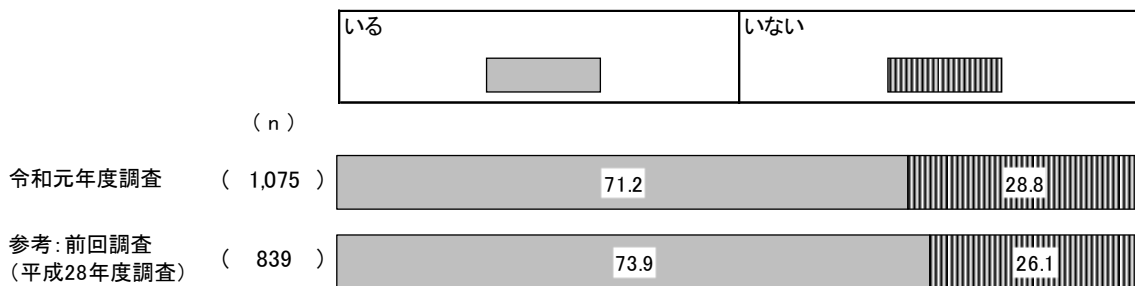
<かかりつけ医師>



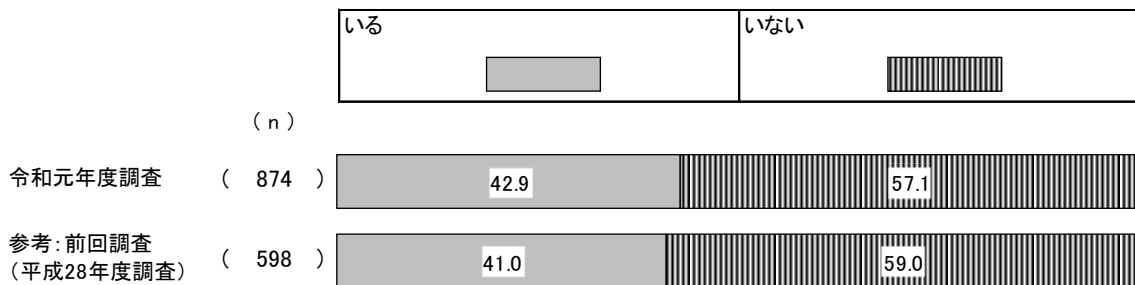
<かかりつけ歯科医師>



<かかりつけ薬局>



<かかりつけ薬剤師>

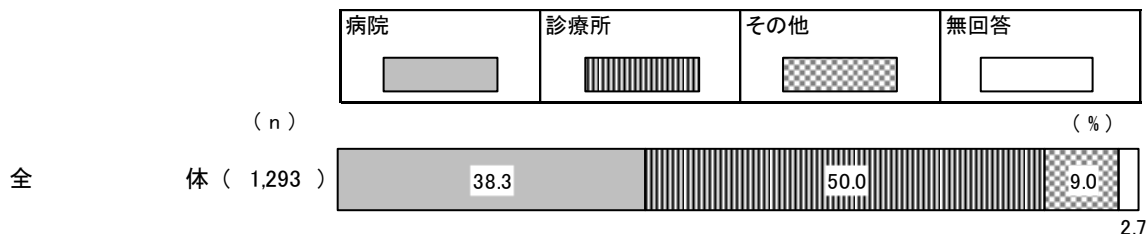


② 医療機関の種類

○ 「診療所」が50.0%、「病院」が38.3%

【問 43 で「かかりつけ医師がいる」と回答の方】

問 43-1: かかりつけの医師がいる医療機関の種類は何ですか。

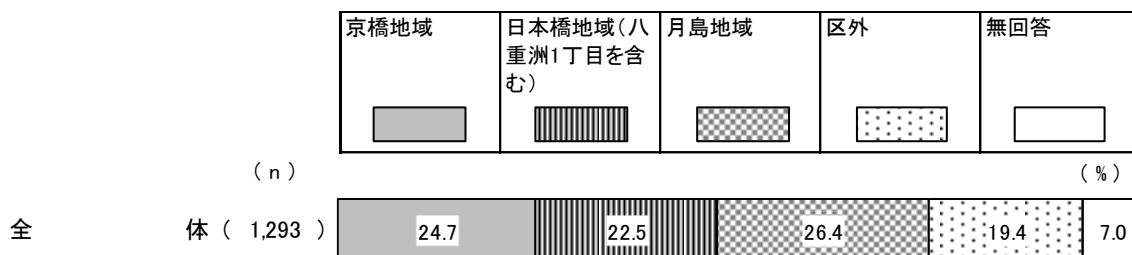


③ かかりつけ医療機関の所在地

○ 病院・診療所の所在地が居住地と同じ地域である割合は、京橋地域(70.8%)が最も高い

【問 43 で「かかりつけ医師がいる」と回答の方】

問 43-2: 病院・診療所の所在地はどこですか。



<かかりつけ医療機関の所在地(居住地域別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

	調査数	1	2	3	4	無回答	
		京橋地域	日本橋地域 (八重洲1丁目を含む)	月島地域	区外		
全体	1293	319	291	341	251	91	
	100.0	24.7	22.5	26.4	19.4	7.0	
居住地域	京橋地域	336	238	14	7	52	25
		100.0	70.8	4.2	2.1	15.5	7.4
	日本橋地域	372	15	257	2	78	20
	100.0	4.0	69.1	0.5	21.0	5.4	
月島地域	581	66	19	332	119	45	
	100.0	11.4	3.3	57.1	20.5	7.7	

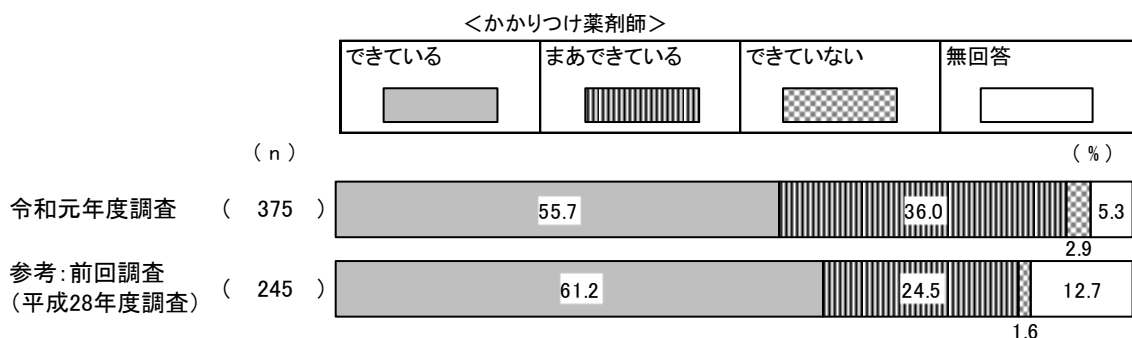
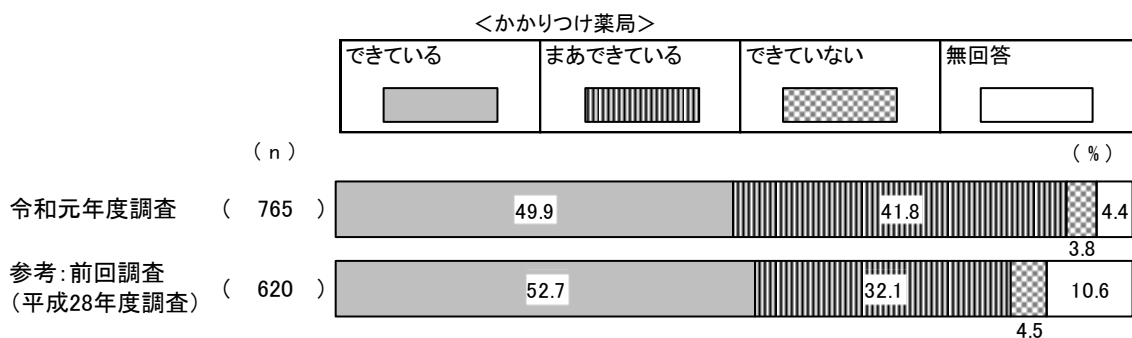
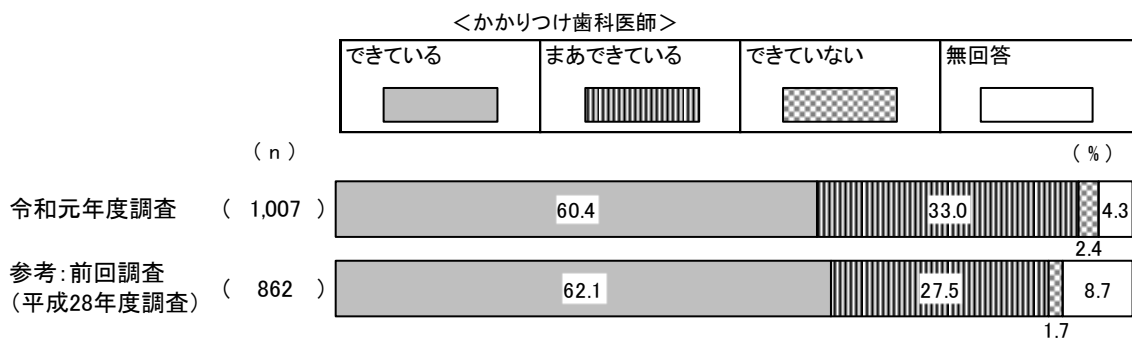
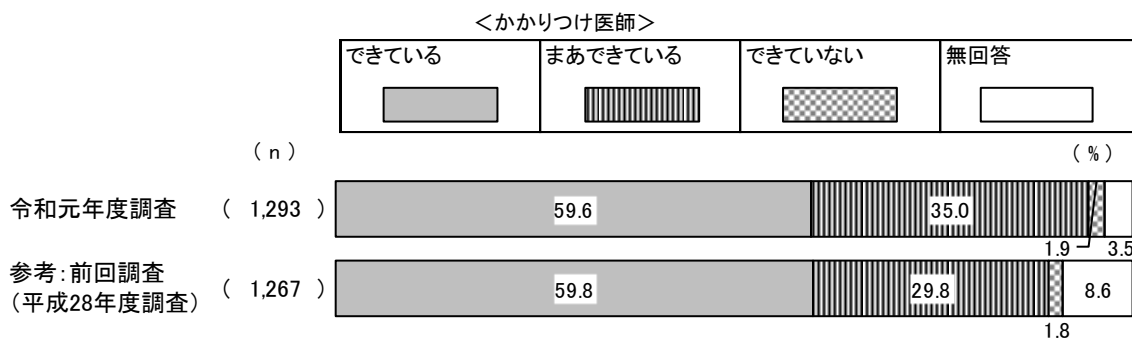
居住地域別で見ると、月島地域は他の地域と比べて、かかりつけ医療機関の所在地が居住地と同じ地域である割合が低い。

④ かかりつけ医等との相談

○ 「かかりつけ歯科医師」(60.4%)が最も多い

【問 43 で「1.いる」と回答の方】

問 43-3: かかりつけの医師、歯科医師、薬局、薬剤師から治療・服薬方法などについての説明や日常の健康についての相談・指導を十分に受けられていると思いますか。



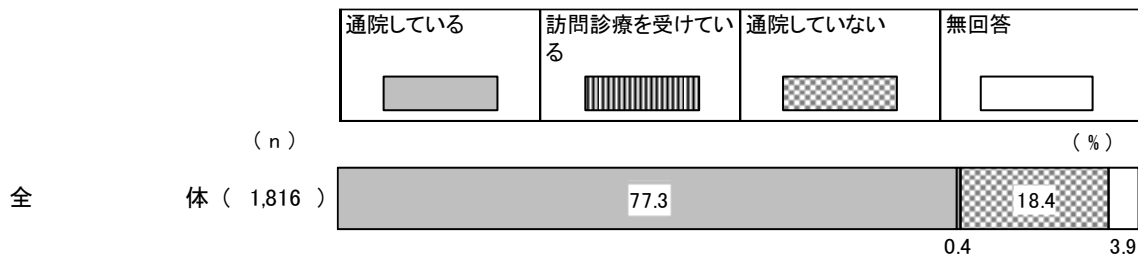
前回調査と比べると、医師、歯科医師、薬局及び薬剤師のいずれも、「できている」及び「まあできている」を合わせた割合が高い。

(2)医療機関の受診状況

① 受診方法

○ 「通院している」が77.3%

問 44: あなたは現在、病院・診療所に通院していますか。

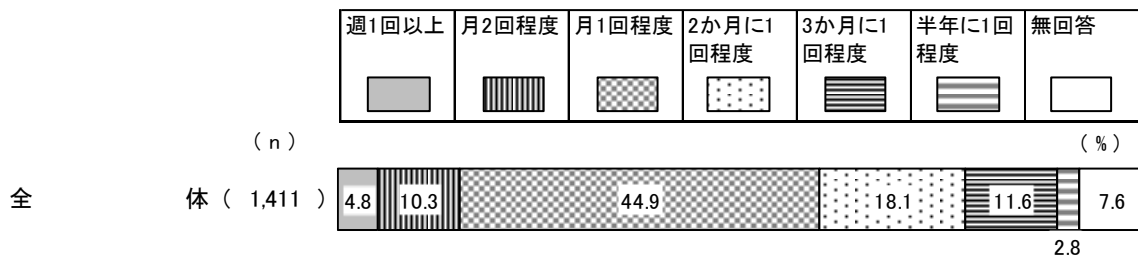


② 受診の頻度

○ 「月1回程度」(44.9%)が最も多く、次いで「2か月に1回程度」(18.1%)

【問 44 で「1.通院している」、「2.訪問診療を受けている」と回答の方】

問 44-1: その頻度をお聞きします。

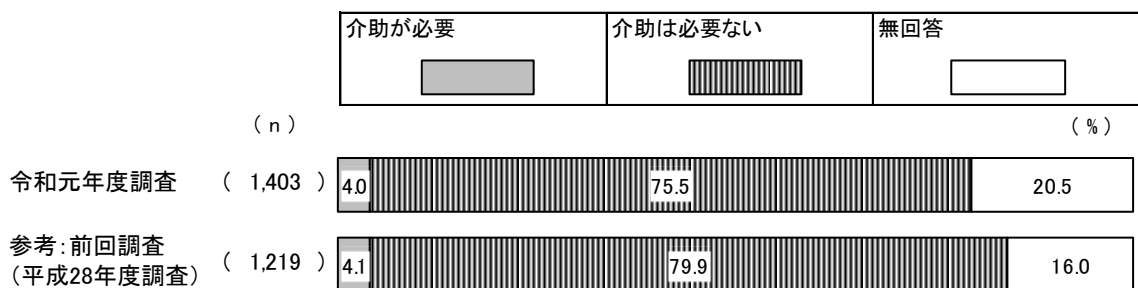


③ 通院時の介助の要否

○ 「介助は必要ない」が75.5%

【問 44 で「1.通院している」と回答の方】

問 44-2: 通院に介助は必要ですか。

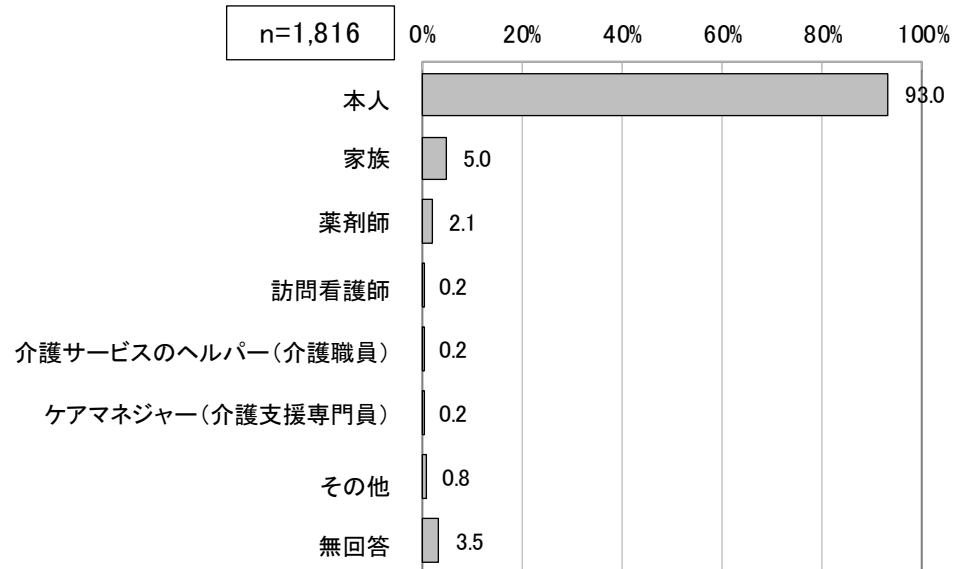


前回調査と比べると、「介助は必要ない」が4.4ポイント減っている。

(3)服薬管理

○ 「本人」(93.0%) が最も多い

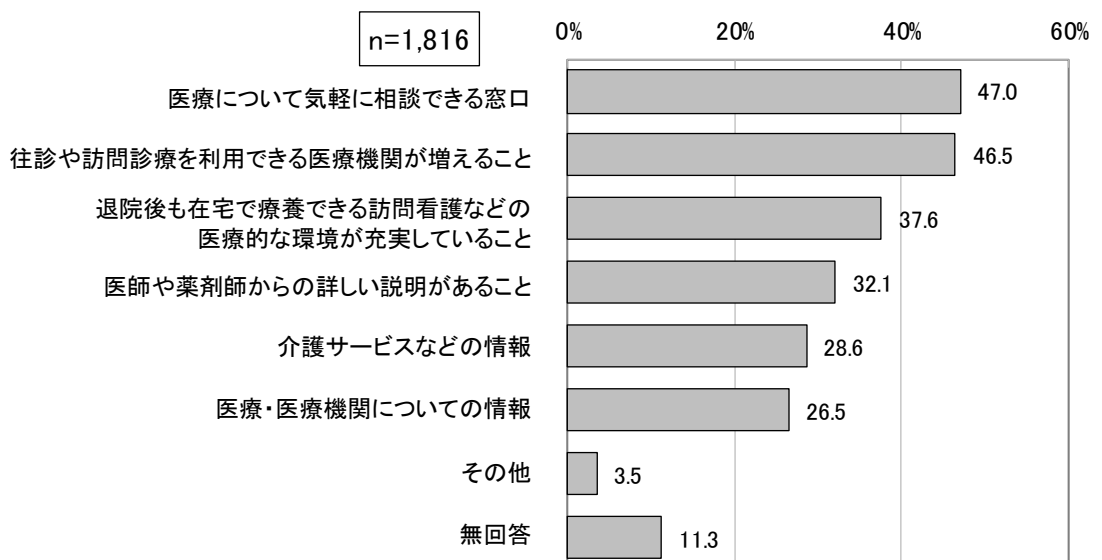
問 45: あなたの服薬の管理はどなたが行っていますか。【複数回答】



(4)在宅療養する上であればよいこと

○ 「医療について気軽に相談できる窓口」(47.0%) が最も多く、次いで「往診や訪問診療を利用できる医療機関が増えること」(46.5%)

問 46: 在宅で医療処置を受けたり、医療機関を利用するときに、あなたはどのようなことがあればよいと思いますか。【複数回答】



<その他の回答>

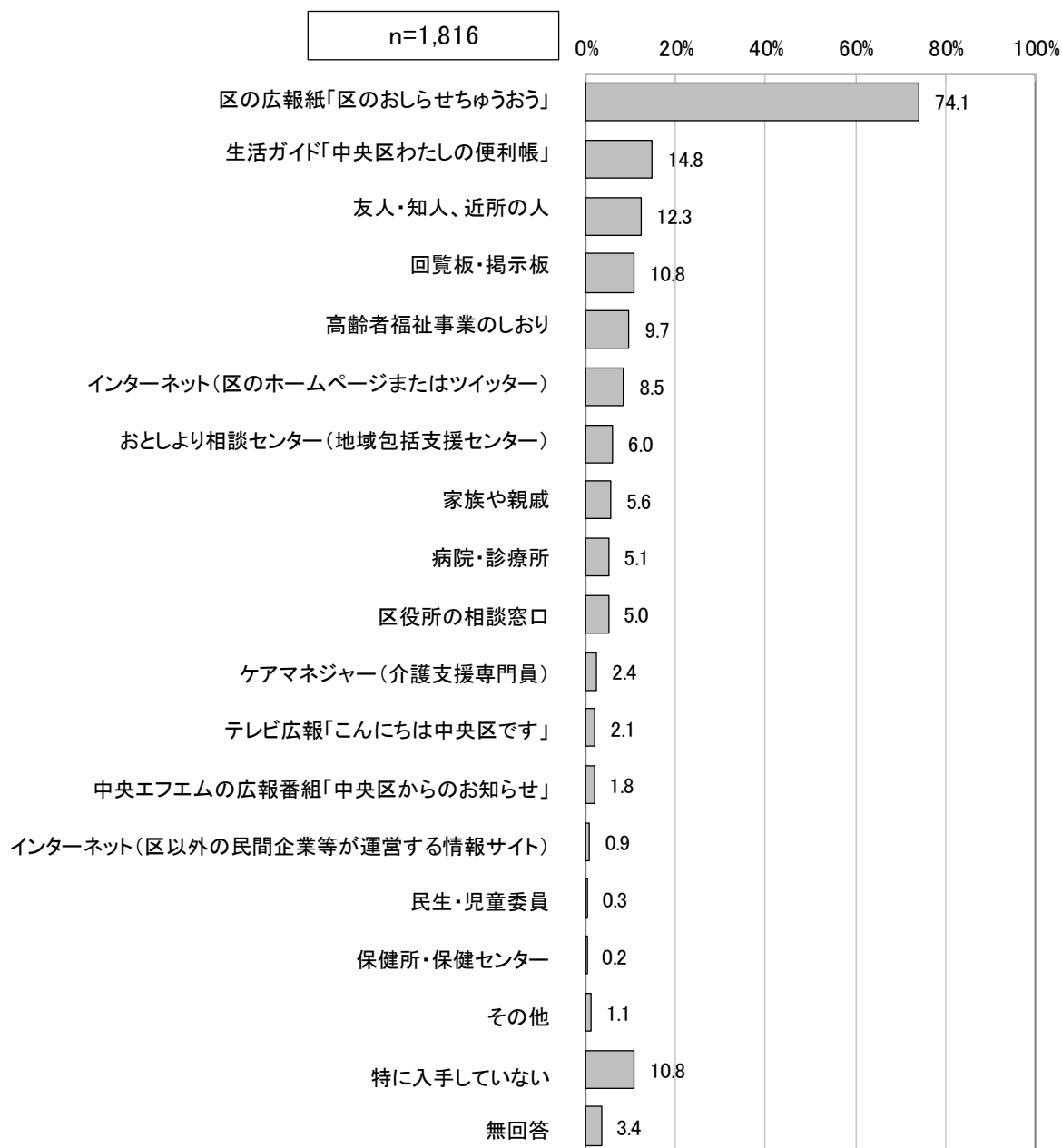
○栄養や食事 ○リハビリのサポート

## 10. 相談や権利擁護

### (1)区からの情報の入手先

○ 「区の広報紙」(74.1%) が最も多い

問 47: あなたは、中央区からの情報は主にどこから入手していますか。【複数回答:3つまで】

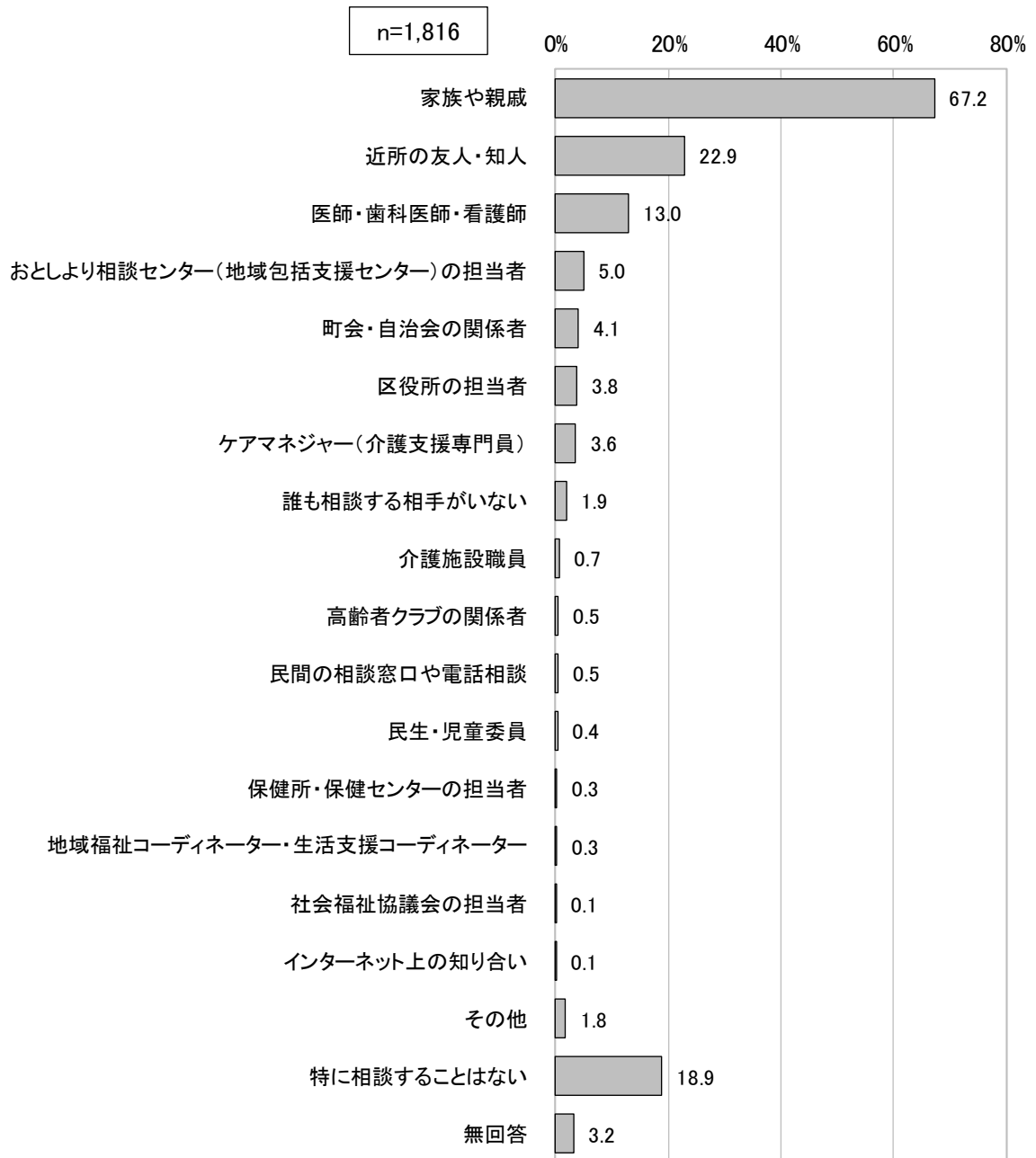




(2)困ったときの相談相手

○ 「家族や親戚」(67.2%) が最も多い

問 48:あなたは、普段の生活で困ったとき、誰に相談していますか。【複数回答:3つまで】

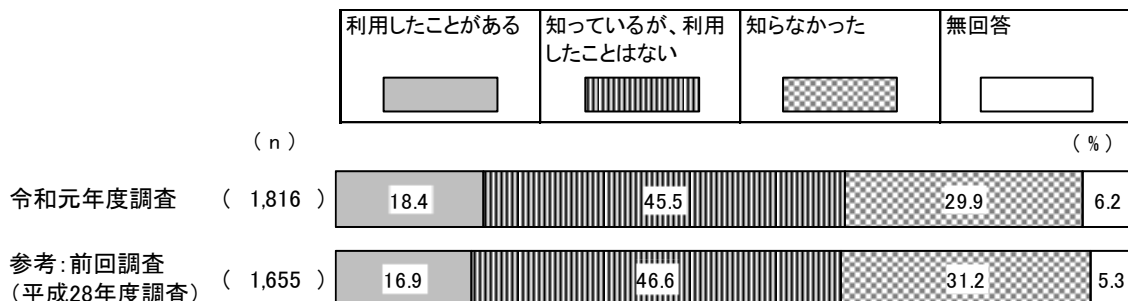


(3)おとしより相談センターの認知度・利用状況

① おとしより相談センターの利用の有無

○ 「知っているが利用したことはない」が45.5%、「利用したことがある」が18.4%

問 49:あなたは、「おとしより相談センター(地域包括支援センター)」をご存知ですか。



<おとしより相談センターの利用の有無(性別・年代別・地域別)>

上段: 実数(人)  
下段: 構成比(%)

		調査数	1	2	3	無回答
			利用したことがある	知っているが、利用したことはない	知らなかった	
全体		1816 100.0	334 18.4	827 45.5	543 29.9	112 6.2
性別	男性	731 100.0	79 10.8	315 43.1	298 40.8	39 5.3
	女性	1079 100.0	255 23.6	508 47.1	244 22.6	72 6.7
年代別	65~69歳	456 100.0	35 7.7	183 40.1	229 50.2	9 2.0
	70~74歳	202 100.0	18 8.9	88 43.6	80 39.6	16 7.9
	75~79歳	568 100.0	99 17.4	317 55.8	132 23.2	20 3.5
	80~84歳	389 100.0	136 35.0	153 39.3	61 15.7	39 10.0
	85~89歳	115 100.0	32 27.8	51 44.3	17 14.8	15 13.0
	90歳以上	50 100.0	7 14.0	18 36.0	15 30.0	10 20.0
居住地	京橋地域	454 100.0	78 17.2	204 44.9	146 32.2	26 5.7
	日本橋地域	501 100.0	77 15.4	228 45.5	165 32.9	31 6.2
	月島地域	854 100.0	178 20.8	393 46.0	231 27.0	52 6.1

性別で見ると、男性は女性と比べて、「知らなかった」の割合が高い。

年代別で見ると、89歳以下では年代が下がるほど、「知らなかった」の割合が高い。

居住地域別で見ると、月島地域が他の地域と比べて、「利用したことがある」又は「知っているが、利用したことはない」の割合がやや高い。

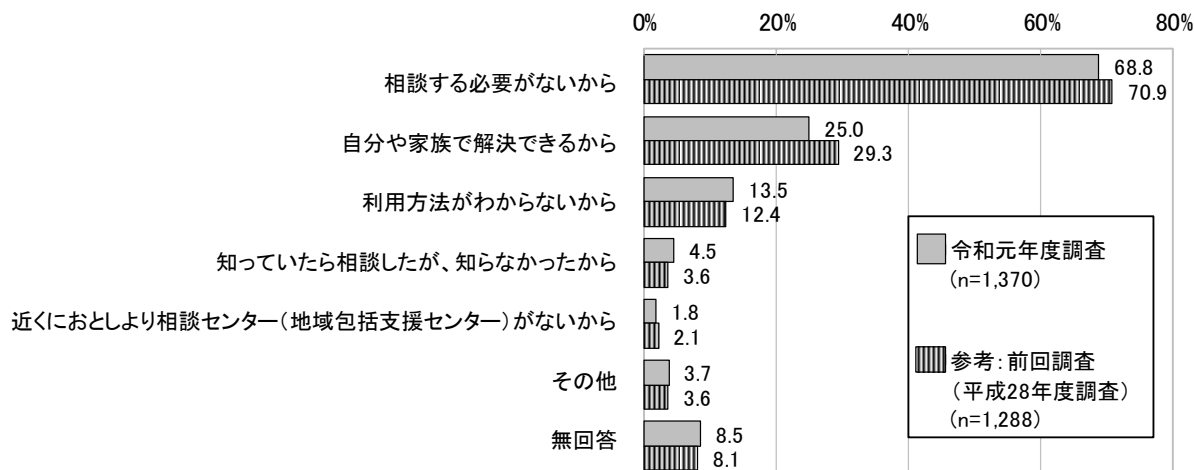
② 利用したことがない理由

○ 「相談する必要があるから」(68.8%) が最も多い

【問 49 で「2.知っているが、利用したことはない」、「3.知らなかった」と回答の方】

問 49-1:「おとしより相談センター(地域包括支援センター)」を利用したことがない主な理由は何ですか。

【複数回答】



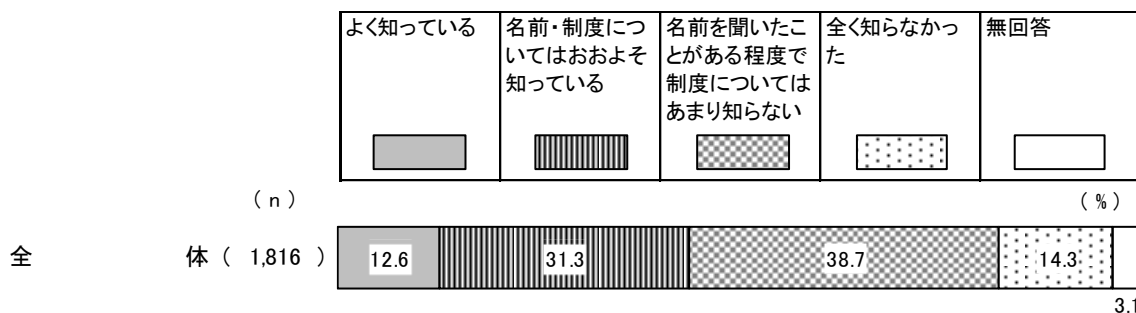
前回調査と比べると、大きな差は見られない。

(4)成年後見制度の認知度・利用意向

① 成年後見制度の認知度

○ 「よく知っている」と「名前・制度についてはおおそ知っている」を合わせると 43.9%

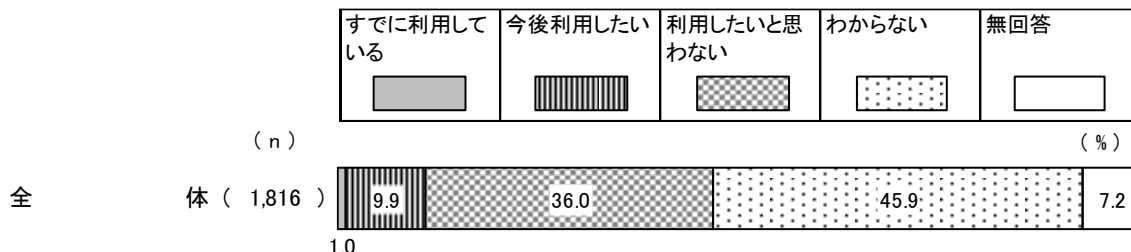
問 50:あなたは、「成年後見制度」について内容をどの程度ご存知ですか。



② 成年後見制度の利用意向

- 「わからない」(45.9%) が最も多い
- 「すでに利用している」と「今後利用したい」を合わせると 10.9%

問 51:「成年後見制度」を利用したいと思えますか。

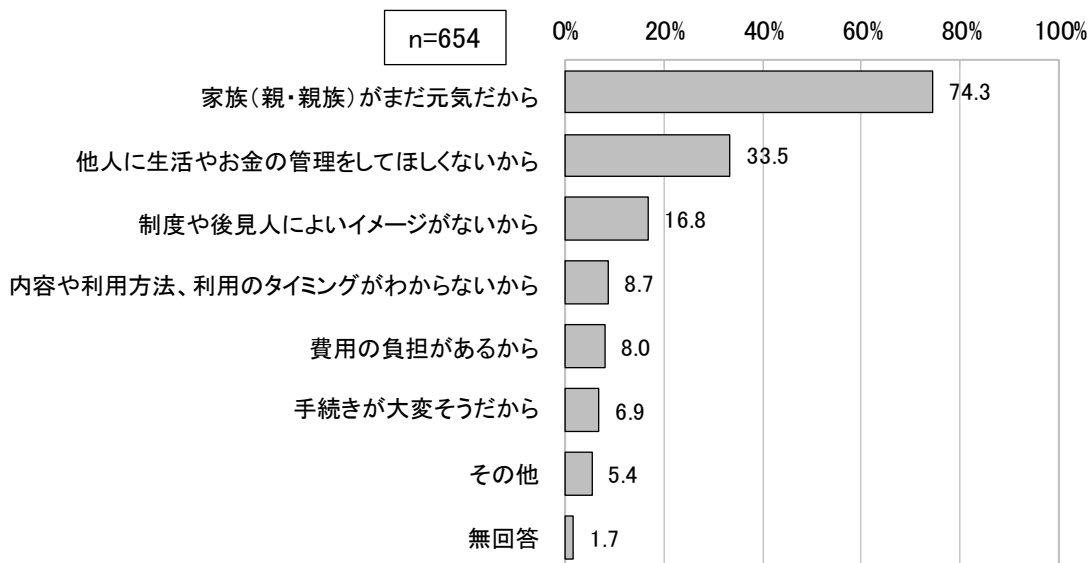


③ 成年後見制度を利用しない理由

- 「家族（親・親族）がまだ元気だから」(74.3%) が最も多い

【問 51 で「3.利用したいと思わない」と回答の方】

問 51-1:「成年後見制度」を利用したいと思わない理由を教えてください。【複数回答】

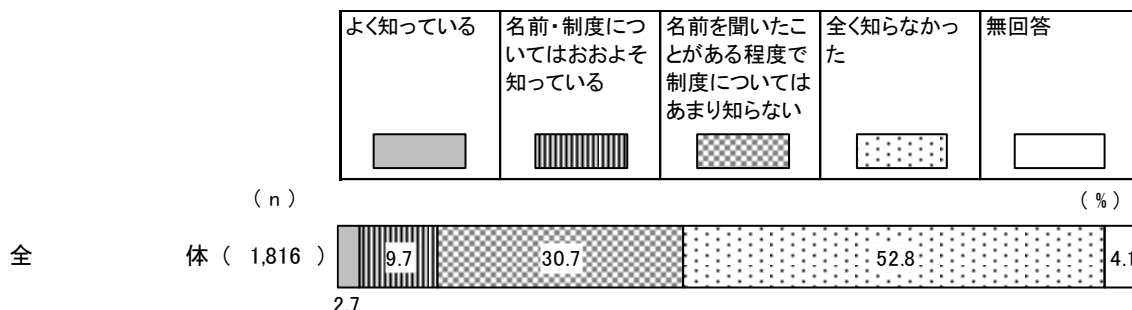


(5)権利擁護支援事業の認知度・利用意向

① 権利擁護支援事業の認知度

○ 「よく知っている」と「名前・制度についてはおおよそ知っている」を合わせると 12.4%

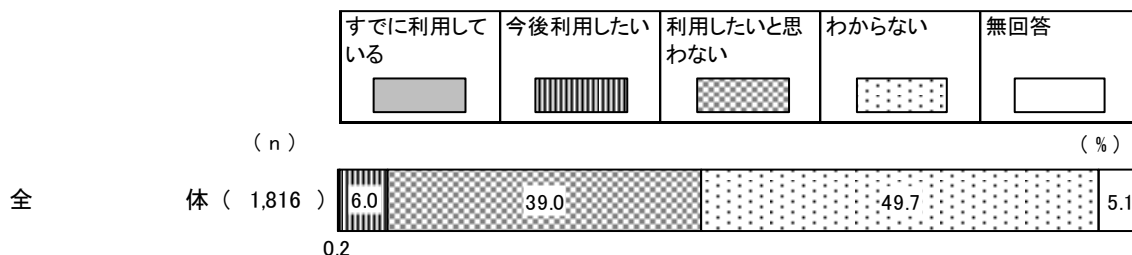
問 52:「権利擁護支援事業」について内容をどの程度知っていますか。



② 権利擁護支援事業の利用意向

○ 「わからない」(49.7%) が最も多い  
 ○ 「すでに利用している」と「今後利用したい」を合わせると 6.2%

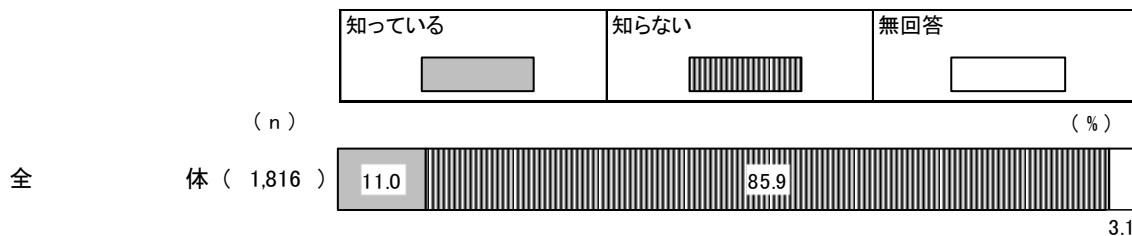
問 53:「権利擁護支援事業」を利用したいと思いませんか。



(6)すてっぷ中央の認知度

○ 「知っている」が 11.0%

問 54:あなたは、中央区社会福祉協議会の成年後見支援センター「すてっぷ中央」をご存知ですか。

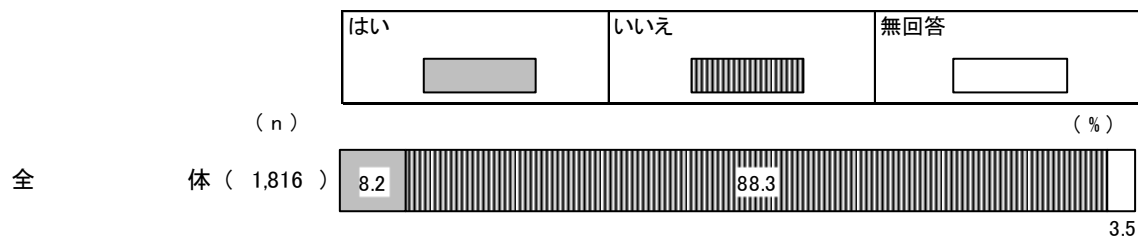


## 11. 認知症

### (1)認知症症状の有無

○ 「はい」が8.2%

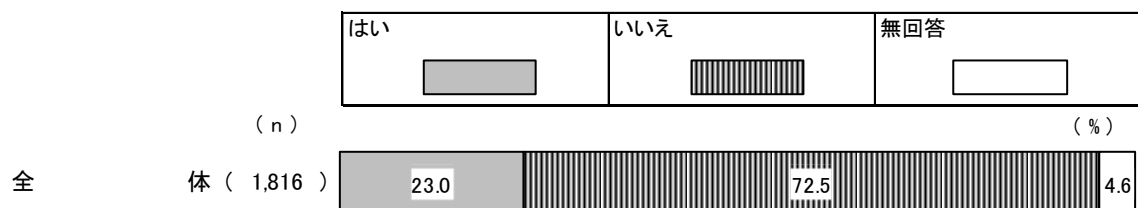
問 55: 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。



### (2)認知症に関する相談窓口の認知度

○ 「はい」が23.0%

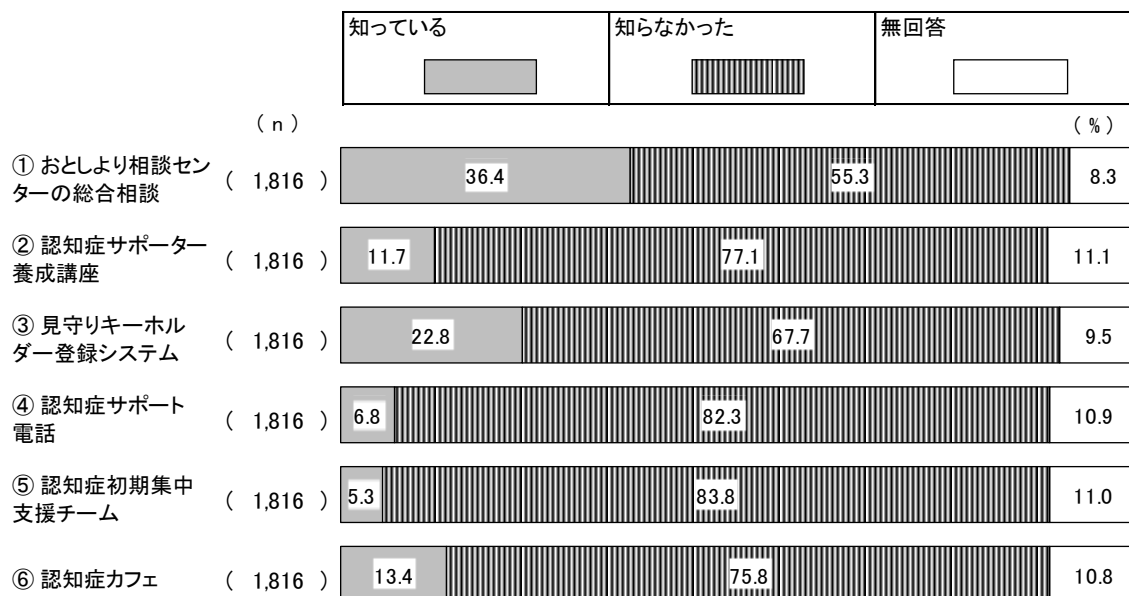
問 56: 認知症に関する相談窓口を知っていますか。



### (3)認知症に関する取組の認知度

○ 「おとしより相談センター(地域包括支援センター) の総合相談」(36.4%) が最も多く、次いで「見守りキーホルダー登録システム」(22.8%)

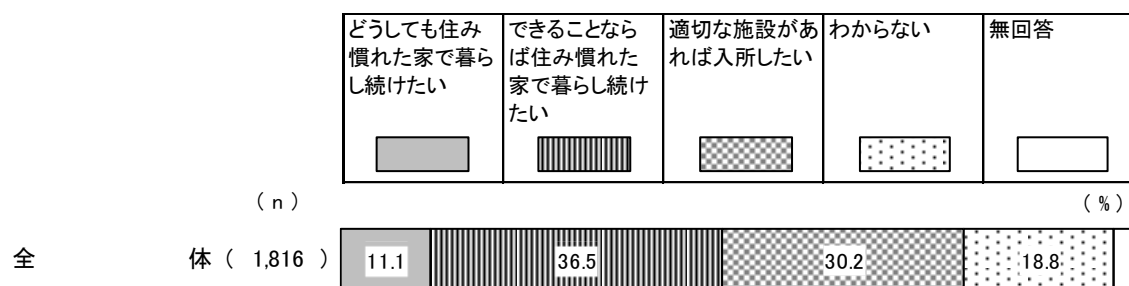
問 57: 中央区では、おとしより相談センター(地域包括支援センター)などとともに認知症についてさまざまな取組を行っています。あなたは次のような取組をご存知ですか。



### (4)在宅生活の継続意向

○ 住み慣れた家で暮らし続けたい人が 47.6%

問 58: あなたは、認知症になっても、住み慣れた家で暮らし続けたいと思いますか。

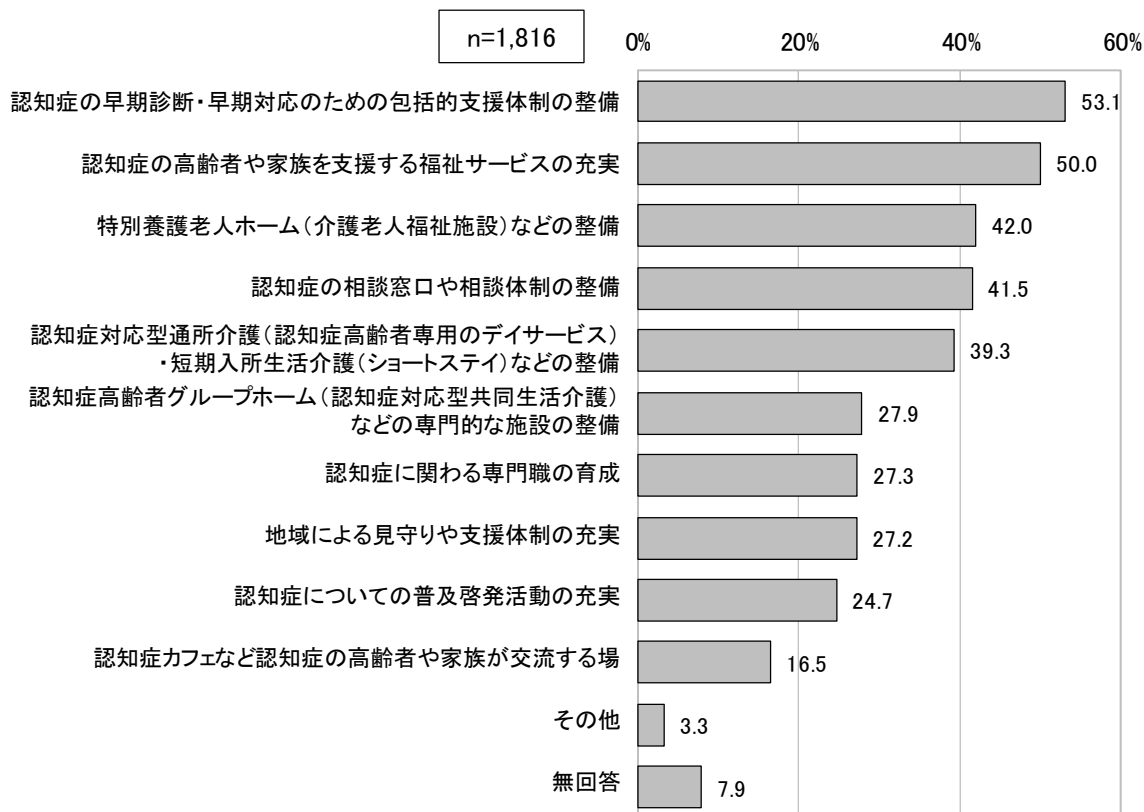


(5)地域で暮らし続けるために必要なこと

○ 「認知症の早期診断・早期対応のための包括的支援体制の整備」(53.1%)が最も多く、次いで「認知症の高齢者や家族を支援する福祉サービスの充実」(50.0%)

問 59:あなたは、認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けるためには何が必要だと思いますか。

【複数回答】





ウ 健康づくりと介護予防に関する調査  
(調査 C)

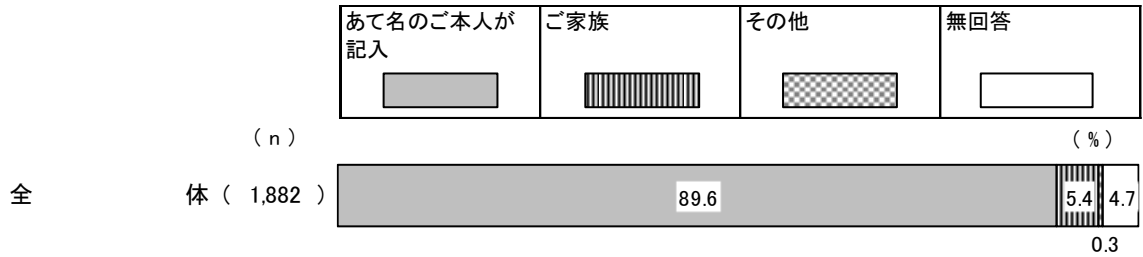


本調査は、基本チェックリストにより生活機能に低下が見られた方及び要支援認定を受けている中央区の被保険者（調査E対象者及び調査B抽出者を除く）2,532人で、有効回答数は1,882件、回収率は74.3%であった。

## 1. 回答者の属性(状況)

### (1)調査票の記入者

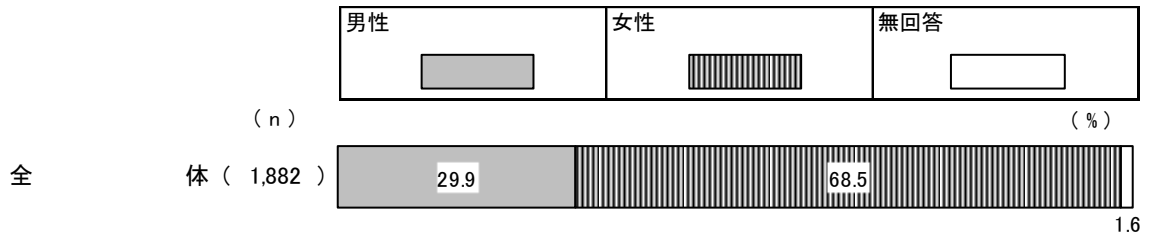
問1:調査票を記入されたのはどなたですか。



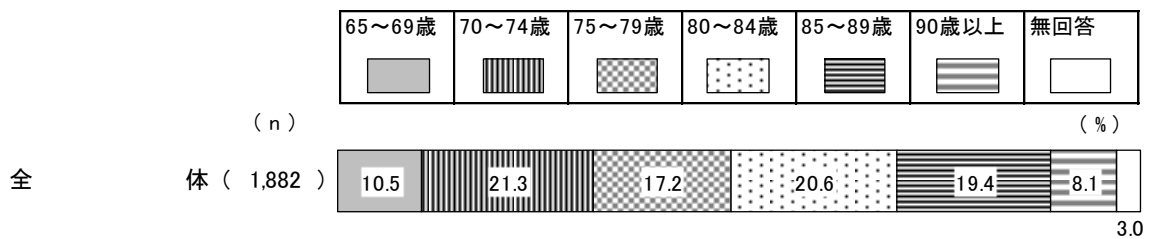
### (2)性別・年齢

問2:あなたの性別と令和元年11月1日現在の満年齢を記入してください。

#### ■性別

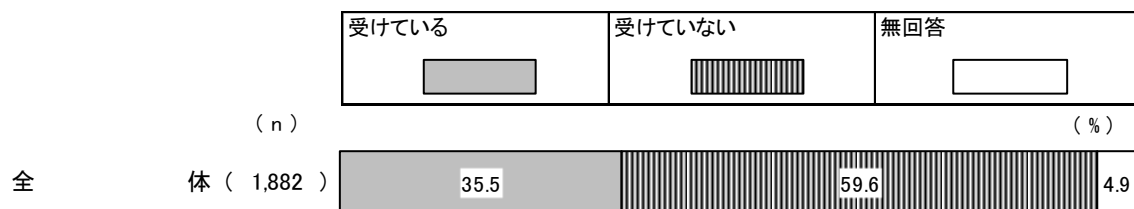


#### ■満年齢



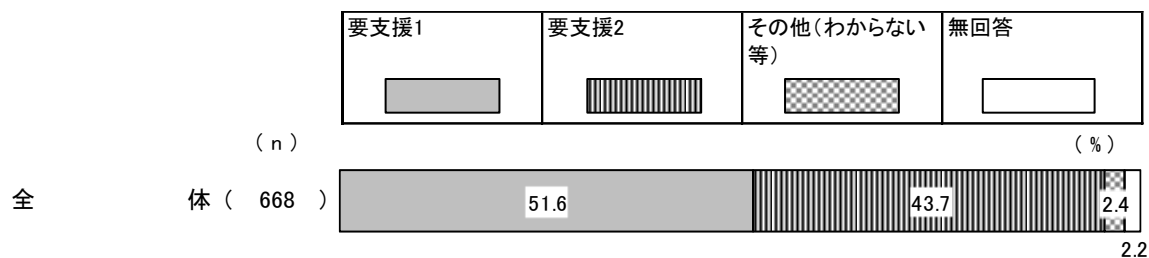
### (3)要支援認定の状況

問 3:あなたは要支援認定を受けていますか。



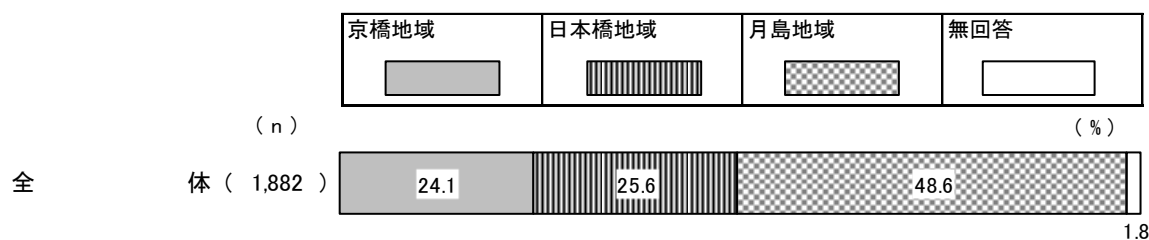
【問 3 で「1.受けている」と回答の方】

問 3-1:現在の要支援度をお聞きします。



### (4)居住地

問 4:あなたがお住まいになっている地域はどこですか。

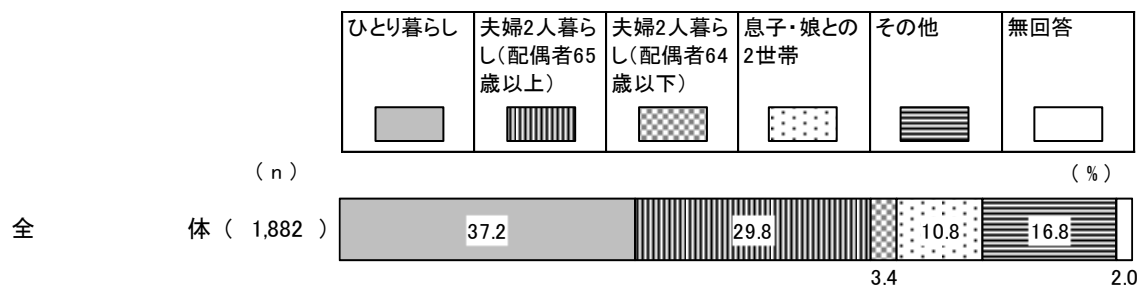


## 2. 家族や生活状況

### (1) 家族構成

○ 「ひとり暮らし」(37.2%)が最も多く、次いで「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(29.8%)

問5: あなたの家族構成をお教えてください。



<その他の回答>

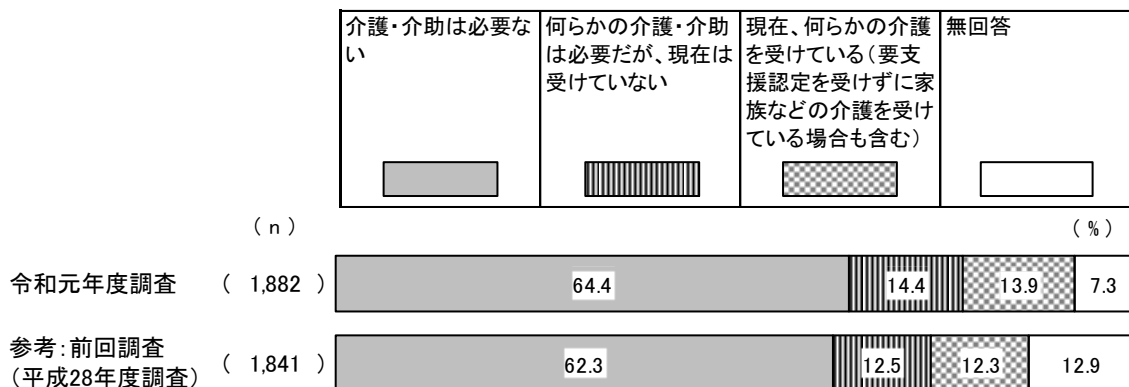
- 配偶者が入院、老人ホーム入居    ○孫と3世代同居    ○兄弟・姉妹と同居  
 ○母と同居    ○パートナーと同居    ○友人と同居

(2)介護・介助の状況

① 介護・介助の要否

○ 「介護・介助は必要ない」(64.4%)が最も多い

問6:あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。



前回調査と比べると、大きな差は見られない。

<介護・介助の要否(家族構成別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

	調査数	1	2	3	無回答	
		介護・介助は必要ない	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている(要支援認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)		
全体	1882	1212	271	262	137	
	100.0	64.4	14.4	13.9	7.3	
家族構成	ひとり暮らし	700	412	110	135	43
		100.0	58.9	15.7	19.3	6.1
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	560	404	69	55	32
		100.0	72.1	12.3	9.8	5.7
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	64	46	7	7	4
	100.0	71.9	10.9	10.9	6.3	
息子・娘との2世帯	204	126	36	27	15	
	100.0	61.8	17.6	13.2	7.4	
その他	317	216	46	37	18	
	100.0	68.1	14.5	11.7	5.7	

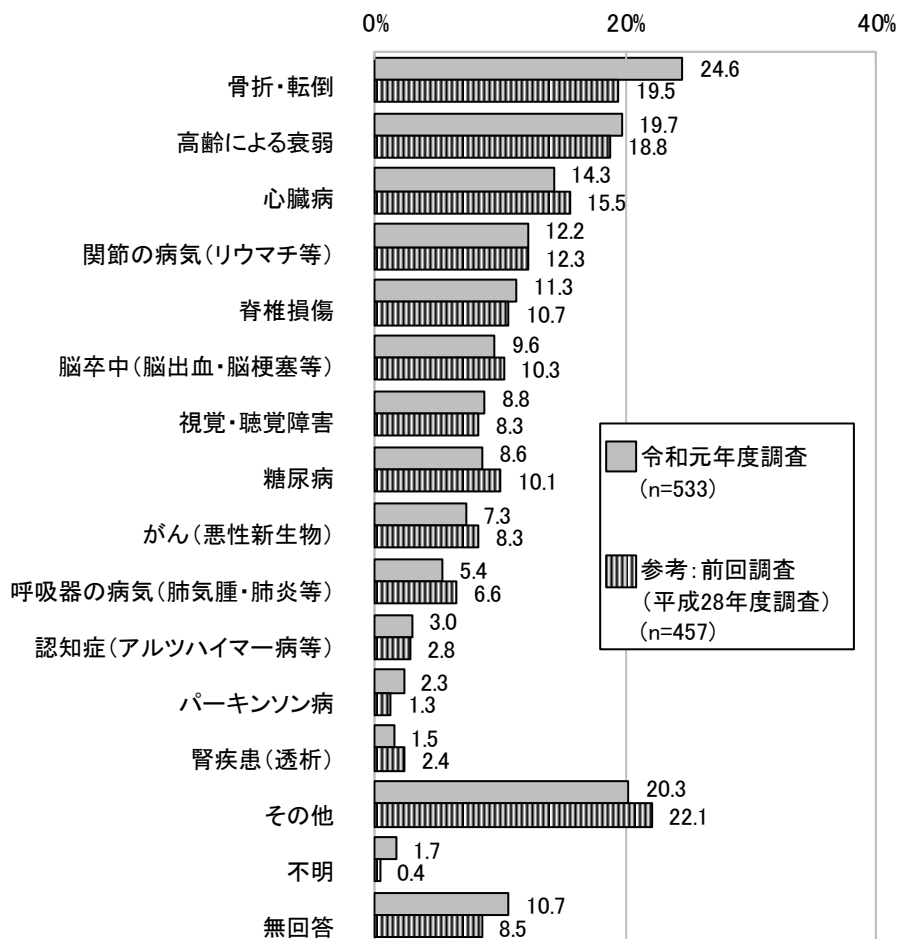
家族構成別で見ると、ひとり暮らしは全体と比べて、「現在、何らかの介護を受けている」の割合が高い。

② 介護・介助が必要となった原因

○ 「骨折・転倒」(24.6%)が最も多く、次いで「高齢による衰弱」(19.7%)

【問6で「2.何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「3.現在、何らかの介護を受けている」と回答の方】

問6-1:介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。【複数回答】



<その他の回答>

- 脊柱管狭窄症    ○平衡機能障害    ○骨髄異形成症候群    ○甲状腺機能低下
- 自律神経失調症    ○封入体筋炎

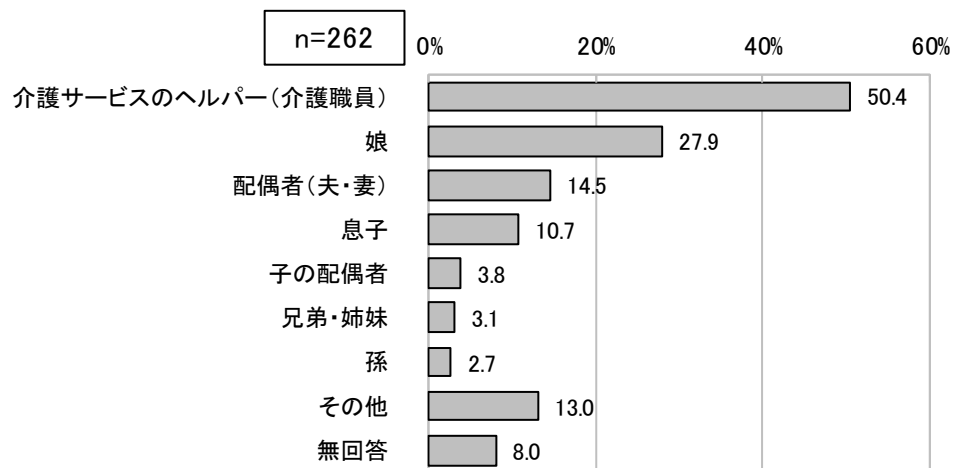
前回調査と比べると、「骨折・転倒」の割合が5.1ポイント増えている。

### ③ 主な介護・介助者

○ 「介護サービスのヘルパー（介護職員）」（50.4%）が最も多い

【問6で「3.現在、何らかの介護を受けている」と回答の方】

問6-2: 普段どなたの介護・介助を受けていますか。【複数回答】



<その他の回答>

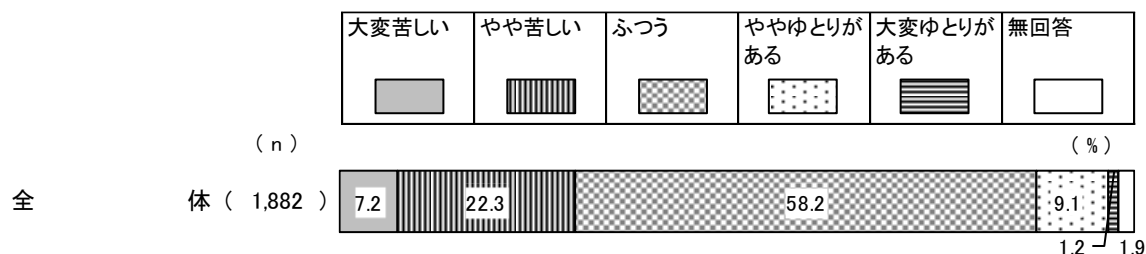
○甥・姪 ○虹のサービス ○家政婦 ○友人



(3)主観的な経済状況

○ 「ふつう」 (58.2%)が最も多い

問7:あなたは、現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。



<主観的な経済状況(年代別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

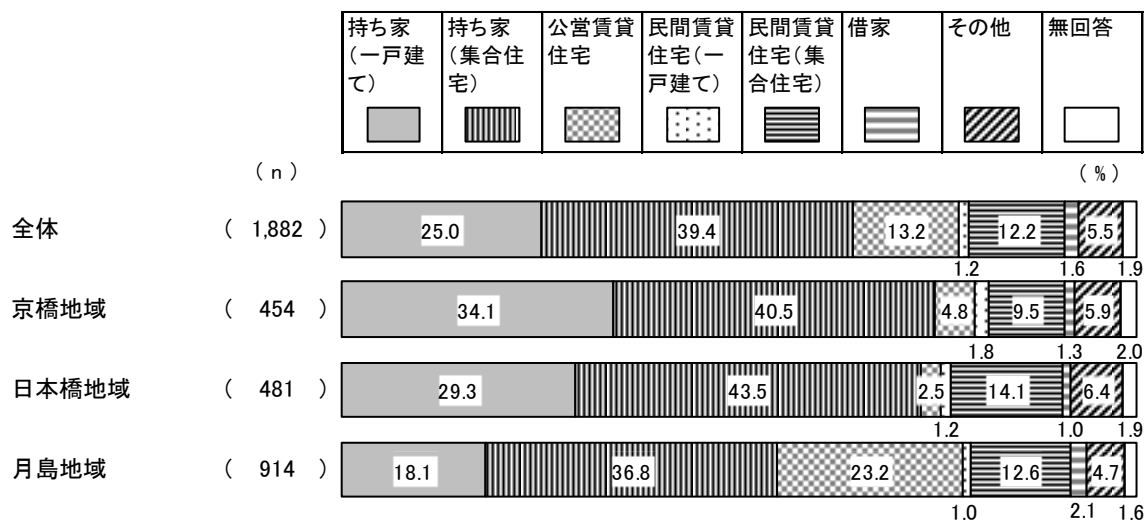
	調査数	1	2	3	4	5	無回答	
		大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある		
全体	1882	136	420	1096	171	23	36	
	100.0	7.2	22.3	58.2	9.1	1.2	1.9	
年代別	65~69歳	197	22	55	99	15	4	2
		100.0	11.2	27.9	50.3	7.6	2.0	1.0
	70~74歳	400	31	108	208	39	6	8
		100.0	7.8	27.0	52.0	9.8	1.5	2.0
	75~79歳	323	32	88	174	20	3	6
		100.0	9.9	27.2	53.9	6.2	0.9	1.9
80~84歳	388	25	74	248	34	2	5	
	100.0	6.4	19.1	63.9	8.8	0.5	1.3	
85~89歳	366	19	64	229	44	4	6	
	100.0	5.2	17.5	62.6	12.0	1.1	1.6	
90歳以上	152	1	22	107	12	4	6	
	100.0	0.7	14.5	70.4	7.9	2.6	3.9	

年代別で見ると、年代が下がるほど、「ふつう」の割合が低くなる。

(4)住宅状況

- 「持ち家（集合住宅）」(39.4%)が最も多い
- 「持ち家（一戸建て）」(25.0%)、「民間賃貸住宅（一戸建て）」(1.2%)を合わせると、住まいが一戸建ての人は26.2%
- 「持ち家（集合住宅）」(39.4%)、「公営賃貸住宅」(13.2%)及び「民間賃貸住宅（集合住宅）」(12.2%)を合わせると、住まいが集合住宅の人は64.8%

問 8:あなたのお住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。



※区内の公営賃貸住宅は集合住宅のみ。借家は建物の形状で区分できないため、一戸建て又は集合住宅にいずれも含めない。

地域別で見ると、京橋地域及び日本橋地域は全体と比べて、「持ち家(一戸建て)」の割合が高い。一方で、月島地域は全体と比べて「持ち家(一戸建て)」の割合が低く、「公営賃貸住宅」の割合が高い。

<その他の回答>

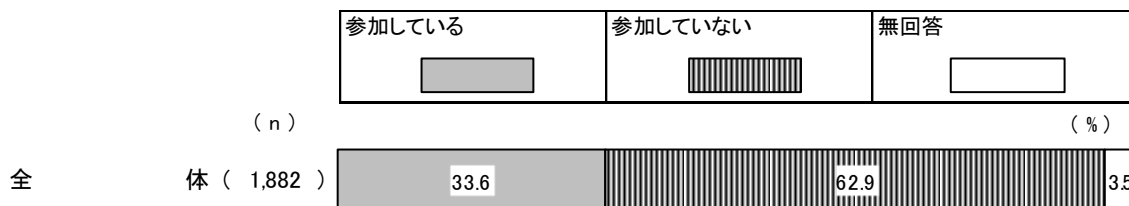
- 社宅 ○高齢者向け優良賃貸住宅 ○ケアハウス ○介護サービス付き高齢者向け住宅
- 所有のテナントビル ○親族の持ち家 ○居住継続援助事業対象住居

### 3. 交流サロン・趣味の講座・サークル活動への参加状況

#### (1)参加状況

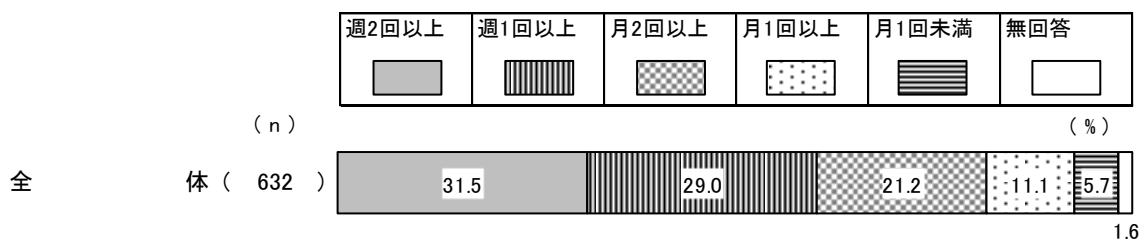
- 「参加している」が 33.6%
- 参加頻度は「週2回以上」(31.5%)が最も多く、次いで「週1回以上」(29.0%)

問9:あなたは、友達づくりや生きがいのために地域住民同士が集う交流サロンや趣味の講座、サークル活動等に参加していますか。



#### 【問9で「1.参加している」と回答の方】

問9-1:現在の参加頻度は、どの程度ですか。



ウ 健康づくりと介護予防に関する調査 (調査C)

<参加状況(性別・年代別・介護・介助の要否別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

		調査数	1	2	3	4	5	無回答
			週2回以上	週1回以上	月2回以上	月1回以上	月1回未満	
全体		632 100.0	199 31.5	183 29.0	134 21.2	70 11.1	36 5.7	10 1.6
性別	男性	133 100.0	40 30.1	34 25.6	25 18.8	18 13.5	15 11.3	1 0.8
	女性	488 100.0	157 32.2	145 29.7	109 22.3	47 9.6	21 4.3	9 1.8
年代別	65～69歳	55 100.0	21 38.2	16 29.1	8 14.5	4 7.3	5 9.1	1 1.8
	70～74歳	129 100.0	34 26.4	37 28.7	37 28.7	12 9.3	6 4.7	3 2.3
	75～79歳	107 100.0	36 33.6	32 29.9	24 22.4	10 9.3	2 1.9	3 2.8
	80～84歳	141 100.0	50 35.5	40 28.4	26 18.4	16 11.3	8 5.7	1 0.7
	85～89歳	134 100.0	41 30.6	37 27.6	31 23.1	16 11.9	8 6.0	1 0.7
	90歳以上	48 100.0	14 29.2	14 29.2	7 14.6	6 12.5	6 12.5	1 2.1
介護・介助の要否	介護・介助は必要ない	431 100.0	139 32.3	129 29.9	96 22.3	40 9.3	22 5.1	5 1.2
	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	74 100.0	18 24.3	21 28.4	15 20.3	13 17.6	6 8.1	1 1.4
	現在、何らかの介護を受けている	86 100.0	30 34.9	19 22.1	17 19.8	12 14.0	6 7.0	2 2.3

性別で見ると、男女ともに「週2回以上」の割合が約3割を占める。

年代別で見ると、全ての年代で「週1回以上」の割合が約3割を占める。

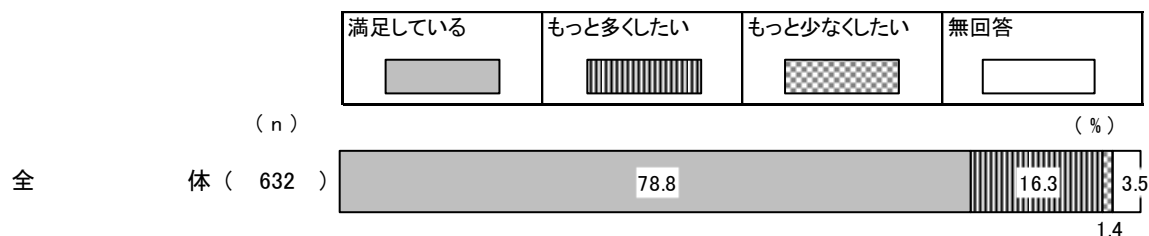
介護・介助の要否別で見ると、介護・介助は必要ない人は「週2回以上」、「週1回以上」及び「月2回以上」を合わせた割合が8割を超えている。

## (2)現在の参加頻度の満足度

○ 「満足している」(78.8%)が最も多い

### 【問9で「1.参加している」と回答の方】

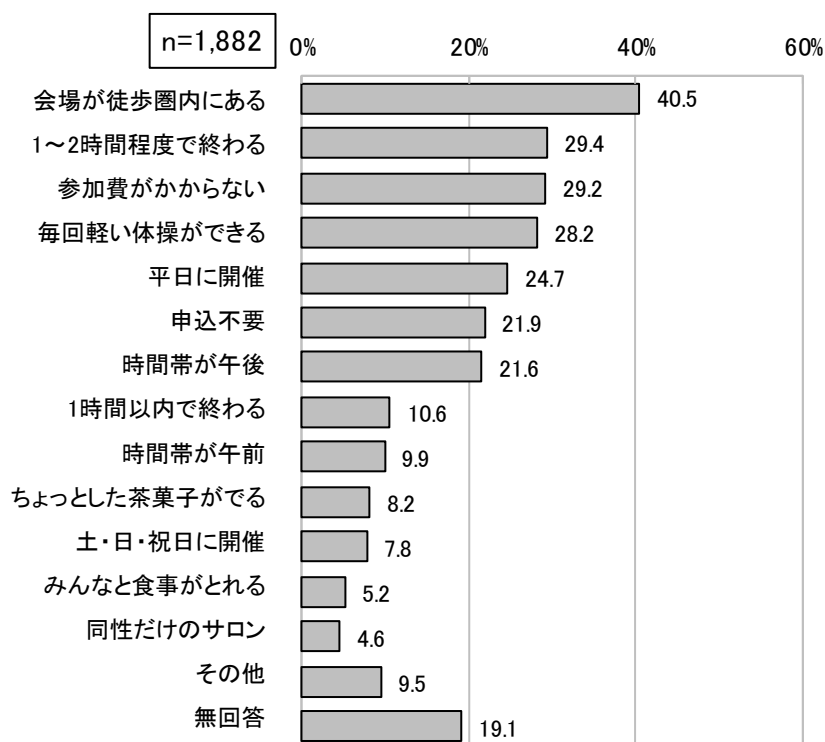
問9-2:現在の参加頻度に満足していますか。



## (3)参加条件

○ 「会場が徒歩圏内にある」(40.5%)が最も多く、次いで「1~2時間程度で終わる」(29.4%)、「参加費がかからない」(29.2%)、「毎回軽い体操ができる」(28.2%)

問10:地域住民同士が集う交流サロンや趣味の講座、サークル活動等に参加しようと思う条件は何ですか。【複数回答】



<その他の回答>

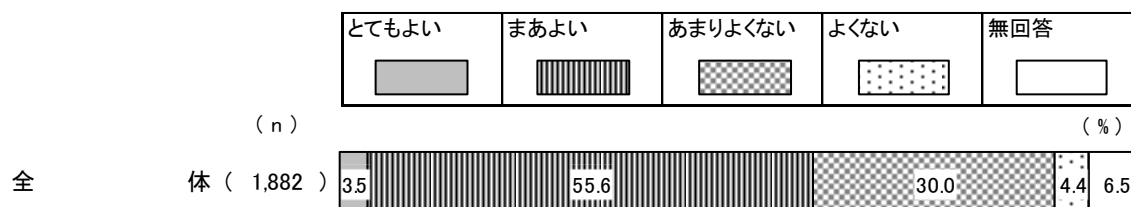
- 送り迎えがある
- 知り合いがいる
- マッサージ器具の充実
- 自分がやりたい講座がある
- 参加したくない

## 4. 健康・医療

### (1)主観的健康感

○ 「まあよい」 (55.6%)が最も多い

問 11:現在のあなたの健康状態はいかがですか。

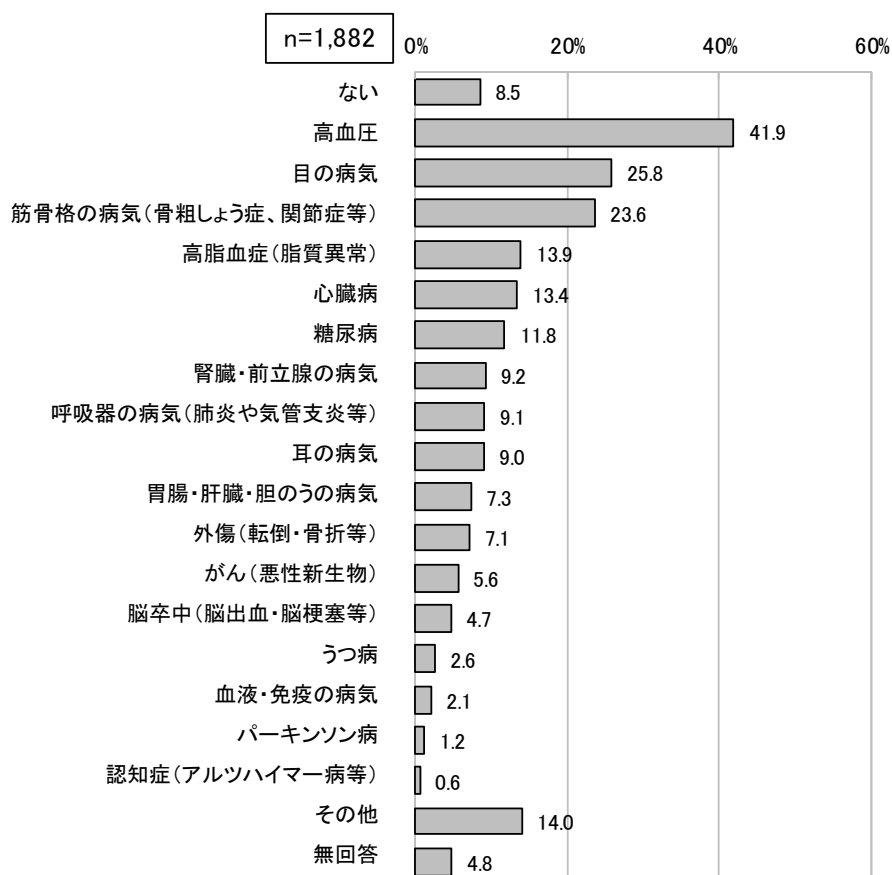


### (2)疾病

○ 「ない」が8.5%

○ 病気については、「高血圧」(41.9%)が最も多く、次いで「目の病気」(25.8%)、「筋骨格の病気」(23.6%)

問 12:あなたは現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。【複数回答】



<その他の回答>

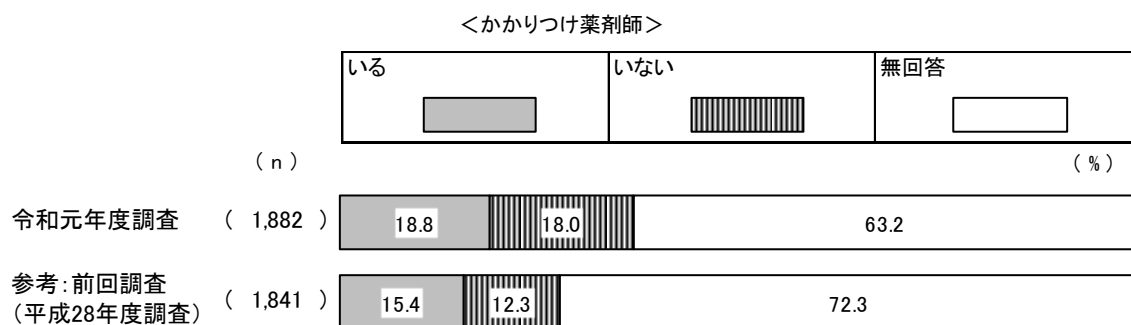
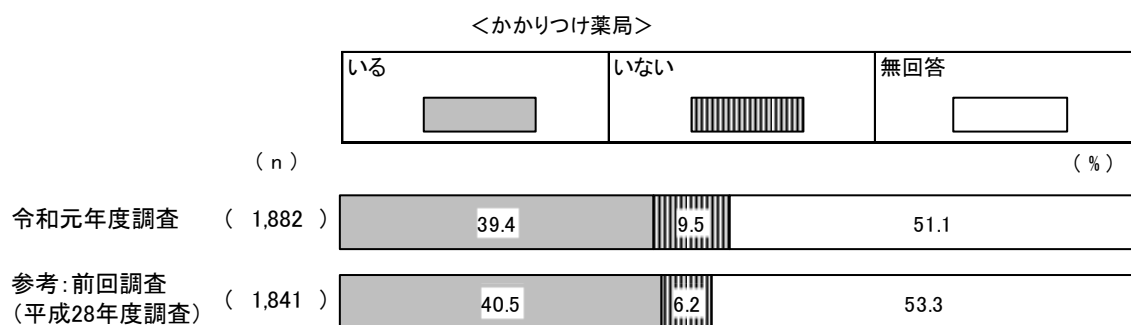
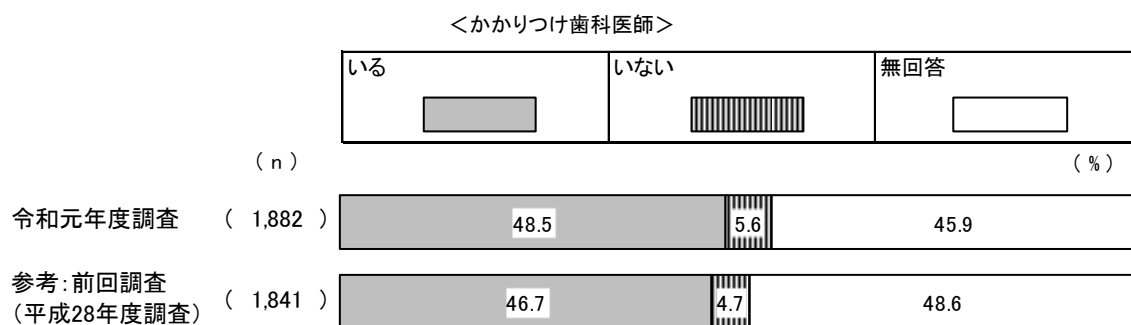
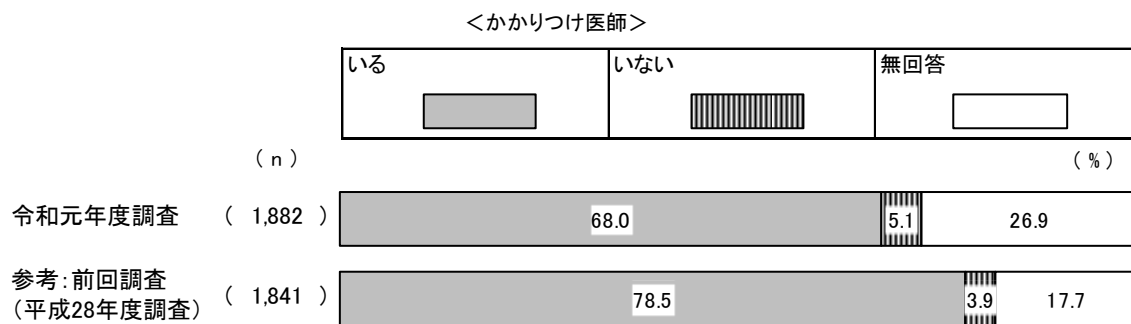
- 自律神経失調症 ○甲状腺機能低下 ○過活動膀胱炎 ○脊柱管狭窄症  
○後縦靭帯骨化症 ○帯状疱疹 ○睡眠時無呼吸症候群

(3)かかりつけ医等

① かかりつけ医等の有無

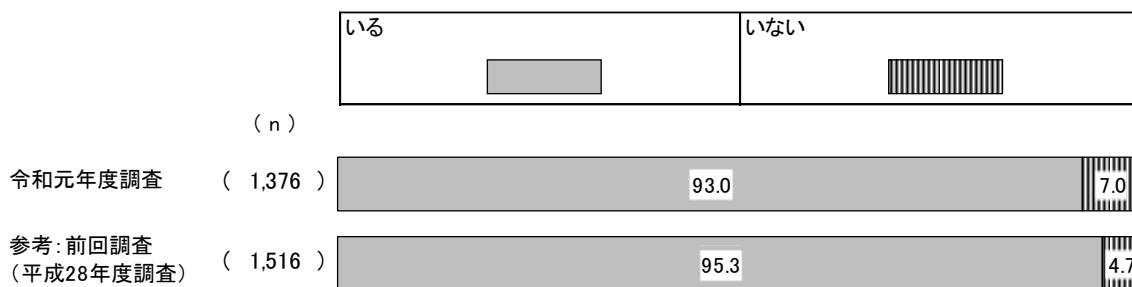
○ 「いる」割合は、医師が68.0%で最も高く、歯科医師では48.5%、薬局では39.4%、薬剤師では18.8%

問13:あなたは、普段から治療を受けたり、日常の健康についての相談・指導を受けることができる、かかりつけの医師、歯科医師、薬局、薬剤師がいますか。

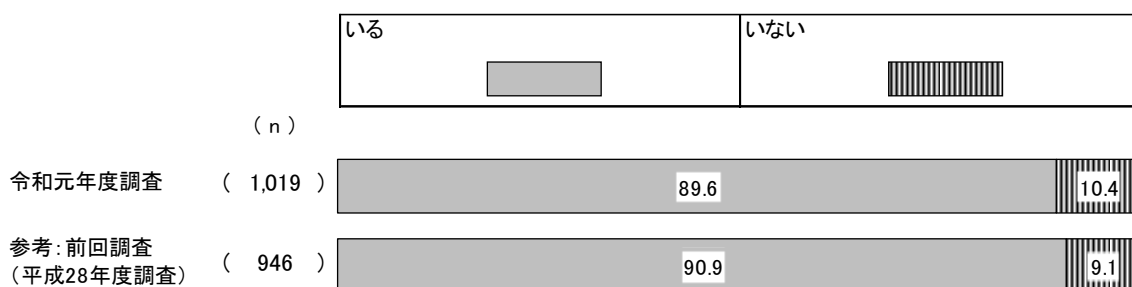


＜参考：無回答を除いて集計＞

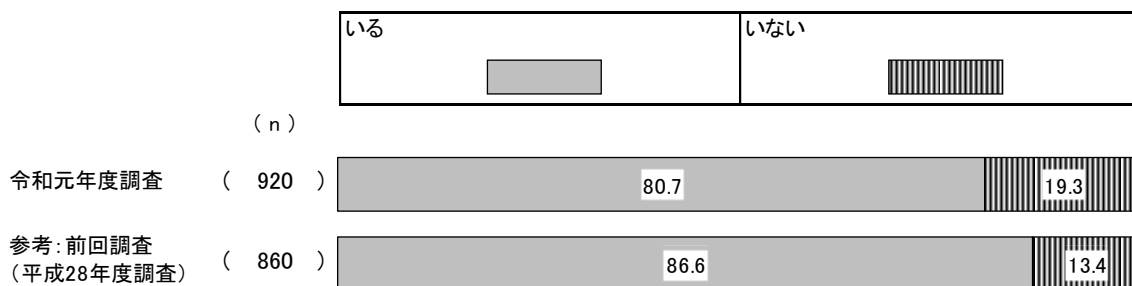
＜かかりつけ医師＞



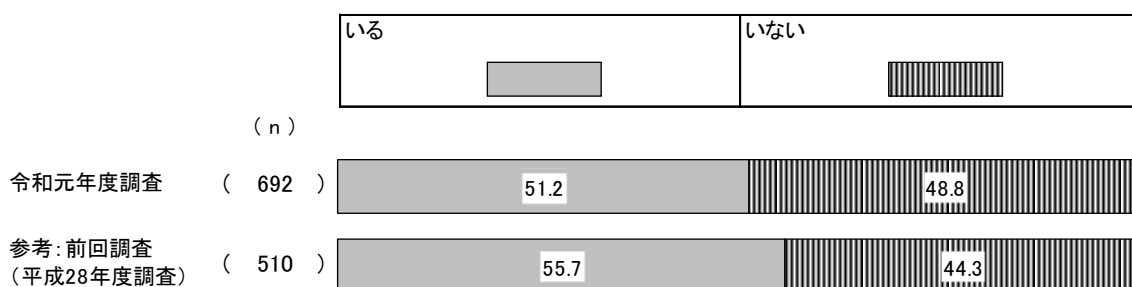
＜かかりつけ歯科医師＞



＜かかりつけ薬局＞



＜かかりつけ薬剤師＞



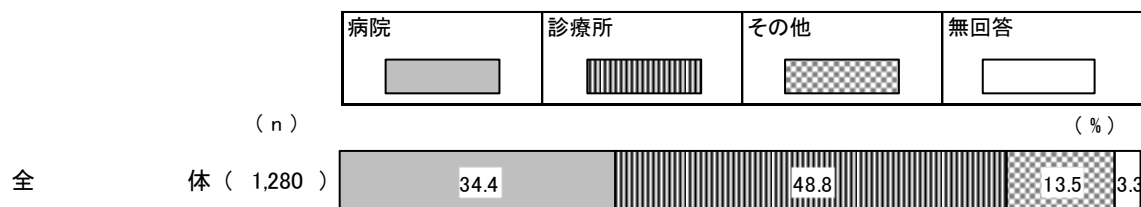


② 医療機関の種類

○ 「診療所」が48.8%、「病院」が34.4%

【問13で「1.かかりつけの医師がいる」と回答の方】

問13-1: かかりつけの医師がいる医療機関の種類は何ですか。

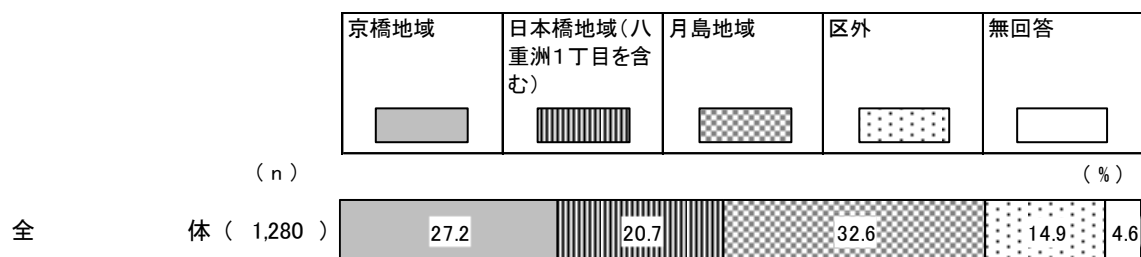


③ かかりつけ医療機関の所在地

○ 病院・診療所の所在地が居住地と同じ地域である割合は、京橋地域(77.8%)が最も高い

【問13で「1.かかりつけの医師がいる」と回答の方】

問13-2: 病院・診療所の所在地はどこですか。



<かかりつけ医療機関の所在地(居住地域別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

	調査数	1	2	3	4	無回答
		京橋地域	日本橋地域(八重洲1丁目を含む)	月島地域	区外	
全体	1280	348	265	417	191	59
	100.0	27.2	20.7	32.6	14.9	4.6
居住地域	京橋地域	324	15	7	40	10
		100.0	4.6	2.2	12.3	3.1
	日本橋地域	330	18	235	3	56
	100.0	5.5	71.2	0.9	17.0	5.5
月島地域	610	73	13	402	91	31
	100.0	12.0	2.1	65.9	14.9	5.1

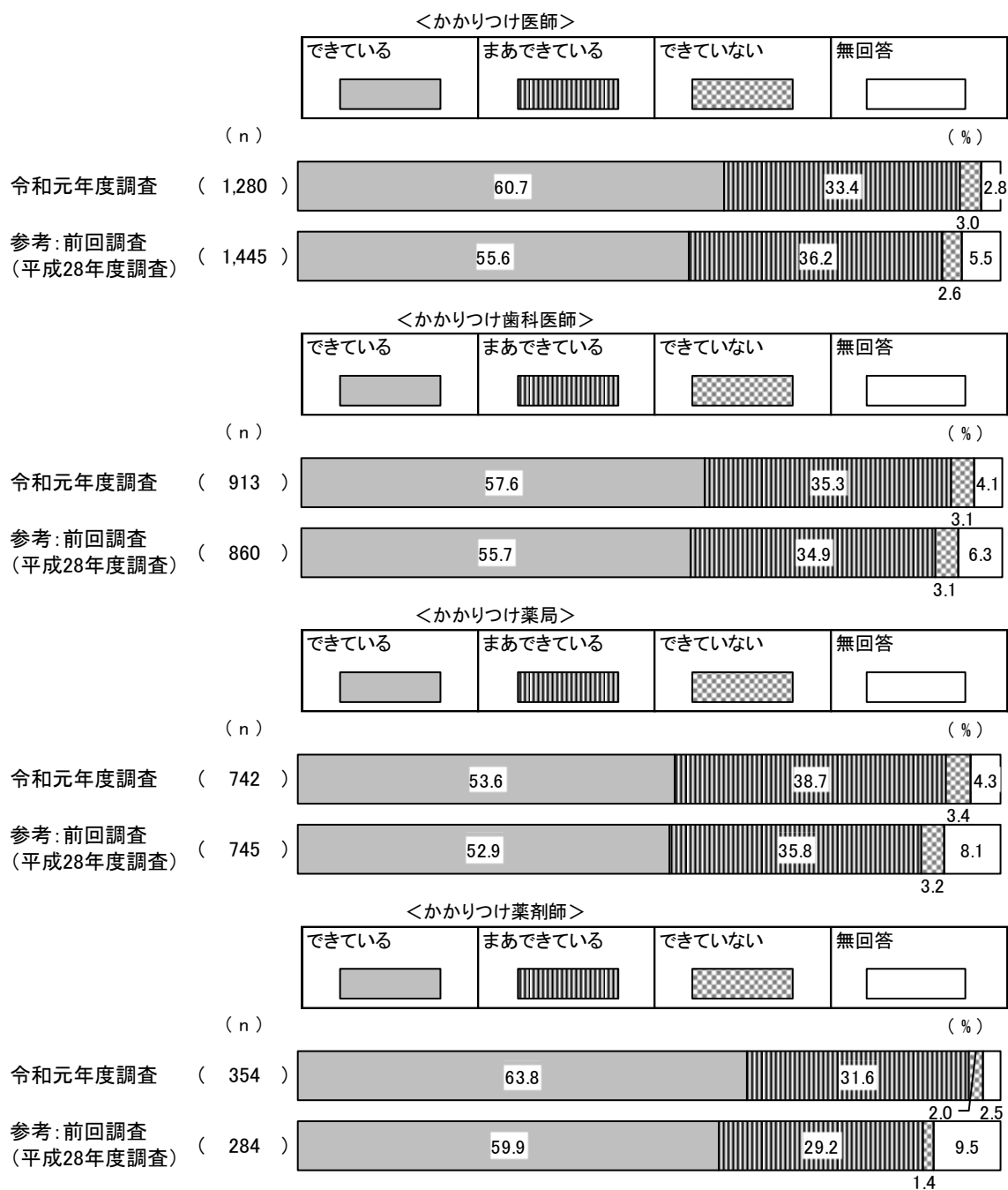
居住地域別で見ると、月島地域は他の地域と比べて、かかりつけ医療機関の所在地が居住地と同じ地域である割合が低い。

④ かかりつけ医等との相談

○ 「できている」割合は、かかりつけ薬剤師が63.8%で最も高く、医師では60.7%、歯科医師では57.6%、薬局では53.6%

【問13で「1.いる」と回答の方】

問13-3: かかりつけの医師、歯科医師、薬局、薬剤師から治療・服薬方法などについての説明や日常の健康についての相談・指導を十分に受けられていると思いますか。



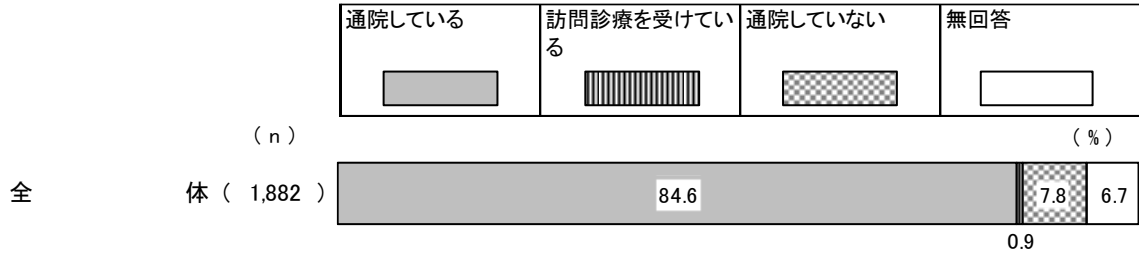
前回調査と比べると、医師、歯科医師、薬局及び薬剤師のいずれも、「できている」及び「まあできている」を合わせた割合が高い。

(4)医療機関の受診状況

① 受診方法

○ 「通院している」(84.6%)が最も多い

問 14: あなたは現在、病院・診療所に通院していますか。

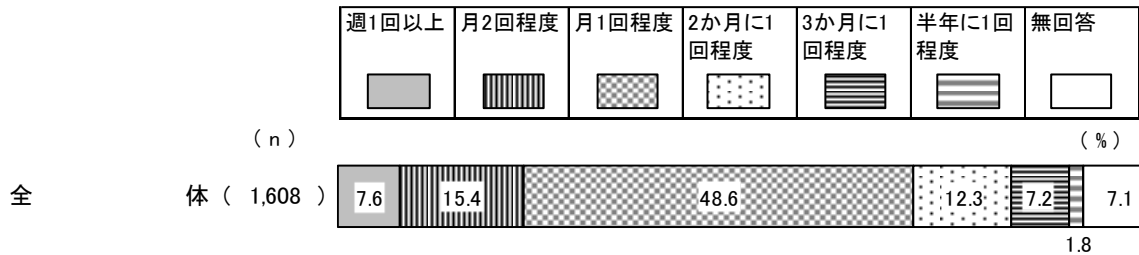


② 通院・訪問診療の頻度

○ 「月1回程度」(48.6%)が最も多く、次いで「月2回程度」(15.4%)

【問 14 で「1.通院している」、「2.訪問診療を受けている」と回答の方】

問 14-1: その頻度をお聞きします。

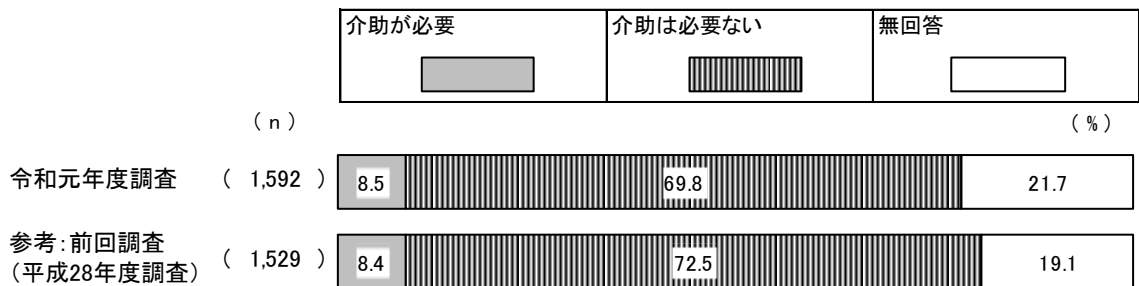


③ 通院時の介助の要否

○ 「介助は必要ない」(69.8%)が最も多い

【問 14 で「1.通院している」と回答の方】

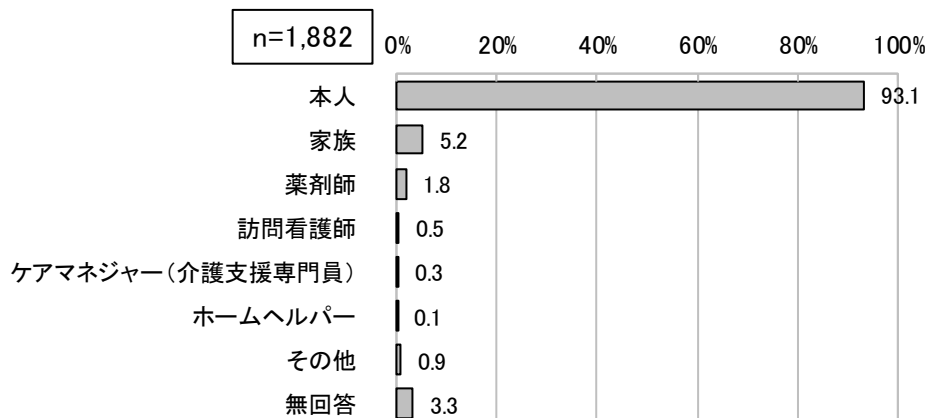
問 14-2: 通院に介助は必要ですか。



### (5)服薬管理

○ 「本人」(93.1%)が最も多い

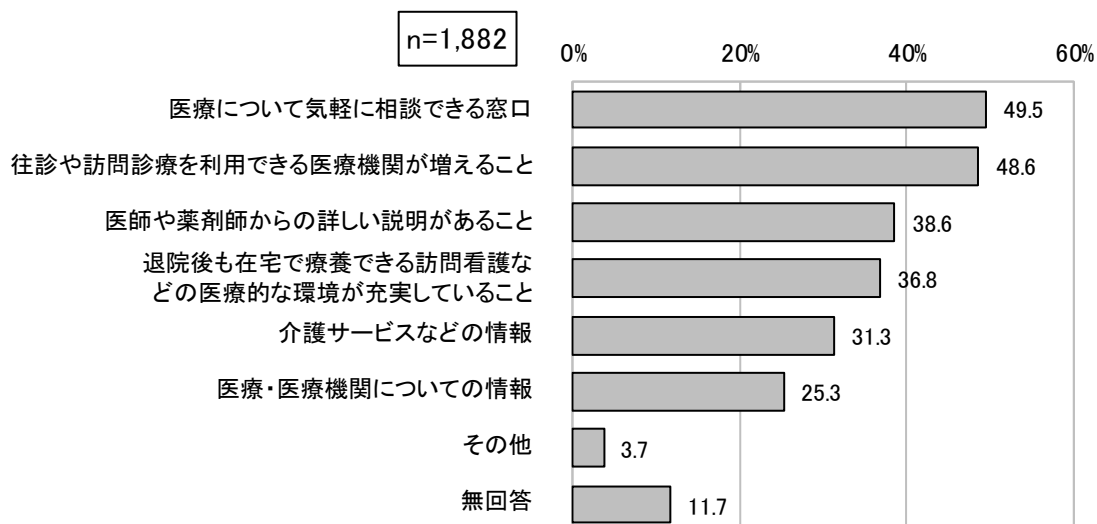
問 15: あなたの服薬の管理はどなたが行っていますか。【複数回答】



### (6)在宅療養する上であればよいこと

○ 「医療について気軽に相談できる窓口」(49.5%)が最も多く、次いで「往診や訪問診療を利用できる医療機関が増えること」(48.6%)

問 16: 在宅で医療処置を受けたり、医療機関を利用するときに、あなたはどのようなことがあればよいと思いますか。【複数回答】

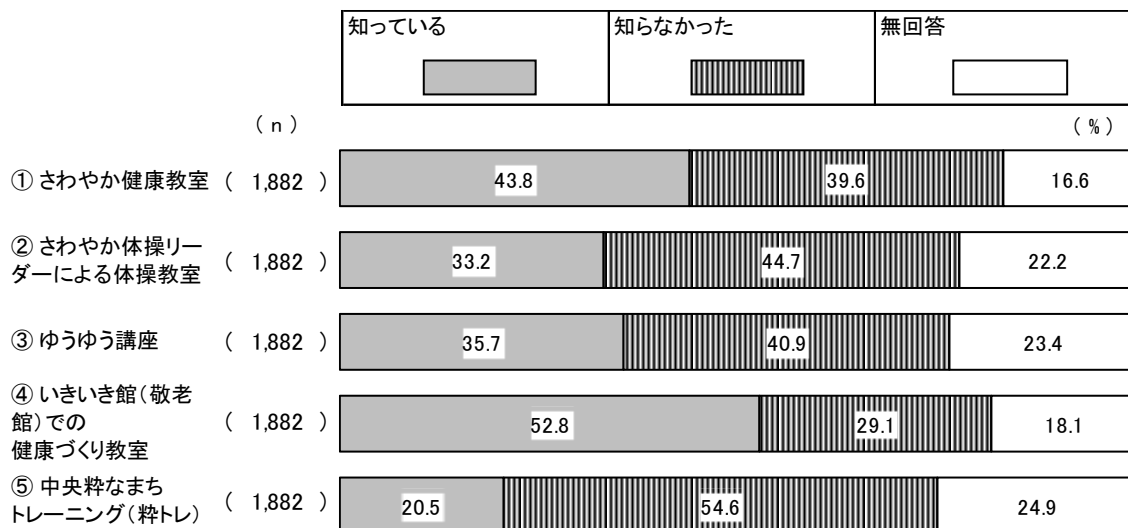


(7)中央区の高齢者健康づくり事業

① 高齢者健康づくり事業の認知度

○ 「いきいき館(敬老館)での健康づくり教室」の認知度(52.8%)が最も高い

問 17:あなたは、中央区が行っている次のような高齢者健康づくり事業をご存知ですか。



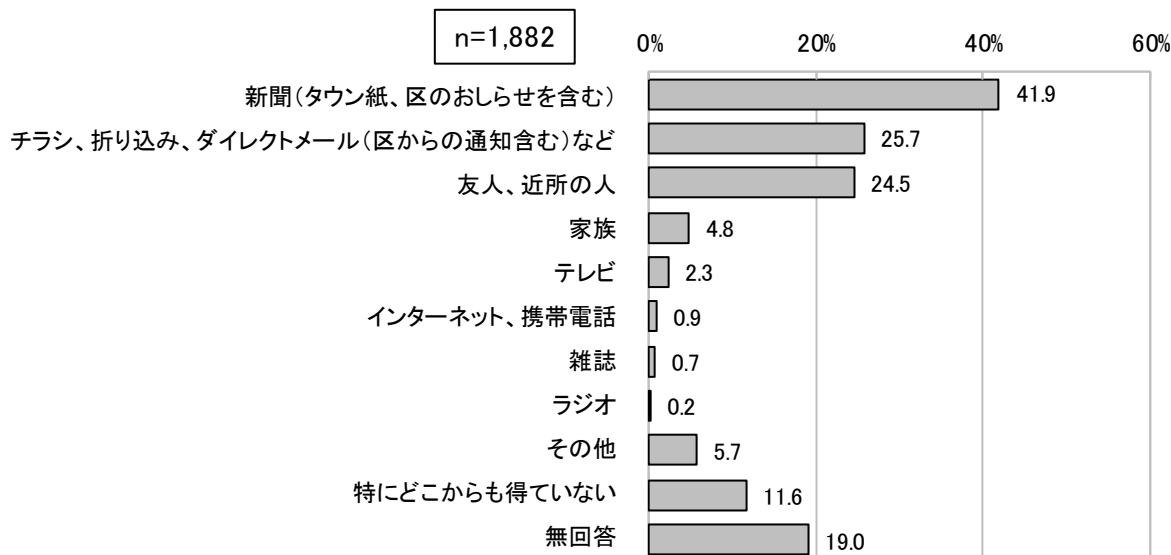
【中央区が行っている高齢者健康づくり事業】

さわやか健康教室	元気な高齢者を対象に、身体機能の維持・向上を目的としたマシントレーニングを行う教室です
さわやか体操リーダーによる体操教室	元気な高齢者を対象に、区民ボランティア「さわやか体操リーダー」が、筋力向上のための体操を行う教室です
ゆうゆう講座	コーラスやレクリエーションなど、楽しく参加し、自然と健康づくりにつながる1回完結型の講座です
いきいき館(敬老館)での健康づくり教室	ヨガや健康吹き矢・太極拳など、いきいき館(敬老館)で主催している教室です
中央粋なまちトレーニング(粋トレ)	転倒予防や認知機能の向上に効果がある中央区オリジナル体操です

② 高齢者健康づくり事業情報の入手先

○ 「新聞(タウン紙、区のおしらせを含む)」(41.9%)が最も多く、次いで「チラシ、折り込み、ダイレクトメール(区からの通知含む)など」(25.7%)

問 18: 上記の高齢者健康づくり事業について、どこでその情報を知りましたか。【複数回答】



<その他の回答>

- 敬老館 ○おとしより相談センター ○掲示板
- ケアマネジャー ○民生委員 ○以前行ったことがある

<高齢者健康づくり事業情報の入手先(性別・居住形態別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

	調査数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
		家族	友人、近所の人	テレビ	ラジオ	インターネット、携帯電話	新聞(タウン紙、区のおしらせを含む)	雑誌	チラシ、折り込み、ダイレクトメール(区からの通知含む)など	その他	特にどこからも得ていない	無回答
全体	1882	91	462	43	4	17	788	14	483	107	219	357
	100.0	4.8	24.5	2.3	0.2	0.9	41.9	0.7	25.7	5.7	11.6	19.0
性別	男性	563	50	83	21	1	12	226	8	145	30	100
	100.0	8.9	14.7	3.7	0.2	2.1	40.1	1.4	25.8	5.3	17.8	17.8
性別	女性	1289	38	370	22	2	4	554	6	335	77	118
	100.0	2.9	28.7	1.7	0.2	0.3	43.0	0.5	26.0	6.0	9.2	19.2
居住形態	[一戸建て計]	494	34	149	13	2	2	219	3	129	29	44
	100.0	6.9	30.2	2.6	0.4	0.4	44.3	0.6	26.1	5.9	8.9	16.6
居住形態	[集合住宅計]	1219	48	275	27	2	13	514	8	320	69	158
	100.0	3.9	22.6	2.2	0.2	1.1	42.2	0.7	26.3	5.7	13.0	18.5

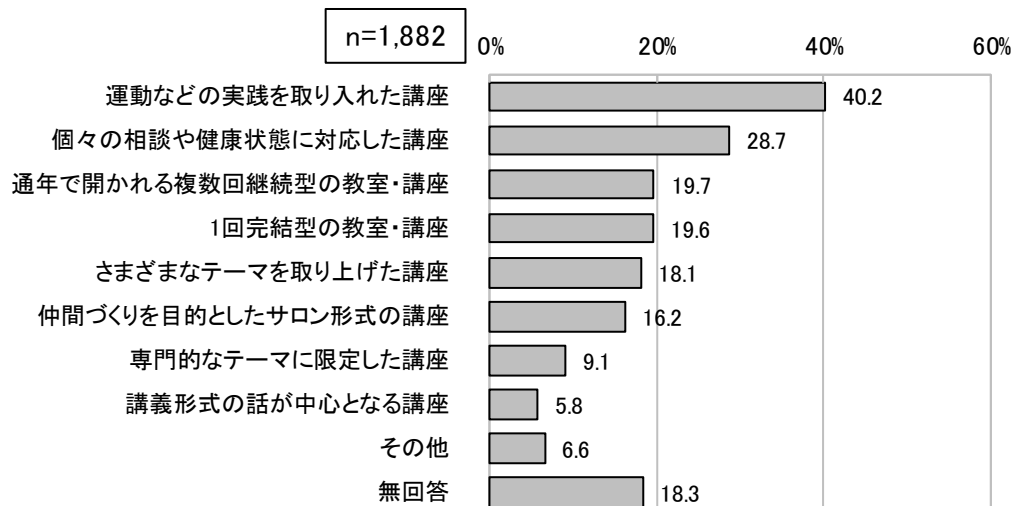
性別で見ると、入手先では、男性は女性と比べて、「家族」の割合が高い。女性は男性と比べて、「友人、近所の人」の割合が高い。

居住形態別に見ると、一戸建ては集合住宅に比べて「友人、近所の人」の割合が高い。

③ 参加したいと思う健康づくり事業

○ 「運動などの実践を取り入れた講座」(40.2%)が最も多く、次いで「個々の相談や健康状態に対応した講座」(28.7%)

問 19:あなたは、どのような健康づくり事業なら参加したいと思いますか。【複数回答:3 つまで】



<その他の回答>

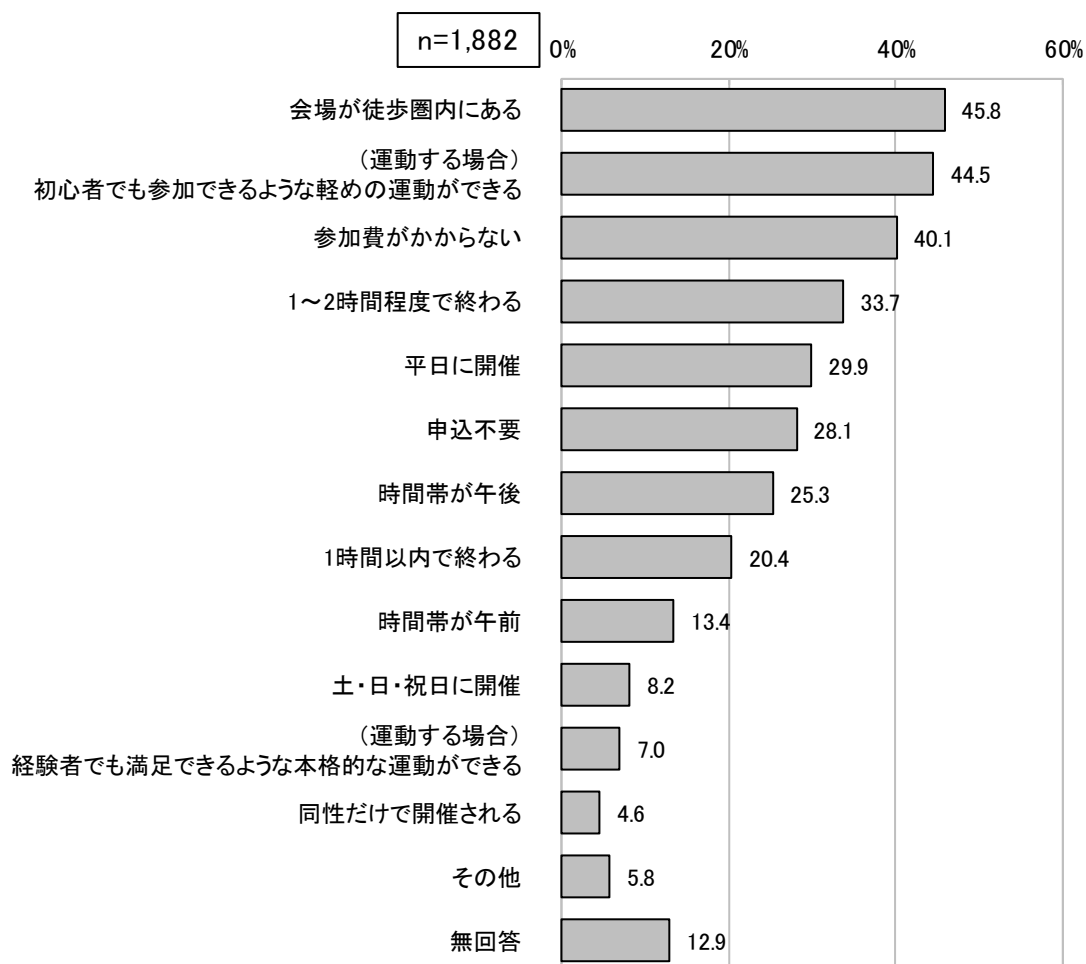
○送迎付き

○「高齢者のための講座」という限定概念に賛同できない

④ 参加条件

- 「会場が徒歩圏内にある」(45.8%)が最も多く、次いで「(運動する場合)初心者でも参加できるような軽めの運動ができる」(44.5%)

問 20: 健康づくり事業に継続的に参加するための条件は何ですか。【複数回答】



<その他の回答>

- 送迎付き ○100円バスで行ける所にある ○おためし期間があるもの  
 ○長期間続けられる教室 ○障害をもっているでも参加できるもの



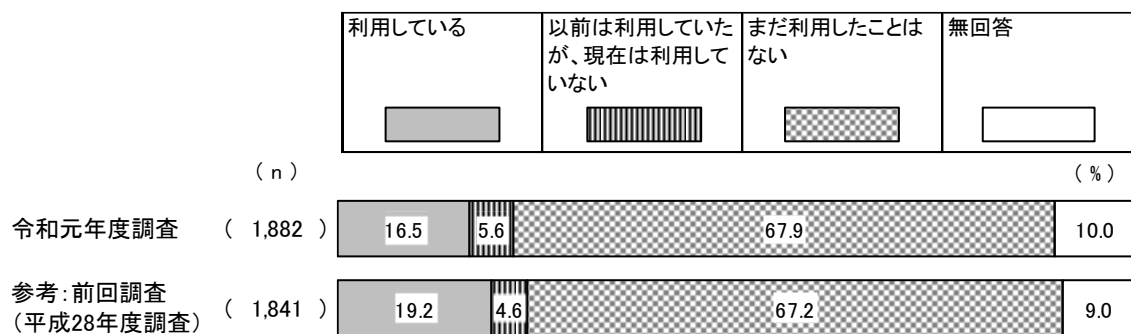
## 5. 介護予防のサービス

### (1) 介護予防のサービス

#### ① 介護予防のサービス利用の有無

○ 「利用している」人は16.5%

問 21: あなたは現在、介護予防のサービスを利用していますか。



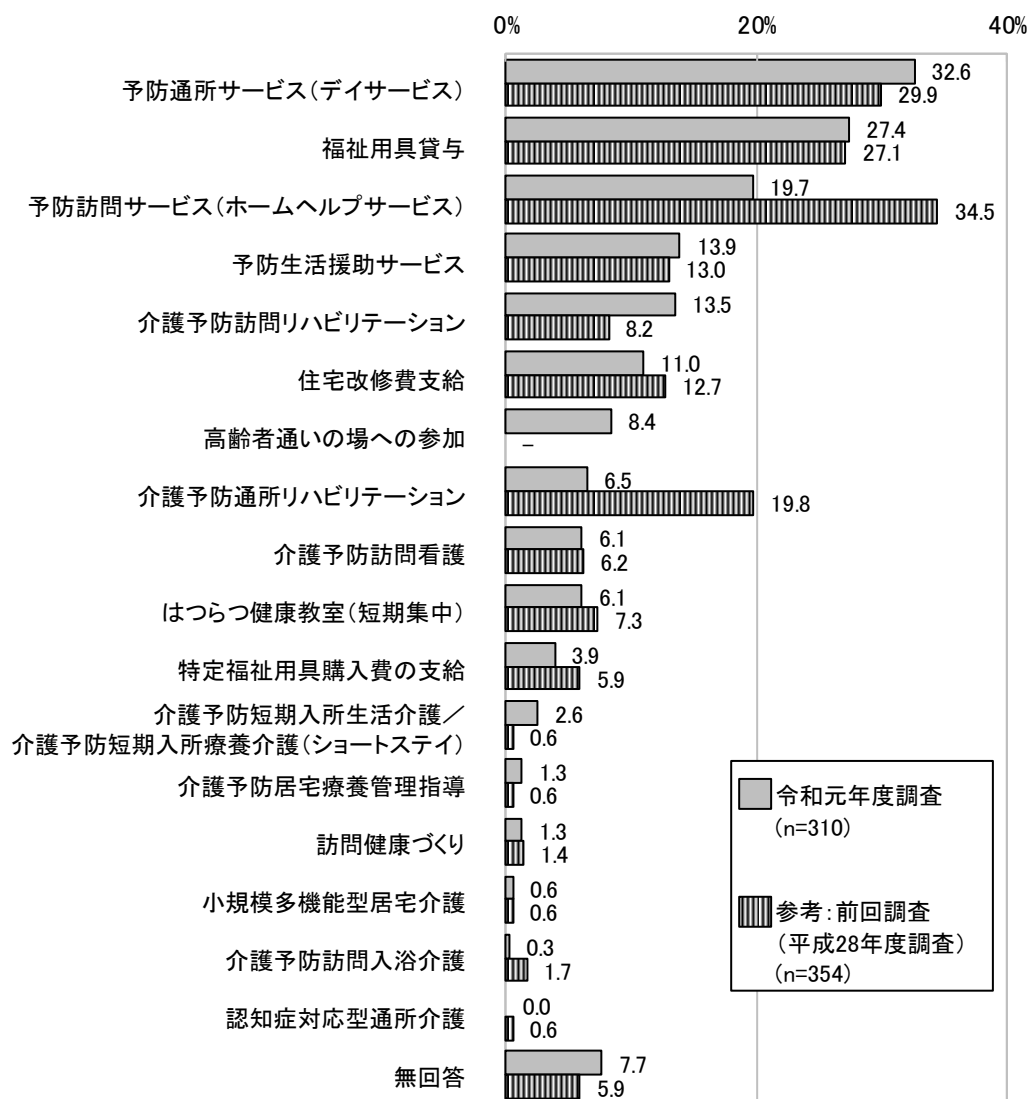
前回調査と比べると、大きな差は見られない。

## ② 利用している介護予防サービスの種類

○ 「予防通所サービス(デイサービス)」(32.6%)が最も多く、次いで「福祉用具貸与」(27.4%)

【問 21 で「1.利用している」と回答の方】

問 21-1: 利用している介護予防のサービスは何ですか。【複数回答】



※図中「-」は調査時にたずねていない項目のため数値がないことを表している。

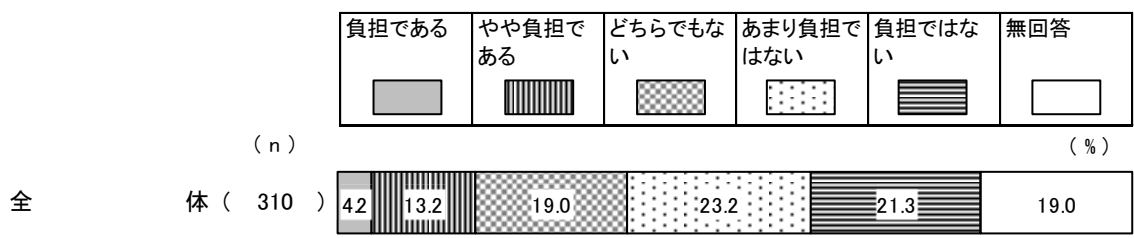
前回調査と比べると、「予防訪問サービス(ホームヘルプサービス)」の割合が低い。

③ 利用料の負担感

○ 「あまり負担ではない」(23.2%)が最も多く、次いで「負担ではない」(21.3%)

【問 21 で「1.利用している」と回答の方】

問 21-2: 現在利用されている介護予防のサービスの利用料は、あなたにとってどの程度負担ですか。



<利用料の負担感(要支援度別・家族構成別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

	調査数	1	2	3	4	5	無回答	
		負担である	やや負担である	どちらでもない	あまり負担ではない	負担ではない		
全体	310	13	41	59	72	66	59	
	100.0	4.2	13.2	19.0	23.2	21.3	19.0	
要支援度	要支援1	127	4	18	30	33	25	17
		100.0	3.1	14.2	23.6	26.0	19.7	13.4
	要支援2	143	7	20	22	33	34	27
	100.0	4.9	14.0	15.4	23.1	23.8	18.9	
家族構成	その他(わからない等)	4	0	0	1	0	1	2
		100.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	50.0
	ひとり暮らし	158	7	22	25	36	38	30
		100.0	4.4	13.9	15.8	22.8	24.1	19.0
夫婦2人暮らし	68	2	9	14	14	17	12	
	100.0	2.9	13.2	20.6	20.6	25.0	17.6	
息子・娘との2世帯	38	4	6	6	13	4	5	
	100.0	10.5	15.8	15.8	34.2	10.5	13.2	
その他	39	0	4	13	6	6	10	
	100.0	0.0	10.3	33.3	15.4	15.4	25.6	

要支援度別で見ると、要支援1は「あまり負担ではない」の割合が高く、要支援2は「負担ではない」の割合が高い。

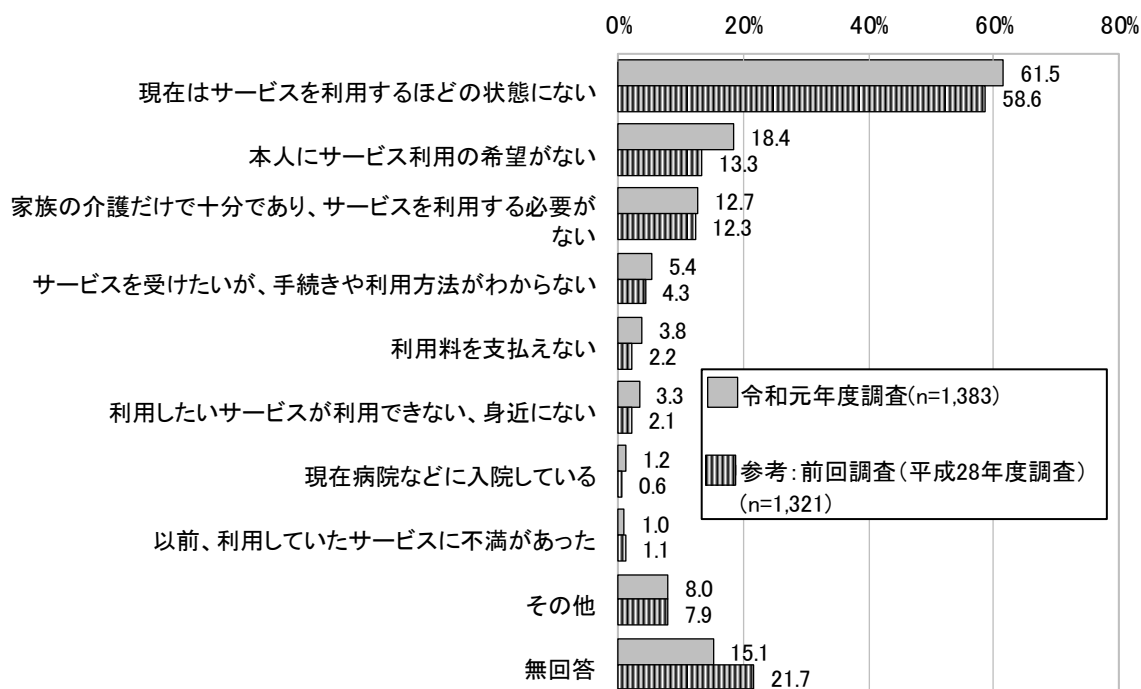
家族構成別で見ると、息子・娘との2世帯は「あまり負担ではない」の割合が高い。

④ 利用していない理由

○ 「現在はサービスを利用するほどの状態にない」(61.5%)が最も多い

【問 21 で「2.以前は利用していたが、現在は利用していない」、「3.まだ利用したことはない」と回答の方】

問 21-3 介護予防のサービスを現在利用していない主な理由は何ですか。【複数回答:3 つまで】



<その他の回答>

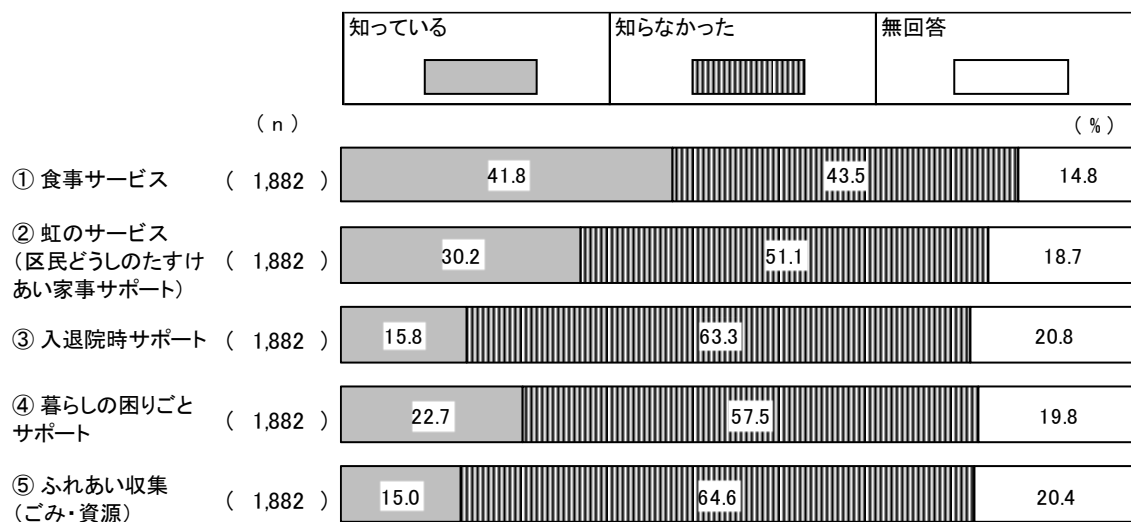
- 体力低下により通う事が困難    ○民間の方が安く、サービスもよい
- ヘルパーさんと合わなかった    ○審査が通らない

前回調査と比べると、大きな差は見られない。

(2)日常生活を支援するサービスの認知度

○ 「食事サービス」(41.8%)の認知度が最も高く、次いで「虹のサービス」(30.2%)

問 22: 中央区では、社会福祉協議会などとともに日常生活を支援するサービスを提供しています。あなたは、次のようなサービスをご存知ですか。



## 6. 今後の介護の希望等

### (1) 今後希望する介護

○ 「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」(29.8%)が最も多く、次いで「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」(14.6%)

問 23: あなたは、今後、どのような介護を希望しますか。



<今後希望する介護(性別)>

上段: 実数(人)  
下段: 構成比(%)

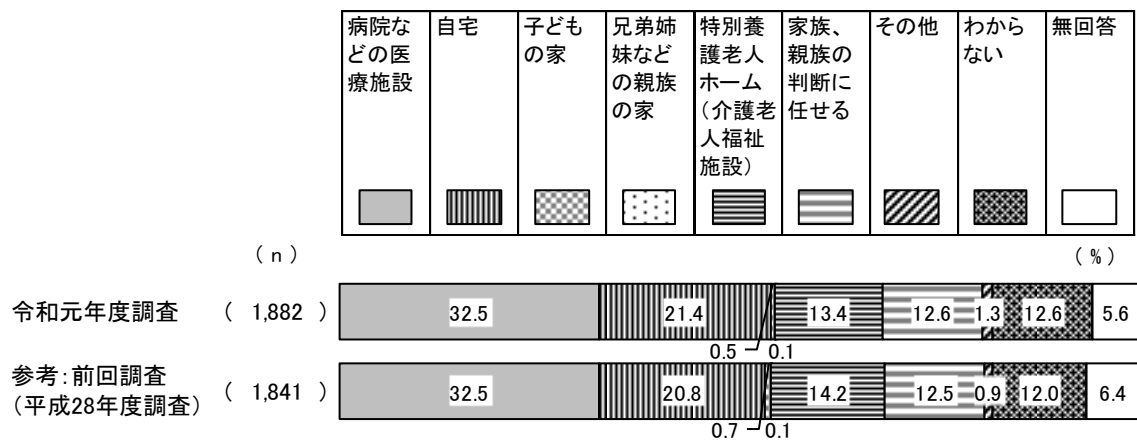
	調査数	1	2	3	4	5	6	7	8		
		主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい	主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい	高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスを利用しながら暮らしたい	特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)などの介護施設に入りたい	介護付き有料老人ホームに入りたい	家族、親族の判断に任せる	その他	わからない	無回答	
全体	1882	275	561	171	135	99	220	40	245	136	
	100.0	14.6	29.8	9.1	7.2	5.3	11.7	2.1	13.0	7.2	
性別	男性	563	108	147	55	40	30	66	14	72	31
		100.0	19.2	26.1	9.8	7.1	5.3	11.7	2.5	12.8	5.5
性別	女性	1289	162	408	114	92	69	148	26	169	101
		100.0	12.6	31.7	8.8	7.1	5.4	11.5	2.0	13.1	7.8

性別で見ると、男性は女性と比べて、「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」の割合が高い。女性は男性と比べて、「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」の割合が高い。

(2)終末期に介護を受けたい場所

○ 「病院などの医療施設」(32.5%)が最も多く、次いで「自宅」(21.4%)

問 24: あなたは、病気が治る可能性がなくなり、終末期になった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。



前回調査と比べると、大きな差は見られない。

<終末期に介護を受けたい場所(性別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

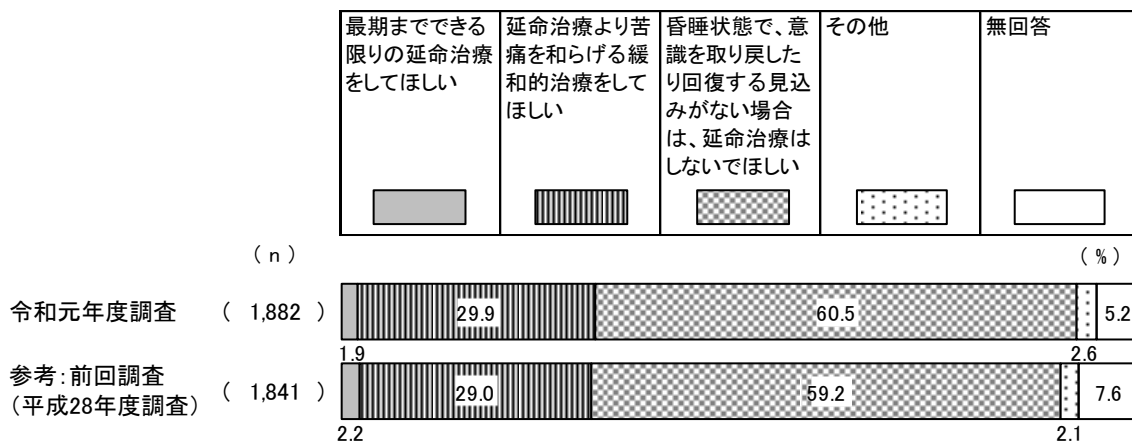
	調査数	1	2	3	4	5	6	7	8	無回答	
		病院などの医療施設	自宅	子どもの家	兄弟姉妹などの親族の家	特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)	家族、親族の判断に任せる	その他	わからない		
全体	1882	612	402	10	1	252	238	24	238	105	
	100.0	32.5	21.4	0.5	0.1	13.4	12.6	1.3	12.6	5.6	
性別	男性	563	161	154	2	1	80	74	7	58	26
	100.0	28.6	27.4	0.4	0.2	14.2	13.1	1.2	10.3	4.6	
性別	女性	1289	441	238	7	0	170	162	17	178	76
	100.0	34.2	18.5	0.5	0.0	13.2	12.6	1.3	13.8	5.9	

性別で見ると、男性は女性と比べて、「自宅」の割合が高く、女性は男性と比べて、「病院などの医療施設」の割合が高い。

(3)延命治療について

○ 「昏睡状態で、意識を取り戻したり回復する見込みがない場合は、延命治療はしないでほしい」  
(60.5%)が最も多い

問 25:あなたは、延命のための医療を受けることについてどう思いますか。



前回調査と比べると、大きな差は見られない。

<延命治療について(性別・年代別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

		調査数	1	2	3	4	無回答
			最期までできる限りの延命治療をしてほしい	延命治療より苦痛を和らげる緩和的治療をしてほしい	昏睡状態で、意識を取り戻したり回復する見込みがない場合は、延命治療はしないでほしい	その他	
全体		1882	36	563	1138	48	97
		100.0	1.9	29.9	60.5	2.6	5.2
性別	男性	563	17	153	348	17	28
		100.0	3.0	27.2	61.8	3.0	5.0
	女性	1289	19	406	766	29	69
		100.0	1.5	31.5	59.4	2.2	5.4
年代別	65~69歳	197	3	72	113	1	8
		100.0	1.5	36.5	57.4	0.5	4.1
	70~74歳	400	6	119	253	9	13
		100.0	1.5	29.8	63.3	2.3	3.3
	75~79歳	323	9	98	185	13	18
		100.0	2.8	30.3	57.3	4.0	5.6
	80~84歳	388	6	112	248	4	18
		100.0	1.5	28.9	63.9	1.0	4.6
	85~89歳	366	7	99	221	14	25
		100.0	1.9	27.0	60.4	3.8	6.8
	90歳以上	152	5	50	82	3	12
		100.0	3.3	32.9	53.9	2.0	7.9

性別で見ると、大きな差は見られない。

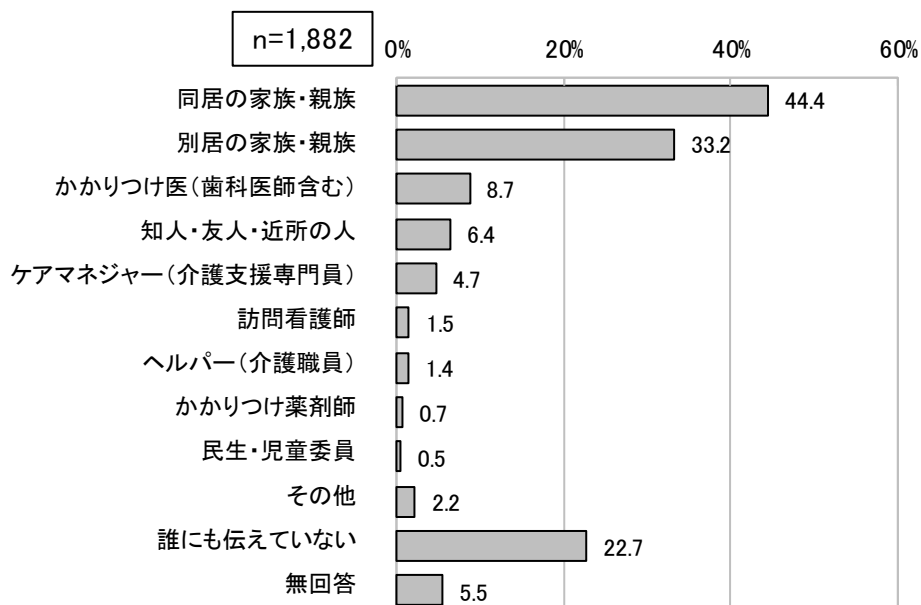
年代別で見ると、全ての年代で「昏睡状態で、意識を取り戻したり回復する見込みがない場合は、延命治療はしないでほしい」の割合が高い。



(4)延命治療への希望を誰に伝えているか

○ 「同居の家族・親族」(44.4%)が最も多く、次いで「別居の家族・親族」(33.2%)

問 26:あなたは、問 25 の内容についての希望を誰に伝えていますか。



<延命治療への希望を誰に伝えているか(性/年代別・介護・介助の要否別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

	調査数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	無回答	
		同居の家族・親族	別居の家族・親族	知人・友人・近所の人	かかりつけ医(歯科医師含む)	かかりつけ薬剤師	訪問看護師	ケアマネジャー(介護支援専門員)	ヘルパー(介護職員)	民生・児童委員	その他	誰にも伝えていない		
全体	1882	836	624	120	164	14	28	88	26	10	42	427	104	
	100.0	44.4	33.2	6.4	8.7	0.7	1.5	4.7	1.4	0.5	2.2	22.7	5.5	
性・年代別	男性 65~74歳	211	115	39	11	10	0	2	5	4	1	3	61	7
		100.0	54.5	18.5	5.2	4.7	0.0	0.9	2.4	1.9	0.5	1.4	28.9	3.3
	男性 75~84歳	206	129	55	7	28	1	10	11	5	3	6	36	13
		100.0	62.6	26.7	3.4	13.6	0.5	4.9	5.3	2.4	1.5	2.9	17.5	6.3
	男性 85歳以上	133	77	42	4	17	4	1	7	0	1	0	21	8
		100.0	57.9	31.6	3.0	12.8	3.0	0.8	5.3	0.0	0.8	0.0	15.8	6.0
	女性 65~74歳	386	163	116	36	17	2	2	13	1	1	7	123	12
	100.0	42.2	30.1	9.3	4.4	0.5	0.5	3.4	0.3	0.3	1.8	31.9	3.1	
女性 75~84歳	503	198	193	27	41	4	5	22	4	2	15	103	32	
	100.0	39.4	38.4	5.4	8.2	0.8	1.0	4.4	0.8	0.4	3.0	20.5	6.4	
女性 85歳以上	382	127	158	32	42	3	7	26	12	2	11	71	28	
	100.0	33.2	41.4	8.4	11.0	0.8	1.8	6.8	3.1	0.5	2.9	18.6	7.3	
介護・介助の要否別	介護・介助は必要ない	1212	568	394	80	85	6	16	38	9	5	27	289	50
		100.0	46.9	32.5	6.6	7.0	0.5	1.3	3.1	0.7	0.4	2.2	23.8	4.1
	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	271	120	89	17	29	4	5	12	5	3	4	62	19
	100.0	44.3	32.8	6.3	10.7	1.5	1.8	4.4	1.8	1.1	1.5	22.9	7.0	
現在、何らかの介護を受けている	262	90	103	13	36	4	6	34	11	2	8	47	18	
	100.0	34.4	39.3	5.0	13.7	1.5	2.3	13.0	4.2	0.8	3.1	17.9	6.9	

性/年代別で見ると、男性は女性と比べて、全ての年代で「同居の家族・親族」の割合が高い。女性は、85歳以上では、「別居の家族・親族」の割合が最も高い。

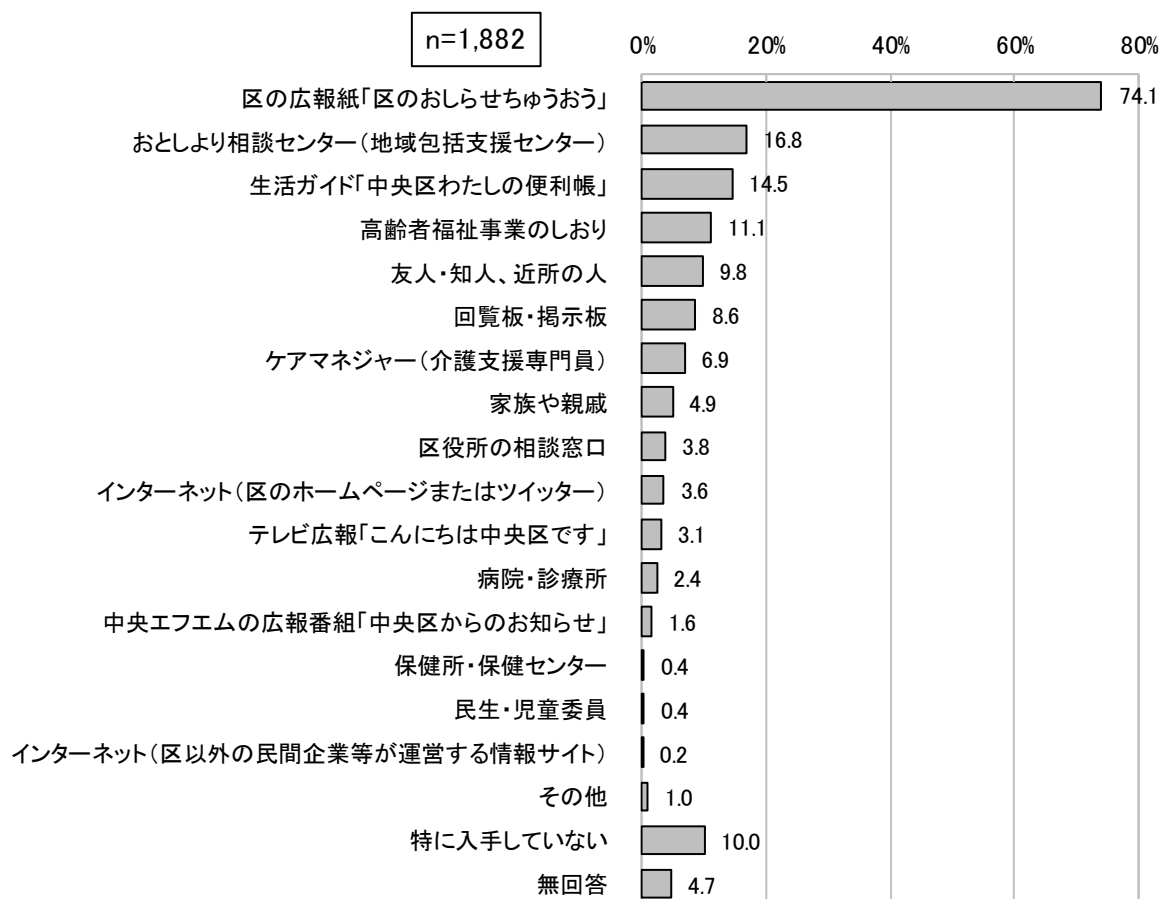
介護・介助の要否別で見ると、現在、何らかの介護を受けている人は全体と比べて、「別居の家族・親族」に希望を伝えている割合が高い。

## 7. 相談や権利擁護

### (1)区からの情報の入手先

○ 「区の広報紙」(74.1%)が最も多い

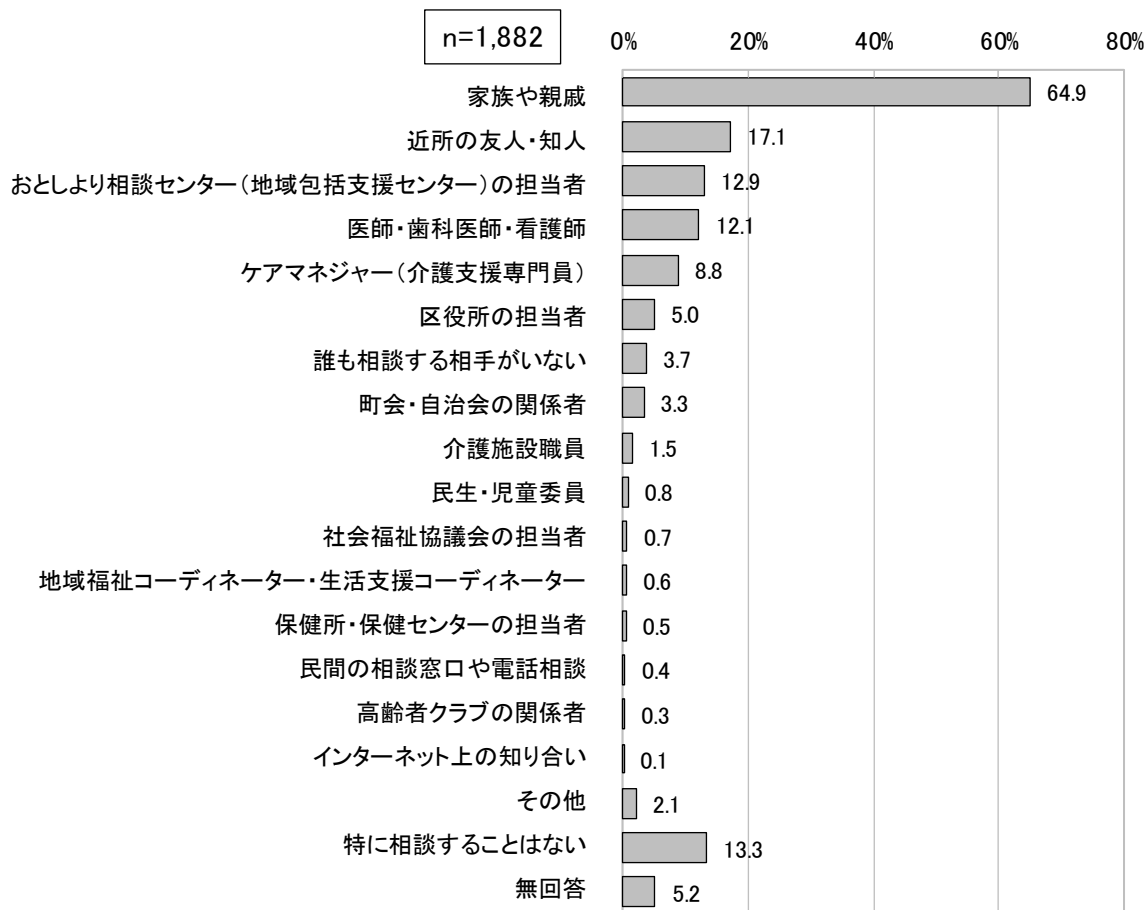
問 27:あなたは、中央区からの情報は主にどこから入手していますか。【複数回答:3 つまで】



(2)困ったときの相談相手

○ 「家族や親戚」 (64.9%)が最も多い

問 28:あなたは、普段の生活で困ったとき、誰に相談していますか。【複数回答:3 つまで】

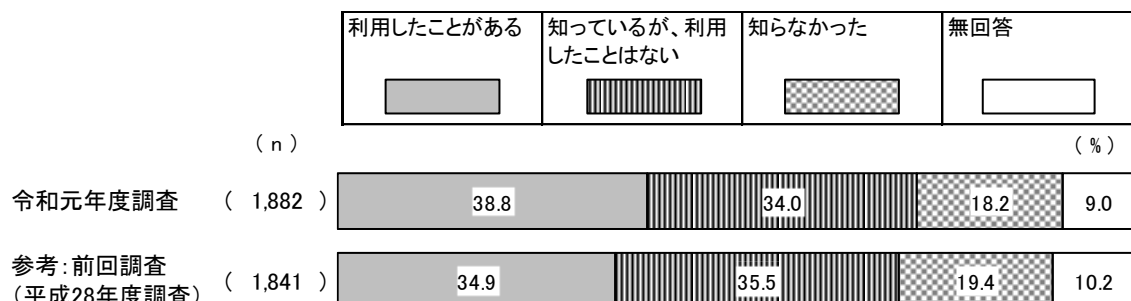


(3)おとしより相談センターの認知度・利用状況

① 認知度・利用状況

○ 認知度は72.8%、「利用したことがある」は38.8%

問 29:あなたは、「おとしより相談センター(地域包括支援センター)」をご存知ですか。



<認知度・利用状況(性/年代別・介護・介助の要否別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

		調査数	1 利用したことがある	2 知っているが、 利用したことはない	3 知らなかった	無回答
<b>全体</b>		1882 100.0	730 38.8	640 34.0	342 18.2	170 9.0
<b>性年代別</b>	男性 65~74歳	211 100.0	35 16.6	79 37.4	79 37.4	18 8.5
	男性 75~84歳	206 100.0	70 34.0	59 28.6	60 29.1	17 8.3
	男性 85歳以上	133 100.0	57 42.9	42 31.6	20 15.0	14 10.5
	女性 65~74歳	386 100.0	120 31.1	151 39.1	92 23.8	23 6.0
	女性 75~84歳	503 100.0	234 46.5	177 35.2	51 10.1	41 8.2
	女性 85歳以上	382 100.0	190 49.7	107 28.0	35 9.2	50 13.1
<b>介護要否介助の</b>	介護・介助は必要ない	1212 100.0	367 30.3	475 39.2	279 23.0	91 7.5
	何らかの介護・介助は必要だが、 現在は受けていない	271 100.0	128 47.2	87 32.1	28 10.3	28 10.3
	現在、何らかの介護を受けている	262 100.0	187 71.4	35 13.4	15 5.7	25 9.5

性/年代別で見ると、男女とも、年代が下がるほど、「利用したことがある」割合が低く、「知らなかった」割合が高い。

介護・介助の要否別で見ると、介護・介助は必要ない及び何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない人では「知っているが、利用したことはない」の割合が3割を超えている。

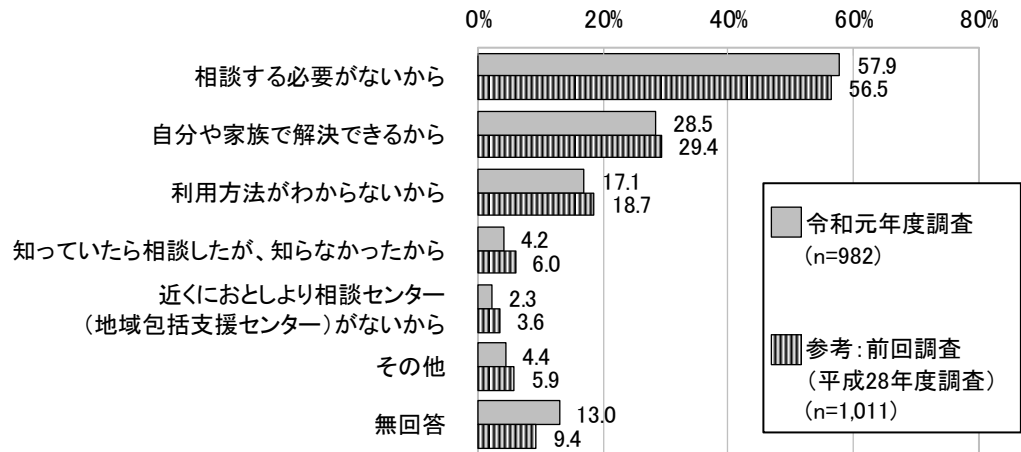
② 利用していない理由

○ 「相談する必要があるから」(57.9%)が最も多い

【問 29 で「2.知っているが、利用したことはない」、「3.知らなかった」と回答の方】

問 29-1:「おとしより相談センター(地域包括支援センター)」を利用したことがない主な理由は何ですか。

【複数回答】



前回調査と比べると、大きな差は見られない。

(4)成年後見制度の認知度・利用意向

① 成年後見制度の認知度

○ 「よく知っている」と「名前・制度についてはおおそ知っている」を合わせると 40.7%

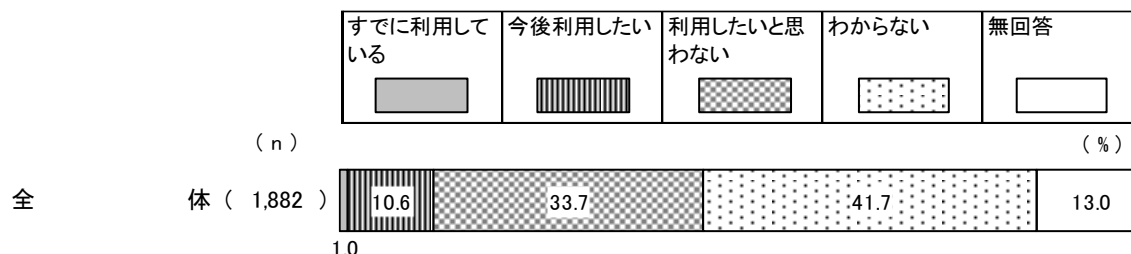
問 30: あなたは、「成年後見制度」について内容をどの程度ご存知ですか。



## ② 成年後見制度の利用意向

- 「わからない」(41.7%)が最も多い
- 「すでに利用している」と「今後利用したい」を合わせると 11.6%

問 31:「成年後見制度」を利用したいといますか。

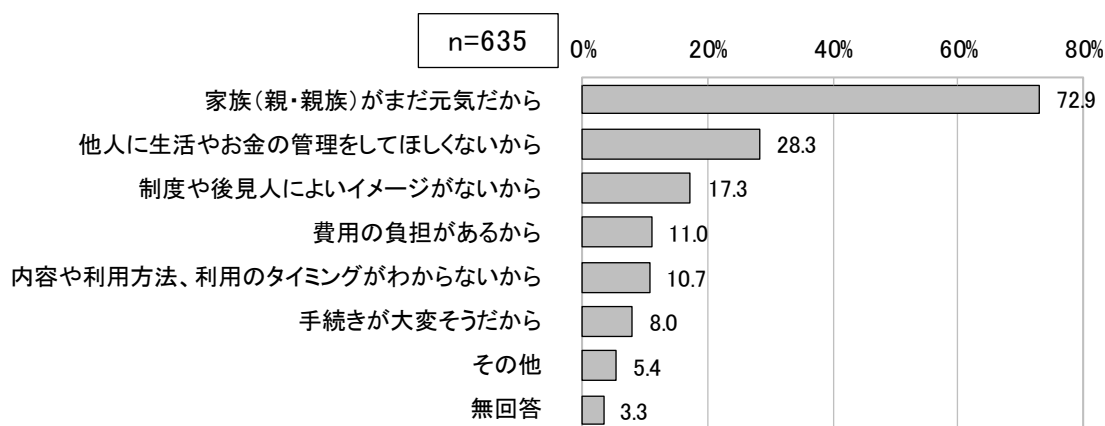


## ③ 成年後見制度を利用しない理由

- 「家族(親・親族)がまだ元気だから」(72.9%)が最も多い

【問 31 で「3.利用したいと思わない」と回答の方】

問 31-1:「成年後見制度」を利用したいと思わない理由を教えてください。【複数回答】



<その他の回答>

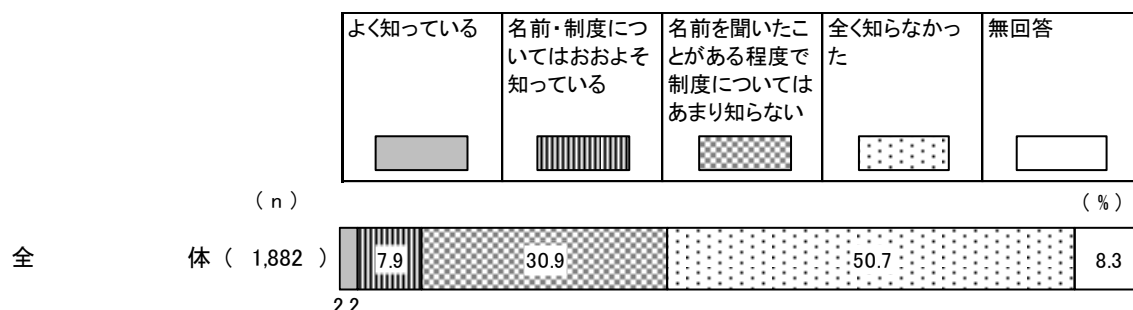
- 家族に専門知識を持つ人がいる
- 自分で整理する
- 長期にお世話になっている税理士に頼んでいる

(5)権利擁護支援事業の認知度・利用意向

① 権利擁護支援事業の認知度

○ 「よく知っている」と「名前・制度についてはおおよそ知っている」を合わせると 10.1%

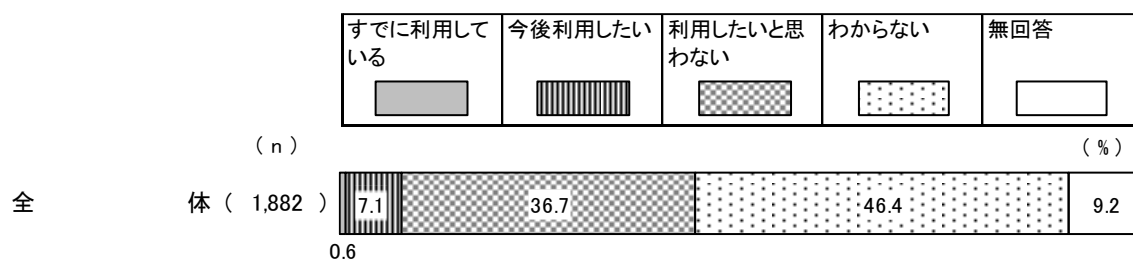
問 32:「権利擁護支援事業」について内容をどの程度知っていますか。



② 権利擁護支援事業の利用意向

○ 「わからない」(46.4%)が最も多い  
 ○ 「すでに利用している」と「今後利用したい」を合わせると 7.7%

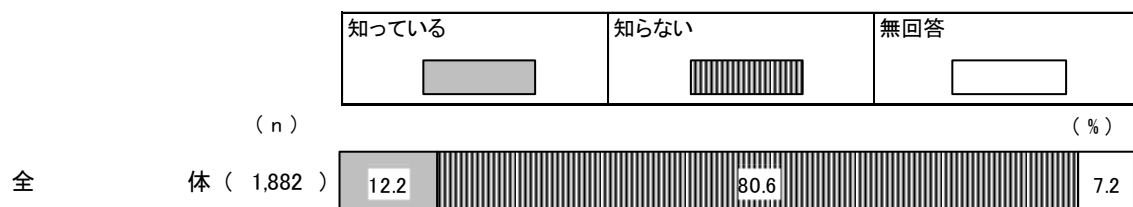
問 33:「権利擁護支援事業」を利用したいと思いますか。



(6)すてっぷ中央の認知度

○ 「知っている」が 12.2%

問 34:あなたは、中央区社会福祉協議会の成年後見支援センター「すてっぷ中央」をご存知ですか。

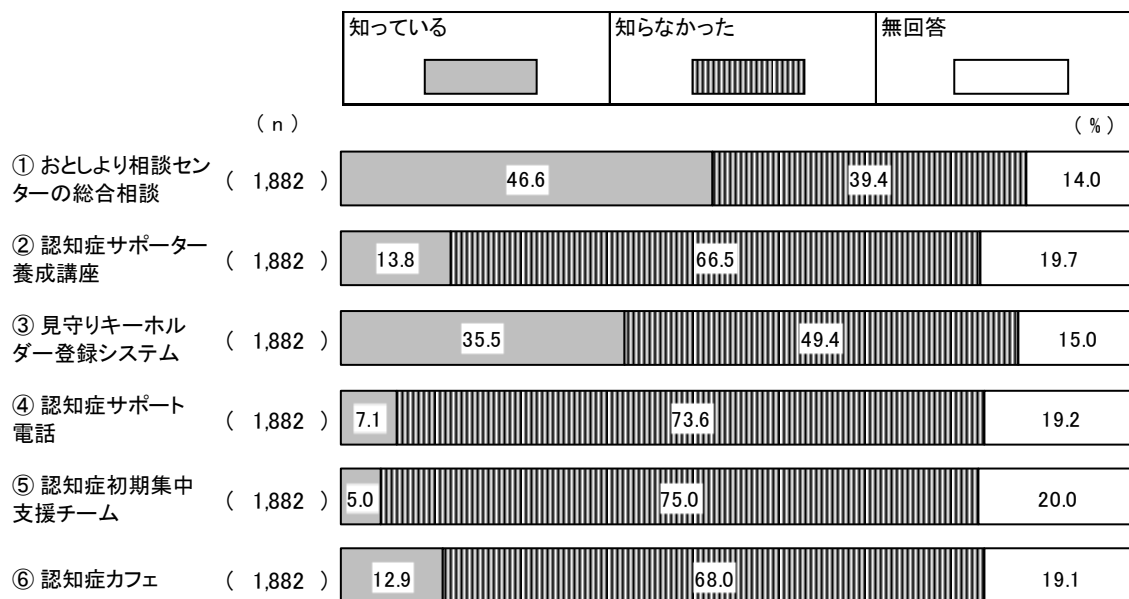


## 8. 認知症

### (1)認知症に関する取組の認知度

○ 「おとしより相談センター(地域包括支援センター)の総合相談」(46.6%)が最も多く、次いで「見守りキーホルダー登録システム」(35.5%)

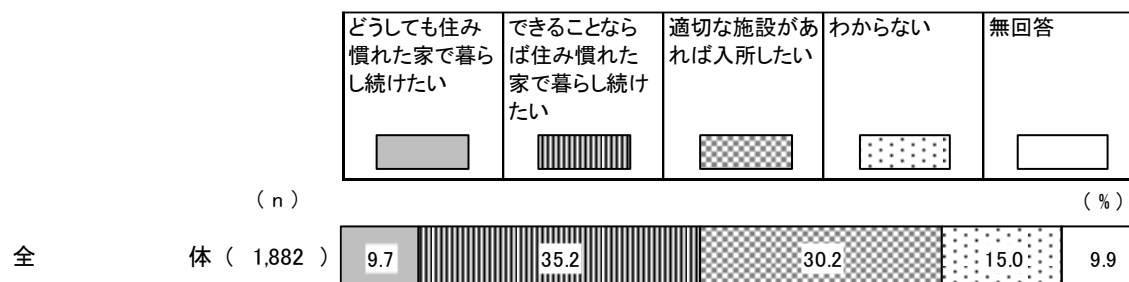
問 35: 中央区では、おとしより相談センター(地域包括支援センター)などとともに、認知症についてさまざまな取組を行っています。あなたは次のような取組をご存知ですか。



### (2)在宅生活の継続意向

○ 住み慣れた家で暮らし続けたい人は44.9%

問 36: あなたは、認知症になっても、住み慣れた家で暮らし続けたいと思いますか。



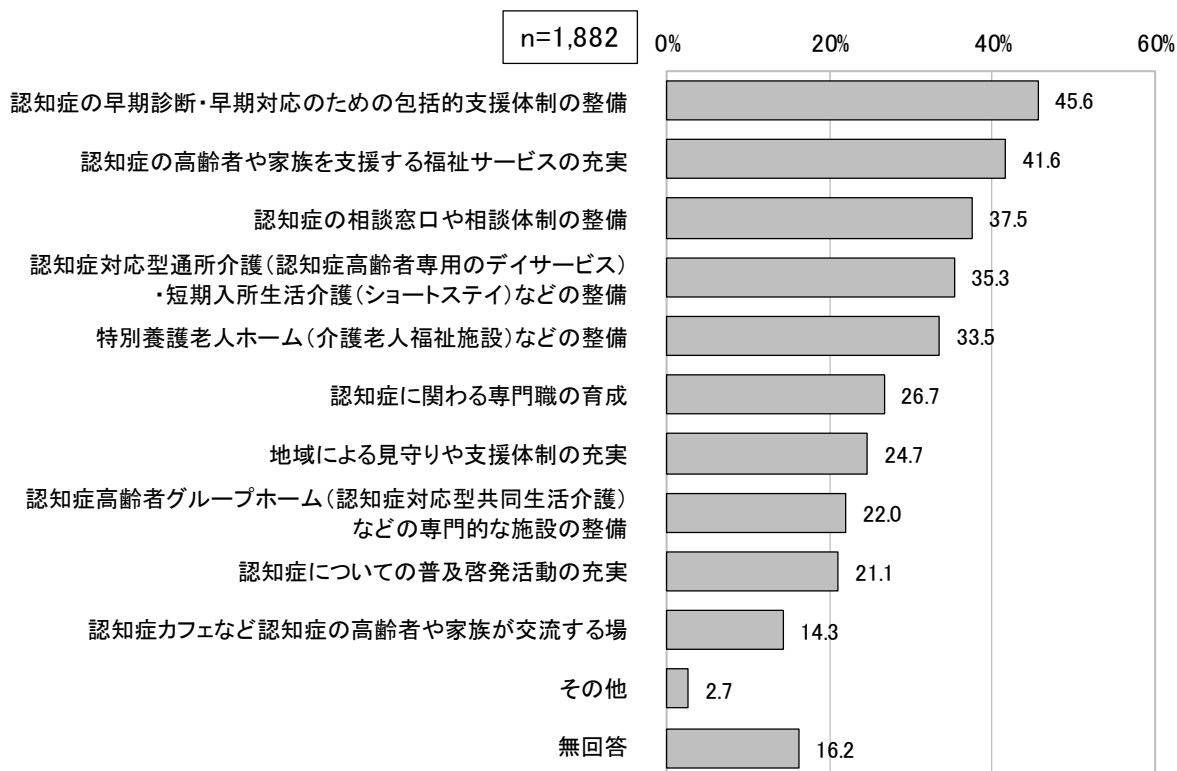


(3)地域で暮らし続けるために必要なこと

- 「認知症の早期診断・早期対応のための包括的支援体制の整備」(45.6%)が最も多く、次いで「認知症の高齢者や家族を支援する福祉サービスの充実」(41.6%)

問 37: あなたは、認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けるためには何が必要だと思いますか。

【複数回答】



ウ 健康づくりと介護予防に関する調査 (調査C)

<地域で暮らし続けるために必要なこと(性別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

		調査数	1	2	3	4	5	6
			認知症についての普及啓発活動の充実	認知症の早期診断・早期対応のための包括的支援体制の整備	認知症の相談窓口や相談体制の整備	地域による見守りや支援体制の充実	認知症の高齢者や家族を支援する福祉サービスの充実	認知症対応型通所介護(認知症高齢者専用のデイサービス)・短期入所生活介護(ショートステイ)などの整備
全体		1882 100.0	397 21.1	859 45.6	705 37.5	465 24.7	783 41.6	665 35.3
性別	男性	563 100.0	132 23.4	249 44.2	216 38.4	121 21.5	222 39.4	158 28.1
	女性	1289 100.0	260 20.2	599 46.5	480 37.2	335 26.0	551 42.7	501 38.9
		調査数	7	8	9	10	11	
			認知症カフェなど認知症の高齢者や家族が交流する場	認知症高齢者グループホーム(認知症対応型共同生活介護)などの専門的な施設の整備	特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)などの整備	認知症に関わる専門職の育成	その他	無回答
全体		1882 100.0	270 14.3	414 22.0	630 33.5	502 26.7	51 2.7	304 16.2
性別	男性	563 100.0	66 11.7	104 18.5	186 33.0	112 19.9	20 3.6	85 15.1
	女性	1289 100.0	201 15.6	306 23.7	440 34.1	385 29.9	29 2.2	212 16.4

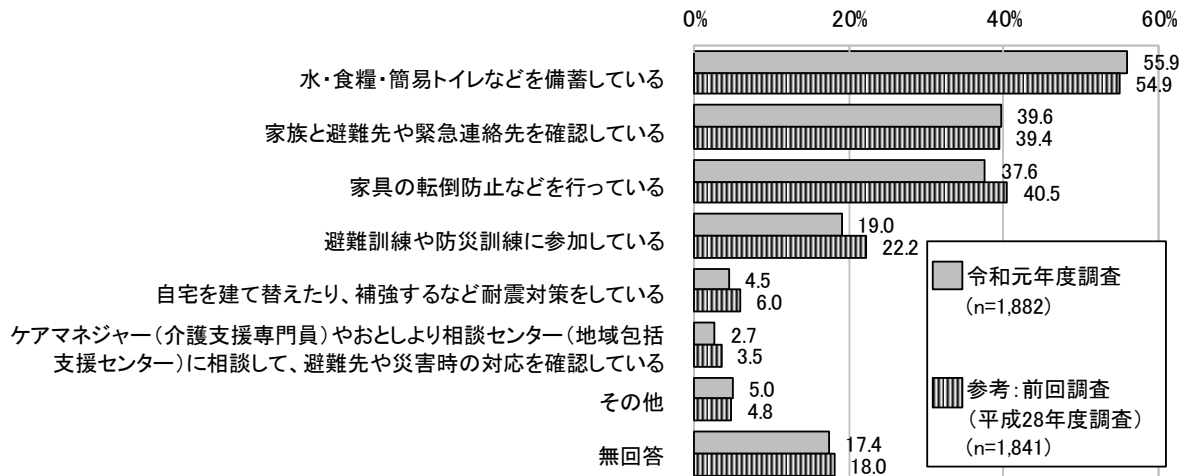
性別で見ると、男女とも「認知症の早期診断・早期対応のための包括的支援体制の整備」の割合が最も高い。

## 9. 災害時の対応

### (1)災害への備え

○ 「水・食糧・簡易トイレなどを備蓄している」(55.9%)が最も多い

問 38:あなたは、地震などの災害に備えてどのようなことをしていますか。【複数回答】



前回調査と比べると、「避難訓練や防災訓練に参加している」の割合が3.2ポイント減っている。

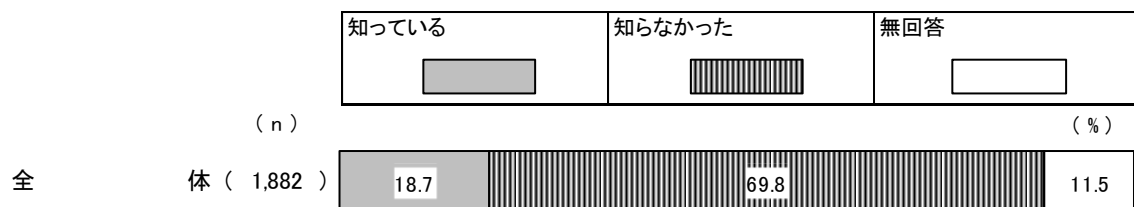
<その他の回答>

- 特に何もしていない
- 避難用バックを備えている
- 冊子を読んでいる
- 消防署の災害時支援ボランティアをしている

### (2)「中央区災害時地域たすけあい名簿」の認知度

○ 「知らなかった」が69.8%

問 39:あなたは、「中央区災害時地域たすけあい名簿」についてご存知ですか。



#### 中央区災害時地域たすけあい名簿

区では災害時に自力で避難したり生活することが困難な方を登録し、安否確認や避難誘導等の支援及び支援のための体制づくりに役立てることを目的とした名簿を作成している。

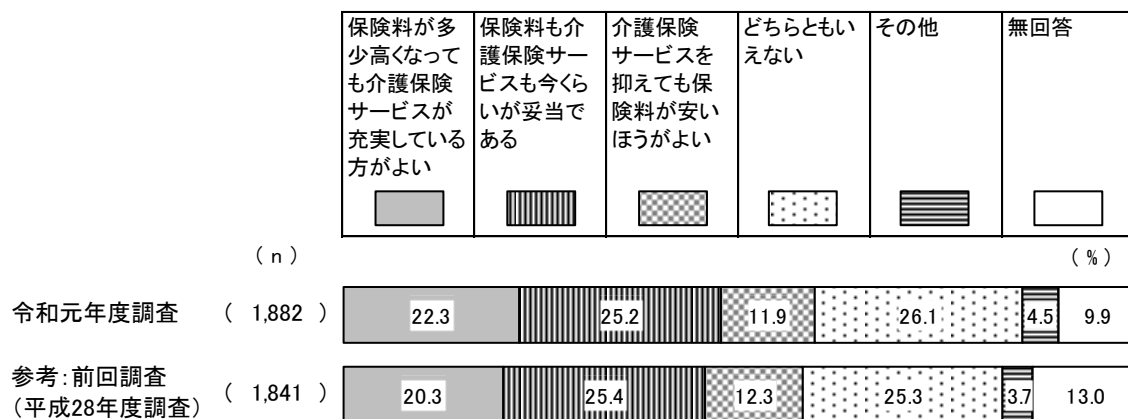
本人の同意がある方の名簿情報を、警察、消防、民生・児童委員、防災区民組織、介護サービス事業者に平常時からあらかじめ提供している。

## 10. 今後の高齢者保健福祉施策

### (1) 介護保険サービスと介護保険料のあり方

○ 「どちらともいえない」(26.1%)が最も多く、次いで「保険料も介護保険サービスも今くらいが妥当である」(25.2%)

問 40: 今後、高齢者が増加していくにつれて介護保険料が高くなることが想定されますが、あなたは、今後の介護保険料のあり方についてどう思いますか。



<介護保険サービスと介護保険料のあり方(性別・年代別・介護・介助の要否別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

		調査数	1 保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい	2 保険料も介護保険サービスも今くらいが妥当である	3 介護保険サービスを抑えても保険料が低い方がよい	4 どちらともいえない	5 その他	無回答
全体		1882 100.0	420 22.3	474 25.2	224 11.9	492 26.1	85 4.5	187 9.9
性別	男性	563 100.0	121 21.5	147 26.1	86 15.3	123 21.8	33 5.9	53 9.4
	女性	1289 100.0	295 22.9	319 24.7	135 10.5	365 28.3	50 3.9	125 9.7
年代別	65～69歳	197 100.0	33 16.8	46 23.4	29 14.7	59 29.9	15 7.6	15 7.6
	70～74歳	400 100.0	67 16.8	87 21.8	54 13.5	141 35.3	23 5.8	28 7.0
	75～79歳	323 100.0	66 20.4	86 26.6	40 12.4	80 24.8	17 5.3	34 10.5
	80～84歳	388 100.0	101 26.0	93 24.0	40 10.3	100 25.8	11 2.8	43 11.1
	85～89歳	366 100.0	101 27.6	112 30.6	38 10.4	68 18.6	10 2.7	37 10.1
	90歳以上	152 100.0	43 28.3	39 25.7	17 11.2	30 19.7	5 3.3	18 11.8
介護・介助の要否	介護・介助は必要ない	1212 100.0	252 20.8	304 25.1	144 11.9	350 28.9	60 5.0	102 8.4
	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	271 100.0	61 22.5	61 22.5	40 14.8	69 25.5	9 3.3	31 11.4
	現在、何らかの介護を受けている	262 100.0	83 31.7	72 27.5	18 6.9	47 17.9	11 4.2	31 11.8

性別で見ると、男性は「保険料も介護保険サービスも今くらいが妥当である」の割合が最も高く、女性は「どちらともいえない」の割合が最も高い。

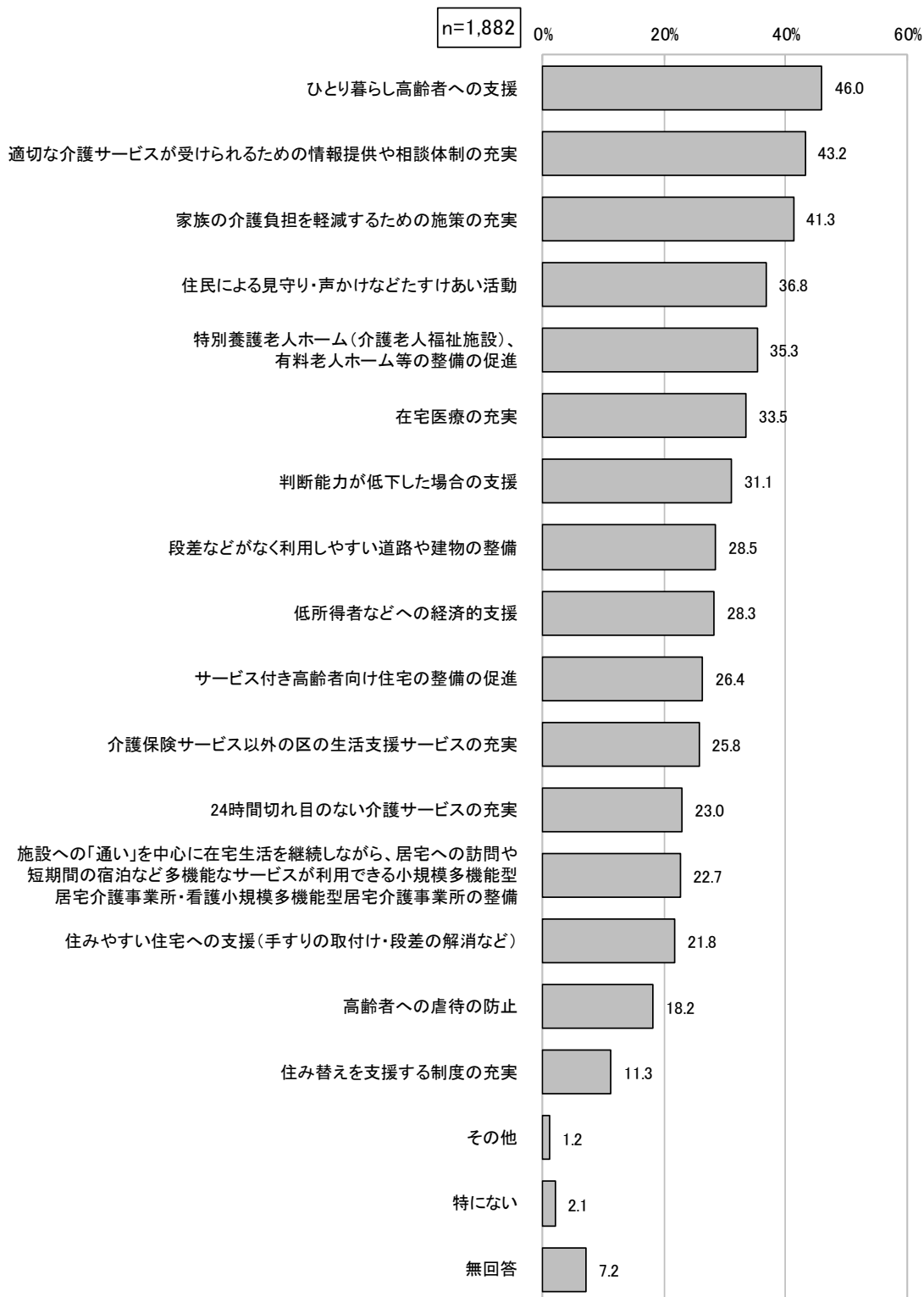
年代別で見ると、年代が上がるほど、「保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい」の割合が高い。

介護・介助の要否別で見ると、現在、何らかの介護を受けている人は全体と比べて、「保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい」の割合が高い。

(2)今後力を入れるべき高齢者保健福祉施策

○ 「ひとり暮らし高齢者への支援」(46.0%)が最も多く、次いで「適切な介護サービスが受けられるための情報提供や相談体制の充実」(43.2%)

問 41: 住み慣れた地域で暮らし続けるために、これからの高齢者保健福祉施策で中央区が力を入れていくべきものは何だと思いますか。【複数回答】



### (3)高齢者向けサービスに関する自由意見

問 42: 高齢者向けのサービスなどに関するご意見をご自由にお書きください。【自由回答】

#### 【健康づくり(介護予防)教室等について】

- 送迎があるか、徒歩圏内で行くことのできる体力維持の教室があるとよい。
- ウォーキングに適した場所等の位置状況のお知らせがあるとよい。

#### 【介護保険サービスについて】

- 介護サービスによる支援は判断を的確にスピードをもって対応してほしい。
- 足が悪くて病院に行くのも大変であり、カート等のリースができれば助かる。
- ひとり住まいでも死ぬまで安心して暮らせる高齢者向け住宅を増やしてほしい。
- 中央区の私立の高齢者施設は高額なところが多く、もう少し近場で安く入居できる場所があればよいと思う。
- 中央区には、たくさん的高齢者向けサービスがあり、他区より充実していると思うが、サービスの存在に気付かない高齢者も多いと思うので、普及啓発をしてほしい。

#### 【医療保険サービスについて】

- 病気になった時にすぐ入院できる制度があるとよい。
- 入院してみないとわからないことが多く、もっと安心して医療が受けられる環境があるとよいと思う。

#### 【相談支援・情報提供について】

- 可能な限り家族と生活していきたいが、病いやけがで行動が不自由になった時にはどこに相談したら最もよいのか、判断が難しい。
- 相談センター等の職員の方は、「また相談したい気持ち」を起こさせるような対応であってほしいが、住民側も、何でも行政に頼るのではなく、自立した精神も必要であると思う。
- マイナスのことを考えるのが怖く、終末期等のことが考えられない。その意識をどうやったら高めることができるのか分からず、そういった勉強会のような「場」が身近にあればよいと思う。

#### 【居住環境・生活環境について】

- 住み替えの住宅が見つからない。安いところで探しているが、抽選にはずれてしまう。
- 買物に行くのに非常に難儀している。一回の歩行では、往復5分位で精いっぱいであり、たまには一日二食になってしまう。
- ひとり暮らしの高齢者に対して、よく話しかけ、孤立感を感じさせないことが重要かと思う。
- 高齢者でも気軽に入れる飲食店等の情報があるとよい。

ウ 健康づくりと介護予防に関する調査（調査C）

**【高齢者向け情報について】**

- 高齢者への情報を充実し多く発信してほしい。
- 親族が居ない場合の保証人等についての情報がほしい。

**【その他】**

- おとしより相談センターの職員の給与が低すぎるため、上げたほうがよいと思う。



エ 介護保険サービス利用状況等調査

【居宅サービス利用者】（調査 D-1）

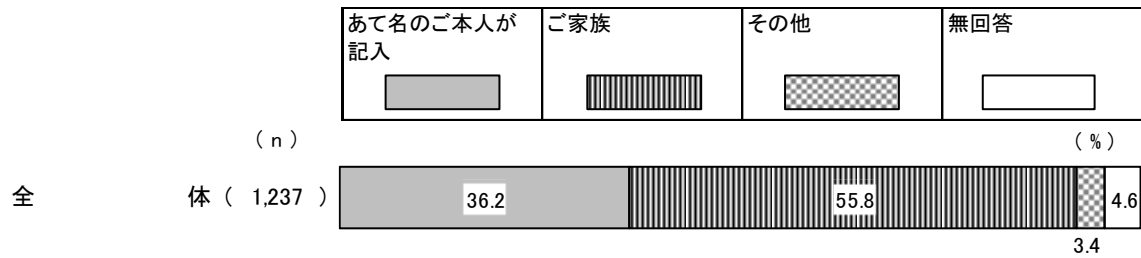


本調査は、要介護認定を受けている中央区の被保険者のうち、居宅サービス利用実績のある方（調査E対象者を除く）2,220人を対象としており、有効回答数は1,237件、回収率は55.7%であった。

## 1. 回答者の属性(状況)

### (1)調査票の記入者

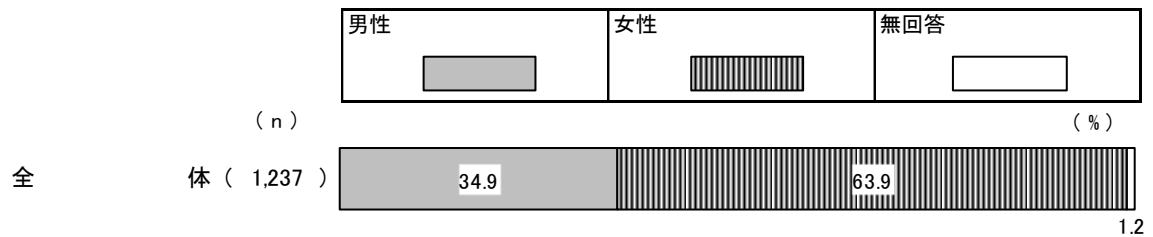
問1:調査票を記入されたのはどなたですか。



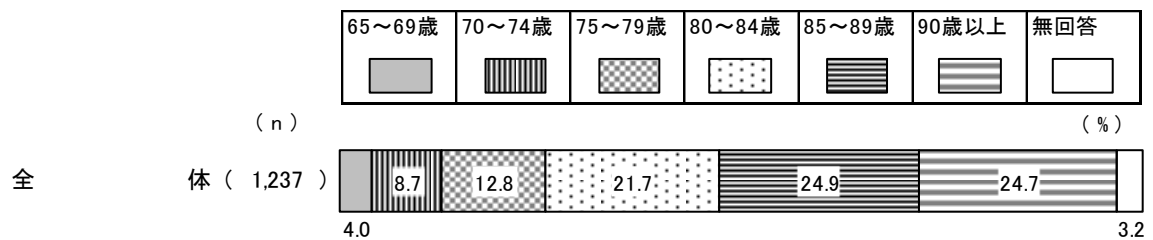
### (2)性別・年齢

問2:あなたの性別と令和元年11月1日現在の満年齢を記入してください。

#### ■性別



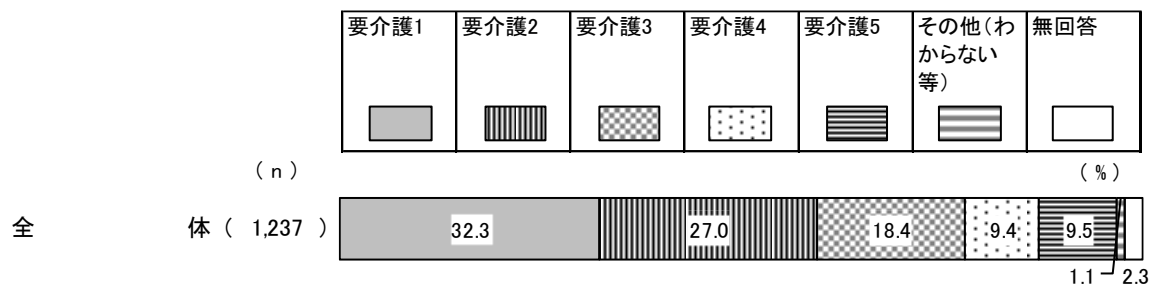
#### ■満年齢



エ 介護保険サービス利用状況等調査  
【居宅サービス利用者】（調査 D-1）

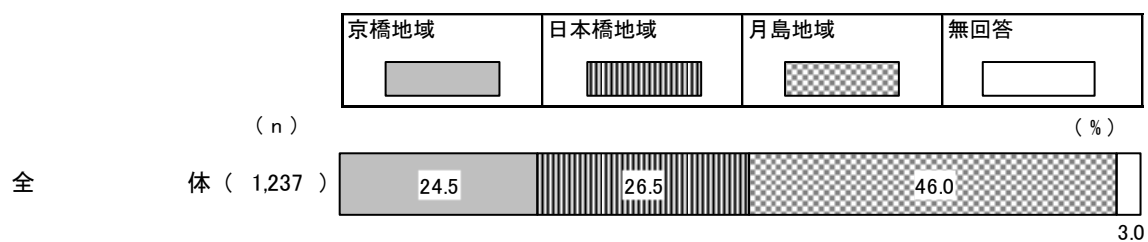
(3)要介護度

問 3:あなたの現在の要介護度は何ですか。



(4)居住地

問 4:あなたがお住まいになっている地域はどこですか。

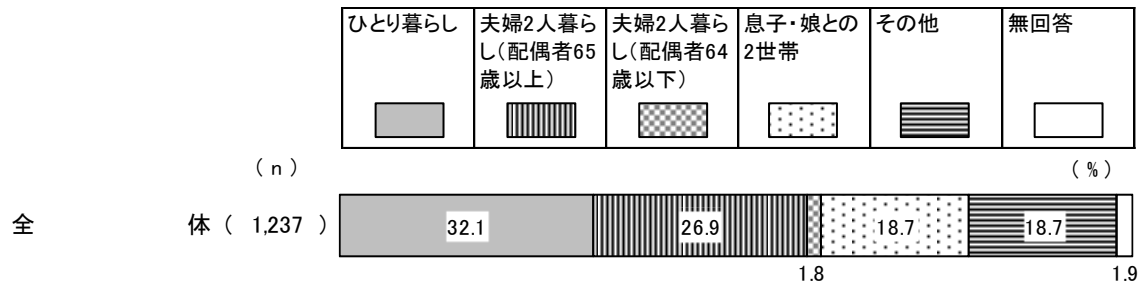


## 2. 世帯・生活の状況

### (1) 家族構成

○ 「ひとり暮らし」が32.1%と最も多く、次いで「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(26.9%)

問 5: あなたの家族構成をお教えてください。



<その他の回答>

- 兄弟・姉妹と同居    ○入院中    ○友人と同居    ○甥・姪と同居
- 母と同居    ○サービス付き高齢者向け住宅に入居

エ 介護保険サービス利用状況等調査  
【居宅サービス利用者】 (調査 D-1)

<家族構成(性別・年代別・要介護度別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

	調査数	1	2	3	4	5	無回答	
		ひとり暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との2世帯	その他		
全体	1237 100.0	397 32.1	333 26.9	22 1.8	231 18.7	231 18.7	23 1.9	
性別	男性	432 100.0	92 21.3	207 47.9	14 3.2	55 12.7	55 12.7	9 2.1
	女性	790 100.0	301 38.1	126 15.9	8 1.0	174 22.0	174 22.0	7 0.9
年代別	65～69歳	50 100.0	13 26.0	17 34.0	2 4.0	6 12.0	11 22.0	1 2.0
	70～74歳	108 100.0	32 29.6	34 31.5	4 3.7	18 16.7	20 18.5	0 0.0
	75～79歳	158 100.0	40 25.3	64 40.5	2 1.3	21 13.3	28 17.7	3 1.9
	80～84歳	268 100.0	76 28.4	96 35.8	5 1.9	48 17.9	39 14.6	4 1.5
	85～89歳	308 100.0	108 35.1	74 24.0	7 2.3	59 19.2	56 18.2	4 1.3
	90歳以上	305 100.0	116 38.0	39 12.8	2 0.7	72 23.6	73 23.9	3 1.0
要介護度	要介護1	399 100.0	162 40.6	103 25.8	7 1.8	60 15.0	58 14.5	9 2.3
	要介護2	334 100.0	116 34.7	91 27.2	7 2.1	69 20.7	51 15.3	0 0.0
	要介護3	228 100.0	68 29.8	58 25.4	5 2.2	44 19.3	50 21.9	3 1.3
	要介護4	116 100.0	17 14.7	38 32.8	1 0.9	22 19.0	37 31.9	1 0.9
	要介護5	118 100.0	21 17.8	31 26.3	2 1.7	31 26.3	31 26.3	2 1.7

性別で見ると、男性は女性と比べて、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の割合が高く、女性は男性と比べて、「ひとり暮らし」の割合が高い。

年代別で見ると、75歳～79歳では他の年代と比べて「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の割合が高い。85歳以上では他の年代と比べて、「ひとり暮らし」の割合が高い。

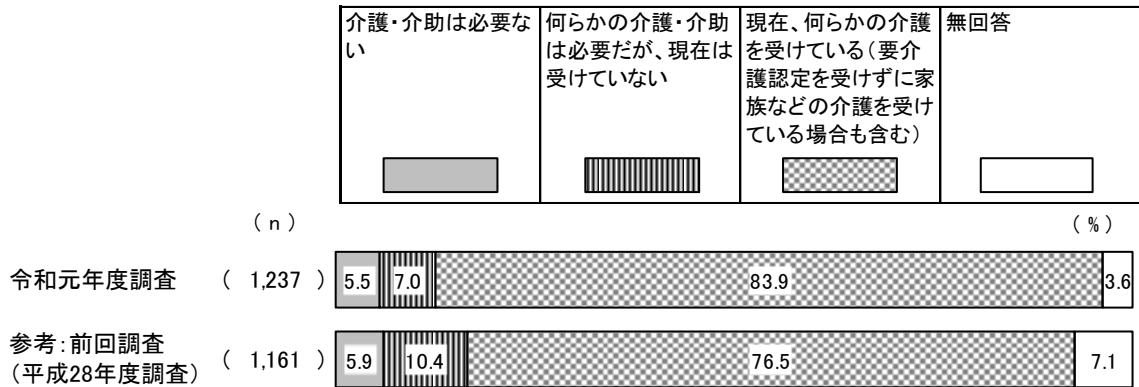
要介護度別で見ると、要介護1及び2は全体と比べて、「ひとり暮らし」の割合が高い。

(2) 介護・介助の状況

① 介護・介助の要否

○ 「現在、何らかの介護を受けている」 (83.9%) が最も多い

問 6: あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。



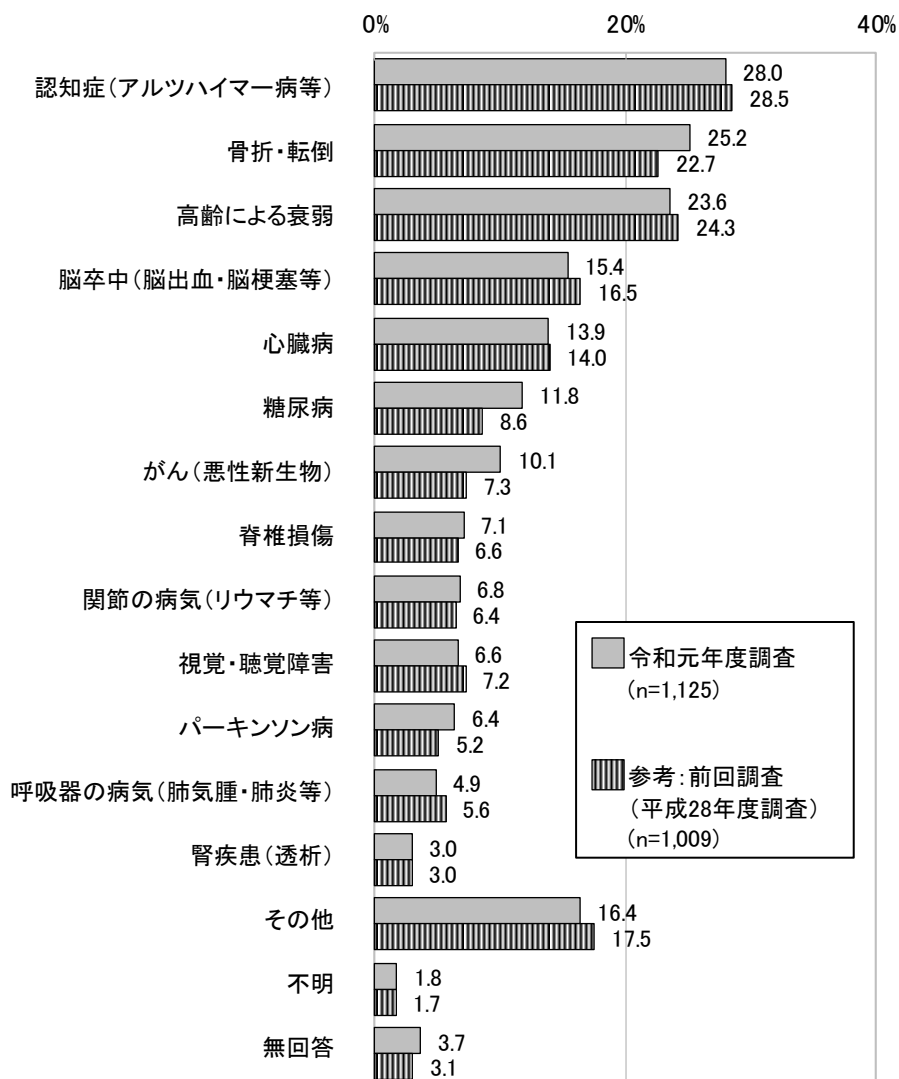
前回調査と比べると、「現在、何らかの介護を受けている (要介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」の割合が 7.4 ポイント増えている。

② 介護・介助が必要となった原因

○ 「認知症（アルツハイマー病等）」（28.0%）が最も多く、次いで「骨折・転倒」（25.2%）

【問 6 で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答の方】

問 6-1: 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。【複数回答】



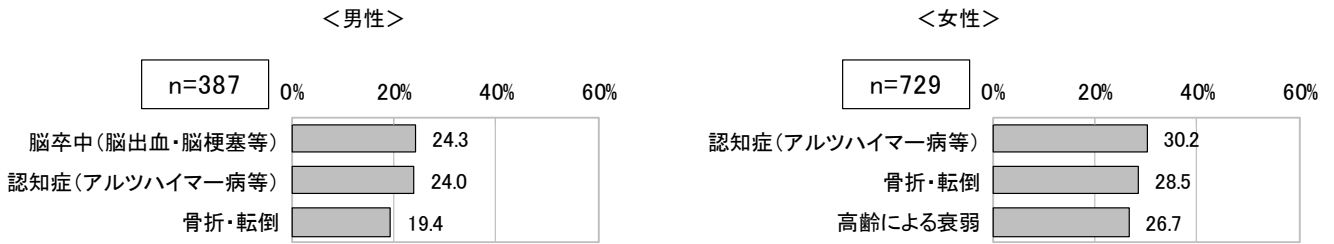
<その他の回答>

- 多系統萎縮症    ○双極性障害    ○統合失調症    ○褥瘡
- ギラン・バレー症候群    ○医薬品副作用    ○低ナトリウム血症    ○重症筋無力症



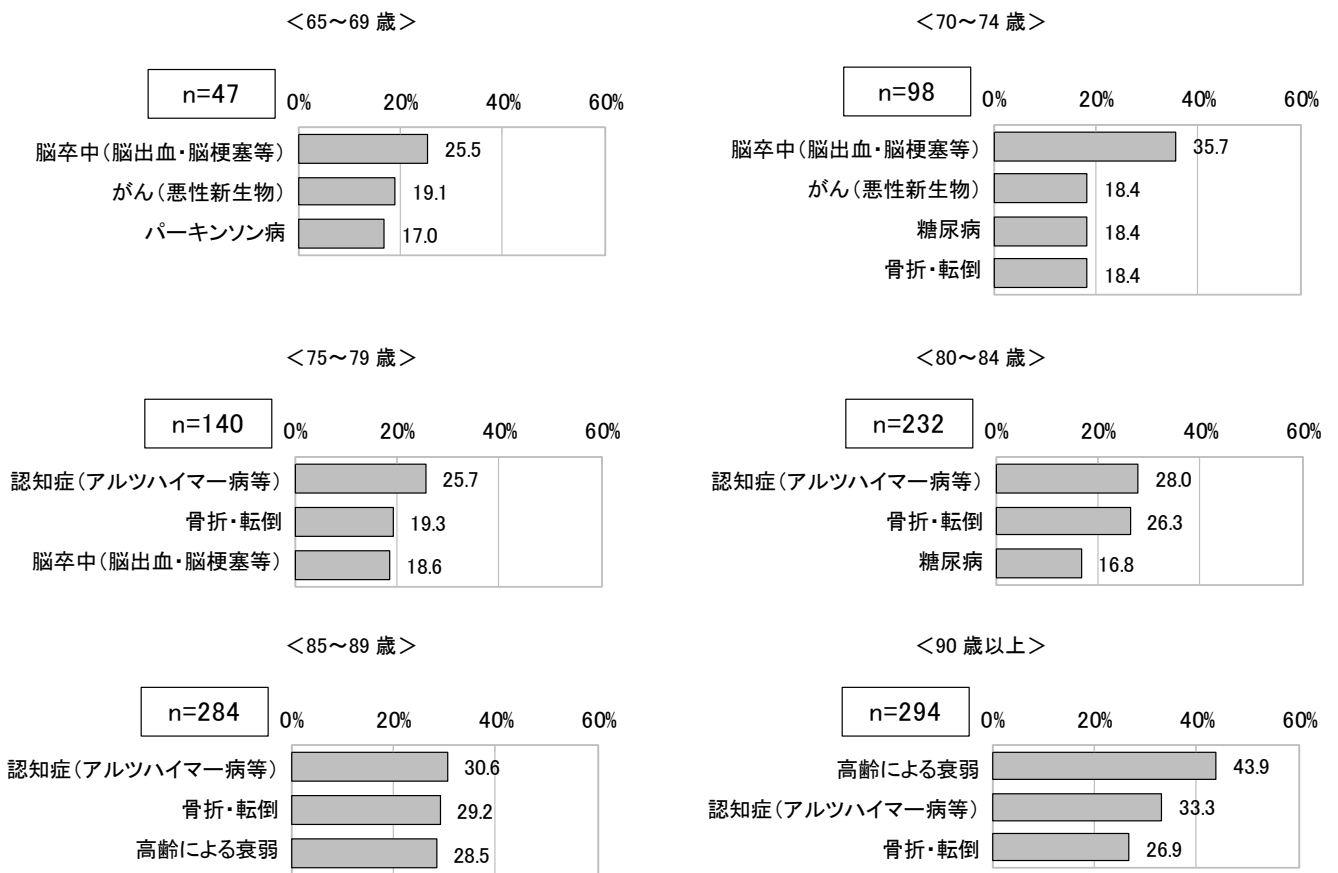
**介護・介助が必要となった主な原因(上位 3 項目)**

**(性別)**



性別で見ると、男性は「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」の割合が最も高く、女性は「認知症（アルツハイマー病等）」の割合が最も高い。

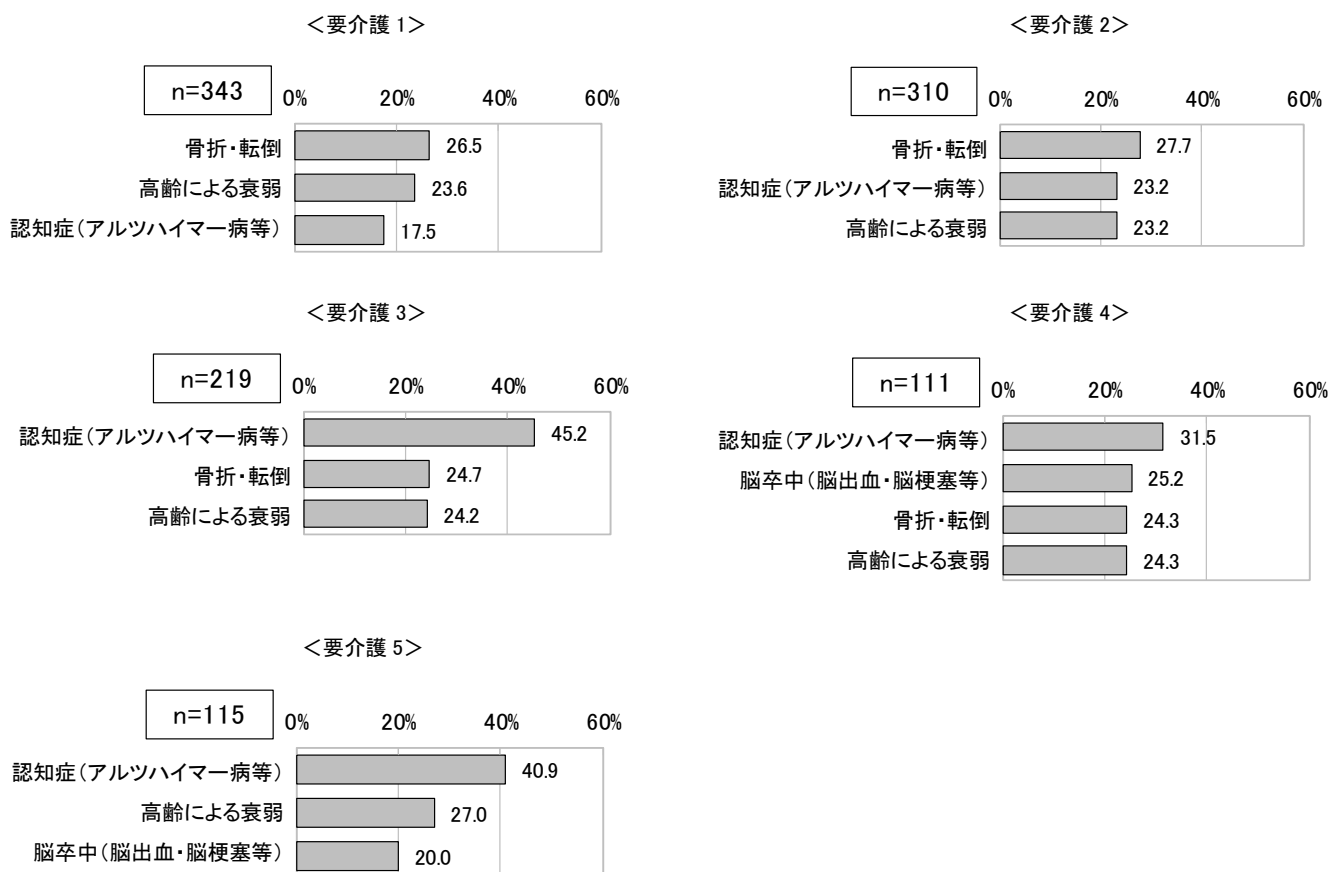
**(年代別)**



年代別で見ると、74 歳以下では「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」の割合が最も高い。75 歳以上 89 歳以下では、「認知症（アルツハイマー病等）」の割合が最も高い。

エ 介護保険サービス利用状況等調査  
【居宅サービス利用者】（調査 D-1）

（要介護度別）



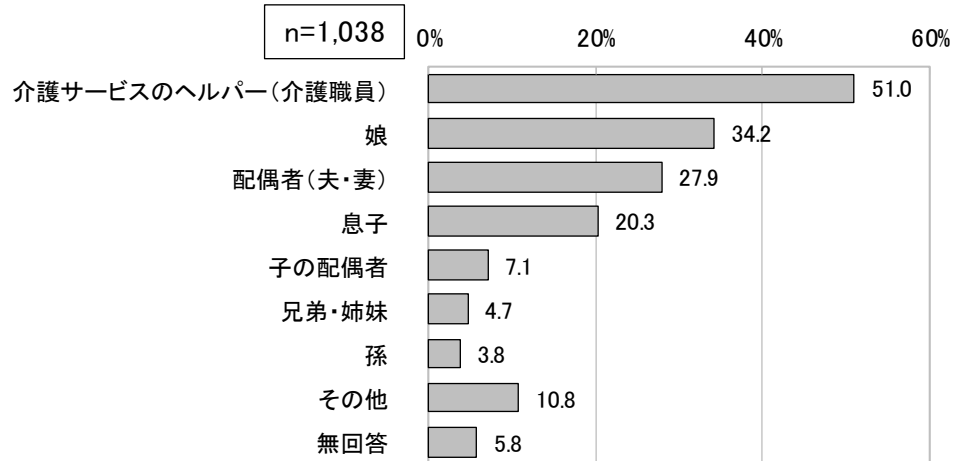
要介護度別で見ると、要介護1及び2では「骨折・転倒」の割合が最も高い。要介護3以上では「認知症（アルツハイマー病等）」の割合が最も高い。

③ 主な介護・介助者【複数回答】

○ 「介護サービスのヘルパー(介護職員)」(51.0%)が最も多い

【問 6 で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答の方】

問 6-2:主にどなたの介護、介助を受けていますか。【複数回答】



<その他の回答>

○甥・姪 ○ひ孫

<主な介護・介助者(性別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

	調査数	1	2	3	4	5	6	7	8	無回答	
		配偶者(夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー(介護職員)	その他		
全体	1038	290	211	355	74	39	49	529	112	60	
	100.0	27.9	20.3	34.2	7.1	3.8	4.7	51.0	10.8	5.8	
性別	男性	341	189	48	85	14	6	16	154	28	17
	100.0	55.4	14.1	24.9	4.1	1.8	4.7	45.2	8.2	5.0	
女性	689	97	161	267	60	33	33	373	83	43	
	100.0	14.1	23.4	38.8	8.7	4.8	4.8	54.1	12.0	6.2	

性別で見ると、男性は女性と比べて、「配偶者(夫・妻)」の割合が高く、女性は男性と比べて「娘」の割合が高い。

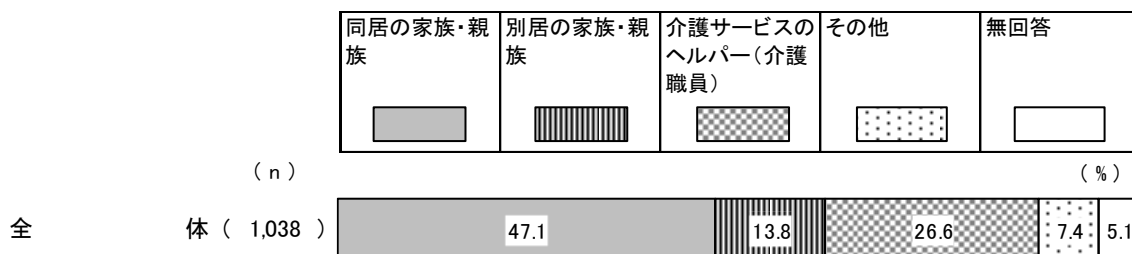
エ 介護保険サービス利用状況等調査  
【居宅サービス利用者】（調査 D-1）

④ 主な介護・介助者と同居しているか

- 「同居の家族・親族」(47.1%)が最も多く、次いで「介護サービスのヘルパー（介護職員）」(26.6%)

【問 6 で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答の方】

問 6-3: 主にあなたの介護、介助をしている方はどなたですか。

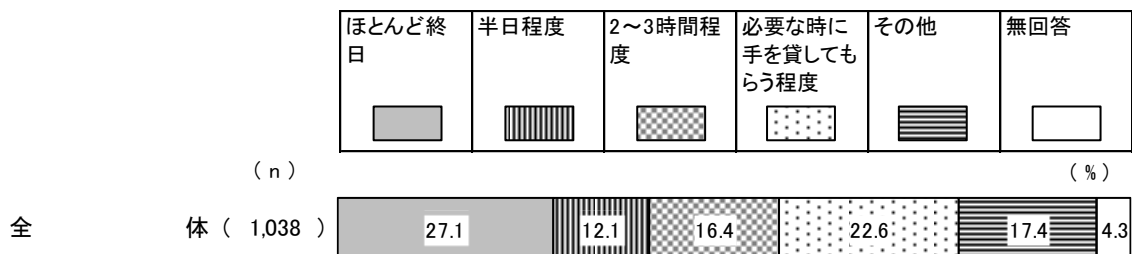


⑤ 介護を受けている時間

- 「ほとんど終日」(27.1%)が最も多く、次いで「必要な時に手を貸してもらう程度」(22.6%)

【問 6 で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答の方】

問 6-4: 上記でお答えいただいた主にあなたの介護・介助をしている方に介護、介助を受けている時間は、1日平均でどの程度ですか。



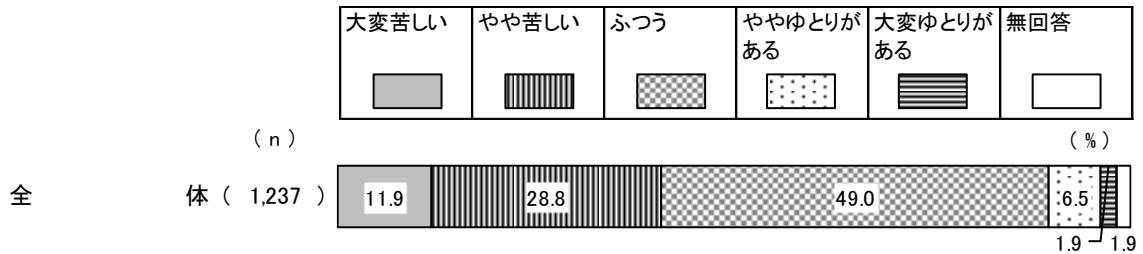
<その他の回答>

- 1時間程度 ○24時間 ○週3回 ○週1回

### (3)主観的な経済状況

○ 「ふつう」 (49.0%)が最も多く、次いで「やや苦しい」 (28.8%)

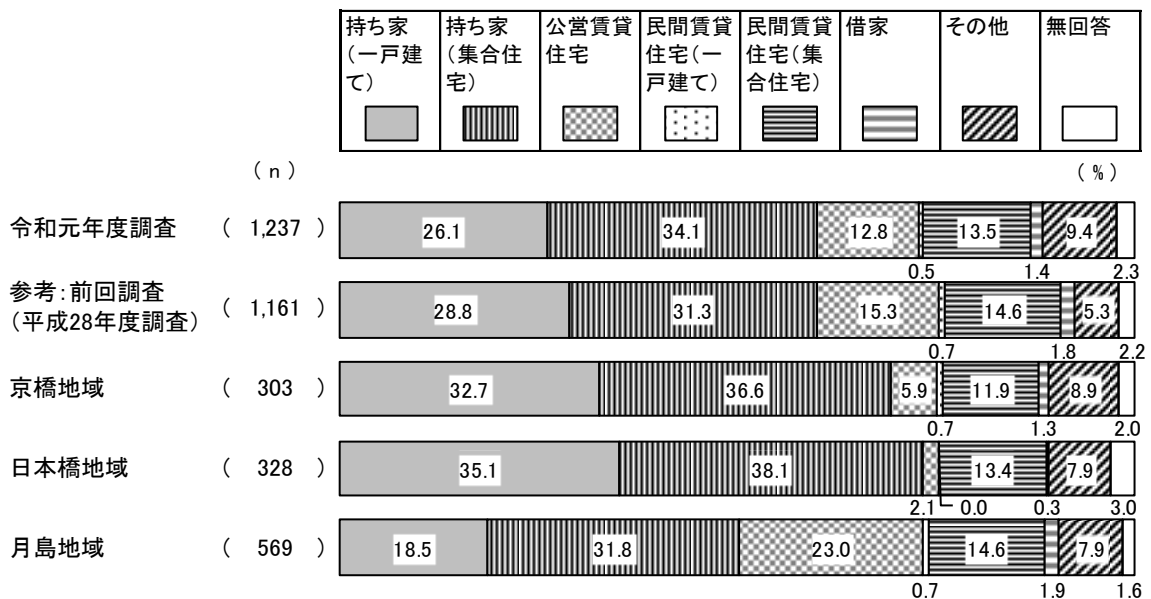
問 7:あなたは、現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。



### (4)住宅状況

- 「持ち家(集合住宅)」 (34.1%)が最も多い
- 「持ち家(一戸建て)」 (26.1%)、「民間賃貸住宅(一戸建て)」 (0.5%)を合わせると、住まいが一戸建ての人は26.6%
- 「持ち家(集合住宅)」 (34.1%)、「公営賃貸住宅」 (12.8%)、「民間賃貸住宅(集合住宅)」 (13.5%)を合わせると、住まいが集合住宅の人は60.4%

問 8:あなたのお住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。



※区内の公営賃貸住宅は集合住宅のみ。借家は建物の形状で区分できないため、一戸建て又は集合住宅にいずれも含めない。

<その他の回答>

○介護施設 ○サービス付き高齢者向け住宅 ○社宅 ○子・孫の持ち家

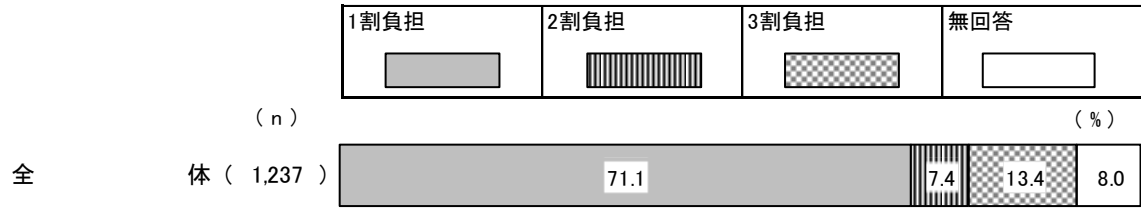
地域別で見ると、日本橋地域では他の地域と比べて、「持ち家(一戸建て)」の割合が高く、月島地域では他の地域と比べて、「公営賃貸住宅」の割合が高い。

エ 介護保険サービス利用状況等調査  
 【居宅サービス利用者】（調査 D-1）

(5)介護保険の自己負担割合

○ 「1割負担」(71.1%)が最も多い

問 9:介護保険の自己負担割合を教えてください。



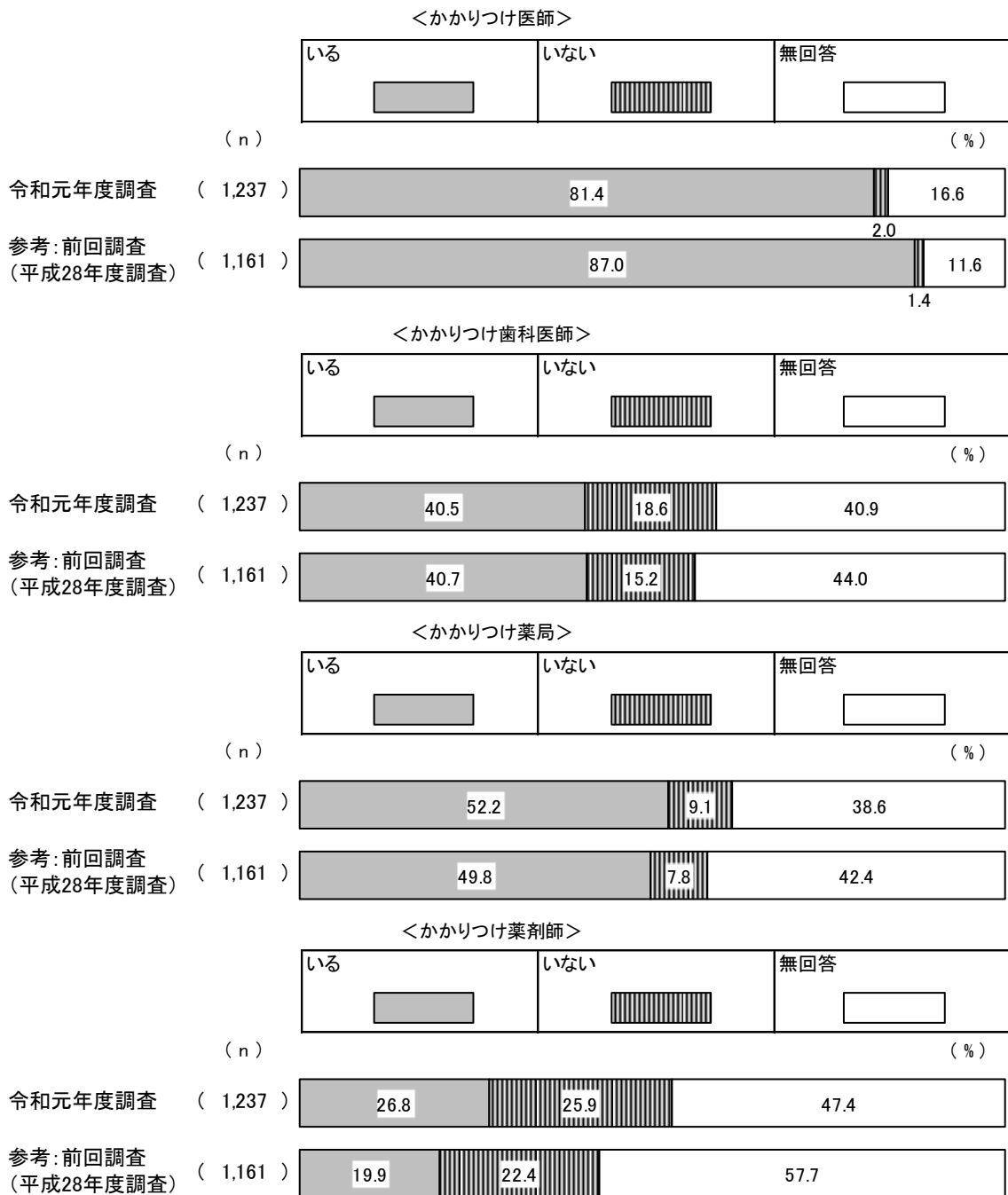
### 3. 健康・医療

#### (1) かかりつけ医等

##### ① かかりつけ医等の有無

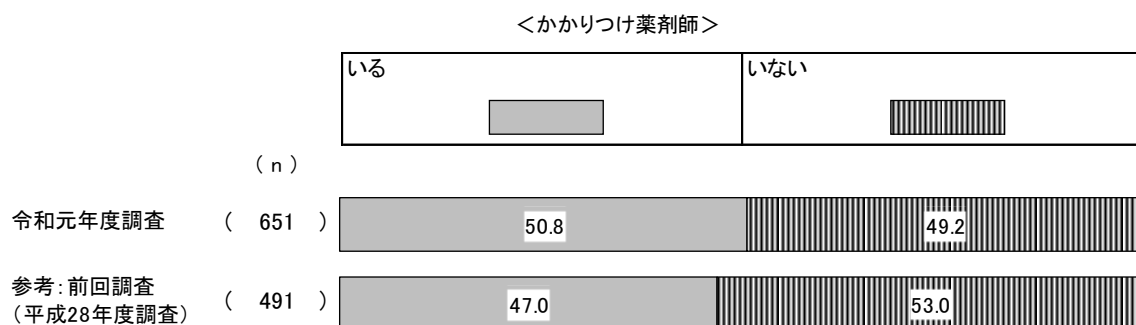
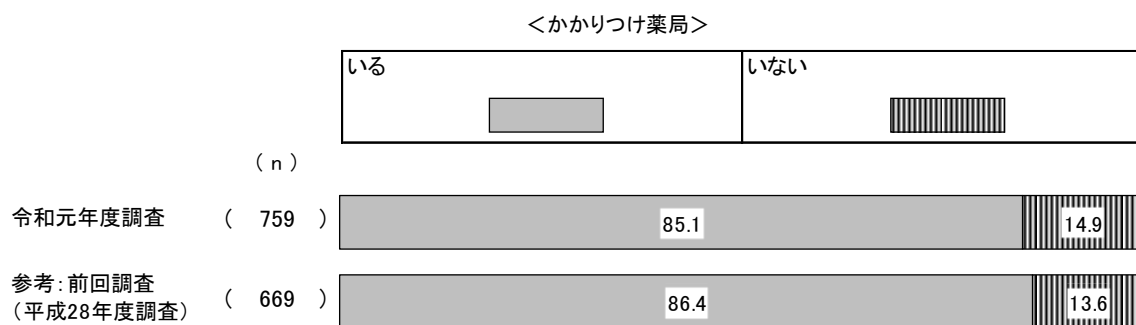
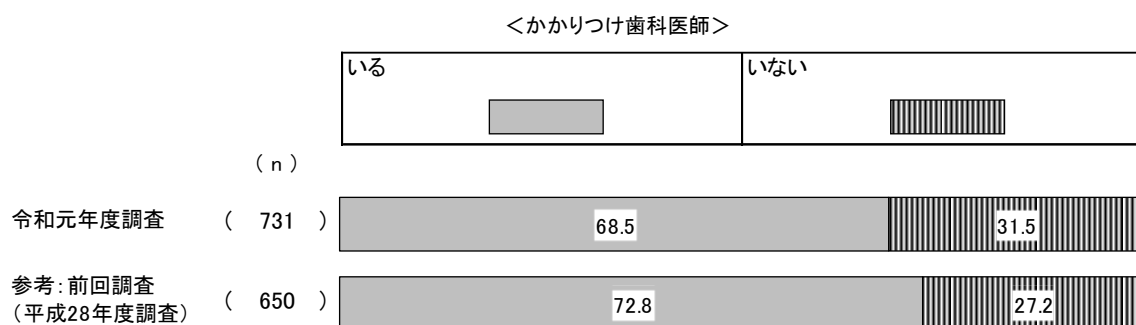
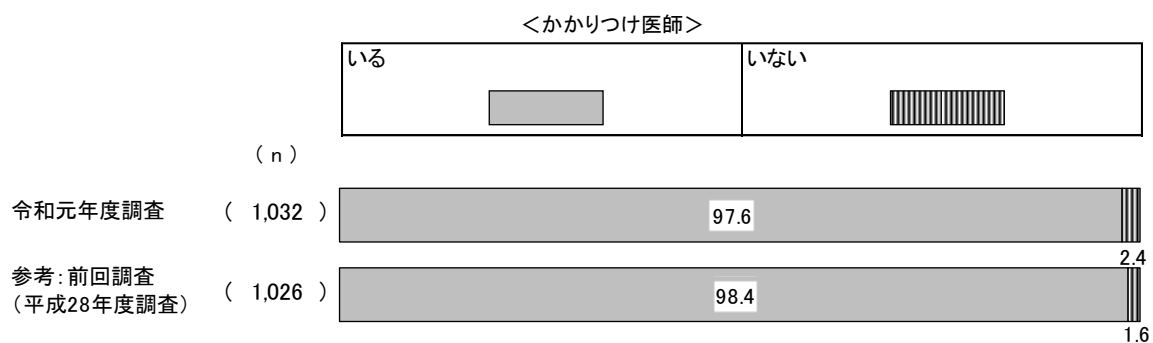
○ 「いる」割合は、医師が 81.4%で最も高く、歯科医師では 40.5%、薬局では 52.2%、薬剤師では 26.8%

問 10: あなたは、普段から治療を受けたり、日常の健康についての相談・指導を受けることができる、かかりつけの医師、歯科医師、薬局、薬剤師がいますか。



エ 介護保険サービス利用状況等調査  
【居宅サービス利用者】（調査 D-1）

<参考:無回答を除いて集計>



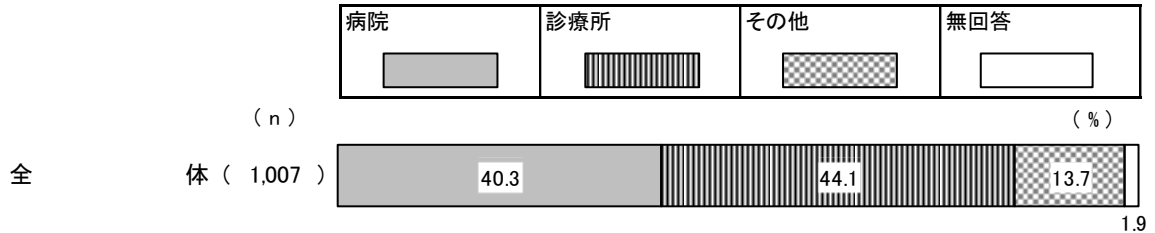


② 医療機関の種類

○ 「診療所」(44.1%)が最も多く、次いで「病院」(40.3%)

【問 10 でかかりつけ医師が「いる」と回答の方】

問 10-1: かかりつけの医師がいる医療機関の種類は何ですか。

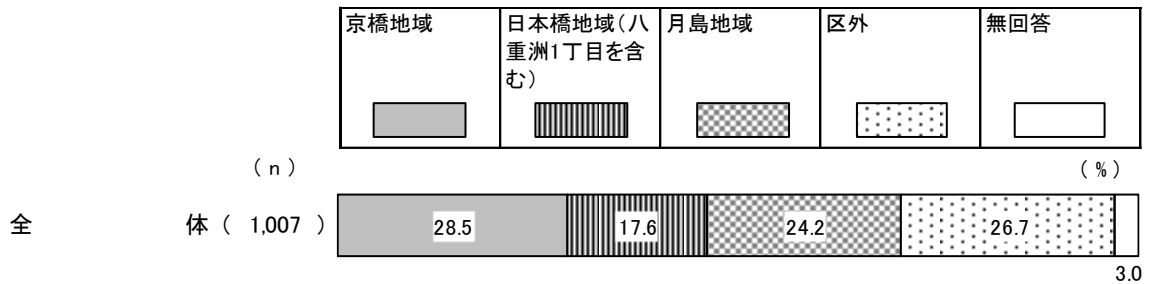


③ かかりつけ医療機関の所在地

○ 医療機関の所在地は、区内が7割を占める

【問 10 でかかりつけ医師が「いる」と回答の方】

問 10-2: 病院・診療所の所在地はどこですか。



<かかりつけ医療機関の所在地(居住地域別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

	調査数	1	2	3	4	無回答	
		京橋地域	日本橋地域 (八重洲1丁目を含む)	月島地域	区外		
<b>全体</b>	1007	287	177	244	269	30	
	100.0	28.5	17.6	24.2	26.7	3.0	
居住地域	京橋地域	242	167	12	7	51	5
		100.0	69.0	5.0	2.9	21.1	2.1
	日本橋地域	275	29	151	6	78	11
	100.0	10.5	54.9	2.2	28.4	4.0	
	462	86	12	226	124	14	
	100.0	18.6	2.6	48.9	26.8	3.0	

居住地域別で見ると、京橋地域では他の地域と比べて、かかりつけ医療機関の所在地が居住地と同じ地域である割合が高い。

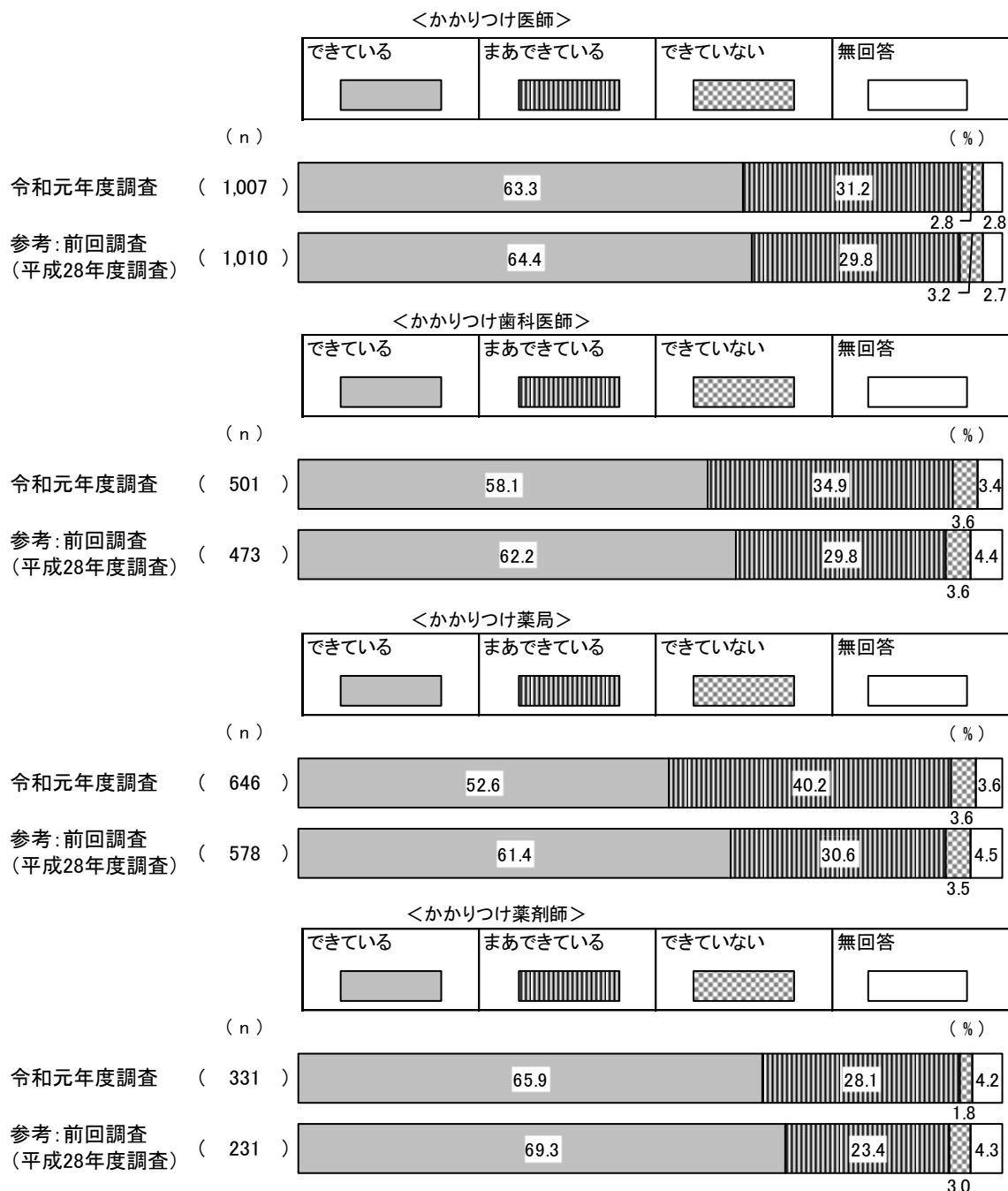
一方で、月島地域では他の地域と比べて、かかりつけ医療機関の所在地が居住地と同じ地域である割合が低い。

④ かかりつけ医等との相談

○ 「かかりつけ薬剤師」(65.9%)が最も多い

【問 10 でかかりつけ医師・歯科医師・薬局・薬剤師のいずれかが「いる」と回答の方】

問 10-3: かかりつけの医師、歯科医師、薬局、薬剤師から治療・服薬方法などについての説明や日常の健康についての相談・指導を十分に受けられていると思いますか。

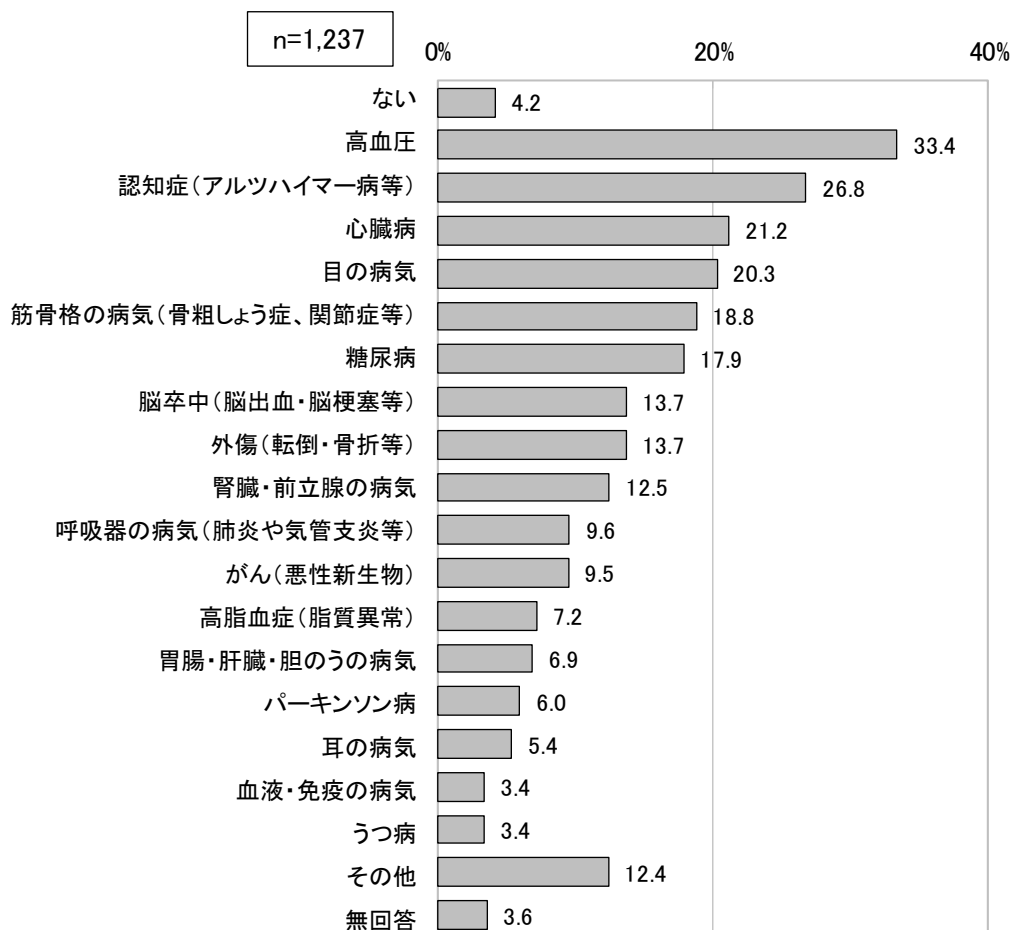


前回調査と比べると、大きな差は見られない。

(2)疾病

- 「ない」が4.2%
- 病気については、「高血圧」(33.4%)が最も多く、次いで「認知症(アルツハイマー病等)」(26.8%)

問 11:あなたは現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。【複数回答】



<その他の回答>

- 脊柱管狭窄症
- 多系統萎縮症
- 甲状腺の病気
- ギラン・バレー症候群
- 記憶障害
- 医薬品副作用
- 後縦靭帯骨化症
- 手足爪白癬

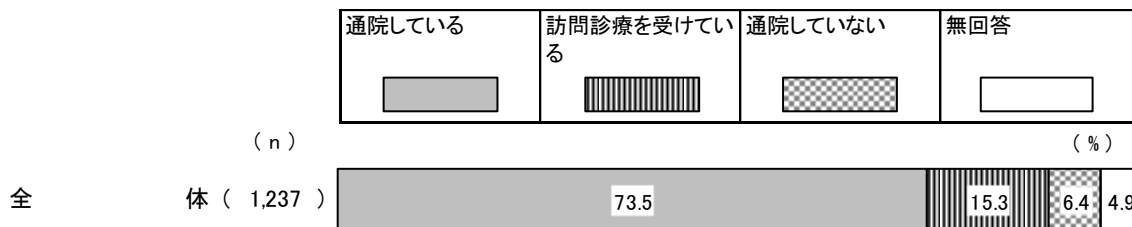
エ 介護保険サービス利用状況等調査  
【居宅サービス利用者】（調査 D-1）

(3)医療機関の受診状況

① 受診方法

○ 「通院している」(73.5%)が最も多い

問 12:あなたは現在、病院・診療所に通院していますか。



<受診方法(要介護度別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

	調査数	1	2	3	無回答	
		通院している	訪問診療を受けている	通院していない		
全体	1237	909	189	79	60	
	100.0	73.5	15.3	6.4	4.9	
要介護度	要介護1	399	340	23	15	21
		100.0	85.2	5.8	3.8	5.3
	要介護2	334	282	27	10	15
		100.0	84.4	8.1	3.0	4.5
	要介護3	228	153	43	24	8
	100.0	67.1	18.9	10.5	3.5	
要介護4	116	58	35	13	10	
	100.0	50.0	30.2	11.2	8.6	
要介護5	118	45	56	14	3	
	100.0	38.1	47.5	11.9	2.5	

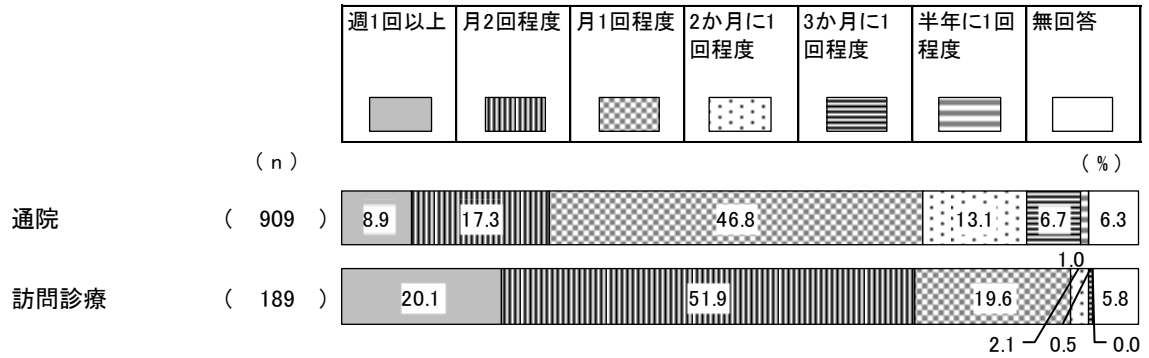
要介護度別で見ると、要介護4以上では全体と比べて、「訪問診療を受けている」割合が高く、要介護5では「通院している」割合よりも高い。

② 通院・訪問診療の頻度

○ 通院では「月1回程度」(46.8%)、訪問診療では「月2回程度」(51.9%)が最も多い

【問 12 で「1. 通院している」、「2. 訪問診療を受けている」と回答の方】

問 12-1: その頻度をお聞きします。

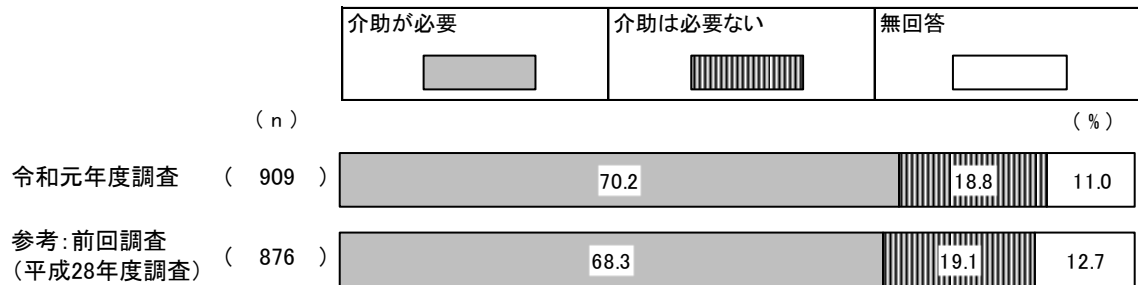


③ 通院時の介助の要否

○ 「介助が必要」(70.2%)が最も多い

【問 12 で「1. 通院している」と回答の方】

問 12-2: 通院に介助は必要ですか。



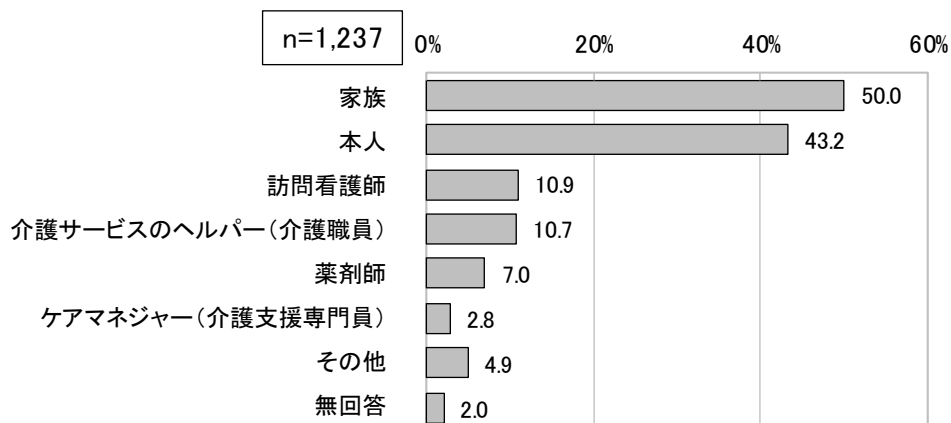
前回調査と比べて、大きな差は見られない。

エ 介護保険サービス利用状況等調査  
【居宅サービス利用者】（調査 D-1）

(4)服薬管理

○ 「家族」(50.0%)が最も多く、次いで「本人」(43.2%)

問 13:あなたの服薬の管理はどなたが行っていますか。【複数回答】



<服薬管理(要介護度別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

	調査数	1	2	3	4	5	6	7	無回答	
		本人	家族	訪問看護師	介護サービスのヘルパー(介護職員)	薬剤師	ケアマネジャー(介護支援専門員)	その他		
全体	1237 100.0	534 43.2	618 50.0	135 10.9	132 10.7	86 7.0	35 2.8	61 4.9	25 2.0	
要介護度	要介護1	399 100.0	272 68.2	117 29.3	31 7.8	21 5.3	27 6.8	12 3.0	14 3.5	13 3.3
	要介護2	334 100.0	174 52.1	167 50.0	47 14.1	33 9.9	29 8.7	10 3.0	10 3.0	8 2.4
	要介護3	228 100.0	44 19.3	151 66.2	28 12.3	38 16.7	13 5.7	6 2.6	14 6.1	0 0.0
	要介護4	116 100.0	17 14.7	79 68.1	15 12.9	16 13.8	8 6.9	4 3.4	8 6.9	2 1.7
	要介護5	118 100.0	5 4.2	88 74.6	13 11.0	17 14.4	7 5.9	1 0.8	13 11.0	0 0.0

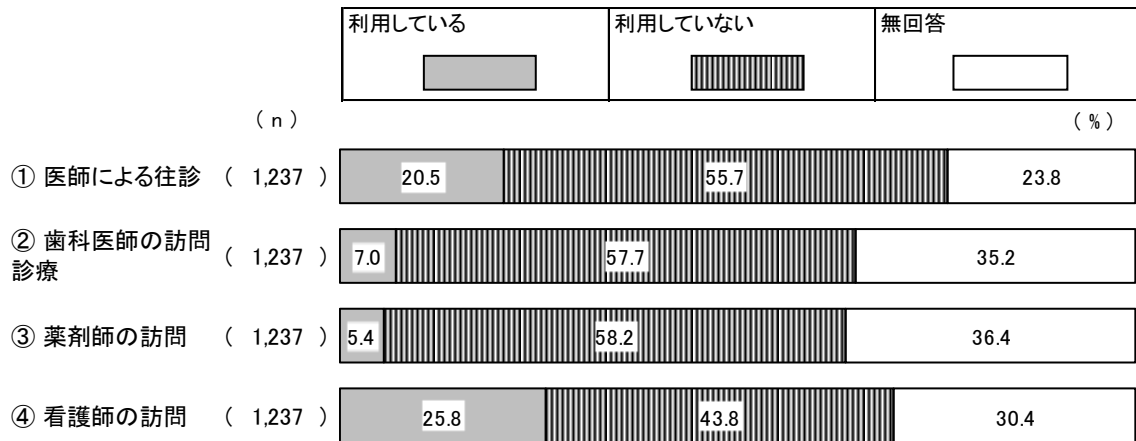
要介護度別で見ると、要介護3以上では全体と比べて、「家族」の割合が高い。

(5)在宅医療

① 在宅医療サービスの利用状況

○ 医師による往診は 20.5%、看護師の訪問は 25.8%

問 14:あなたは、次の医療サービスを利用していますか。



<在宅医療サービスの利用状況(要介護度別・居住地域別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

	調査数	①医師による往診		②歯科医師の訪問診療		③薬剤師の訪問		④看護師の訪問		
		1	2	1	2	1	2	1	2	
		利用している	利用していない	利用している	利用していない	利用している	利用していない	利用している	利用していない	
全体	1237	253	689	87	714	67	720	319	542	
	100.0	20.5	55.7	7.0	57.7	5.4	58.2	25.8	43.8	
要介護度	要介護1	399	27	267	11	246	14	240	56	211
		100.0	6.8	66.9	2.8	61.7	3.5	60.2	14.0	52.9
	要介護2	334	47	203	8	213	18	205	91	157
		100.0	14.1	60.8	2.4	63.8	5.4	61.4	27.2	47.0
	要介護3	228	50	131	18	142	20	140	79	94
	100.0	21.9	57.5	7.9	62.3	8.8	61.4	34.6	41.2	
要介護4	116	49	39	15	48	5	54	30	40	
	100.0	42.2	33.6	12.9	41.4	4.3	46.6	25.9	34.5	
要介護5	118	74	30	33	48	7	65	56	25	
	100.0	62.7	25.4	28.0	40.7	5.9	55.1	47.5	21.2	
居住地域	京橋地域	303	60	165	18	171	14	172	70	136
		100.0	19.8	54.5	5.9	56.4	4.6	56.8	23.1	44.9
	日本橋地域	328	71	188	27	193	11	201	86	148
	100.0	21.6	57.3	8.2	58.8	3.4	61.3	26.2	45.1	
月島地域	569	109	320	38	333	38	330	157	242	
	100.0	19.2	56.2	6.7	58.5	6.7	58.0	27.6	42.5	

要介護度別で見ると、要介護度が上がるほど、医師による往診及び歯科医師の訪問診療を「利用している」割合が高くなる。

居住地域別で見ると、大きな差は見られない。

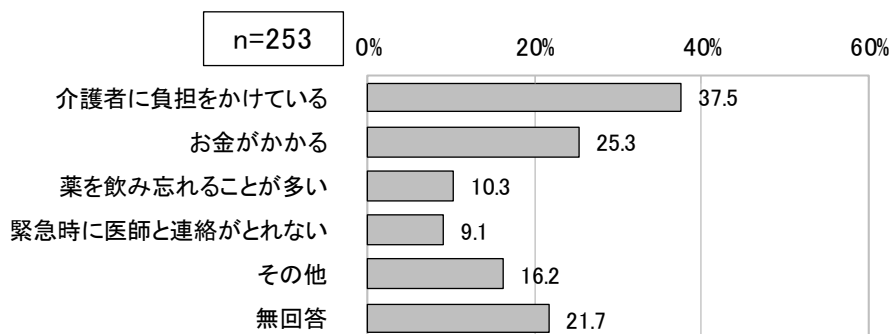
エ 介護保険サービス利用状況等調査  
【居宅サービス利用者】（調査 D-1）

② 在宅療養上困っていること

○ 「介護者に負担をかけている」(37.5%)が最も多く、次いで「お金がかかる」(25.3%)

【問 14 の医師による往診で「1. 利用している」と回答の方】

問 14-1: 在宅療養を送るうえで困っていることは何ですか。【複数回答】



<その他の回答>

- 皮膚疾患など専門的な診療を受けられない
- 水分補給、栄養管理が不十分で体調を崩すことがある



エ 介護保険サービス利用状況等調査  
【居宅サービス利用者】 (調査 D-1)

<在宅療養上困っていること(家族構成別・要介護度別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

		調査数	1	2	3	4	5	無回答
			薬を飲み忘れることが多い	緊急時に医師と連絡がとれない	お金がかか	介護者に負担をかけている	その他	
全体		253 100.0	26 10.3	23 9.1	64 25.3	95 37.5	41 16.2	55 21.7
家族構成	ひとり暮らし	78 100.0	11 14.1	12 15.4	14 17.9	20 25.6	12 15.4	19 24.4
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	58 100.0	6 10.3	6 10.3	17 29.3	28 48.3	9 15.5	9 15.5
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	6 100.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7	2 33.3	0 0.0	2 33.3
	息子・娘との2世帯	46 100.0	3 6.5	0 0.0	15 32.6	22 47.8	8 17.4	7 15.2
	その他	60 100.0	3 5.0	4 6.7	17 28.3	22 36.7	11 18.3	17 28.3
要介護度	要介護1	27 100.0	3 11.1	3 11.1	4 14.8	7 25.9	8 29.6	9 33.3
	要介護2	47 100.0	9 19.1	5 10.6	13 27.7	10 21.3	7 14.9	11 23.4
	要介護3	50 100.0	6 12.0	7 14.0	10 20.0	22 44.0	5 10.0	13 26.0
	要介護4	49 100.0	5 10.2	4 8.2	11 22.4	17 34.7	11 22.4	7 14.3
	要介護5	74 100.0	1 1.4	4 5.4	26 35.1	35 47.3	9 12.2	14 18.9

家族構成別で見ると、夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)及び息子・娘との2世帯では全体と比べて、「介護者に負担をかけている」の割合が高い。

要介護度別で見ると、要介護3では要介護2と比べて、「介護者に負担をかけている」の割合が22.7ポイント増えている。

エ 介護保険サービス利用状況等調査

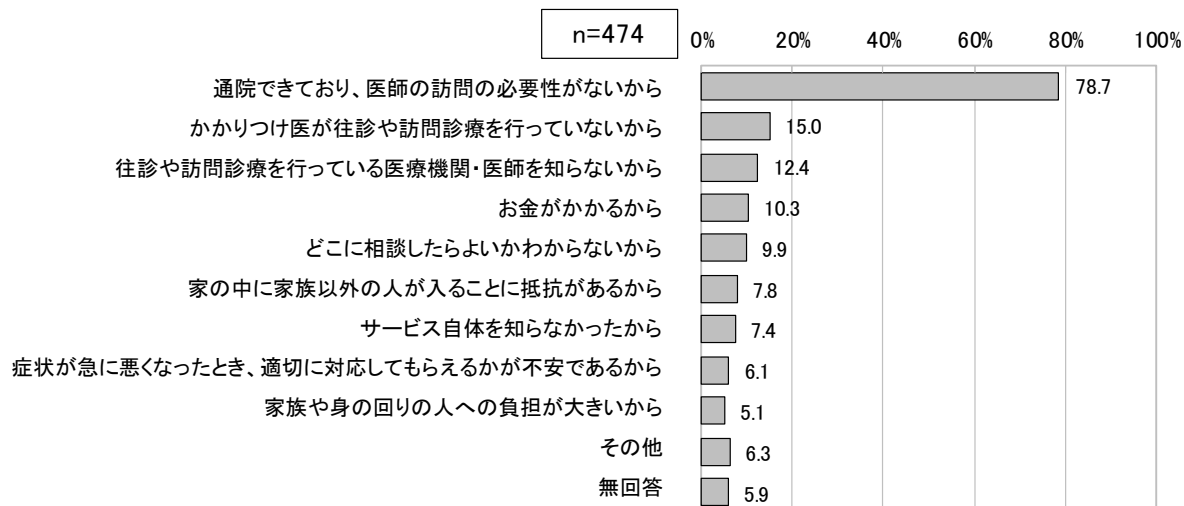
【居宅サービス利用者】（調査 D-1）

③ 在宅医療サービスを利用していない理由

○ 「通院できており、医師の訪問の必要性がないから」（78.7%）が最も多い

【問 14 の医療サービスについて「2. 利用していない」と回答の方】

問 14-2: 在宅で利用できる医療サービスを利用していない理由は何ですか。【複数回答】



<その他の回答>

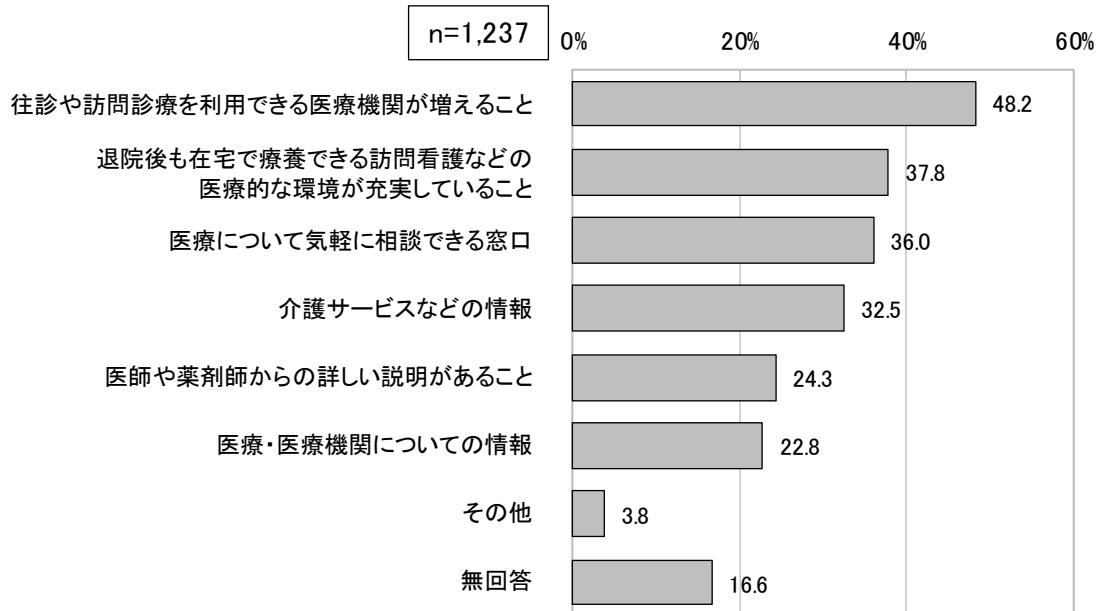
○入院中のため ○介護サービス付き高齢者向け住宅に入っている

○タクシーで病院に行くことができるから

(6)在宅療養する上であればよいこと

- 「往診や訪問診療を利用できる医療機関が増えること」(48.2%)が最も多く、次いで「退院後も在宅で療養できる訪問看護などの医療的な環境が充実していること」(37.8%)

問 15: 在宅で医療処置を受けたり、医療機関を利用するときに、あなたはどのようなことがあれば利用しやすいと思いますか。【複数回答】



エ 介護保険サービス利用状況等調査  
【居宅サービス利用者】（調査 D-1）

<在宅療養する上であればよいこと(家族構成別・居住地域別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

	調査数	1	2	3	4	5	6	7	無回答	
		往診や訪問診療を利用できる医療機関が増えること	退院後も在宅で療養できる訪問看護などの医療的な環境が充実していること	医師や薬剤師からの詳しい説明があること	介護サービスなどの情報	医療・医療機関についての情報	医療について気軽に相談できる窓口	その他		
全体	1237 100.0	596 48.2	467 37.8	300 24.3	402 32.5	282 22.8	445 36.0	47 3.8	205 16.6	
家族構成	ひとり暮らし	397 100.0	189 47.6	140 35.3	97 24.4	137 34.5	94 23.7	148 37.3	14 3.5	67 16.9
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	333 100.0	162 48.6	131 39.3	86 25.8	120 36.0	70 21.0	118 35.4	9 2.7	51 15.3
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	22 100.0	6 27.3	7 31.8	2 9.1	9 40.9	8 36.4	12 54.5	0 0.0	4 18.2
	息子・娘との2世帯	231 100.0	126 54.5	106 45.9	65 28.1	75 32.5	64 27.7	74 32.0	10 4.3	38 16.5
	その他	231 100.0	102 44.2	81 35.1	43 18.6	58 25.1	44 19.0	86 37.2	14 6.1	38 16.5
居住地域	京橋地域	303 100.0	138 45.5	117 38.6	73 24.1	97 32.0	74 24.4	99 32.7	6 2.0	50 16.5
	日本橋地域	328 100.0	167 50.9	129 39.3	85 25.9	118 36.0	66 20.1	119 36.3	16 4.9	55 16.8
	月島地域	569 100.0	274 48.2	211 37.1	131 23.0	176 30.9	132 23.2	213 37.4	25 4.4	93 16.3

家族構成別で見ると、息子・娘との2世帯は全体と比べて、「往診や訪問診療を利用できる医療機関が増えること」及び「退院後も在宅で療養できる訪問看護などの医療的な環境が充実していること」の割合が高い。

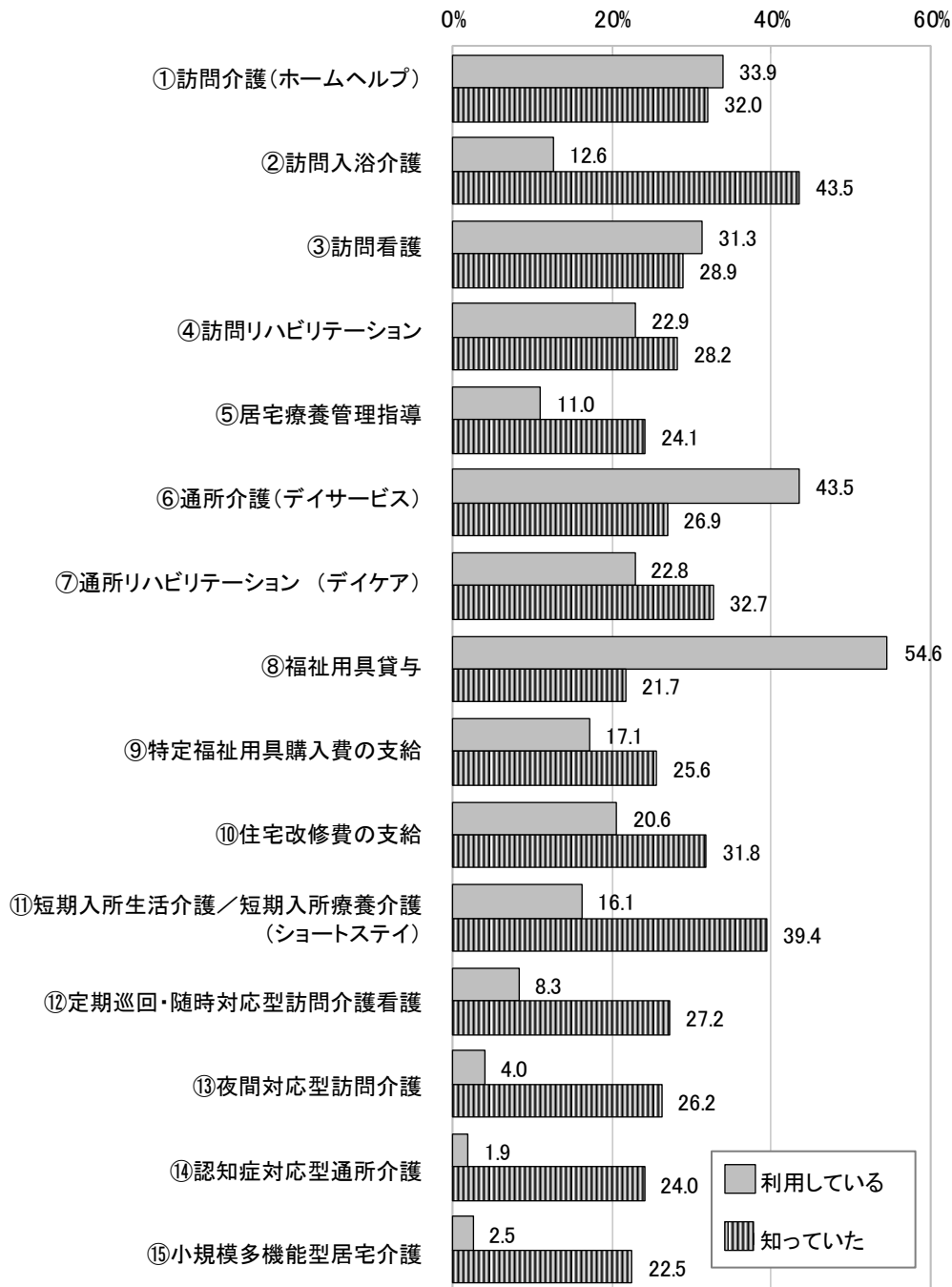
居住地域別で見ると、日本橋地域では他の地域と比べて、「介護サービスなどの情報」の割合がやや高い。

## 4. 介護保険サービス

### (1) 介護保険サービスの利用・認知状況

- 利用度は「福祉用具貸与」(54.6%)が最も多い
- 認知度は「訪問入浴介護」(43.5%)が最も多く、次いで「短期入所生活介護／短期入所療養介護(ショートステイ)」(39.4%)

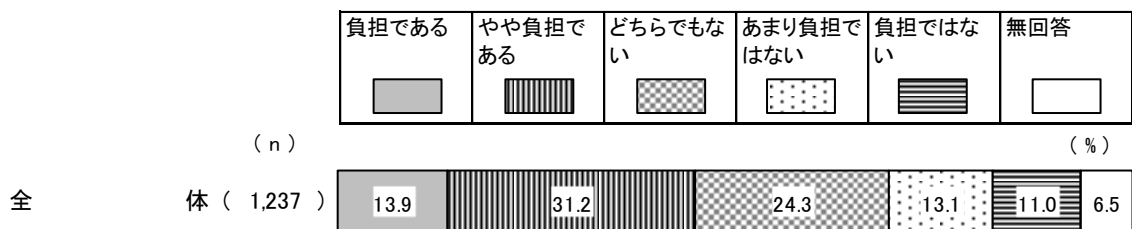
問 16: 現在、あなたが利用している介護保険サービスは何ですか。また、ご存知の介護保険サービスは何ですか。



(2)利用料の負担感

○ 「やや負担である」(31.2%)が最も多く、次いで「どちらでもない」(24.3%)

問 17: 現在利用されている介護保険サービスの利用料は、あなたにとってどの程度負担ですか。



<介護保険サービス利用料の負担感(要介護度別・家族構成別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

	調査数	1	2	3	4	5	無回答	
		負担である	やや負担である	どちらでもない	あまり負担ではない	負担ではない		
<b>全体</b>	1237 100.0	172 13.9	386 31.2	301 24.3	162 13.1	136 11.0	80 6.5	
<b>要介護度</b>	要介護1	399 100.0	41 10.3	92 23.1	101 25.3	73 18.3	68 17.0	24 6.0
	要介護2	334 100.0	41 12.3	112 33.5	75 22.5	46 13.8	36 10.8	24 7.2
	要介護3	228 100.0	41 18.0	84 36.8	57 25.0	19 8.3	15 6.6	12 5.3
	要介護4	116 100.0	24 20.7	45 38.8	24 20.7	9 7.8	10 8.6	4 3.4
	要介護5	118 100.0	22 18.6	43 36.4	32 27.1	8 6.8	3 2.5	10 8.5
<b>家族構成</b>	ひとり暮らし	397 100.0	55 13.9	97 24.4	111 28.0	54 13.6	56 14.1	24 6.0
	夫婦2人暮らし	355 100.0	53 14.9	130 36.6	64 18.0	49 13.8	34 9.6	25 7.0
	息子・娘との2世帯	231 100.0	32 13.9	84 36.4	63 27.3	25 10.8	18 7.8	9 3.9

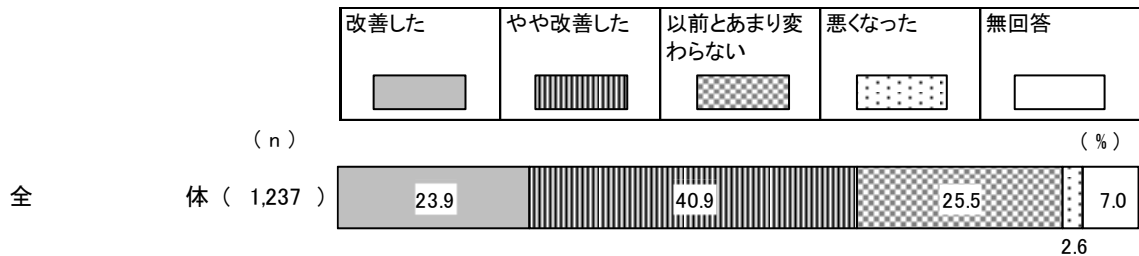
要介護度別で見ると、要介護3以上では、「負担である」及び「やや負担である」を合わせた割合が5割を超える。

家族構成別で見ると、ひとり暮らしでは全体と比べて、「やや負担である」の割合が低い。

(3)サービス利用後の状態

○ 「改善した」(23.9%)と「やや改善した」(40.9%)を合わせると 64.8%

問 18:介護保険サービスを利用するようになってから、あなたの生活環境や身体状況はどのよう  
になりましたか。



<サービス利用後の状態(要介護度別・家族構成別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

	調査数	1	2	3	4	無回答	
		改善した	やや改善した	以前とあまり変わらない	悪くなった		
全体	1237 100.0	296 23.9	506 40.9	316 25.5	32 2.6	87 7.0	
要介護度	要介護1	399 100.0	98 24.6	160 40.1	100 25.1	8 2.0	33 8.3
	要介護2	334 100.0	80 24.0	140 41.9	82 24.6	9 2.7	23 6.9
	要介護3	228 100.0	53 23.2	94 41.2	59 25.9	9 3.9	13 5.7
	要介護4	116 100.0	26 22.4	51 44.0	31 26.7	3 2.6	5 4.3
	要介護5	118 100.0	30 25.4	46 39.0	31 26.3	3 2.5	8 6.8
家族構成	ひとり暮らし	397 100.0	117 29.5	149 37.5	100 25.2	9 2.3	22 5.5
	夫婦2人暮らし	355 100.0	59 16.6	164 46.2	94 26.5	11 3.1	27 7.6
	息子・娘との2世帯	231 100.0	52 22.5	100 43.3	64 27.7	3 1.3	12 5.2

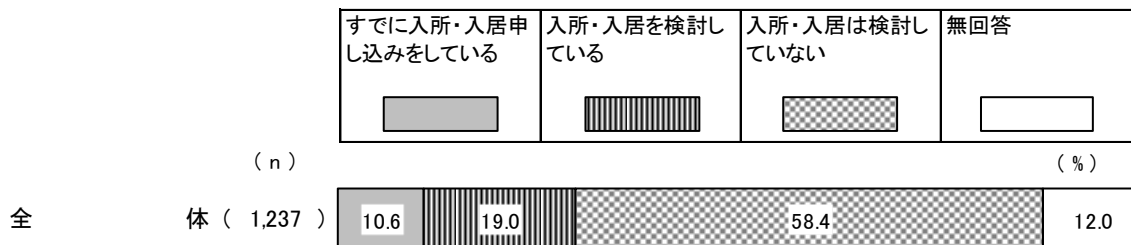
要介護度別で見ると、要介護4では全体と比べて、「やや改善した」の割合がやや高い。  
家族構成別で見ると、ひとり暮らしでは全体と比べて、「改善した」割合が高い。

エ 介護保険サービス利用状況等調査  
【居宅サービス利用者】 (調査 D-1)

(4)施設入所の検討状況

○ 「入所・入居は検討していない」 (58.4%) が最も多い

問 19: あなたは、施設等への入所・入居を検討していますか。



<施設入所の検討状況(要介護度別・家族構成別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

	調査数	1	2	3	無回答	
		すでに入所・入居申し込みをしている	入所・入居を検討している	入所・入居は検討していない		
全体	1237 100.0	131 10.6	235 19.0	723 58.4	148 12.0	
要介護度	要介護1	399 100.0	18 4.5	76 19.0	243 60.9	62 15.5
	要介護2	334 100.0	27 8.1	75 22.5	200 59.9	32 9.6
	要介護3	228 100.0	37 16.2	51 22.4	119 52.2	21 9.2
	要介護4	116 100.0	27 23.3	16 13.8	60 51.7	13 11.2
	要介護5	118 100.0	20 16.9	11 9.3	77 65.3	10 8.5
家族構成	ひとり暮らし	397 100.0	53 13.4	92 23.2	200 50.4	52 13.1
	夫婦2人暮らし	355 100.0	28 7.9	65 18.3	228 64.2	34 9.6
	息子・娘との2世帯	231 100.0	19 8.2	41 17.7	146 63.2	25 10.8

要介護度別で見ると、要介護3以上では全体と比べると、「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合が高い。

家族構成別で見ると、夫婦2人暮らし及び息子・娘との2世帯ではひとり暮らしと比べて、「入所・入居は検討していない」の割合が高い。

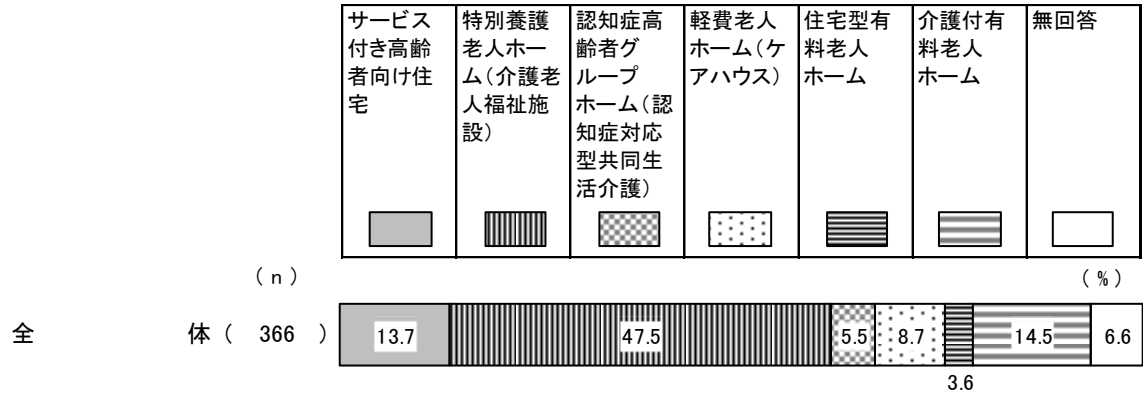


(5)希望する施設

○ 「特別養護老人ホーム」(47.5%)が最も多く、次いで「介護付有料老人ホーム」(14.5%)

【問 19 で「1. すでに入所・入居申し込みをしている」、「2. 入所・入居を検討している」と回答の方】

問 19-1: 希望する施設等の種類は次のどれですか。

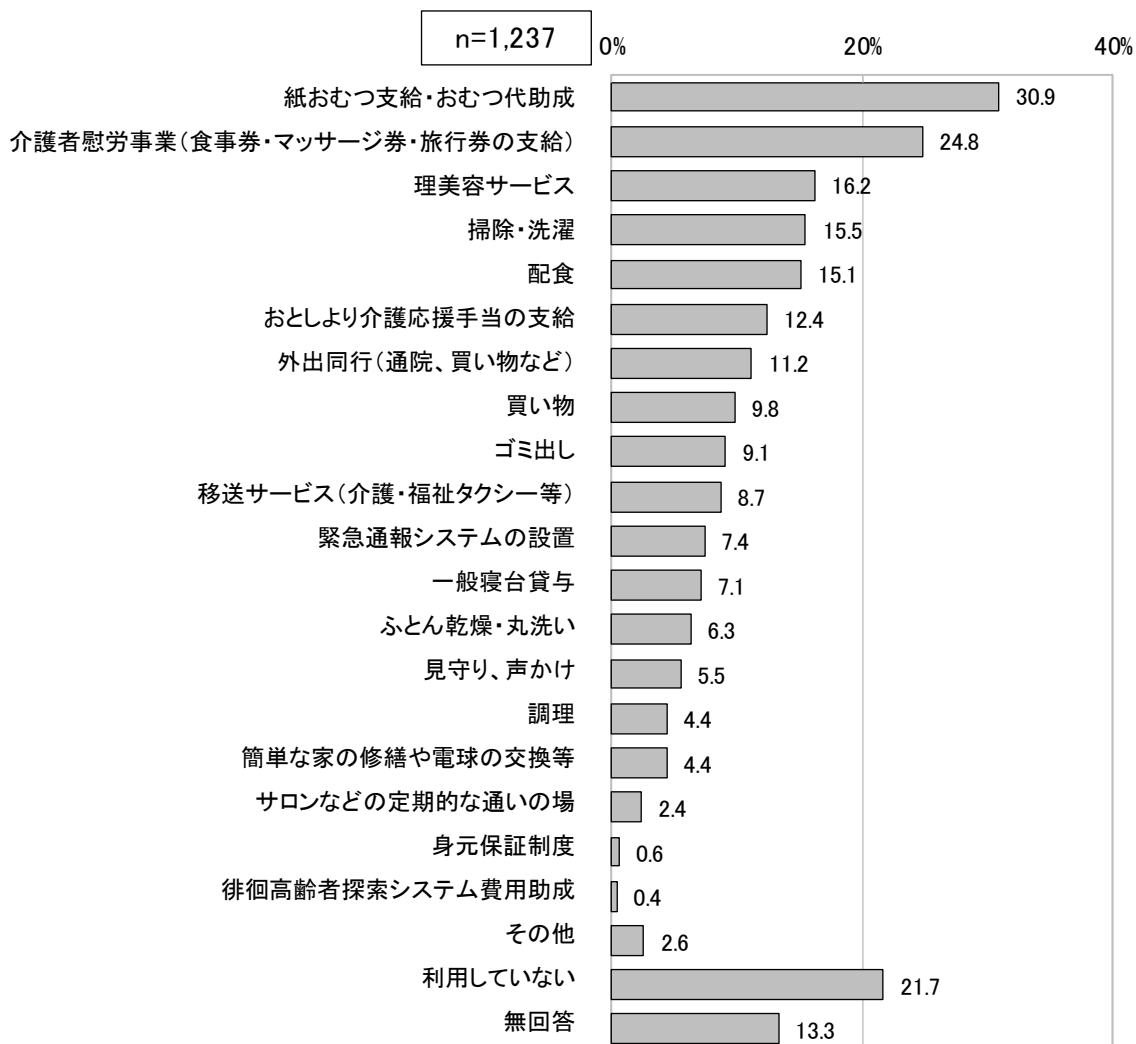


エ 介護保険サービス利用状況等調査  
【居宅サービス利用者】（調査 D-1）

(6)保険外サービスの利用状況

○ 「紙おむつ支給・おむつ代助成」(30.9%)が最も多く、次いで「介護者慰労事業」(24.8%)

問 20: あなたが、現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスは何ですか。【複数回答】



エ 介護保険サービス利用状況等調査  
【居宅サービス利用者】 (調査 D-1)

<保険外サービスの利用状況(家族構成別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

		調査数	1 配食	2 調理	3 掃除・洗濯	4 買い物	5 外出同行 (通院、買い物など)	6 ゴミ出し	7 見守り、声かけ	8 緊急通報システムの設置	9 定期的な通いの場	10 移送サービス (介護・福祉タクシー等)	11 簡単な家の修繕や 電球の交換等
全体		1237 100.0	187 15.1	55 4.4	192 15.5	121 9.8	138 11.2	112 9.1	68 5.5	91 7.4	30 2.4	108 8.7	55 4.4
家族構成	ひとり暮らし	397 100.0	93 23.4	29 7.3	112 28.2	79 19.9	74 18.6	74 18.6	37 9.3	59 14.9	15 3.8	26 6.5	29 7.3
	夫婦2人暮らし	355 100.0	44 12.4	7 2.0	35 9.9	14 3.9	29 8.2	14 3.9	13 3.7	17 4.8	7 2.0	43 12.1	10 2.8
	息子・娘との2世帯	231 100.0	24 10.4	10 4.3	18 7.8	12 5.2	16 6.9	12 5.2	10 4.3	9 3.9	5 2.2	16 6.9	7 3.0
		調査数	12 身元保証制度	13 介護応援手当の支給 おとしより	14 紙おむつ支給・ おむつ代助成	15 ふとん乾燥・丸洗い	16 理美容サービス	17 徘徊高齢者費用助成 システム	18 一般寝台貸与	19 介護者慰労事業 (食事券・マッサージ券・ 旅行券の支給)	20 その他	21 利用していない	無回答
全体		1237 100.0	7 0.6	153 12.4	382 30.9	78 6.3	201 16.2	5 0.4	88 7.1	307 24.8	32 2.6	269 21.7	164 13.3
家族構成	ひとり暮らし	397 100.0	4 1.0	23 5.8	88 22.2	32 8.1	62 15.6	0 0.0	24 6.0	40 10.1	5 1.3	69 17.4	47 11.8
	夫婦2人暮らし	355 100.0	2 0.6	55 15.5	109 30.7	21 5.9	60 16.9	3 0.8	33 9.3	107 30.1	10 2.8	86 24.2	46 13.0
	息子・娘との2世帯	231 100.0	0 0.0	36 15.6	100 43.3	12 5.2	35 15.2	2 0.9	17 7.4	85 36.8	7 3.0	56 24.2	23 10.0

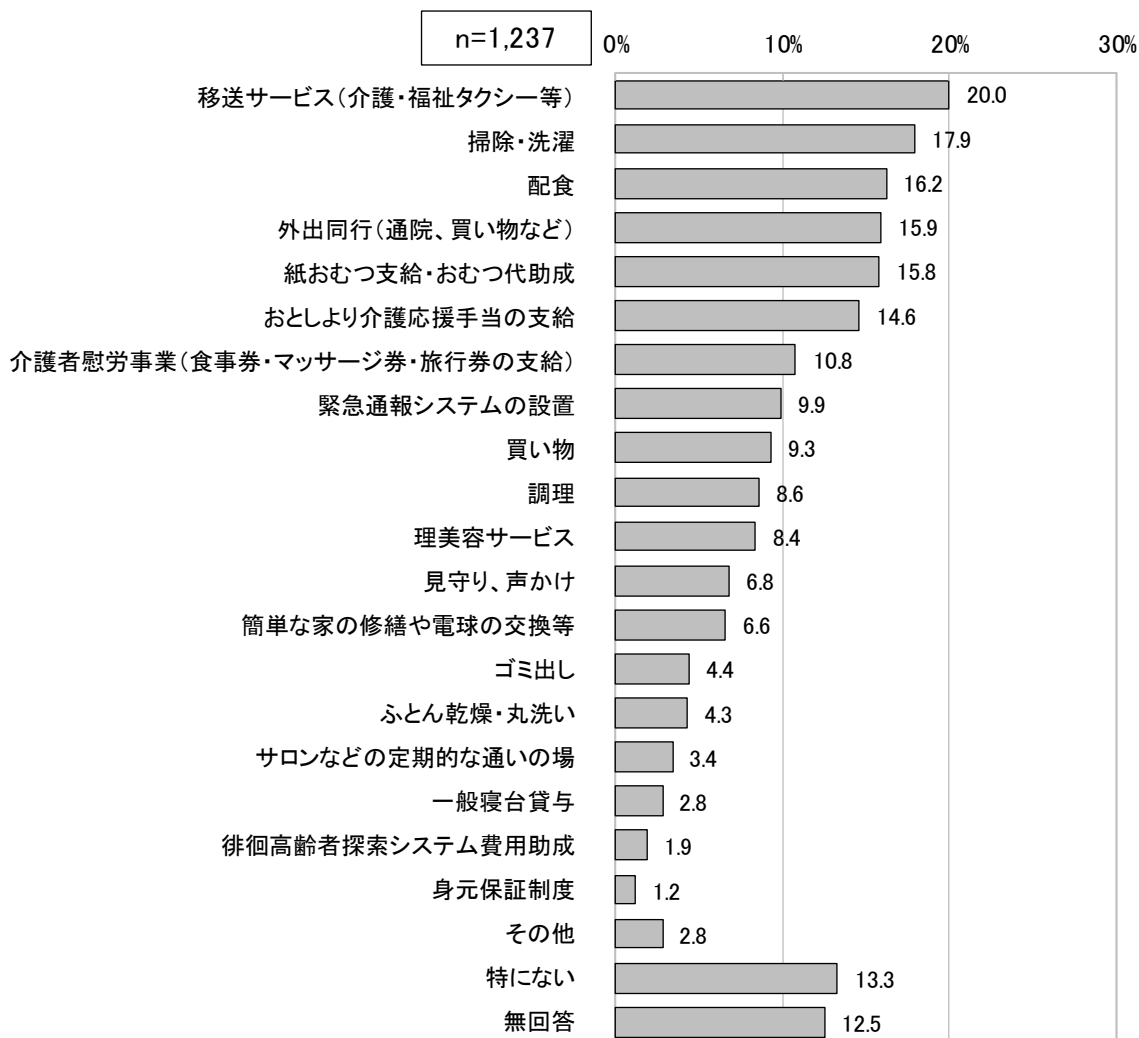
家族構成別で見ると、ひとり暮らしでは「配食」及び「掃除・洗濯」を利用している割合が高い。夫婦2人暮らし及び息子・娘との2世帯では「紙おむつ支給・おむつ代助成」及び「介護者慰労事業(食事券・マッサージ券・旅行券の支給)」を利用している割合が高い。

エ 介護保険サービス利用状況等調査  
【居宅サービス利用者】（調査 D-1）

(7)在宅生活の継続に必要なサービス

○ 「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(20.0%)が最も多く、次いで「掃除、洗濯」(17.9%)

問 21:あなたが、今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)は何ですか。【複数回答:3 つまで】



エ 介護保険サービス利用状況等調査  
【居宅サービス利用者】 (調査 D-1)

<在宅生活の継続に必要なサービス(要介護度別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		
		配食	調理	掃除・洗濯	買い物	外出同行 (通院、買い物など)	ゴミ出し	見守り、声かけ	緊急通報システムの設置	定期的な通いの場	移送サービス (介護・福祉タクシー等)	簡単な家の修繕や 電球の交換等		
調査数														
全体		1237 100.0	200 16.2	107 8.6	221 17.9	115 9.3	197 15.9	54 4.4	84 6.8	123 9.9	42 3.4	247 20.0	82 6.6	
要介護度	要介護1	399 100.0	76 19.0	37 9.3	86 21.6	43 10.8	75 18.8	29 7.3	32 8.0	40 10.0	16 4.0	52 13.0	37 9.3	
	要介護2	334 100.0	59 17.7	33 9.9	66 19.8	38 11.4	60 18.0	11 3.3	13 3.9	33 9.9	13 3.9	83 24.9	24 7.2	
	要介護3	228 100.0	42 18.4	14 6.1	36 15.8	21 9.2	34 14.9	5 2.2	19 8.3	19 8.3	7 3.1	51 22.4	10 4.4	
	要介護4	116 100.0	7 6.0	6 5.2	13 11.2	5 4.3	11 9.5	5 4.3	9 7.8	14 12.1	1 0.9	28 24.1	8 6.9	
	要介護5	118 100.0	12 10.2	12 10.2	11 9.3	7 5.9	12 10.2	4 3.4	9 7.6	14 11.9	4 3.4	29 24.6	2 1.7	
		12	13	14	15	16	17	18	19	20	21			
		身元保証制度	介護応援手当の支給	おとしより	紙おむつ支給・おむつ代助成	ふとん乾燥・丸洗い	理美容サービス	徘徊高齢者探索システム費用助成	一般寝台貸与	旅行券の支給	介護者慰労事業 (食事券・マッサージ券・)	その他	特にない	無回答
調査数														
全体		1237 100.0	15 1.2	181 14.6	195 15.8	53 4.3	104 8.4	23 1.9	35 2.8	133 10.8	35 2.8	165 13.3	155 12.5	
要介護度	要介護1	399 100.0	5 1.3	33 8.3	39 9.8	17 4.3	29 7.3	5 1.3	14 3.5	25 6.3	8 2.0	62 15.5	48 12.0	
	要介護2	334 100.0	4 1.2	41 12.3	50 15.0	18 5.4	27 8.1	9 2.7	11 3.3	43 12.9	10 3.0	35 10.5	41 12.3	
	要介護3	228 100.0	1 0.4	42 18.4	41 18.0	12 5.3	22 9.6	5 2.2	5 2.2	28 12.3	10 4.4	26 11.4	30 13.2	
	要介護4	116 100.0	4 3.4	31 26.7	30 25.9	1 0.9	6 5.2	2 1.7	4 3.4	19 16.4	4 3.4	17 14.7	14 12.1	
	要介護5	118 100.0	1 0.8	29 24.6	28 23.7	4 3.4	17 14.4	2 1.7	1 0.8	14 11.9	3 2.5	17 14.4	15 12.7	

要介護度別で見ると、要介護3以下では要介護4以上と比べて、「配食」、「掃除・洗濯」及び「外出同行(通院、買い物など)」の割合がやや高く、要介護4以上では要介護3以下と比べて、「おとしより介護応援手当の支給」及び「紙おむつ支給・おむつ代助成」の割合が高い。

要介護度2から5では「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」の割合が2割を超える。

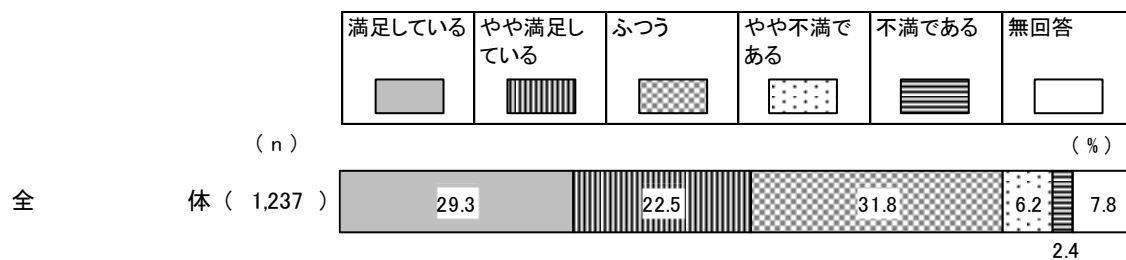
## 5. サービスのあり方

### (1) ケアプランについて

#### ① 満足度

○ 「満足している」(29.3%)と「やや満足している」(22.5%)を合わせると 51.8%

問 22: あなたは、現在のケアプランに満足していますか。

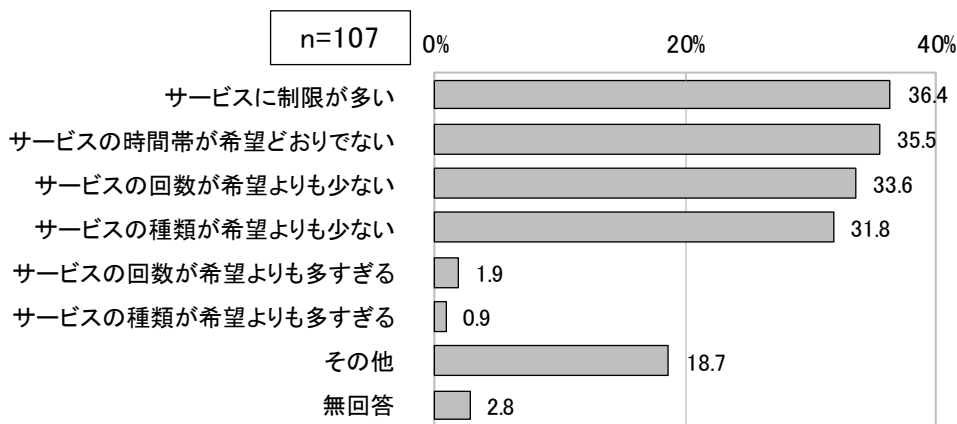


#### ② 不満の理由

○ 「サービスに制限が多い」(36.4%)が最も多く、次いで「サービスの時間帯が希望どおりでない」(35.5%)

【問 22 で「4. やや不満である」、「5. 不満である」と回答の方】

問 22-1: 不満の理由は何ですか。【複数回答】



<その他の回答>

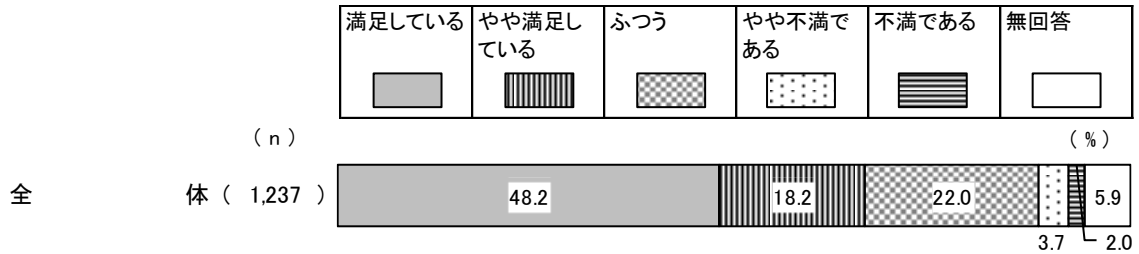
- サービスの時間が短い
- 希望を出しても、やってもらえる人が見つからない
- ケアマネジャーとの連絡がとりにくい

(2)ケアマネジャーに対する満足度

① 満足度

○ 「満足している」(48.2%)が最も多い

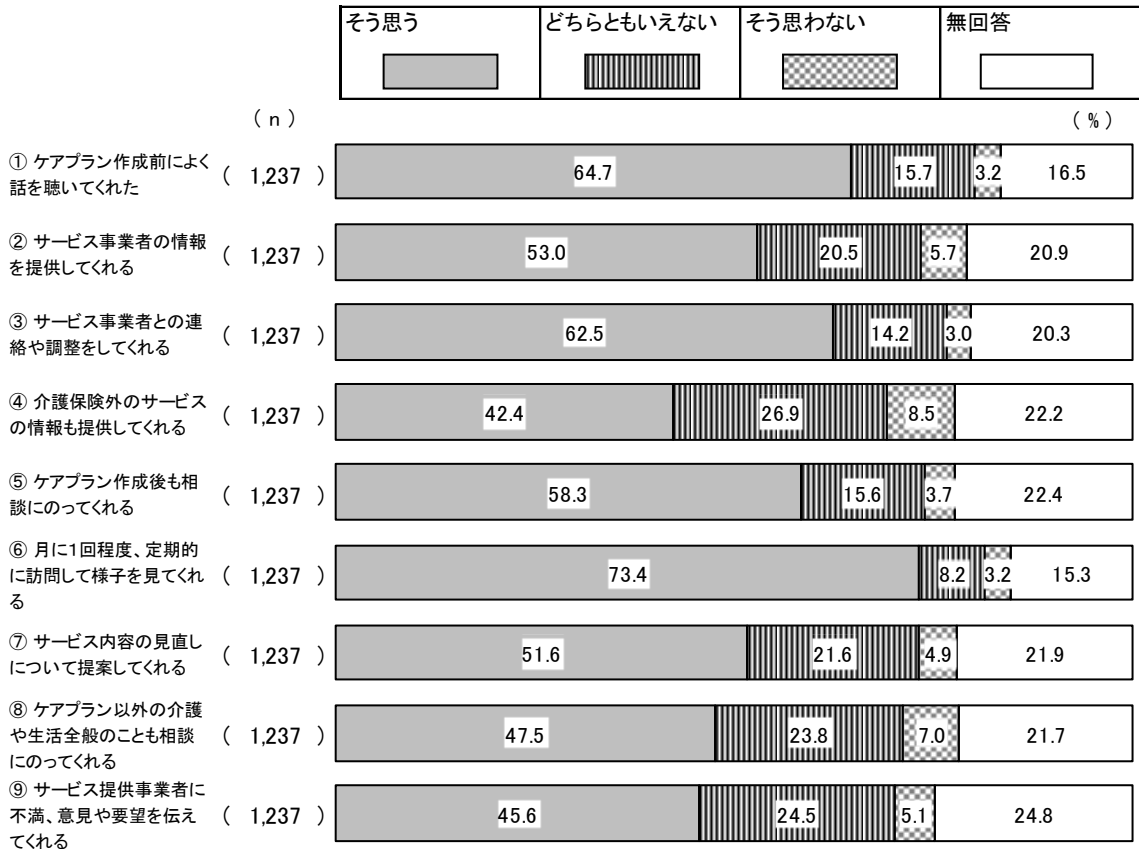
問 23:あなたは、ケアマネジャー(介護支援専門員)に満足していますか。



② マネジメントに対する評価

○ 「月に1回程度、定期的に訪問して様子を見てくれる」(73.4%)が最も多い

問 24:あなたは、ケアマネジャー(介護支援専門員)について、どのように感じていますか。



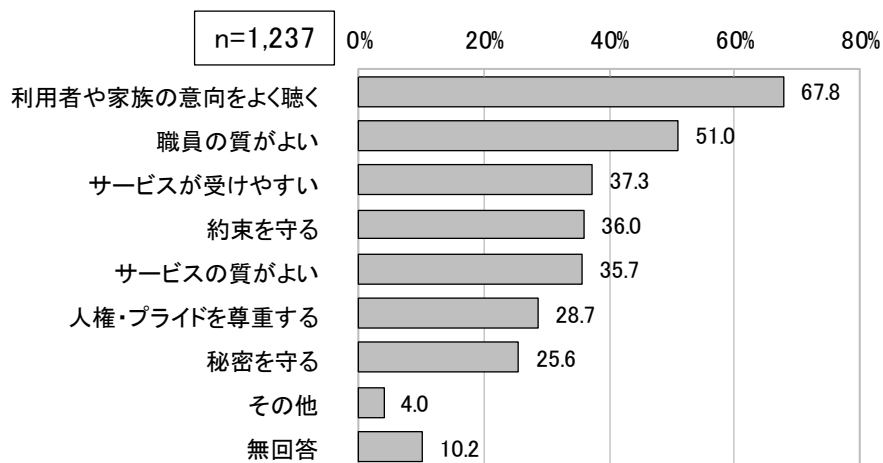
エ 介護保険サービス利用状況等調査  
【居宅サービス利用者】（調査 D-1）

(3)介護サービス事業者について

① 評価する点

○ 「利用者や家族の意向をよく聴く」(67.8%)が最も多い

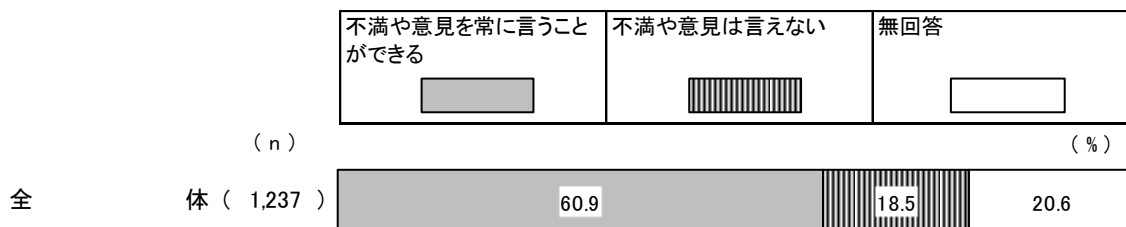
問 25:あなたが、介護サービス提供事業者を評価する点はどのようなことですか。【複数回答】



② 不満等を言えるか

○ 「不満や意見は言えない」が 18.5%

問 26:あなたは、介護サービス提供事業者の提供するサービスに不満がある場合に、不満や意見を事業者に訴えることができますか。



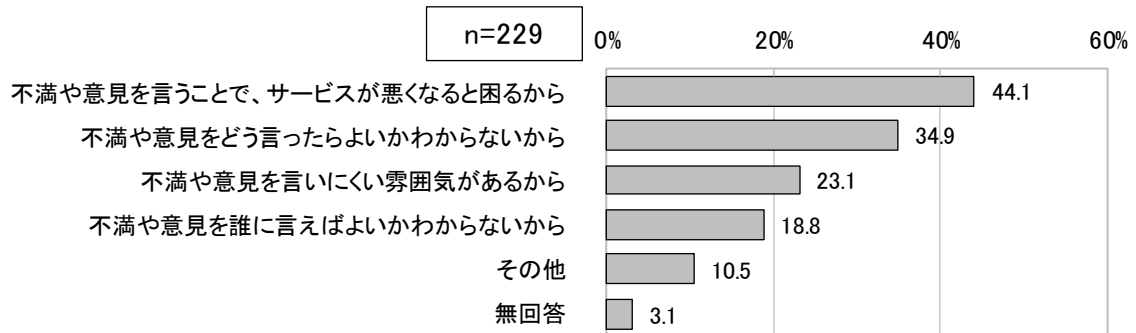


③ 不満等を言えない理由

○ 「不満や意見を言うことで、サービスが悪くなると困るから」(44.1%)が最も多い

【問 26 で「2. 不満や意見は言えない」と回答の方】

問 26-1: 不満や意見を言えない理由は何ですか。【複数回答】



<その他の回答>

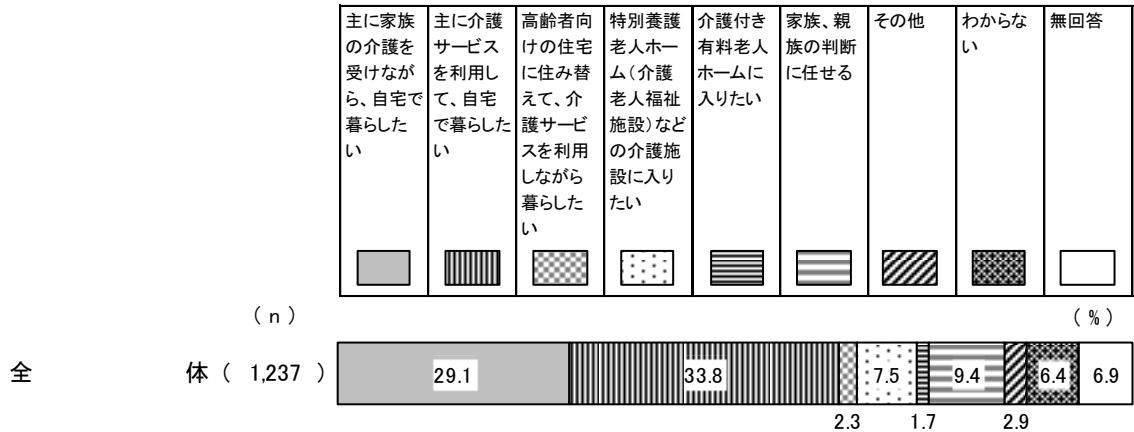
- 付き合いが長いから    ○不満や意見を言ったことで事業者より断われた経験がある
- 介護の仕事が大変なことがよくわかるから    ○不満がない

## 6. 今後の介護の希望等

### (1) 今後希望する介護

○ 自宅での介護を希望する人が 62.9%

問 27: あなたは、今後、どのような介護を希望しますか。



<今後希望する介護(性別・要介護度別)>

上段: 実数(人)  
下段: 構成比(%)

	調査数	希望する介護の種類									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
全体	1237	360	418	29	93	21	116	36	79	85	
		100.0	29.1	33.8	2.3	7.5	1.7	9.4	2.9	6.4	6.9
性別	男性	432	148	127	12	34	6	36	8	26	35
		100.0	34.3	29.4	2.8	7.9	1.4	8.3	1.9	6.0	8.1
性別	女性	790	207	287	17	58	15	80	27	51	48
		100.0	26.2	36.3	2.2	7.3	1.9	10.1	3.4	6.5	6.1
要介護度	要介護1	399	85	158	16	18	7	37	13	27	38
		100.0	21.3	39.6	4.0	4.5	1.8	9.3	3.3	6.8	9.5
	要介護2	334	107	111	10	22	9	25	10	23	17
		100.0	32.0	33.2	3.0	6.6	2.7	7.5	3.0	6.9	5.1
	要介護3	228	69	74	1	27	3	25	5	11	13
	100.0	30.3	32.5	0.4	11.8	1.3	11.0	2.2	4.8	5.7	
要介護4	116	44	29	1	11	2	16	3	6	4	
	100.0	37.9	25.0	0.9	9.5	1.7	13.8	2.6	5.2	3.4	
要介護5	118	45	34	1	13	0	10	3	4	8	
	100.0	38.1	28.8	0.8	11.0	0.0	8.5	2.5	3.4	6.8	

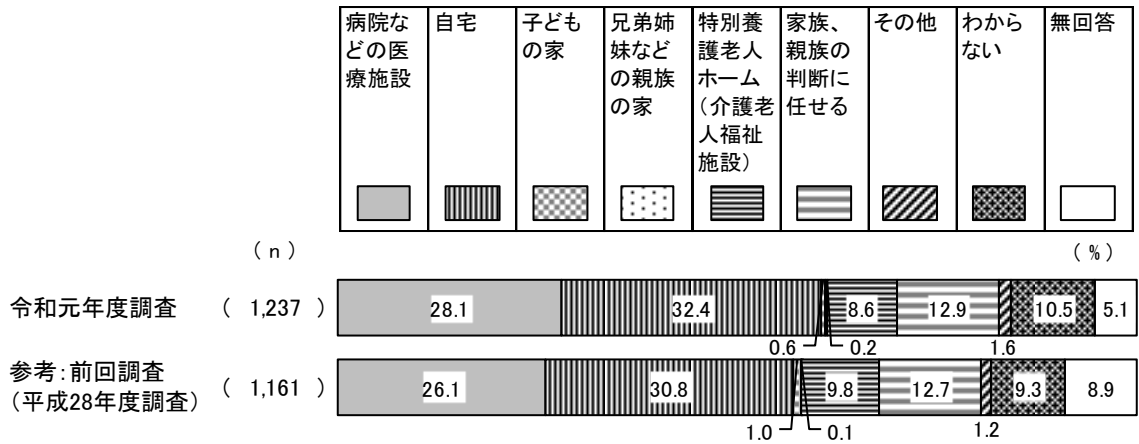
性別で見ると、男性は女性と比べて、「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」の割合が高く、女性は男性と比べて、「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」の割合が高い。

要介護度別で見ると、要介護1では全体と比べて、「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」の割合が高く、要介護4以上では全体と比べて、「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」の割合が高い。

(2)終末期に介護を受けたい場所

○ 「自宅」(32.4%)が最も多く、次いで「病院などの医療施設」(28.1%)

問 28:あなたは、病気が治る可能性がなくなり、終末期になった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。



前回調査と比べると、大きな差は見られない。

<終末期に介護を受けたい場所(要介護度別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

	調査数	1	2	3	4	5	6	7	8	無回答
		病院などの医療施設	自宅	子どもの家	兄弟姉妹などの親族の家	特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)	家族、親族の判断に任せる	その他	わからない	
全体	1237	347	401	7	2	107	160	20	130	63
	100.0	28.1	32.4	0.6	0.2	8.6	12.9	1.6	10.5	5.1
要介護度	要介護1	399	131	104	2	37	48	10	36	30
		100.0	32.8	26.1	0.5	9.3	12.0	2.5	9.0	7.5
	要介護2	334	101	95	1	29	46	4	44	13
		100.0	30.2	28.4	0.3	8.7	13.8	1.2	13.2	3.9
	要介護3	228	53	89	1	0	21	33	3	20
	100.0	23.2	39.0	0.4	0.0	9.2	14.5	1.3	8.8	3.5
要介護4	116	32	43	1	0	8	13	2	12	5
	100.0	27.6	37.1	0.9	0.0	6.9	11.2	1.7	10.3	4.3
要介護5	118	20	62	2	0	8	14	1	8	3
	100.0	16.9	52.5	1.7	0.0	6.8	11.9	0.8	6.8	2.5

要介護度別で見ると、要介護3以上では全体と比べて、「自宅」の割合が高く、要介護1及び2では全体と比べて、「病院などの医療施設」の割合がやや高い。

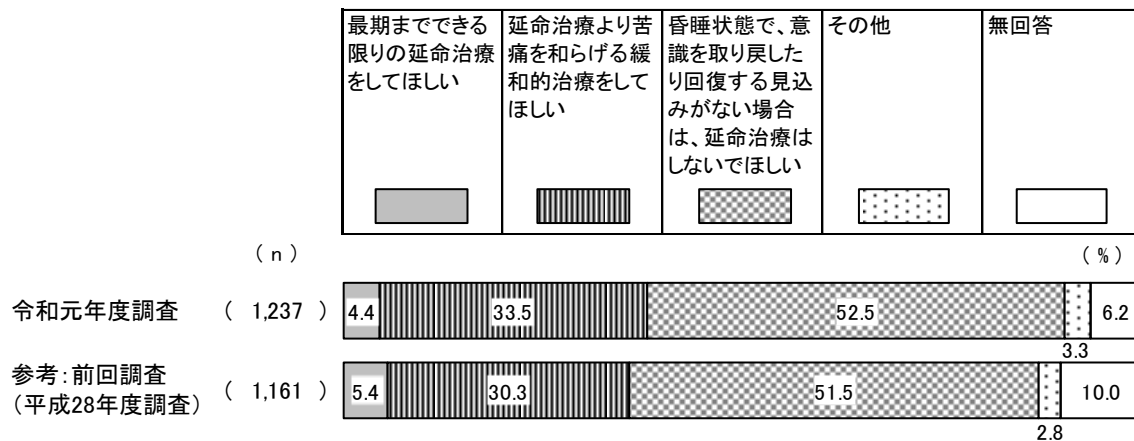
エ 介護保険サービス利用状況等調査

【居宅サービス利用者】（調査 D-1）

(3)延命治療について

- 「昏睡状態で、意識を取り戻したり回復する見込みがない場合は、延命治療はしないでほしい」  
(52.5%) が最も多い

問 29:あなたは、延命のための医療を受けることについてどう思いますか。

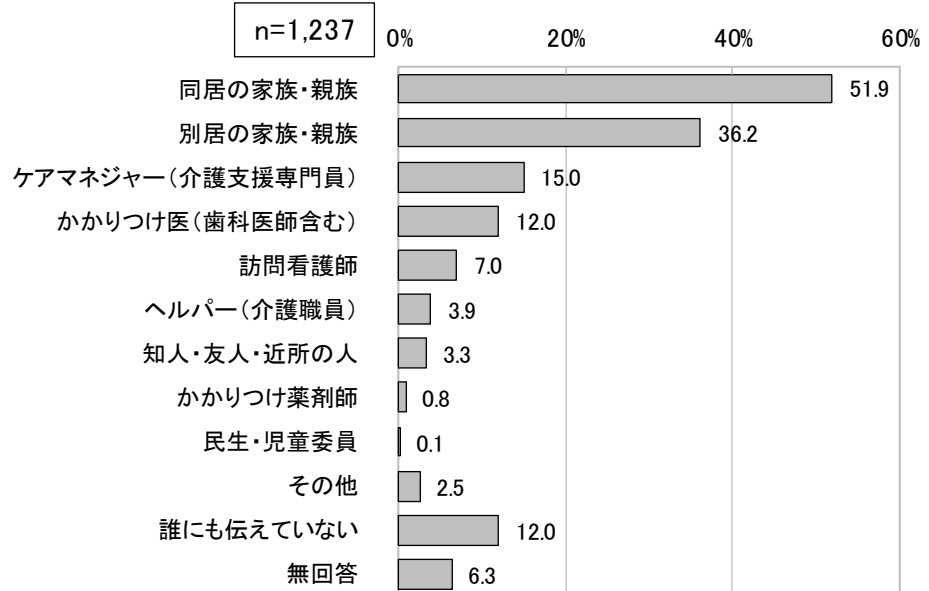


前回調査と比べると、「延命治療より苦痛を和らげる緩和的治療をしてほしい」の割合が 3.2 ポイント増えている。

(4)延命治療への希望を誰に伝えているか

○ 「同居の家族・親族」(51.9%)が最も多く、次いで「別居の家族・親族」(36.2%)

問 30:あなたは、問 29 の内容についての希望を誰に伝えていますか。



<延命治療への希望を誰に伝えているか(性別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

	調査数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	無回答	
		同居の家族・親族	別居の家族・親族	知人・友人・近所の人	かかりつけ医(歯科医師含む)	かかりつけ薬剤師	訪問看護師	ケアマネジャー(介護支援専門員)	ヘルパー(介護職員)	民生・児童委員	その他	誰にも伝えていない		
全体	1237	642	448	41	149	10	86	186	48	1	31	149	78	
	100.0	51.9	36.2	3.3	12.0	0.8	7.0	15.0	3.9	0.1	2.5	12.0	6.3	
性別	男性	432	264	122	15	62	4	30	70	18	0	7	53	29
		100.0	61.1	28.2	3.5	14.4	0.9	6.9	16.2	4.2	0.0	1.6	12.3	6.7
性別	女性	790	370	320	25	84	5	55	114	29	1	24	95	47
		100.0	46.8	40.5	3.2	10.6	0.6	7.0	14.4	3.7	0.1	3.0	12.0	5.9

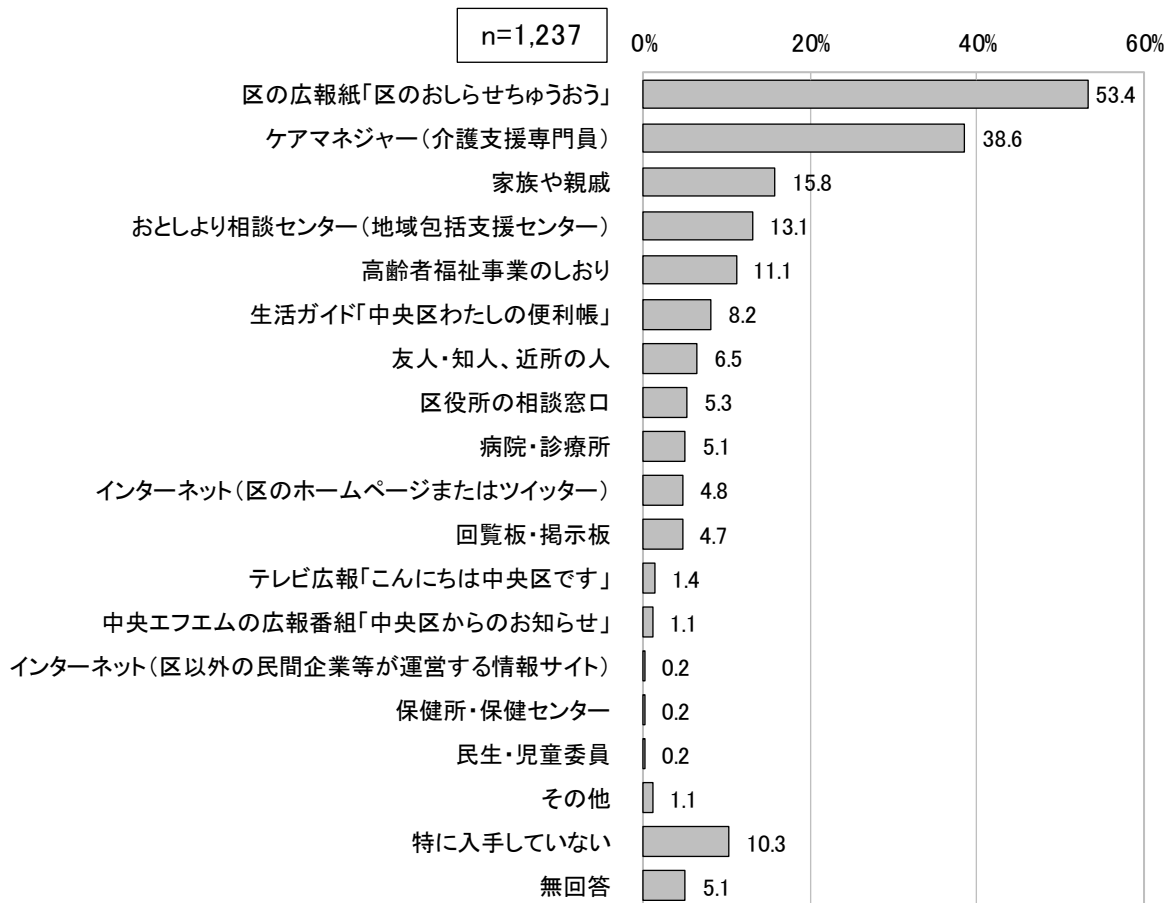
性別で見ると、男性は女性と比べて、「同居の家族・親族」の割合が高く、女性は男性と比べて、「別居の家族・親族」の割合が高い。

## 7. 相談や権利擁護

### (1) 区からの情報の入手先

○ 「区の広報紙」(53.4%)が最も多い

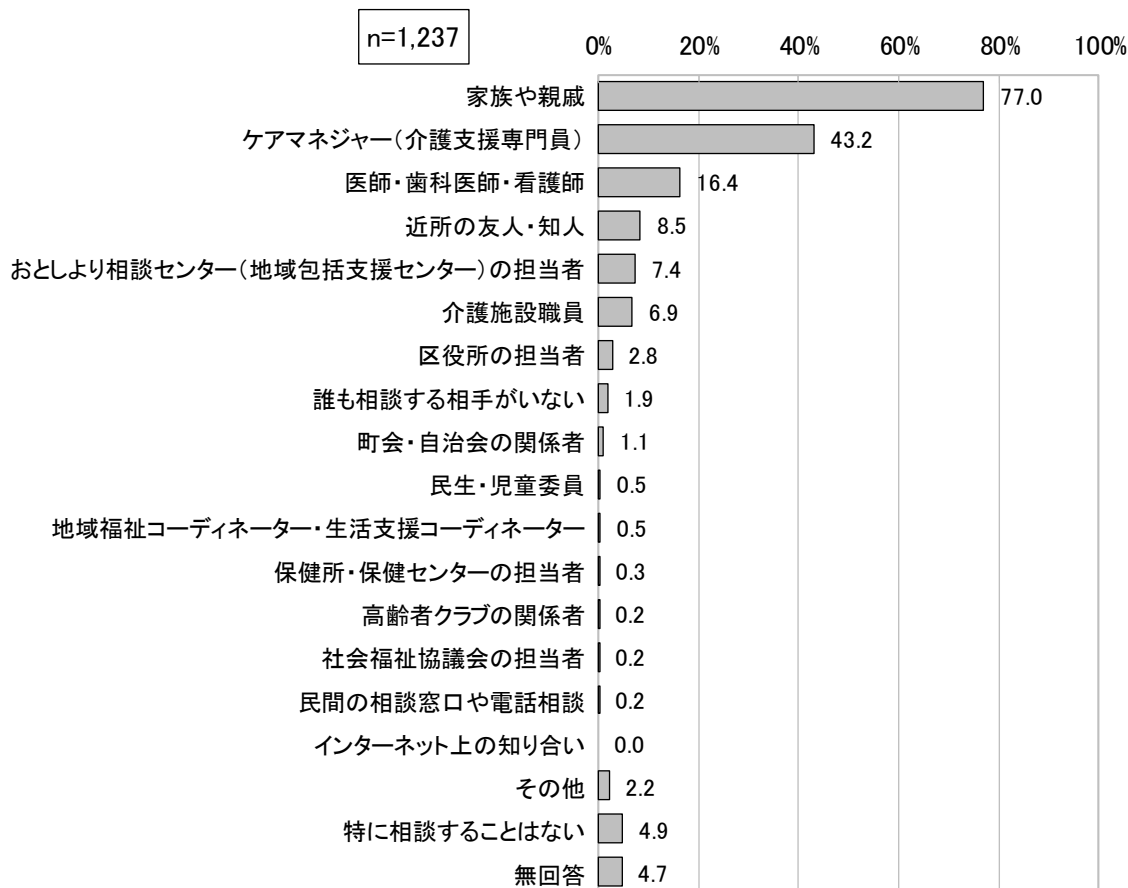
問 31: あなたは、中央区からの情報は主にどこから入手していますか。【複数回答: 3 つまで】



(2)困ったときの相談相手

○ 「家族や親戚」(77.0%)が最も多い

問 32:あなたは、普段の生活で困ったとき、誰に相談していますか。【複数回答:3 つまで】



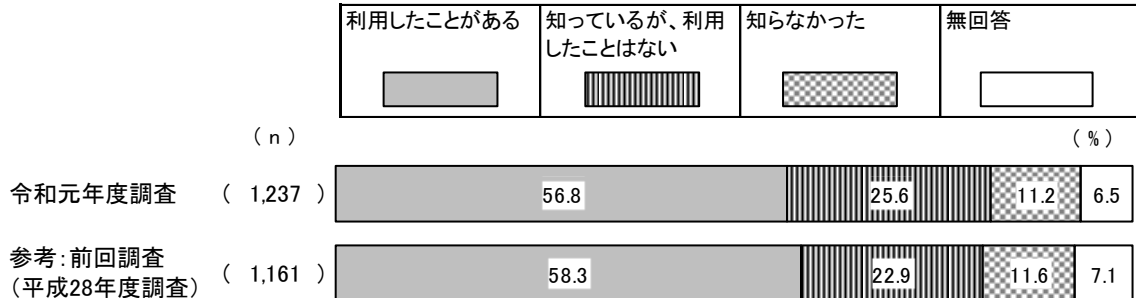
エ 介護保険サービス利用状況等調査  
【居宅サービス利用者】（調査 D-1）

(3)おとしより相談センターの認知度及び利用状況

① 認知度及び利用状況

○ 認知度は 82.4%、「利用したことがある」は 56.8%

問 33:あなたは、「おとしより相談センター(地域包括支援センター)」をご存知ですか。



前回調査と比べると、大きな差は見られない。

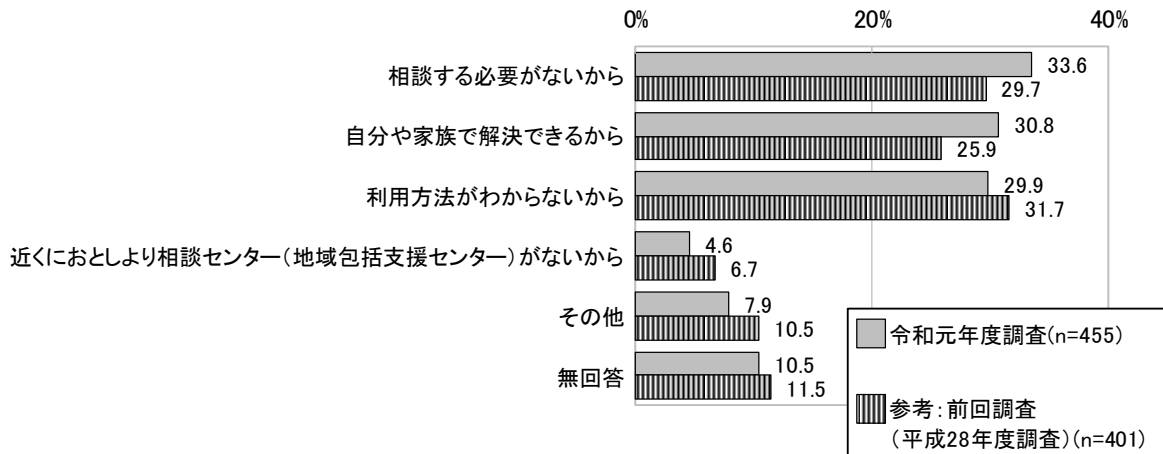
② 利用したことがない理由

○ 「相談する必要があるから」(33.6%)が最も多く、次いで「自分や家族で解決できるから」(30.8%)

【問 33 で「2. 知っているが、利用したことはない」、「3. 知らなかった」と回答の方】

問 33-1:「おとしより相談センター(地域包括支援センター)」を利用したことがない主な理由は何ですか。

【複数回答】



<その他の回答>

○ 知らなかったので利用できなかった ○ 自力で行けないから

前回調査と比べると、「相談する必要があるから」及び「自分や家族で解決できるから」の割合がやや高い。

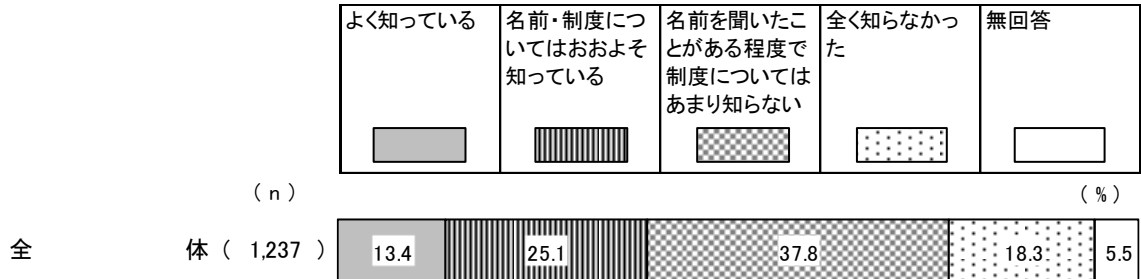


(4)成年後見制度の認知度・利用意向

① 成年後見制度の認知度

○ 「よく知っている」と「名前・制度についてはおおよそ知っている」を合わせると 38.5%

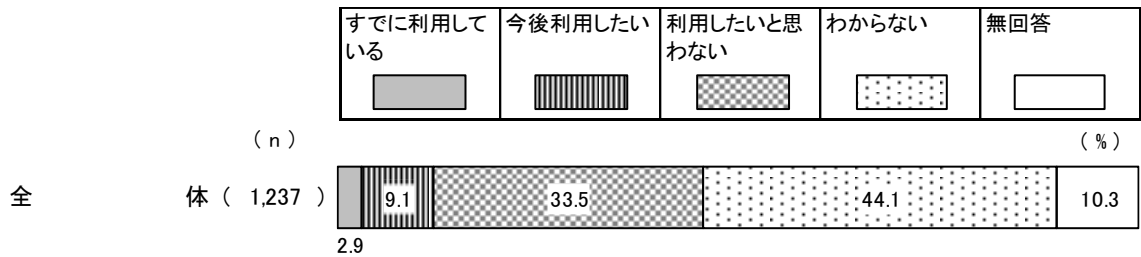
問 34:あなたは、「成年後見制度」について内容をどの程度ご存知ですか。



② 成年後見制度の利用意向

○ 「わからない」(44.1%)が最も多く、「すでに利用している」と「今後利用したい」を合わせると 12.0%

問 35:「成年後見制度」を利用したいと思えますか。



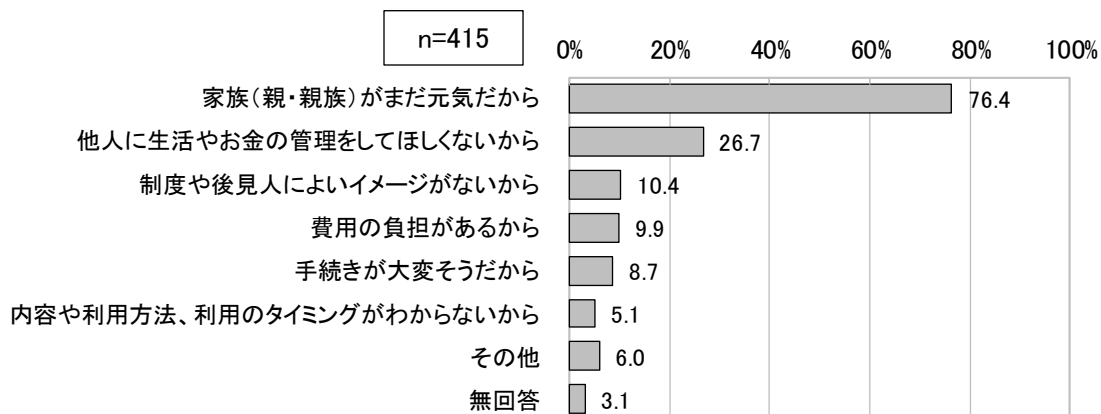
エ 介護保険サービス利用状況等調査  
【居宅サービス利用者】（調査 D-1）

### ③ 成年後見制度を利用しない理由

○ 「家族（親・親族）がまだ元気だから」（76.4%）が最も多い

【問 35 で「3. 利用したいと思わない」と回答の方】

問 35-1: 「成年後見制度」を利用したいと思わない理由を教えてください。【複数回答】



<その他の回答>

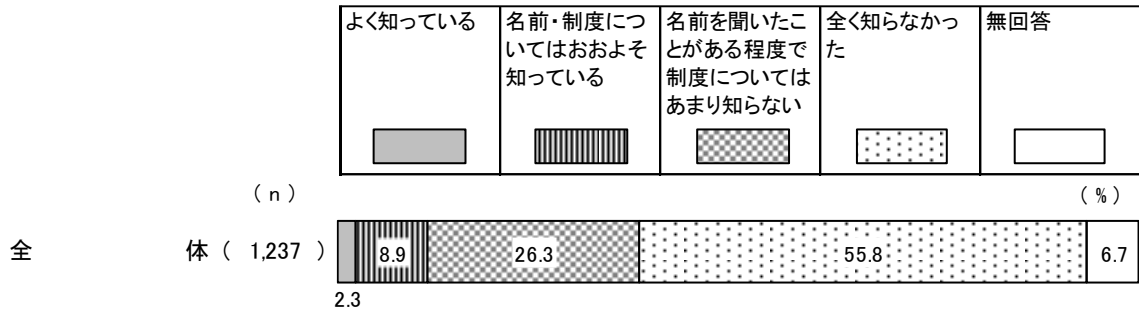
○財産がない ○必要がない

(5)権利擁護支援事業の認知度・利用意向

① 権利擁護支援事業の認知度

○ 「よく知っている」と「名前・制度についてはおおそ知っている」を合わせると 11.2%

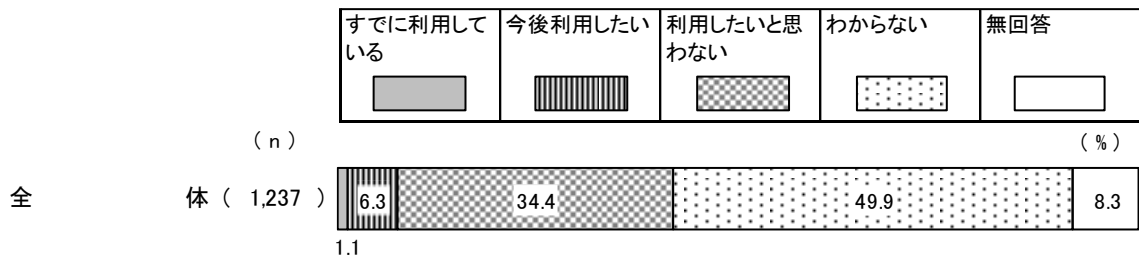
問 36:「権利擁護支援事業」について内容をどの程度知っていますか。



② 権利擁護支援事業の利用意向

○ 「わからない」(49.9%)が最も多く、「すでに利用している」と「今後利用したい」を合わせると 7.4%

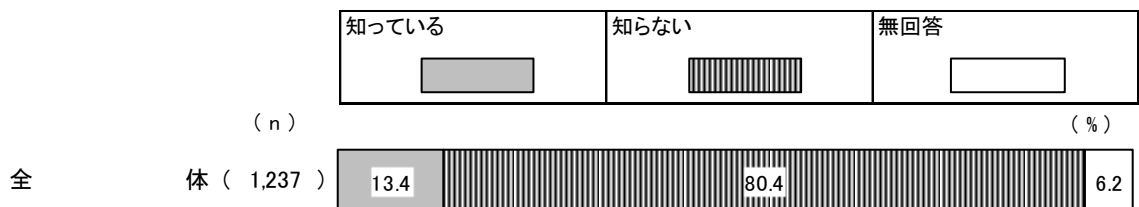
問 37:「権利擁護支援事業」を利用したいと思いますか。



(6)すてっぷ中央の認知度

○ 「知っている」が 13.4%

問 38:あなたは、中央区社会福祉協議会の成年後見支援センター「すてっぷ中央」をご存知ですか。

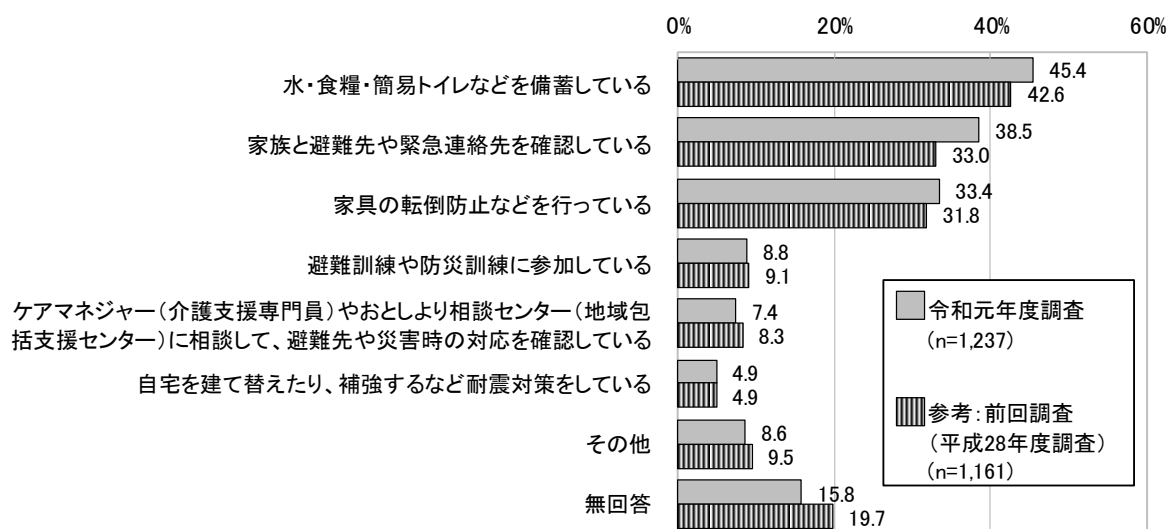


## 8. 災害時の対応

### (1)災害への備え

- 「水・食糧・簡易トイレなどを備蓄している」(45.4%)が最も多く、次いで「家族と避難先や緊急連絡先を確認している」(38.5%)

問 39:あなたは、地震などの災害に備えてどのようなことをしていますか。【複数回答】



<その他の回答>

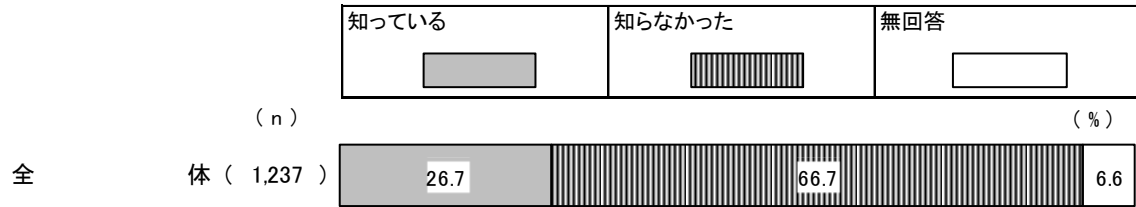
- 何もしていない ○施設職員に任せている ○家族に任せている  
○既にセカンドハウスを用意している ○町会単位での防災対策

前回調査と比べると、「家族と避難先や緊急連絡先を確認している」の割合が5.5ポイント増えている。

(2)「中央区災害時地域たすけあい名簿」の認知度

○ 「知らなかった」が 66.7%

問 40: あなたは、「中央区災害時地域たすけあい名簿」についてご存知ですか。



中央区災害時地域たすけあい名簿

区では災害時に自力で避難したり生活することが困難な方を登録し、安否確認や避難誘導等の支援及び支援のための体制づくりに役立てることを目的とした名簿を作成している。

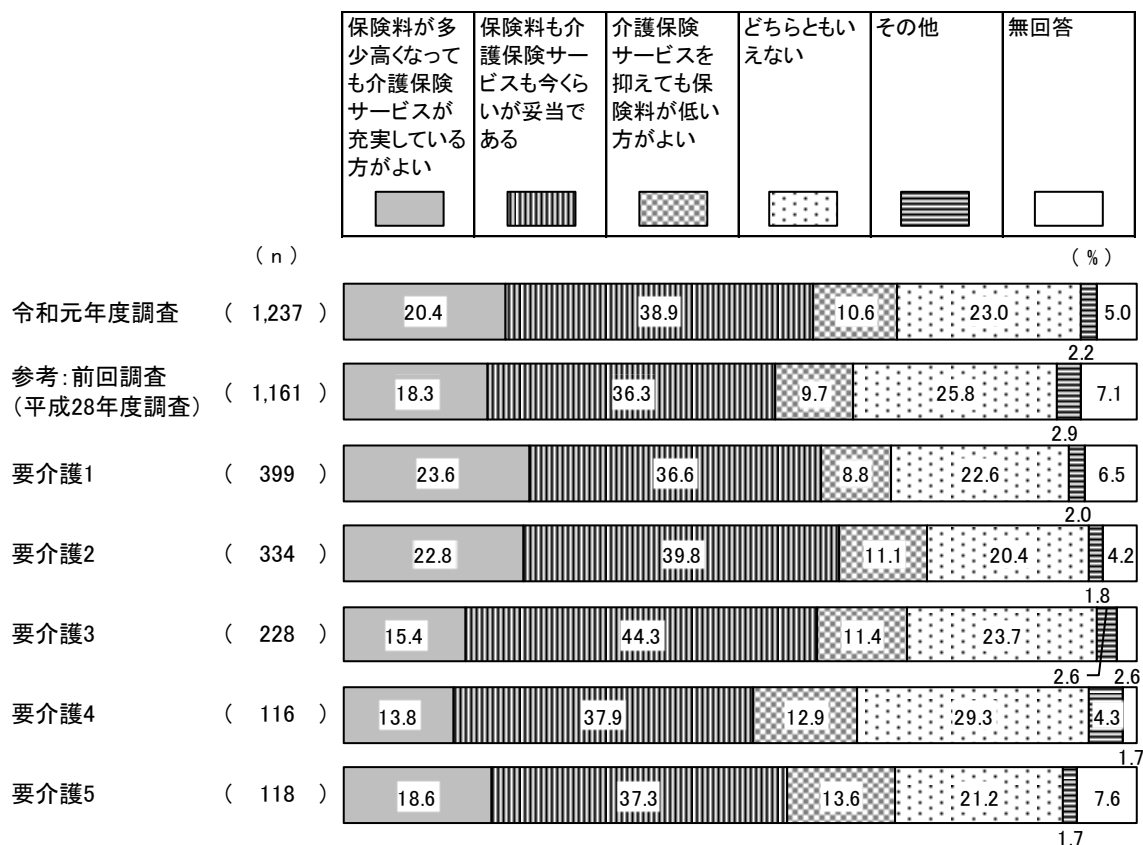
本人の同意がある方の名簿情報を、警察、消防、民生・児童委員、防災区民組織、介護サービス事業者に平常時からあらかじめ提供している。

## 9. 今後の高齢者保健福祉施策

### (1) 介護保険サービスと介護保険料のあり方

○ 「保険料も介護保険サービスも今くらいが妥当である」(38.9%)が最も多く、次いで「どちらともいえない」(23.0%)

問 41: 今後、高齢者が増加していくにつれて介護保険料が高くなることが想定されますが、あなたは、今後の介護保険料のあり方についてどう思いますか。

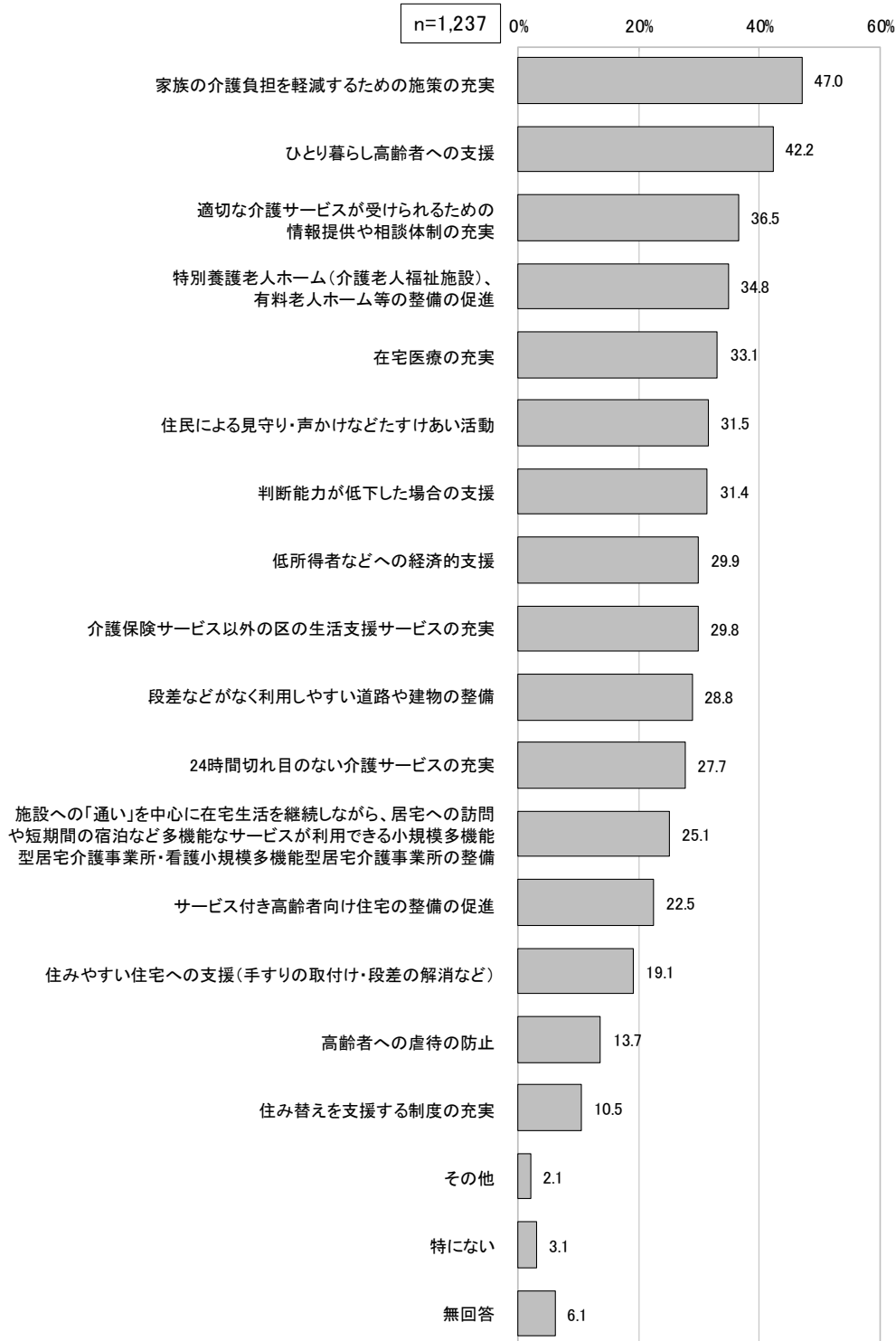


要介護度別で見ると、要介護1及び2では令和元年度調査と比べて「保険料が多少高くなってでも介護保険サービスが充実している方がよい」の割合がやや高い。要介護2及び3では令和元年度調査と比べて「保険料も介護保険サービスも今くらいが妥当である」の割合が高い。

(2)今後力を入れるべき高齢者保健福祉施策

- 「家族の介護負担を軽減するための施策の充実」 (47.0%)が最も多く、次いで「ひとり暮らし高齢者への支援」 (42.2%)

問 42: 住み慣れた地域で暮らし続けるために、これからの高齢者保健福祉施策で中央区が力を入れていくべきものは何だと思えますか。【複数回答】



エ 介護保険サービス利用状況等調査  
【居宅サービス利用者】（調査 D-1）

### (3)高齢者向けサービスに関する自由意見

問 43: 高齢者向けのサービスなどに関するご意見をご自由にお書きください。

#### 【介護保険のサービスに関すること】

- 要介護認定の基準の見直しをしてほしい。身体だけではなく精神的な症状(認知症等)も考慮してほしい。
- 相談する相手によって家庭状況が悪くなることもあった。
- 人材教育をしっかりと受けた人が関わるようにしてほしい。
- 特別養護老人ホームになかなか入所できない。
- 活躍の場を増やしたり、自分から体を動かそうとする環境を、より多く作ってほしい。
- 区内にリハビリができる箇所が少ない。

#### 【その他のサービスに関すること】

- 判断力がなくなった際、どのような準備が必要なのか分からない。具体的に例示してほしい。
- 相談できる環境が増えることを期待する。

#### 【医療・介護等、多職種での連携に関すること】

- スタッフにその都度同じことを伝えることが多く、関係者間で情報を共有してほしい。

#### 【地域での暮らしに関すること】

- 歩道が斜めになっているところがあり、高齢者には歩きづらい。
- 道幅の広いところに、腰を降ろし少し休めるベンチがあるとありがたい。
- 地方出身者で子どもなどに東京に呼び寄せられて暮らしているお年寄りも多く、これからも増えると思われる。そういった方は地元の高齢者クラブなどには参加しづらいため、別の場所を提供できるよう検討いただきたい。
- ひとり暮らしの方や、男性の方等が外出したくなるような魅力のある外出先を作してほしい。
- 高齢者と障害者の娘との2人暮らしで、マンション住まいであり、町会、自治会に入るきっかけがない。



才 在宅介護実態調査（調査 D-2）



本調査は、要介護・要支援認定を受けている中央区の被保険者のうち、在宅で生活しており、令和元年6月～11月に更新申請又は区分変更申請に伴う認定調査を受けた286人を対象とし、介護認定審査会の審査結果などの「要介護認定データ」と関連付けた分析を行っている。

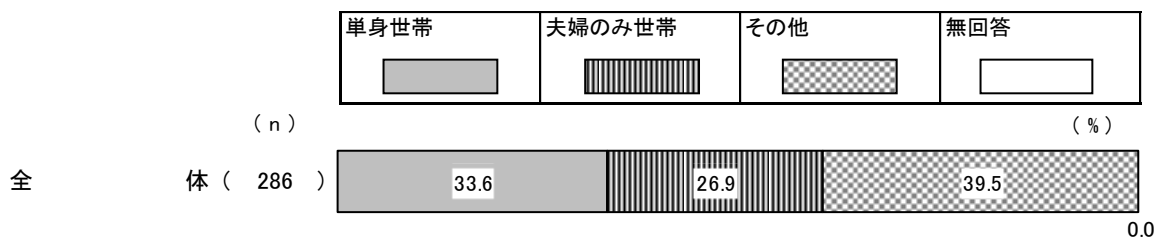
## 1. 基礎分析の結果

### (1) 本人の概況(A票)

#### ① 世帯類型

○ 「その他」(39.5%)が最も多く、次いで「単身世帯」(33.6%)

問1:世帯類型について、ご回答ください。

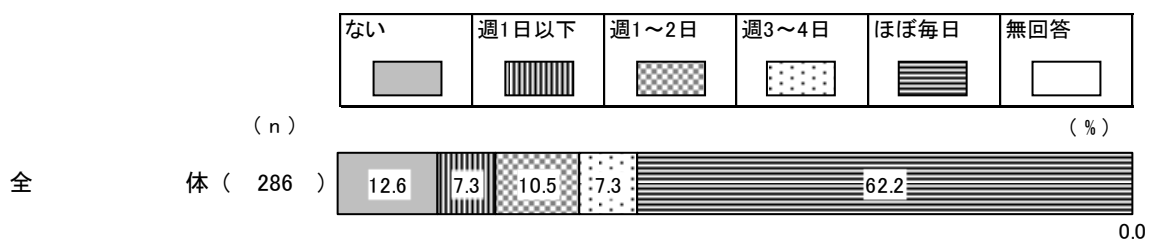


#### ② 家族等による介護の頻度

○ 「ほぼ毎日」(62.2%)が最も多い

問2:ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。

(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)



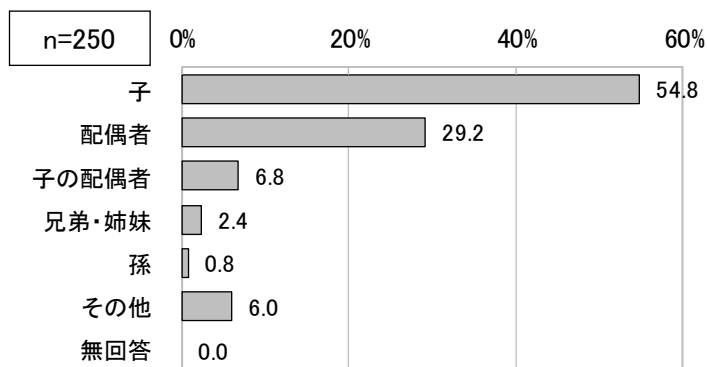
【問 2 で「2.週 1 日未満」、「3.週 1～2 日」、「4.週 3～4 日」、「5.ほぼ毎日」と回答の方】

（問 3～13）

③ 主な介護者と本人の関係

○ 「子」(54.8%)が最も多い

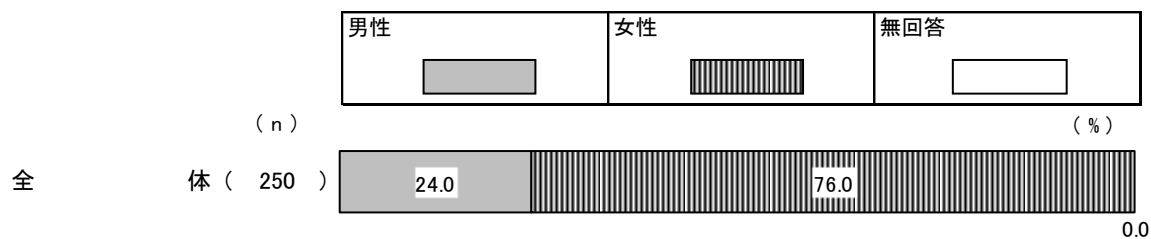
問3: 主な介護者の方は、どなたですか。



④ 主な介護者の性別

○ 「女性」が 76.0%

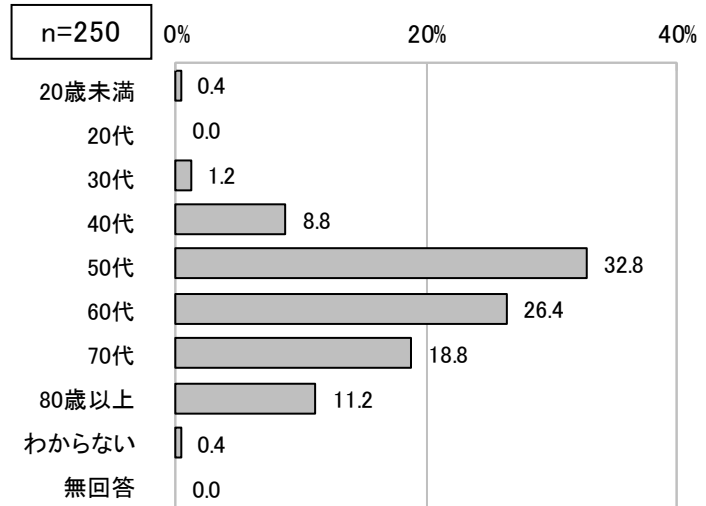
問 4: 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。



⑤ 主な介護者の年齢

○ 「50代」 (32.8%)が最も多く、次いで「60代」 (26.4%)

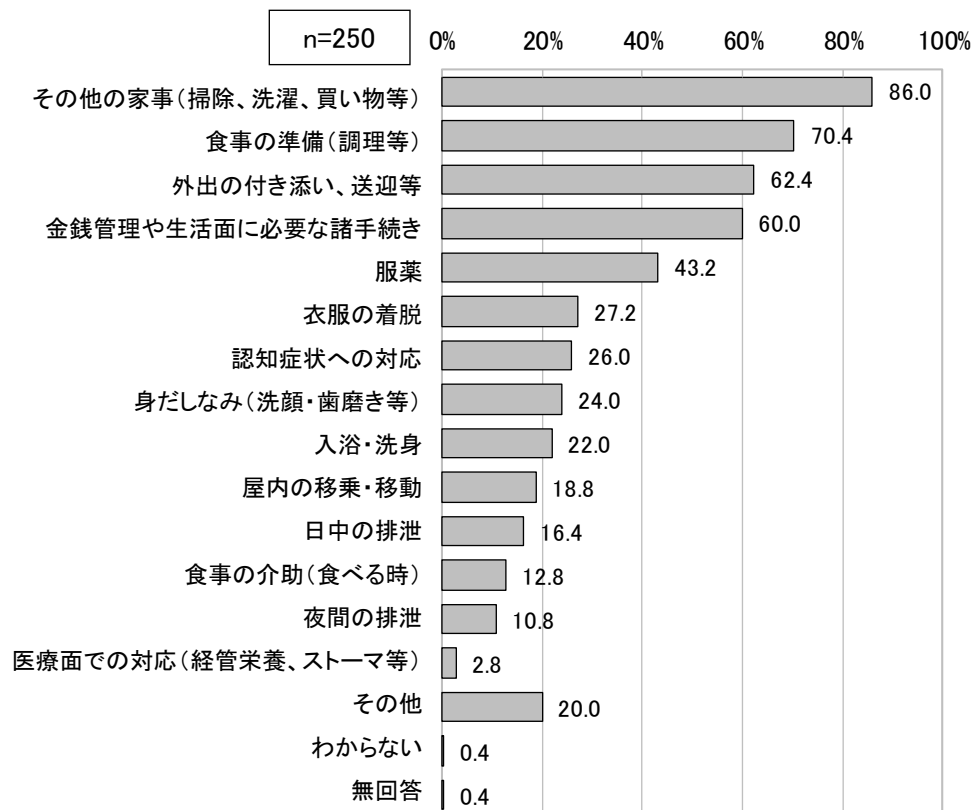
問 5: 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。



⑥ 主な介護者が行っている介護

○ 「その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)」 (86.0%)が最も多い

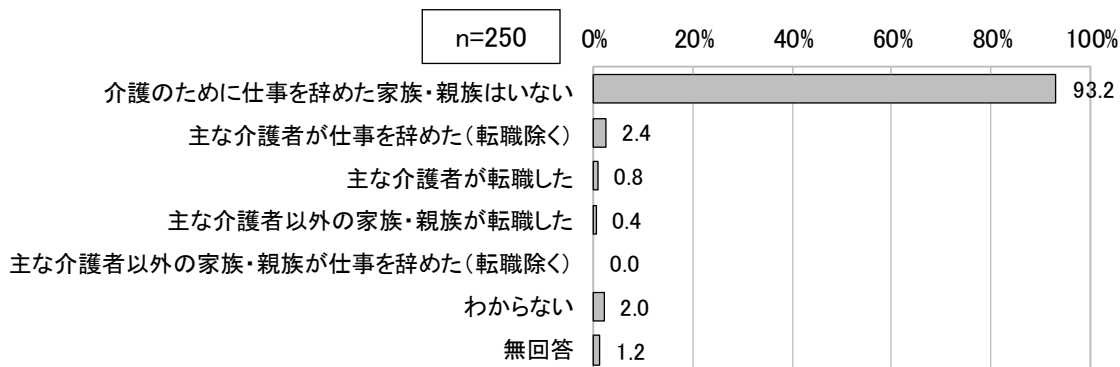
問 6: 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。【複数回答】



⑦ 介護のための離職の有無

○ 「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」(93.2%)が最も多い

問7:ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)。【複数回答】  
 ※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方も含みます。

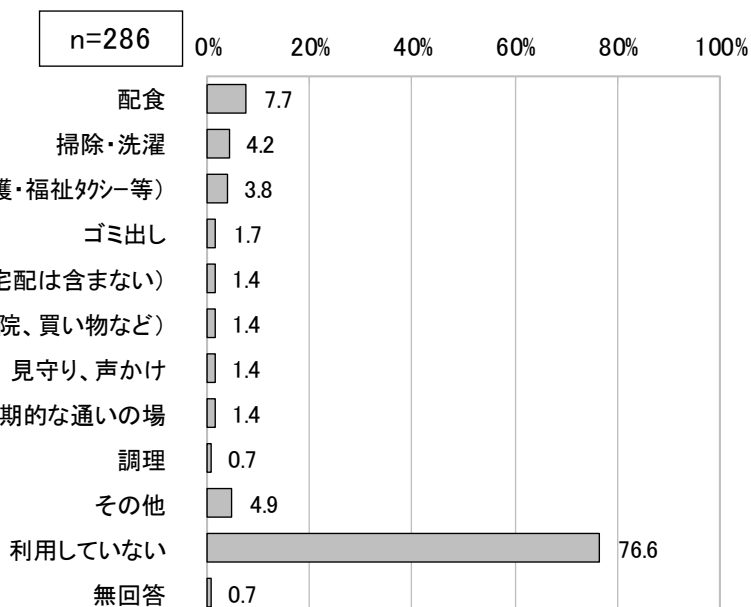


⑧ 保険外の支援・サービスの利用状況

○ 「利用していない」(76.6%)が最も多い  
 ○ 利用しているサービスの種類では「配食」(7.7%)が最も多い

問8:現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。  
 【複数回答】

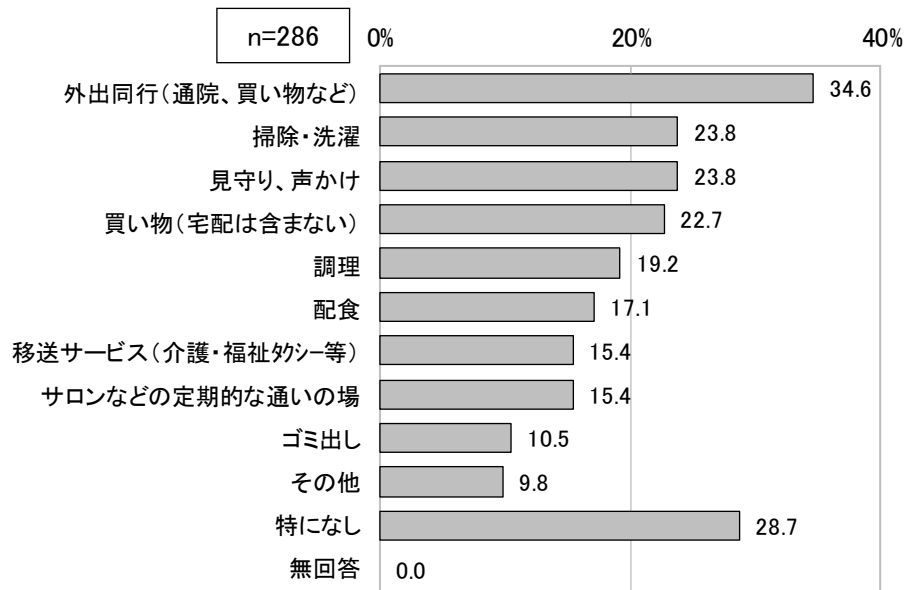
※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。



⑨ 在宅生活の継続のために必要な支援・サービス

○ 「外出同行 (通院、買い物など) 」 (34.6%) が最も多く、次いで「掃除・洗濯」 (23.8%)、  
「見守り、声かけ」 (23.8%)

問9: 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス (現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む) について、ご回答ください。【複数回答】  
※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

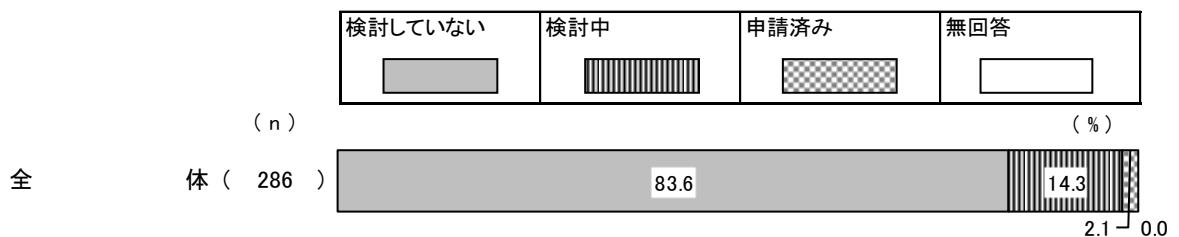


⑩ 施設等検討の状況

○ 「検討していない」 (83.6%) が最も多い

問 10: 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。

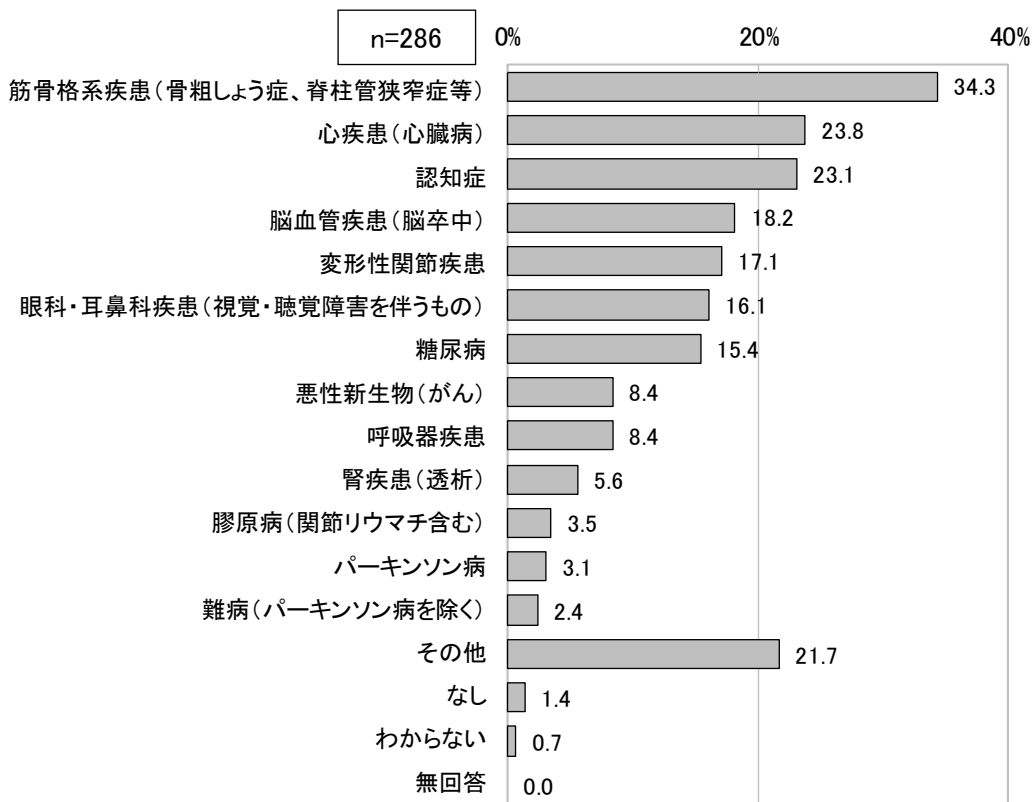
※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設 (有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。



⑪ 本人が抱えている傷病

○ 「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」(34.3%)が最も多く、次いで「心疾患(心臓病)」(23.8%)、「認知症」(23.1%)

問 11:ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。【複数回答】

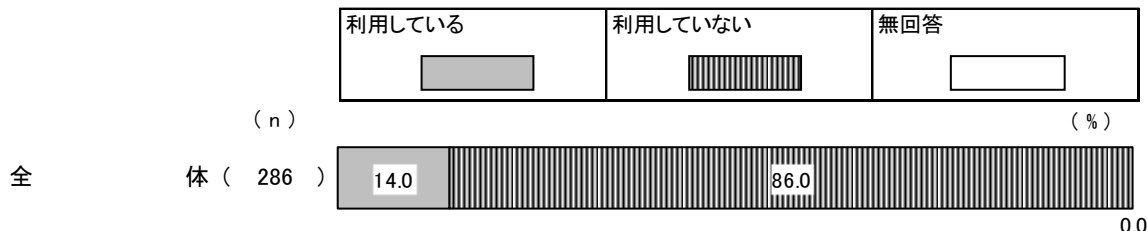


⑫ 訪問診療の利用の有無

○ 「利用していない」が 86.0%

問 12:ご本人(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか。

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

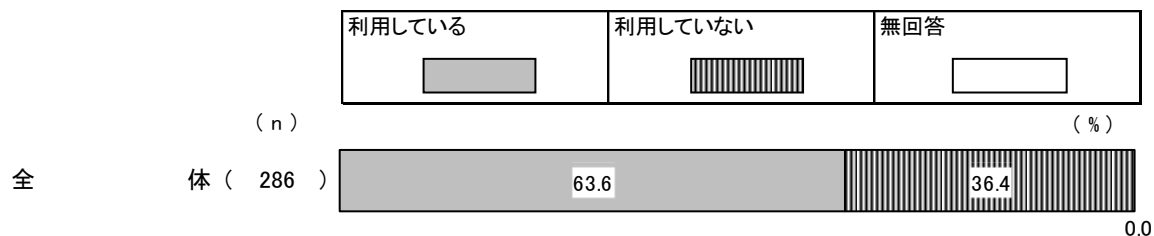




⑬ 介護保険サービスの利用の有無

○ 「利用している」が 63.6%

問 13: 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか。

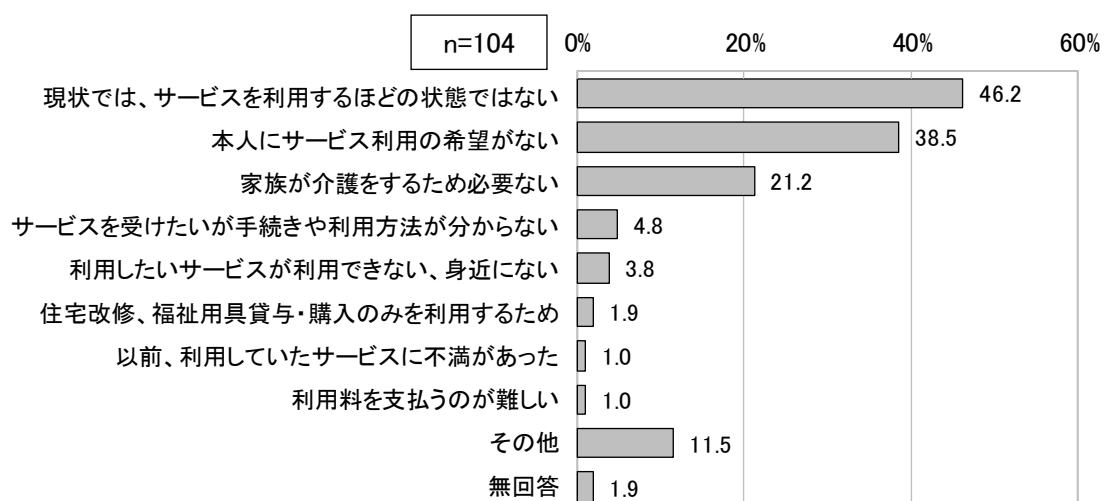


⑭ 介護保険サービス未利用の理由

○ 「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(46.2%)が最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」(38.5%)

【問 13 で「2.利用していない」と回答の方】

問 14: 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。【複数回答】



(2) 主な介護者の就労状況 (B票)

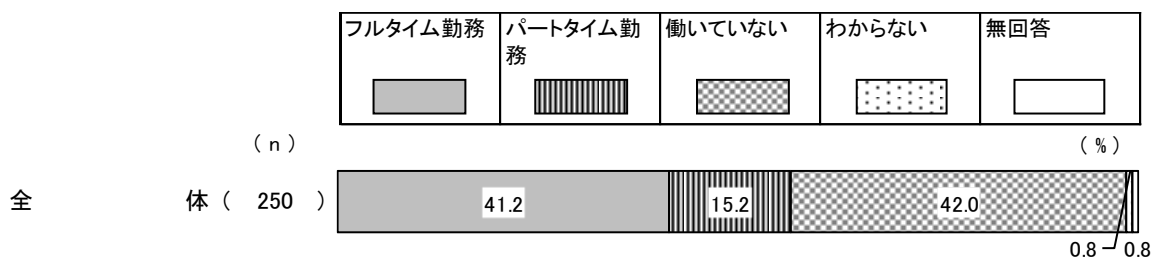
① 主な介護者の就労の有無・勤務形態

○ 就労している主な介護者は「フルタイム勤務」（41.2%）と「パートタイム勤務」（15.2%）を合わせると 56.4%

【A票の問 2 で「2.週 1 日未満」、「3.週 1～2 日」、「4.週 3～4 日」、「5.ほぼ毎日」と回答の方】

問 1: 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。

※「パートタイム」とは、「1 週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

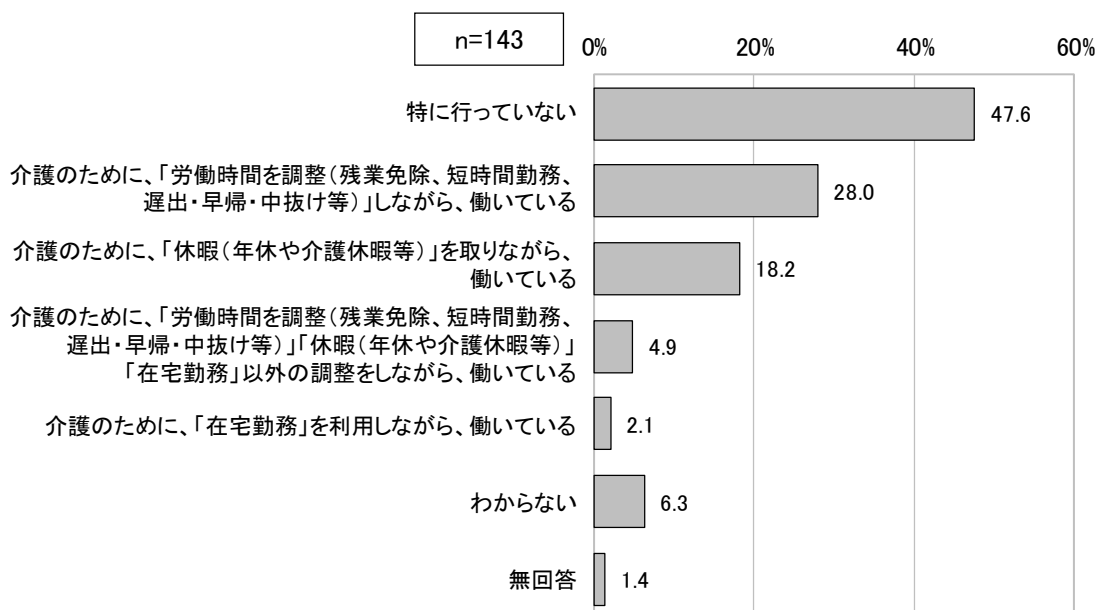


② 主な介護者の働き方の調整の状況

○ 働き方の調整を行っている場合では「「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」（28.0%）が最も多い

【問 1 で「1.フルタイムで働いている」、「2.パートタイムで働いている」と回答の方】

問 2: 主な介護者の方は、介護するにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。【複数回答】

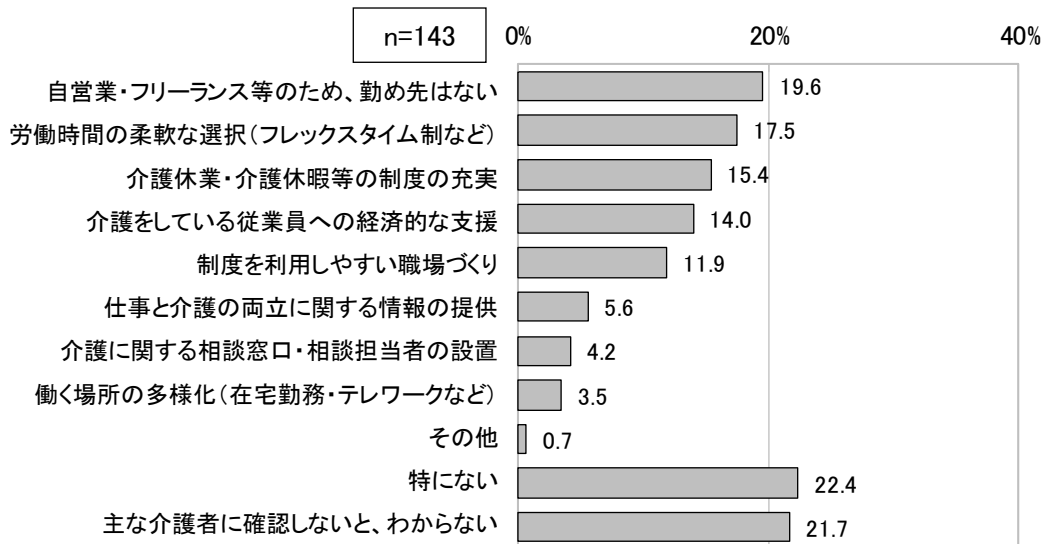


③ 就労継続のための勤め先からの効果的な支援

○ 主な介護者が、就労を継続するために効果があると考えている勤め先からの支援では、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」(17.5%)が最も多い

【問 1 で「1.フルタイムで働いている」、「2.パートタイムで働いている」と回答の方】

問 3: 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。【複数回答: 3 つまで】

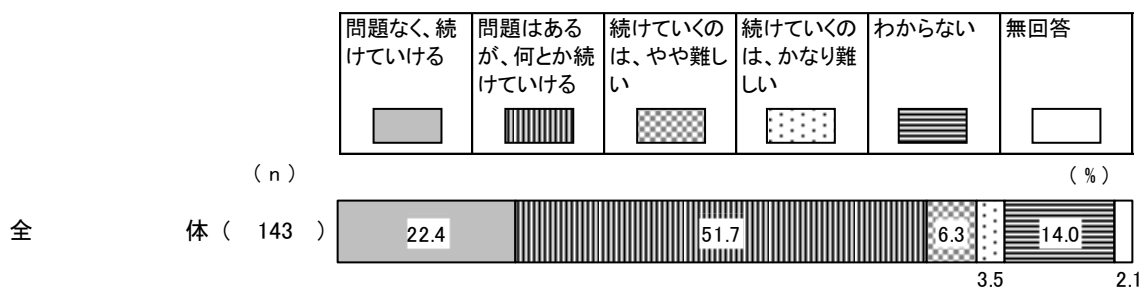


④ 主な介護者の就労継続見込

○ 「問題はあるが、何とか続けていける」(51.7%)が最も多い

【問 1 で「1.フルタイムで働いている」、「2.パートタイムで働いている」と回答の方】

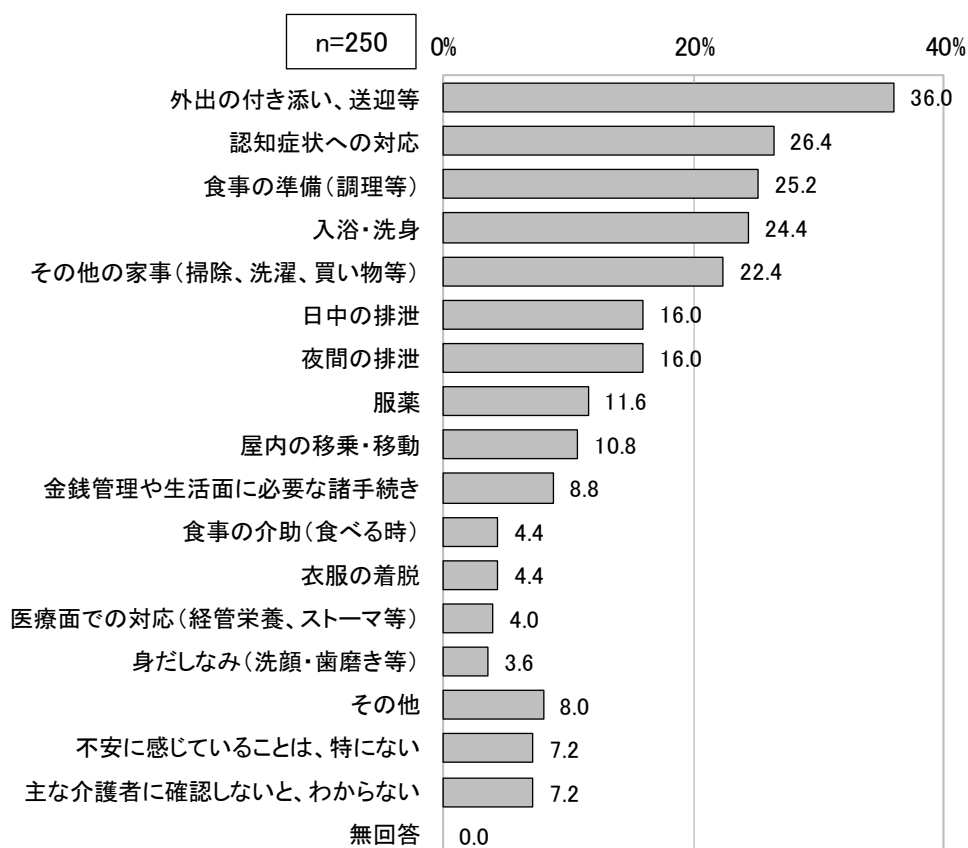
問 4: 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。



⑤ 今後の在宅生活の継続にあたり、主な介護者が不安に感じる介護

○ 「外出の付き添い、送迎等」（36.0%）が最も多く、次いで「認知症状への対応」（26.4%）、  
「食事の準備（調理等）」（25.2%）

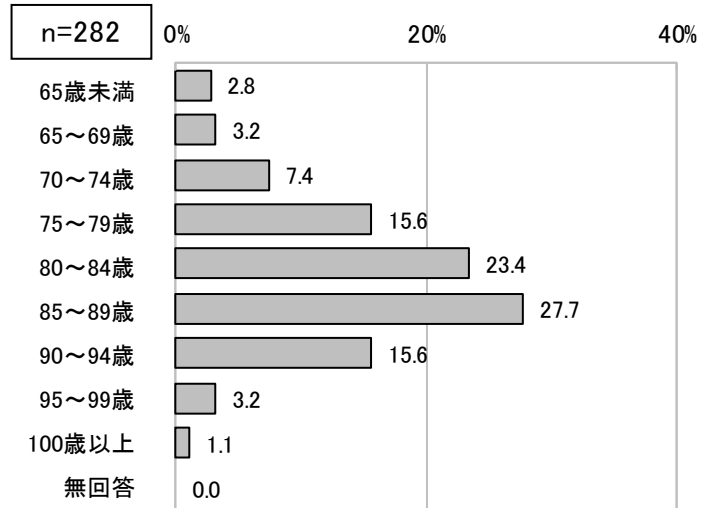
問 5: 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。（現状で行っているか否かは問いません）【複数回答: 3 つまで】



(3) 要介護認定データ

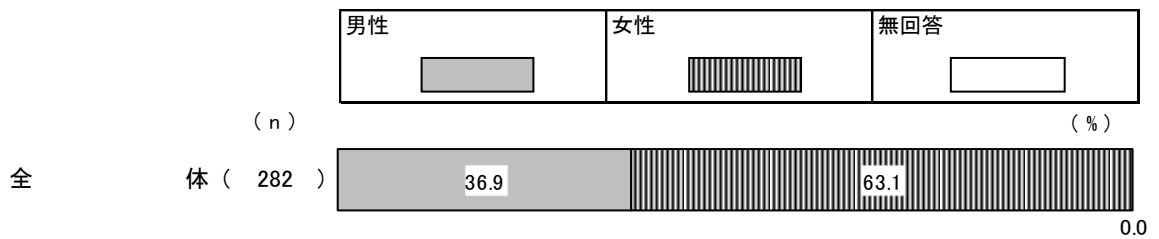
① 年齢

○ 「85～89 歳」(27.7%)が最も多く、次いで「80～84 歳」(23.4%)



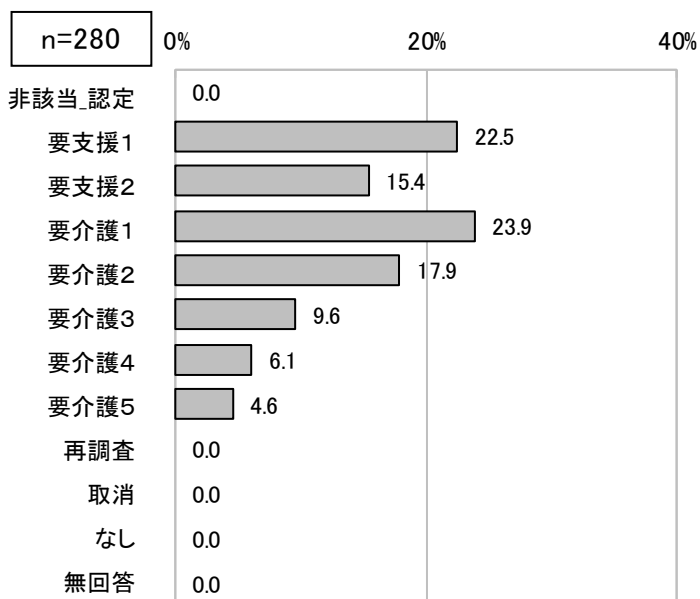
② 性別

○ 「女性」が 63.1%



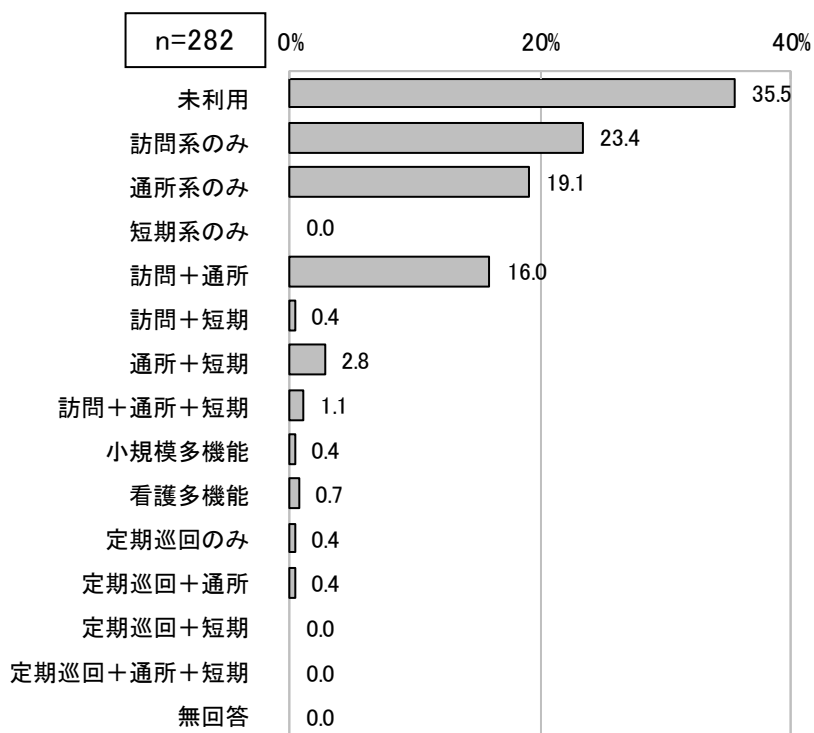
③ 要介護度(二次判定結果)

○ 「要介護 1」(23.9%)が最も多く、次いで「要支援 1」(22.5%)、「要介護 2」(17.9%)



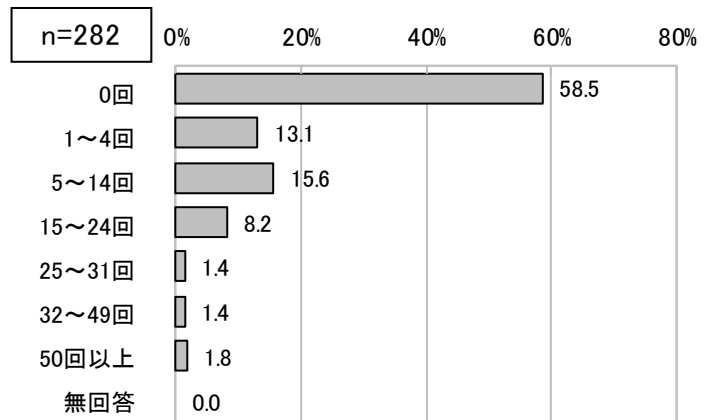
④ サービス利用の組み合わせ

○ 「未利用」(35.5%)が最も多く、次いで「訪問系のみ」(23.4%)、「通所系のみ」(19.1%)



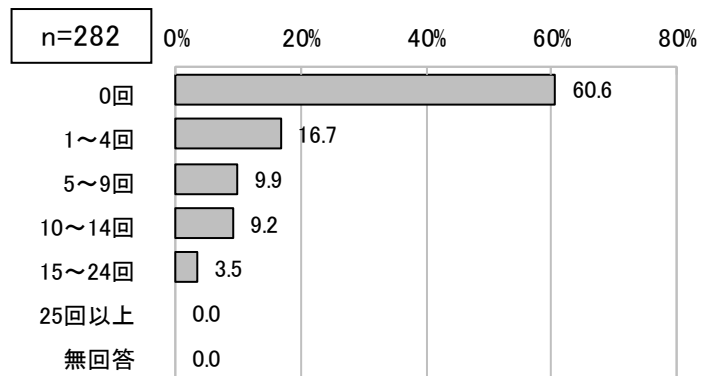
⑤ 訪問系サービスの合計利用回数(令和元年6月～令和元年11月)

○ 「0回」が58.5%であるが、利用者の中では「5～14回」(15.6%)が最も多い



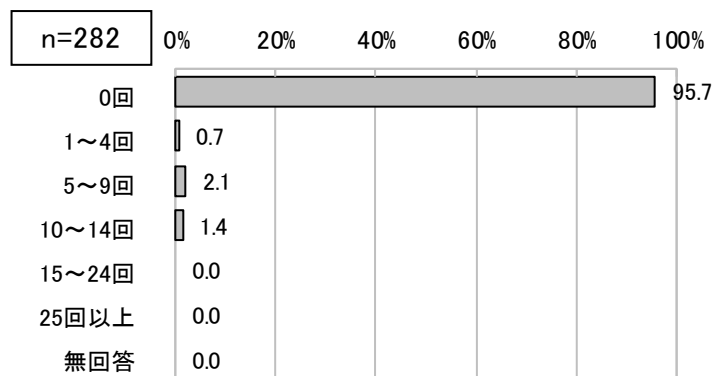
⑥ 通所系サービスの合計利用回数(令和元年6月～令和元年11月)

○ 「0回」が60.6%であるが、利用者の中では「1～4回」(16.7%)が最も多い



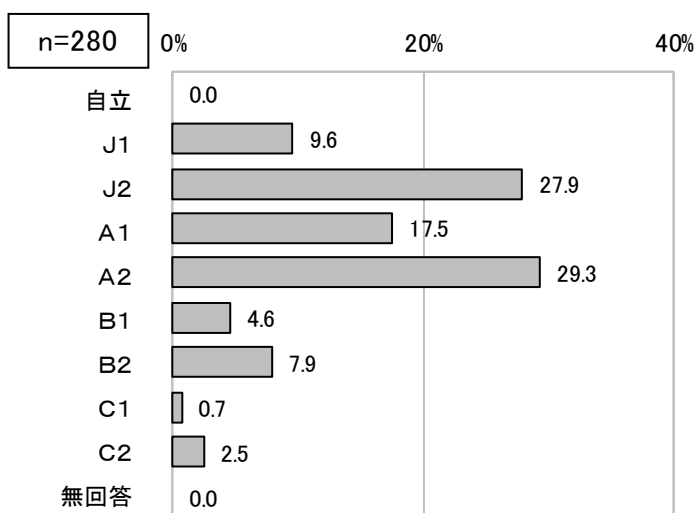
⑦ 短期系サービスの合計利用回数(令和元年6月～令和元年11月)

○ 「0回」が95.7%であるが、利用者の中では「5～9回」(2.1%)が最も多い



⑧ 障害高齢者の日常生活自立度

○ 「A2」（29.3%）が最も多く、次いで「J2」（27.9%）



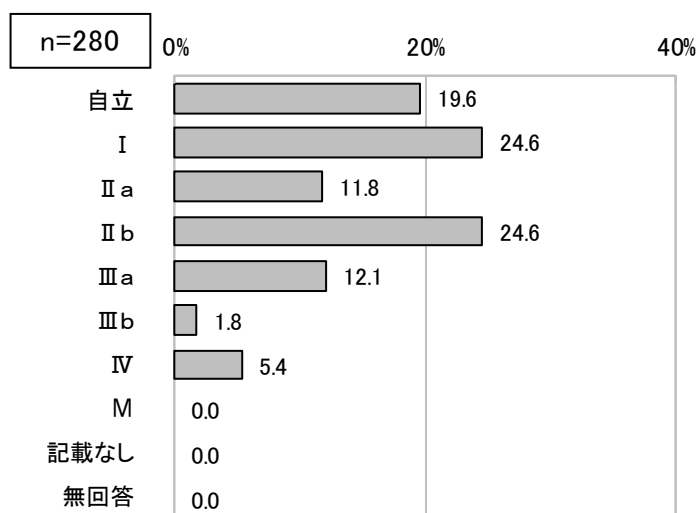
障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)判定基準

生活自立	ランクJ	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。 (1) 交通機関等を利用して外出する。 (2) 隣近所へなら外出する。
準寝たきり	ランクA	屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出しない。 (1) 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する。 (2) 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている。
寝たきり	ランクB	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保つ。 (1) 車椅子に移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う。 (2) 介助により車椅子に移乗する。
	ランクC	1日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、差替において介助を要する。 (1) 自力で寝返りをうつ。 (2) 自力では寝返りもうたない。



⑨ 認知症高齢者の日常生活自立度

○ 「I」(24.6%)、「II b」(24.6%)が最も多く、次いで「自立」(19.6%)



認知症高齢者の日常生活自立度

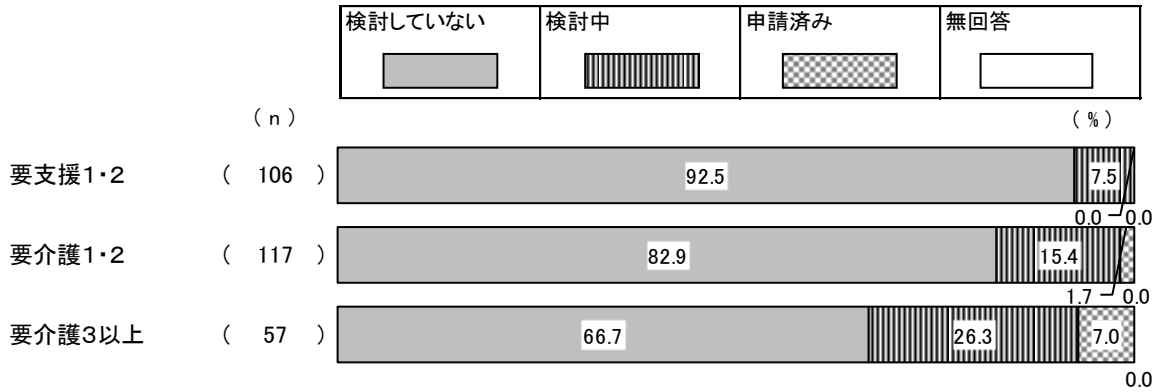
I	認知症を有するが、家庭内・社会で日常生活は自立
II	生活に支障ある症状等があるが、他者の注意あれば自立 a:家庭外で、上記の状態がみられる b:家庭内でも、上記の状態がみられる
III	日常生活に支障ある症状等があり、介護が必要 a:日中を中心として、上記の状態がみられる b:夜間を中心として、上記の状態がみられる
IV	日常生活に支障ある症状等が頻繁にあり、常時の介護要
M	著しい精神症状・周辺症状がみられ、専門医が必要

## 2. テーマ別分析

### (1) 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

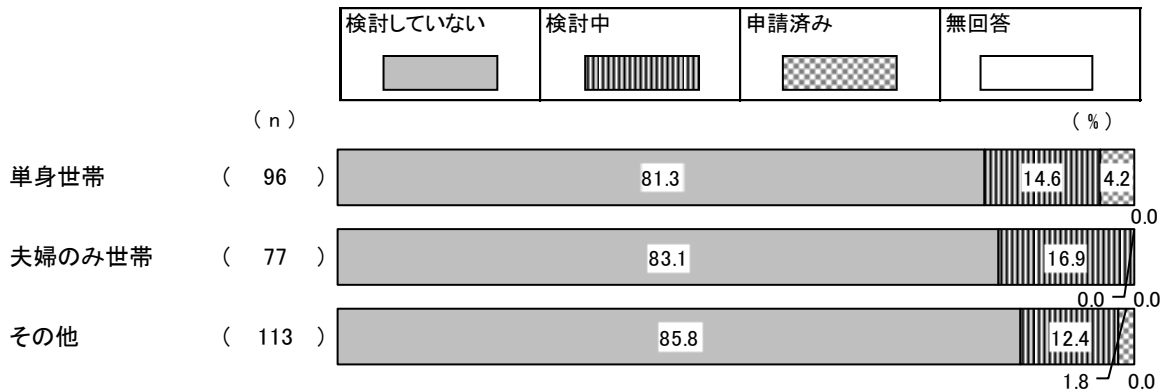
#### ① 要介護度別・施設等検討の状況

- すべての要介護度で「検討していない」が最も多い
- 要介護度の重度化に伴い、「検討中」及び「申請済み」の割合が高くなる



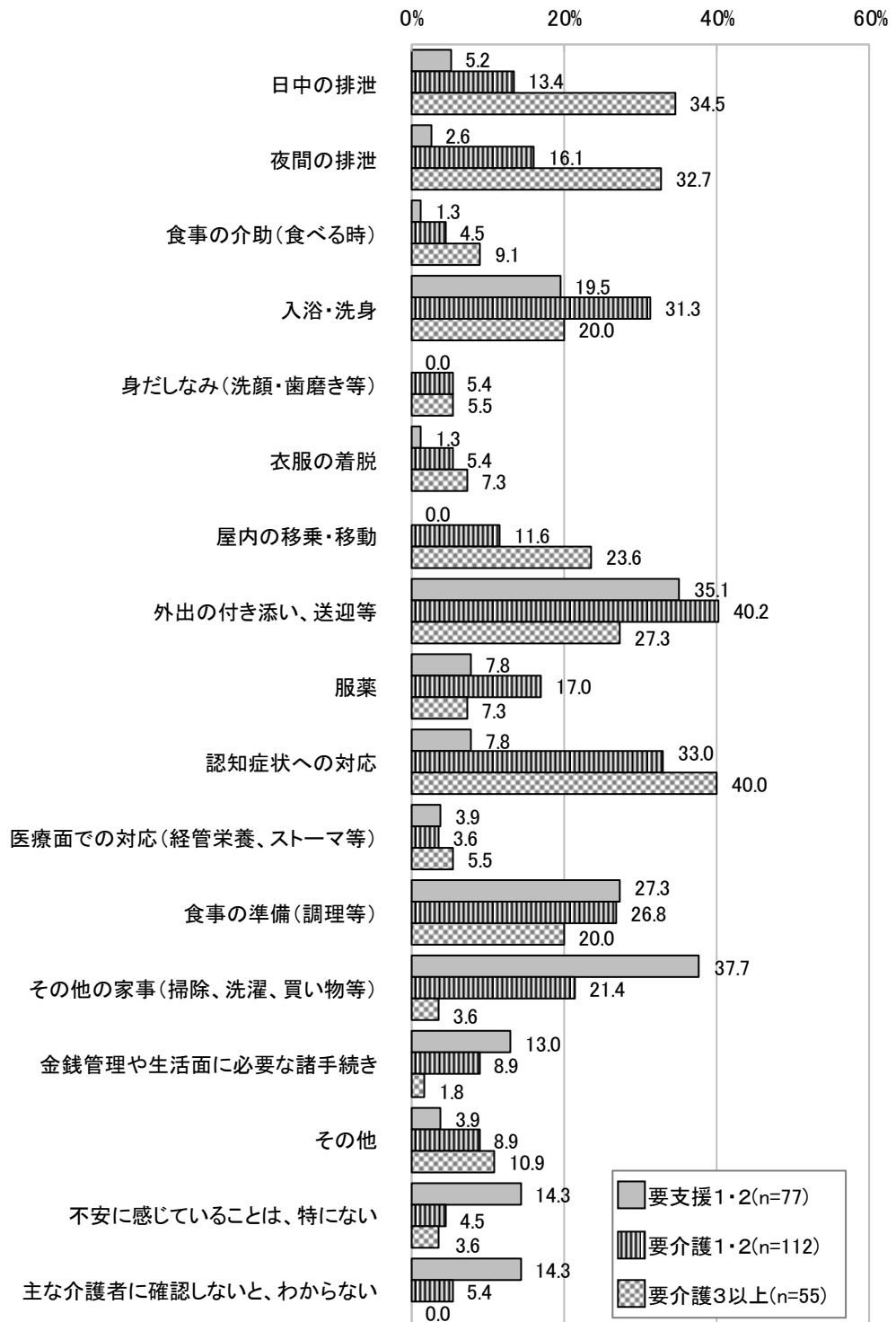
#### ② 世帯類型別・施設等検討の状況

- 「検討していない」がいずれの世帯類型でも8割以上を占める
- 世帯類型別に見ると、「検討していない」、「検討中」、「申請済み」の割合に大きな差は見られない



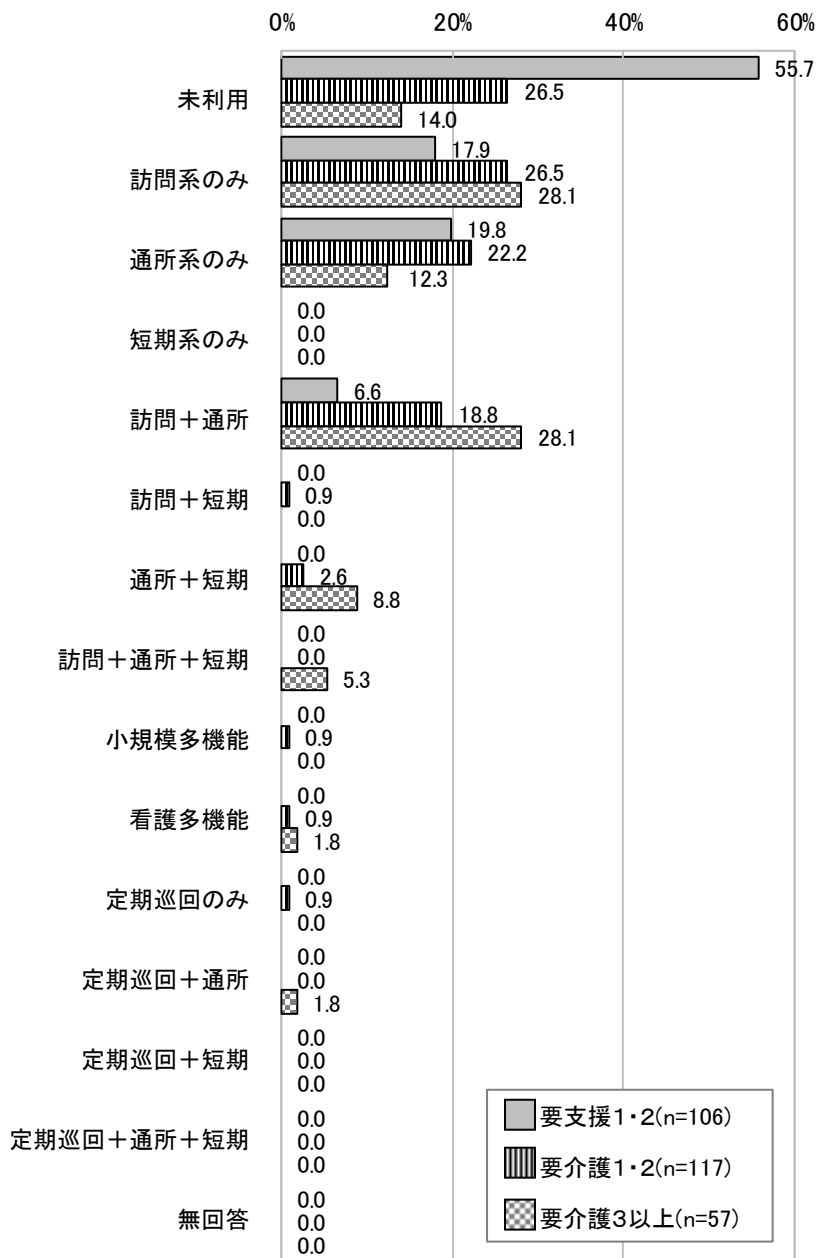
③ 要介護度別・介護者が不安に感じる介護【複数回答】

- 要支援1・2では「その他の家事(掃除・洗濯・買い物等)」(37.7%)が最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」(35.1%)
- 要介護1・2では「外出の付き添い、送迎等」(40.2%)が最も多く、次いで「認知症状への対応」(33.0%)、「入浴・洗身」(31.3%)
- 要介護3以上では「認知症状への対応」(40.0%)が最も多く、次いで「日中の排泄」(34.5%)、「夜間の排泄」(32.7%)



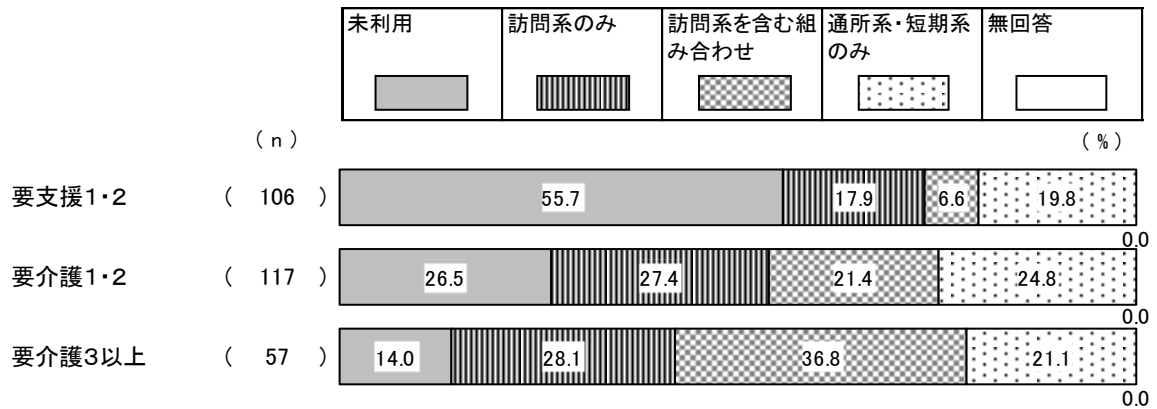
④ 要介護度別・サービス利用の組み合わせ

- 要支援 1・2 では「未利用」(55.7%)が最も多い
- 要介護 1・2 では「未利用」(26.5%)、「訪問系のみ」(26.5%)が最も多く、次いで「通所系のみ」(22.2%)
- 要介護 3 以上では「訪問系のみ」(28.1%)、「訪問+通所」(28.1%)が最も多い



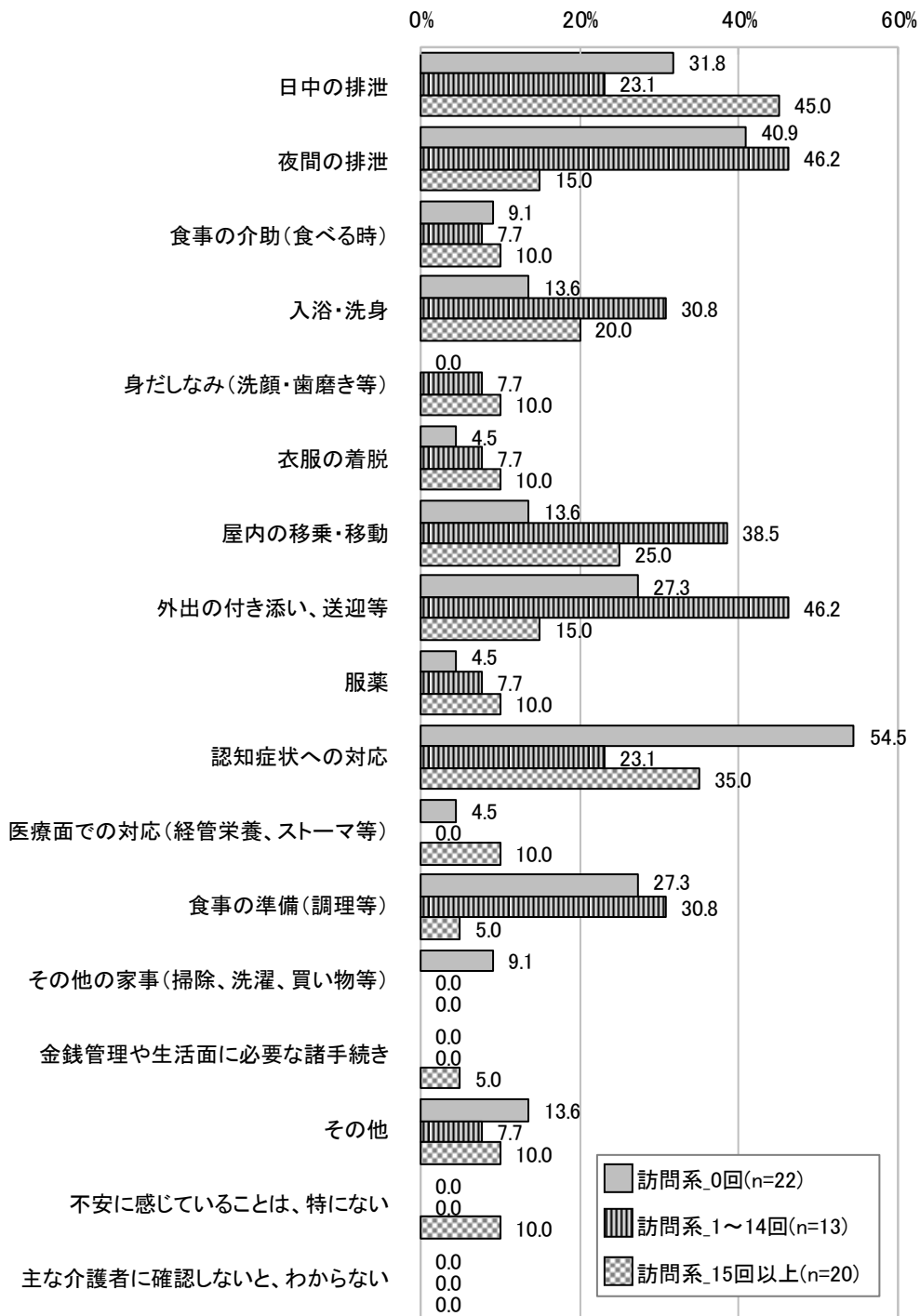
⑤ 要介護度別・サービス利用の組み合わせの内訳(要介護度別の利用サービスの割合)

- 要支援1・2では「未利用」(55.7%)が最も多い
- 要介護1・2では「訪問系のみ」(27.4%)が最も多く、次いで「未利用」(26.5%)
- 要介護3以上では「訪問系を含む組み合わせ」(36.8%)が最も多く、次いで「訪問系のみ」(28.1%)
- 要介護度の重度化に伴い、「訪問系を含む組み合わせ」の割合が高くなる



⑥ 訪問系サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（要介護 3 以上）

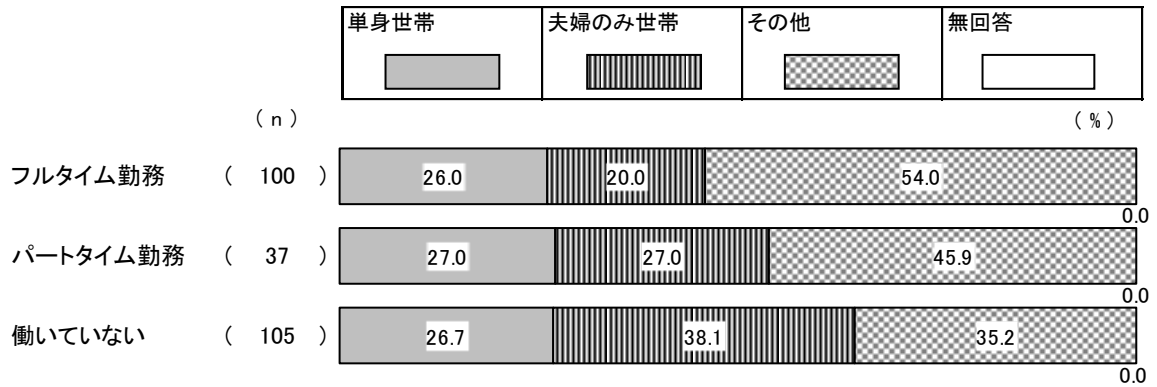
○ 「夜間の排泄」、「食事の準備（調理等）」において、訪問系サービスの利用回数が多くなると、介護者の不安が軽減する傾向が見られる



(2) 仕事と介護の両立に向けた支援

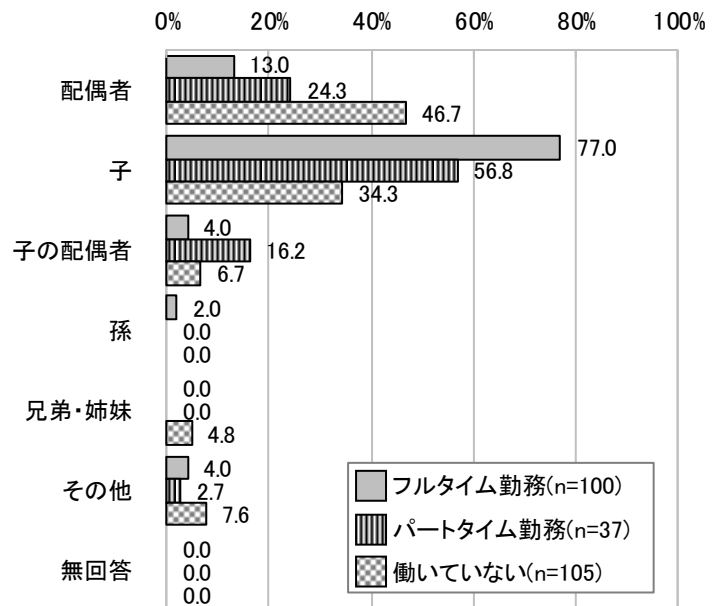
① 主な介護者の就労状況別・世帯類型

- 主な介護者が就労している世帯は「その他」(フルタイム 54.0%、パートタイム 45.9%) が最も多い
- 主な介護者が就労していない世帯は「夫婦のみ世帯」(38.1%) が最も多い



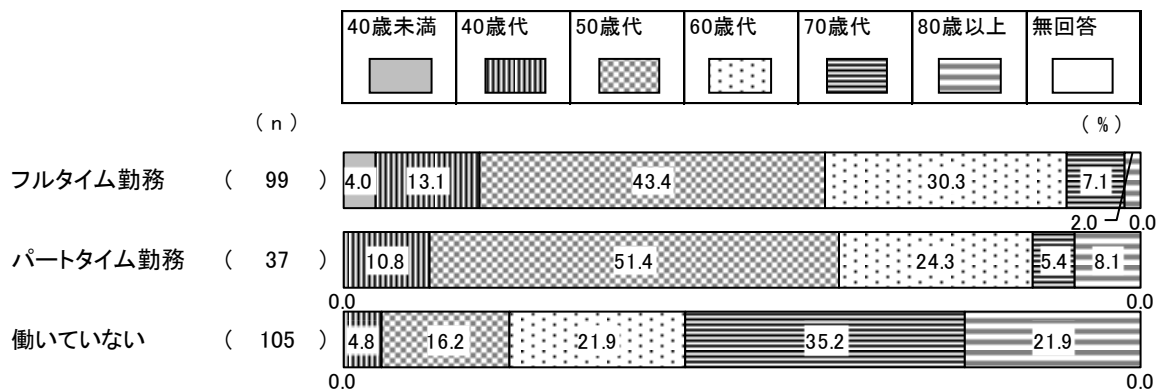
② 主な介護者の就労状況別・本人との関係

- 就労している介護者は「子」(フルタイム 77.0%、パートタイム 56.8%) が最も多い
- 就労していない介護者は「配偶者」(46.7%) が最も多く、次いで「子」(34.3%)



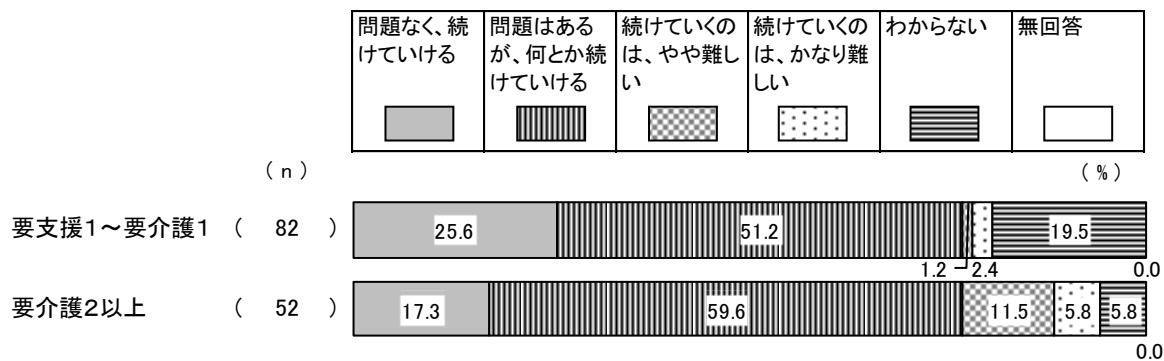
③ 主な介護者の就労状況別・主な介護者の年齢

- 就労している介護者は「50歳代(フルタイム 43.4%、パートタイム 51.4%)」が最も多い
- 就労していない介護者は「70歳代」(35.2%)が最も多く、次いで「60歳代」(21.9%)、「80歳以上」(21.9%)



④ 要介護度別・就労継続見込み(フルタイム勤務・パートタイム勤務)

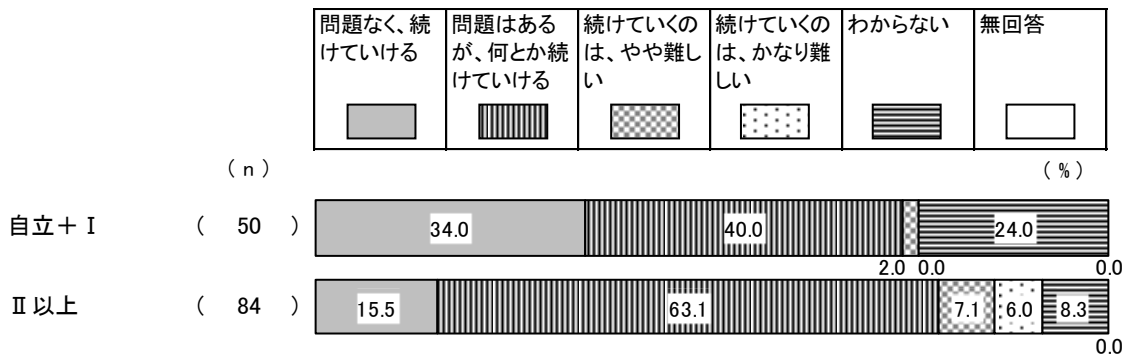
- 「問題なく、続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」を合わせた就労継続が見込まれる人の割合は、要支援1～要介護1、要介護2以上ともに大きな差は見られない
- 要介護2以上では、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を合わせた就労継続が難しい人の割合が高くなる





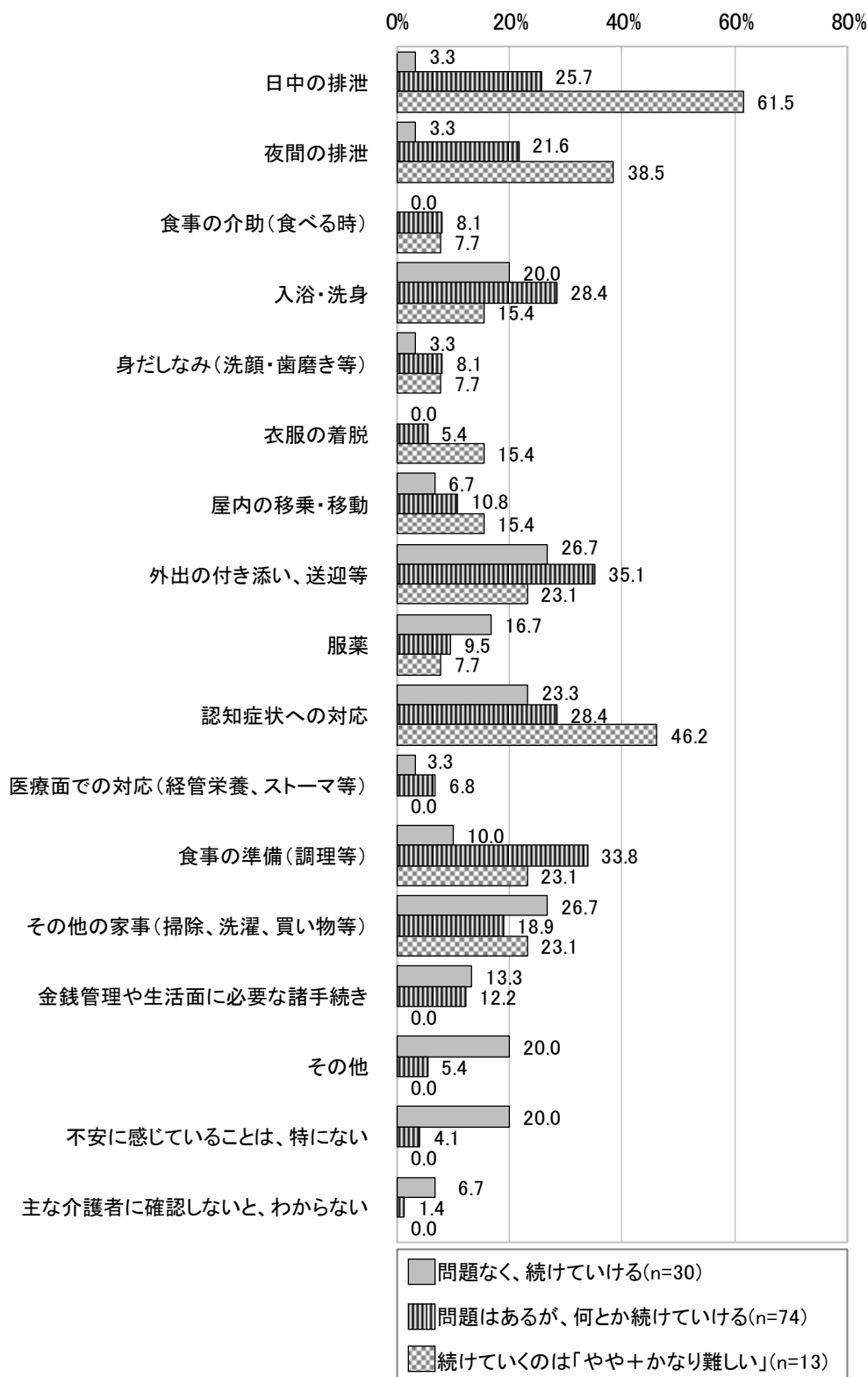
⑤ 認知症自立度別・就労継続見込み(フルタイム勤務・パートタイム勤務)

- 「問題なく、続けていける」が自立+I では 34.0%、II 以上では 15.5%
- 「問題なく、続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」を合わせた就労継続が見込まれる人の自立度別の割合に、大きな差は見られない



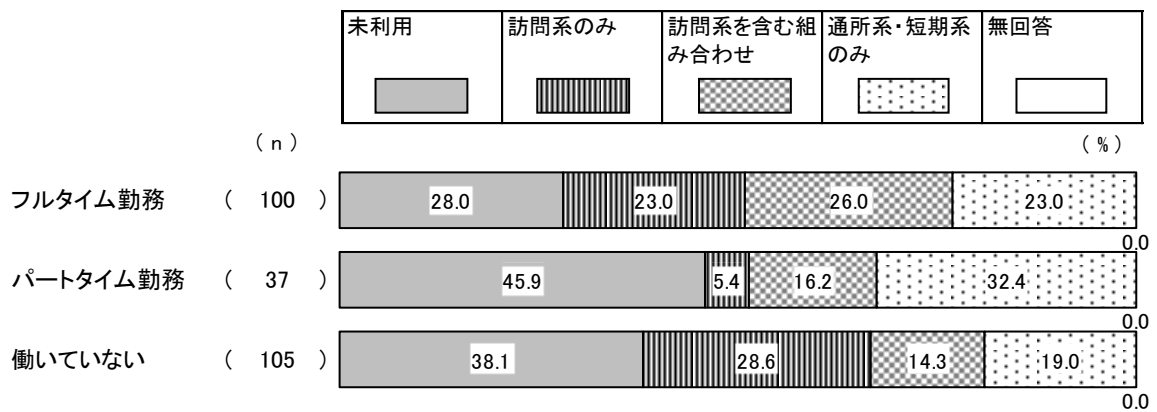
⑥ 就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務・パートタイム勤務）

○ 就労を続けていくのがやや又はかなり難しい人は、「日中の排泄」（61.5%）が最も多い



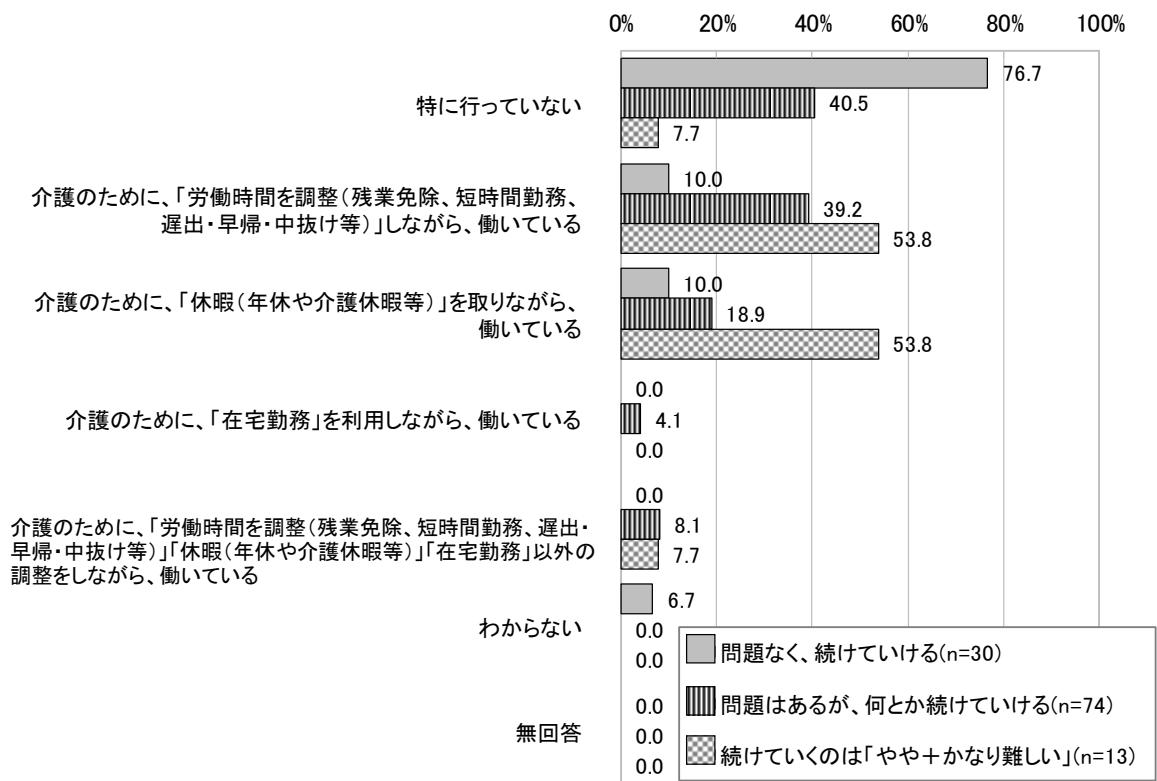
⑦ 就労状況別・サービスの組み合わせ

○ 「訪問系を含む組み合わせ」ではフルタイム(26.0%)が最も多い



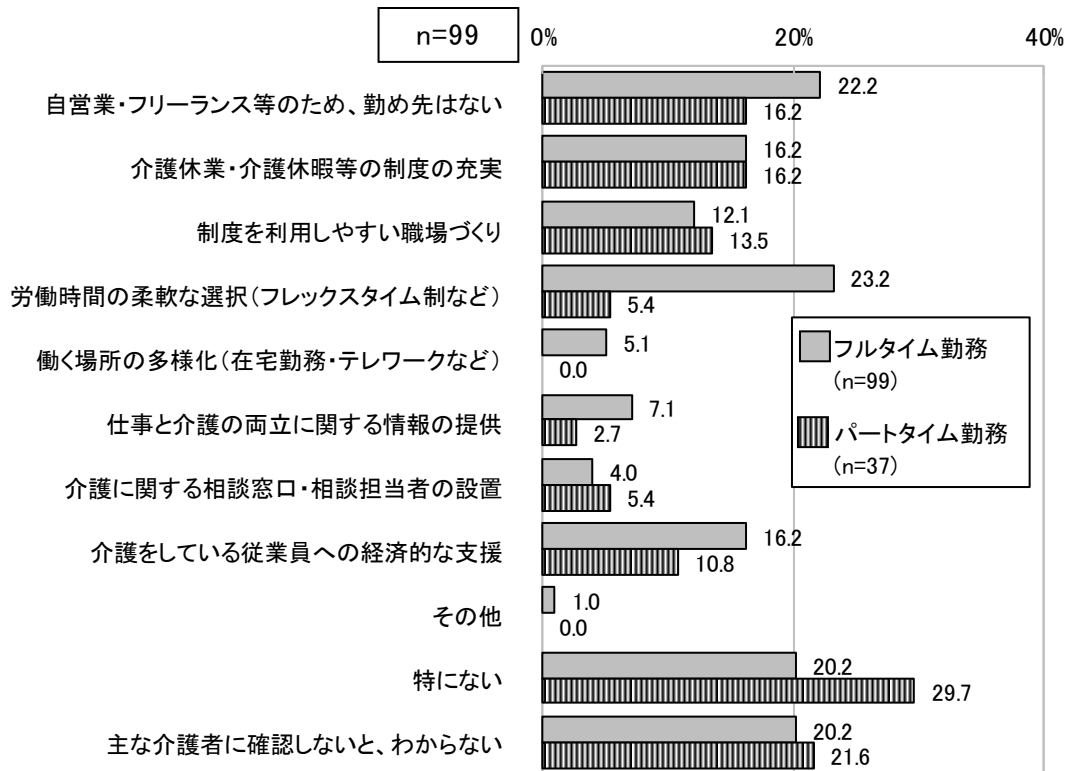
⑧ 就労継続見込み別・介護のための働き方の調整(フルタイム勤務・パートタイム勤務)

○ 就労を問題なく、続けていける人は、「特に行っていない」(76.7%)が最も多い  
 ○ 就労を続けていくのがやや又はかなり難しい人は、半数以上が労働時間の調整又は休暇の取得により、介護時間を確保しながら働いている



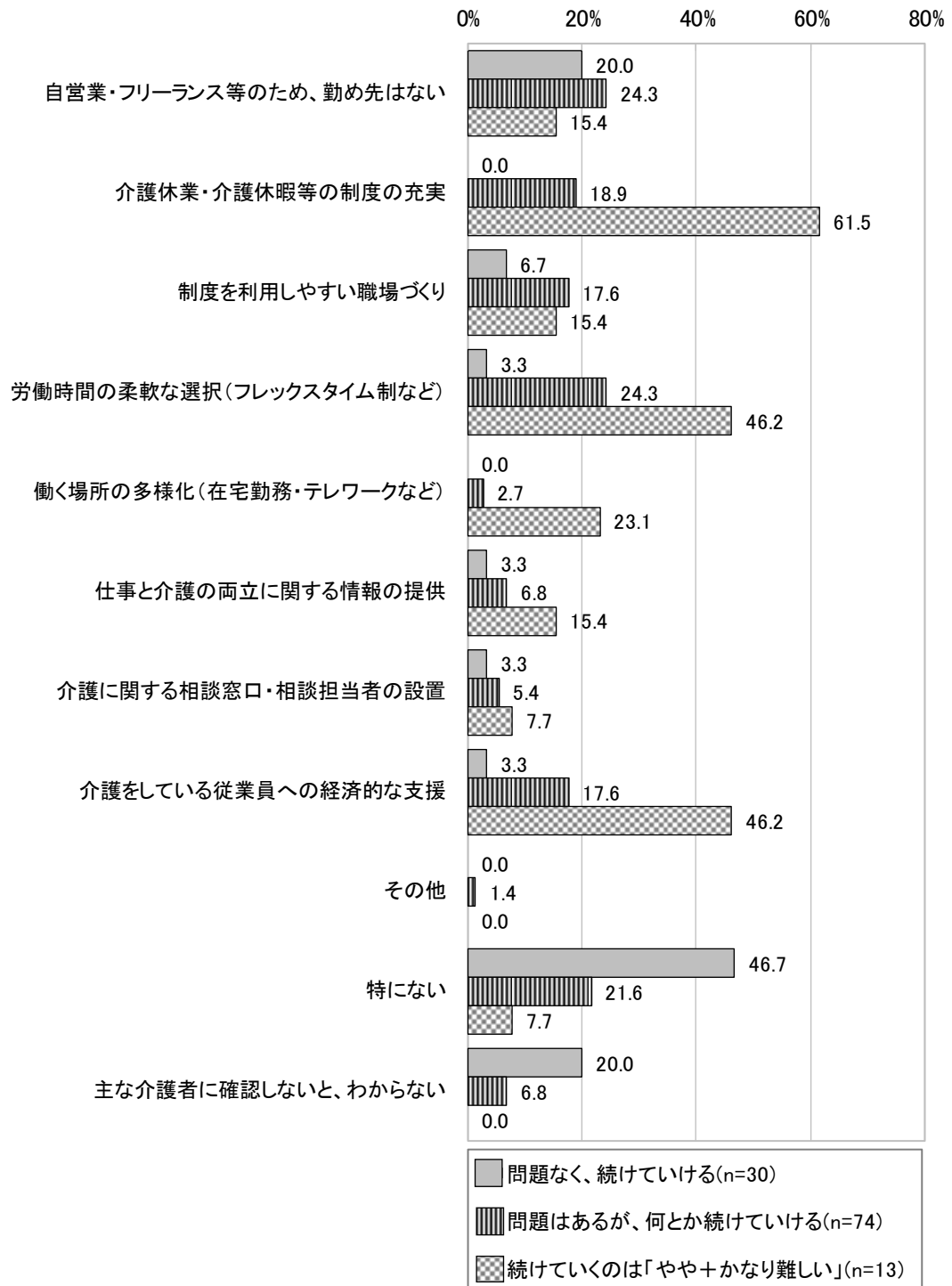
⑨ 就労状況別・勤め先からの効果的な支援

- フルタイム勤務では「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」(23.2%)が最も多く、次いで「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」(22.2%)
- パートタイム勤務では「特にない」(29.7%)が最も多く、次いで「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」(16.2%)、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(16.2%)



⑩ 就労継続見込み別・勤め先からの効果的な支援(フルタイム勤務・パートタイム勤務)

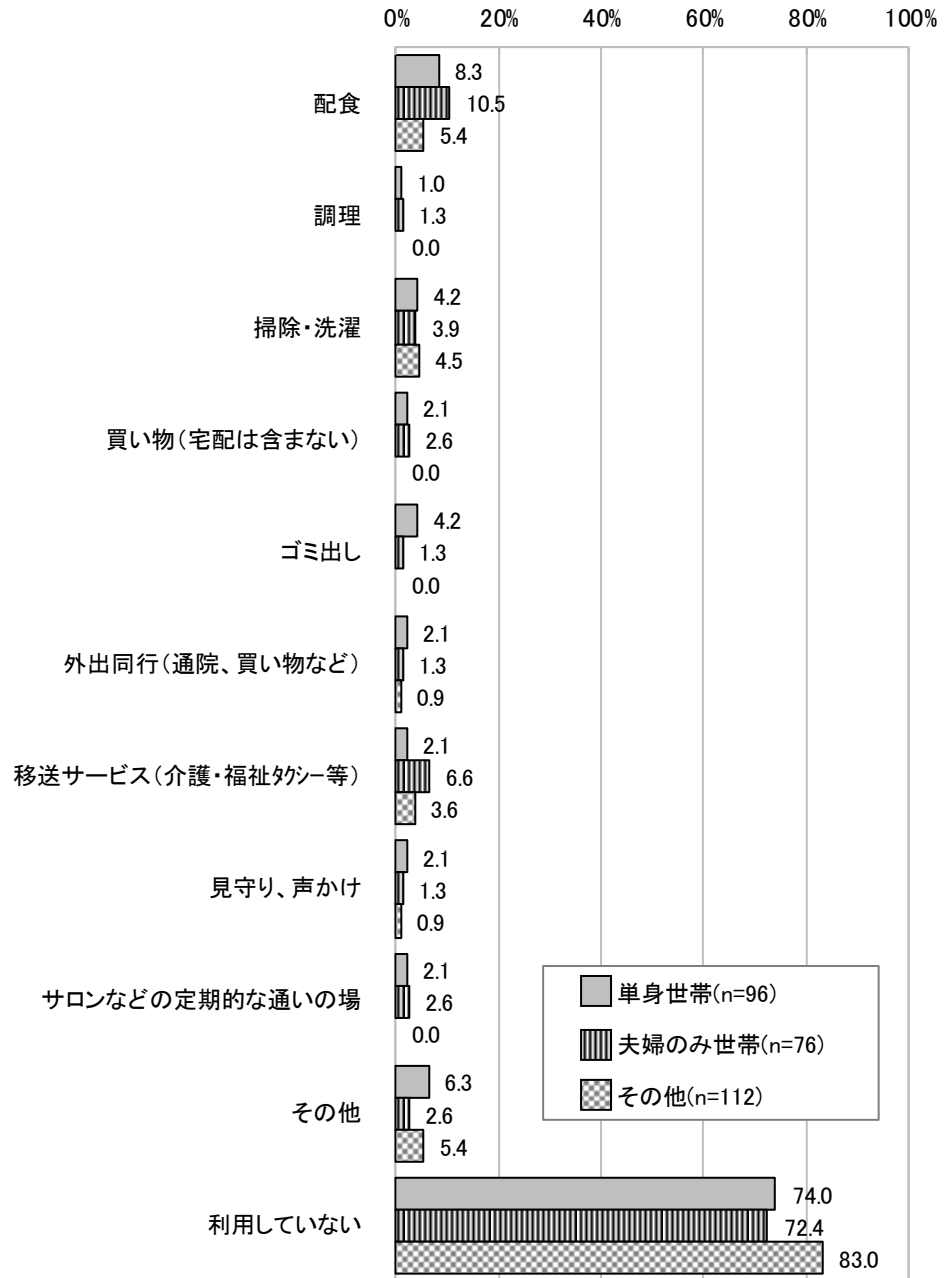
- 就労を続けていくのはやや又はかなり難しい人では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(61.5%)が最も多い
- 就労継続が難しいと感じている人ほど「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」及び「介護をしている従業員への経済的な支援」を求める割合が高い



(3) 保険外の支援を中心とした地域資源の整備

① 世帯類型別・保険外の支援・サービスの利用状況

- いずれの世帯類型でも「利用していない」の割合が7割を超える
- 利用しているサービスでは、いずれの世帯類型でも「配食」の割合が高い

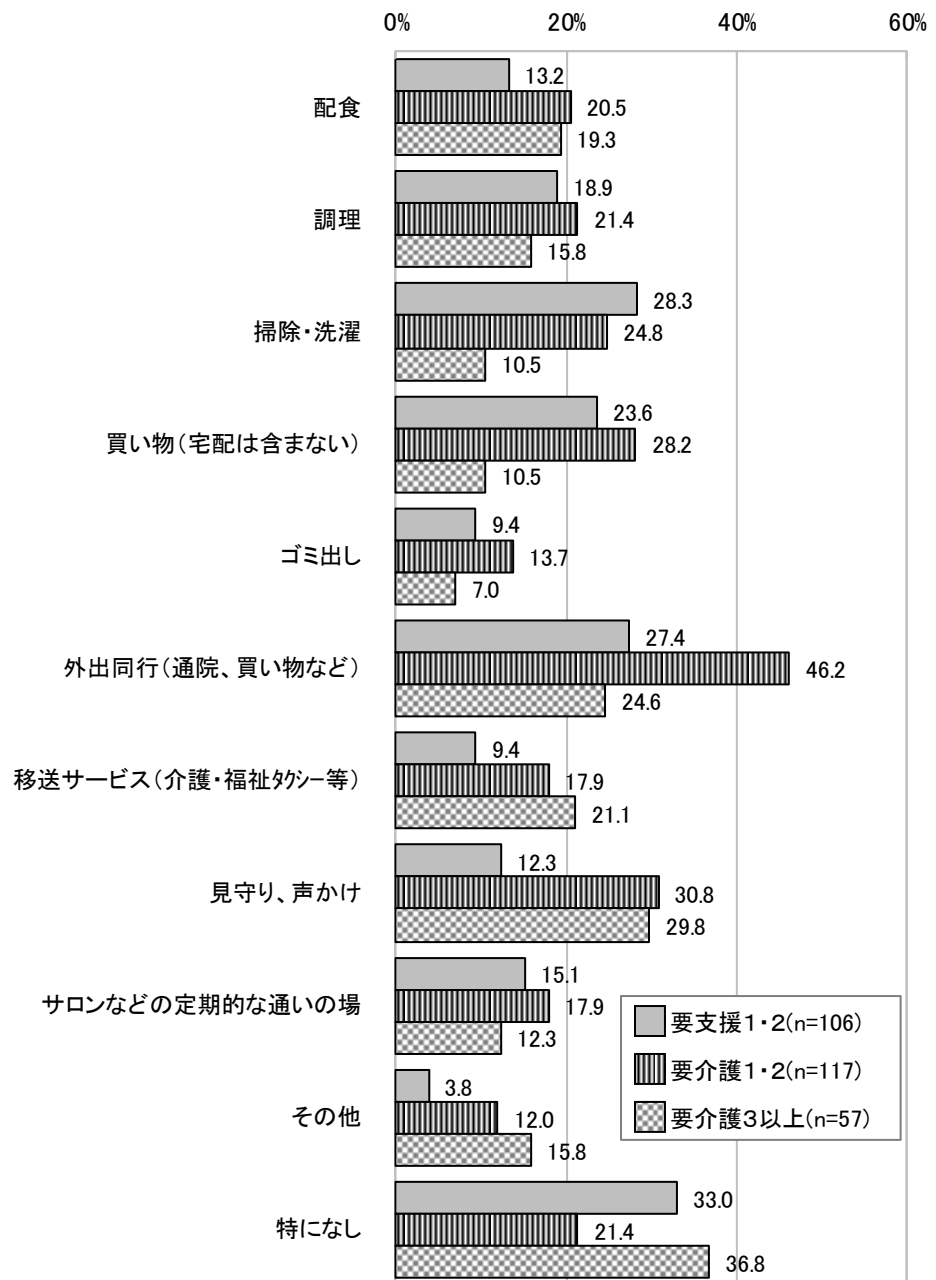


② 世帯類型別・要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

ア 全体

- 要支援1・2では「特になし」(33.0%)が最も多く、次いで「掃除・洗濯」(28.3%)、「外出同行(通院、買い物など)」(27.4%)
- 要介護1・2では「外出同行(通院、買い物など)」(46.2%)が最も多く、次いで「見守り、声かけ」(30.8%)、「買い物(宅配は含まない)」(28.2%)
- 要介護3以上では「特になし」(36.8%)が最も多く、次いで「見守り、声かけ」(29.8%)

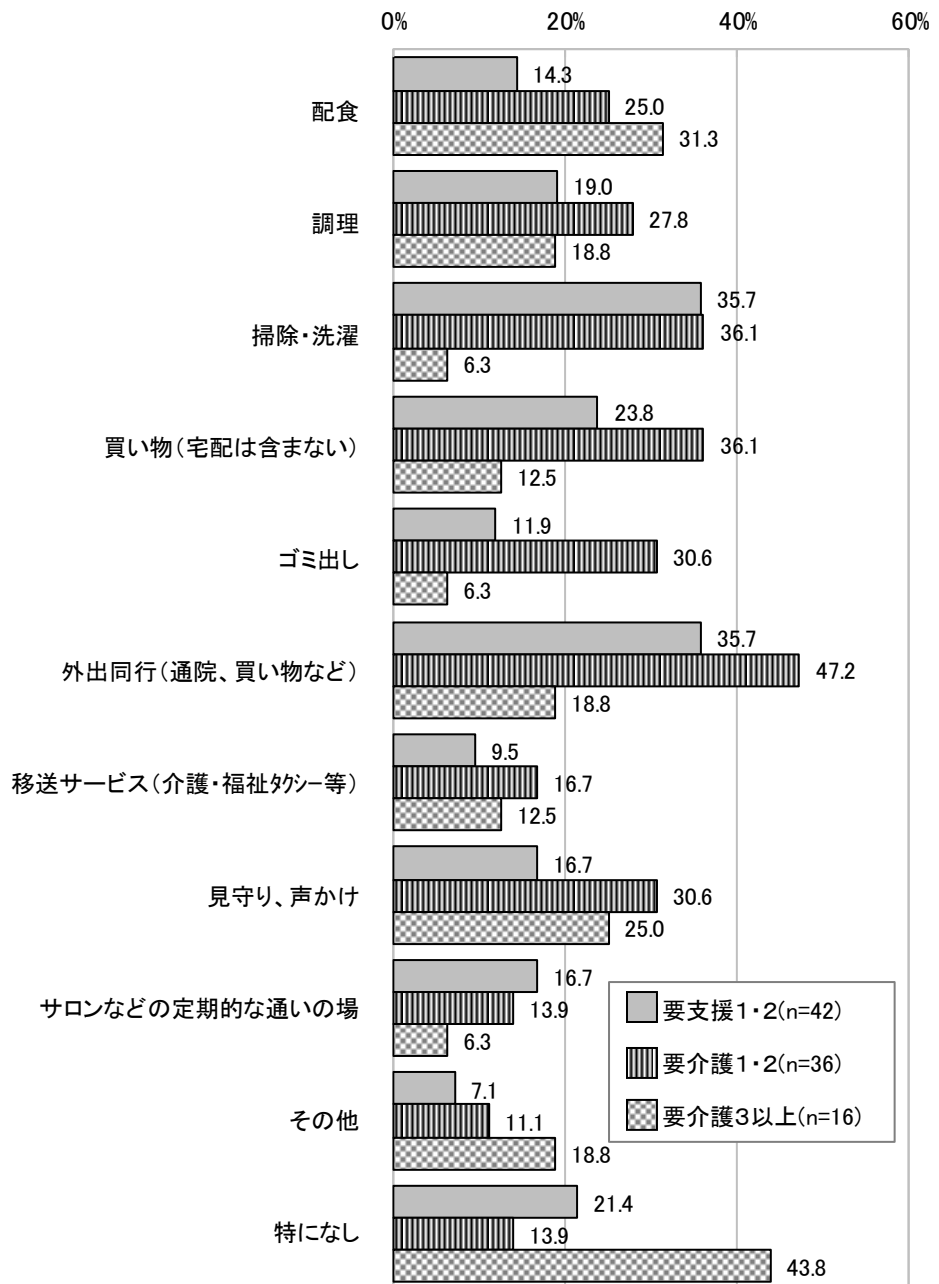
<要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(全体)>



イ 単身世帯

- 要支援1・2では「掃除・洗濯」（35.7%）、「外出同行（通院・買い物など）」（35.7%）が最も多い
- 要介護1・2では「外出同行（通院、買い物など）」（47.2%）が最も多く、次いで「掃除・洗濯」（36.1%）、「買い物（宅配は含まない）」（36.1%）
- 要介護3以上では「特になし」（43.8%）が最も多く、次いで「配食」（31.3%）

<要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(単身世帯)>

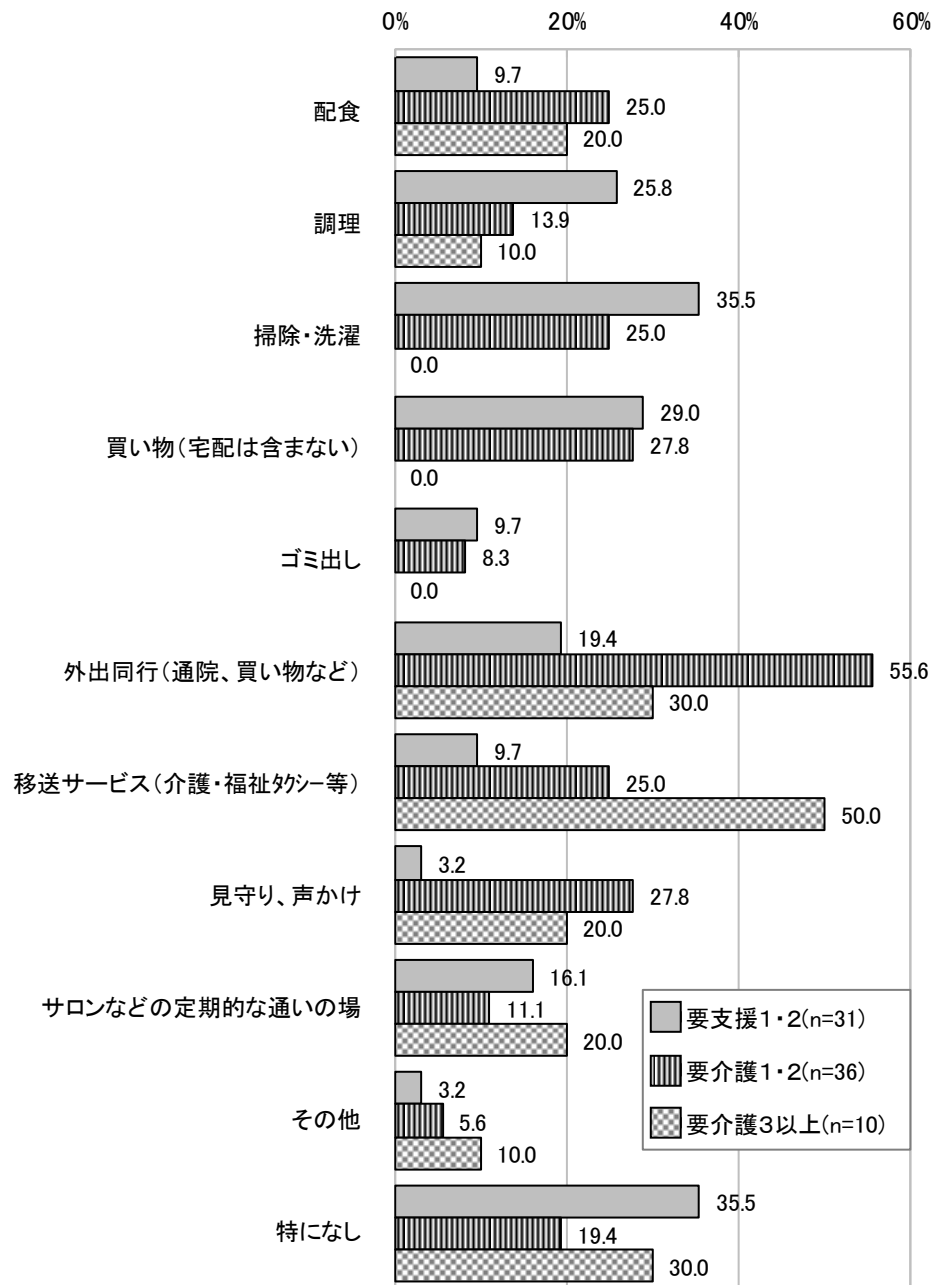




ウ 夫婦のみ世帯

- 要支援1・2では「掃除・洗濯」(35.5%)、「特になし」(35.5%)が最も多い
- 要介護1・2では「外出同行(通院、買い物など)」(55.6%)が最も多い
- 要介護3以上では「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(50.0%)が最も多い

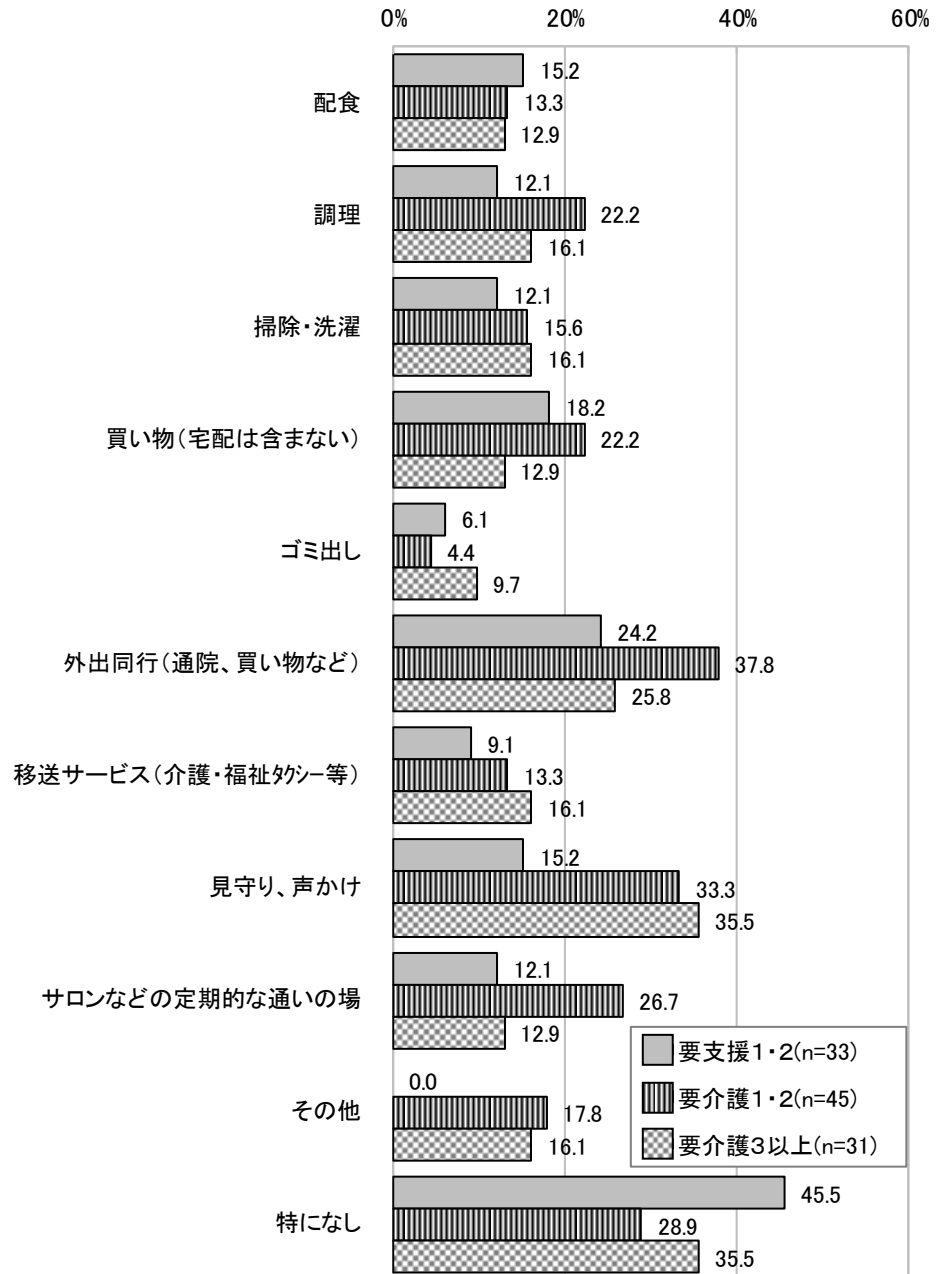
<要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(夫婦のみ世帯)>



エ その他の世帯

- 要支援1・2では「特になし」(45.5%)が最も多く、次いで「外出同行(通院・買い物など)」(24.2%)
- 要介護1・2では「外出同行(通院・買い物など)」(37.8%)が最も多く、次いで「見守り・声かけ」(33.3%)
- 要介護3以上では「見守り・声かけ」(35.5%)、「特になし」(35.5%)が最も多い

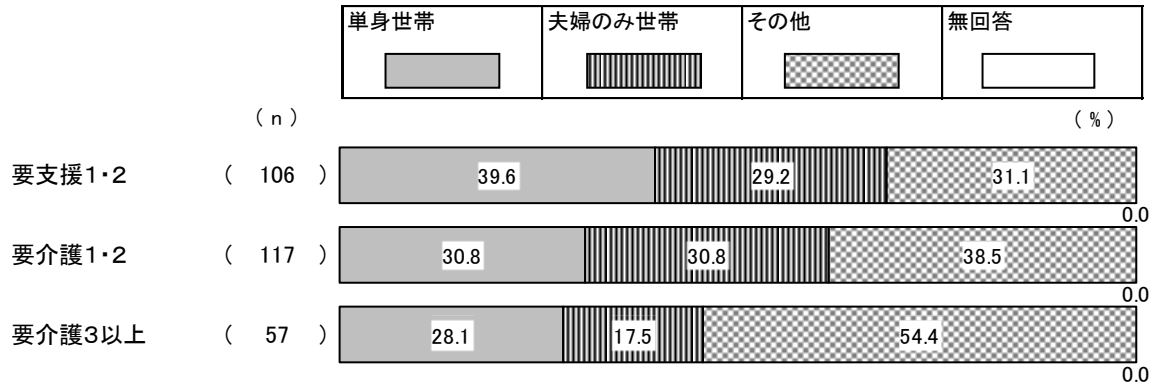
<要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(その他の世帯)>



(4) 将来の世帯類型の変化に対応したサービス提供体制

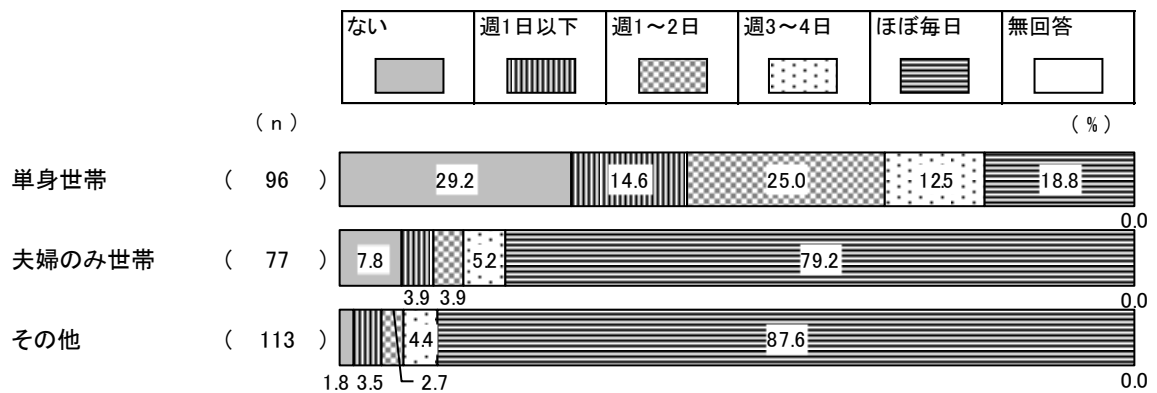
① 要介護度別・世帯類型

○ 単身世帯の割合は、「要支援1・2」では39.6%、「要介護1・2」では30.8%、「要介護3以上」では28.1%と要介護度の重度化に伴い、割合が低くなる



② 世帯類型別・家族等による介護の頻度

○ 夫婦のみ世帯及びその他では、「ほぼ毎日」の割合が8割前後を占める  
 ○ 単身世帯では、「ない」(29.2%)が最も多く、次いで「週1~2日」(25.0%)

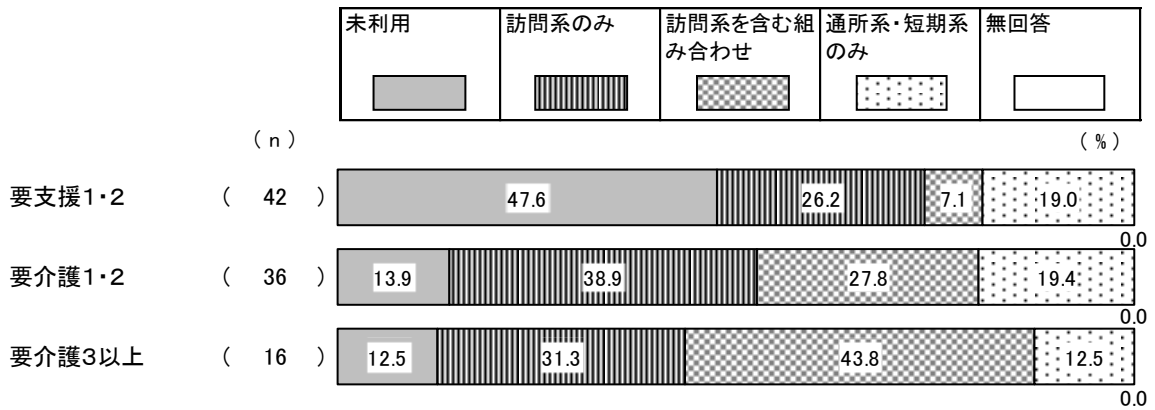


③ 世帯類型別・要介護度別・サービス利用の組み合わせ

ア 単身世帯

- 要支援1・2では「未利用」(47.6%)が最も多く、次いで「訪問系のみ」(26.2%)
- 要介護1・2では「訪問系のみ」(38.9%)が最も多く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」(27.8%)
- 要介護3以上では「訪問系を含む組み合わせ」(43.8%)が最も多く、次いで「訪問系のみ」(31.3%)
- 要介護度の重度化に伴い、「訪問系を含む組み合わせ」の割合が高くなる

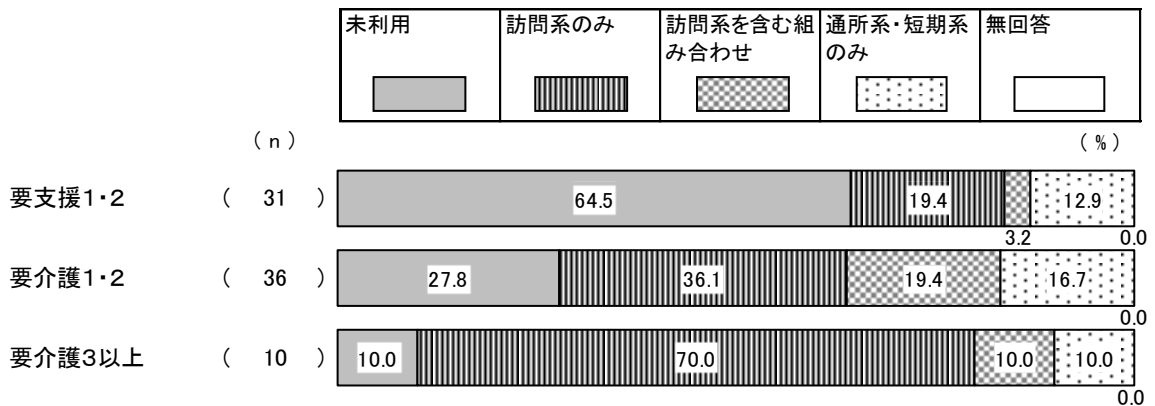
<要介護度別・サービス利用の組み合わせ(単身世帯)>



イ 夫婦のみ世帯

- 要支援1・2では「未利用」が6割を超える
- 要介護度の重度化に伴い、「訪問系のみ」の割合が高くなり、要介護3以上では7割に達している

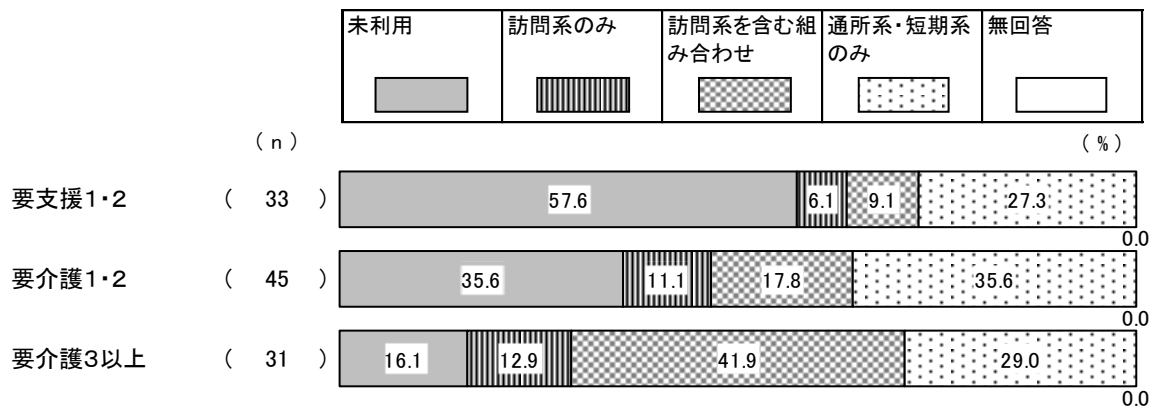
<要介護度別・サービス利用の組み合わせ(夫婦のみ世帯)>



ウ その他の世帯

- 要支援1・2では「未利用」(57.6%)が最も多い
- 要介護1・2では「未利用」(35.6%)、「通所系・短期系のみ」(35.6%)が最も多い
- 要介護3以上では「訪問系を含む組み合わせ」(41.9%)が最も多く、次いで「通所系・短期系のみ」(29.0%)

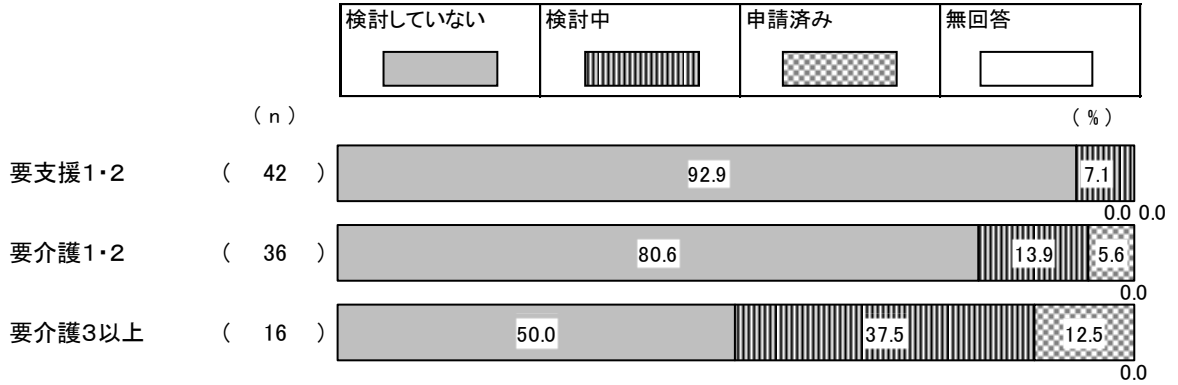
<要介護度別・サービス利用の組み合わせ(その他の世帯)>



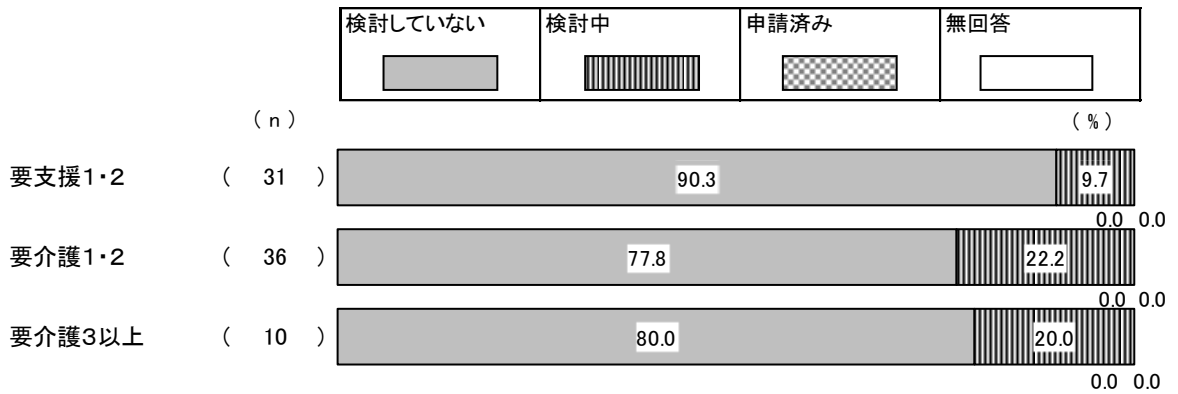
④ 世帯類型別・要介護度別・施設等検討の状況

- 「検討していない」がいずれの世帯類型でも最も多い
- 単身世帯では他の世帯類型に比べて「申請済み」の割合が高い

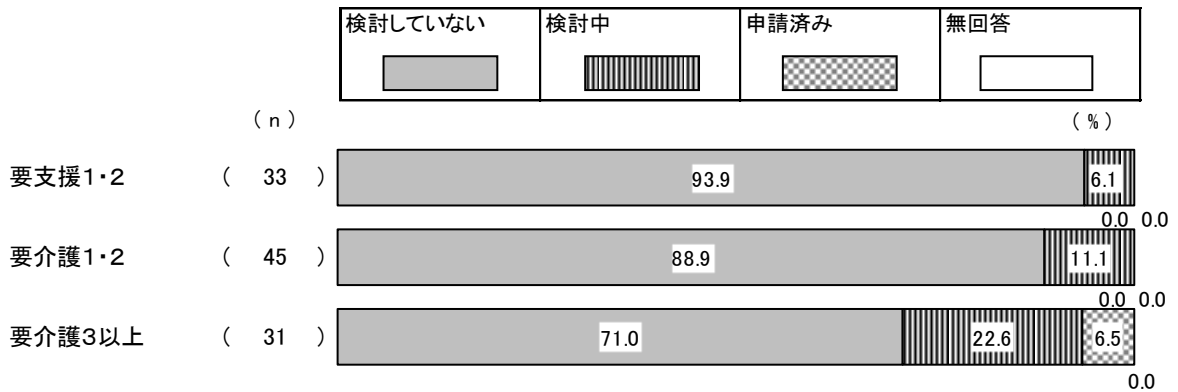
<要介護度別・施設等検討の状況(単身世帯)>



<要介護度別・施設等検討の状況(夫婦のみ世帯)>



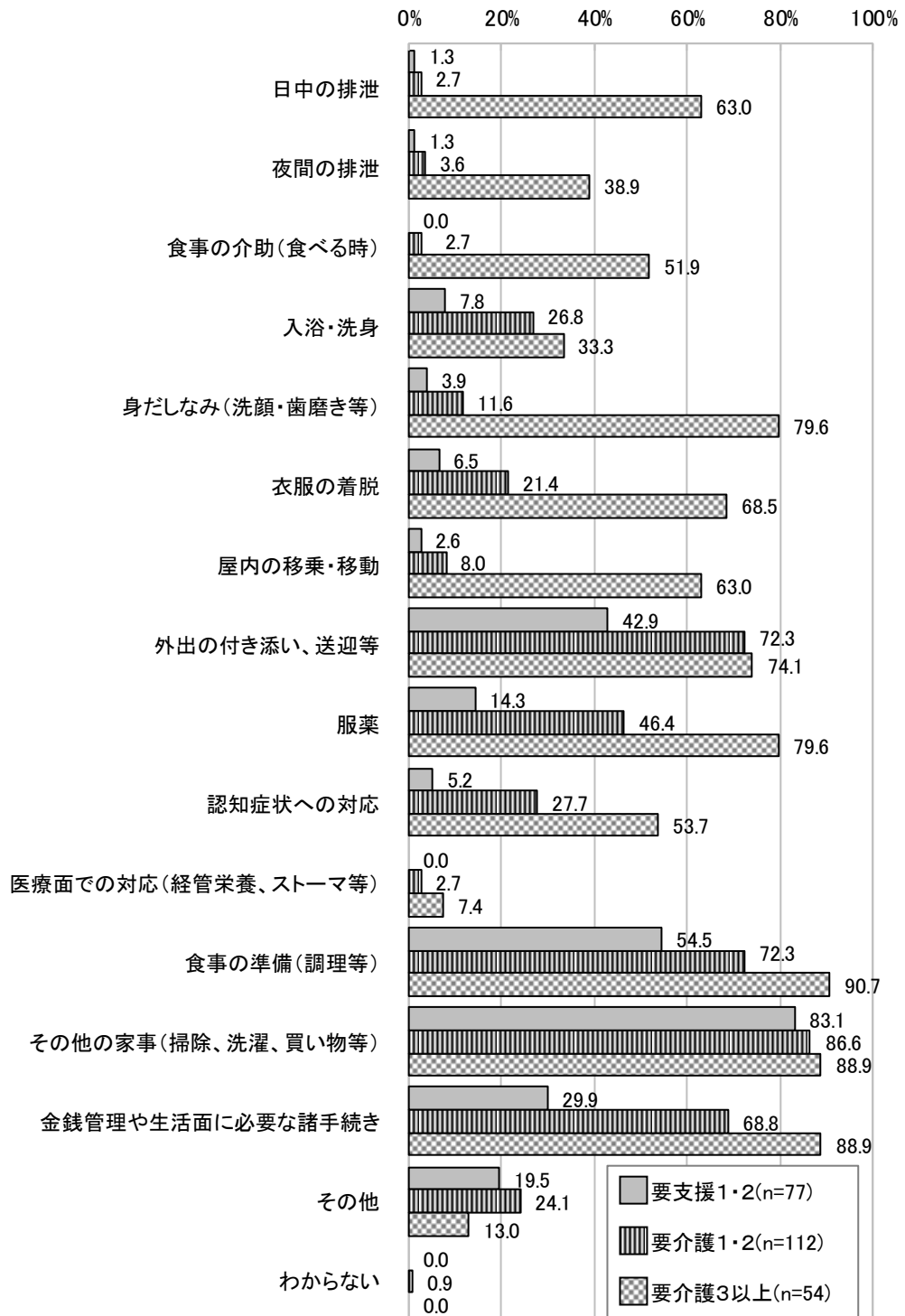
<要介護度別・施設等検討の状況(その他の世帯)>



(5) 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援

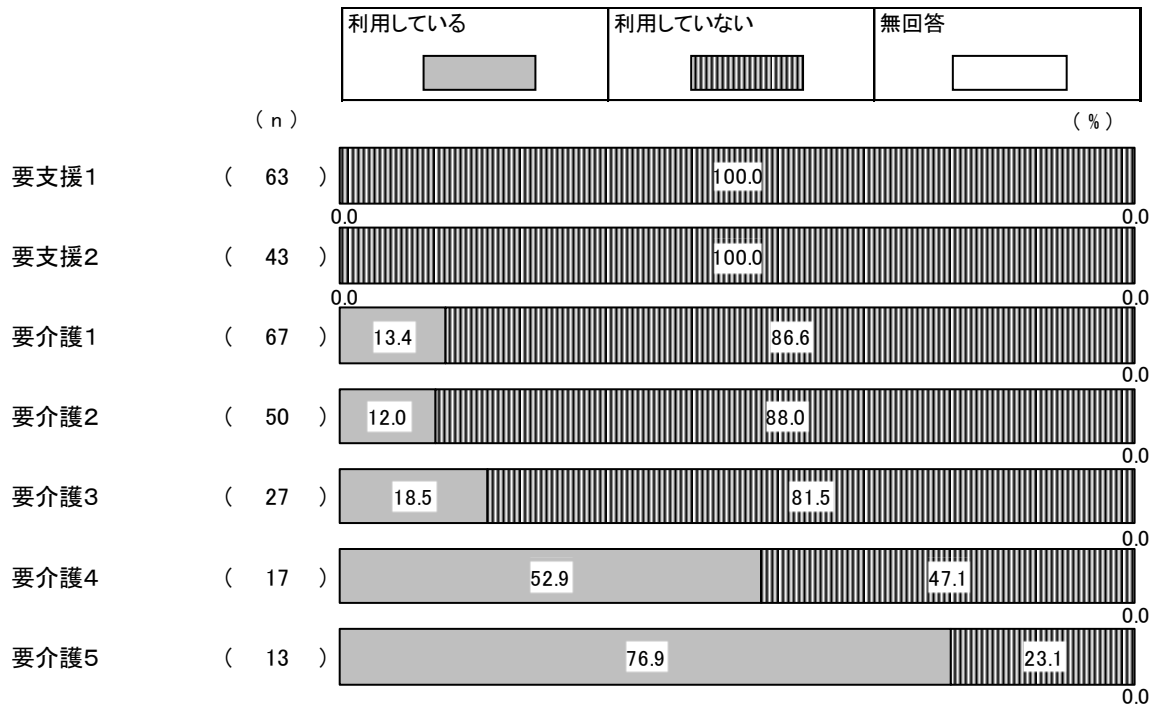
① 要介護度別・主な介護者が行っている介護

- 要介護度の重度化に伴い、主な介護者が行っている介護は多岐にわたっている
- 要介護3以上では、「食事の準備(調理等)」(90.7%)が最も多く、次いで「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(88.9%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(88.9%)



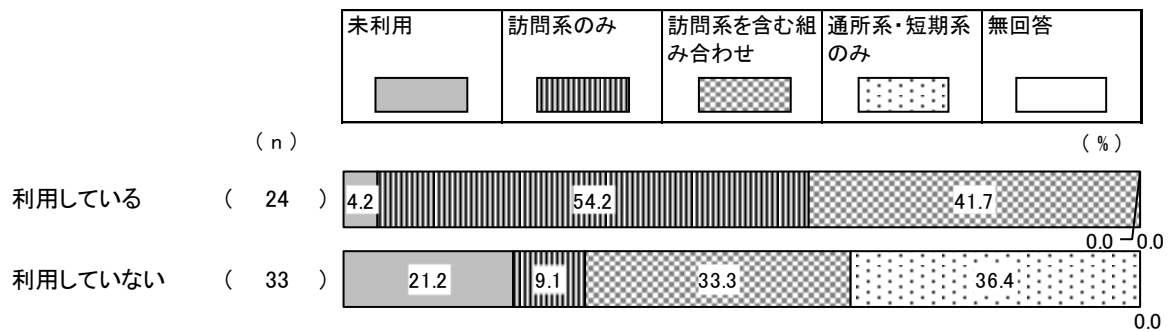
② 要介護度別・訪問診療の利用割合

○ 要介護4以上では「利用している」割合が半数を超えている



③ 訪問診療の利用の有無別・サービス利用の組み合わせ(要介護3以上)

○ 利用している人の95.9%が訪問系サービスを利用している

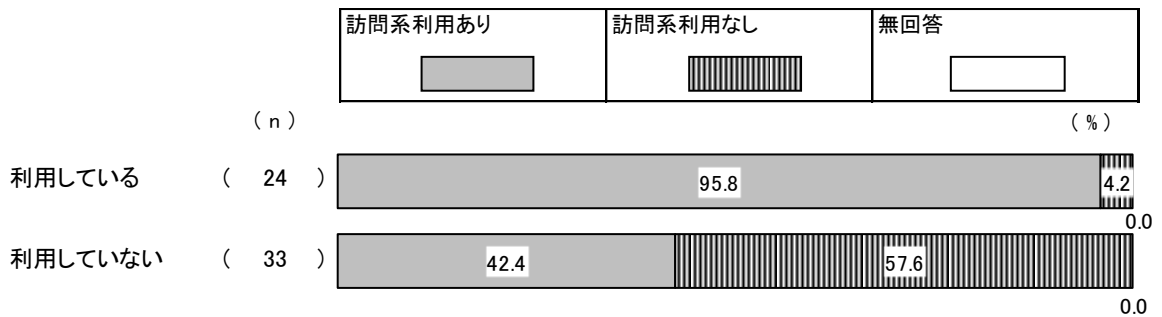




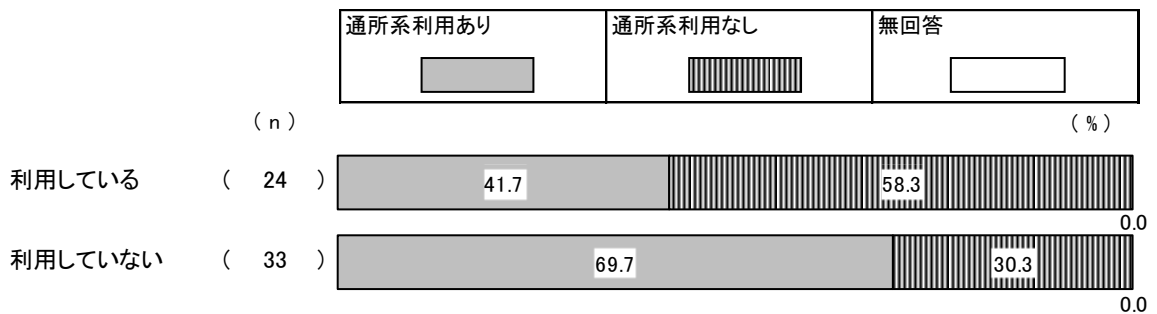
④ 訪問診療の利用の有無別の訪問系・通所系・短期系サービス利用の有無(要介護3以上)

○ 訪問診療を利用している人は「訪問系利用あり」が 95.8%と高いが、一方で「通所系利用あり」は 41.7%、「短期系利用あり」は 12.5%となっている

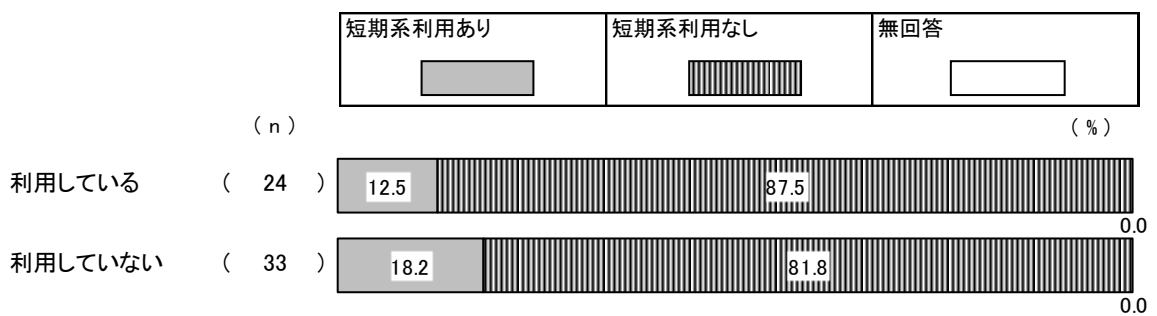
<訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無(訪問系、要介護3以上)>



<訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無(通所系、要介護3以上)>



<訪問診療の利用の有無別・サービス利用の有無(短期系、要介護3以上)>



訪問診療の利用の有無別で見ると、利用しているでは、「訪問系利用あり」が9割を超える一方で、「通所系利用あり」が4割、「短期系利用あり」が1割程度にとどまる。



カ 介護保険サービス利用状況等調査

【施設サービス利用者】（調査 E）

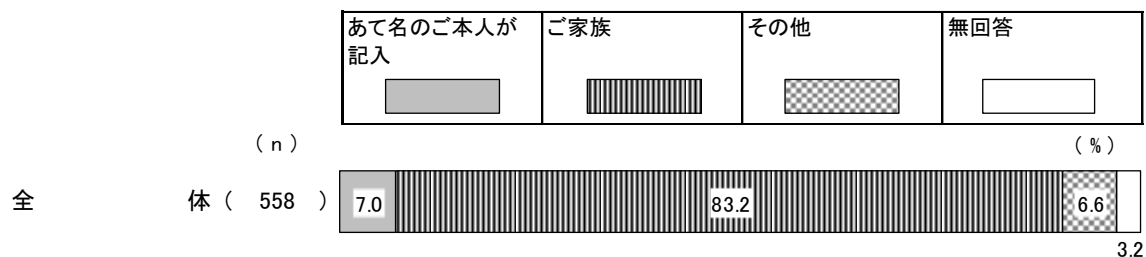


本調査は、要介護・要支援認定を受けている中央区の被保険者のうち施設サービス利用実績のある方 1,007 人を対象としており、有効回答数は 558 件、回収率は 55.4%であった。

## 1. 回答者の属性(状況)

### (1) 調査票の記入者

問 1: 調査票を記入されたのはどなたですか。



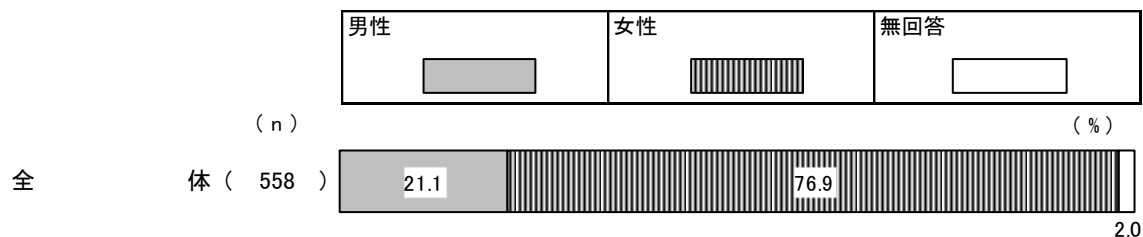
<その他の回答>

○成年後見人 ○任意後見人

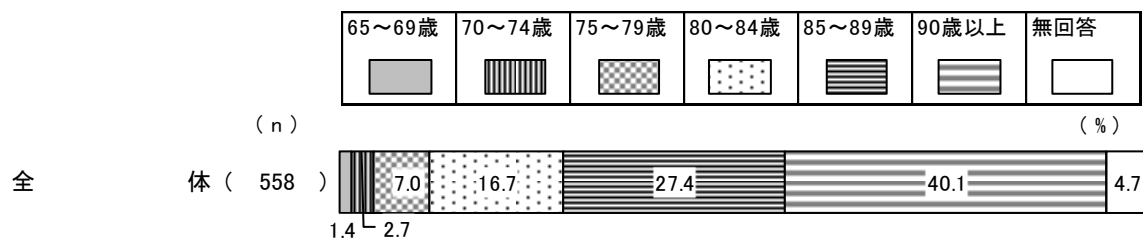
### (2) 性別・年齢

問 2: あなたの性別と令和元年 11 月 1 日現在の満年齢を記入してください。

#### ■性別

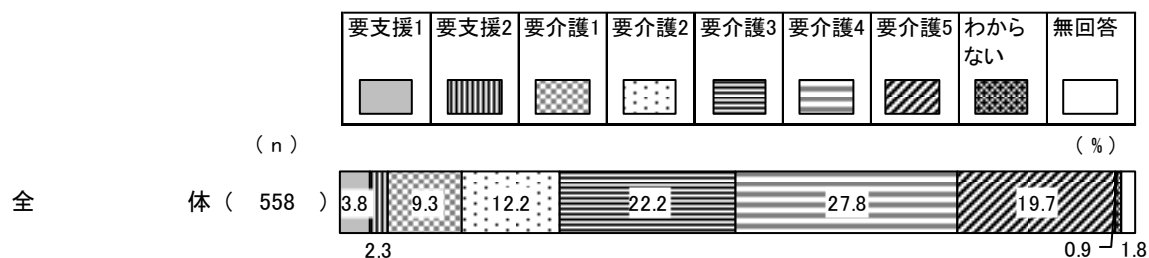


#### ■満年齢



### (3) 要支援・要介護度

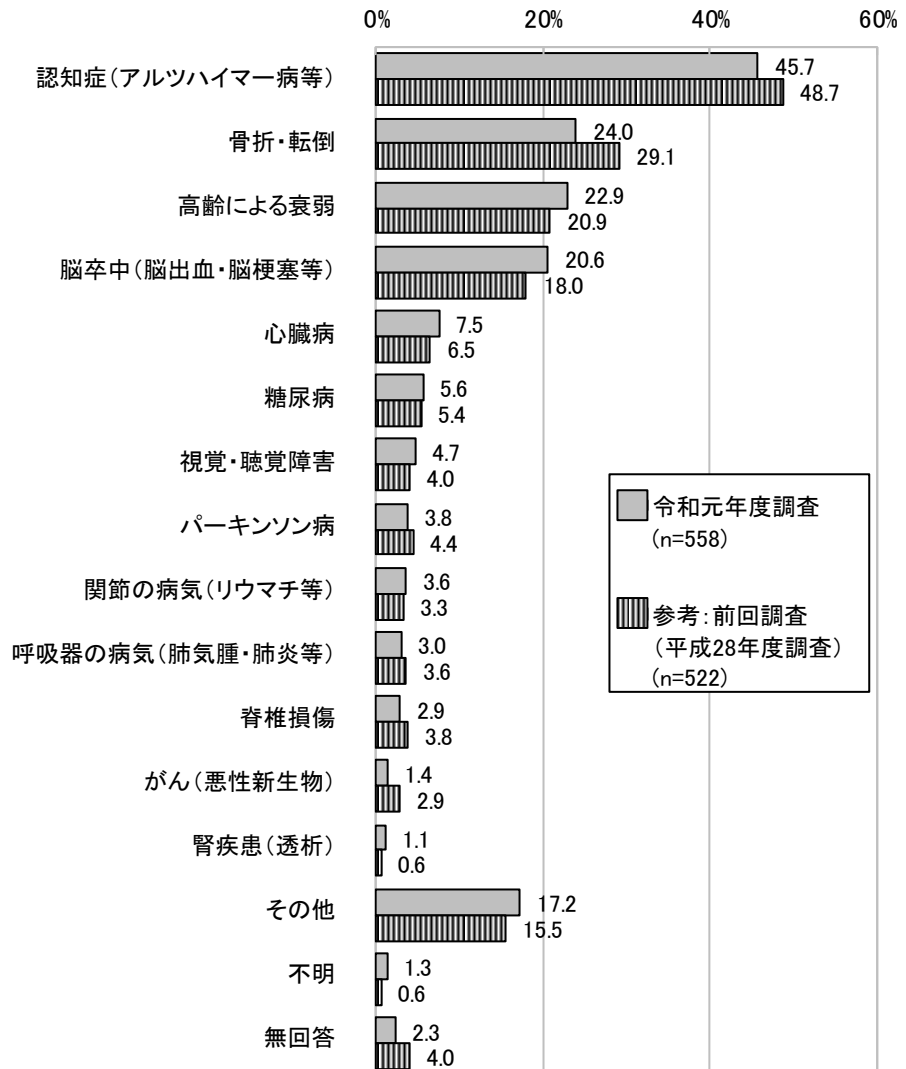
問 3: あなたの現在の要介護度は何ですか。



(4) 介護・介助が必要になった原因

○ 「認知症（アルツハイマー病等）」（45.7%）が最も多く、次いで「骨折・転倒」（24.0%）

問 4: 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。【複数回答】

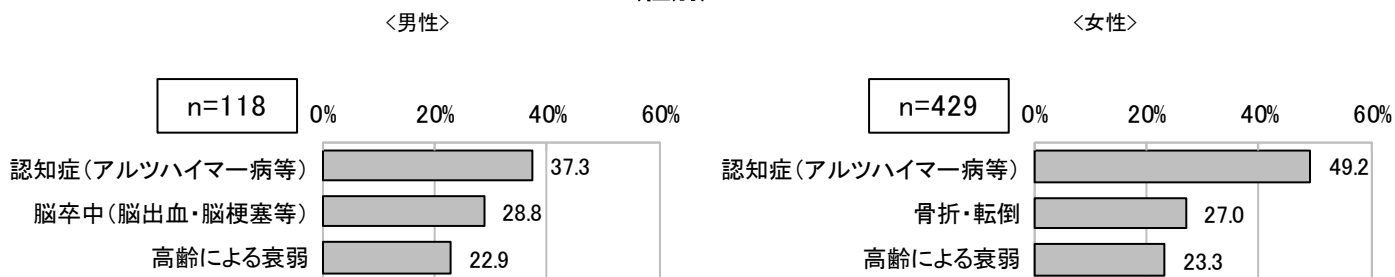


<その他の回答>

- うつ病 ○フレイル（歩行・入浴・排泄ができない）
- CIDP（慢性炎症性脱髄性多発神経炎） ○統合失調症
- ストーマ（人工肛門）、留置カテーテル（膀胱） ○脊柱管狭窄症 ○横紋筋融解症

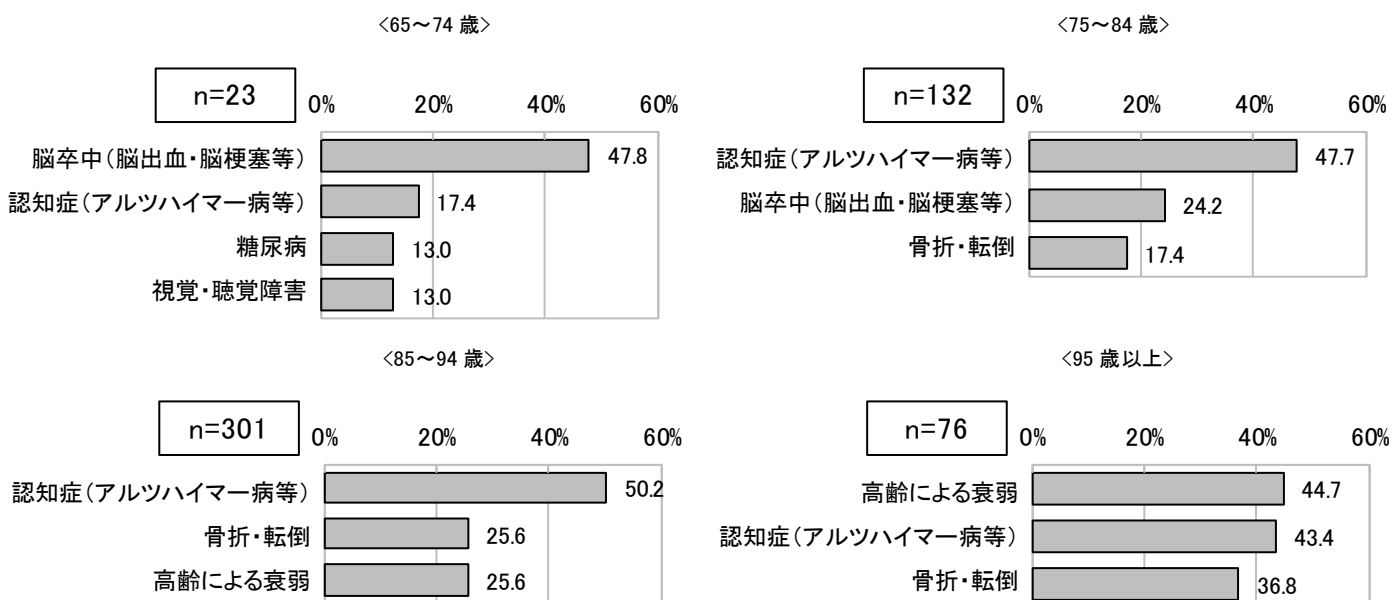
介護・介助が必要となった主な原因(上位3項目)

(性別)



性別で見ると、男女ともに「認知症（アルツハイマー病等）」の割合が最も高い。次いで男性は「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」、女性は「骨折・転倒」の割合が高い。

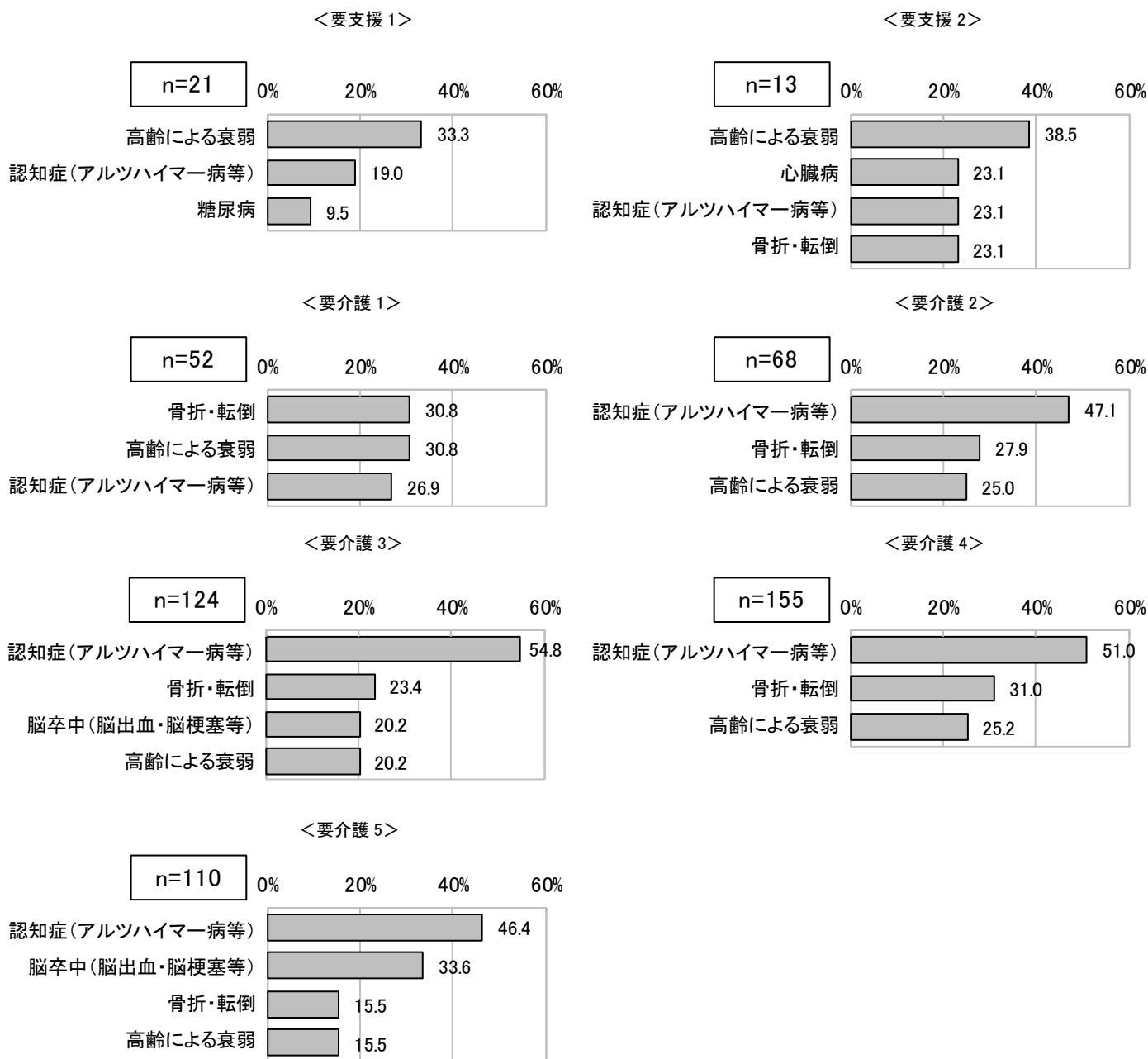
(年代別)



年代別で見ると、75 歳以上では「認知症（アルツハイマー病等）」の割合が高い。95 歳以上では他の年代と比べて「高齡による衰弱」の割合が高い。

カ 介護保険サービス利用状況等調査  
【施設サービス利用者】（調査E）

（要支援・要介護別）

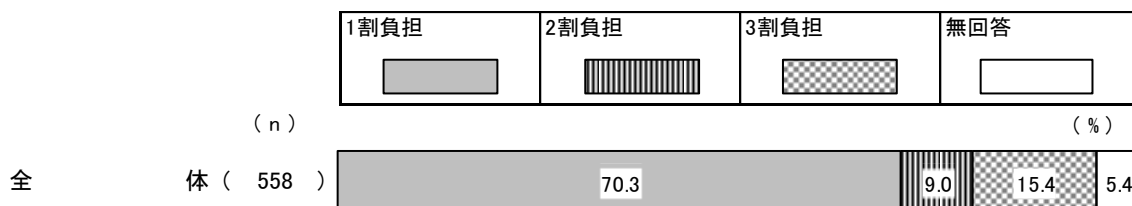


要介護度別で見ると、要介護2以上では「認知症（アルツハイマー病等）」の割合が約5割を占める。

（5）介護保険の自己負担割合

「1割負担」（70.3%）が最も多い

問5: 介護保険の自己負担割合を教えてください。





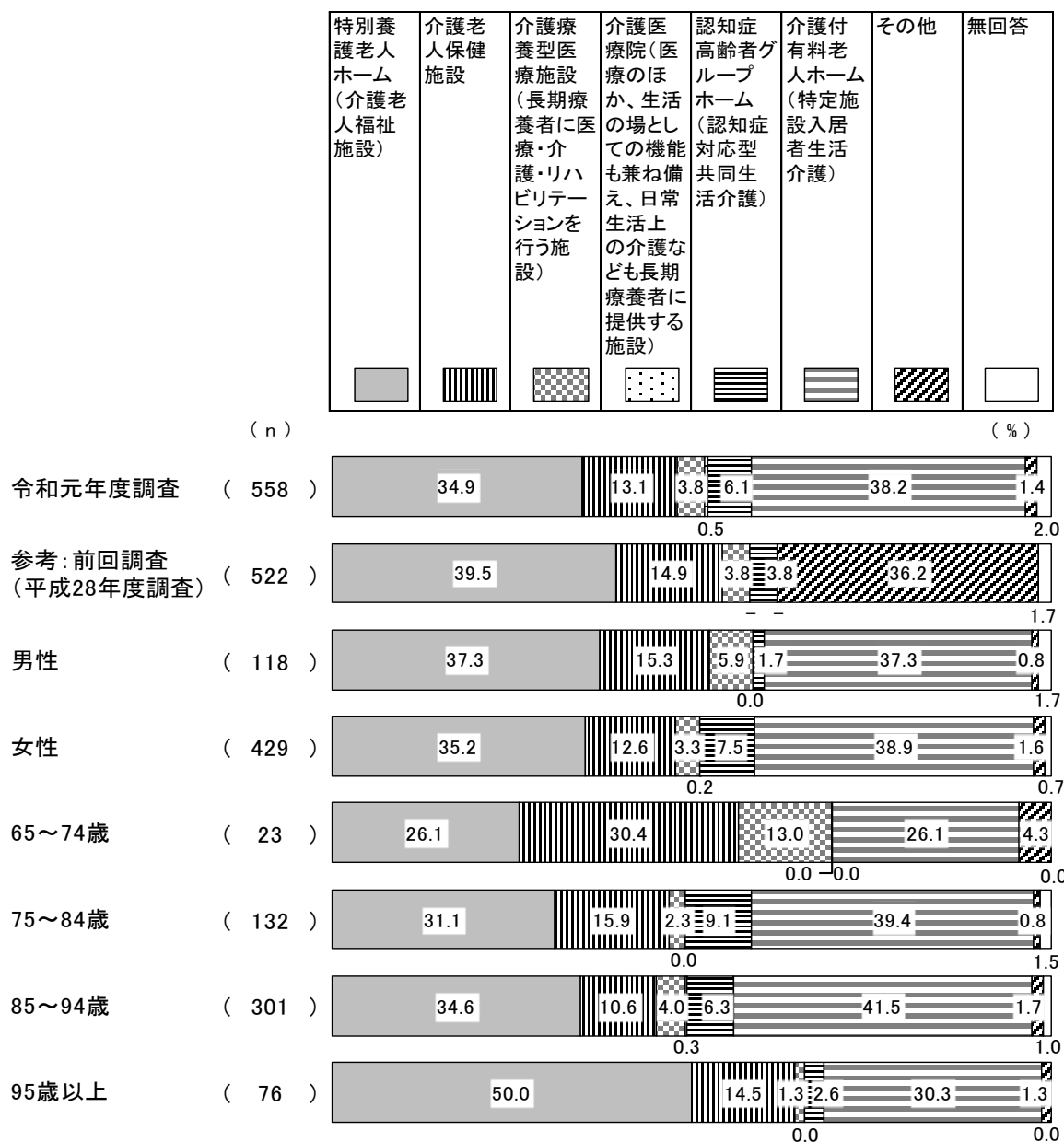
## 2. 入所施設及び家族や生活状況

### (1) 現在の入所施設の種別

○ 「介護付有料老人ホーム」(38.2%)が最も多く、次いで「特別養護老人ホーム」(34.9%)

問6:あなたが、入所している施設は何ですか。

<入所施設の種別(全体・性別・年代別)>



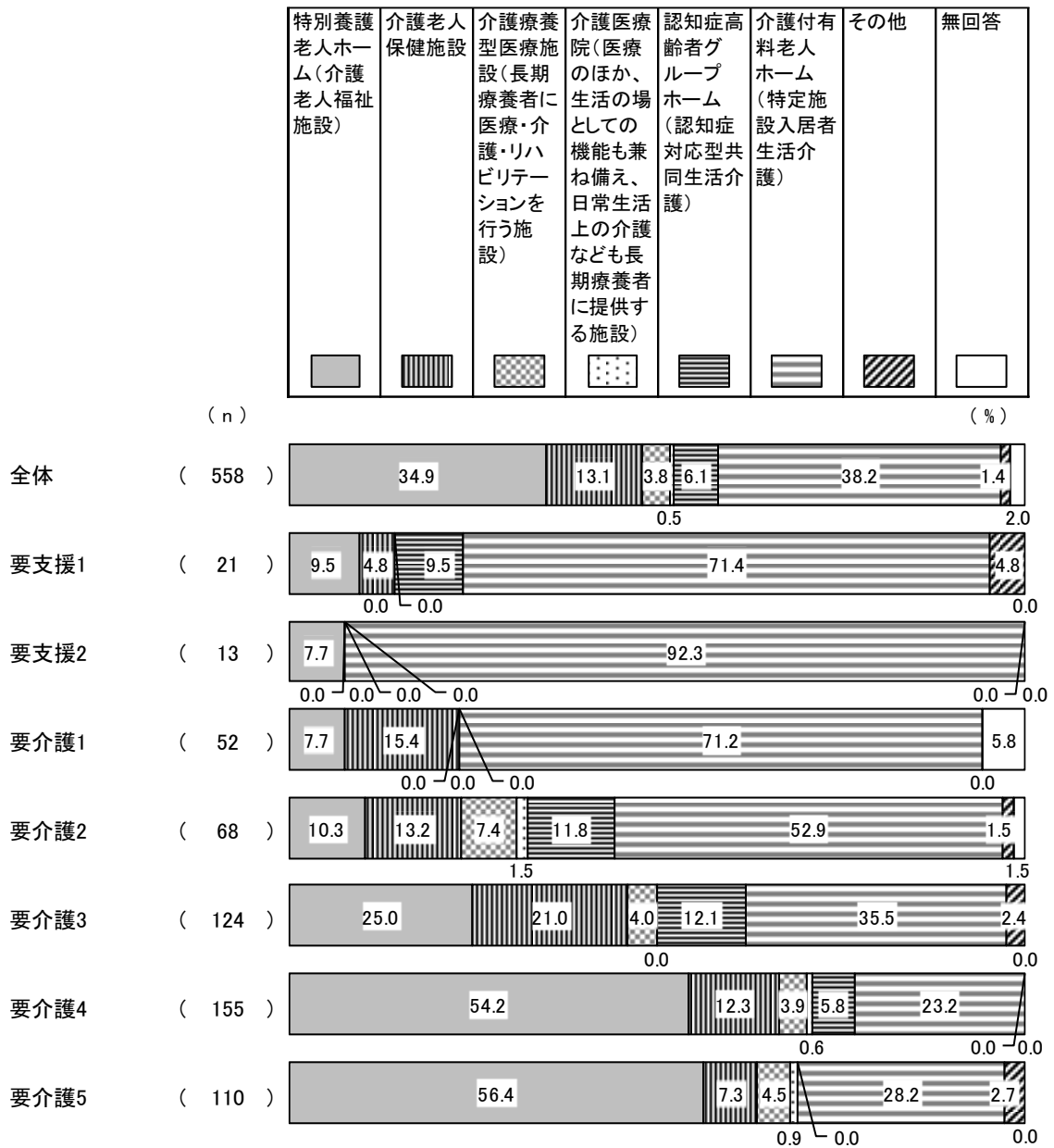
※前回調査の「その他」には「養護老人ホーム」及び「有料老人ホーム」が含まれている。

性別で見ると、女性は男性と比べて「認知症高齢者グループホーム（認知症対応型共同生活介護）」の割合が高い。

年代別で見ると、年代が上がるほど「特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）」の割合が高い。

カ 介護保険サービス利用状況等調査  
【施設サービス利用者】 (調査E)

<現在の入所施設の種別(全体・要支援・要介護度別)>

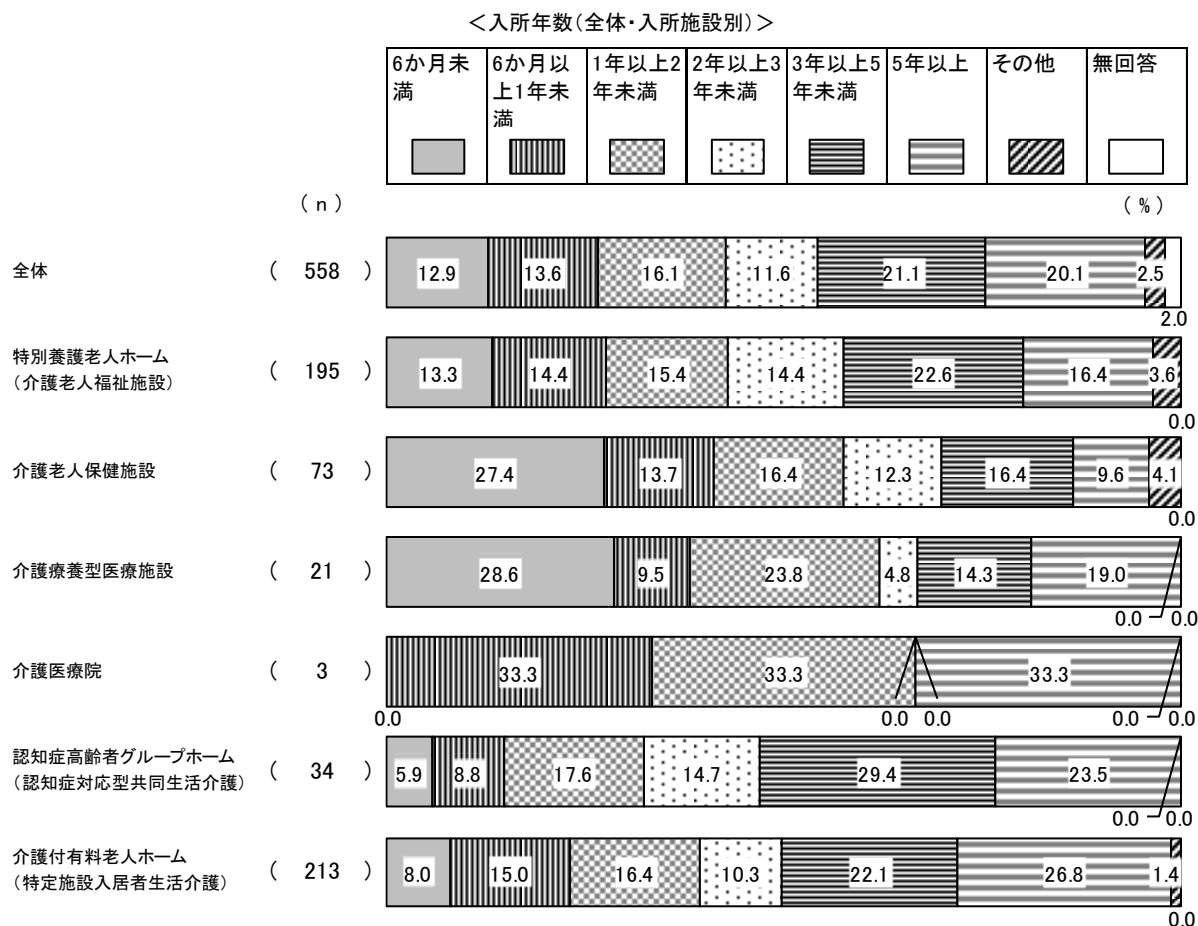


要介護度・要支援別で見ると、要介護度が高いほど「特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)」の割合が高い。

(2) 入所年数

○ 「3年以上5年未満」(21.1%)が最も多く、次いで「5年以上」(20.1%)

問7:あなたの施設への入所年数についてお聞きます。



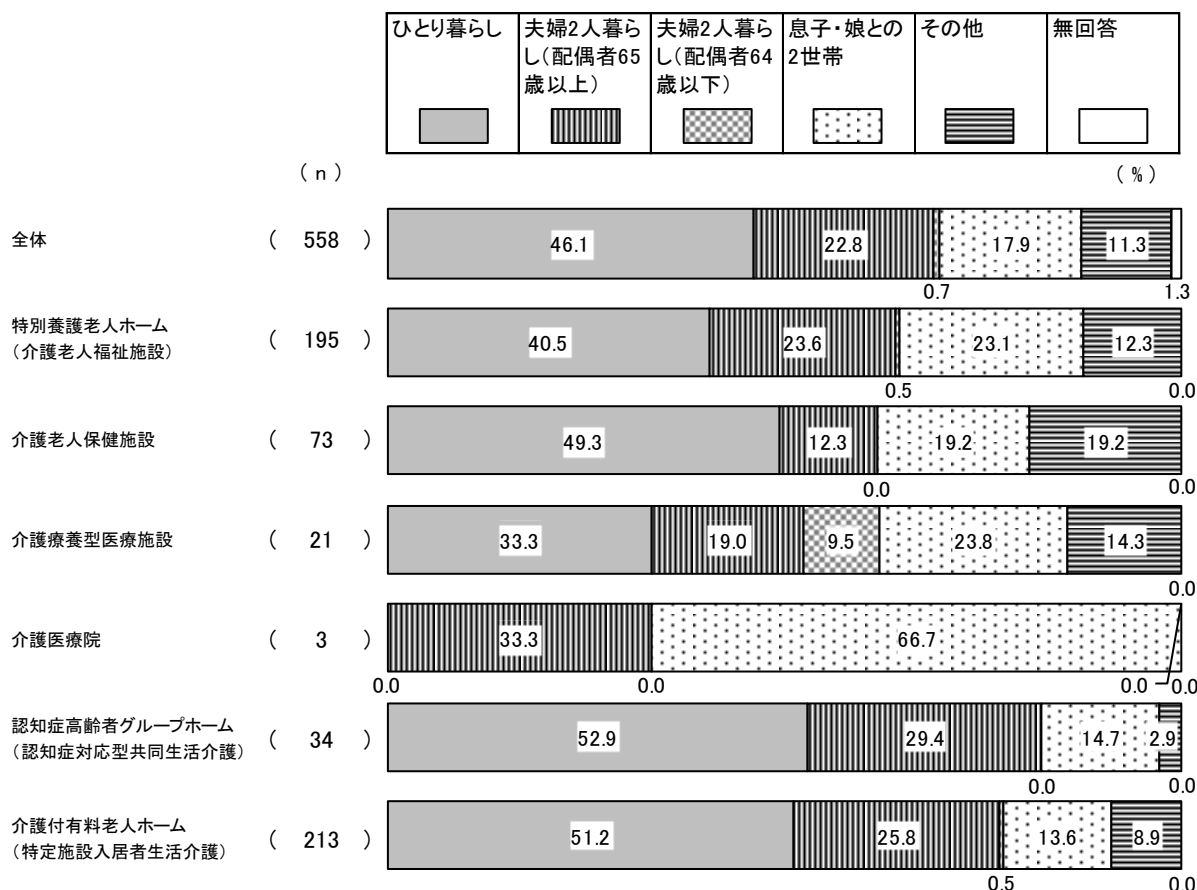
入所施設別で見ると、介護老人保健施設や介護療養型医療施設では他の施設に比べて、「6か月未満」の割合が高い。特別養護老人ホーム及び認知症高齢者グループホームでは「3年以上5年未満」の割合が高く、介護付有料老人ホームでは「5年以上」の割合が高い。

(3)入所前の家族構成

○ 「ひとり暮らし」 (46.1%) が最も多く、次いで「夫婦 2 人暮らし (配偶者 65 歳以上)」 (22.8%)

問 8:施設に入所する前のあなたの家族構成をお教えてください。

<入所前の家族構成(全体・入所施設別)>



<その他の回答>

○孫と3世代同居 ○兄弟・姉妹と同居 ○遠い親戚と同居

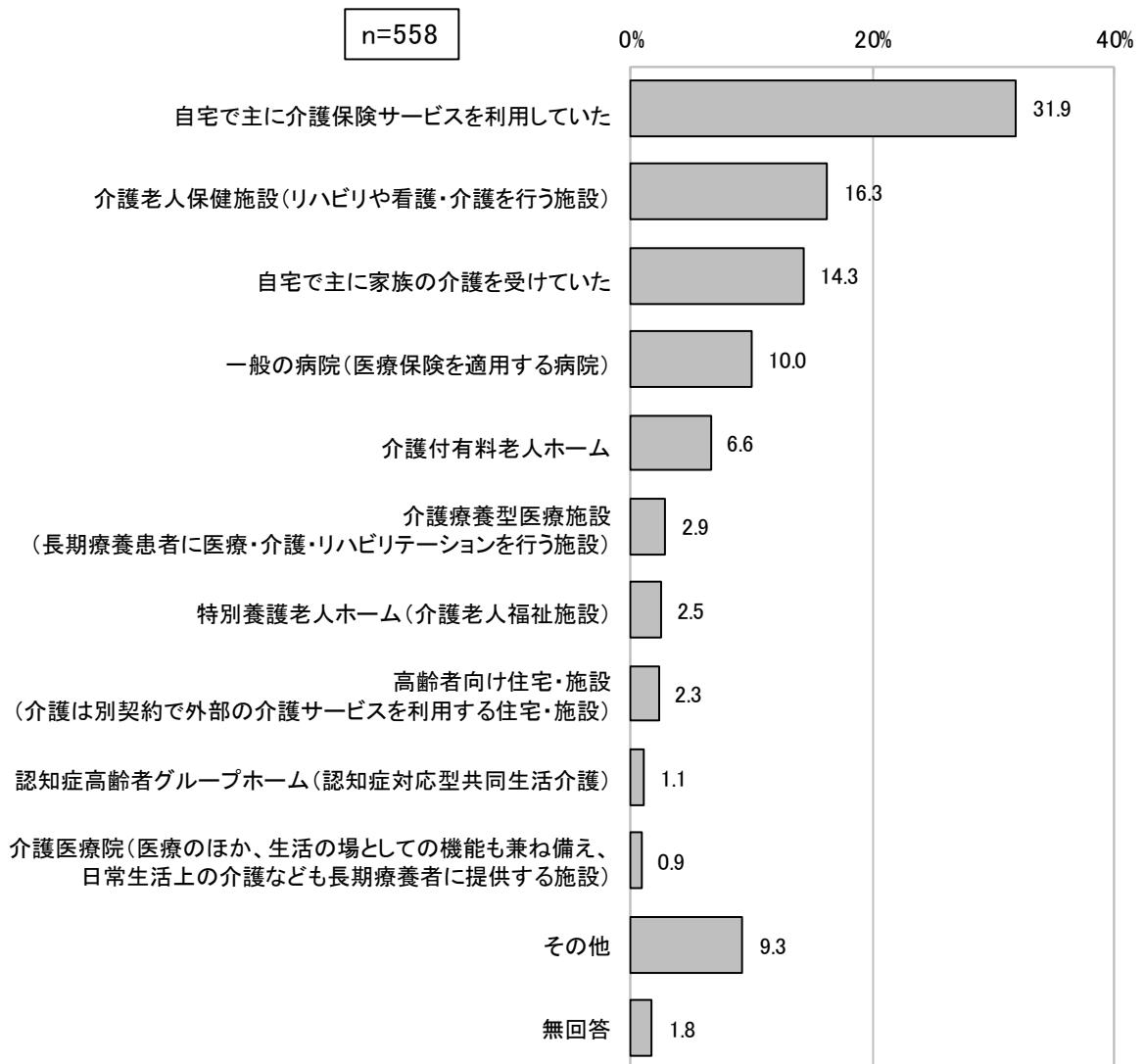
入所施設別で見ると、介護老人保健施設、認知症高齢者グループホーム及び介護付有料老人ホームでは全体と比べて、「ひとり暮らし」の割合が高い。

### 3. 入所までの経緯等

#### (1) 入所前に介護を受けていた場所

○ 「自宅で主に介護保険サービスを利用していた」 (31.9%) が最も多く、次いで「介護老人保健施設」 (16.3%)

問 9: あなたは、現在の施設に入所する直前は、主にどこで介護を受けていましたか。



<その他の回答>

- 自宅で介護を受けずに生活していた
- 将来を考え健康な状態のうちに有料老人ホームに入居

カ 介護保険サービス利用状況等調査  
【施設サービス利用者】 (調査 E)

<入所前に介護を受けていた場所(入所施設別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

		調査数	1 自宅 で主に 介護保 険サー ビスを 利用し ていた	2 自宅 で主に 家族の 介護を 受けて いた	3 特別 養護老 人福社 施設 ( 介護養 護老人 ホーム )	4 介護 老人保 健施設 ( リハビ リテー ション を行う 施設)	5 介護 療養型 医療施 設 ( 長期療 養者に 医療・ 介護・ リハビ リテー ション を行う 施設)	6 介護 医療院 ( 医療の ほか、 生活の 場とし ての機 能も兼 ね備え 、 日常生 活上の 介護な ども 長期療 養者に 提供す る施設 )
全体		558 100.0	178 31.9	80 14.3	14 2.5	91 16.3	16 2.9	5 0.9
入 所 施 設 の 種 別	特別養護老人ホーム (介護老人福祉施設)	195 100.0	51 26.2	15 7.7	10 5.1	61 31.3	7 3.6	4 2.1
	介護老人保健施設	73 100.0	30 41.1	15 20.5	0 0.0	8 11.0	3 4.1	0 0.0
	介護療養型医療施設	21 100.0	6 28.6	3 14.3	0 0.0	3 14.3	3 14.3	0 0.0
	介護医療院	3 100.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	認知症高齢者グループホーム (認知症対応型共同生活介護)	34 100.0	16 47.1	7 20.6	2 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	介護付有料老人ホーム (特定施設入居者生活介護)	213 100.0	66 31.0	38 17.8	2 0.9	16 7.5	3 1.4	1 0.5
	全体		558 100.0	56 10.0	13 2.3	37 6.6	6 1.1	52 9.3
入 所 施 設 の 種 別	特別養護老人ホーム (介護老人福祉施設)	195 100.0	9 4.6	1 0.5	17 8.7	5 2.6	11 5.6	4 2.1
	介護老人保健施設	73 100.0	8 11.0	1 1.4	1 1.4	0 0.0	6 8.2	1 1.4
	介護療養型医療施設	21 100.0	3 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 14.3	0 0.0
	介護医療院	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	認知症高齢者グループホーム (認知症対応型共同生活介護)	34 100.0	2 5.9	1 2.9	3 8.8	1 2.9	2 5.9	0 0.0
	介護付有料老人ホーム (特定施設入居者生活介護)	213 100.0	33 15.5	9 4.2	15 7.0	0 0.0	26 12.2	4 1.9

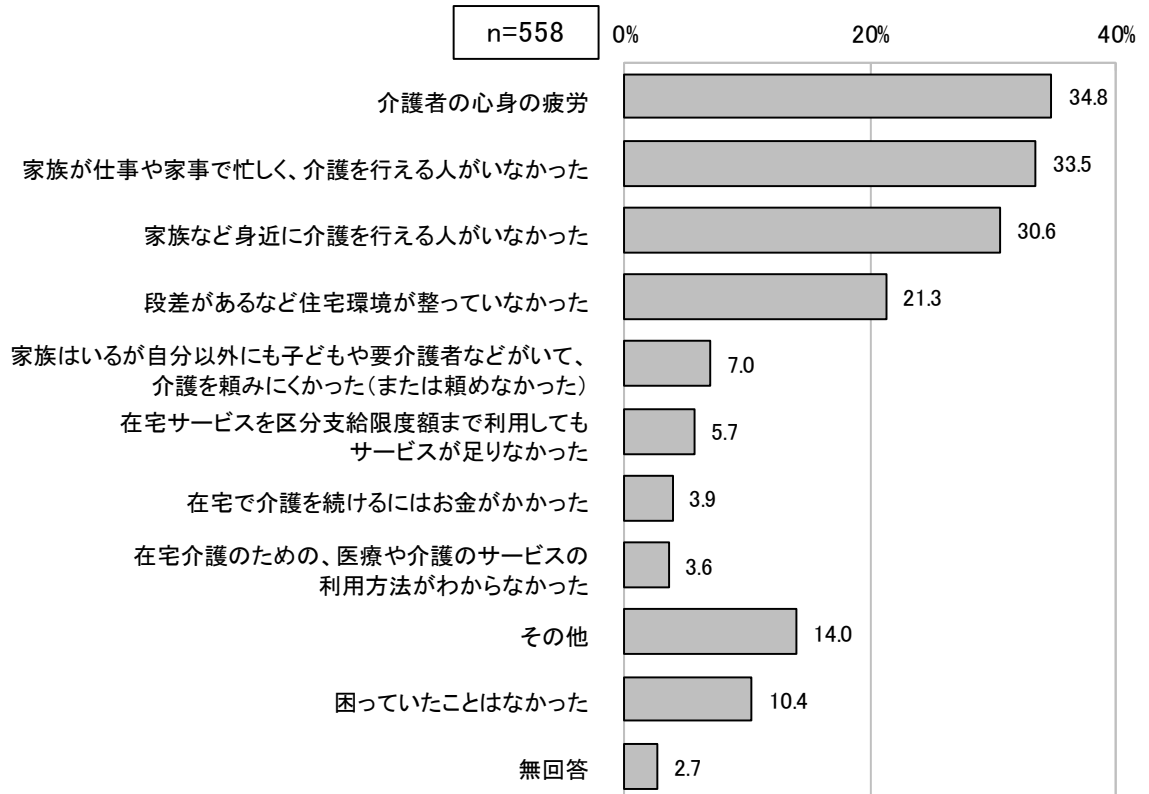
入所施設別で見ると、特別養護老人ホームは他の施設と比べて、「介護老人保健施設」の割合が高い。介護老人保健施設、介護医療院及び認知症高齢者グループホームは他の施設と比べて、「自宅で主に介護保険サービスを利用していた」の割合が高い。

(2)入所前の在宅生活での困りごと

○ 「介護者の心身の疲労」(34.8%)が最も多く、次いで「家族が仕事や家事で忙しく、介護を行える人がいなかった」(33.5%)

問 10:あなたが、現在の施設に入所する前までに在宅生活を送るうえで困っていたことは何ですか。

【複数回答】

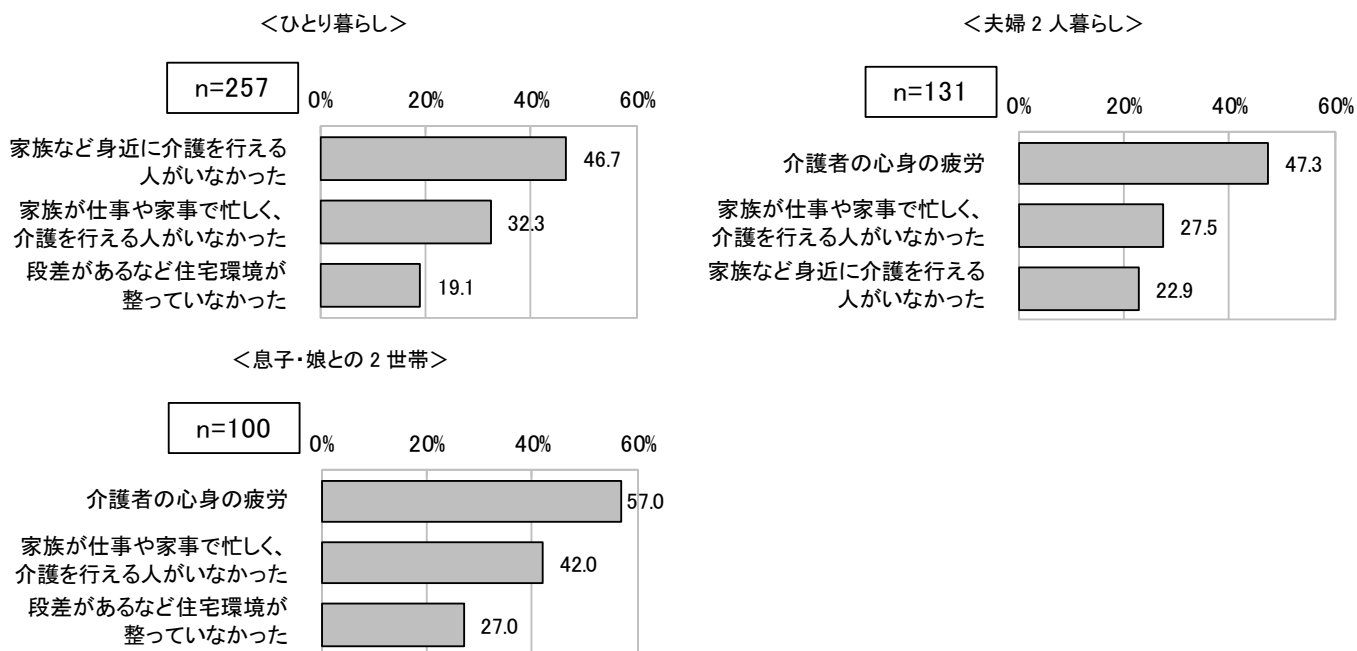


<その他の回答>

- 近隣の苦情があった
- 自宅で自分のことができなくなった
- 介護者自身が高齢で病気持ちであったこと

**入所前までの在宅生活での困りごと(上位 3 項目)**

**(入所前の家族構成別)**



※「夫婦 2 人暮らし」は選択肢「夫婦 2 人暮らし（配偶者 65 歳以上）」と「夫婦 2 人暮らし（配偶者 64 歳以下）」を合わせたものである。

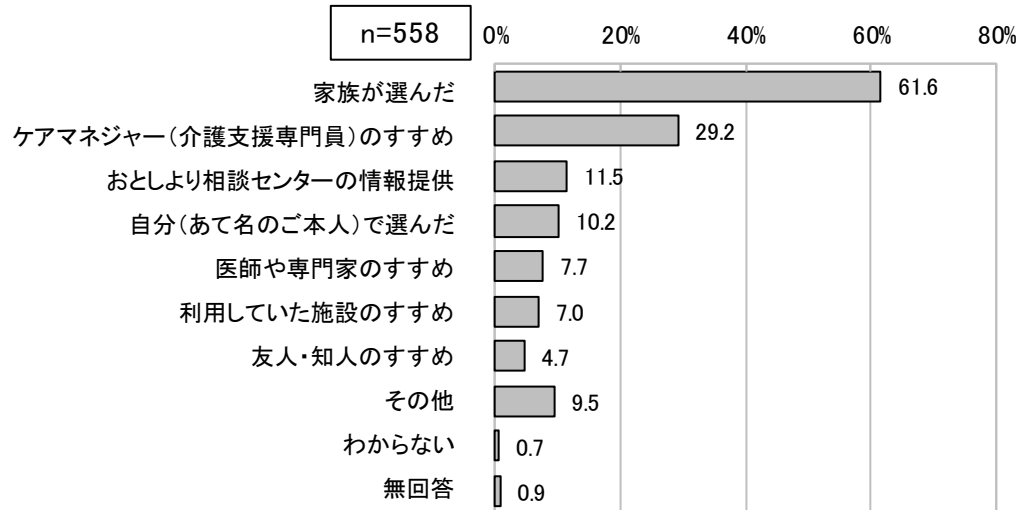
入所前の家族構成別で見ると、ひとり暮らしでは「家族など身近に介護を行える人がいなかった」の割合が高い。また、夫婦 2 人暮らし及び息子・娘との 2 世帯では「介護者の心身の疲労」の割合が高い。



(3) 施設の選択方法

○ 「家族が選んだ」 (61.6%) が最も多い

問 11: あなたは、現在入所している施設をどのようにして選びましたか。【複数回答】



<その他の回答>

- 自宅から近い ○経済的理由 ○新聞広告
- 不動産会社の専門職に候補施設を 4 件見せてもらった

カ 介護保険サービス利用状況等調査  
【施設サービス利用者】（調査E）

<施設を選択方法(入所施設別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

	調査数	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
		自分（あて名のご本人）で 選んだ	家族が選んだ	相談センターの おとしより の 情報提供	ケアマネジャー （介護支援専門員）の すすめ	友人・知人の すすめ	医師や専門家の すすめ	利用していた施設の すすめ	その他	わからない	無回答	
全体	558 100.0	57 10.2	344 61.6	64 11.5	163 29.2	26 4.7	43 7.7	39 7.0	53 9.5	4 0.7	5 0.9	
入 所 施 設 の 種 別	特別養護老人ホーム (介護老人福祉施設)	195 100.0	16 8.2	115 59.0	37 19.0	66 33.8	9 4.6	7 3.6	19 9.7	20 10.3	2 1.0	2 1.0
	介護老人保健施設	73 100.0	2 2.7	38 52.1	5 6.8	30 41.1	4 5.5	10 13.7	8 11.0	5 6.8	1 1.4	0 0.0
	介護療養型医療施設	21 100.0	0 0.0	7 33.3	1 4.8	6 28.6	0 0.0	5 23.8	3 14.3	3 14.3	1 4.8	0 0.0
	介護医療院	3 100.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	認知症高齢者グループホーム (認知症対応型共同生活介護)	34 100.0	1 2.9	23 67.6	10 29.4	15 44.1	3 8.8	0 0.0	1 2.9	1 2.9	0 0.0	0 0.0
	介護付有料老人ホーム (特定施設入居者生活介護)	213 100.0	38 17.8	152 71.4	9 4.2	41 19.2	9 4.2	18 8.5	8 3.8	20 9.4	0 0.0	2 0.9

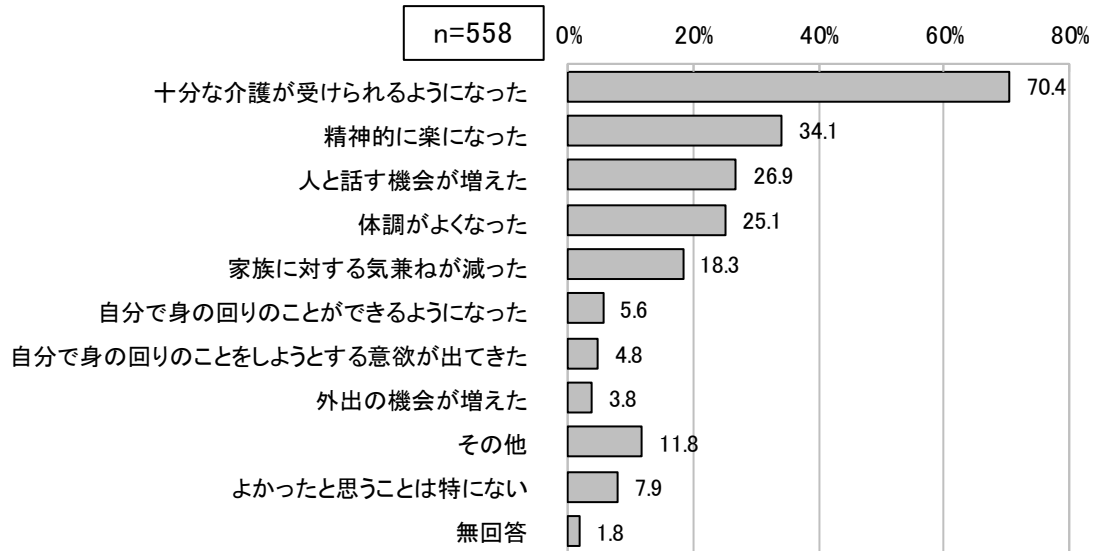
入所施設別で見ると、介護老人保健施設及び認知症高齢者グループホームでは他の施設と比べて、「ケアマネジャー（介護支援専門員）のすすめ」の割合が高い。

介護付有料老人ホームでは他の施設と比べて、「家族が選んだ」及び「自分（あて名のご本人）で選んだ」の割合が高い。

(4) 入所してよかったこと

○ 「十分な介護を受けられるようになった」 (70.4%) が最も多い

問 12: あなたにとって、現在の施設に入所してよかったと思うことは何ですか。【複数回答】



<その他の回答>

- 災害の時に安心 ○家族に日常生活が戻った
- 病気やケガの時にすぐに対応してもらえる
- 外の徘徊で迷子になる事がなくなった

カ 介護保険サービス利用状況等調査  
【施設サービス利用者】 (調査E)

<入所してよかったこと(入所施設別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

		調査数	1 な受十分 ったけな たら介 れる護 るよう がに	2 精 神 的 に 楽 に な っ た	3 気家 兼族 ねに が対 が減する った	4 外 出 の 機 会 が 増 え た	5 人 と 話 す 機 会 が 増 え た	6 意こ自 欲と分 がを 出で てし よ う と す る
全体		558 100.0	393 70.4	190 34.1	102 18.3	21 3.8	150 26.9	27 4.8
入 所 施 設 の 種 別	特別養護老人ホーム (介護老人福祉施設)	195 100.0	148 75.9	68 34.9	38 19.5	8 4.1	42 21.5	7 3.6
	介護老人保健施設	73 100.0	54 74.0	26 35.6	18 24.7	2 2.7	23 31.5	4 5.5
	介護療養型医療施設	21 100.0	11 52.4	3 14.3	2 9.5	0 0.0	3 14.3	1 4.8
	介護医療院	3 100.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	認知症高齢者グループホーム (認知症対応型共同生活介護)	34 100.0	25 73.5	17 50.0	3 8.8	3 8.8	13 38.2	4 11.8
	介護付有料老人ホーム (特定施設入居者生活介護)	213 100.0	144 67.6	70 32.9	38 17.8	8 3.8	62 29.1	9 4.2
			調査数	7 が自 で分 で身 の回 りの にの こと と	8 体 調 が よ く な っ た	9 そ の 他	10 特思よ にうか になこと はと	無 回 答
全体		558 100.0	31 5.6	140 25.1	66 11.8	44 7.9	10 1.8	
入 所 施 設 の 種 別	特別養護老人ホーム (介護老人福祉施設)	195 100.0	11 5.6	40 20.5	18 9.2	12 6.2	2 1.0	
	介護老人保健施設	73 100.0	5 6.8	23 31.5	9 12.3	5 6.8	1 1.4	
	介護療養型医療施設	21 100.0	0 0.0	3 14.3	3 14.3	4 19.0	0 0.0	
	介護医療院	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	
	認知症高齢者グループホーム (認知症対応型共同生活介護)	34 100.0	1 2.9	8 23.5	5 14.7	3 8.8	0 0.0	
	介護付有料老人ホーム (特定施設入居者生活介護)	213 100.0	13 6.1	60 28.2	29 13.6	17 8.0	6 2.8	

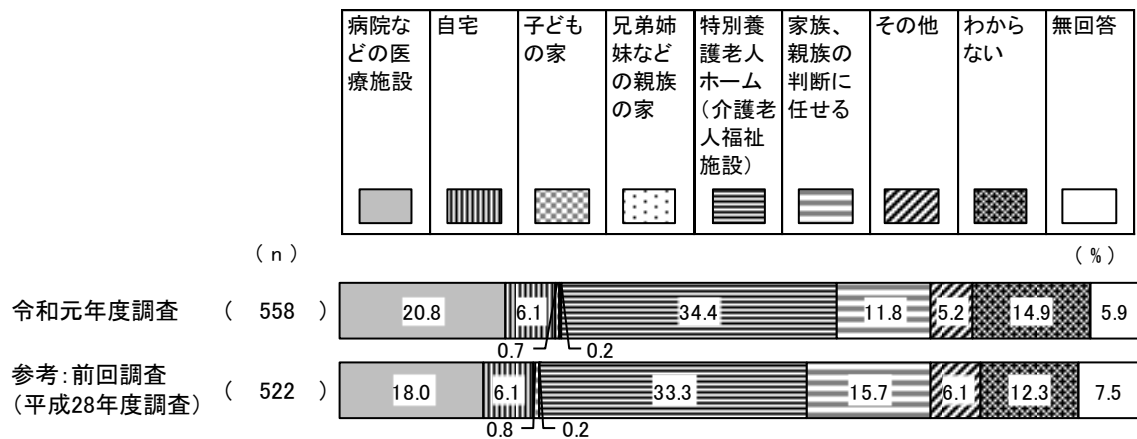
入所施設別で見ると、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設及び認知症高齢者グループホームでは全体と比べて、「十分な介護が受けられるようになった」の割合が高い。介護医療院及び認知症高齢者グループホームでは他の施設と比べて、「精神的に楽になった」の割合が高い。

## 4. 今後の介護の希望等

### (1) 終末期に介護を受けたい場所

○ 「特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）」(34.4%) が最も多く、次いで「病院などの医療機関」(20.8%)

問 13: あなたは、病気が治る可能性がなくなり、終末期になった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。



<その他の回答>

○現在の施設 ○気兼ねのないところ

前回調査と比べると、「家族、親族の判断に任せる」の割合が 3.9 ポイント減っている。

カ 介護保険サービス利用状況等調査  
【施設サービス利用者】 (調査 E)

<終末期に介護を受けたい場所(入所施設別)>

上段:実数(人)  
下段:構成比(%)

		1	2	3	4	5	6	7	8		
		病院などの医療施設	自宅	子どもの家	兄弟姉妹などの親族の家	特別養護老人ホーム (介護老人福祉施設)	家族、親族の判断に任せる	その他	わからない	無回答	
全体		558 100.0	116 20.8	34 6.1	4 0.7	1 0.2	192 34.4	66 11.8	29 5.2	83 14.9	33 5.9
入 所 施 設 の 種 別	特別養護老人ホーム (介護老人福祉施設)	195 100.0	25 12.8	11 5.6	3 1.5	0 0.0	107 54.9	21 10.8	1 0.5	18 9.2	9 4.6
	介護老人保健施設	73 100.0	15 20.5	6 8.2	1 1.4	0 0.0	24 32.9	5 6.8	0 0.0	15 20.5	7 9.6
	介護療養型医療施設	21 100.0	10 47.6	2 9.5	0 0.0	0 0.0	2 9.5	3 14.3	0 0.0	3 14.3	1 4.8
	介護医療院	3 100.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	認知症高齢者グループホーム (認知症対応型共同生活介護)	34 100.0	2 5.9	2 5.9	0 0.0	0 0.0	12 35.3	4 11.8	4 11.8	9 26.5	1 2.9
	介護付有料老人ホーム (特定施設入居者生活介護)	213 100.0	60 28.2	10 4.7	0 0.0	1 0.5	38 17.8	31 14.6	22 10.3	37 17.4	14 6.6

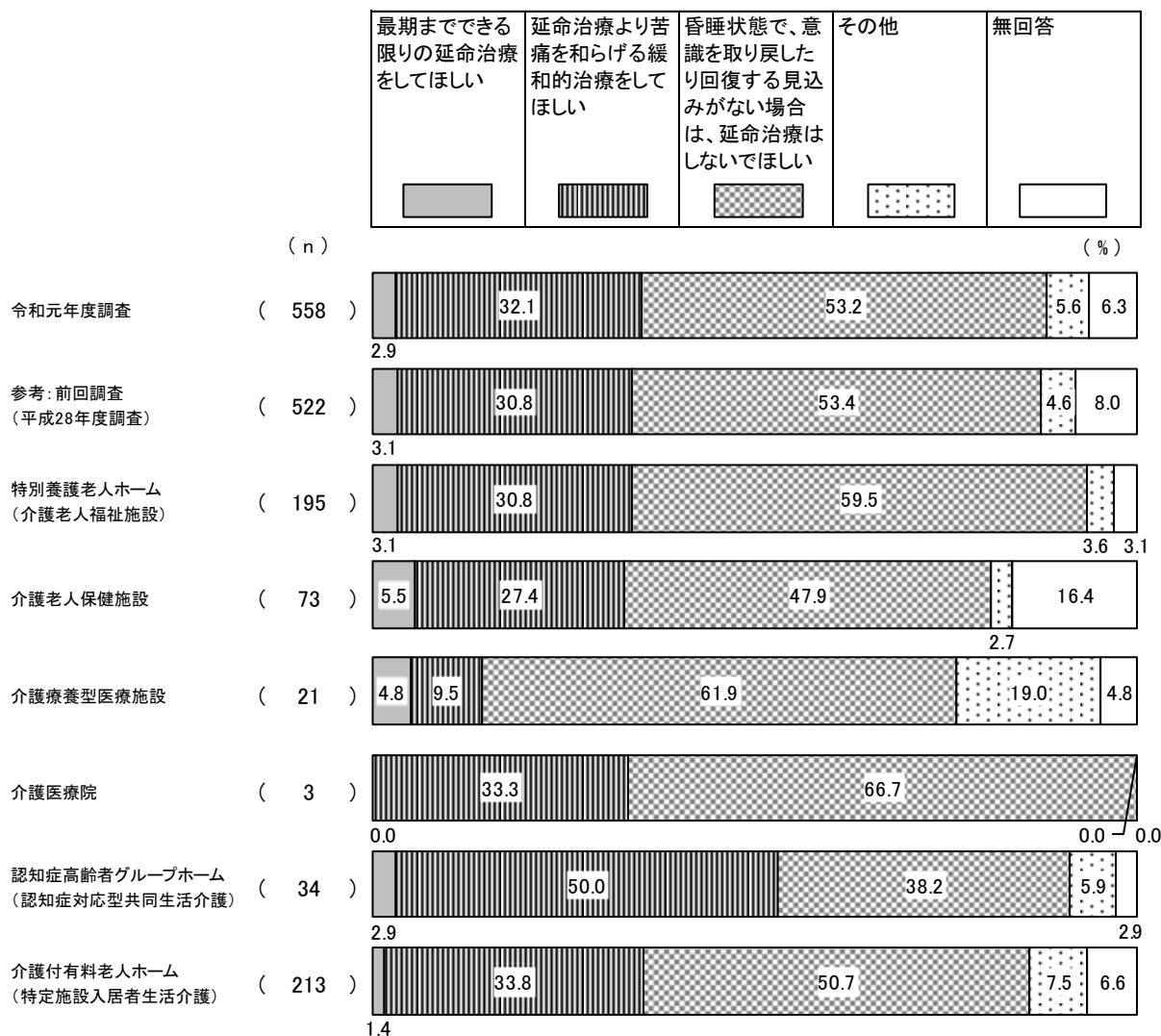
入所施設別で見ると、特別養護老人ホームでは他の施設と比べて、「特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）」の割合が高い。また介護療養型医療施設、介護医療院及び介護付有料老人ホームでは全体と比べて、「病院などの医療施設」の割合が高い。

(2) 延命治療について

○ 「昏睡状態で、意識を取り戻したり回復する見込みがない場合は、延命治療はしないでほしい」  
(53.2%) が最も多い

問 14: あなたは、延命のための医療を受けることについてどう思いますか。

<延命治療について(全体・入所施設別)>



<その他の回答>

- よくわからない ○本人の意志が確認できない ○できるだけ自然に逝きたい
- すべての延命のための医療はしないでほしい

前回調査と比べると、大きな差は見られない。

入所施設別で見ると、認知症高齢者グループホームでは他の施設と比べて、「延命治療より苦痛を和らげる緩和的治療をしてほしい」の割合が高い。

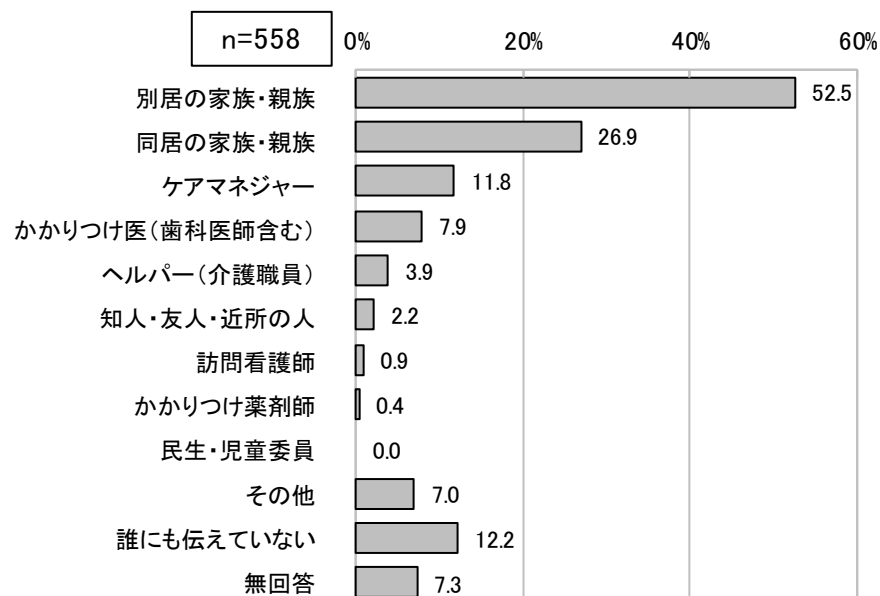
カ 介護保険サービス利用状況等調査

【施設サービス利用者】（調査E）

(3) 延命治療の希望を誰に伝えているか

○ 「別居の家族・親族」（52.5%）が最も多い

問 15: あなたは、問 14 の内容についての希望を誰に伝えていますか。【複数回答】



<その他の回答>

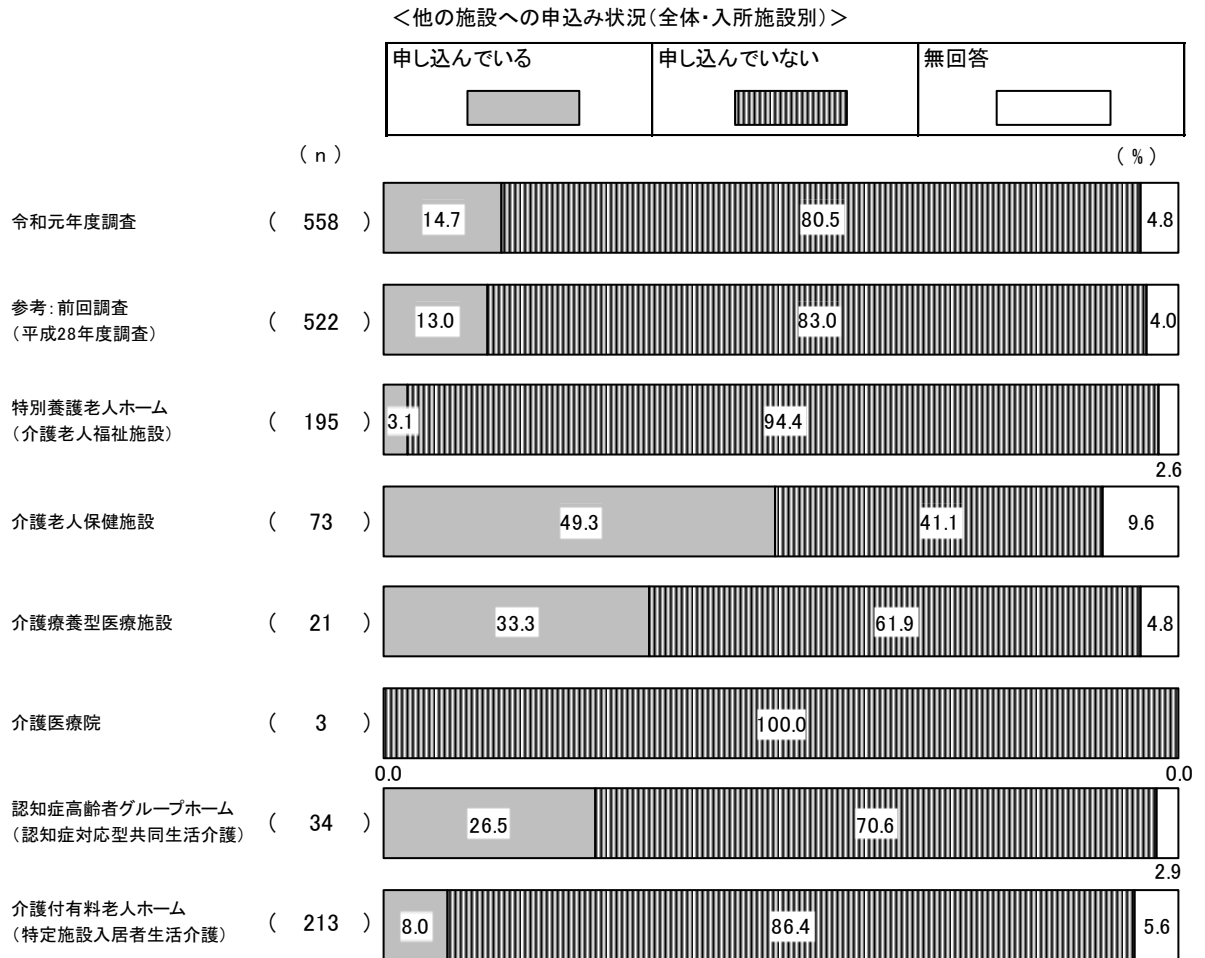
- 分からない ○補助人 ○保佐人(すてっぷ中央職員) ○日本尊厳死協会
- 今の時点では具体的には考えられないので子供にまかせるつもり ○会社の部下
- 亡くなった夫を延命治療しないと決断したため同様にしてほしい



(4) 他の施設への申し込み状況

○ 入所している施設以外に入所を「申し込んでいる」が 14.7%

問 16: あなたは、現在入所している施設以外に入所を申し込んでいますか。



前回調査と比べると、大きな差は見られない。

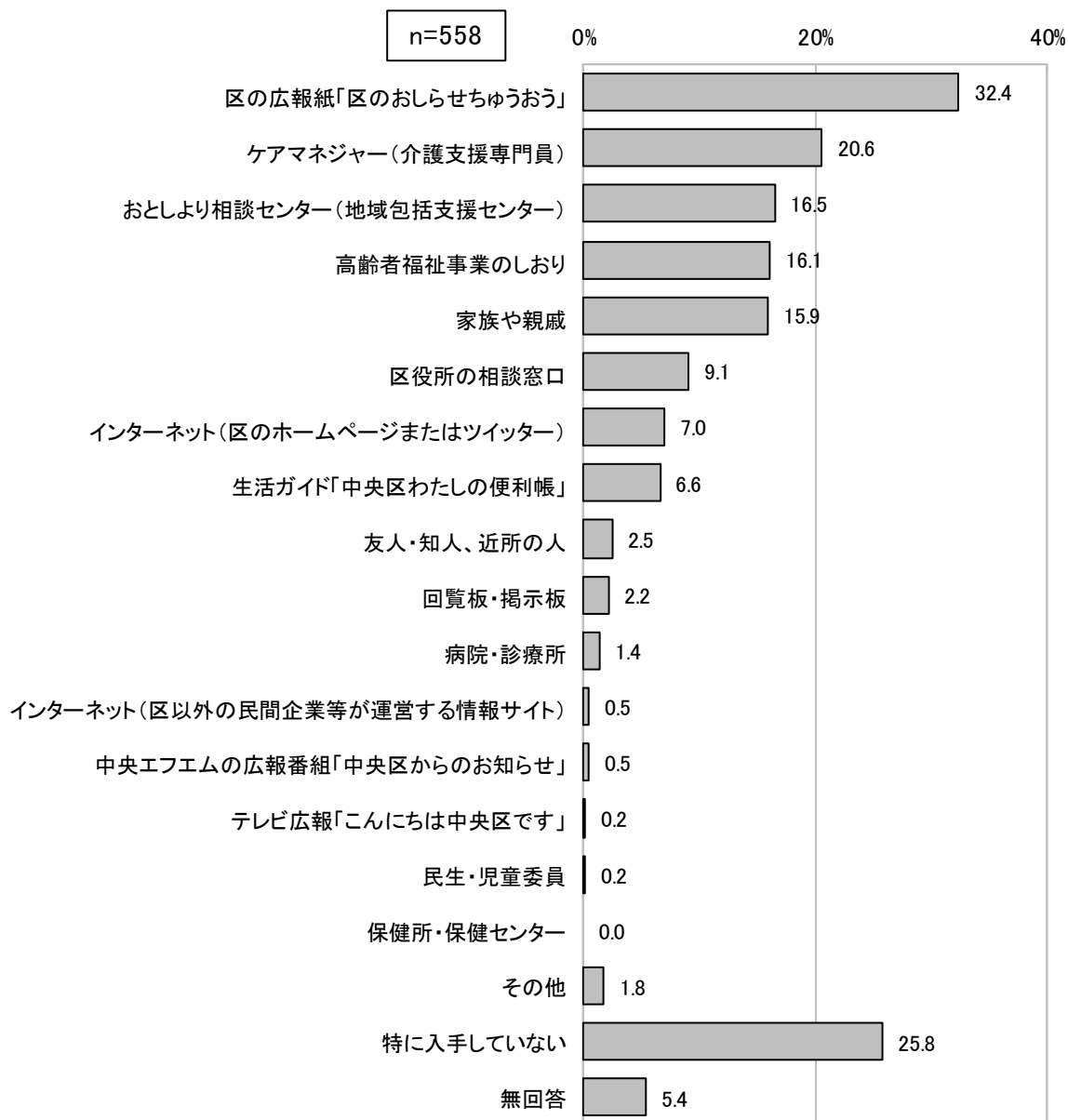
入所施設別で見ると、介護老人保健施設、介護療養型医療施設及び認知症高齢者グループホームでは他の施設と比べて、「申し込んでいる」割合が高い。

## 5. 今後の高齢者保健福祉施策

### (1) 区からの情報の入手先

○ 「区の広報紙」（32.4%）が最も多く、次いで「ケアマネジャー（介護専門支援員）」（20.6%）

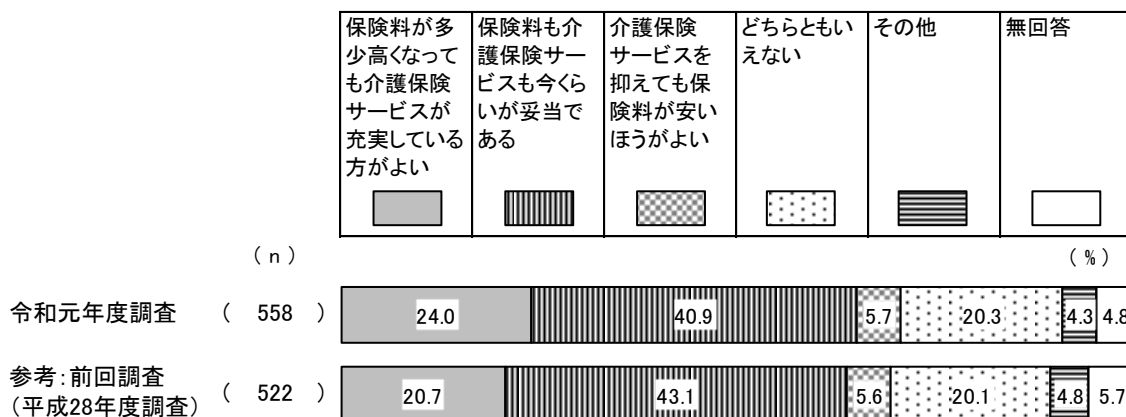
問 17: あなたは、中央区からの情報は主にどこから入手していますか。【複数回答】



(2) 介護保険サービスと介護保険料のあり方

○ 「保険料も介護保険サービスも今くらいが妥当である」 (40.9%) が最も多く、次いで「保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい」 (24.0%)

問 18: 今後、高齢者が増加していくにつれて介護保険料が高くなることが想定されますが、あなたは、今後の介護保険料のあり方についてどう思いますか。

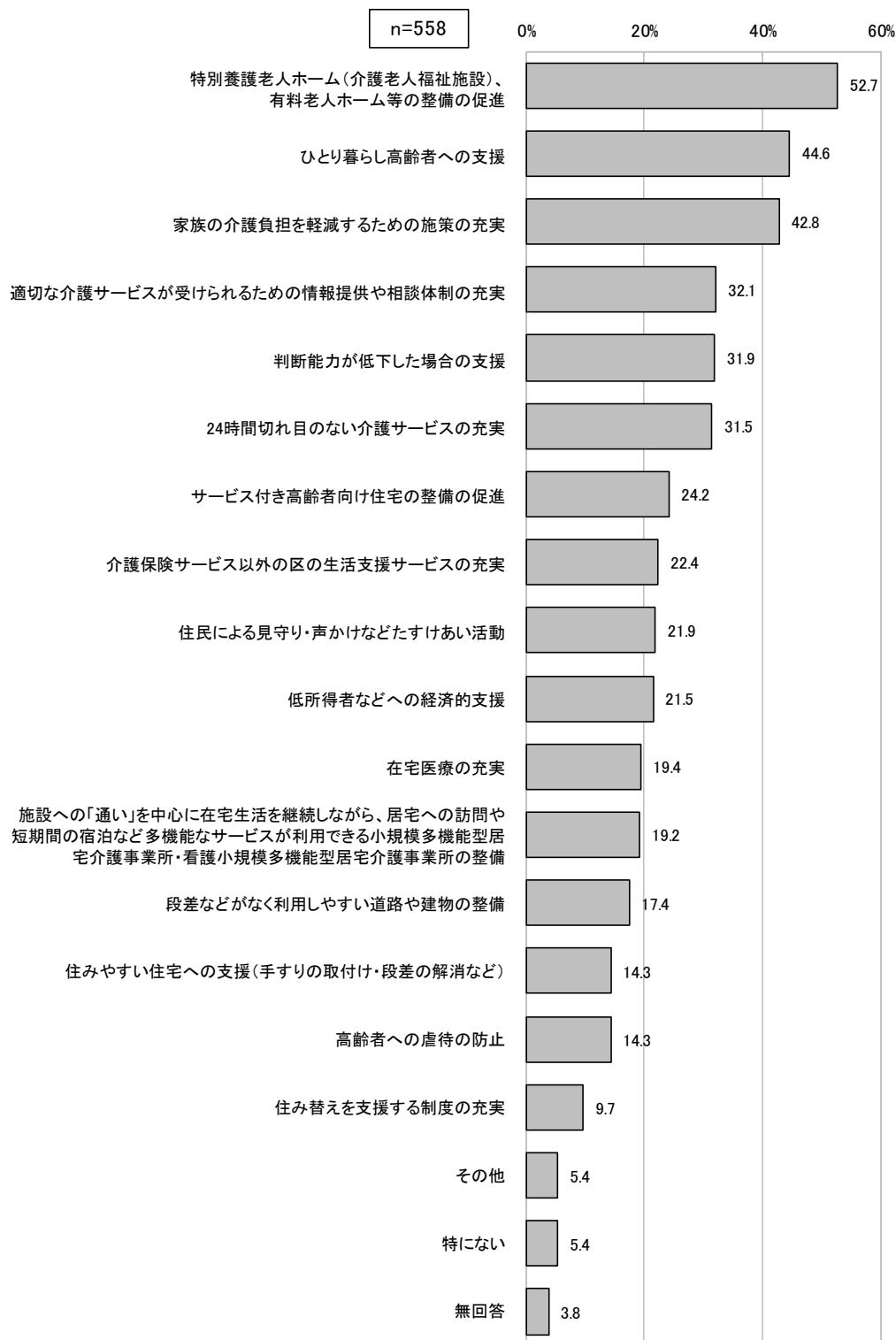


前回調査と比べると、「保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい」の割合が 3.3 ポイント増えている。

(3) 今後力を入れるべき高齢者保健福祉施策

○ 「特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）、有料老人ホーム等の整備の促進」（52.7%）が最も多い

問 19: 住み慣れた地域で暮らし続けるために、これからの高齢者保健福祉施策で中央区が力を入れていくべきものは何だと思いますか。【複数回答】



<その他の回答>

○介護従事者の離職を防ぐための支援 ○区内の高齢ドライバーの運転制限

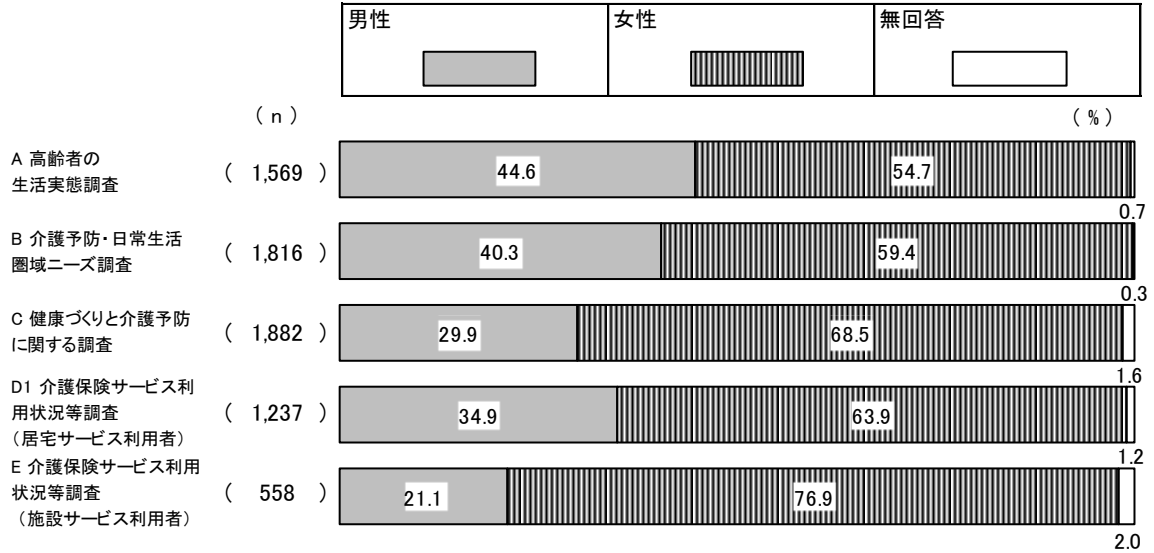
## キ 調査の比較【高齢者向け調査】



# 1. 回答者の属性(状況)

## (1)性別

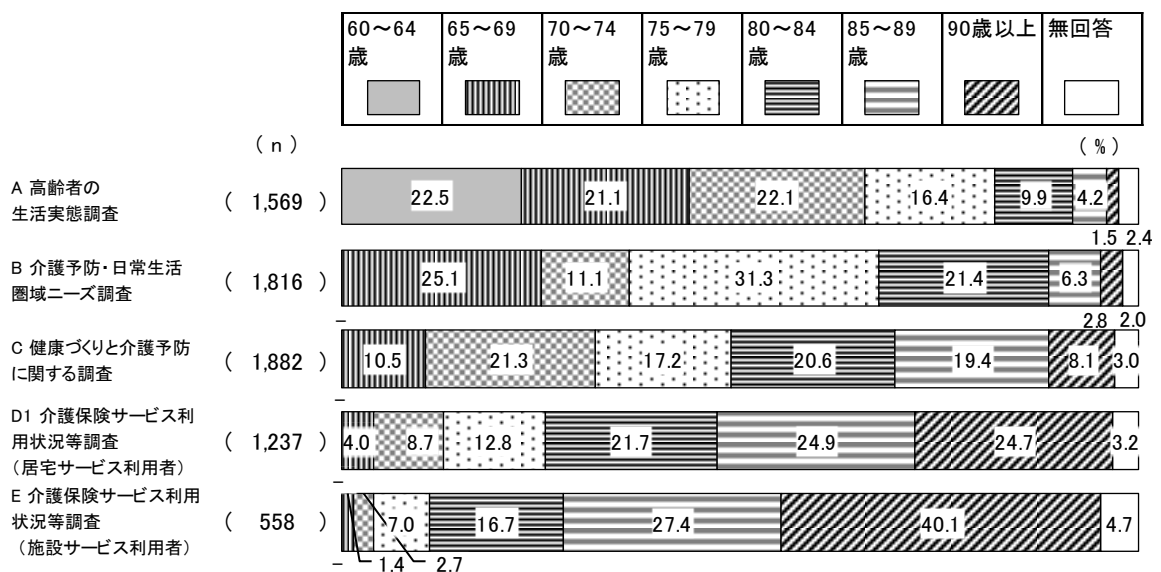
○ 全数調査である調査C、調査D1及び調査Eでは、女性が7割前後を占める



## (2)年齢

- 調査Bでは他の調査と比べて、75～79歳の割合が最も高い
- 全数調査である調査Cでは75歳以上(後期高齢者)の割合が約6割を占める
- 全数調査である調査D1及び調査Eでは75歳以上(後期高齢者)の割合が8割を超える

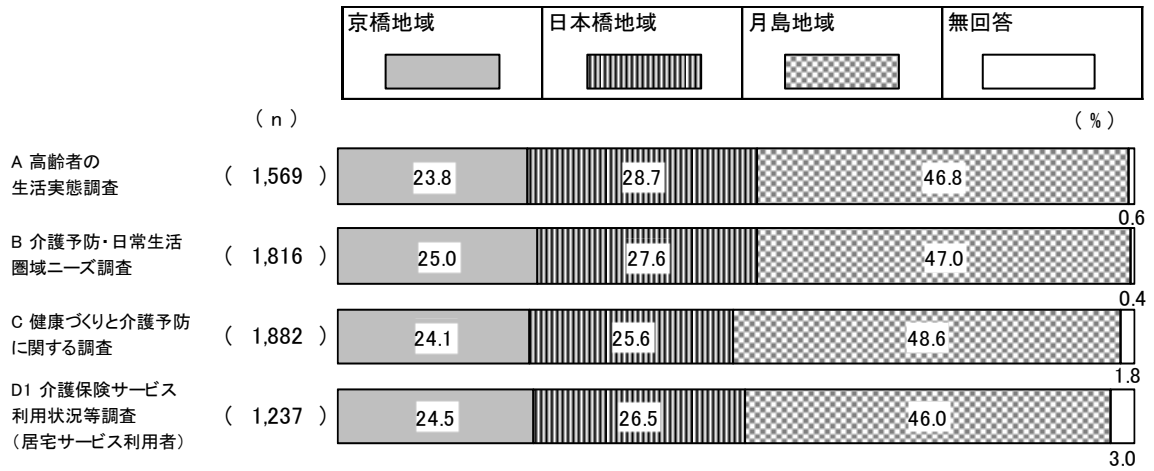
※調査A及びBは抽出調査、調査C～Eは全数調査である。調査Aのみが60歳～64歳の年齢層を調査対象に加えており、その他の調査は65歳以上が対象である。



※図中「-」は、調査A以外は「60～64歳」を調査対象年齢としていないため、数値がないことを表している。

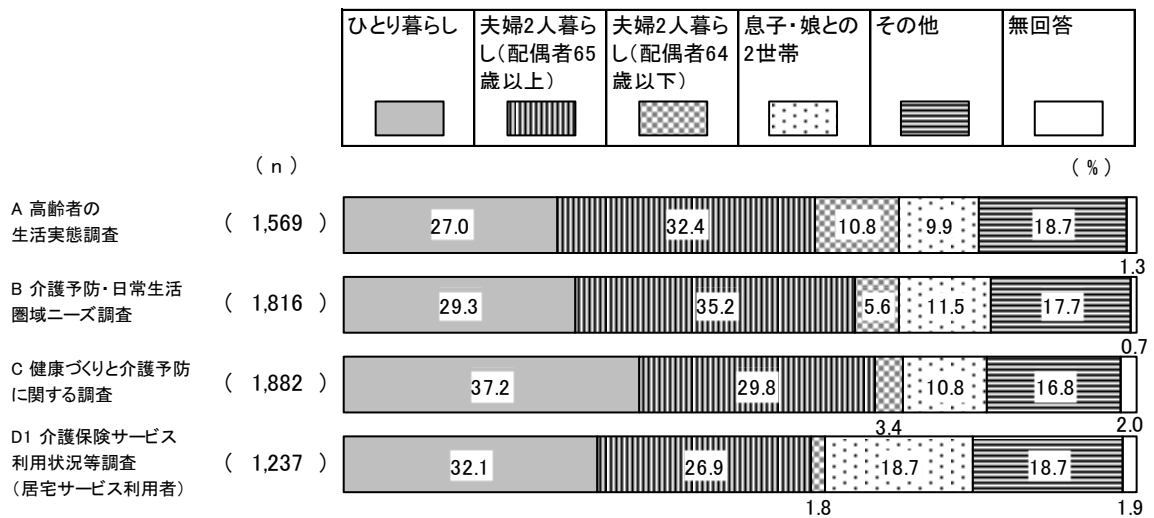
### (3)居住地域

○ いずれの調査でも構成比に大きな差は見られない



### (4)家族構成

- 調査A及び調査Bでは「夫婦2人暮らし」の割合が最も高い
- 調査C及び調査D1では「ひとり暮らし」の割合が最も高い
- 調査D1では他の調査と比べて、「息子・娘との2世帯」の割合が高い



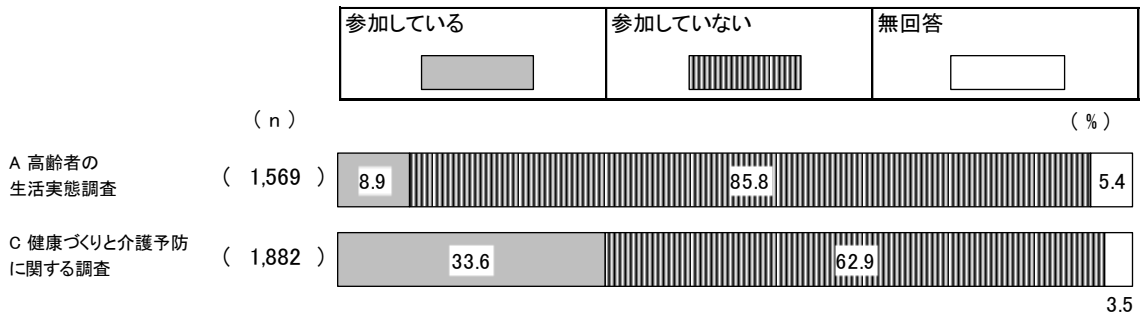


## 2. 各調査での共通調査項目の比較

### (1) 交流サロン・趣味の講座・サークル活動への参加状況

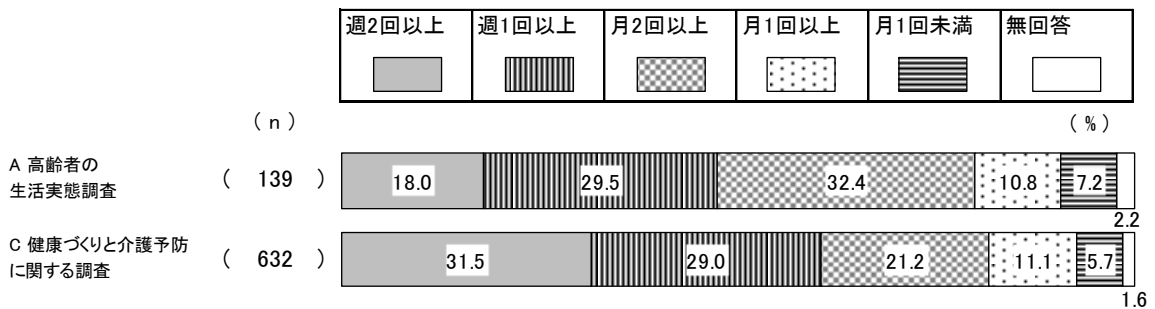
#### ① 参加状況

- 調査A及び調査Cともに「参加していない」の割合が高い
- 一方で、調査Cでは調査Aと比べて、「参加している」の割合が3倍以上高い



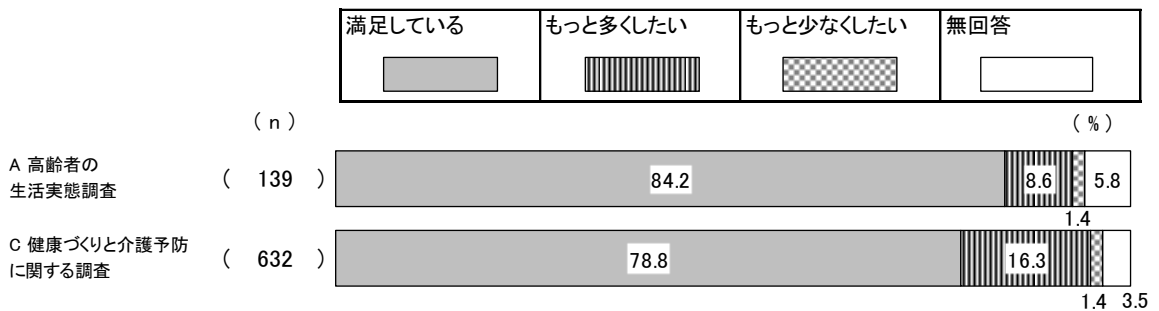
#### ② 参加している人の参加頻度

- 調査Aでは「月2回以上」、調査Cは「週2回以上」の割合が最も高い



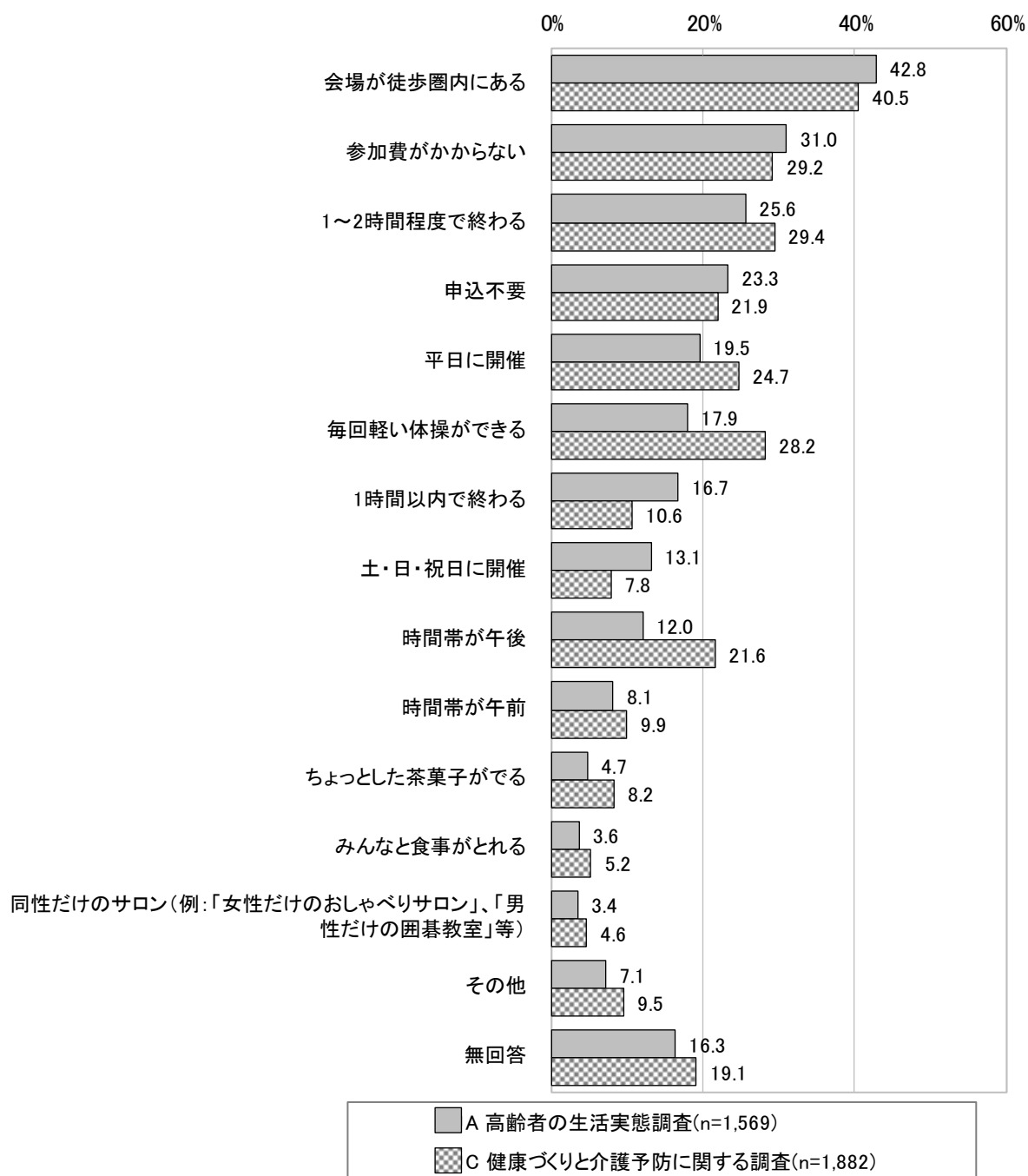
#### ③ 現在の参加頻度に対する満足度

- 調査A及び調査Cともに「満足している」の割合が8割前後を占める



④ 参加条件

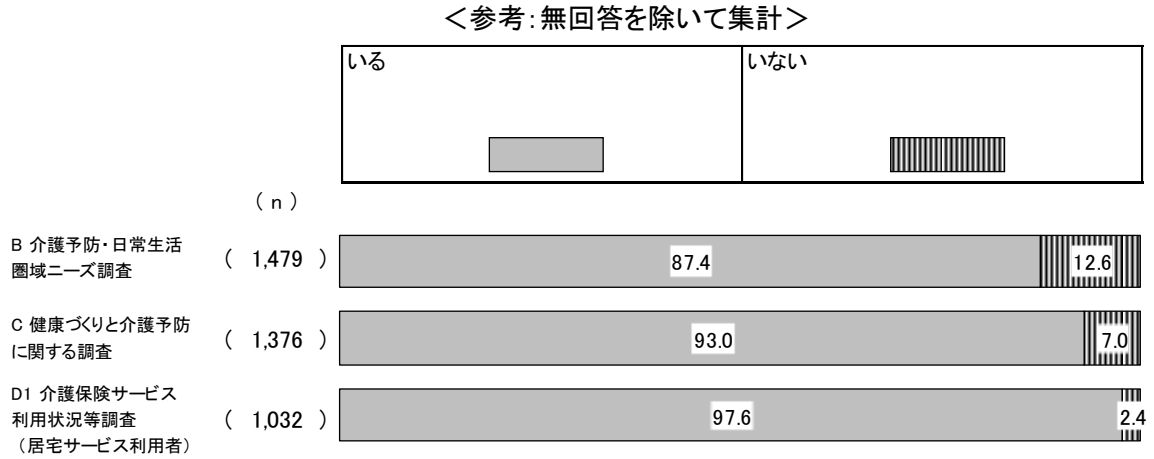
- 調査A及び調査Cともに「会場が徒歩圏内にある」の割合が最も高く、4割を占める
- 調査Cでは調査Aと比べて、「毎回軽い体操ができる」の割合が10.3ポイント高い



(2) かかりつけ医師等の有無

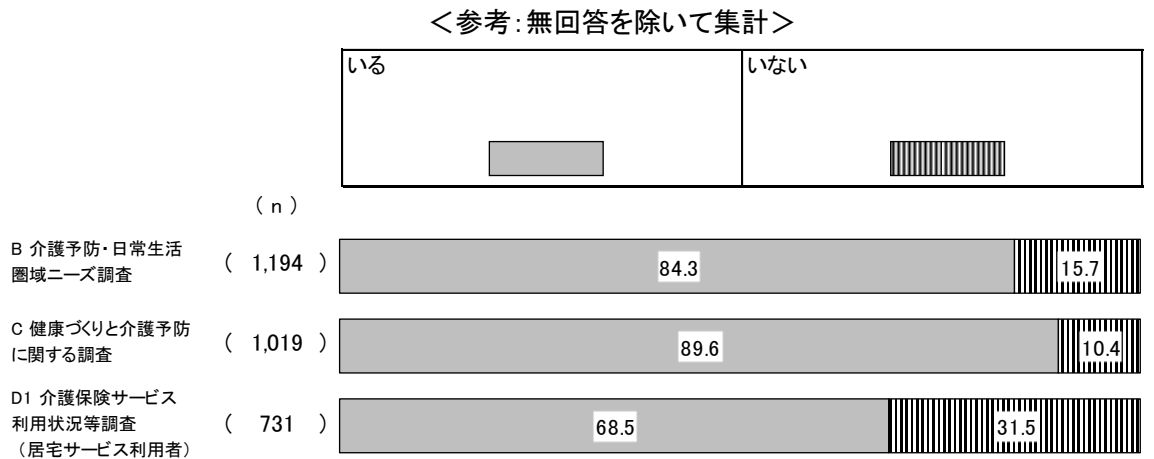
① かかりつけ医師

○ いずれの調査でも「いる」の割合が高く、調査D1は9割を占める



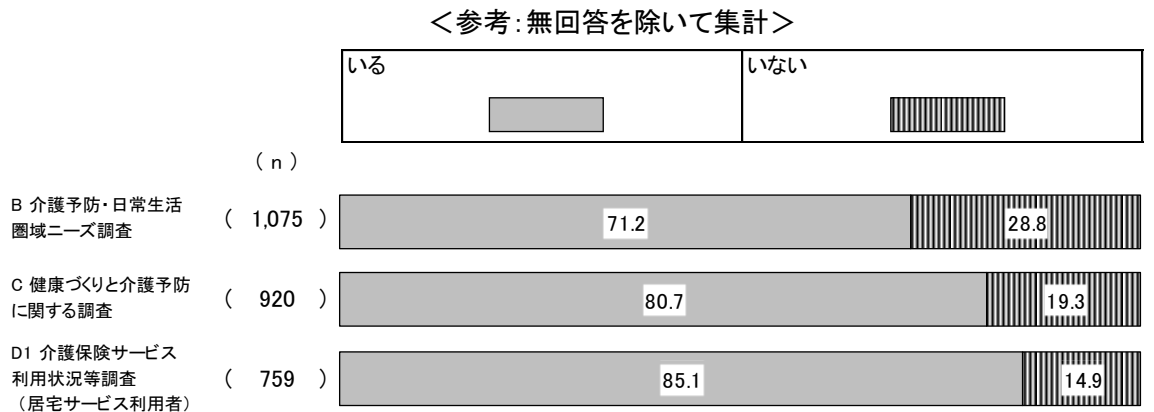
② かかりつけ歯科医師

○ 調査D1では他の調査と比べて、「いない」の割合が最も高い



③ かかりつけ薬局

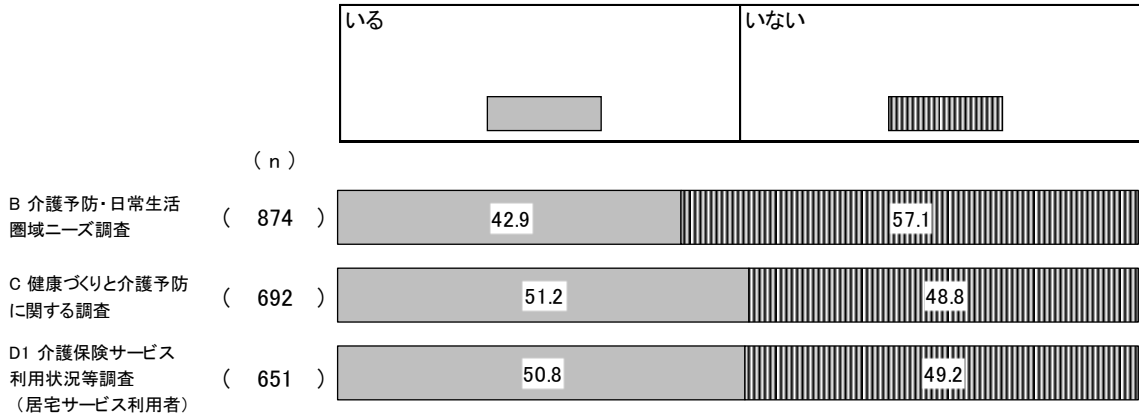
○ 調査D1では他の調査と比べて、「いる」の割合が最も高い



#### ④ かかりつけ薬剤師

○ 調査Bでは「いる」の割合が約4割にとどまる

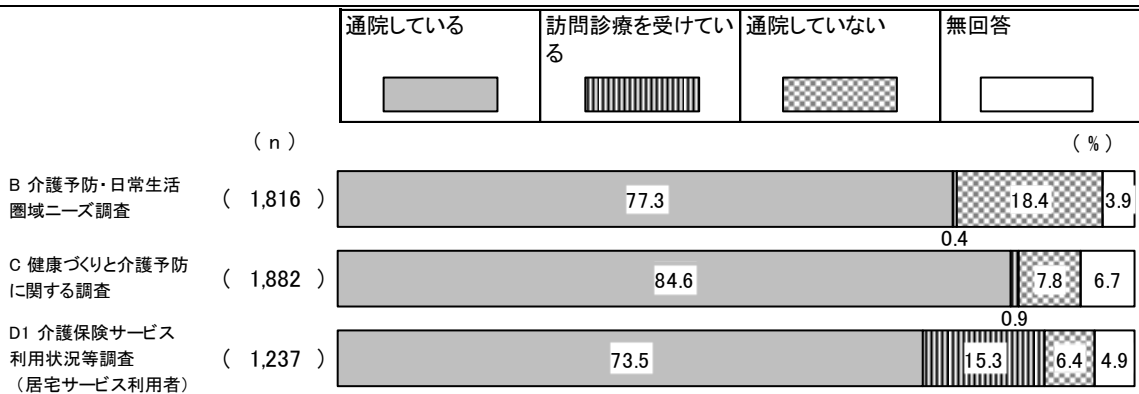
<参考:無回答を除いて集計>



### (3) 医療機関の受診状況

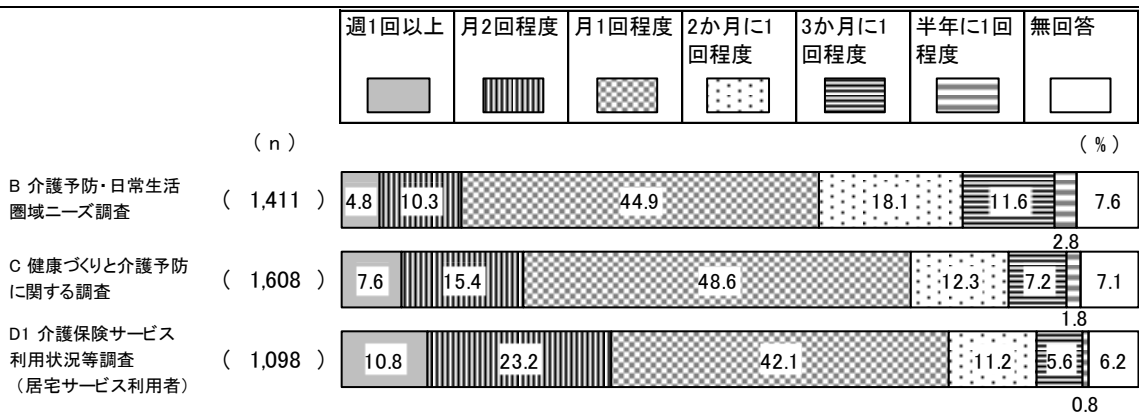
#### ① 受診方法

○ いずれの調査でも「通院している」の割合が7割を超える  
 ○ 調査D1では他の調査と比べて、「訪問診療を受けている」の割合が高い



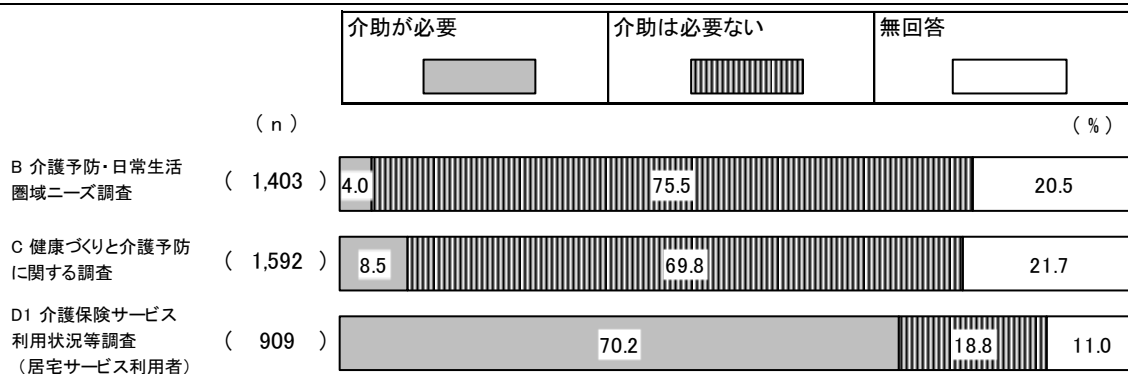
#### ② 受診頻度

○ いずれの調査でも「月1回程度」の割合が最も高い  
 ○ 調査D1では他の調査と比べて、「週1回以上」及び「月2回程度」の割合が最も高い



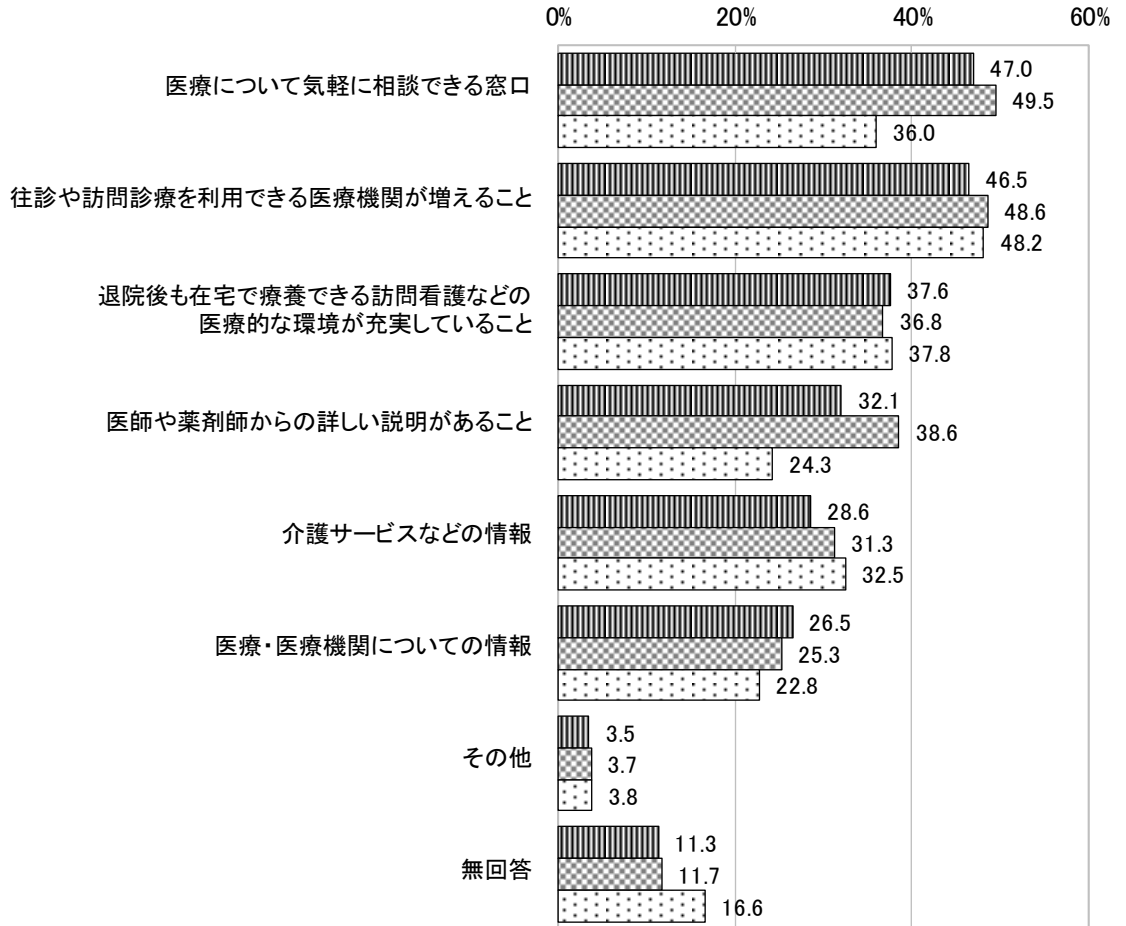
③ 通院時の介助の要否

- 調査B及び調査Cでは「介助は必要ない」の割合が高い
- 調査D1は「介助が必要」の割合が7割を占める



(4) 在宅療養する上であればよいこと

- 調査B及び調査Cでは「医療について気軽に相談できる窓口」の割合が最も高く、次いで「往診や訪問診療を利用できる医療機関が増えること」の割合が高い
- 調査D1では、「往診や訪問診療を利用できる医療機関が増えること」の割合が最も高く、次いで「退院後も在宅で療養できる訪問看護などの医療的な環境が充実していること」及び「医療について気軽に相談できる窓口」の割合が高い

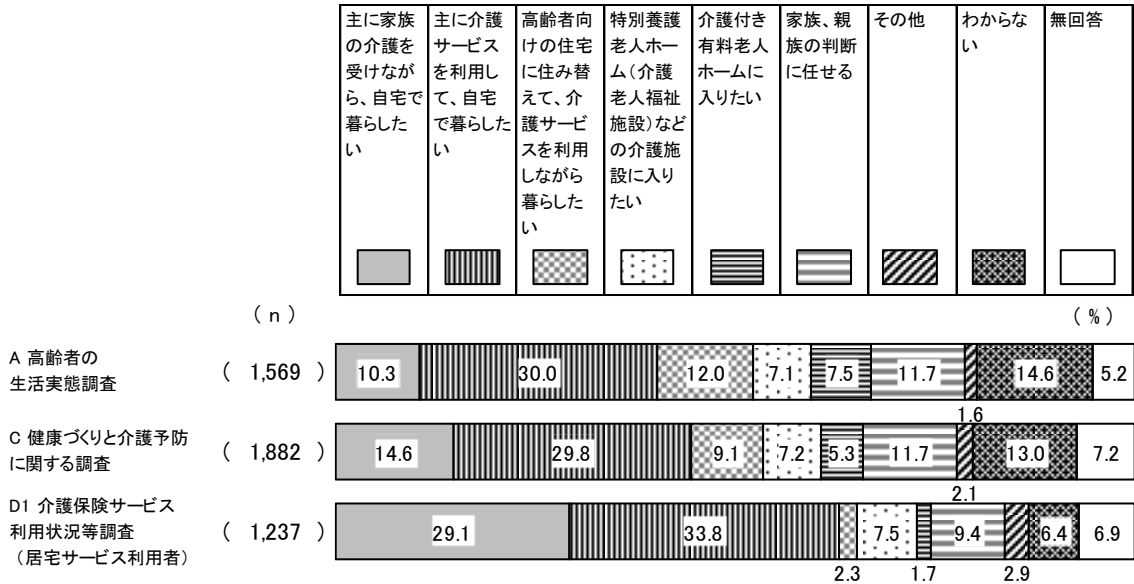


B 介護予防・日常生活圏ニーズ調査(n=1,816)  
 C 健康づくりと介護予防に関する調査(n=1,882)  
 D1 介護保険サービス利用状況等調査（居宅サービス利用者）(n=1,237)

(5) 今後の介護の希望等

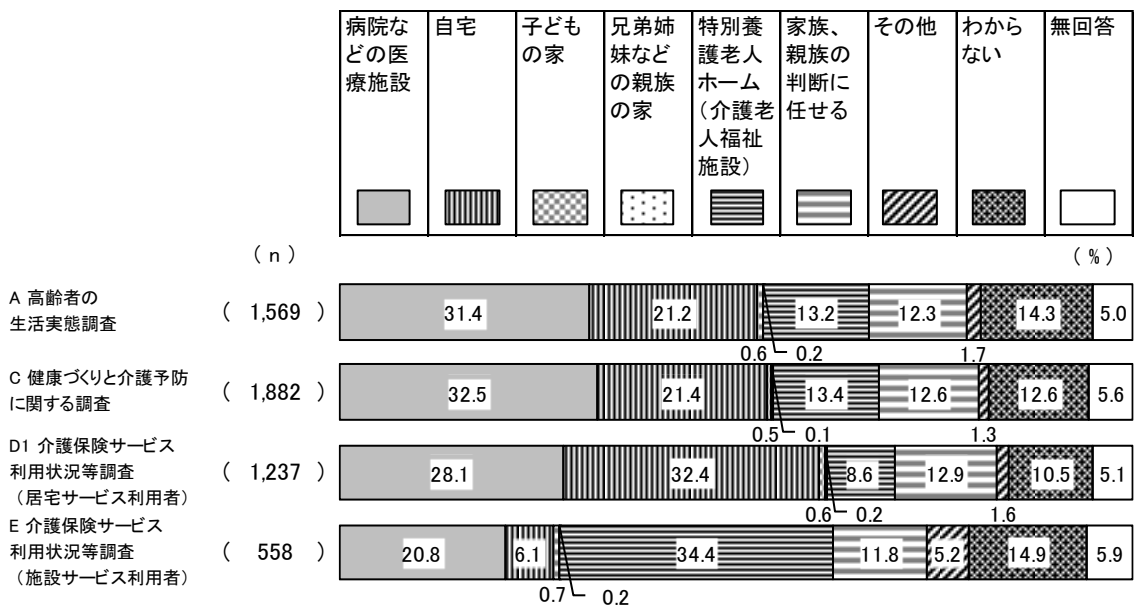
① 今後希望する介護

- いずれの調査でも「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」の割合が最も高い
- 一方で、調査D1では他の調査と比べて、「主に家族の介護を受けながら自宅で暮らしたい」の割合が高い
- 調査D1では『介護が必要になっても自宅で暮らしたい人』が6割を占める



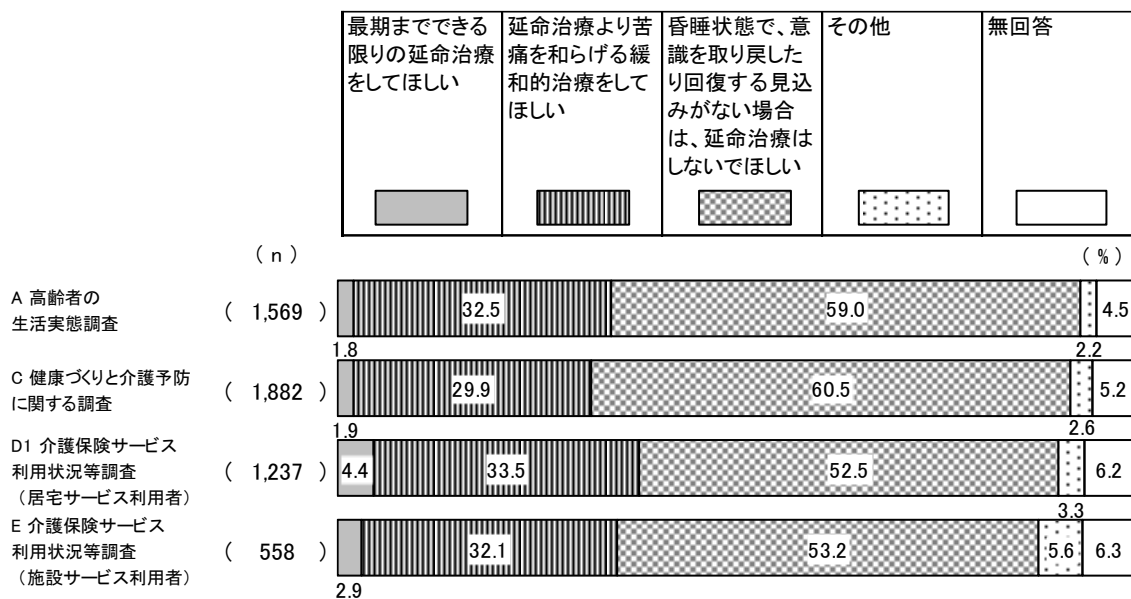
② 終末期に介護を受けたい場所

- 調査A及び調査Cでは「病院などの医療施設」の割合が最も高い
- 調査D1では「自宅」の割合が最も高い
- 調査Eでは「特別養護老人ホーム」の割合が最も高い



### ③ 延命治療

○ いずれの調査でも「昏睡状態で、意識を取り戻したり回復する見込みがない場合は、延命治療はしないでほしい」の割合が5割を超える

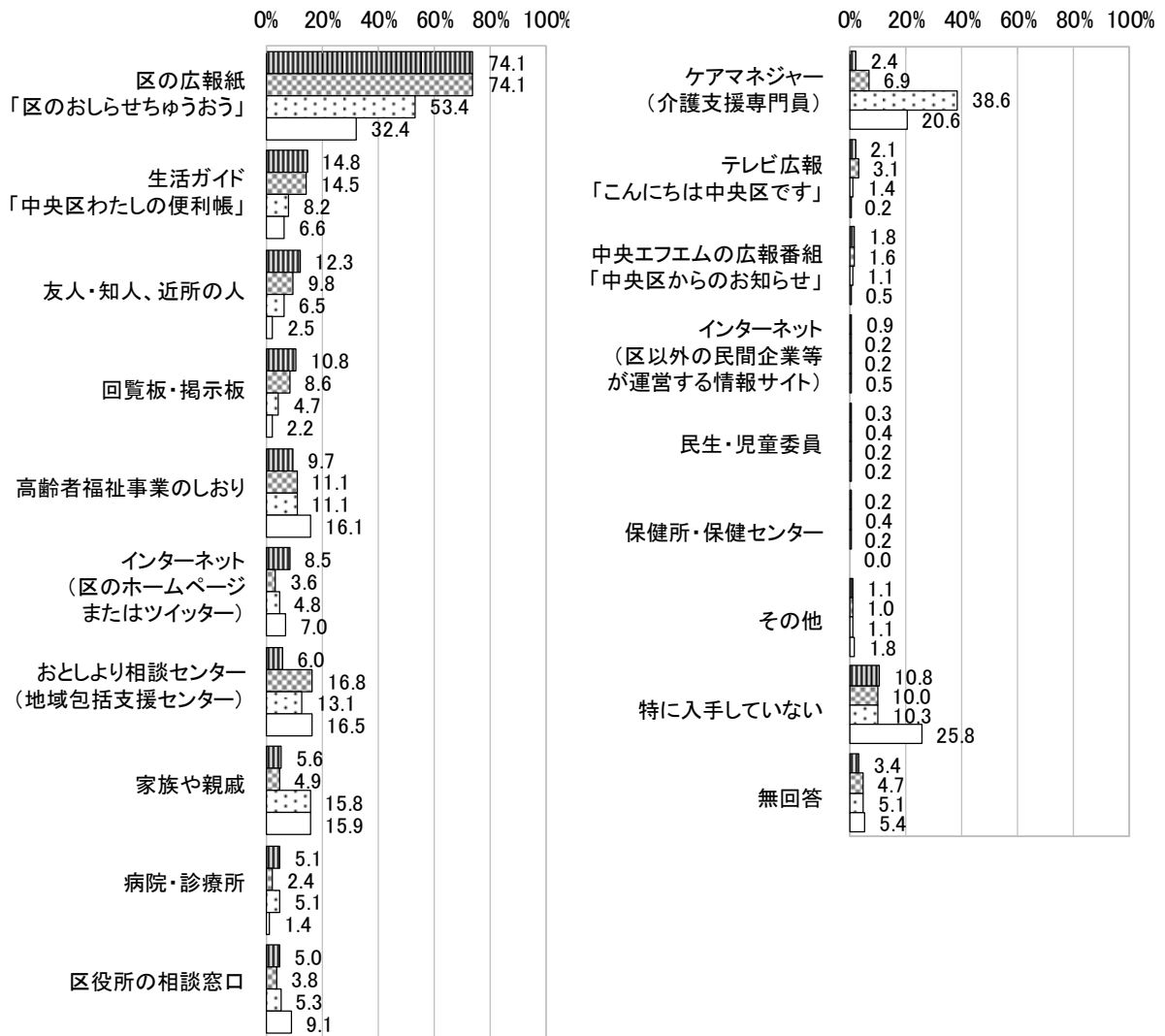




(6) 相談や権利擁護

① 区からの情報の入手先

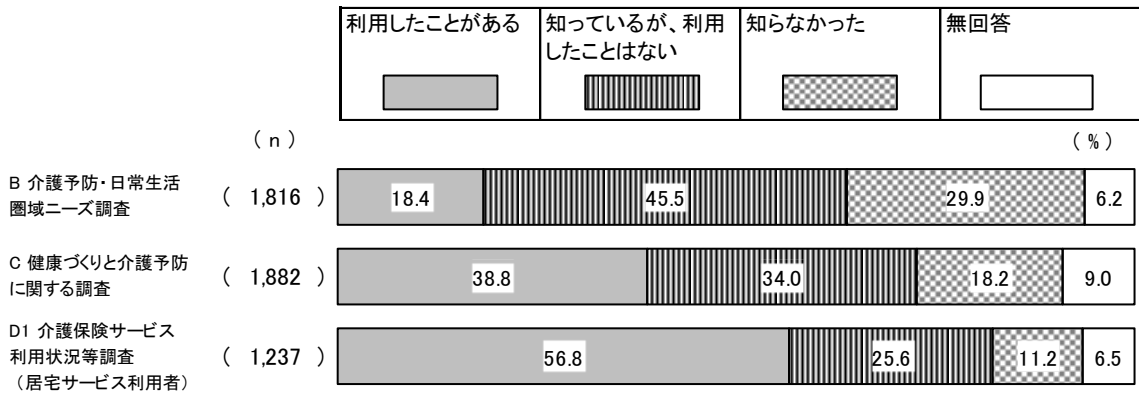
- いずれの調査も「区の広報紙」の割合が最も高い
- 調査Eでは他の調査と比べて、「特に入手していない」の割合が高い
- 調査D1は他の調査と比べて「ケアマネジャー(介護支援専門員)」の割合が高い



- B 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査(n=1,816)
- C 健康づくりと介護予防に関する調査(n=1,882)
- D1 介護保険サービス利用状況等調査 (居宅サービス利用者)(n=1,237)
- E 介護保険サービス利用状況等調査 (施設サービス利用者)(n=558)

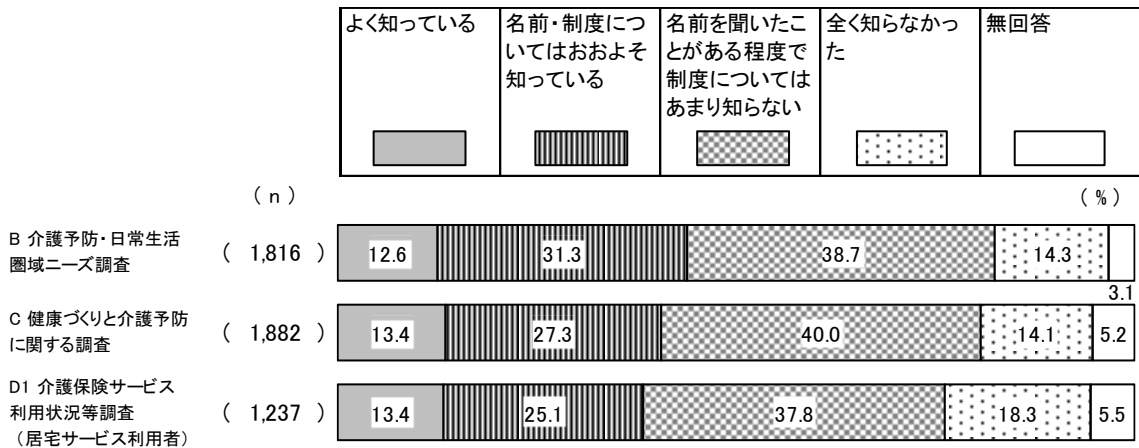
② おとしより相談センターの認知度・利用状況

- 調査Bでは他の調査と比べて、「知っているが、利用したことはない」の割合が最も高い
- 調査D1では他の調査と比べて、「利用したことがある」の割合が最も高い



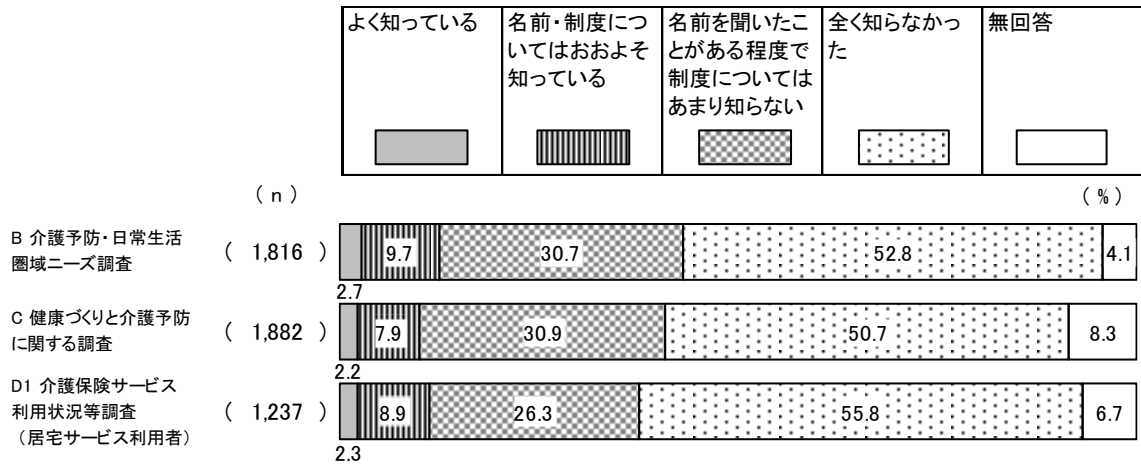
③ 成年後見制度の認知度

- いずれの調査でも「名前を聞いたことがある程度で制度についてはあまり知らない」の割合が4割前後を占める



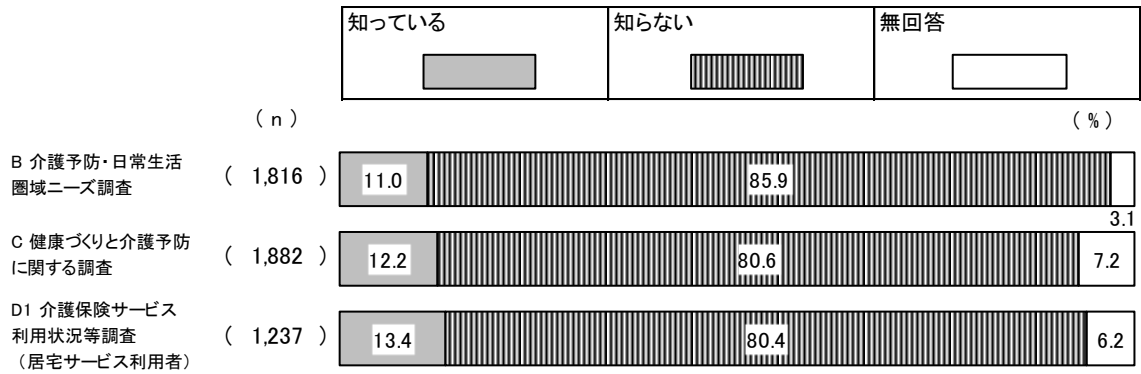
④ 権利擁護支援事業の認知度

○ いずれの調査でも「全く知らなかった」の割合が半数を超える



⑤ すてっぷ中央の認知度

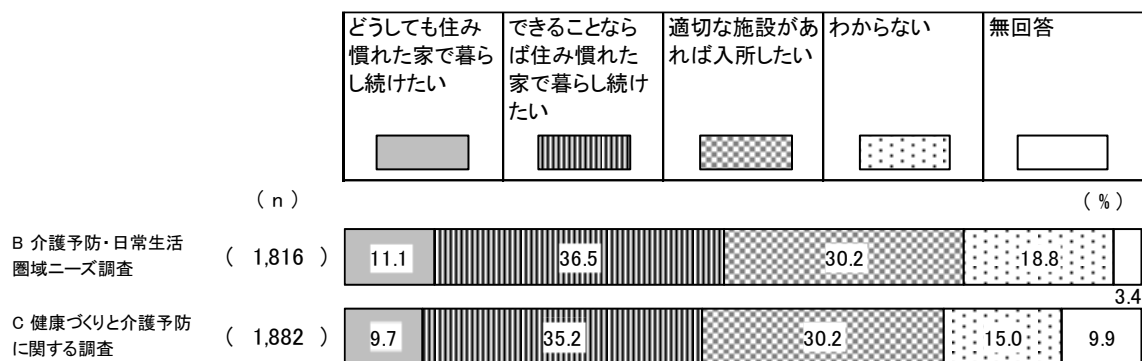
○ いずれの調査でも「知っている」の割合が約1割である



(7) 認知症

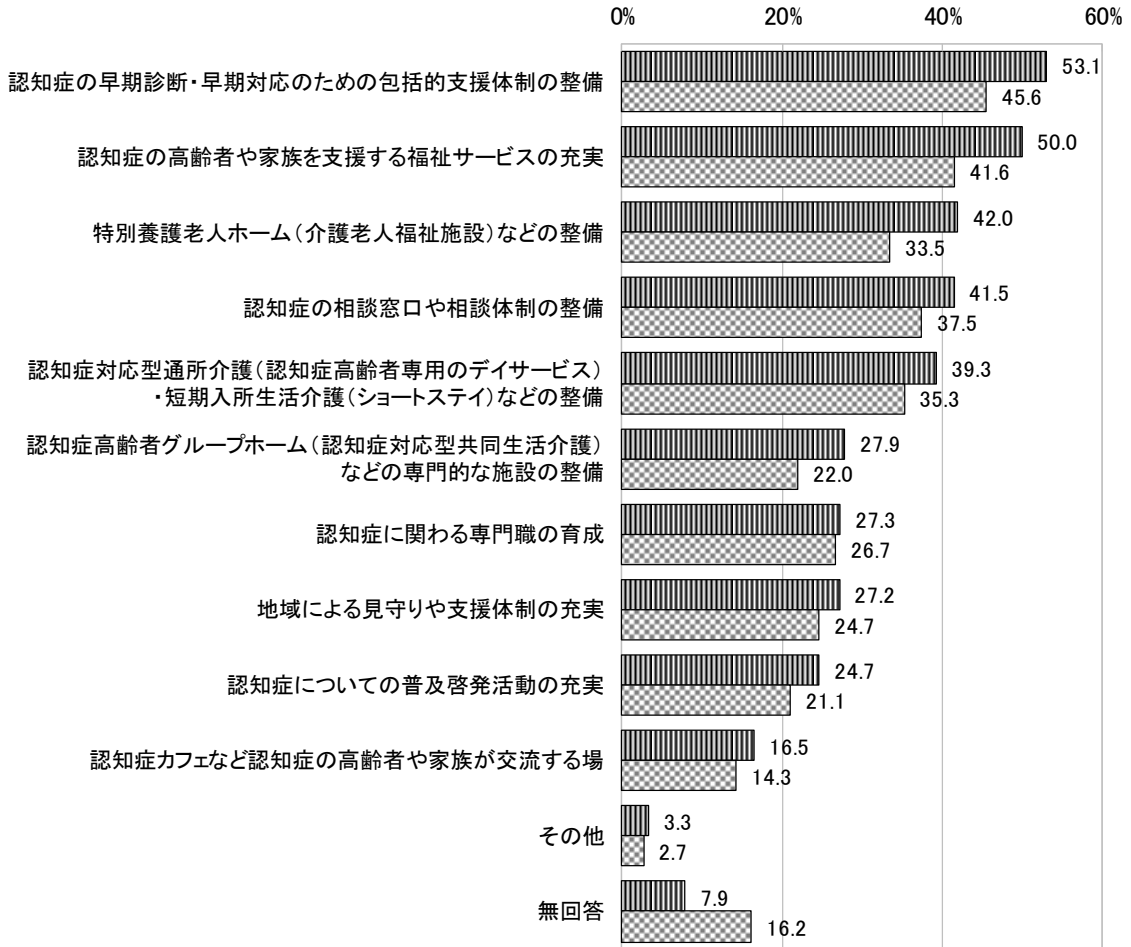
① 在宅生活の継続意向

- 調査B及び調査Cともに「どうしても住み慣れた家で暮らし続けたい」及び「できることならば住み慣れた家で暮らし続けたい」を合わせた『住み慣れた家で暮らし続けたい』割合が約半数に近い
- 一方で、調査B及び調査Cともに「適切な施設があれば入所したい」の割合が3割を占める



② 地域で暮らし続けるために必要なこと

○ 調査B及び調査Cともに「認知症の早期診断・早期対応のための包括的支援体制の整備」の割合が最も高く、次いで「認知症の高齢者や家族を支援する福祉サービスの充実」の割合が高い

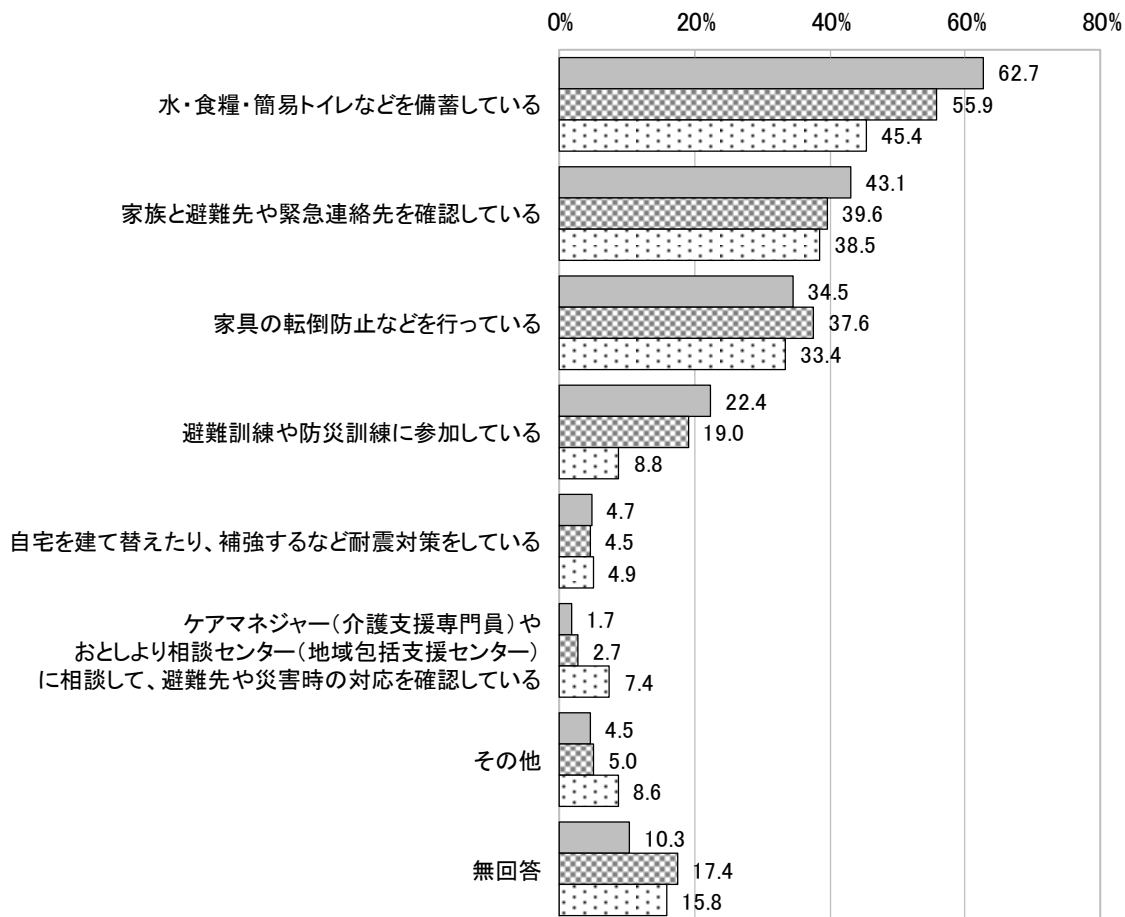


B 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査(n=1,816)  
 C 健康づくりと介護予防に関する調査(n=1,882)

(8) 災害時の対応

① 災害への備え

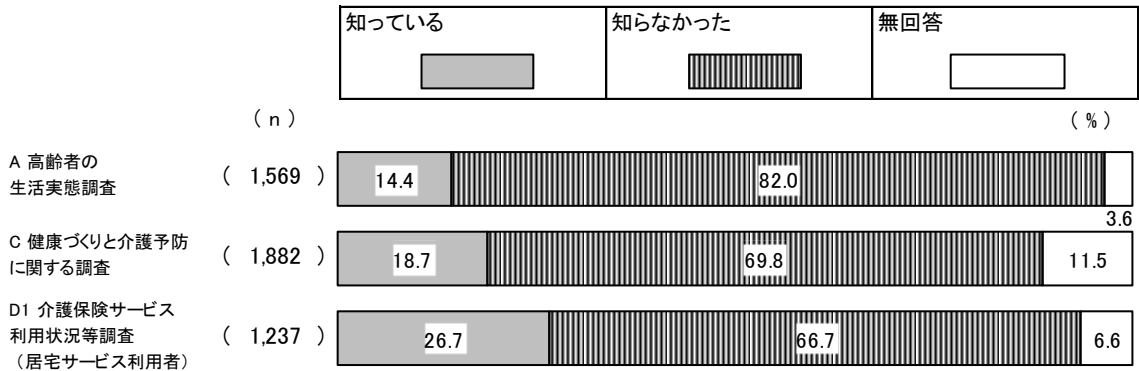
○ いずれの調査でも「水・食糧・簡易トイレなどを備蓄している」の割合が最も高く、調査Aでは6割を超える



■ A 高齢者の生活実態調査(n=1,569)  
 ■ C 健康づくりと介護予防に関する調査(n=1,882)  
 ■ D1 介護保険サービス利用状況等調査(居宅サービス利用者)(n=1,237)

② 「中央区災害時地域たすけあい名簿」の認知度

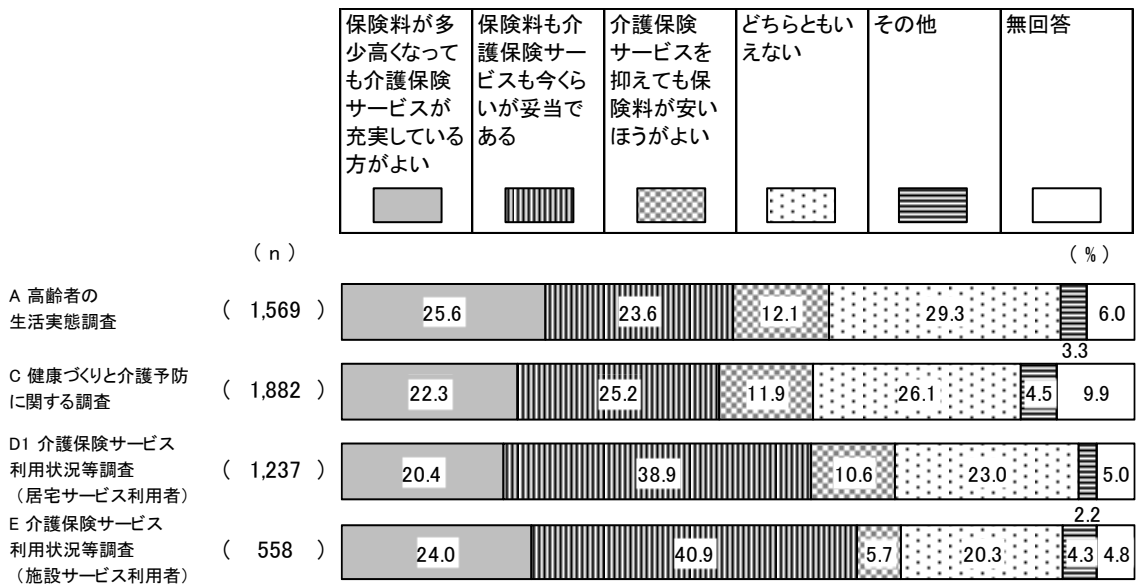
- いずれの調査でも「知らなかった」の割合が高い
- 調査D1では他の調査と比べて、「知っている」の割合が最も高い



(9) 今後の高齢者保健福祉施策

① 介護保険サービスと介護保険料のあり方

- 調査D1及び調査Eでは「保険料も介護保険サービスも今くらいが妥当である」が最も高い
- 調査A及び調査Cでは「どちらともいえない」の割合が最も高い



② 今後力を入れるべき高齢者保健福祉施策

- いずれの調査でも「家族の介護負担を軽減するための施策の充実」及び「ひとり暮らし高齢者への支援」の割合が高い
- 調査A及び調査Cでは他の調査と比べて、「適切な介護サービスが受けられるための情報提供や相談体制の充実」の割合が高い
- 調査Eは他の調査と比べて、「特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)、有料老人ホーム等の整備の促進」の割合が高い

